

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和8年1月26日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

- 留意事項
- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
 - ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
 - ・図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。
 - ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とする。
 - ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
 - ・本工事は「三原市週休2日工事等実施要領」（令和6年4月1日制定）の対象工事とする。
 - ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
 - ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
 - ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
 - ・デジタル化を積極的に推進すること。
 - ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事を含む。
 - ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
 - ・定例会の資料は、電子データとすること。
 - ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
 - ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
 - ・現場事務所には、HDMI規格を出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
 - ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
 - ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
 - ・作業時間は、近隣への騒音や振動等に配慮するため、全ての工事関係車両の出入り及び作業準備の開始を午前9時以降とし、片付け作業及び工事関係車両の退場を午後6時までに完了すること。
 - ・北側県道を工事車両出入口とすること。北側出入口から西側へ搬出入すること。
 - ・敷地北側県道の法面にあるコンクリート製階段は使用禁止とする。これを厳守するため、受注者は工事関係者に対し確実に周知すること。
 - ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
 - ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
 - ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
 - ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
 - ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
 - ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
 - ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
 - ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行ったり等して、周辺環境への粉塵飛散がないよう作業をすること。
 - ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
 - ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して2カ所以上を掲示すること。
 - ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
 - ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
 - ・工事期間中、専門業者による騒音規制法（特定建設作業）の規定に基づく騒音測定及び振動規制法（特定建設作業）の規定に基づく振動測定（各4箇所、各3回）をそれぞれ見込んでいる。
 - ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う

- 場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
 - ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
 - ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
 - ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
 - ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
 - ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
 - ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
 - ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
 - ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
 - ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
 - ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
 - ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
 - ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
 - ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
 - ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
 - ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて中和を行うこと。
 - ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
 - ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算により責任を持って決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
 - ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
 - ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
 - ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
 - ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
 - ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
 - ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
 - ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
 - ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
 - ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
 - ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
 - ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
 - ・コンクリートの調査は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
 - ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
 - ・地盤改良工事や杭工事で、セメント系の材料を使用する場合は六価クロム溶出試験を行い、溶出量が土壌環境基準を満足するものを選定すること。六価クロム溶出試験費を見込む。材料は粉体の発塵抑制の配慮と六価クロムの溶出低減がなされたものを見込む。
 - ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
 - ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日の翌日から10年間責任を負うこと。

- ・請負契約の締結後から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人及び主任（監理）技術者の専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、監督職員との打合せにおいて定める。
- ・工事着手の時期については、別途発注の敷地造成工事（完成工期令和6年12月27日）の完了後を予定している。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・BELSの認証を取得するため、変更がある場合は仕様や能力に注意すること。
- ・BELSの認証再取得のための計算と認証取得を本工事で行う。計算等は入札設計時に行ったものをベースとして受注者が行う。必要な各種手続きは、受注者の負担により行う。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・ゴミステーションの移設を1カ所見込む。現在の位置と移設先は共に、敷地から100m以内とする。
- ・ごみ置場等の移設については、関係者と移設場所、方法、時期等を協議のうえ、実施すること。
- ・コロナ対策として、工事期間中、空気清浄機（ダイキンACEF12X同等品）及び洗濯乾燥機（パナソニックNA-LX129AL同等品）を指定する場所に設置すること。（使用電気料等含む。）
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（A3縮小版・二つ折り）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

三原西消防署庁舎建設工事（建築主体工事）

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	図面リスト	A-036	庁舎棟 1階展開図(3)	A-071	庁舎棟 部分詳細図(5)	S-001	構造概要書
A-002	建築工事特記仕様書(1)	A-037	庁舎棟 1階展開図(4)	A-072	庁舎棟 部分詳細図(6)	S-002	特記仕様書
A-003	建築工事特記仕様書(2)	A-038	庁舎棟 1階展開図(5)	A-073	庁舎棟 部分詳細図(7)	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-004	建築工事特記仕様書(3)	A-039	庁舎棟 1階展開図(6)	A-074	庁舎棟 部分詳細図(8)	S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-005	建築工事特記仕様書(4)	A-040	庁舎棟 1階展開図(7)	A-075	訓練塔 建物求積図	S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)
A-006	建築工事特記仕様書(5)	A-041	庁舎棟 1階展開図(8)	A-076	訓練塔 外部仕上表、内部仕上表	S-006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)
A-007	建築工事特記仕様書(6)	A-042	庁舎棟 1階展開図(9)	A-077	訓練塔 平面図、屋根伏図	S-007	鉄骨標準図(1)
A-008	建築工事特記仕様書(7)	A-043	庁舎棟 1階展開図(10)	A-078	訓練塔 立面図	S-008	鉄骨標準図(2)
A-009	工事区分表	A-044	庁舎棟 2階展開図(1)	A-079	訓練塔 断面図	S-009	JF75・JF75W 設計・施工標準
A-010	案内図・付近見取り図	A-045	庁舎棟 2階展開図(2)	A-080	訓練塔 矩計図	S-010	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準
A-011	建物面積求積図	A-046	庁舎棟 2階展開図(3)	A-081	訓練塔 屋内階段詳細図	S-011	MA Xウエブレン標準仕様書
A-012	配置図	A-047	庁舎棟 2階展開図(4)	A-082	訓練塔 屋外階段詳細図	S-012	ボ-リング位置図・柱状図(1)
A-013	敷地求積図	A-048	庁舎棟 2階展開図(5)	A-083	訓練塔 平面詳細図(1)	S-013	ボ-リング柱状図(2)
A-014	庁舎棟 1階室面積求積図	A-049	庁舎棟 2階展開図(6)	A-084	訓練塔 平面詳細図(2)	S-014	ボ-リング柱状図(3)
A-015	庁舎棟 2階室面積求積図	A-050	庁舎棟 天井伏図	A-085	訓練塔 建具表(1)	S-015	【庁舎棟】杭伏図
A-016	平均地盤算定図	A-051	庁舎棟 建具配置図	A-086	訓練塔 建具表(2)	S-016	【庁舎棟】基礎伏図、2階床梁伏図
A-017	庁舎棟 外部仕上表	A-052	庁舎棟 建具表(1)	A-087	訓練塔 部分詳細図(1)	S-017	【庁舎棟】車庫-1 屋根伏図、屋根伏図
A-018	庁舎棟 内部仕上表(1)	A-053	庁舎棟 建具表(2)	A-088	訓練塔 部分詳細図(2)	S-018	【庁舎棟】軸組図(1)
A-019	庁舎棟 内部仕上表(2)	A-054	庁舎棟 建具表(3)	A-089	訓練塔 部分詳細図(3)	S-019	【庁舎棟】軸組図(2)
A-020	庁舎棟 平面図・屋根伏図	A-055	庁舎棟 建具表(4)	A-090	訓練塔 部分詳細図(4)	S-020	【庁舎棟】基礎リスト、基礎梁リスト
A-021	庁舎棟 立面図	A-056	建具詳細図(1)	A-091	訓練塔 部分詳細図(5)	S-021	【庁舎棟】部材リスト(1)
A-022	庁舎棟 断面図	A-057	建具詳細図(2)	A-092	訓練塔 部分詳細図(6)	S-022	【庁舎棟】部材リスト(2)
A-023	庁舎棟 矩計図(1)	A-058	建具詳細図(3)	A-093	訓練塔 部分詳細図(7)	S-023	【庁舎棟】鉄骨詳細図
A-024	庁舎棟 矩計図(2)	A-059	建具詳細図(4)	A-094	外構図	S-024	【庁舎棟】雑詳細図
A-025	庁舎棟 矩計図(3)	A-060	庁舎棟 法チェック図	A-095	外構詳細図(1)	S-025	【訓練塔】伏図
A-026	庁舎棟 矩計図(4)	A-061	庁舎棟 家具配置図	A-096	外構詳細図(2)	S-026	【訓練塔】軸組図
A-027	庁舎棟 屋内階段詳細図(1)	A-062	庁舎棟 家具詳細図(1)	A-097	外構詳細図(3)	S-027	【訓練塔】RC部材リスト
A-028	庁舎棟 屋内階段詳細図(2)	A-063	庁舎棟 家具詳細図(2)	A-098	ホースリフター詳細図(1)	S-028	【訓練塔】鉄骨部材リスト
A-029	庁舎棟 屋外階段詳細図	A-064	庁舎棟 家具詳細図(3)	A-099	ホースリフター詳細図(2)	S-029	【訓練塔】鉄骨詳細図
A-030	庁舎棟 1階平面詳細図(1)	A-065	庁舎棟 サイン配置図	A-100	雨水排水計画図		
A-031	庁舎棟 1階平面詳細図(2)	A-066	庁舎棟 サイン詳細図	A-101	仮設計画図		
A-032	庁舎棟 2階平面詳細図(1)	A-067	庁舎棟 部分詳細図(1)	A-102	雨水排水縦断面(1)		
A-033	庁舎棟 2階平面詳細図(2)	A-068	庁舎棟 部分詳細図(2)	A-103	雨水排水縦断面(2)		
A-034	庁舎棟 1階展開図(1)	A-069	庁舎棟 部分詳細図(3)	A-104	雨水排水縦断面(3)		
A-035	庁舎棟 1階展開図(2)	A-070	庁舎棟 部分詳細図(4)	A-105	雨水排水構造図(1)		
				A-106	雨水排水構造図(2)		

9 防水工事 (続) 1. アスファルト防水 (屋根保護防水) 防水層の種類 (9.2.2~5) (表 9.2.3~6) 種別 施工箇所 断熱材 (G) 絶縁用シート 立上り部の保護

9 防水工事 (続) 3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 防水層の種類 (9.4.2~4) (表 9.4.1, 2) 種別 施工箇所 絶縁用シートの材質 断熱材 (G) 仕上塗料 高目射反射率防水の適用 (G)

10 施工 10.1 施工 (10.1.3, 5) 10.2 石材等 (10.2.1~3) (表10.2.1~4) 10.3 外壁湿式工法 (10.3.2, 3) 10.4 内壁空積工法 (10.4.2, 3) 10.5 乾式工法 (10.5.2) (10.5.2, 3) (表10.2.4) 10.6 床及び階段の石張り (10.6.2, 3) 10.7 アーチ、上げ裏等の石張り (10.7.1, 2)

11 タイル工事 11.1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1) 11.2 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2, 3, 7) 11.3 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4, 7) 材料、施工 (10.2.2) (10.7.1, 3)

12 木工事
① 表面仕上げ (12.1.4) (表 12.1.1)
② 製材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
③ 造作用集材 (12.2.1)
④ 造作用単板積層材 (12.2.1)
⑤ 直交集成板 (DLT) (12.2.1)
⑥ 床張り用合板等 (普通用合板) (12.2.1)
(構造用合板)
(化粧ばり構造用合板)
(天然木化粧合板)
(特殊加工化粧合板)
(パーティクルボード)

12 木工事 (続)
⑦ 接合具等
8. 防蟻・防蟻処理 (12.3.1)
9. 防虫処理 (12.3.2)
⑧ 内部間仕切の軸組・床組・窓・出入口その他・床板張り・壁・天井下地の木材
(12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

13 屋根及びとい工事
① 長尺金属板葺 (13.2.2.3)
② 折板葺 (13.2.2.3)
③ 粘土瓦葺 (13.4.2.3)
④ とい (13.5.2.3)

14 金属工事
1. ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)
② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表 14.2.1)
③ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表 14.2.2)
④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表 14.4.1)
⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3.4) (表 14.5.1)
⑥ 金属成形板張り (14.6.2.3) (表 14.2.1)
7. アルミニウム製窓木 (14.7.2.3) (表 14.7.1)
⑧ 手すり及びタラップ (14.8.2.3)

15 左官工事
1. ラス系下地 (15. 2. 4)
2. 石膏ボード、その他のボード、こまい、木ずり下地 (15. 2. 5~7)
3. モルタル塗り (15. 3. 2, 5)
4. セルフレベリング材塗り (15. 5. 2) (表 15. 5. 1)
5. 仕上げ塗材仕上げ (薄付け仕上げ塗材) (15. 6. 2) (表 15. 6. 1)
6. 6.1 (N) の場合の下地処理 (15. 6. 4)
7. マスチック塗材塗り (15. 7. 2)
8. セッコウプaster塗り (15. 8. 2, 3)
9. しっくい塗り (15. 10. 1~3)
10. こまい壁塗り (15. 11. 2~5, 7, 8)
8. ロックウール吹付け (鉄骨工事の耐火被覆を除く) (15. 12. 2)

16 建具工事
1. 防火戸 (16. 1. 3)
2. 見本の製作等 (16. 1. 4)
3. 防犯建物部品 (16. 1. 6)
4. アルミニウム製建具 (16. 2. 2, 4, 5) (表 16. 2. 1, 2)
5. 樹脂製建具 (16. 3. 2~5) (表 16. 3. 1~4)
6. 鋼製建具 (16. 4. 2) (表 16. 4. 2~4)
7. 鋼製軽量建具 (16. 5. 2~4) (表 16. 5. 2~4)
8. ステンレス製建具 (16. 6. 2~4) (表 16. 6. 2~4)

16 建具工事 (続)
9. 木製建具 (16. 7. 2~4)
10. 建具用金物 (16. 8. 2, 3)
11. 鍵 (16. 8. 4)
12. 自動ドア開閉装置 (16. 9. 2, 3)
13. 自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 3)
14. 重量シャッター (16. 11. 2, 3)
15. 軽量シャッター (16. 12. 2~4)
16. オーバーヘッドドア (16. 13. 2, 3)

16 建具工事 (続)
17. ガラス (9. 7) (16. 14. 2~4)
18. ガラスブロック (16. 14. 5)
19. ガラス用フィルム (16. 15. 2)
20. 衝突防止表示

17 カーテンウォール工事
1. 取付け方法、性能等
取付け方法 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)
性能
耐震性
水平方向 (KH) 垂直方向 (KV)
水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度変化性 (°C)

18 塗装工事
1. 材料
内部に使用する塗料は、原則として水性系のもとする
防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
2. 剥きごしらえ
3. 錆止め塗料塗り
4. 塗装
5. フッ素樹脂塗装
6. 焼付塗装

19 内装工事
1. ビニル床シート
2. ビニル床タイル
3. ビニル幅木
4. ゴム床タイル
5. カーペット敷き
6. タフテッドカーペット
7. ニードルパンチカーペット
8. タイルカーペット
9. 合成樹脂塗床

7. フローリング張り (単層フローリング)
8. 畳敷き
9. せっこうボード、その他のボード、合板張り
10. 壁紙張り
フローリングの種類、工法、樹種、厚さ(mm)、大きさ(mm)、塗装仕上げ、防炎材等の適用
フローリングの種類、工法、樹種、厚さ(mm)、大きさ(mm)、塗装仕上げ、防炎材等の適用

19 内装工事 (続き)
20 ユニットの及びその他工事 (続き)

11 断熱材 (19.9.2.3)

断熱材打込み工法		
種 類	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 図示	図示
○ ポリスチレンフォーム断熱材	・ 図示	図示
・ フェノールフォーム断熱材	・	・

○ 断熱材現場発泡工法

断熱材の種類	※ A種1 ※ A種1H ・ A種2 ・ A種2H ・ A種3
吹付け厚さ(mm)	※ 図示による
施工箇所	※ 図示による

12 浴室天井材

材 質	幅	備 考
※ 硬質塩ビ材 ・ アルミニウム製 (準不燃材)	※ 300 ・ 100	断熱材を裏打ちしたもの 付属品の材料は主製産所の仕様による

13 システム天井

種 類	Tバーの材質	備 考
・ ラインタイプ ・ ロ型タイプ	・ シングル ・ ダブル ・ アルミニウム製 ・ 鋼製	

20 ユニットの及びその他工事 (続き)

- ①黒板及びホワイトボード
- ②鏡
- ③表示
- ④階段滑り止め
- ⑤トイレブース

20 ユニットの及びその他工事 (続き)

21 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	工 法	パネル寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	耐圧性能	表面仕上げ材	音響遮断性能	遮断係数(R)
図示	・ 直敷式 ○ 支柱調整式	・ 500×500	100	○ 1.0 ○ 0.6	・ 3,000 ・ 5,000	・ 手電筒型タイル ○ タイルカーペット	※ 1000以上	※ 1×10 ³ Q
	・ 直敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500		・ 1.0 ・ 0.6	・ 3,000 ・ 5,000	・ 手電筒型タイル ・ タイルカーペット		

材料等

フリーアクセス	耐荷重性能	※ 標準仕様書20.2.2(2)(f)による
フロアの試験方法	耐衝撃性能	※ 標準仕様書20.2.2(2)(f)(b)による
	ローリングロード性能	※ 標準仕様書20.2.2(2)(f)(c)による
	耐燃焼性能	※ 標準仕様書20.2.2(2)(f)(d)による
パネルの寸法精度		※ 標準仕様書20.2.2(2)(f)による

乾式遮音二重床用床下地材 (樹脂製支柱式)

凡認定及び建築物の遮音性能基準と設計指針 (第2版) (一社)日本建築学会)で規定する
「床衝撃音レベルに関する適用等級」2級程度を有するものとし、製造所の仕様による。

施工箇所	床仕上げ材	遮音性能 (スラブ厚150mm)
・ 畳下地	・ LL-50	・ LH-55
・ フローリング類下地	・	・

22 床下地材

③可動開仕切 (20.2.3)

構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	材質	表面仕上げ	遮音性能 (db/500Hz)	防火性能
・ スタッド式 (内蔵)	※ 図示	※ 図示	※ 鋼板	○ 0.6 又は ○ 0.8	○ AG-1 又は ○ AG-2	・ 不燃
○ スタッド式 (露出)	・ 7mm製 ・ パネル式 ・ スタッパネ式	・ 鋼系 ・ 鋼製	・	・	・	・

パネル内に取付ける建具 ※ 図示による

23 移動開仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能 (db/500Hz)
・ 平行方向 ・ 二方向	・ 移動式 ・ 移動式	・ 手動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上

性能等、工法

ハンガーレールの取付け下地の種別	※ 標準仕様書20.2.4(3)(9)による	・ 図示による
パネルをランナーに取り付ける部品	※ 標準仕様書20.2.4(3)(12)による	・ 図示による
ハンガーレール	※ 標準仕様書20.2.4(3)(8)による	・ 図示による
ランナー	※ 標準仕様書20.2.4(3)(8)による	・ 図示による
あと施工アンカーの材質、寸法等	※ 図示による	・

10 煙突ライニング (20.2.11)

種 類	適用安全使用温度
・ 煙突用成形ライニング材	・ 400℃ ・ 650℃

11 ブラインド (20.2.12)

形 式	操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	スラット・レールの材質	寸法・取付箇所
○ 縦形	○ 手動	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	○ 図示による
・ 縦形	・ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	7mm以上合金製	・ 図示による
・ 電動	・	・	・	・	・	・

12 ロールスクリーン (20.2.13)

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備 考
・ ポリエステル	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チューン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 図示による	・ 図示による	

巻取りタイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による

13 カーテン (20.2.14)

形 式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	・ 図示による
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	・ 図示による

ポリエステル織物又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☑ とする
暗幕カーテンの間隙、上部及び目隠しの重なり ※ 300mm以上

14 カーテンレール (20.2.14)

材 質	形 式	仕上げ	長さによる区分	形 状
※ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ シングル ・ ダブル	※ 7mm付	※ 10-90	※ 角形

幅×長さ (mm)

・ 90×150	○ 120×80	・ 120×150	・ 150×80	・ 図示による
----------	----------	-----------	----------	---------

材 質

○ 集成材 (仕上げ) ※ 図示による
○ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 ○ AG-1 ・ AG-2 (・ 7mm ^付 、 ^付 の ^付 、 ^付 の ^付)
皮膜等の種類 ※ 標準仕様書 表14.2.11による
・ 鋼製 (仕上げ) ※ 図示による

材 質

※ アルミニウム押出型材 ※ フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡

16 ピクチャーレール (20.2.14)

材 質	※ アルミニウム押出型材
※ フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡	

20 ユニットの及びその他工事 (続き)

- ①手すり
- 18 コーナービード (壁ブード出隅保護金物)
- ②天井点検口
- ③床点検口
- ④消火器ボックス
- 22 くつふきマット
- 23 流し台ユニット
- ④洗面カウンター
- 25 防護垂れ壁
- 26 耐震スリット
- 27 エキスパンション・ジョイント金物
- ④止水板
- ④屋内掲示板
- 30 旗竿、旗竿受金物

①手すり (20.2.5)

表面材の種類	脚部形状	形状	材質
○ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	○ 標準 ・ アール	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

(20.2.6)

材 種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
○ ステンレス製(SUS304) ・ ビニルタイプ入り	○ 約35	※ 接着工法 ・ 埋込み工法	・ あり ・ ステンレス製
・	・	・	○ なし ・

(20.2.8)

分 類	区 分	種 類	色	形 式
・ 黒板	※ 焼付け	・ ほうろう黒板 ・ 鋼製黒板	※ 緑 ・ 黒	・ 平面 ・ スクリーン付き引分け
○ ホワイトボード	・	・ ほうろう	※ 白 ・	○ 平面 ・ スクリーン付き引分け

(20.2.9)

取付箇所	取付厚さ (mm)	取付寸法 (mm)	取付厚さ (mm)	備 考
図示	○ 図示による	・	・	
	※ 5	・	・	

(20.2.10)

区 分	材 質	寸法・形状 (mm)	厚さ (mm)	取付け高さ (mm)	備 考
○ 衝突防止表示 (・ 両面 ○ 片面)	・ ステンレス製 ○ 図示による	・ 30φ	・ 市販品	○ 図示による	
・ 非常用出入口等	・ 図示による	・	・ 市販品	・	消防法に適合する市販品
○ 室名札	・ アクリル製 ○ 図示	・	○ 図示による	・ 5	○ 図示による
○ ピクトグラム	・ アクリル製 ○ 図示	・	○ 図示による	・ 5	○ 図示による
・ とびら番号	・ アクリル製 ・	・	○ 図示による	・ 5	・ 図示による
○ 建物案内板	・ アクリル製 ○ 図示	・	○ 図示による	・ 5	○ 図示による
・ 各階案内板	・ アクリル製 ・	・	○ 図示による	・ 5	・ 図示による
・	・	・	・	・	・

案内用図記号

JIS Z 8210による
誘導標識、非常用出入口等の表示：消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等：図示による

(20.2.11)

種 類	適用安全使用温度
・ 煙突用成形ライニング材	・ 400℃ ・ 650℃

(20.2.12)

形 式	操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	スラット・レールの材質	寸法・取付箇所
○ 縦形	○ 手動	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	○ 図示による
・ 縦形	・ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	7mm以上合金製	・ 図示による
・ 電動	・	・	・	・	・	・

(20.2.13)

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備 考
・ ポリエステル	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チューン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 図示による	・ 図示による	

巻取りタイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による

(20.2.14)

形 式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	・ 図示による
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	・ 図示による

ポリエステル織物又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☑ とする
暗幕カーテンの間隙、上部及び目隠しの重なり ※ 300mm以上

(20.2.14)

材 質	形 式	仕上げ	長さによる区分	形 状
※ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ シングル ・ ダブル	※ 7mm付	※ 10-90	※ 角形

幅×長さ (mm)

・ 90×150	○ 120×80	・ 120×150	・ 150×80	・ 図示による
----------	----------	-----------	----------	---------

材 質

○ 集成材 (仕上げ) ※ 図示による
○ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 ○ AG-1 ・ AG-2 (・ 7mm ^付 、 ^付 の ^付 、 ^付 の ^付)
皮膜等の種類 ※ 標準仕様書 表14.2.11による
・ 鋼製 (仕上げ) ※ 図示による

材 質

※ アルミニウム押出型材 ※ フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡

31. 止り止め支柱

形 式	材 種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
・ 上下式鎖内蔵式 ・ スプリング式	・ 標準品 ・ ステンレス製	・	・

下記以外は製造所の仕様による

フェンスの種類

○ ビニル被覆エキスパンションフェンス	・ 鋼管フェンス
○ 樹脂塗装メッシュフェンス	・ アルミフェンス

高さ

○ 図示による

33. 敷地境界石積

種類	※ コンクリートブロック製 (市販品) ・ 花こう岩類 (文字記号等入り)
設置方法	横切り底を突き固めたうえ、厚さ60mmの砂利地層を行い、コンクリートで巻ききして建て込む。建て込みは監督職員の立会いのもとに行う。
コンクリートの割合 (容積比) セメント1：砂2：砂利4程度	

(20.3.2~4)

34. プレキャストコンクリート

補強鉄線	・ 図示による
20-10の設計基準強度	※ 標準仕様書20.3.3(1)による
配筋	※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
取付け方法	※ 図示による

(20.3.2~4)

35. 間知石・コンクリート間知ブロック積み

材 質	材 種	種 類	質量区分	積み方	目塗り	伸縮調整目地
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	・	・	※ 谷積み ・ 布積み	・ 図示による ・	・ 図示による ・
・ コンクリート 間知ブロック	・	・ 積みブロック ・ 丸型ブロック	・ A ・ B	※ 谷積み ・ 布積み	・ 図示による ・	・ 図示による ・

(20.4.2.3)

※ 森田アルミ工業株式会社製

④家具

地震に備え、すべての家具は転倒防止のため金物等により確実に固定すること

21 排水工事	①屋外雨水排水 (排水管材料)	排水管材料 (21.2.1)(表21.2.1)
	(舗装舗た)	舗装舗た (21.2.1)
(グレーチング)	グレーチング (21.2.1)	グレーチング (21.2.1)
	材料、施工 (21.2.1.2)(表21.2.2)	材料、施工 (21.2.1.2)(表21.2.2)
②街きよ、緑石、側溝	街きよ、緑石、側溝 (21.3.1)(表21.3.1)	街きよ、緑石、側溝 (21.3.1)(表21.3.1)
	材料、施工 (21.3.1.2)	材料、施工 (21.3.1.2)

22 舗装工事	①路床 (22.2.2~4.5)	路床の材料 (22.2.2~4.5)
	②路盤 (22.3.2.3.5)(表3.2.1)	路盤の構成、材料、試験 (22.3.2.3.5)(表3.2.1)
③アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1~4)	アスファルト舗装の構成、材料 (22.4.2~6)(表22.4.1~4)	アスファルト舗装の構成、材料 (22.4.2~6)(表22.4.1~4)
	加熱アスファルト混合物等の種類 (22.5.2~4.6)(表22.5.1~3)	加熱アスファルト混合物等の種類 (22.5.2~4.6)(表22.5.1~3)
④コンクリート舗装 (22.6.2~6)(表22.6.1)	コンクリート舗装の構成、厚さ (22.6.2~6)(表22.6.1)	コンクリート舗装の構成、厚さ (22.6.2~6)(表22.6.1)
	コンクリート舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	コンクリート舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)
⑤カラー舗装 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	カラー舗装の構成及び厚さ (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	カラー舗装の構成及び厚さ (22.7.2~6)(表22.7.1~4)
	カラー舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	カラー舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)
⑥透水性 アスファルト舗装 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.7.2~6)(表22.7.1~4)
	透水性アスファルト舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)	透水性アスファルト舗装の材料、施工、試験 (22.7.2~6)(表22.7.1~4)

22 舗装工事(続き)	7.ブロック系舗装 (22.8.2.3)	7.ブロック系舗装 (22.8.2.3)
	⑧砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)	砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)
⑨路面標示用塗料 (22.9.2)(表22.9.1)	路面標示用塗料は、JIS K 5665による (22.9.2)(表22.9.1)	路面標示用塗料は、JIS K 5665による (22.9.2)(表22.9.1)
	車止め用既製コンクリート (22.9.2)(表22.9.1)	車止め用既製コンクリート (22.9.2)(表22.9.1)

23 舗装及び屋上緑化工事	①植栽地の確認等 (23.1.3)	植栽地の確認等 (23.1.3)
	②植栽基礎の整備 (23.2.2.4)	植栽基礎の整備 (23.2.2.4)
③植込み用土 (23.2.3)	植込み用土 (23.2.3)	植込み用土 (23.2.3)
	④土壌改良材 (23.2.3)	土壌改良材 (23.2.3)
⑤樹木 (23.3.2~3.6)	樹木 (23.3.2~3.6)	樹木 (23.3.2~3.6)
	6.支柱 (23.3.2~3.6)	支柱 (23.3.2~3.6)
7.幹巻き用材料 (23.4.2.3)	幹巻き用材料 (23.4.2.3)	幹巻き用材料 (23.4.2.3)
	8.芝 (23.4.2.3)	芝 (23.4.2.3)
9.吹付けは種 (23.4.2)	吹付けは種 (23.4.2)	吹付けは種 (23.4.2)
	10.地被類 (23.4.2)	地被類 (23.4.2)
11.新植樹木、芝等の枯補償 及び移植樹木の枯補償 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)	新植樹木、芝等の枯補償 及び移植樹木の枯補償 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)	新植樹木、芝等の枯補償 及び移植樹木の枯補償 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)
	12.屋上緑化 (23.5.2.3)	屋上緑化 (23.5.2.3)

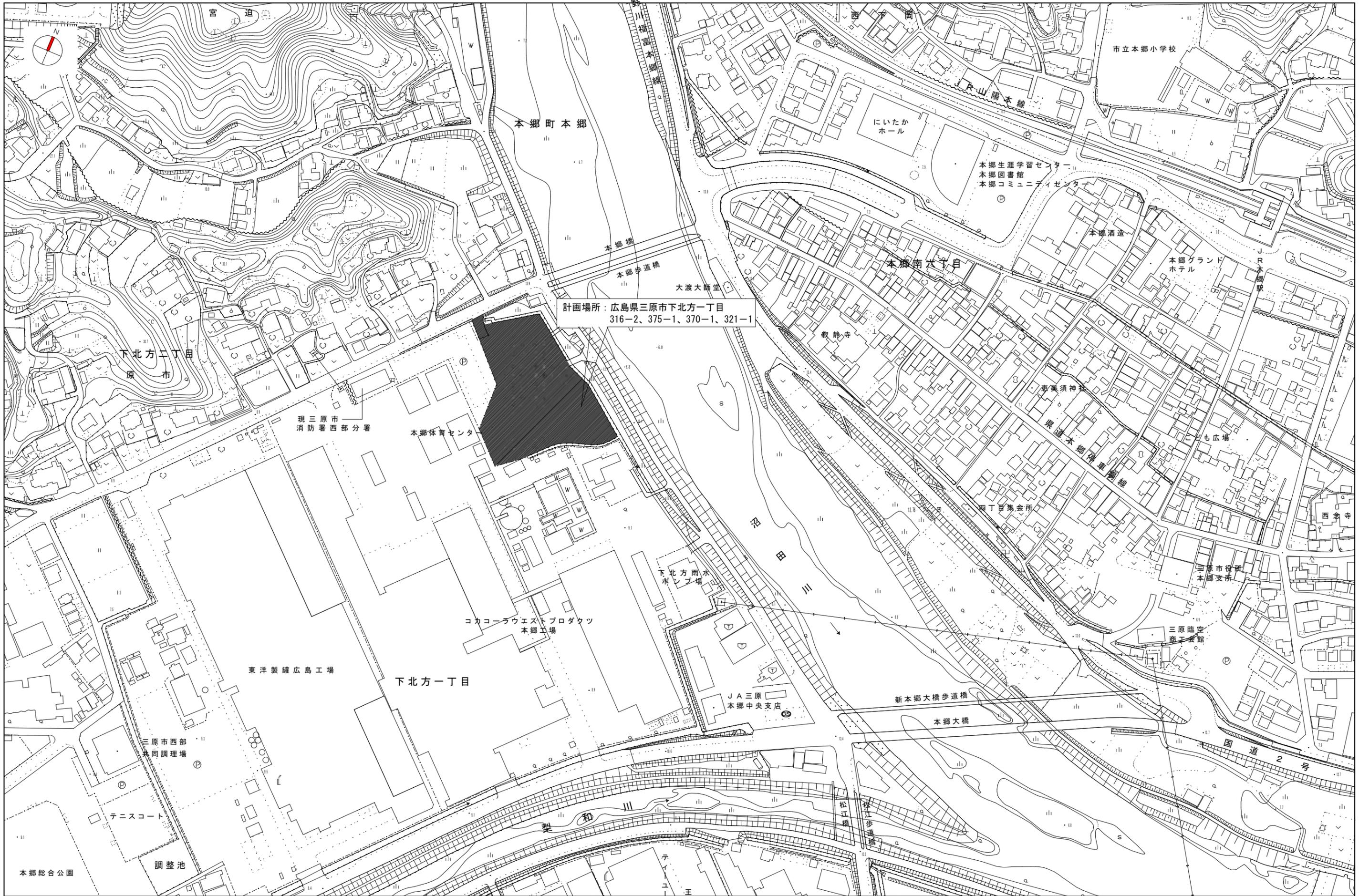
工事区分表

表中 A：建築工事、 E：電気設備工事、 M：機械設備工事、 EV：エレベーター設備工事 を示す

Main table with columns for Item (項目), Content (内容), Classification (A, E, M, etc.), and Remarks (備考). It lists various construction tasks like ductwork, piping, and electrical work.

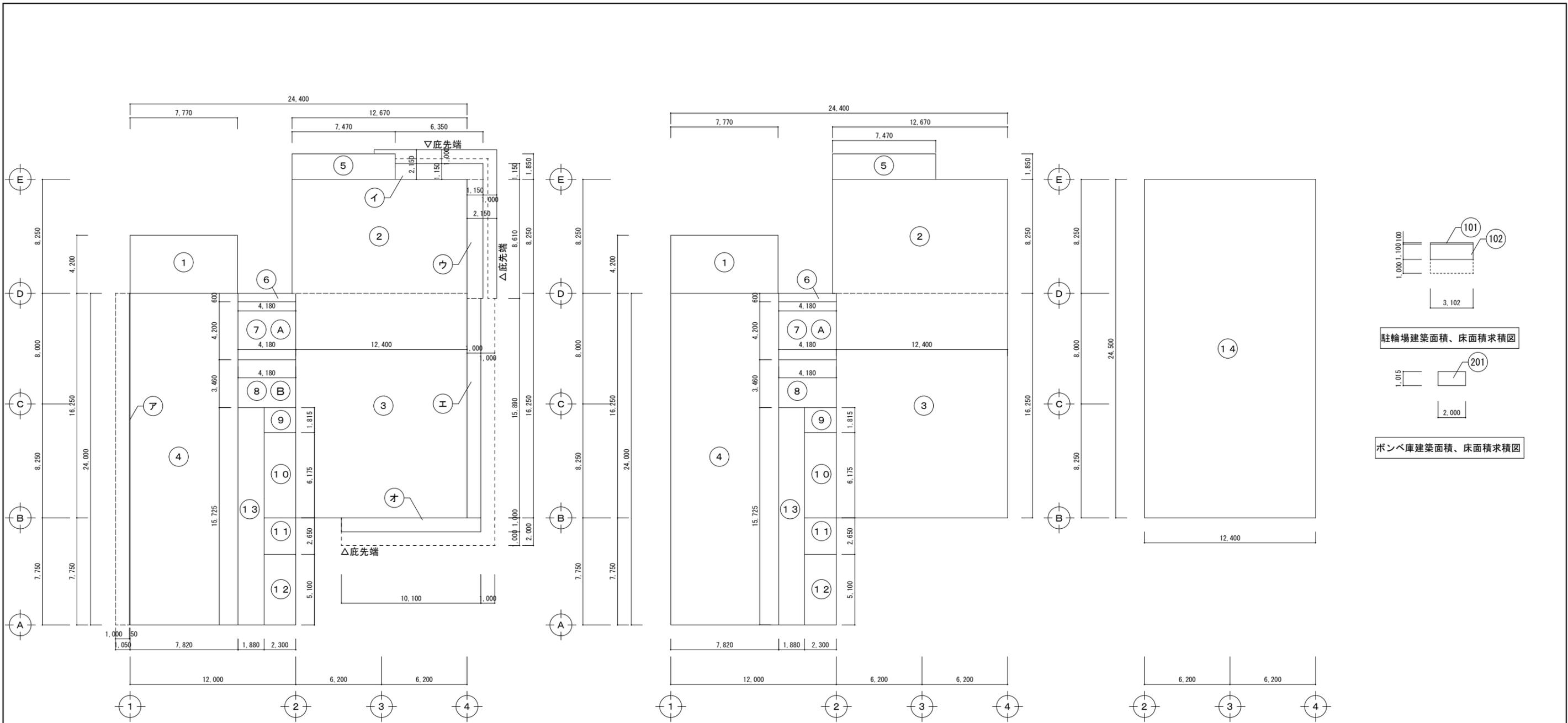
NOTE section with additional notes regarding the document.

Project information footer including company name (株式会社 あい設計 福山支社), title (三原西消防庁舎建設工事 (建築主体工事)), scale (1:500), and drawing number (A-009).



計画場所：広島県三原市下北方一丁目
316-2、375-1、370-1、321-1

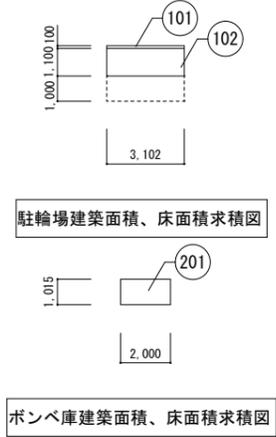
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也	案内図・付近見取り図		
SCALE A2: 1/500 A3: A2の71%					A 010



庁舎棟建築面積積積図

庁舎棟1階床面積積積図

庁舎棟2階床面積積積図

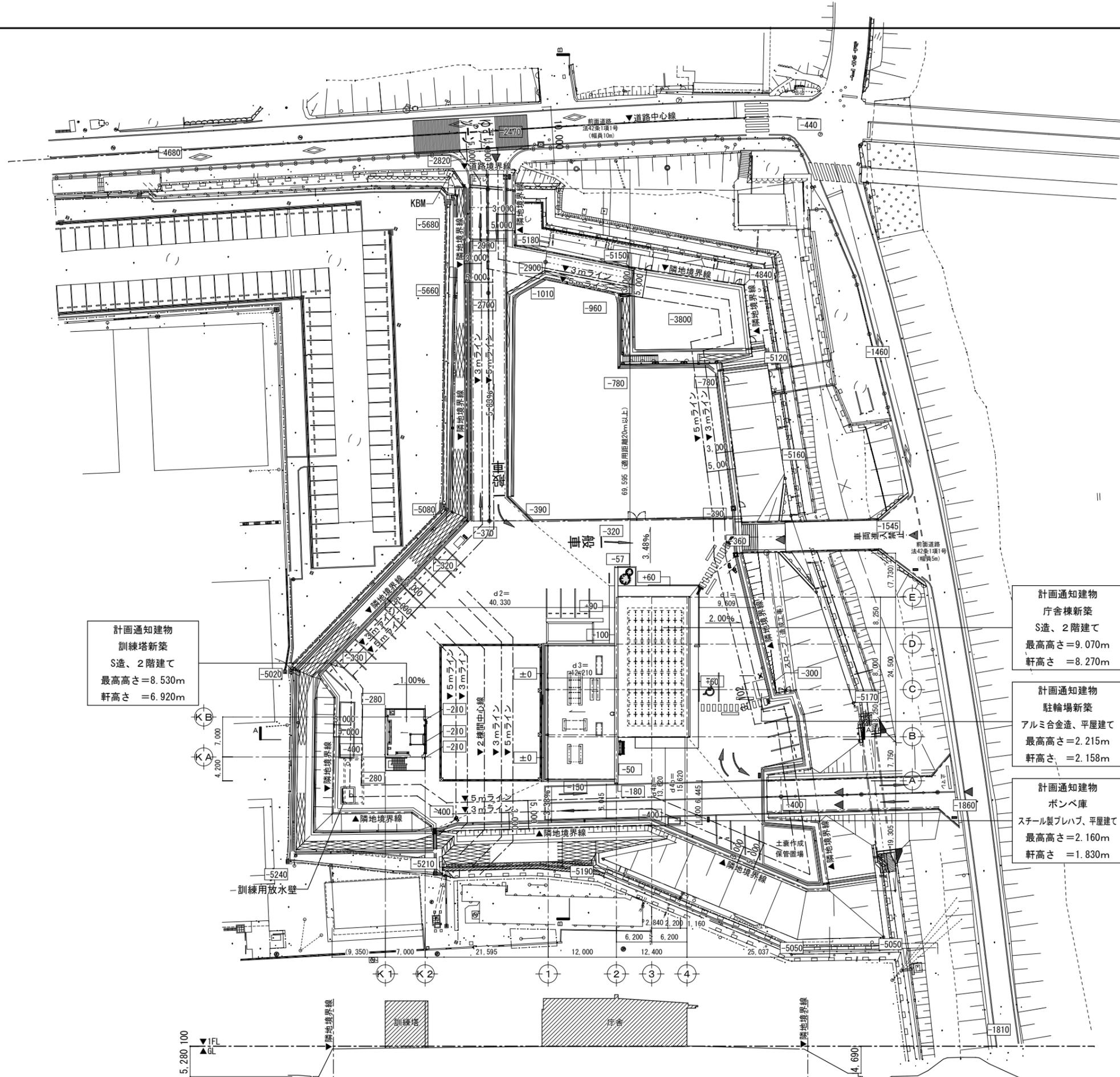


駐輪場建築面積、床面積積積図

ポンペ庫建築面積、床面積積積図

※ (A) (B) は中2階の床を示す

面積表											庁舎棟建築面積		訓練塔建築面積		駐輪場建築面積		ポンペ庫建築面積		合計	
符号	算定式	小計	符号	算定式	小計	符号	算定式	小計	符号	算定式	小計	① ~ ⑬ + ア ~ オ	684.84	計算根拠はA-075図による	61.95	(101) + (102)	3.72	(201)	2.03	752.54
①	7.770 × 4.200	32.634	⑧	4.180 × 3.460	14.462	ア	0.050 × 24.000	1.200	(A)	4.180 × 4.200	17.556	庁舎棟延床面積		訓練塔延床面積		駐輪場延床面積		ポンペ庫延床面積		
②	12.670 × 8.250	104.527	⑨	2.300 × 1.815	4.174	イ	6.350 × 1.150	7.302				① ~ ⑭ + (A)	961.80	計算根拠はA-075図による	98.00	(101) + (102)	3.72	(201)	2.03	1,065.55
③	12.400 × 16.250	201.500	⑩	2.300 × 6.175	14.202	ウ	1.150 × 8.610	9.901				庁舎棟1階		訓練塔1階						
④	7.820 × 24.000	187.680	⑪	2.300 × 2.650	6.095	エ	1.000 × 15.890	15.890	(101)	3.102 × 1.100	3.412	① ~ ⑬	640.45	計算根拠はA-075図による	49.00					
⑤	7.470 × 1.850	13.819	⑫	2.300 × 5.100	11.730	オ	10.100 × 1.000	10.100	(102)	3.102 × 0.100	0.310	庁舎棟2階		訓練塔2階						
⑥	4.180 × 0.600	2.508	⑬	1.880 × 15.725	29.563							(14) + (A)	321.35	計算根拠はA-075図による	49.00					
⑦	4.180 × 4.200	17.556	⑭	12.400 × 24.500	303.80							庁舎棟 車庫面積	(1) + (4) + (9) + (12) + (13)	265.78						

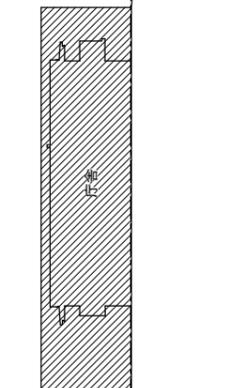


計画通知建物
訓練塔新築
S造、2階建て
最高高さ=8.530m
軒高さ=6.920m

計画通知建物
庁舎棟新築
S造、2階建て
最高高さ=9.070m
軒高さ=8.270m

計画通知建物
駐輪場新築
アルミ合金造、平屋建て
最高高さ=2.215m
軒高さ=2.158m

計画通知建物
ポンペ庫
スチール製プレハブ、平屋建て
最高高さ=2.160m
軒高さ=1.830m



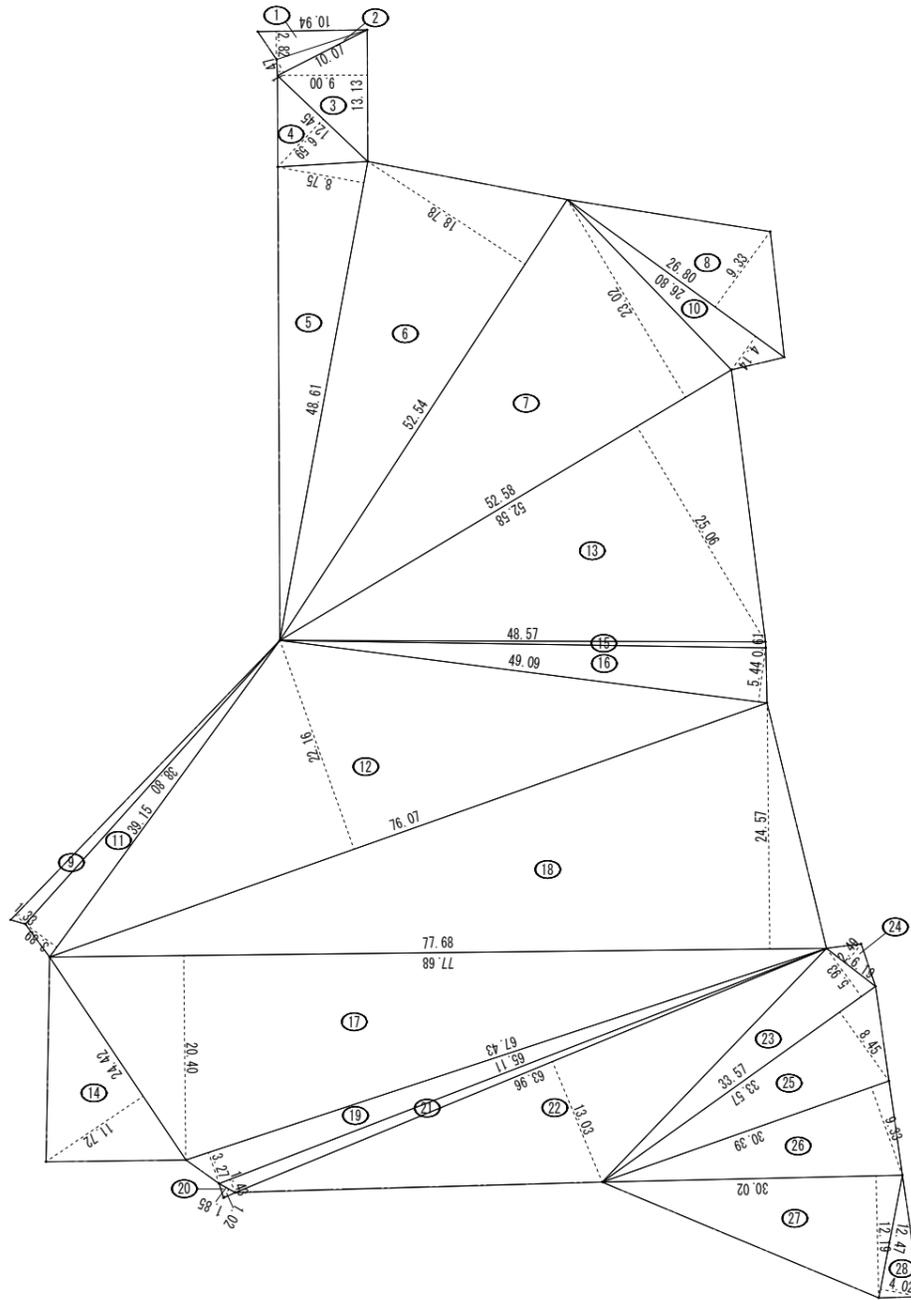
- 凡例
- ***: 設計GLからの高さを示す
設計GL = KBM+2.885、IFL = 設計GL+100
(***): 参考寸法
 - ※自転車置場平均地盤算定
面積: 0㎡
周長: 11.012m
平均GL = 設計GL
 - ※ポンペ庫平均地盤算定
面積: 0㎡
周長: 6.080m
平均GL = 設計GL

5.280.100
IFL
GL

A-A敷地断面図 1/500

B-B敷地断面図 1/500

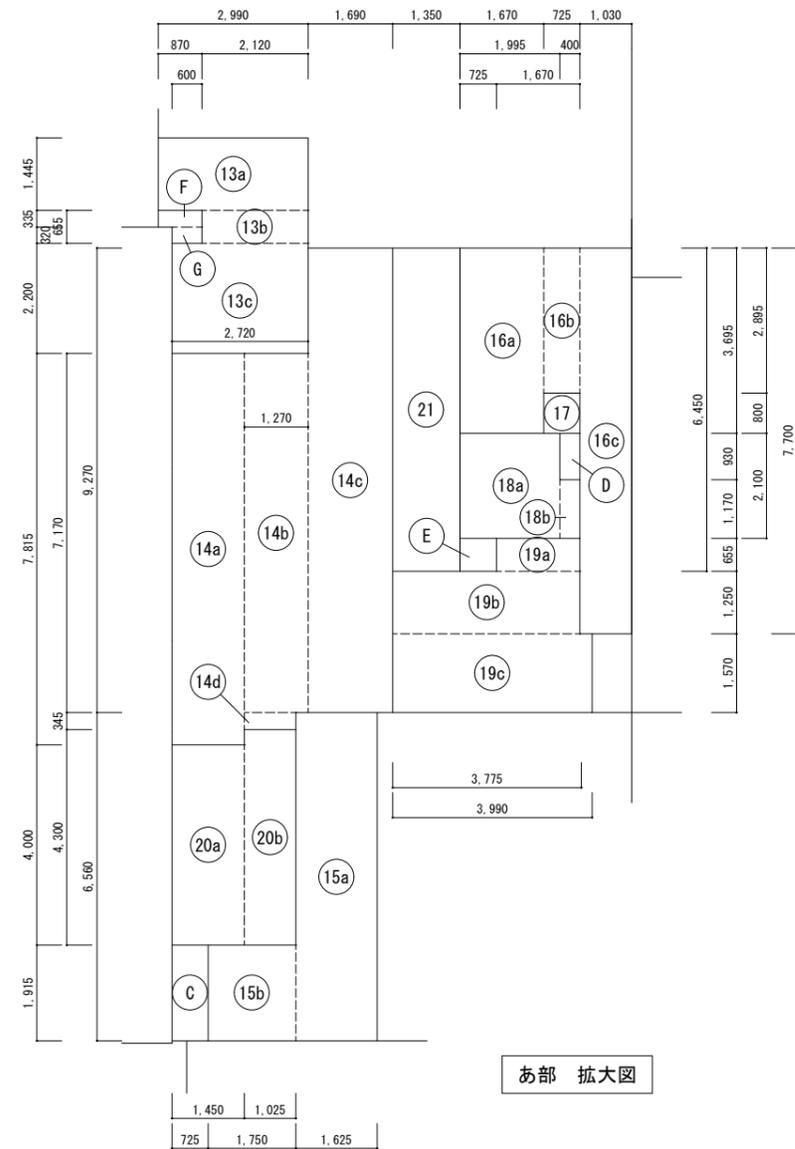
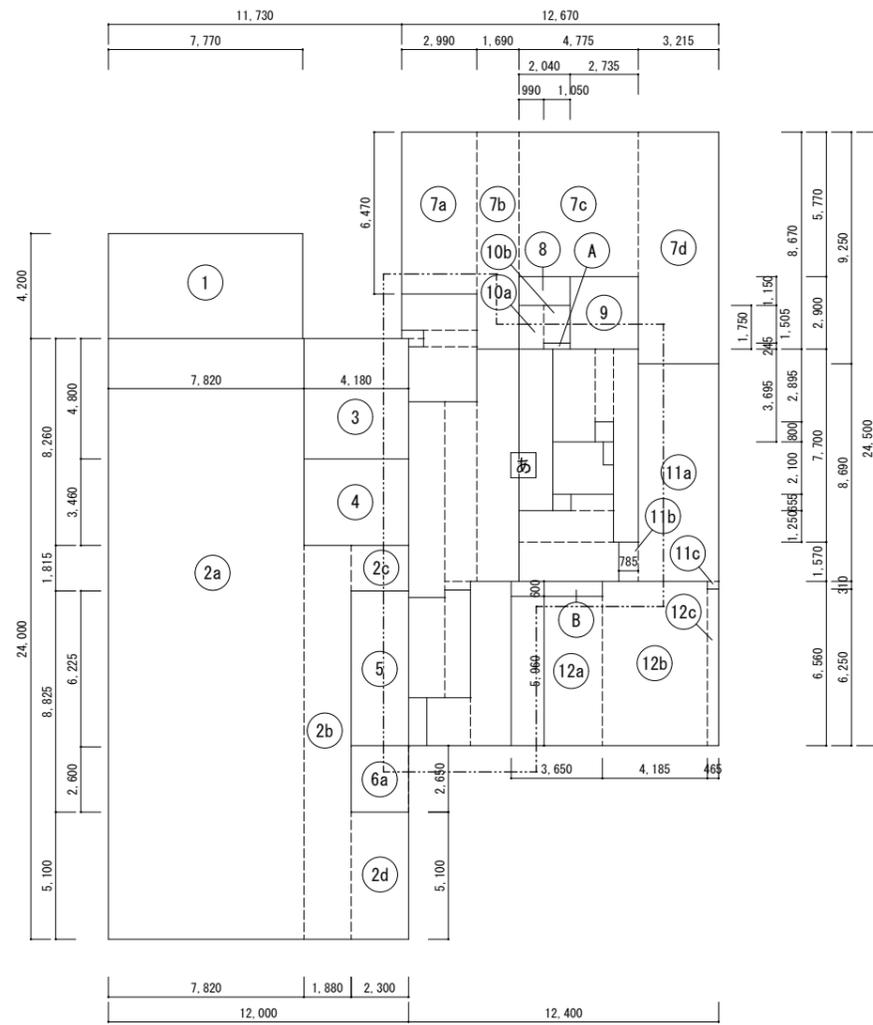
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号		JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	DRG No	A
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公樹	寺川 智也		配置図	SCALE A2: 1/500 A3: A2の71%	012	



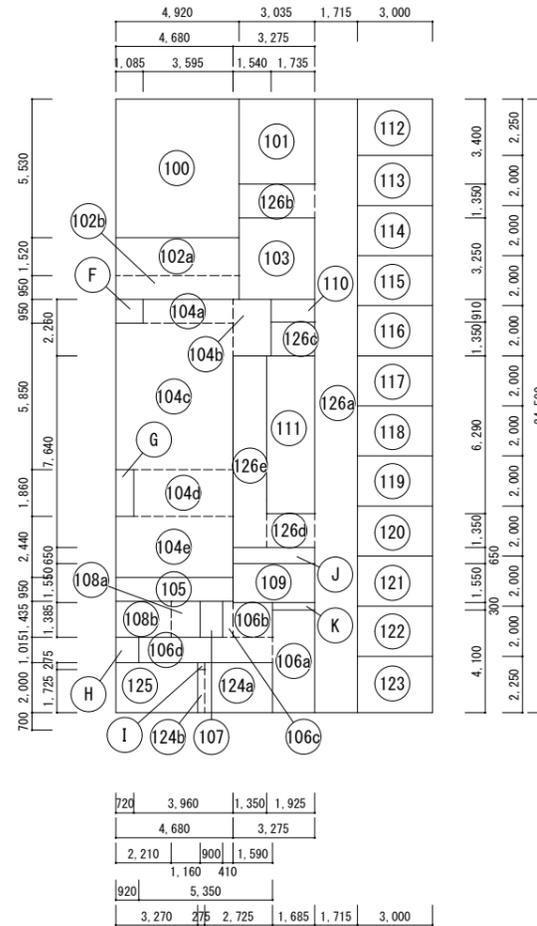
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	10.94	2.82	30.8508	15.42540
2	10.07	1.47	14.8029	7.40145
3	13.13	9.00	118.1700	59.08500
4	12.45	6.59	82.0455	41.02275
5	48.61	8.75	425.3375	212.66875
6	52.54	18.78	986.7012	493.35060
7	52.58	23.02	1,210.3916	605.19580
8	26.80	9.33	250.0440	125.02200
9	38.80	1.33	51.6040	25.80200
10	26.80	4.14	110.9520	55.47600
11	39.15	3.89	152.2935	76.14675
12	76.07	22.16	1,685.7112	842.85560
13	52.58	25.06	1,317.6548	658.82740
14	24.42	11.72	286.2024	143.10120
15	48.57	0.61	29.6277	14.81385
16	49.09	5.44	267.0496	133.52480
17	77.68	20.40	1,584.6720	792.33600
18	77.68	24.57	1,908.5976	954.29880
19	67.43	3.27	220.4961	110.24805
20	1.85	1.02	1.8870	0.94350
21	65.11	1.43	93.1073	46.55365
22	63.96	13.03	833.3988	416.69940
23	33.57	5.93	199.0701	99.53505
24	6.19	2.49	15.4131	7.70655
25	33.57	8.45	283.6665	141.83325
26	30.39	9.33	283.5387	141.76935
27	30.02	12.19	365.9438	182.97190
28	12.47	4.02	50.1294	25.06470
合 計				6,429.67955
敷地面積				6,429.67 m ²

NOTE

	株式会社 あいい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 敷地求積図	DWG No A 013
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也	SCALE A2 : 1/500 A3 : A2の71%		



面積表																				
室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	
車庫-2	1	7.770 × 4.200 = 32.634	32.63		7b	1.690 × 8.670 = 14.652			12b	4.185 × 6.560 = 27.454		MWC-1	16a	1.670 × 3.695 = 6.171	16.20	階段	21	1.350 × 6.450 = 8.708	8.71	
車庫-1	2a	7.820 × 24.000 = 187.680	233.15		7c	4.775 × 5.770 = 27.552			12c	0.465 × 6.250 = 2.906			16b	0.725 × 2.895 = 2.099		PS	A	1.050 × 0.245 = 0.257	0.26	
	2b	1.880 × 15.725 = 29.563			7d	3.215 × 9.250 = 29.739		書庫	13a	2.990 × 1.445 = 4.321	11.69		16c	1.030 × 7.700 = 7.931		EPS	B	3.650 × 0.600 = 2.190	2.19	
	2c	2.300 × 1.815 = 4.175			更衣室	8	2.040 × 1.150 = 2.346	2.35		13b	2.120 × 0.655 = 1.389		SK	17	0.725 × 0.800 = 0.580	0.58	PS	C	0.725 × 1.915 = 1.388	1.39
	2d	2.300 × 5.100 = 11.730			相談室	9	2.735 × 2.900 = 7.932	7.93		13c	2.720 × 2.200 = 5.984		HWC	18a	1.995 × 2.100 = 4.190	4.66	PS	D	0.400 × 0.930 = 0.372	0.37
倉庫 タイヤ庫	3	4.180 × 4.800 = 20.064	20.06	給湯室	10a	0.990 × 1.750 = 1.733	3.31	出勤準備室	14a	1.450 × 7.815 = 11.332	36.46		18b	0.400 × 1.170 = 0.468		PS	E	0.725 × 0.655 = 0.475	0.48	
救急消毒室 救急備品庫	4	4.180 × 3.460 = 14.462	14.46		10b	1.050 × 1.505 = 1.580			14b	1.270 × 7.170 = 9.106		WWC	19a	1.670 × 0.655 = 1.094	12.04	PS	F	0.870 × 0.335 = 0.291	0.48	
水防倉庫 資機材庫	5	2.300 × 6.225 = 14.318	14.32	エントランス	11a	3.215 × 8.690 = 27.938	29.31		14c	1.690 × 9.270 = 15.666			19b	3.745 × 1.250 = 4.681			G	0.600 × 0.320 = 0.192		
油庫	6a	2.300 × 2.650 = 6.095	6.09		11b	0.785 × 1.570 = 1.232			14d	1.025 × 0.345 = 0.354			19c	3.990 × 1.570 = 6.264						
					11c	0.465 × 0.310 = 0.144		倉庫	15a	1.625 × 6.560 = 10.660	14.01	MWC-2	20a	1.450 × 4.000 = 5.800	10.21					
									15b	1.750 × 1.915 = 3.351			20b	1.025 × 4.300 = 4.408						
事務室	7a	2.990 × 6.470 = 19.345	19.345	講堂	12a	3.650 × 5.960 = 21.754	21.754													



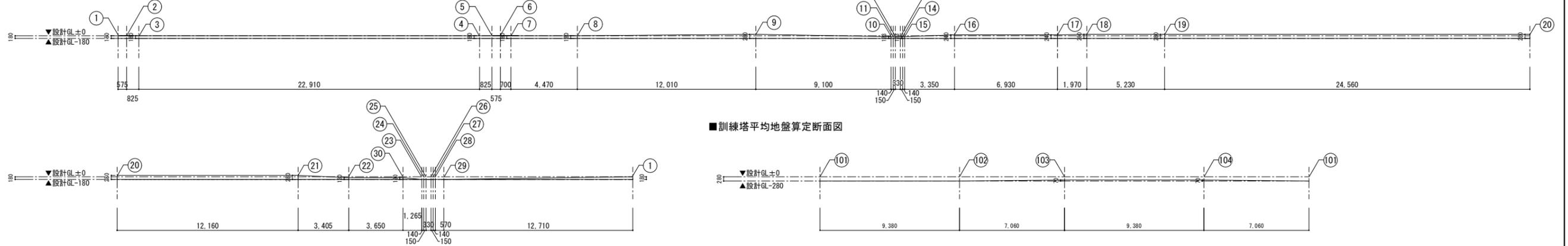
室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計	室名	符号	算定式	小計		
トレーニングルーム	100	4.920 × 5.530 = 27.208	27.21	設備点検通路	105	4.680 × 0.950 = 4.446	4.45	MWC-3	111	1.925 × 6.290 = 12.108	12.11	仮眠室(10)	121	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00	廊下	126e	1.350 × 7.640 = 10.314			
倉庫(1)	101	3.035 × 3.400 = 10.319	10.32	女子休憩スペース	106a	1.685 × 4.100 = 6.909	15.13	仮眠室(1)	112	3.000 × 2.250 = 6.750	6.75	仮眠室(11)	122	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00						
脱衣室(SW)	102a	4.920 × 1.520 = 7.478	12.15		106b	1.590 × 1.385 = 2.202			仮眠室(2)	113	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00	仮眠室(12)	123	3.000 × 2.250 = 6.750	6.75	PS	F	1.085 × 0.950 = 1.031	1.03	
	102b	4.920 × 0.950 = 4.674				106c		0.410 × 1.435 = 0.588		仮眠室(3)	114	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00	仮眠室(13)	124a	2.725 × 2.000 = 5.450	5.92	PS	G	0.720 × 1.860 = 1.339	1.34
手洗い	103	3.035 × 3.250 = 9.864	9.86		106d	5.350 × 1.015 = 5.430			仮眠室(4)	115	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00			124b	0.275 × 1.725 = 0.474			EPS	H	0.920 × 1.000 = 0.920
食堂・厨房	104a	3.595 × 0.950 = 3.415	53.05	女子休憩スペースWC	107	0.900 × 1.435 = 1.292	1.29	仮眠室(5)	116	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00	仮眠室(14)	125	3.270 × 2.000 = 6.540	6.54	PS	I	0.275 × 0.275 = 0.076	0.08		
	104b	1.540 × 2.260 = 3.480			女子休憩スペース脱衣室(UB)	108a	1.160 × 1.435 = 1.665	4.84	仮眠室(6)	117	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00	廊下	126a	1.715 × 24.500 = 42.018	61.37	EPS	J	3.275 × 0.650 = 2.129	2.13	
	104c	4.680 × 5.850 = 27.378			108b	2.210 × 1.435 = 3.171			仮眠室(7)	118	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00		126b	3.035 × 1.350 = 4.097			PS	K	1.685 × 0.300 = 0.506	0.51
	104d	3.960 × 1.860 = 7.366			倉庫(2)	109	3.275 × 1.550 = 5.076	5.08	仮眠室(8)	119	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00		126c	1.735 × 1.350 = 2.342						
	104e	4.680 × 2.440 = 11.419			掃除道具入	110	1.735 × 0.910 = 1.578	1.58	仮眠室(9)	120	3.000 × 2.000 = 6.000	6.00		126d	1.925 × 1.350 = 2.598						

NOTE

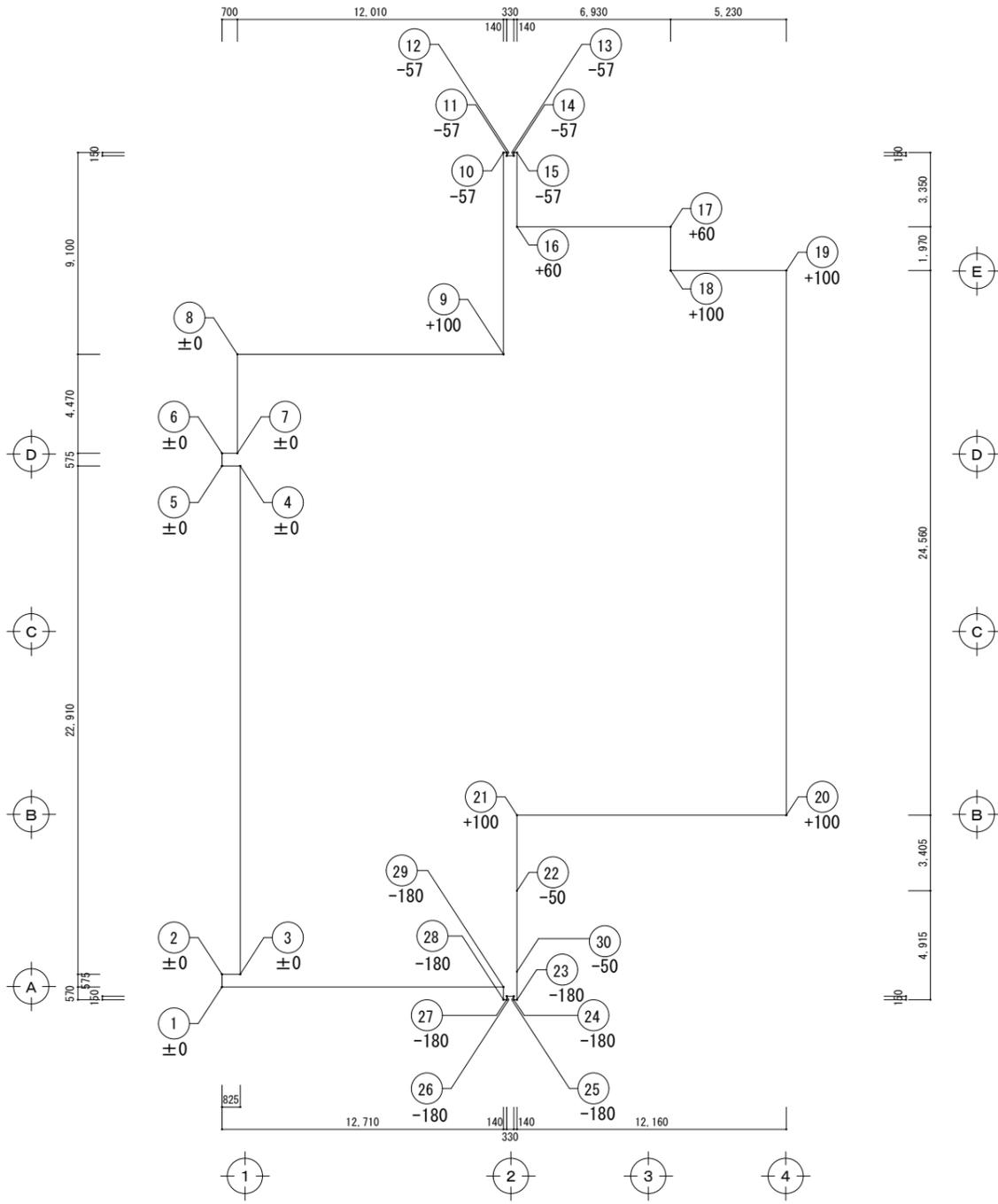
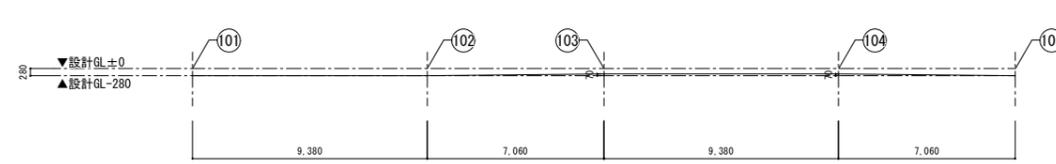
株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】2階室面積求積図	SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%	A 015
--	-------	--	-------------------------------	----------



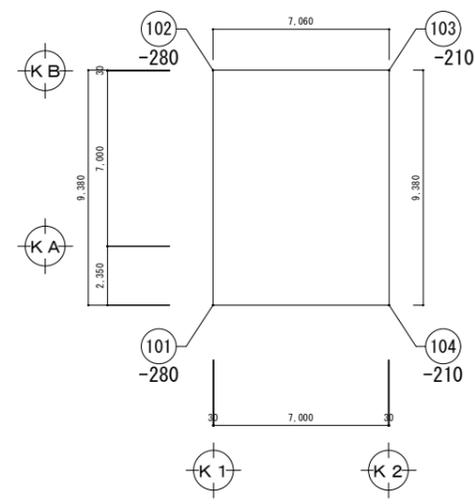
■庁舎棟平均地盤算定断面図



■訓練塔平均地盤算定断面図



庁舎棟平均地盤算定平面図



訓練塔平均地盤算定平面図

■庁舎棟平均地盤算定表

地盤面算定式 (m)				
符号	周長	高さ	計	
1 - 2	0.575	0.180	0.103500	
2 - 3	0.825	0.180	0.148500	
3 - 4	22.910	0.180	4.123800	
4 - 5	0.825	0.180	0.148500	
5 - 6	0.575	0.180	0.103500	
6 - 7	0.700	0.180	0.126000	
7 - 8	4.470	0.180	0.804600	
8 - 9	12.010	$(0.18+0.28) \times 0.5$	0.230	2.762300
9 - 10	9.100	$(0.28+0.123) \times 0.5$	0.2015	1.833650
10 - 11	0.140	0.123	0.017220	
11 - 12	0.150	0.123	0.018450	
12 - 13	0.330	0.123	0.040590	
13 - 14	0.150	0.123	0.018450	
14 - 15	0.140	0.123	0.017220	
15 - 16	3.350	$(0.123+0.240) \times 0.5$	0.1815	0.608025
16 - 17	6.930	0.240	1.663200	
17 - 18	1.970	$(0.240+0.280) \times 0.5$	0.260	0.512200
18 - 19	5.230	0.280	1.464400	
19 - 20	24.560	0.280	6.876800	
20 - 21	12.160	0.280	3.404800	
21 - 22	3.405	$(0.280+0.130) \times 0.5$	0.205	0.698025
22 - 30	3.650	0.130	0.474500	
30 - 23	1.265	0.130×0.5	0.065	0.082225
23 - 24	0.140	0.000	0.000000	
24 - 25	0.150	0.000	0.000000	
25 - 26	0.330	0.000	0.000000	
26 - 27	0.150	0.000	0.000000	
27 - 28	0.140	0.000	0.000000	
28 - 29	0.570	0.000	0.000000	
29 - 1	12.710	0.180×0.5	0.090	1.143900
小計			27.194	
			$27.194 \div 129.610$ (周長計)	0.209814
209.81mm - 180.00mm = 29.81mm ≒ 30mm				
結果：平均GL=設計GL+30mmとする。				
※高さは設計GLからの高さを示す				

■訓練塔平均地盤算定表

地盤面算定式 (m)				
符号	周長	高さ	計	
101 - 102	9.380	0.000	0.000000	
102 - 103	7.060	0.07×0.5	0.035	0.247100
103 - 104	9.380	0.070	0.656600	
104 - 101	7.060	0.07×0.5	0.035	0.247100
小計	32.880		1.2048	
			$1.2048 \div 32.880$ (周長計)	0.036642
36.64mm - 280.00mm = -243.36mm ≒ -240mm				
結果：平均GL=設計GL-240mmとする。				
※高さは設計GLからの高さを示す				

NOTE

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行保 公嗣
 寺川 智也

JOB No: - DATE: - TITLE: 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
 【庁舎棟】平均地盤算定図 SCALE: A2: 1/200 A3: A2の71% DWG No: A 016
 A12019.11.1

■ 共通事項				■ 外部仕上表																																																													
1 (○-○-○)内の数字は、建築工事標準詳細図(平成28年版)の詳細番号を示す。				棟																																																													
略号				部位																																																													
下地・仕上材等				箇所																																																													
略号				仕上げ																																																													
備考				備考																																																													
<p>【基材】</p> <p>C コンクリート</p> <p>SB 鉄筋コンクリート用棒鋼</p> <p>RS 一般構造用圧延鋼材</p> <p>PC プレキャストコンクリート</p> <p>CB コンクリートブロック</p> <p>ALC 軽量気泡コンクリートパネル</p> <p>EOP 押出成形金属板</p> <p>M モルタル</p> <p>SL セルフレベリング材</p> <p>BA 建築用下地調整塗材</p> <p>LGS 軽量鉄骨下地(壁、天井)</p> <p>W 木</p> <p>B ボード類</p> <p>ST スチール</p> <p>AL アルミニウム</p> <p>SUS ステンレス</p> <p>【工法】</p> <p>GL 直張り工法</p> <p>T 金ごて仕上げ</p> <p>F はけ引き仕上げ</p> <p>WT 木ごて仕上げ</p> <p>【コンクリート表面の仕上り状態】</p> <p>C(+) コンクリート打放し仕上げ(種別*:A,B,C)</p> <p>C(+)-B コンクリート打放し仕上げ(平たんさの種別@:a,b,c)</p> <p>C(D) 床コンクリート直均し仕上げ</p> <p>C(D)-B 床コンクリート直均し仕上げ(平たんさの種別@:a,b,c)</p>	<p>【塗料】</p> <p>SOP 合成樹脂調合ペイント塗り</p> <p>CL クリヤラッカー塗り</p> <p>FE フタル酸樹脂エナメル塗り</p> <p>NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</p> <p>DP-1 耐候性塗料塗り(上塗り1級:ふっ素系樹脂)</p> <p>DP-2 耐候性塗料塗り(上塗り2級:シリコン系樹脂)</p> <p>DP-3 耐候性塗料塗り(上塗り3級:ポリウレタン系樹脂)</p> <p>EP-6 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り</p> <p>UC ウレタン樹脂フニス塗り</p> <p>LE ラッカーエナメル塗り</p> <p>OS オイルステイン塗り</p> <p>WP 木材保護塗料塗り(外部用)</p> <p>WP-i 木材保護塗料塗り(内部用)</p> <p>AE アクリル樹脂エナメル塗り</p> <p>AC アクリル樹脂フニス塗り</p> <p>EP-Si 汚染除去性内装用シリコンエマルジョン系塗料塗り</p> <p>HRP 高日射反射率塗料塗り</p> <p>HexP 熱交換塗料塗り</p> <p>【内装材料 他】</p> <p>VS ビニル床シート</p> <p>VT ビニル床タイル</p> <p>FOA 重ねきビニル床タイル</p> <p>TC タイルカーペット</p> <p>OAF フリーアクセスフロア(重ねき式)(OAフロア)</p> <p>VB ビニル幅木</p> <p>WB 木製幅木</p> <p>【天井廻縁】</p> <p>① 塩化ビニル製 アルミニウム製</p> <p>②</p>	<p>【内装材料 他】</p> <p>GB-R せっこうボード</p> <p>GB-R-H 普通硬質せっこうボード</p> <p>GB-S シーリングせっこうボード</p> <p>GB-F 強化せっこうボード</p> <p>GB-L せっこうラスボード</p> <p>GB-D 化粧せっこうボード(トラバーチン模様)</p> <p>GB-D(P) 化粧せっこう吸音ボード</p> <p>GB-NC 不燃積層せっこうボード(化粧なし:下地張り用)</p> <p>GB-NC(T) 不燃積層せっこうボード(化粧あり:トラバーチン模様)</p> <p>GB-P 吸音用あなきせっこうボード(化粧なし:塗装用)</p> <p>DR ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)</p> <p>DR-U ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)</p> <p>FK (繊維強化セメント板)けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>FK-D (繊維強化セメント板)化粧けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>FK-P (繊維強化セメント板)有孔けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>RW-B ロックウール吸音ボード</p> <p>GW-B グラスウール吸音ボード</p> <p>RW ロックウールグラスクロス張り</p> <p>GW グラスウールグラスクロス張り</p> <p>XPS 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</p> <p>RD ルーフドレン</p> <p>HD 横走りルーフドレン</p> <p>CD 中継ドレン</p> <p>OF オーバーフロー管</p> <p>TD とい</p> <p>【天井廻縁】</p> <p>① 塩化ビニル製 アルミニウム製</p> <p>②</p>	<p>【コンクリートの打放し仕上げ、仕上りの平たんさ】(種別は標準仕様書表6.2.4,表6.2.5による)</p> <p>打放し平たんさ 仕上げ</p> <p>C(A)-a A種 a種 (BA下地) 9/8張り(接着剤張り)</p> <p>(C下地) 9/8直張り(9/8張り)</p> <p>(C下地) 9/8直張り(接着剤張り)</p> <p>C(B)-a B種 a種 (BA下地) 塗装 (BA下地) 9/8直張り</p> <p>b種 (BA下地) 仕上塗材 (BA下地) 9/8直張り(9/8張り)</p> <p>防水層立上り部</p> <p>C(C)-b C種 b種 直張り工法(GL)下地</p> <p>C(C)-c c種 9/8張り</p> <p>C(D)-a D種 a種 ビニル系・ゴム系床材張り 合成樹脂塗床</p> <p>ビニル系・ゴム系床材張り 9/8直張り</p> <p>7/7-7/7-7/7 (重ねき式) 床コブ+直均し仕上げのまま</p> <p>7/7-7/7-7/7 (7/7-7/7-7/7) 7/7-7/7-7/7 (支柱調整式)</p> <p>b種 上記以外の9/8直張り 7/7-7/7-7/7 (支柱調整式)</p> <p>防水下地 保護2/7-1表面 9/8直張り</p> <p>c種 9/8直張り 9/8直張り</p> <p>床下ビニル床表面 7/7-7/7-7/7以外の二重床</p>	<p>【居室】</p> <p>居室</p> <p>採光上の無窓居室</p> <p>排煙上の無窓居室</p> <p>【内装制限】</p> <p>難 仕上材を難燃材料</p> <p>準 仕上材を準不燃材料</p> <p>不 仕上材を不燃材料</p> <p>⑤ 下地、仕上材を準不燃材料</p> <p>⑥ 下地、仕上材を不燃材料</p> <p>【排煙設備】</p> <p>自然排煙</p> <p>機械排煙</p> <p>令1~4 建築基準法施行令 第126条の2 第1項 第1号,2号,3号,4号</p> <p>告イ~ホ H12建告1436号 第4イ,ロ,ハ,ホ</p> <p>告ニ1~4 H12建告1436号 第4ニ(1),(2),(3),(4)</p>	<p>■ 外部仕上表</p> <p>棟</p> <p>部位</p> <p>箇所</p> <p>仕上げ</p> <p>備考</p>																																																												
<p>■ 認定番号リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 質</th> <th>認定番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>せっこうボード GB-R t12.5以上</td><td>NM-9619</td></tr> <tr><td>せっこうボード GB-R t9.5</td><td>QM-9828</td></tr> <tr><td>不燃積層せっこうボード GB-NC</td><td>NM-0441</td></tr> <tr><td>不燃積層せっこうボード GB-NC(T)</td><td>NM-1864</td></tr> <tr><td>シーリングせっこうボード GB-S(不燃)</td><td>NM-9639</td></tr> <tr><td>シーリングせっこうボード GB-S(準不燃)</td><td>QM-0898</td></tr> <tr><td>強化せっこうボード GB-F</td><td>NM-9615</td></tr> <tr><td>普通硬質せっこうボード GB-R-H</td><td>NM-9645</td></tr> <tr><td>化粧せっこうボード GB-D(不燃)</td><td>NM-0879</td></tr> <tr><td>化粧せっこうボード GB-D(準不燃)</td><td>QM-0524</td></tr> <tr><td>化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃)</td><td>NM-0879</td></tr> <tr><td>化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃紙張り)</td><td>QM-9822</td></tr> <tr><td>吸音用あなきせっこうボード GB-P(不燃紙張り)</td><td>QM-9827</td></tr> <tr><td>ロックウール化粧吸音板 DR</td><td>NM-8599</td></tr> <tr><td>けい酸カルシウム板(9/7*2) FK</td><td>NM-8576</td></tr> <tr><td>化粧けい酸カルシウム板(9/7*2) FK-D</td><td>NM-8577</td></tr> <tr><td>メラミン不燃化粧合板</td><td>NM-2183</td></tr> <tr><td>ロックウール吸音ボード RW-B</td><td>NM-8600</td></tr> <tr><td>グラスウール吸音ボード GW-B</td><td>NM-8605</td></tr> <tr><td>ロックウールグラスクロス張り RW</td><td>NM-8602</td></tr> <tr><td>グラスウールグラスクロス張り GW</td><td>NM-8610</td></tr> <tr><td>塗料塗装</td><td>NM-8585, QM-9816, RM-9364</td></tr> <tr><td>無機質砂壁状吹付材塗り</td><td>NM-8571, QM-9811, RM-9366</td></tr> <tr><td>有機質砂壁状塗料塗り</td><td>NM-8572, QM-9812, RM-9361</td></tr> <tr><td>複合型化粧用仕上塗り</td><td>NM-8573, QM-9813, RM-9362</td></tr> <tr><td>吹付けワック-耐火被覆(柱1時間)</td><td>FP060CN-9460</td></tr> <tr><td>吹付けワック-耐火被覆(柱2時間)</td><td>FP120CN-9463</td></tr> <tr><td>吹付けワック-耐火被覆(はり1時間)</td><td>FP060BM-9408</td></tr> <tr><td>吹付けワック-耐火被覆(はり2時間)</td><td>FP120BM-9411</td></tr> </tbody> </table>				材 質	認定番号	せっこうボード GB-R t12.5以上	NM-9619	せっこうボード GB-R t9.5	QM-9828	不燃積層せっこうボード GB-NC	NM-0441	不燃積層せっこうボード GB-NC(T)	NM-1864	シーリングせっこうボード GB-S(不燃)	NM-9639	シーリングせっこうボード GB-S(準不燃)	QM-0898	強化せっこうボード GB-F	NM-9615	普通硬質せっこうボード GB-R-H	NM-9645	化粧せっこうボード GB-D(不燃)	NM-0879	化粧せっこうボード GB-D(準不燃)	QM-0524	化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃)	NM-0879	化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃紙張り)	QM-9822	吸音用あなきせっこうボード GB-P(不燃紙張り)	QM-9827	ロックウール化粧吸音板 DR	NM-8599	けい酸カルシウム板(9/7*2) FK	NM-8576	化粧けい酸カルシウム板(9/7*2) FK-D	NM-8577	メラミン不燃化粧合板	NM-2183	ロックウール吸音ボード RW-B	NM-8600	グラスウール吸音ボード GW-B	NM-8605	ロックウールグラスクロス張り RW	NM-8602	グラスウールグラスクロス張り GW	NM-8610	塗料塗装	NM-8585, QM-9816, RM-9364	無機質砂壁状吹付材塗り	NM-8571, QM-9811, RM-9366	有機質砂壁状塗料塗り	NM-8572, QM-9812, RM-9361	複合型化粧用仕上塗り	NM-8573, QM-9813, RM-9362	吹付けワック-耐火被覆(柱1時間)	FP060CN-9460	吹付けワック-耐火被覆(柱2時間)	FP120CN-9463	吹付けワック-耐火被覆(はり1時間)	FP060BM-9408	吹付けワック-耐火被覆(はり2時間)	FP120BM-9411	<p>■ 特記事項 【特記なき限り次のとおりとする。】</p> <p>共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 床コンクリート直均し仕上げ(C(D))は金ごて仕上げ(T)とする。 モルタル(M)塗りは金ごて仕上げ(T)とする。 PS, EPS, OSの床は原則として水平区画とし、C(D)-aの上、防塵塗装とする。 断熱材打込みの施工範囲は(7-01)による。 屋根防水が断熱工法の場合、ルーフドレン(RD, HD)周りは、スラブ下面に断熱を施す。(5-32-1) 内装仕上げ、下地材、天井内に使用する材料は、F☆☆☆☆とする。 カーテン、じゅうたんは防災処理仕様とする。 外部に面する箇所には、断熱材を用いる。 屋根スラブ:硬質ウレタンフォーム t25 床スラブ:押出法ポリスチレンフォーム(3種b) t25打込 外周部壁:硬質ウレタンフォーム吹付 t25 <p>天井</p> <ul style="list-style-type: none"> 天井下地は、軽量鉄骨天井下地(LGS)とする。 ロックウール化粧吸音板(DR)の下張りは、せっこうボード(GB-R) t=9.5とする。 軽量鉄骨天井下地(LGS)で表面ボードが目隠し張りの場合、野縁以外の目地部分に目地板を入れる。 廻縁は、塩ビ製(⑤)とする。 <p>防水</p> <ul style="list-style-type: none"> 防水層保護コンクリートは、厚90mm(溶接金網(6φ×100網目)敷き込み)。表面はC(D)-bとする。 ルーフドレン(RD, HD)が1ヶ所の屋根は、オーバーフロー管(OF)(SUSパイプ50φ)を設ける。 <p>床、幅木</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上高は、FLからの仕上高さを示し、±0とする。 コンクリートスラブ高さは、FLからの寸法を示し、FL-10mmとする。なお、天端の増し打ち(ふかし)寸法は、t=10mm(仕上げ材を含む)とし、コンクリート表面は、C(D)-aとする。(1-01-3) (1-01-4) 異なる床仕上げ材の取合いで、くつずり、目地棒など仕上げ見切りがない場合は、(4-31-3)による。 床材立ち上げ幅木は、樹脂系見切を用いる。 階段部分の幅木は、ササラ幅木とする。 <p>壁、柱</p> <ul style="list-style-type: none"> 間仕切り下地は、軽量鉄骨壁下地(LGS)とする。 ボード出隅部は、塩ビ製ジョイナーを用いて補強する。 化粧けい酸カルシウム板(FK-D)の出隅、入隅、ジョイント部などはアルミ製ジョイナーを用いる。(2-04-1) タイル接着剤張りの下地ボードは、シーリングせっこうボード(GB-S)を使用する。(2-01-3) 表面ボードがけい酸カルシウム板(FK)又はシーリングせっこうボード(GB-S)の場合、耐火間仕切り部分はその上に増張りとし、それ以外は表面ボードを置換する。 下がり壁の仕上げは壁と同じとする。(3-12-1) 柱型及び梁型の仕上げは、壁仕上げと同じとする。 軽量鉄骨壁下地(LGS)で、壁に取りつく手摺、欄、便器等がある場合は下地補強を行う。 外部に面するコンクリートは20mmの打増しを行う。(2-02-7~11) 	<p>■ 外部仕上表</p> <p>棟</p> <p>部位</p> <p>箇所</p> <p>仕上げ</p> <p>備考</p>
材 質	認定番号																																																																
せっこうボード GB-R t12.5以上	NM-9619																																																																
せっこうボード GB-R t9.5	QM-9828																																																																
不燃積層せっこうボード GB-NC	NM-0441																																																																
不燃積層せっこうボード GB-NC(T)	NM-1864																																																																
シーリングせっこうボード GB-S(不燃)	NM-9639																																																																
シーリングせっこうボード GB-S(準不燃)	QM-0898																																																																
強化せっこうボード GB-F	NM-9615																																																																
普通硬質せっこうボード GB-R-H	NM-9645																																																																
化粧せっこうボード GB-D(不燃)	NM-0879																																																																
化粧せっこうボード GB-D(準不燃)	QM-0524																																																																
化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃)	NM-0879																																																																
化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)(不燃紙張り)	QM-9822																																																																
吸音用あなきせっこうボード GB-P(不燃紙張り)	QM-9827																																																																
ロックウール化粧吸音板 DR	NM-8599																																																																
けい酸カルシウム板(9/7*2) FK	NM-8576																																																																
化粧けい酸カルシウム板(9/7*2) FK-D	NM-8577																																																																
メラミン不燃化粧合板	NM-2183																																																																
ロックウール吸音ボード RW-B	NM-8600																																																																
グラスウール吸音ボード GW-B	NM-8605																																																																
ロックウールグラスクロス張り RW	NM-8602																																																																
グラスウールグラスクロス張り GW	NM-8610																																																																
塗料塗装	NM-8585, QM-9816, RM-9364																																																																
無機質砂壁状吹付材塗り	NM-8571, QM-9811, RM-9366																																																																
有機質砂壁状塗料塗り	NM-8572, QM-9812, RM-9361																																																																
複合型化粧用仕上塗り	NM-8573, QM-9813, RM-9362																																																																
吹付けワック-耐火被覆(柱1時間)	FP060CN-9460																																																																
吹付けワック-耐火被覆(柱2時間)	FP120CN-9463																																																																
吹付けワック-耐火被覆(はり1時間)	FP060BM-9408																																																																
吹付けワック-耐火被覆(はり2時間)	FP120BM-9411																																																																
<p>NOTE</p>				<p>株式会社 あい設計 福山支社</p> <p>〒691-0001 福山 三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)</p> <p>SCALE 1/50</p> <p>DATE -</p> <p>TITLE 三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)</p> <p>DWG. No. A-017</p>																																																													

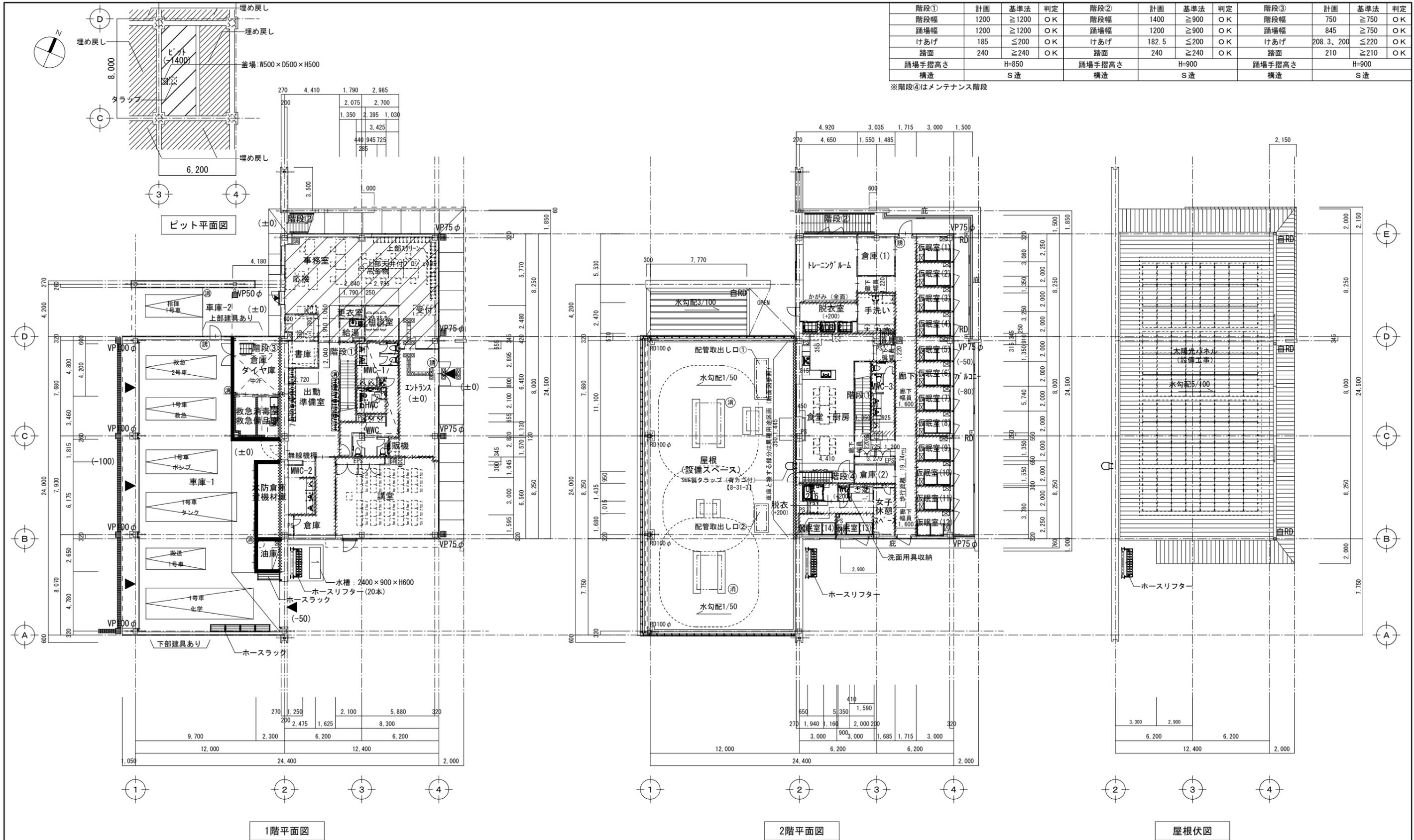
■ 内部仕上表																																	
1 【VOC 箇所】：化学物質の濃度測定の対象室及び測定箇所数を示す。																																	
階	室名	居室	内装制限	排煙設備	床仕上高		床		幅木		壁		天井		備考	階	室名	居室	内装制限	排煙設備	床仕上高		床		幅木		壁		天井		備考		
					スラブ高	下地	仕上	下地	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上							廻縁	天井高	スラブ高	下地	仕上	下地	仕上	高さ	下地	仕上		下地	仕上
1階	エントランス	-	準	-	±0	C(D)-a	浸透性コンクリート 表面強化材 カッター目地@3000程度	-	-	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +磁器質タイル 一部マグネット クロス張り	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	SUS製点字ブロック (鉄)	2階	仮眠室(1)~(14) 【VOC 1箇所】 測定場所に指定はない	○	難	-	±0	C(D)-b	TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス GW24K t50	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	ベッド、収納 ブラインドボックス
	事務室 【VOC 2箇所】	○	難	-	±0	C(D)-b	OAフロアH100+TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス 一部 スチールパーティション 一部マグネット クロス張り	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	行事用ホワイトボード ブラインドボックス、消火器BOX(埋込) プロジェクター吊金物 機器台(別途工事) 木製スクリーンボックス (W2600×D150×H150)	女子休憩スペース	-	準	-	±0	C(D)-b	TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス GW24K t50(一部)	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	手洗いカウンター 面台：ポストフォーム t20 化粧鏡、洗濯パン 洗面用器具収納	
	相談室	-	難	-	±0	C(D)-a	OAフロアH100+TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス 一部 スチールパーティション	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600		WC (女子休憩スペース)	-	準	-	+200	C(D)-c	木下地+VS(耐汚染仕様)	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.400	吊戸棚：ポリ合板フラッシュ L型手摺	
	給湯室	-	準	-	±0	C(D)-a	OAフロアH100+TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	ミニキッチンL1200 (IH)	脱衣室 (女子休憩スペース)	-	準	-	+200	C(D)-c	木下地+VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.400	脱衣棚：ポリ合板フラッシュ UB1216	
	更衣室	-	準	-	±0	C(D)-a	OAフロアH100+TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600		食堂 厨房 【VOC 2箇所】	○	難	-	±0	C(D)-a	VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス 一部キッチンパネル t3	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	L型キッチンL2700+1100+450 レンジフード ブラインドボックス	
	書庫	-	不	-	±0	C(D)-a	一部TC 一部OAフロアH100+TC	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	棚(備品)	脱衣室	-	準	-	+200	C(D)-c	木下地(6-45-11に準拠) +VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.400	脱衣棚：ポリ合板フラッシュ SW0812	
	出勤準備室	-	準	-	±0	C(D)-a	VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	防火衣ロッカー：14台(28人) 消火器BOX(置式)	手洗い	-	準	-	±0	C(D)-a	VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	手洗いカウンター、ロッカー(備品) 面台：ポストフォーム t20 化粧鏡、洗濯パン、汚物流し	
	講堂 【VOC 2箇所】	○	不	-	±0	C(D)-a	VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-R t 12.5+DR t 9.0	VI	2.600	ホワイトボード ブラインドボックス 消火器BOX(埋込)	トレーニングルーム	○	難	-	±0	C(D)-a	高弾性衝撃吸収シート	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 +ビニルクロス	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	化粧鏡	
	車庫-1	-	準	-	±0	C(D)-a	合成樹脂塗床	床同材	150	LGS	GB-R t 12.5+ FK t 6.0(目透し張)+ EP-G塗装 異種用途区画下部地 GB-F t 12.5+12.5(両面) GB-F t 21+21(片面)	LGS	スラブ表し+ 硬質ウレタンフォーム +SOP塗装	-	直天	コーナーガード、ホースラック 消火器BOX(置式)																	
	倉庫 タイヤ庫	-	不	-	±0	C(D)-b	合成樹脂塗床	床同材	150	LGS	GB-F t 12.5+12.5(両面) GB-F t 21+21(片面) GB-R t 12.5(一部) FK t 6.0(目透し張)+ 素地	LGS	硬質ウレタン フォーム表し	-	直天	中2階：鉄骨下地+CKPL t 4.5 見掛け鉄部：錆止塗装 棚(別途)																	
	救急消毒室 救急備品室	-	不	-	±0	C(D)-b	保護コンクリート 合成樹脂塗床	床同材	150	LGS	GB-F t 12.5+12.5(両面) GB-F t 21+21(片面) GB-R t 12.5(一部) FK t 6.0(目透し張)+ EP-G塗装	LGS	CHPL t 4.5(サビ止め)	-	4.100	シンクL900(取外し水切付W300) 物干用ワイヤーフック(壁取付用) カーテンレール 側溝+細目グレーチング(SUS製) 面台：人造大理石 t20、パイプ棚 棚(別途)、洗濯パン、汚物流し																	
	水防倉庫 資機材庫	-	不	-	±0	C(D)-b	合成樹脂塗床	床同材	150	LGS	GB-F t 12.5+12.5(両面) GB-F t 21+21(片面) FK t 6.0(目透し張)+ 素地	LGS	硬質ウレタン フォーム表し	-	直天	棚(別途)																	
	油庫	-	不	-	±0	C(D)-b	合成樹脂塗床	床同材	150	LGS	GB-F t 12.5+12.5(両面) GB-F t 21+21(片面) FK t 6.0(目透し張)+ 素地	LGS	硬質ウレタン フォーム表し	-	直天	棚 溜樹(W300×D300×H300)																	

■ 内部仕上表 1 【VOC ○箇所】：化学物質の濃度測定の対象室及び測定箇所数を示す。

階	室名	居室制限	排煙設備	床仕上高		床	幅木		壁		天井			備考	階	室名	居室制限	排煙設備	床仕上高		床		幅木		壁		天井			備考
				スラブ高	下地		仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻縁						天井高	スラブ高	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻縁	
共通	HWC	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS(耐汚染仕様)	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-S t 12.5 FK-D t 6.0 GW24K t50	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	面台：ポストフォーム t 20 化粧鏡															
	MWC-1~3	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS(耐汚染仕様)	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-S t 12.5 FK-D t 6.0 GW24K t50	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	面台：ポストフォーム t 20 汚垂石、化粧鏡、トイレブース L型手摺、小便器用手摺 手洗いカウンター															
	WVC	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS(耐汚染仕様)	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-S t 12.5 FK-D t 6.0 GW24K t50	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	面台：ポストフォーム t 20 化粧鏡、トイレブース L型手摺 手洗いカウンター															
	SK	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS(耐汚染仕様)	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-S t 12.5 ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600	面台：ポストフォーム t 20															
	掃除道具入	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600																
	倉庫 倉庫(1)(2)	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 ビニルクロス	LGS	GB-D t 9.5	VI	2.600																
	廊下 階段	-	準	-	±0 -10	C(D)-a VS	VB	60	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 ビニルクロス	LGS	GB-R t 9.5+ ビニルクロス	VI	2.600	階段：塩ビ製手摺、ノンスリップ 消火器BOX(埋込)															
	PS EPS	-	-	-	±0 -10	C(D)-a 合成樹脂塗床	-	-	LGS	GB-R t 12.5+GB-R t 12.5 素地	-	-	-	直天																

階段①	計画	基準法	判定	階段②	計画	基準法	判定	階段③	計画	基準法	判定
階段幅	1200	≧1200	OK	階段幅	1400	≧900	OK	階段幅	750	≧750	OK
踊場幅	1200	≧1200	OK	踊場幅	1200	≧900	OK	踊場幅	845	≧750	OK
けあげ	185	≧200	OK	けあげ	182.5	≧200	OK	けあげ	208.3、200	≧220	OK
路面	240	≧240	OK	路面	240	≧240	OK	路面	210	≧210	OK
踊場手摺高さ	H=850			踊場手摺高さ	H=900			踊場手摺高さ	H=900		
構造	S造			構造	S造			構造	S造		

※階段④はメンテナンス階段



■凡例		■記号		■記号		■記号	
*****	異種用途区分を示すGB-F t 21+21 片面張 (FP060NP-0007) 耐火1時間認定	□	OAフロア範囲を示す	☑	消火器BOX (埋込)	○VP	カラーVP管 ※75φ、100φは高排水型たてとい
■	異種用途区分を示すGB-F t 12.5+12.5 両面張 (FP060NP-0174) 耐火1時間認定	○	ピット範囲を示す	☐	消火器BOX (露出)	○RD	ルーフトレイン(高排水型)
////	遮音壁 (GW24K t 50充填)	△	床下点検口 (600×600)	⊙	誘導標識 (壁) 120×120	○自RD	自在ドレイン(高排水型: VP75φのみ)
▶	建物入口	▶	建物入口	(****)	FLからの高さを示す (特記なき限りFL±0とする)		

NOTE

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

【庁舎棟】平面図・屋根伏図

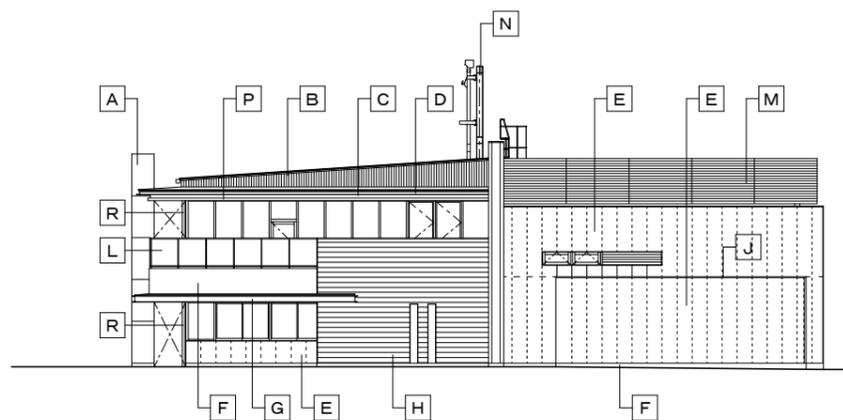
SCALE A2: 1/200
A3: A2の71%

FIG. No. A
020

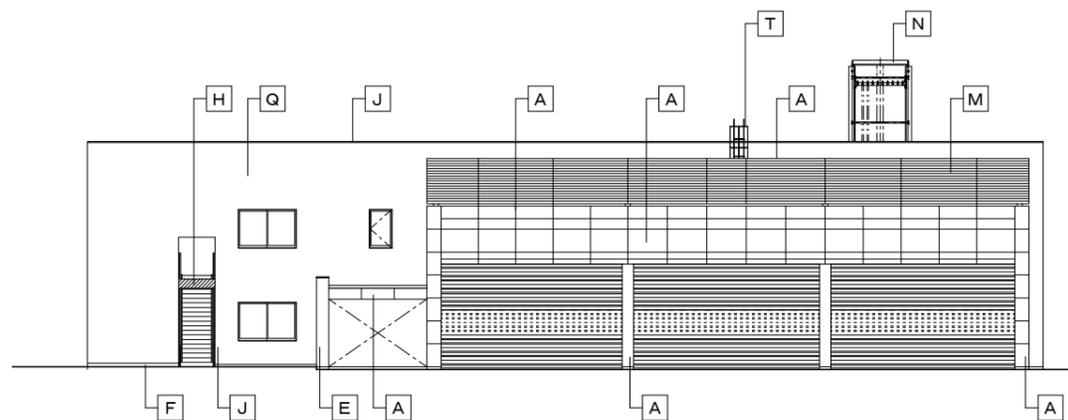
DATE

TITLE

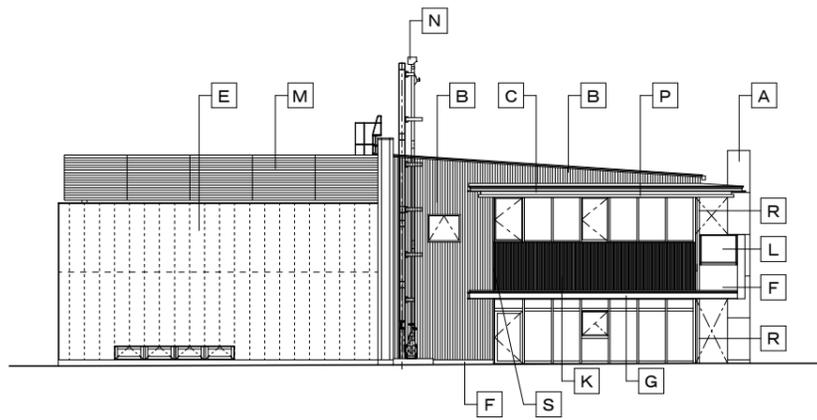
DWG. No.



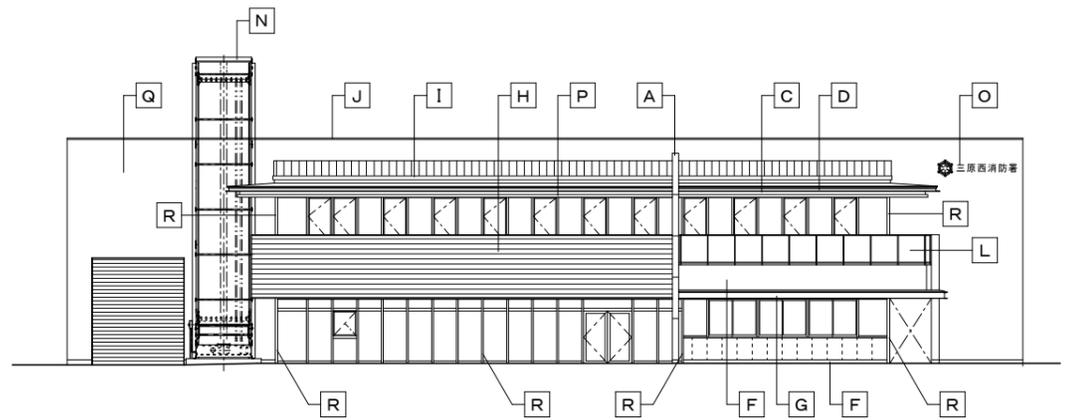
北側立面図



西側立面図



南側立面図



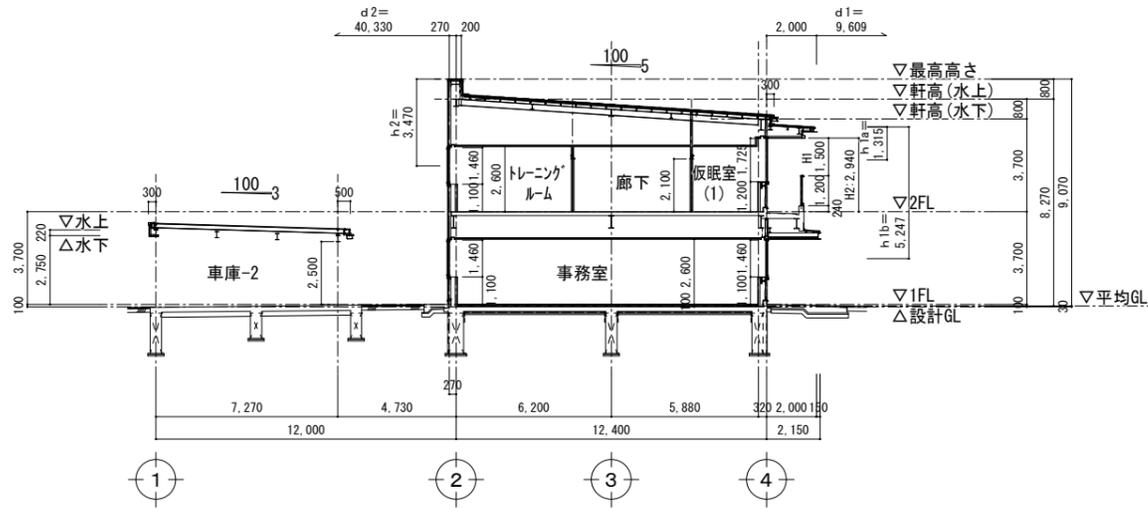
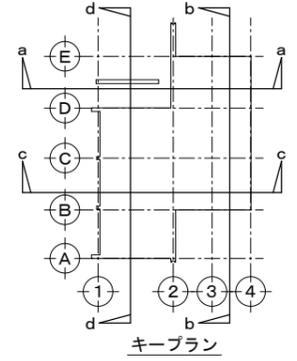
東側立面図

凡例			
A	アルミカットパネル t 3.0 (C種)	F	コンクリート打放し (B種) + DP塗装
B	金属サイディング張り (立ハゼ葺き) カラーガルバリウム鋼板 t 0.6	G	熔融亜鉛メッキ + DP塗装 (-250 x 90 x 9 x 13)
C	FK t 6.0 + DP塗装 (黒)	H	窯業系サイディング t 15 (黒)
D	熔融亜鉛メッキ + DP塗装 (L-130 x 130 x 9)	I	軒樋 (既製品)
E	ECP t 60 (縦張り) + DP塗装	J	カラーガルバリウム鋼板 t 0.5
K	ECP t 60 (リブ、縦張り) + DP塗装	M	アルミルーバー (既製品)
L	ガラス手摺 (既製品)	N	ホースリフター (既製品)
Q	窯業系サイディング t 15	P	アルミパネル t 2.0 (C種)
R	縦樋: カラーVP	S	シーリング: MS-2 15 x 10
T	SUS製タラップ (背カゴ付) 【8-31-3】	O	施設名称サイン

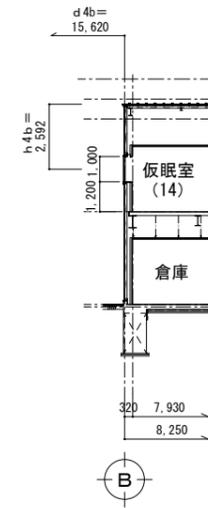
NOTE			株式会社 あい設計 福山支社	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
			一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
			寺川 智也			【庁舎棟】立面図	SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%

- 道路斜線検討
適用距離 20m以上のため高さ制限なし
- 隣地斜線検討
建物高さ 3.1m以下のため高さ制限なし
- バルコニーの開放性検討
H1 ≥ 1.1かつh1 ≥ 1/2H2より
H1 = 1/2 × 2940 = 1470

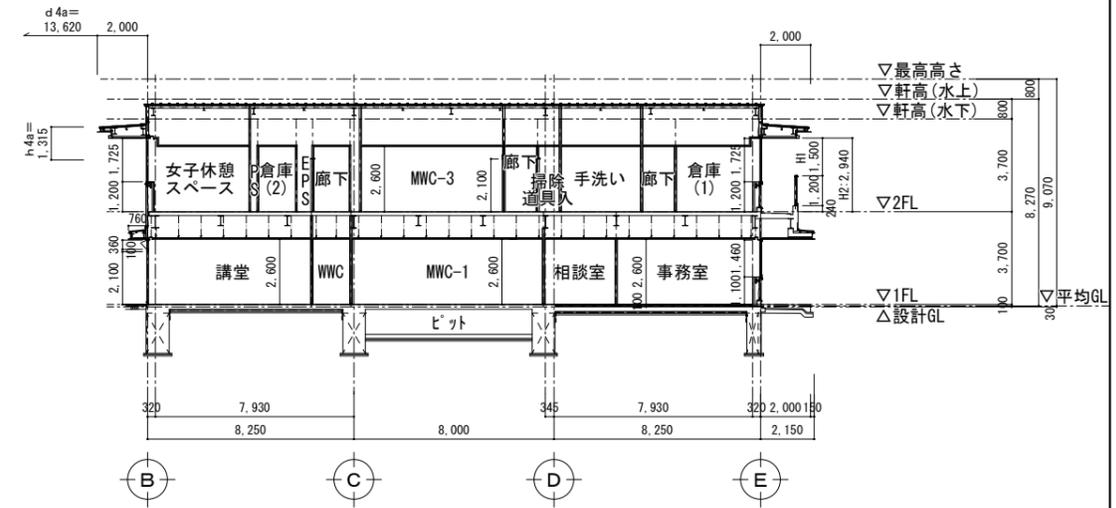
- 最高補正係数検討 (A = d/h × 8 - 1)
- ・事務室・相談室 9.609/5.247 × 8 - 1 = 13.65 ⇒ 3.0
- ・講堂 9.609/5.797 × 8 - 1 = 12.26 ⇒ 3.0
- ・トレーニングルーム 40.330/3.470 × 8 - 1 = 91.97 ⇒ 3.0
- ・食堂・厨房 12.210/2.410 × 8 - 1 = 39.53 ⇒ 3.0
- ・仮眠室 (1)、(2) ~ (12) 9.609/1.315 × 8 - 1 = 57.45 ⇒ 3.0
- ・仮眠室 (13) 13.620/1.315 × 8 - 1 = 81.85 ⇒ 3.0
- ・仮眠室 (14) 15.620/2.592 × 8 - 1 = 47.20 ⇒ 3.0



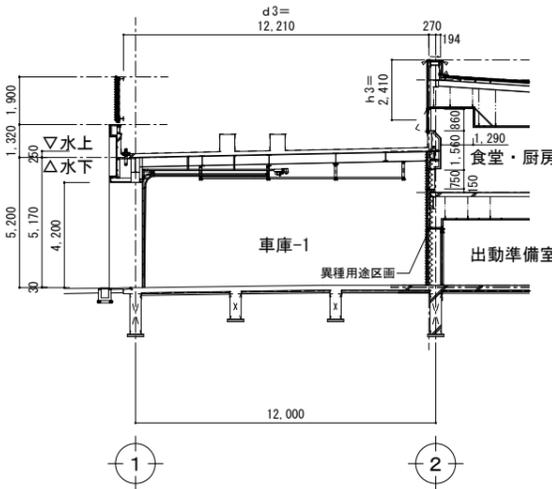
a-a断面図



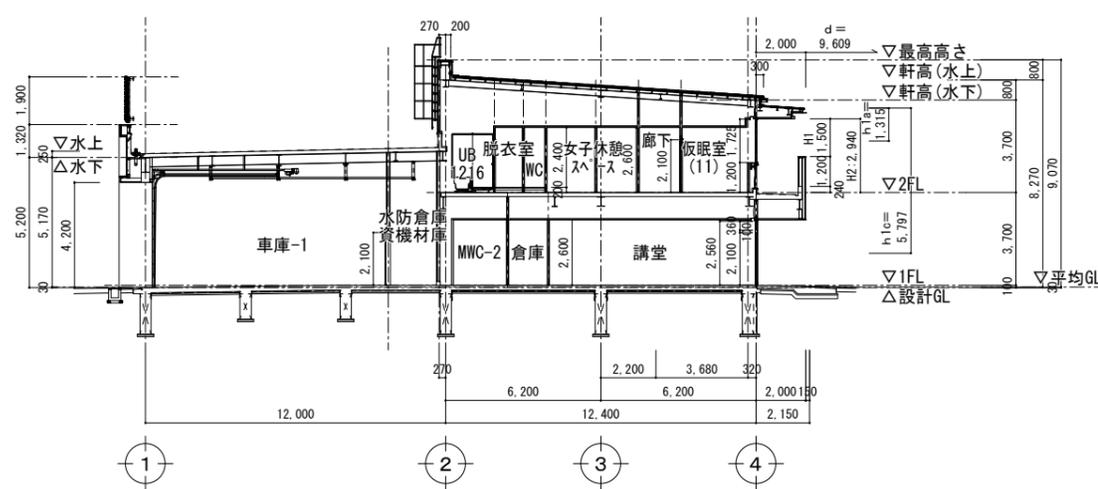
断面図(仮眠室14)



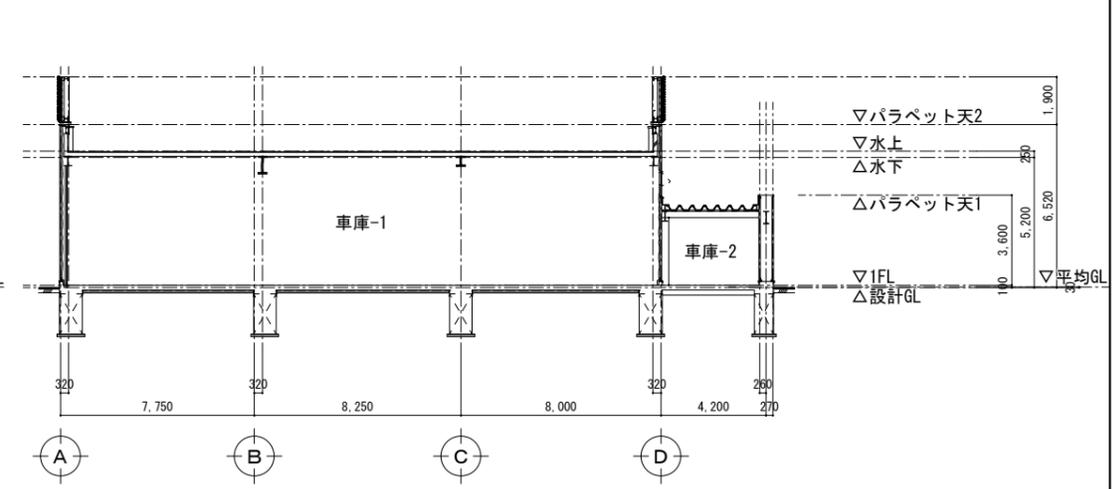
b-b断面図



断面図(食堂・厨房)



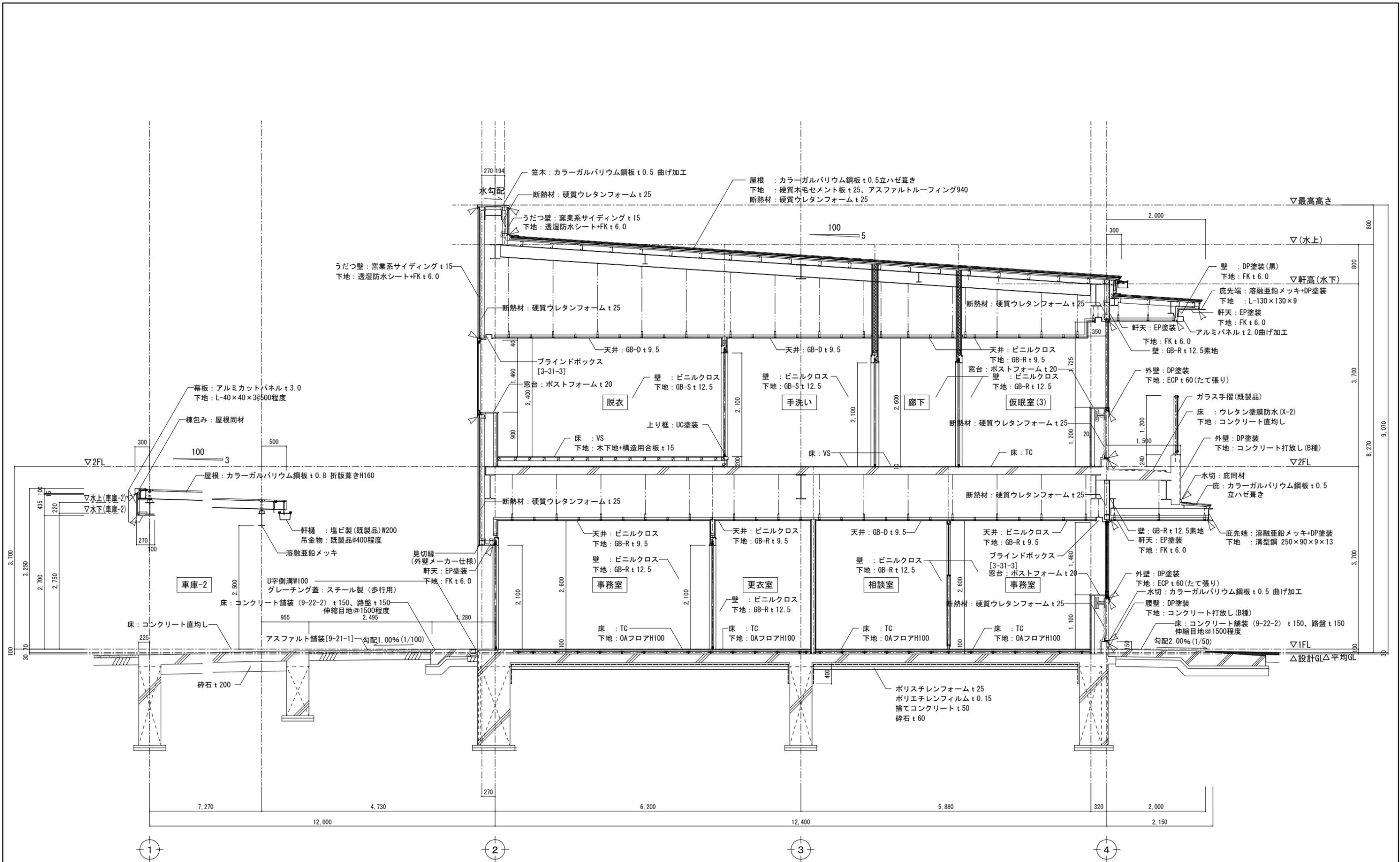
c-c断面図



d-d断面図

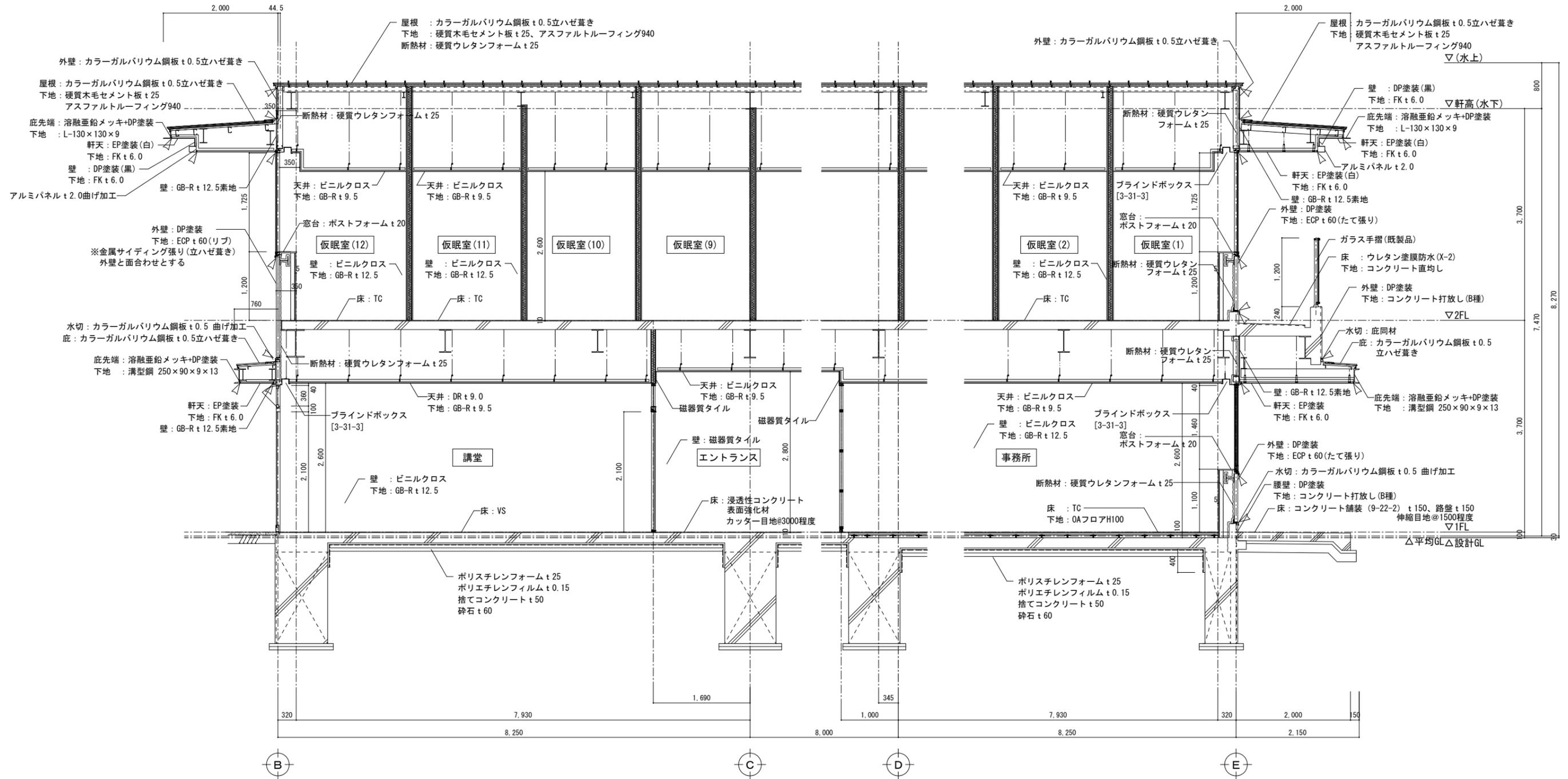
NOTE		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A 022

【庁舎棟】断面図	SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%	A 022
----------	-------------------------------	----------



▽: シーリングMS-2 15×10

NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
					三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
				【庁舎棟】 矩計図 (1)	SCALE A2: 1/50 A3: A2の71%

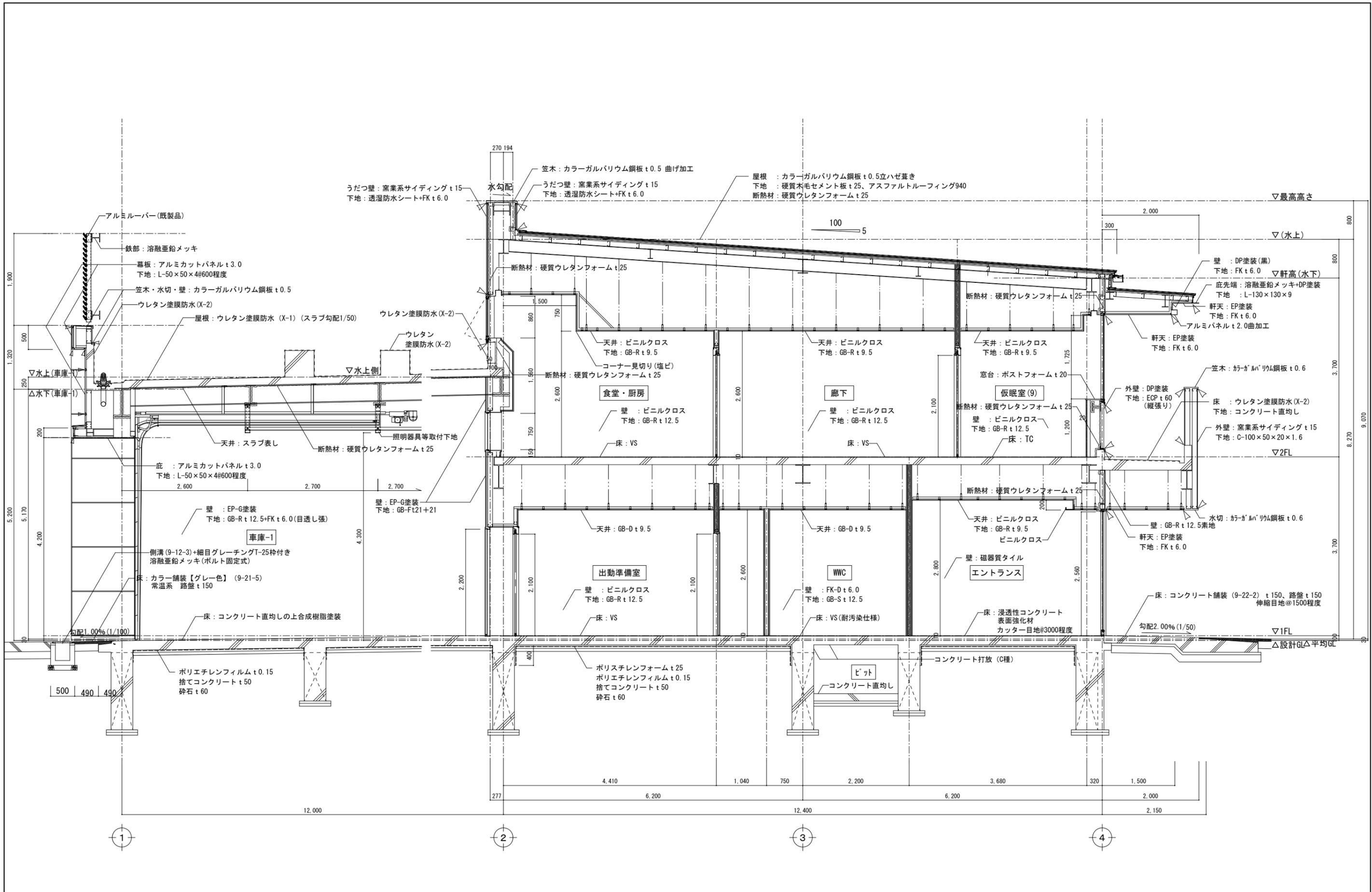


△: シーリングMS-2 15×10

NOTE

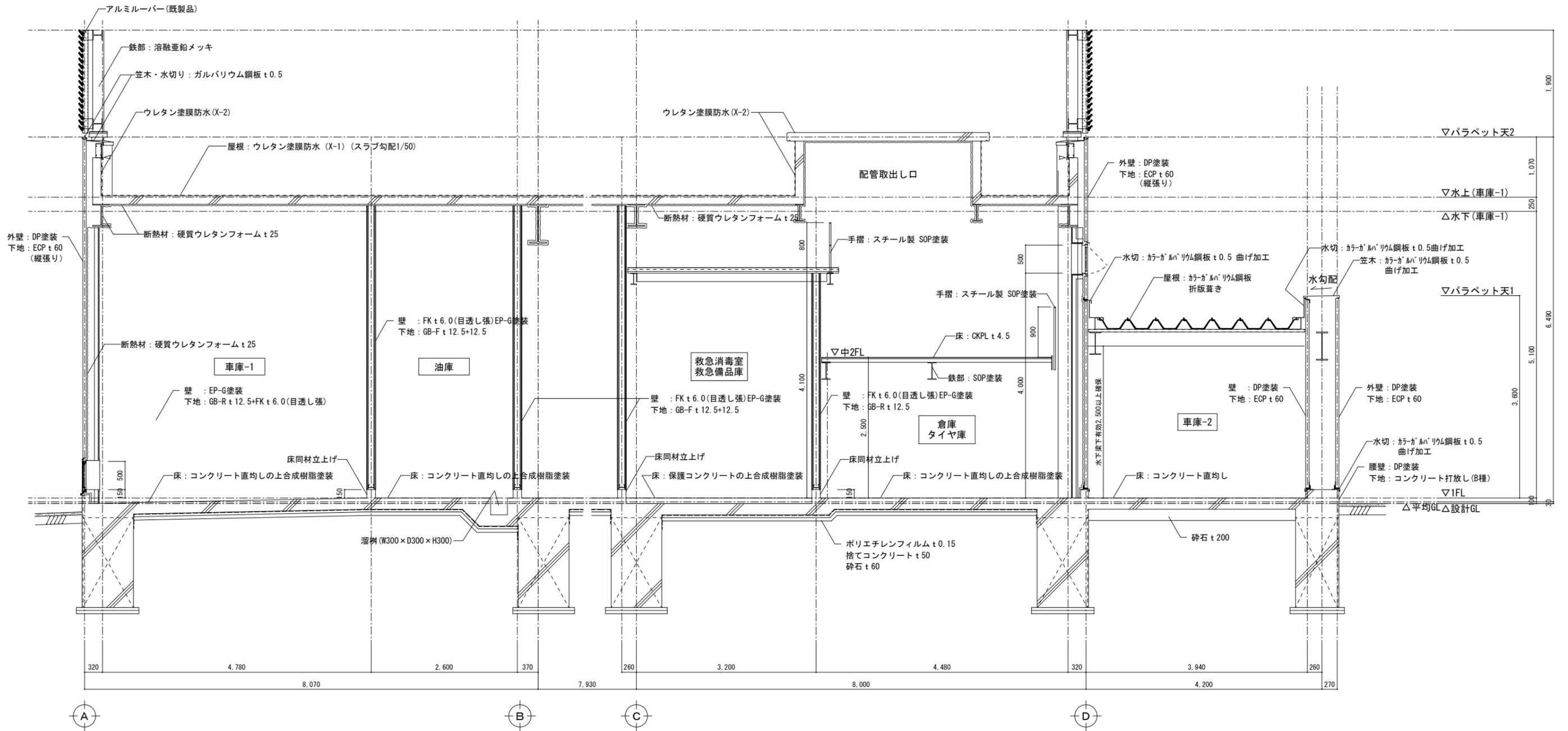
		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】 矩計図 (2)	SCALE A2: 1/50 A3: A2の71%

JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
		【庁舎棟】 矩計図 (2)	024



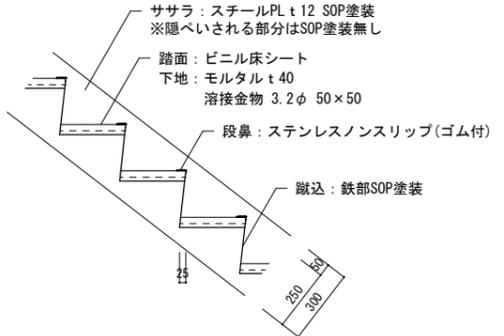
▽: シーリングMS-2 15×10

NOTE		株式会社 あいち設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No	
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A				
【庁舎棟】 矩計図 (3)						SCALE A2: 1/50 A3: A2の71%	025

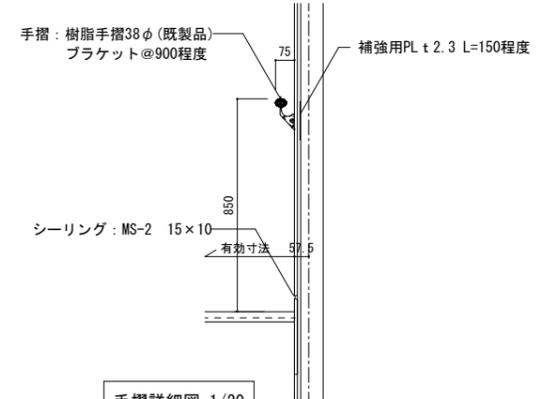


▽: シーリングMS-2 15×10

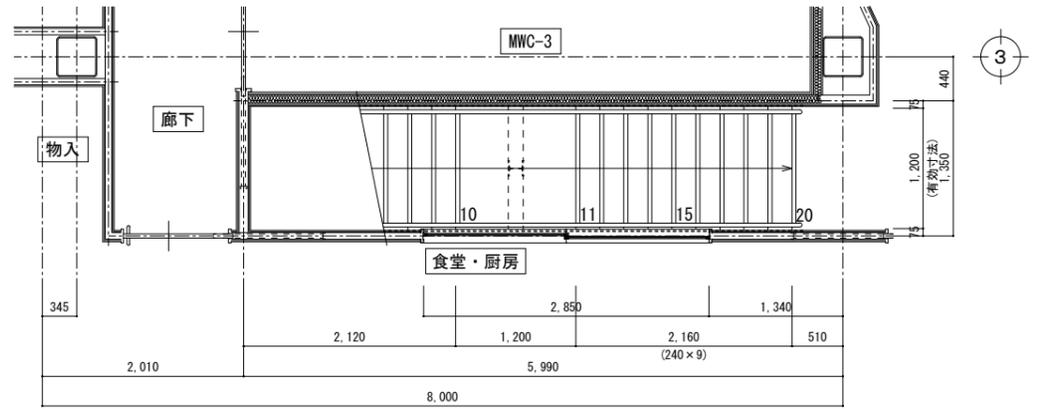
NOTE		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
			寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣				【庁舎棟】矩計図 (4)	SCALE A2: 1/50 A3: A2の71% 026



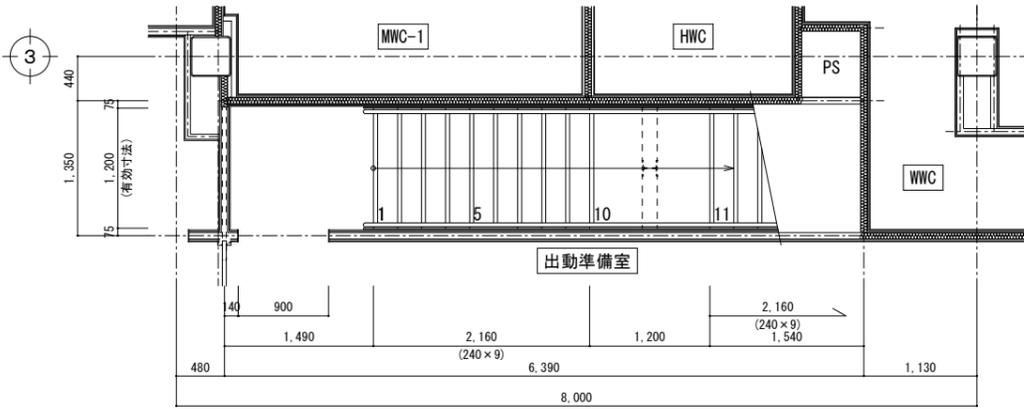
段部詳細図 1/20



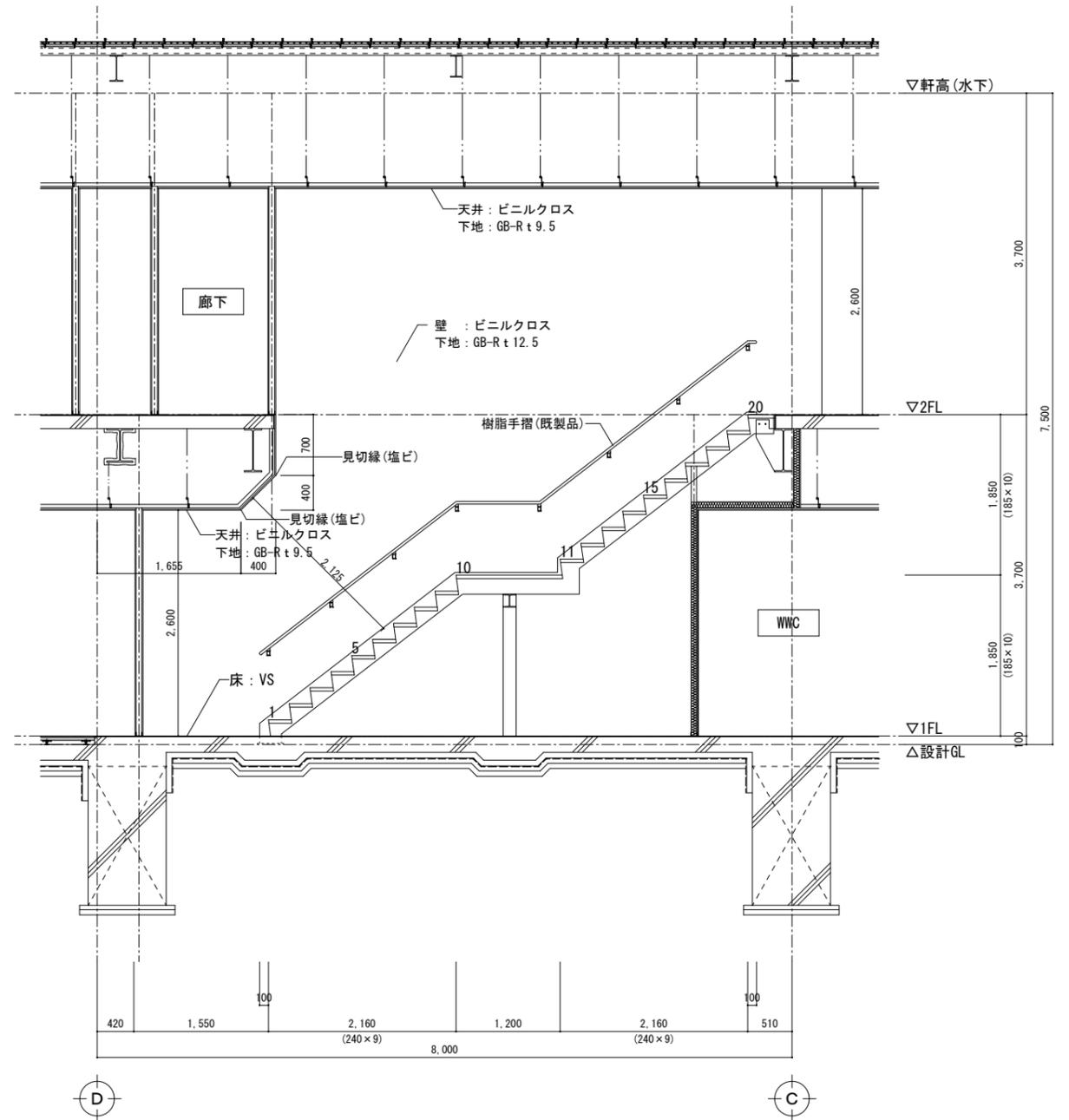
手摺詳細図 1/20



2階平面図 1/50

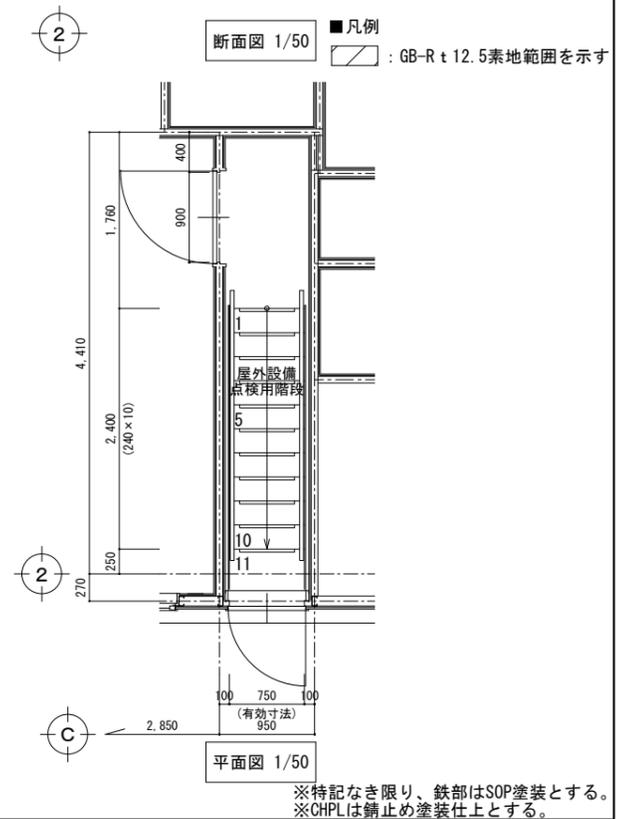
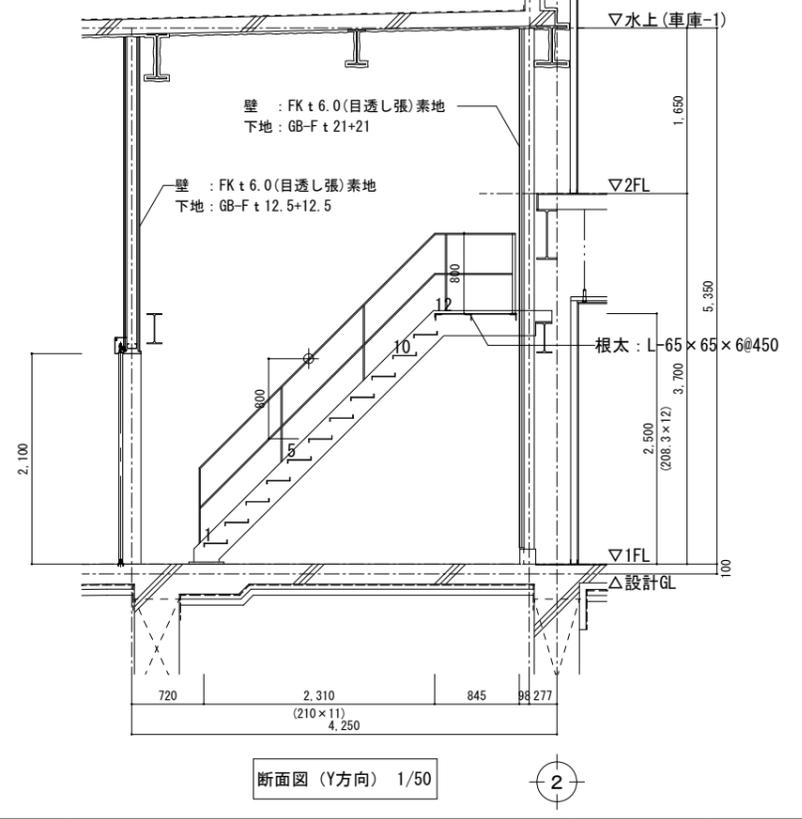
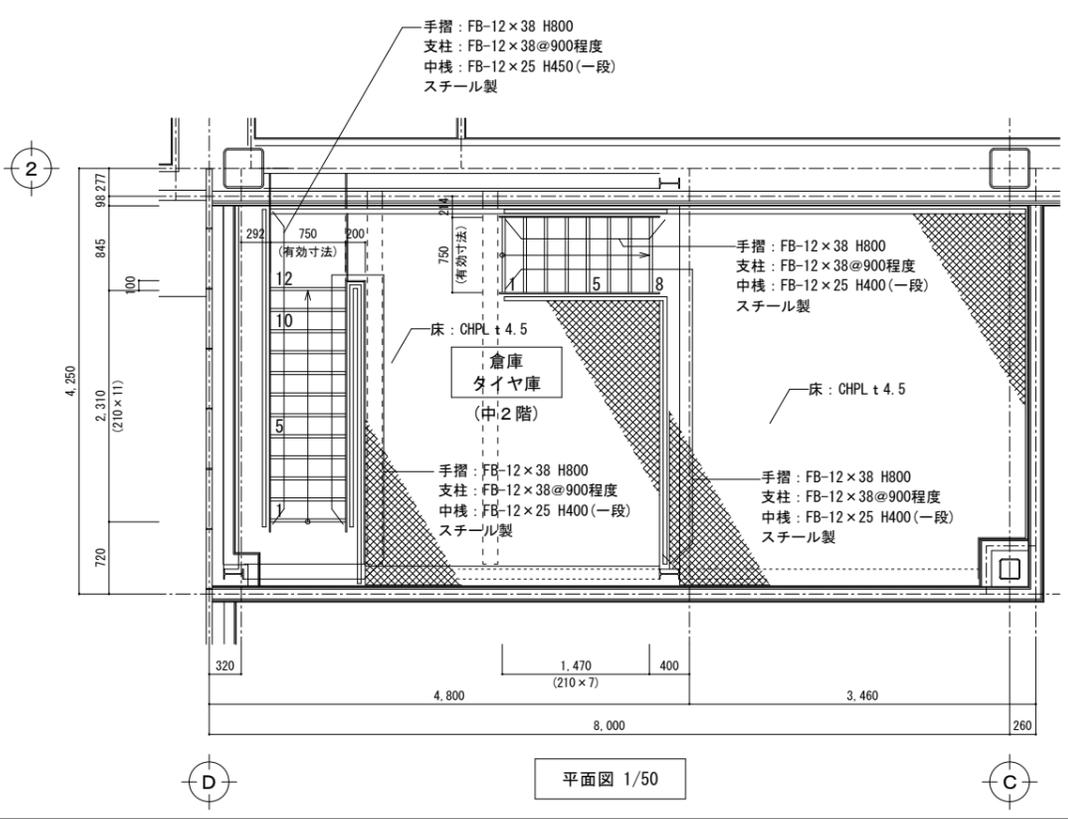
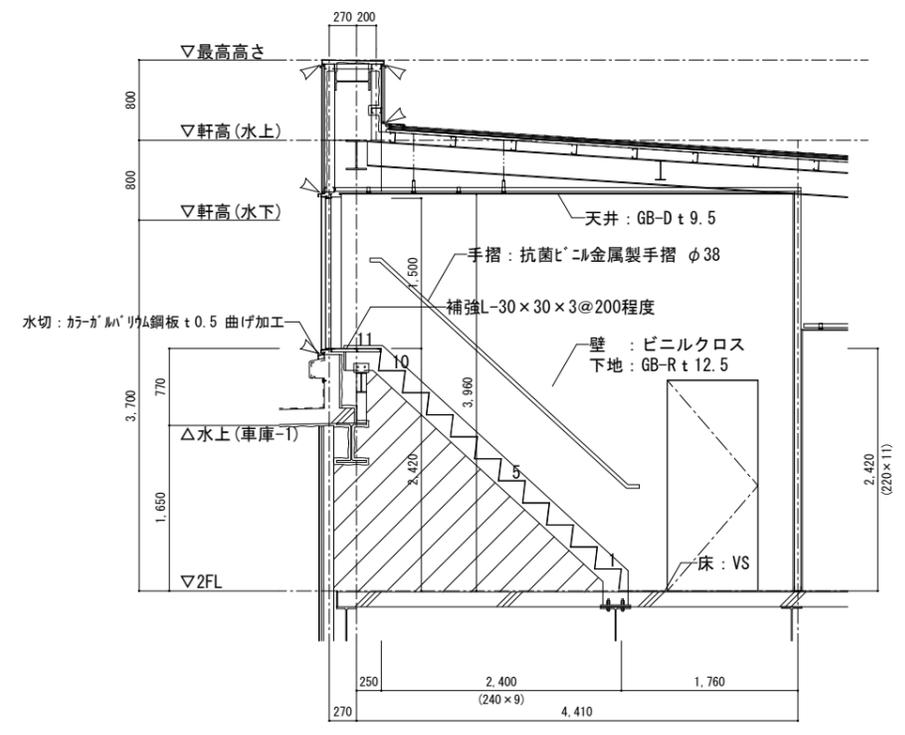
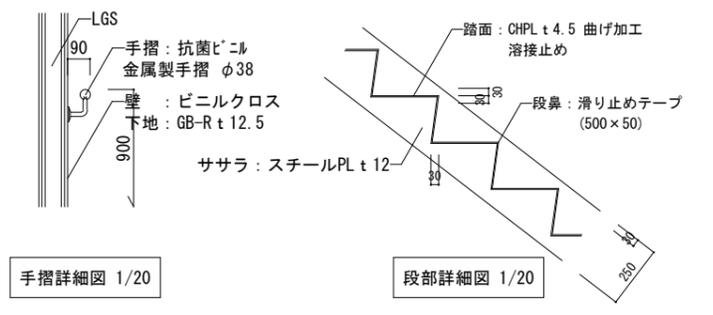
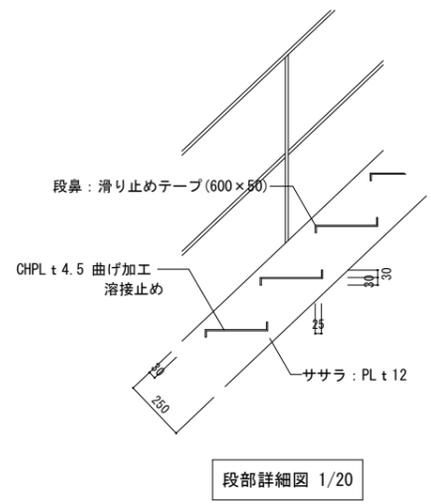
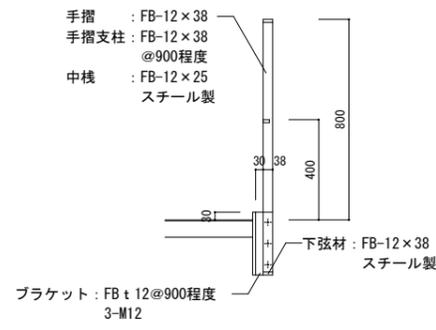
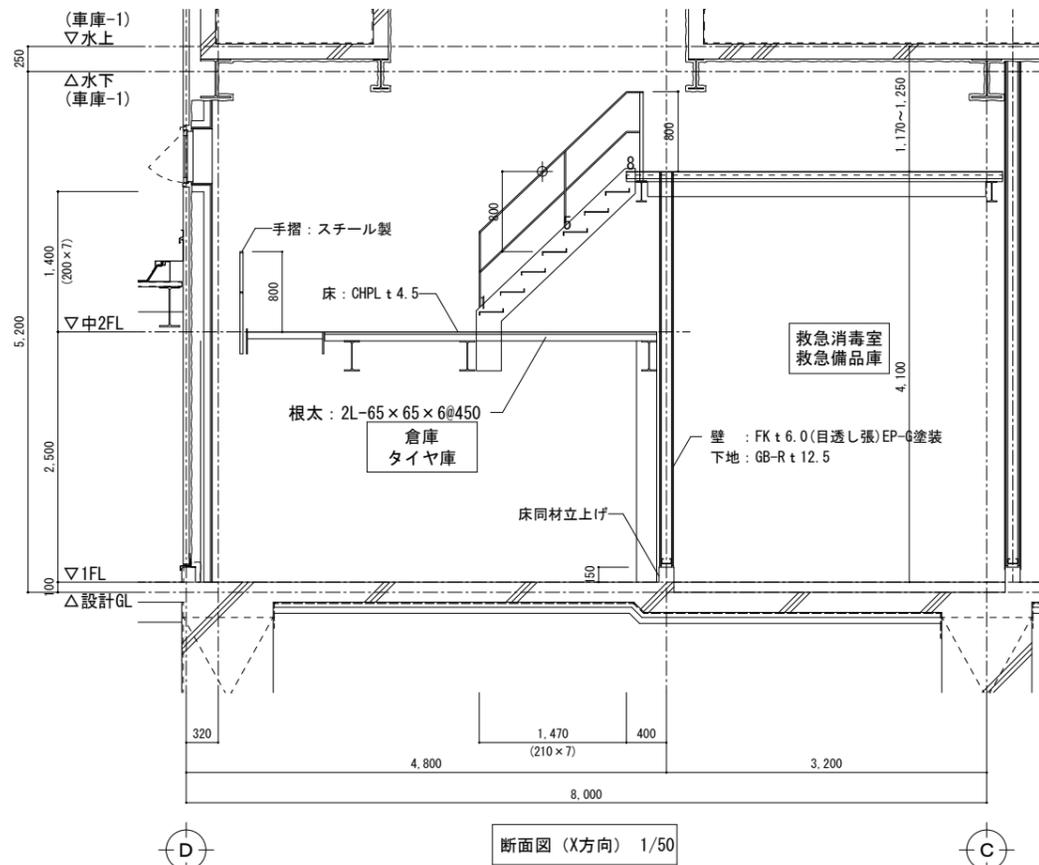


1階平面図 1/50



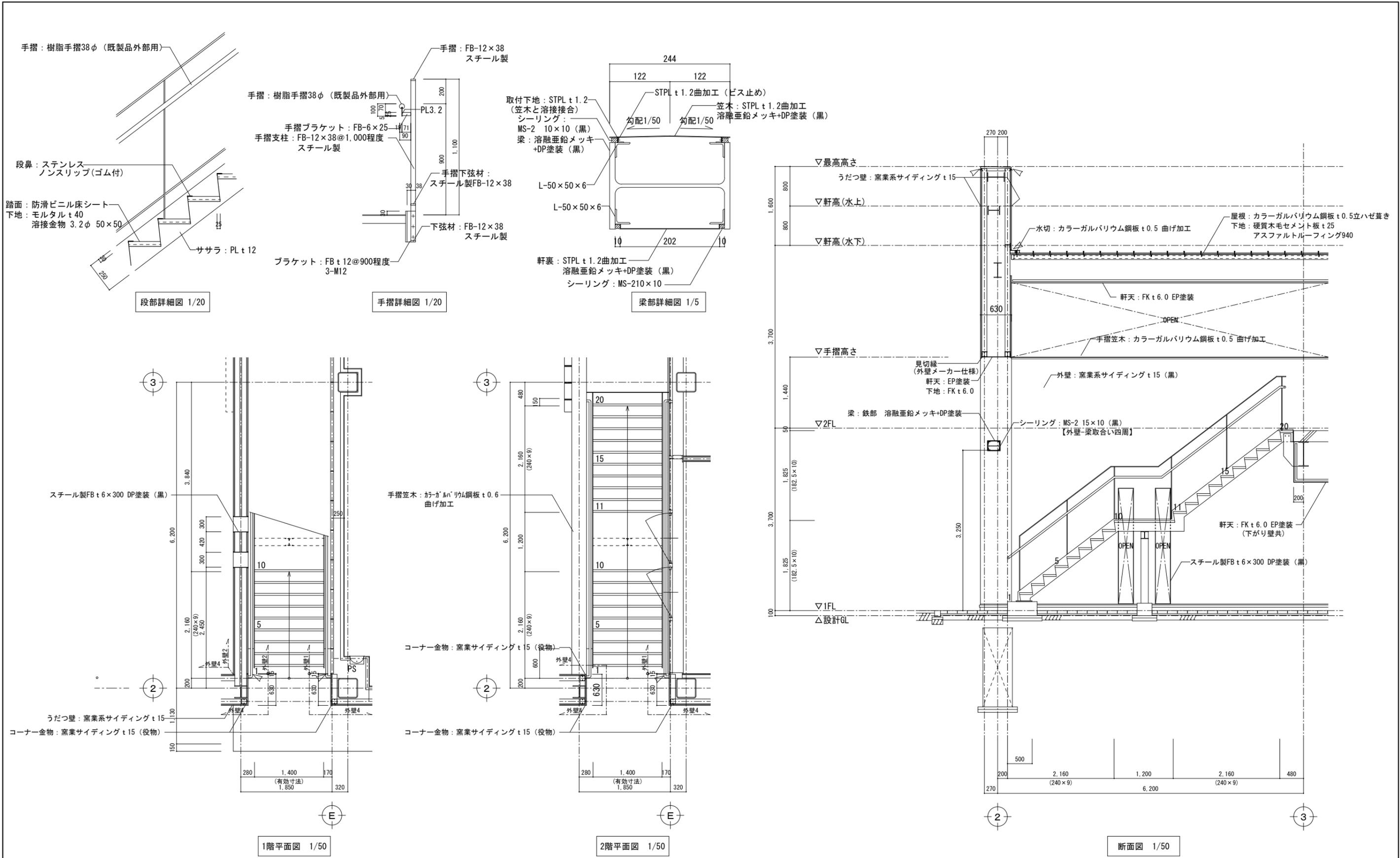
断面図 1/50

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A		
	【庁舎棟】屋内階段詳細図(1)	SCALE	A2: 図示 A3: A2の71%	027	



※特記なき限り、鉄部はSOP塗装とする。
※CHPLは錆止め塗装仕上とする。

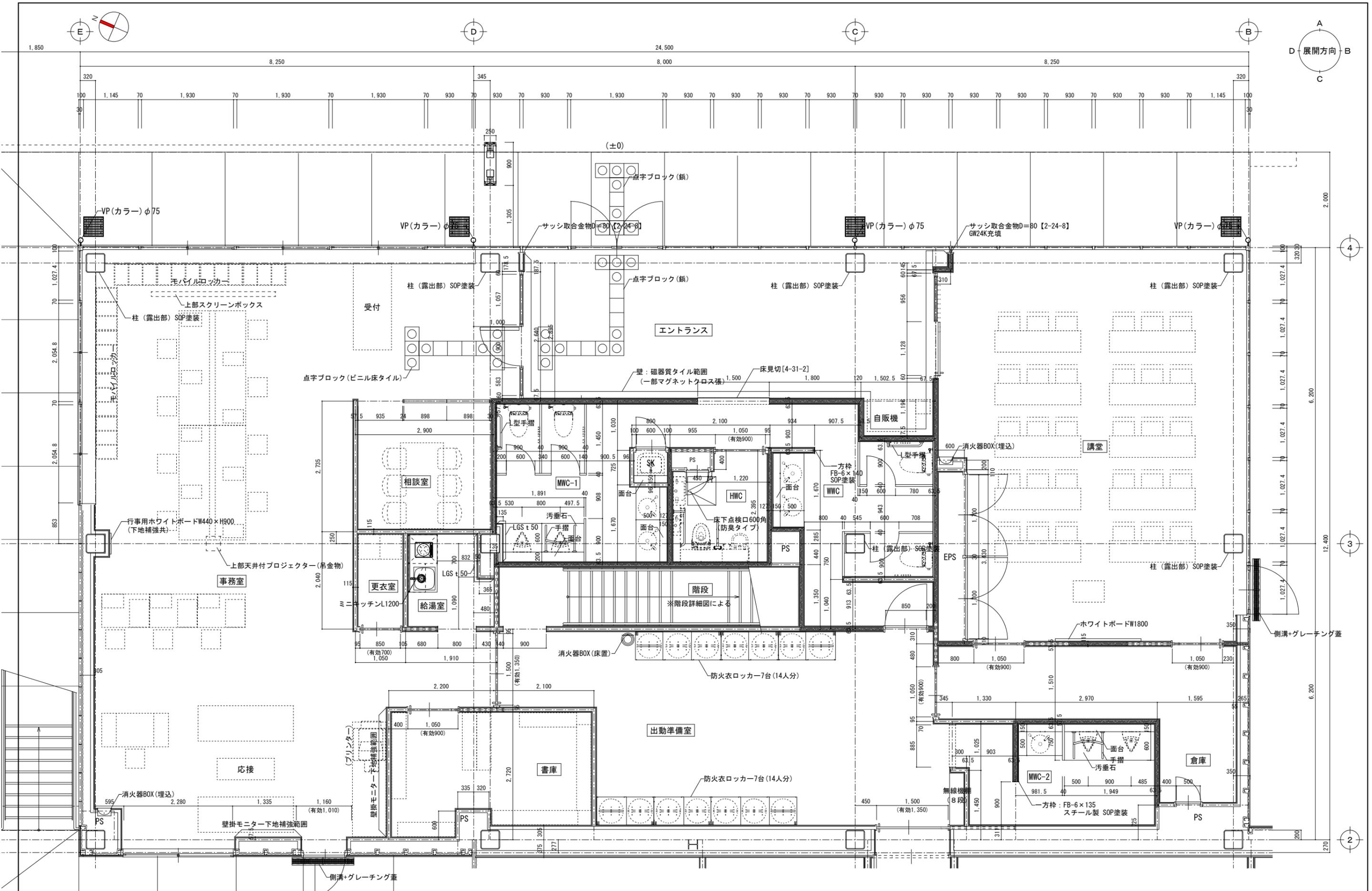
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行徳 公嗣			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
	寺川 智也			【庁舎棟】屋内階段詳細図(2)	028
				SCALE A2 : 図示 A3 : A2の71%	



▽：シーリングMS-2 15×10

※特記なき限り、鉄部は溶融亜鉛メッキとする。

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
					三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
				【庁舎棟】屋外階段詳細図	SCALE A2: 図示 A3: A2の71%
					029



NOTE

[A] : 異種用途区分を示すGB-F t 21+21 片面張 (FPO60NP-0007) 耐火1時間認定

[B] : 異種用途区分を示すGB-F t 12.5+12.5 両面張 (FPO60NP-0174) 耐火1時間認定

〰〰〰〰 : 遮音壁 (GW24K t 50充填)

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行保 公嗣

寺川 智也

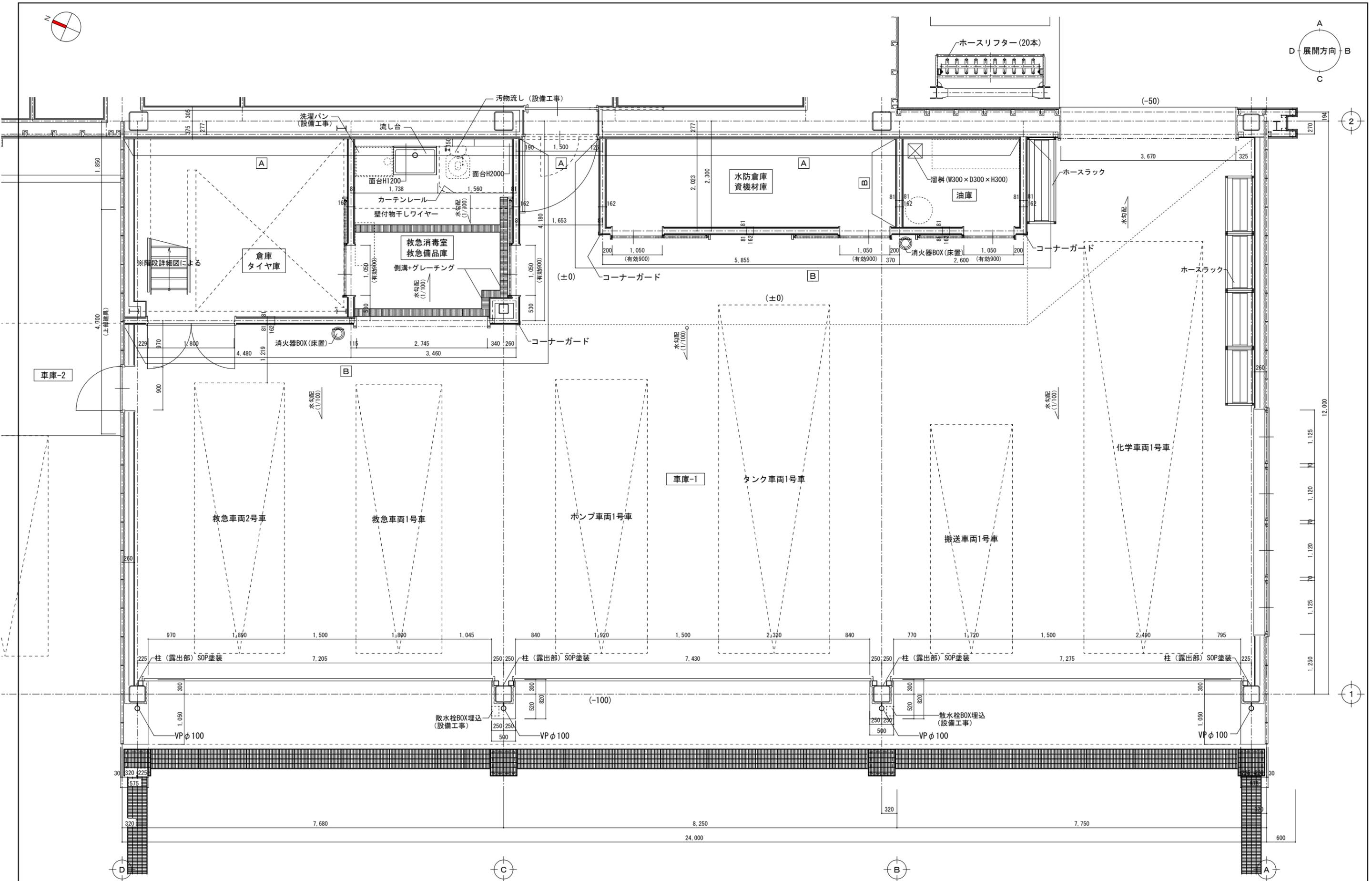
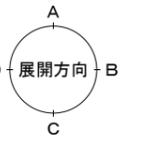
JOB No. - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

【庁舎棟】1階平面詳細図 (1)

SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%

DWG No. A 030

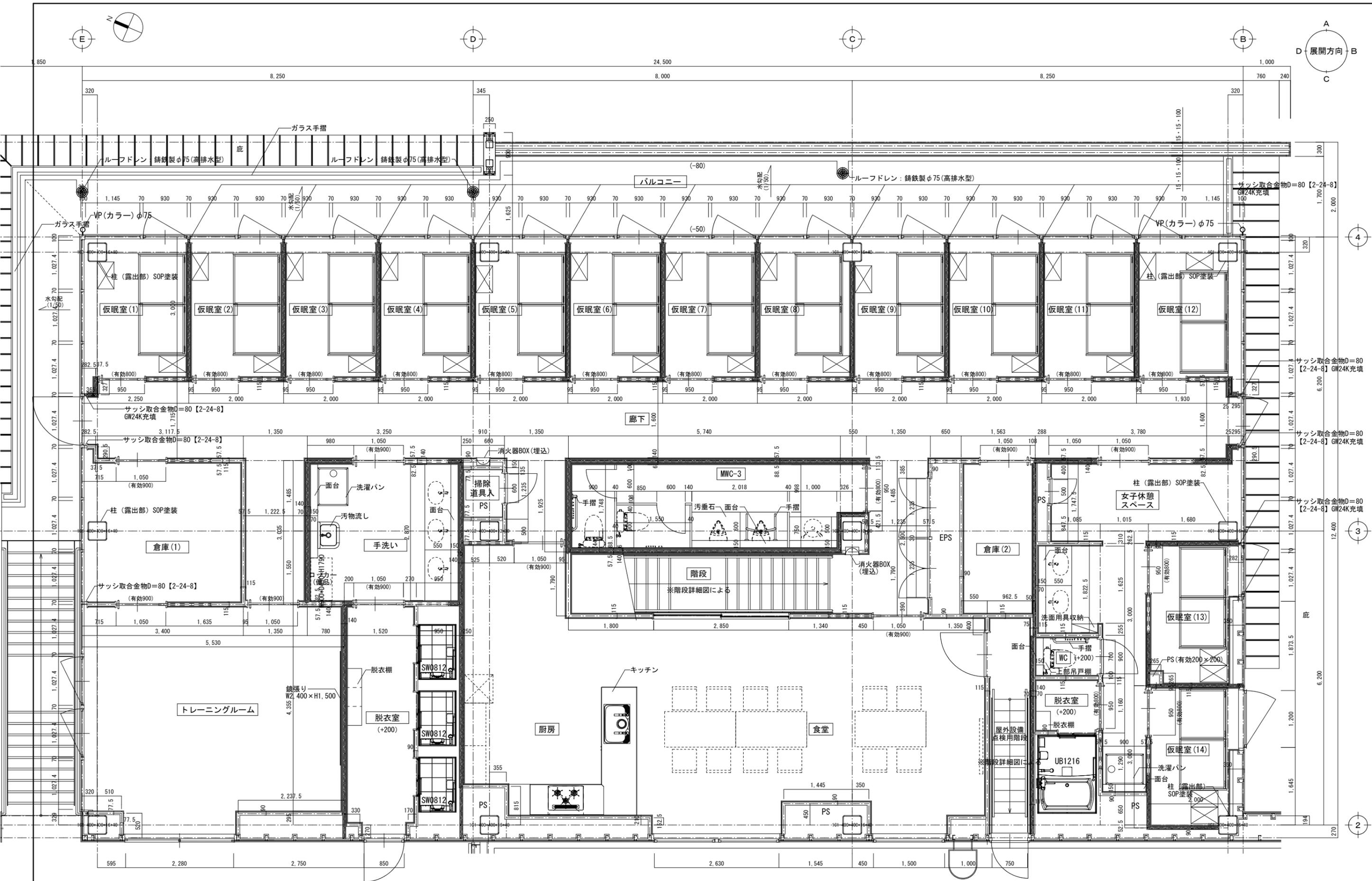
A12019.11.1



NOTE
 [A] : 異種用途区画を示すGB-F t 21+21 片面張 (FPO60NP-0007) 耐火1時間認定
 [B] : 異種用途区画を示すGB-F t 12.5+12.5 両面張 (FPO60NP-0174) 耐火1時間認定
 ○○○○ : 遮音壁 (GW24K t 50充填)

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350761号 行保 公嗣
 寺川 智也

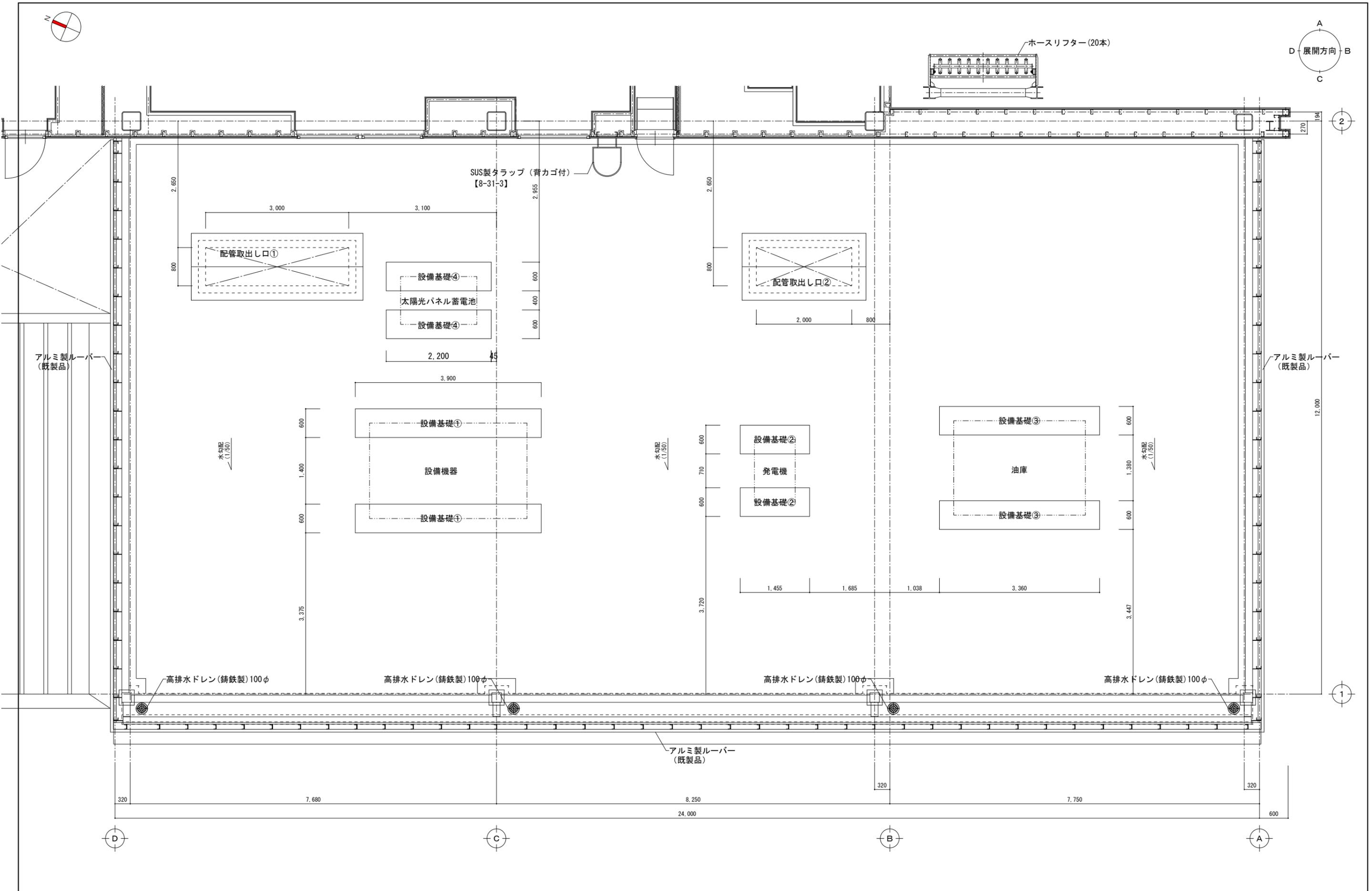
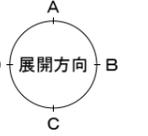
JOB No. - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
 【庁舎棟】1階平面詳細図 (2)
 SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%
 DWG No. A 031
 A12019.11.1



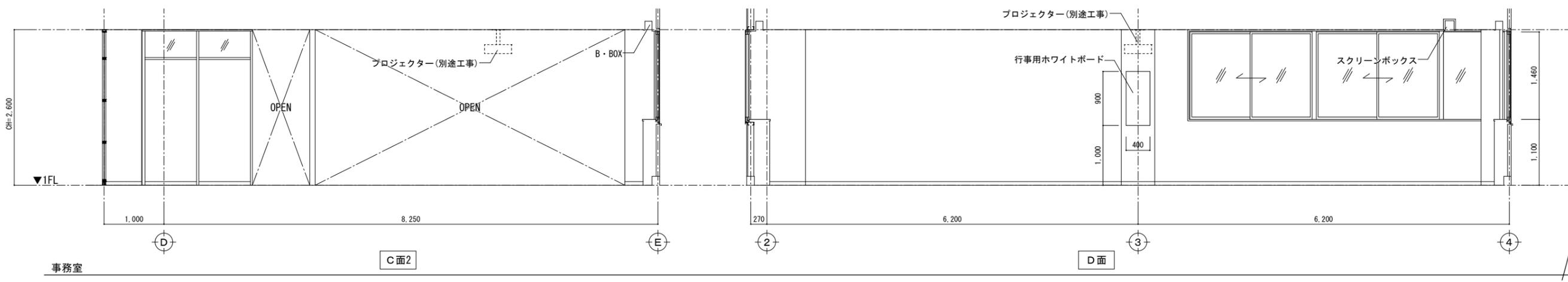
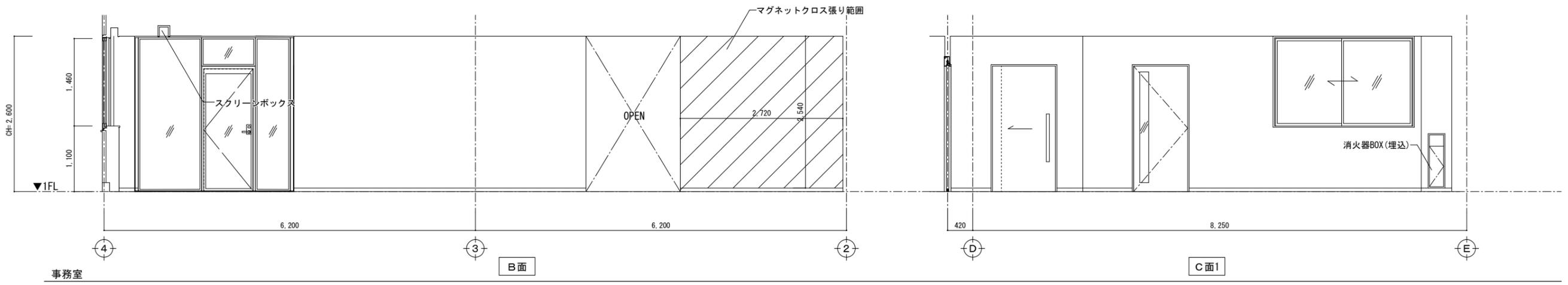
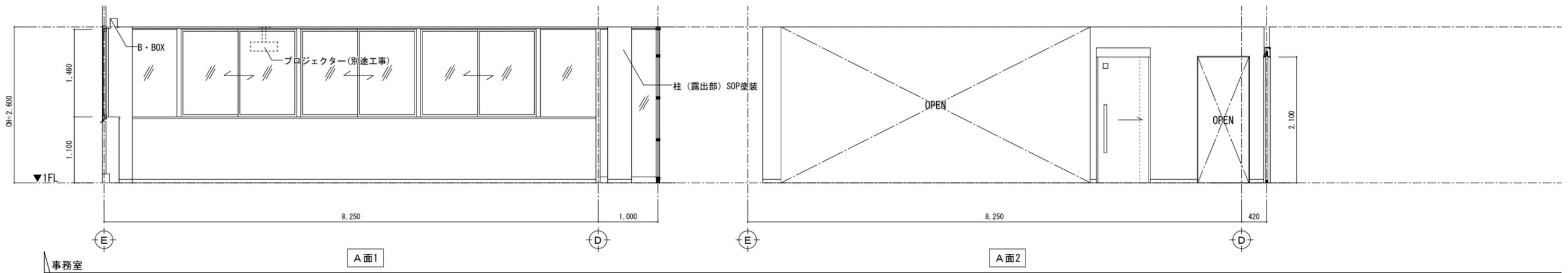
NOTE
 [A] : 異種用途区画を示すGB-F t 21+21 片面張 (FP060NP-0007) 耐火1時間認定
 [B] : 異種用途区画を示すGB-F t 12.5+12.5 両面張 (FP060NP-0174) 耐火1時間認定
 [C] : 遮音壁 (GW24K t 50充填)

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行徳 公嗣
 寺川 智也

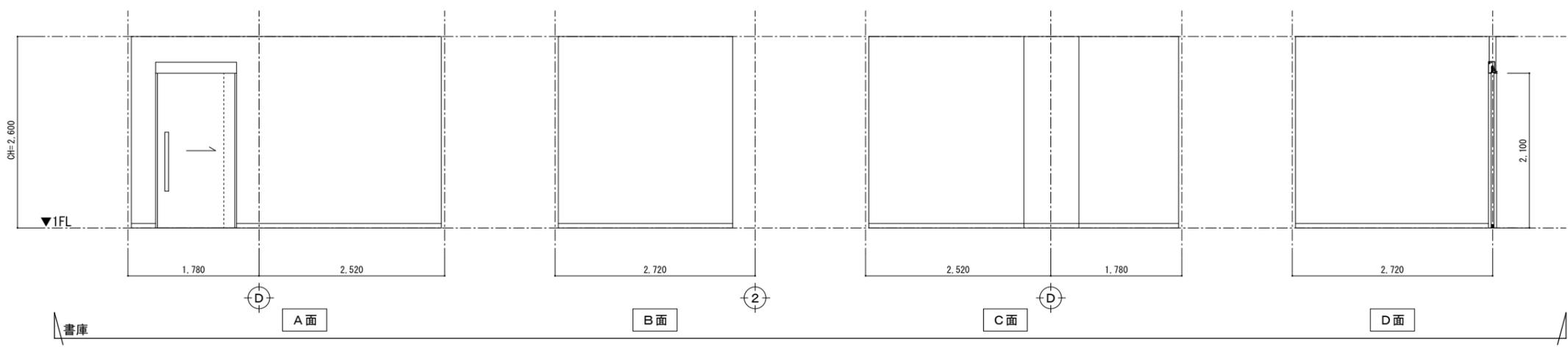
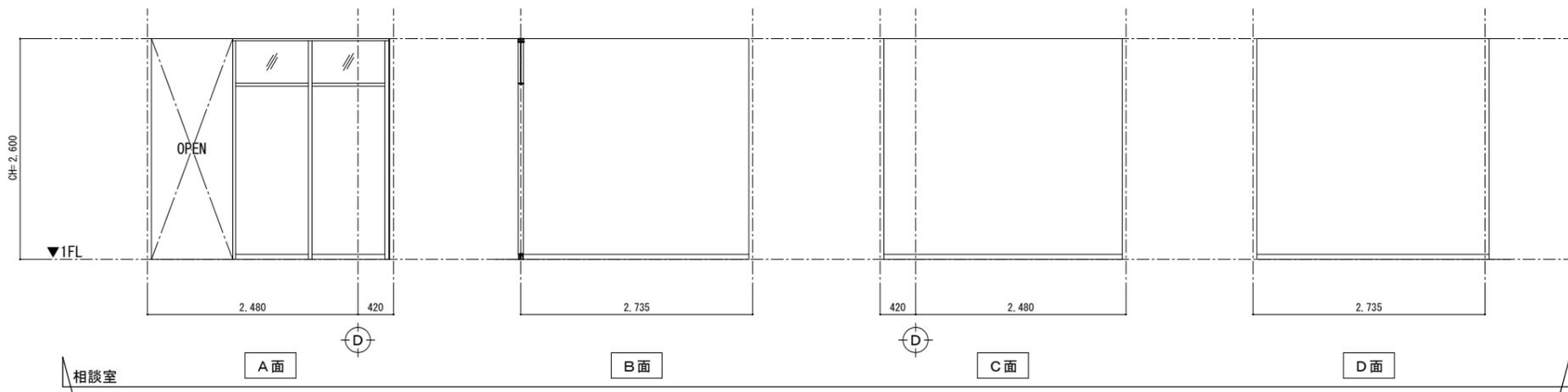
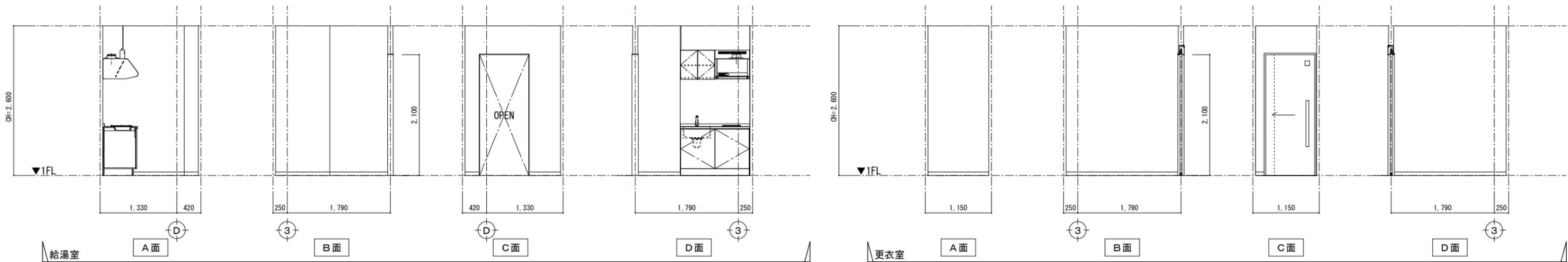
JOB No. DATE TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
 【庁舎棟】2階平面詳細図 (1)
 SCALE A2: 1/50 A3: A2の71%
 032
 A12019.11.1



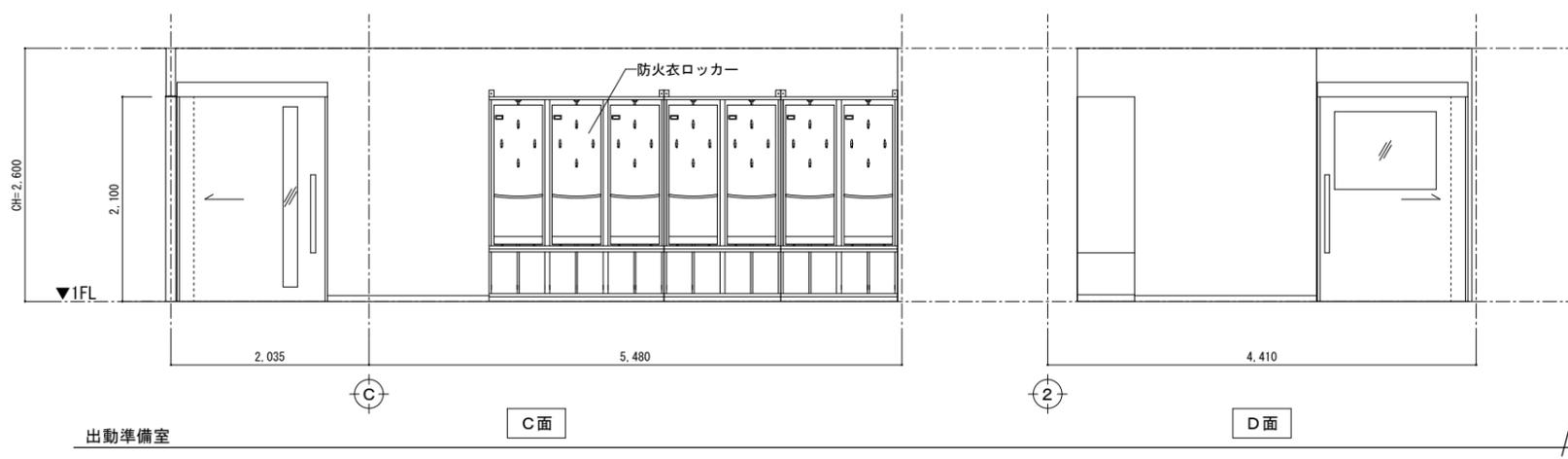
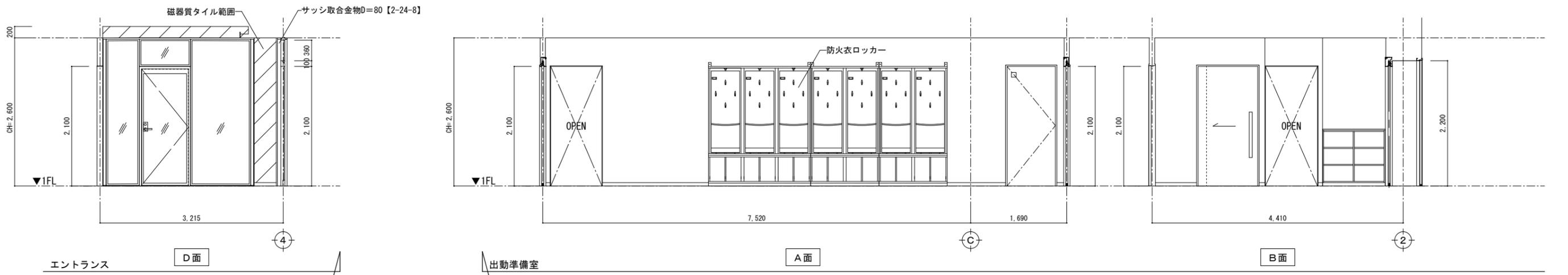
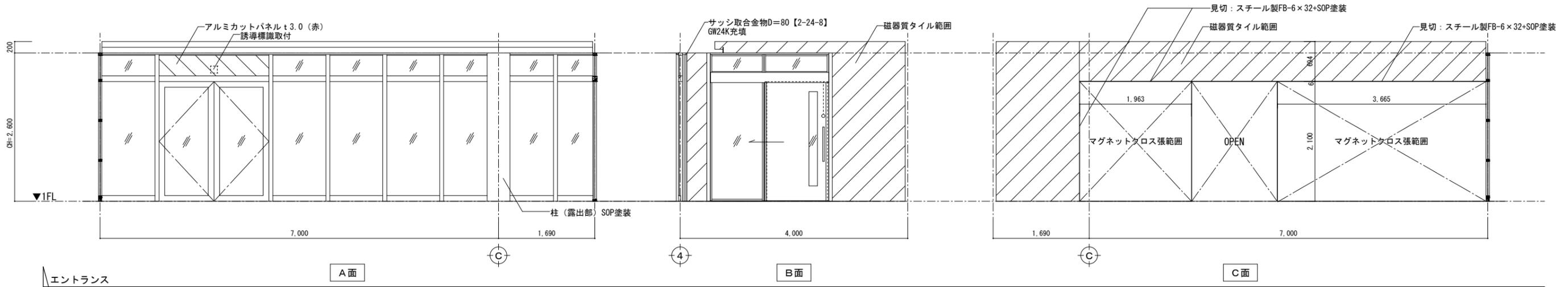
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】2階平面詳細図 (2)



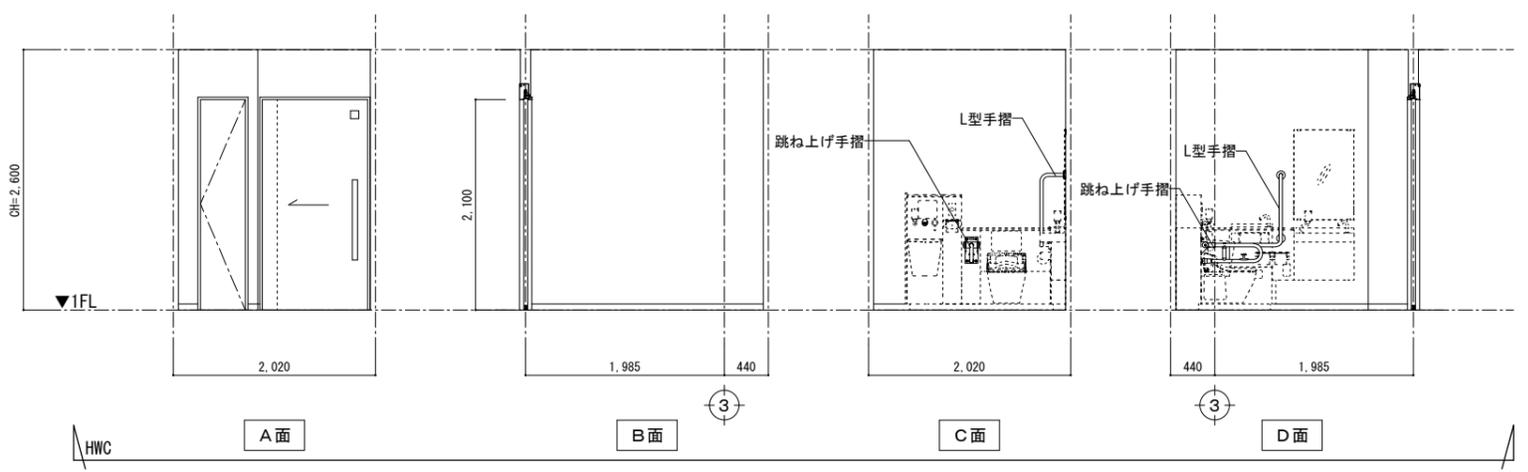
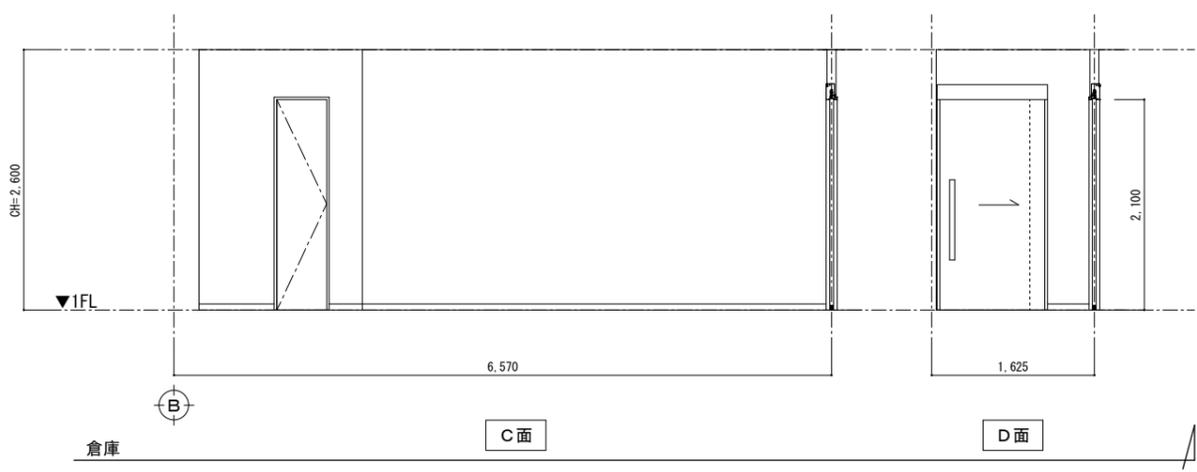
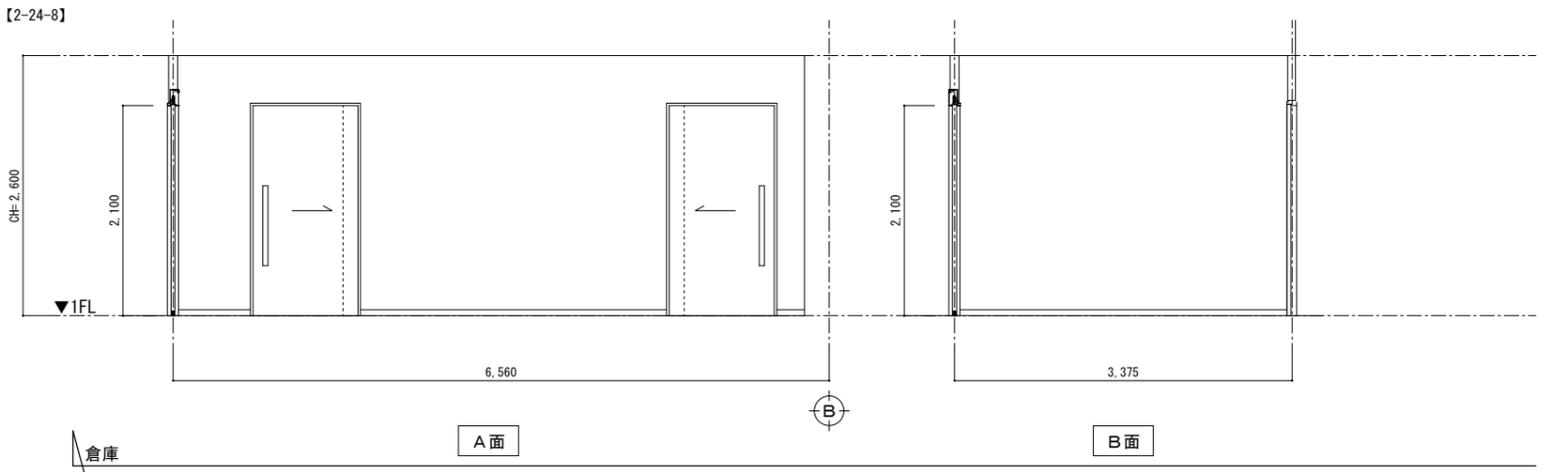
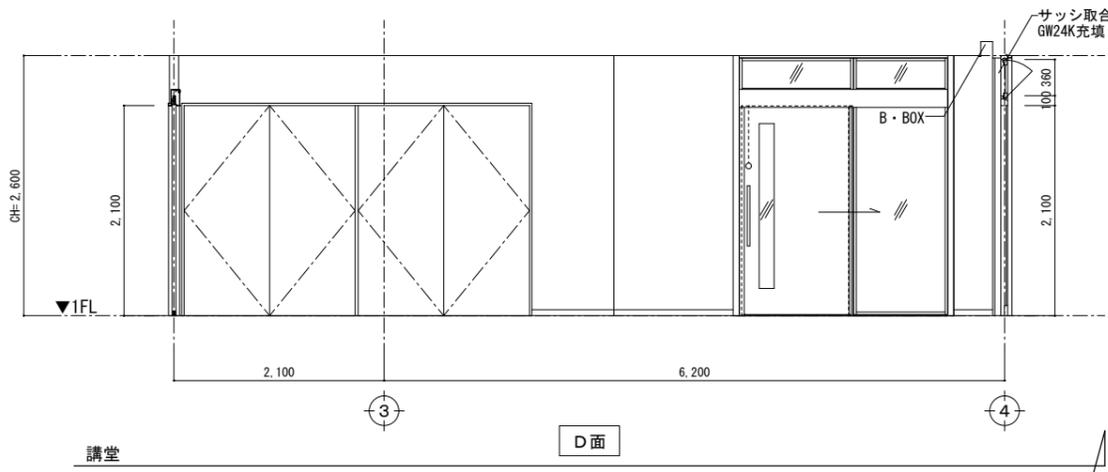
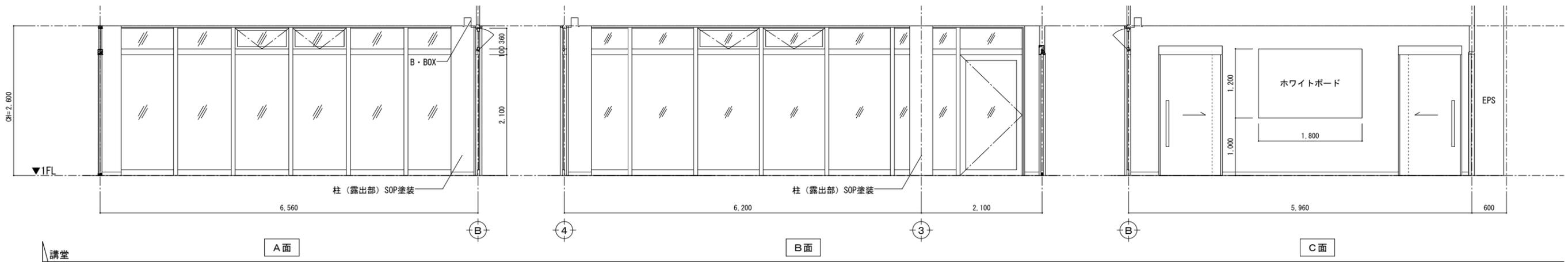
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
				三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
				【庁舎棟】1階展開図 (1)	SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%



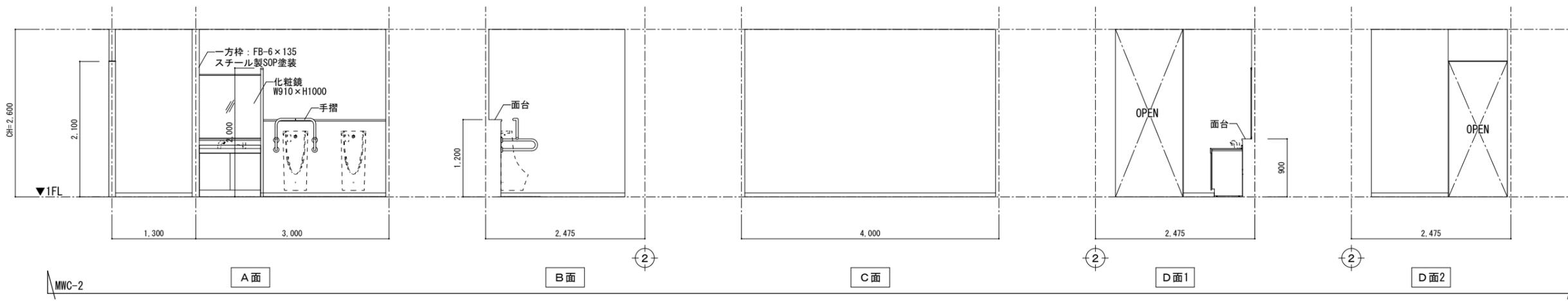
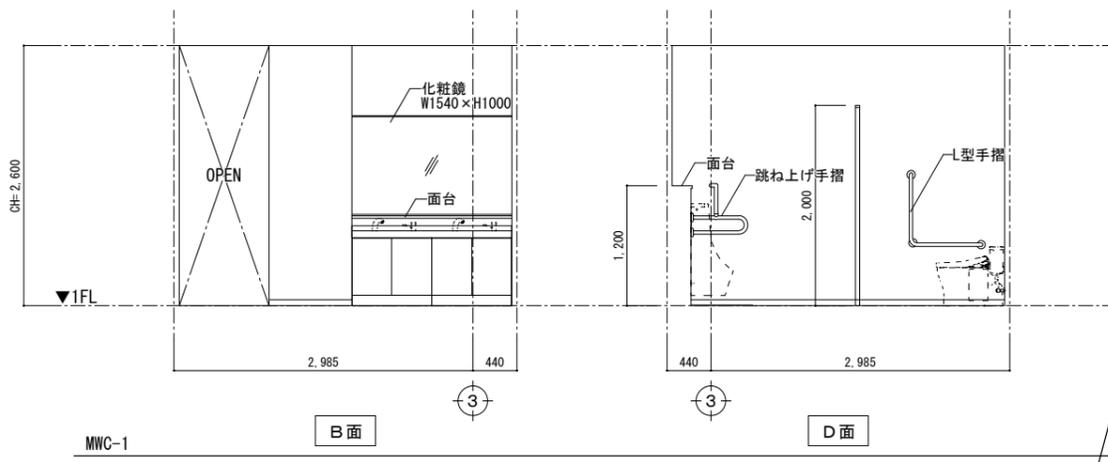
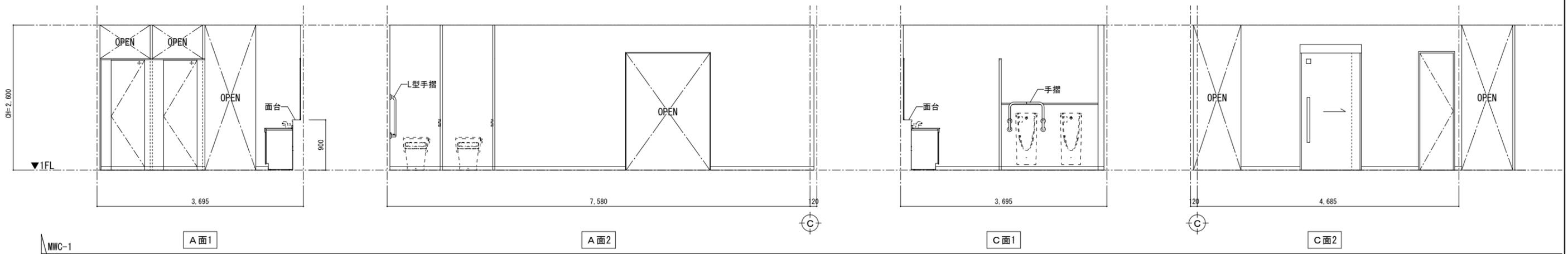
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (2)	SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%	DWG No A 035
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			



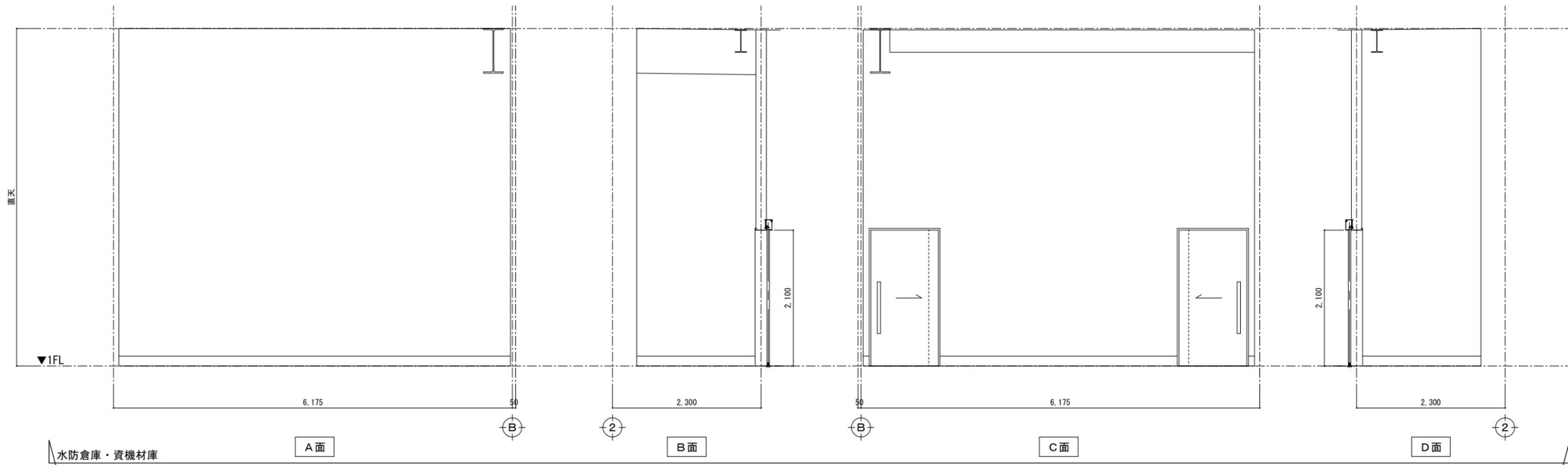
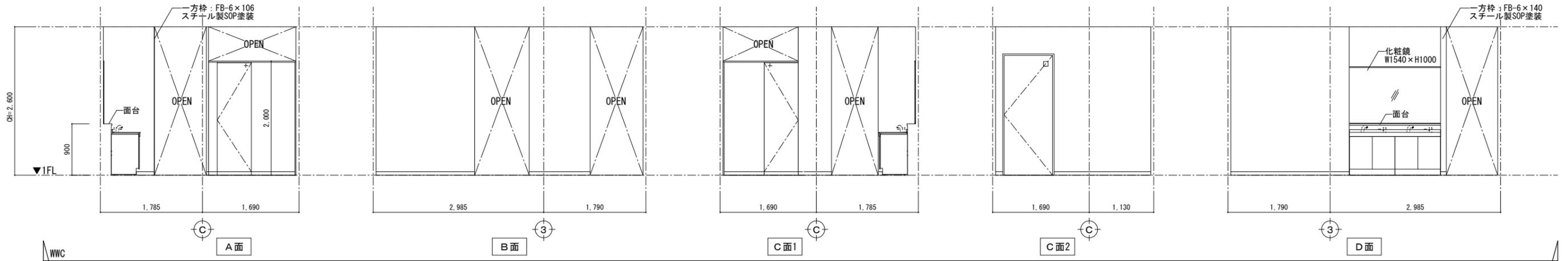
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (3)



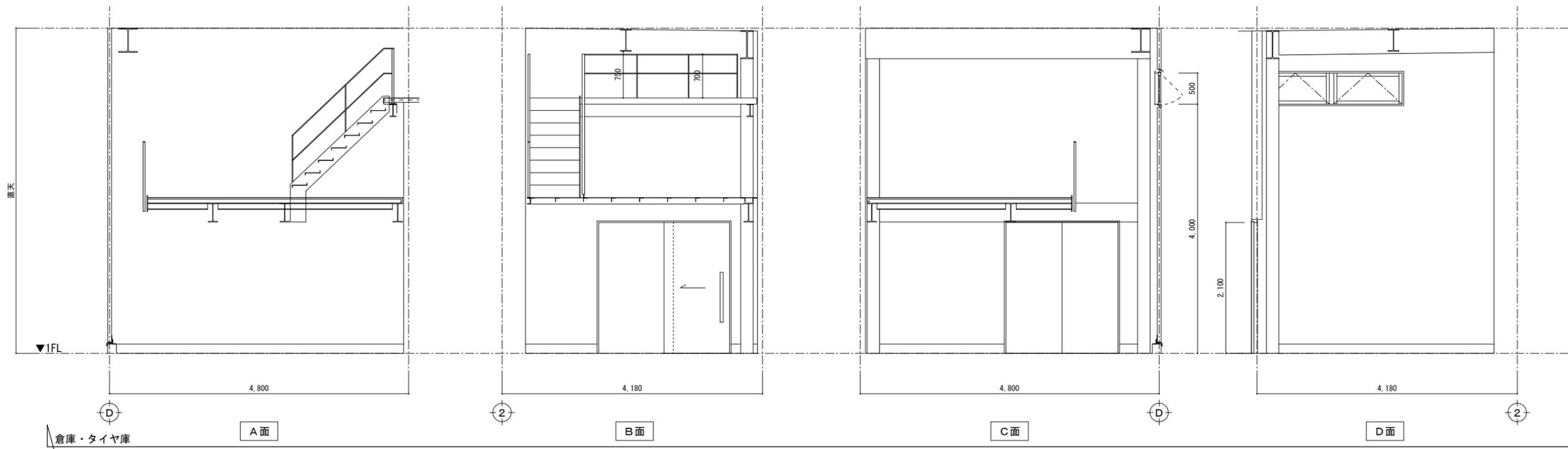
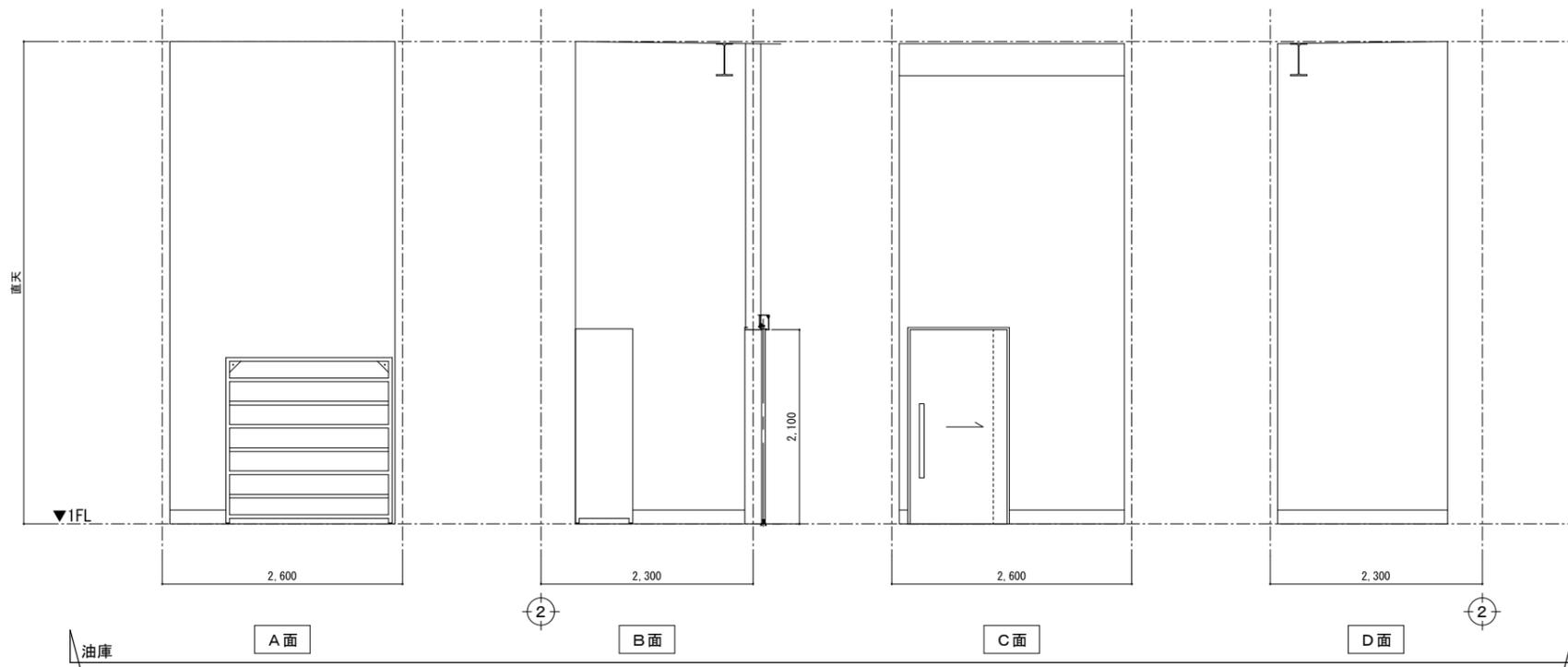
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (4)



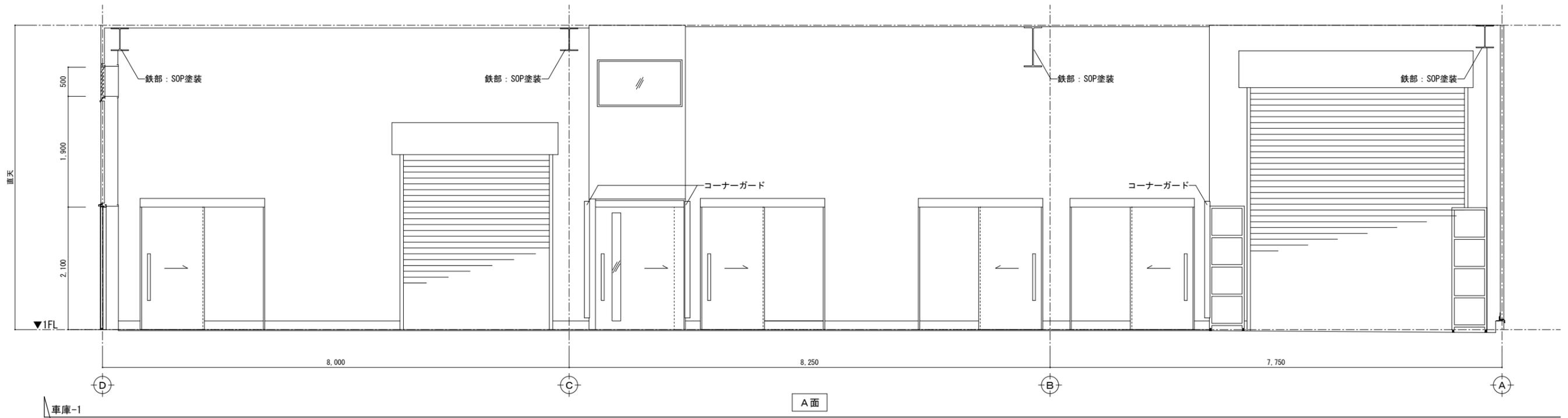
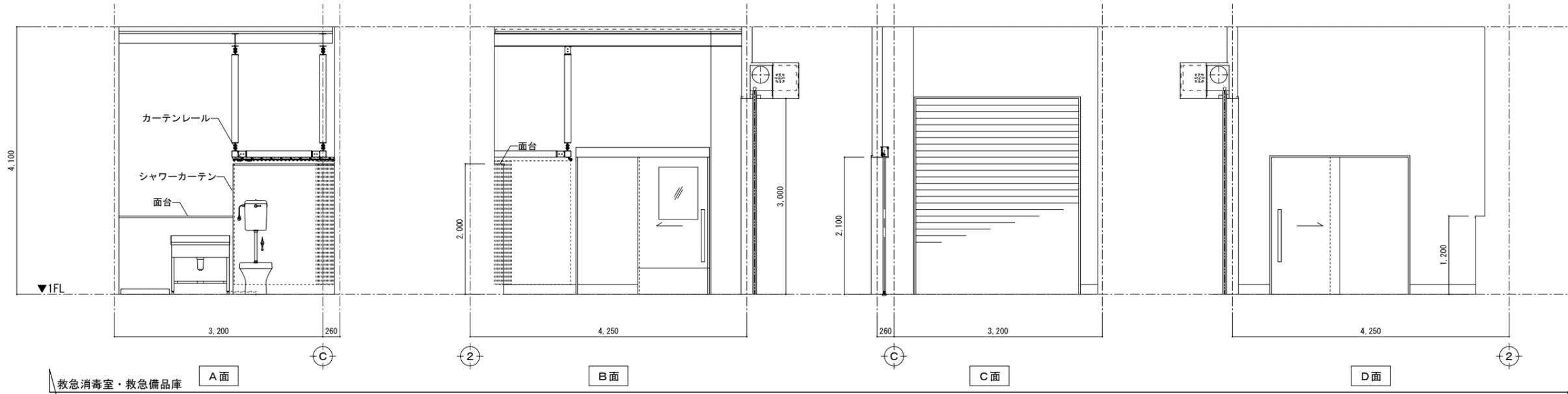
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			
				SCALE	A
				A2: 1/50 A3: A2の71%	038



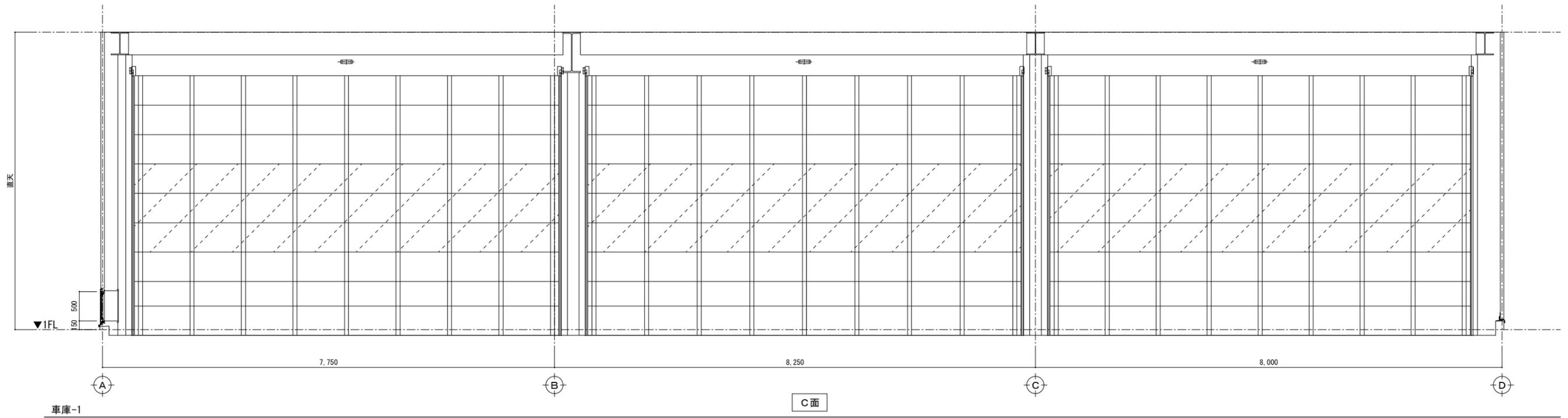
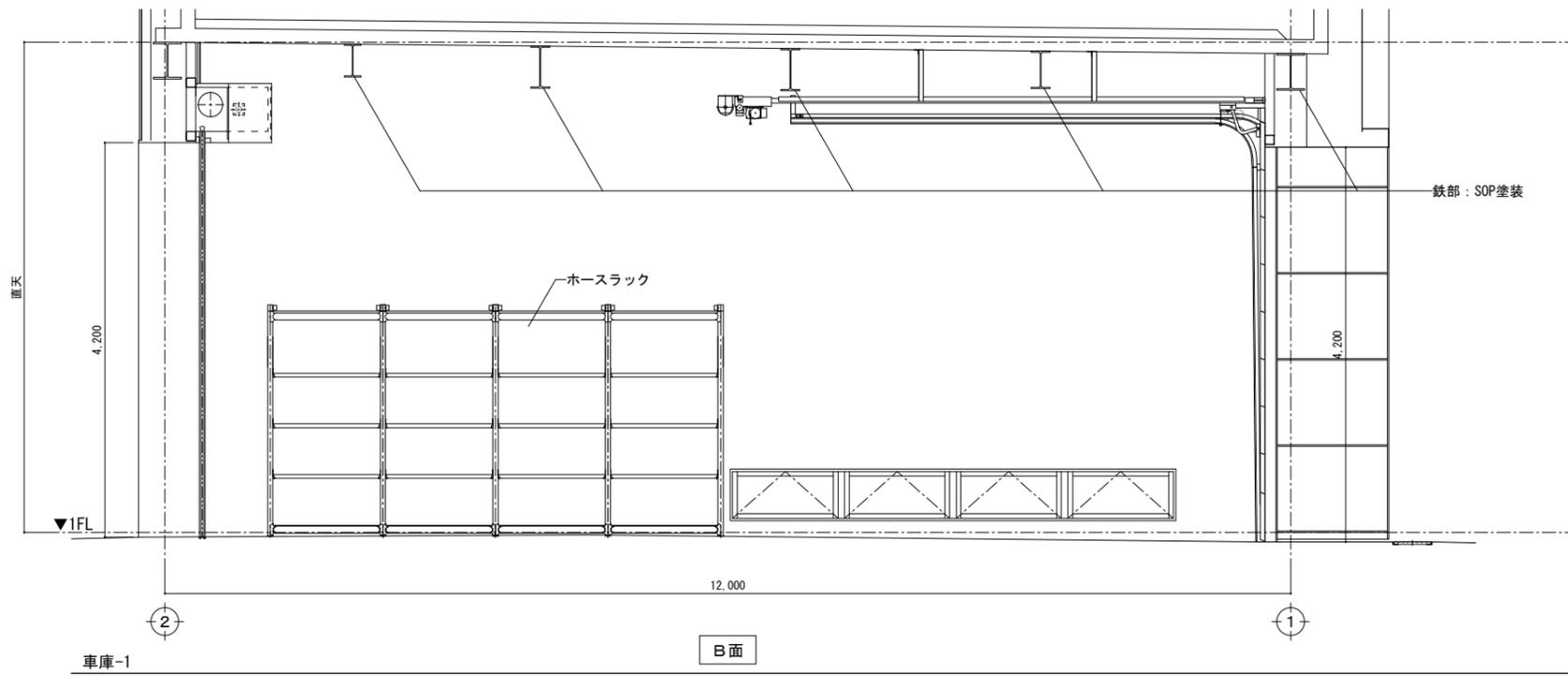
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (6)
				SCALE	
				A2 : 1/50	
				A3 : A2の71%	



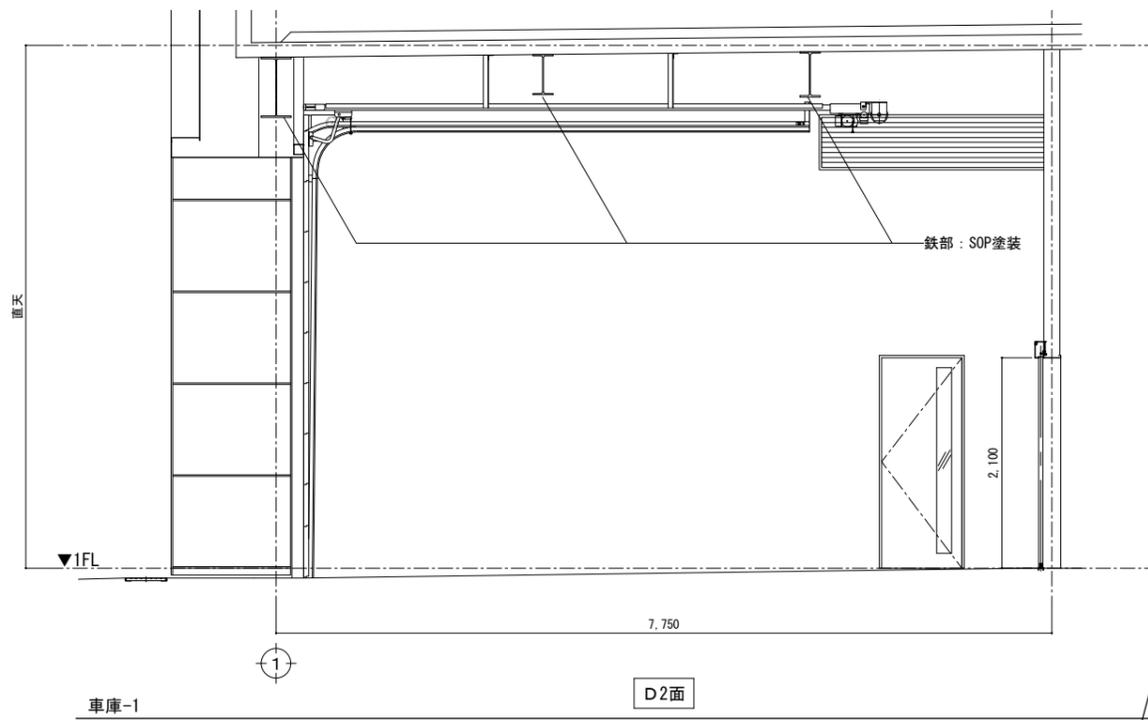
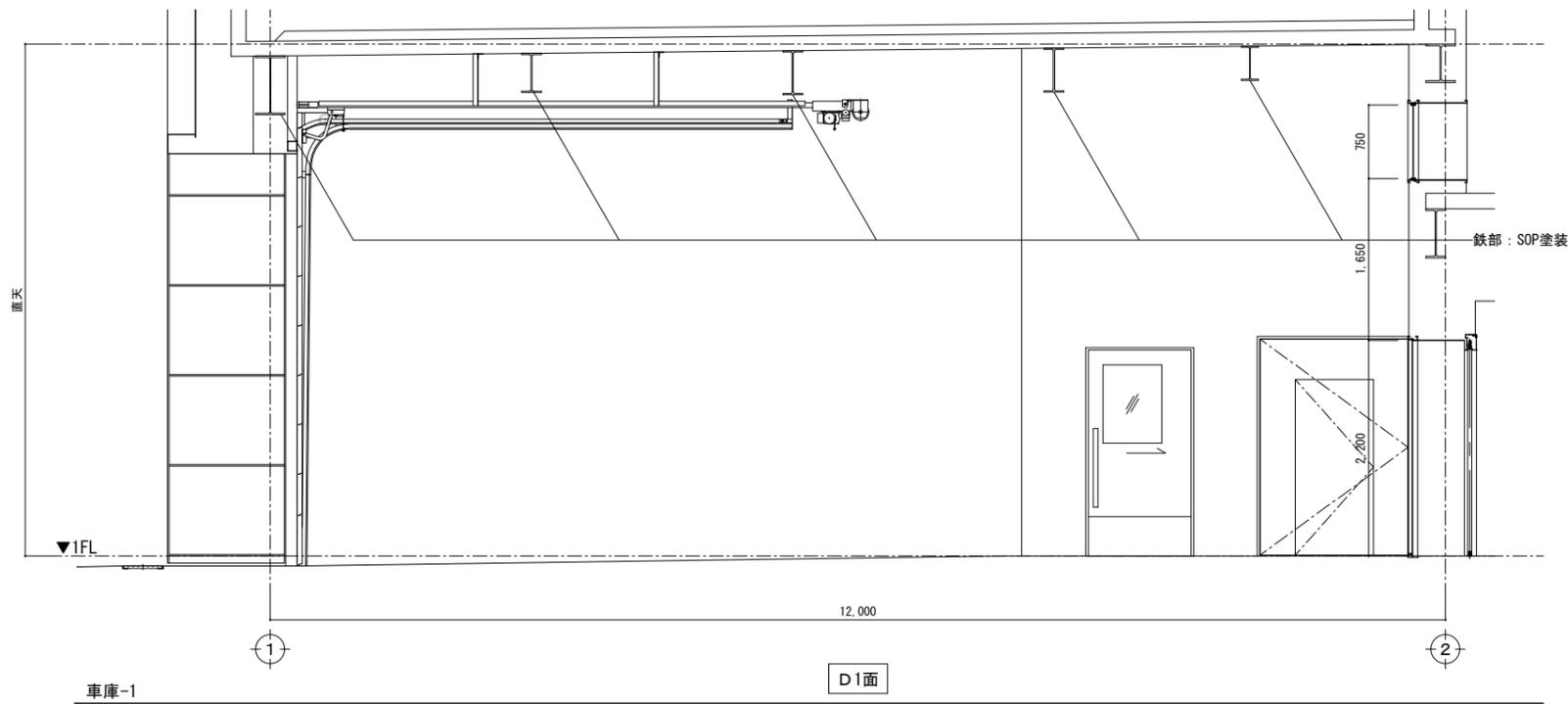
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (7)	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%



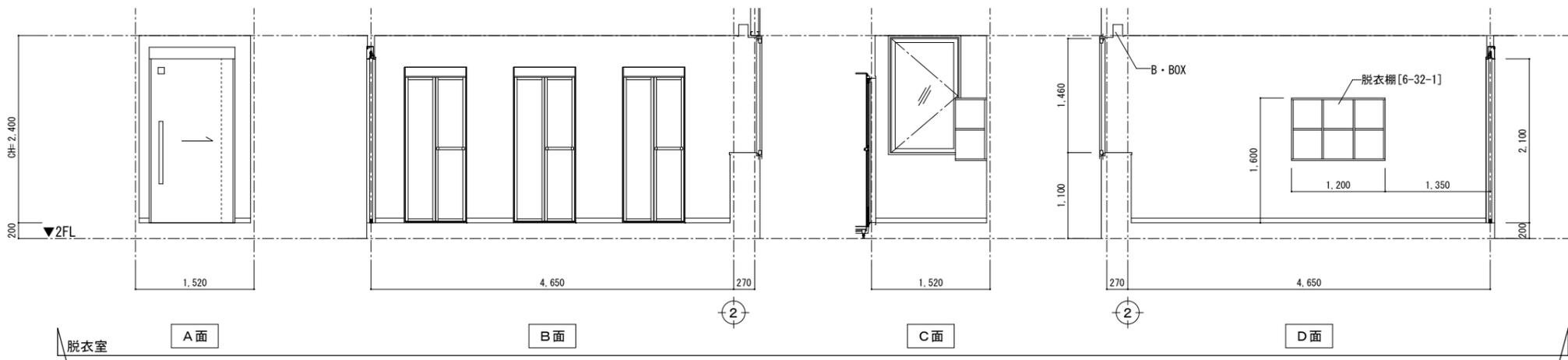
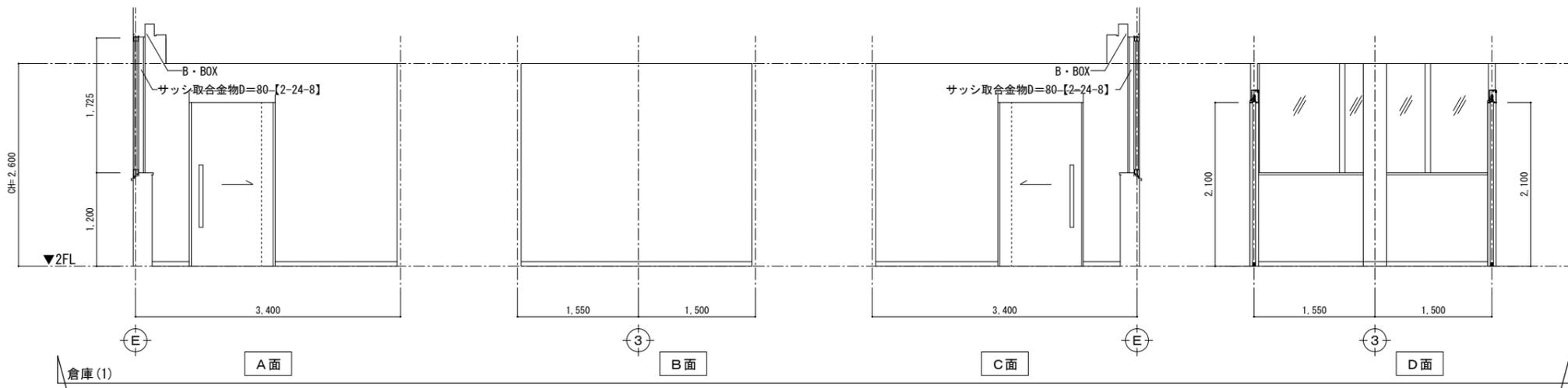
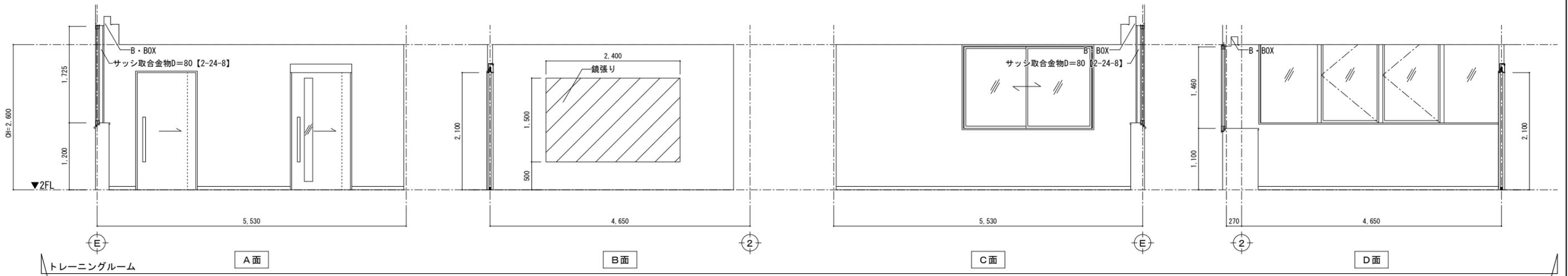
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350761号 行保 公嗣	寺川 智也		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】1階展開図 (8)
				SCALE	A2 : 1/50 A3 : A2の71%



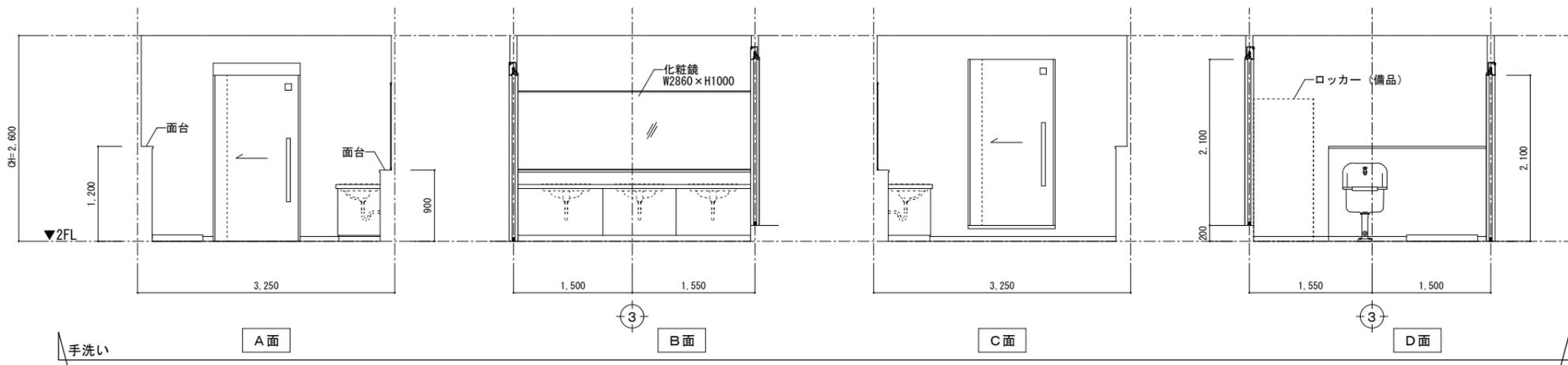
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	
				【庁舎棟】1階展開図 (9)	A 042



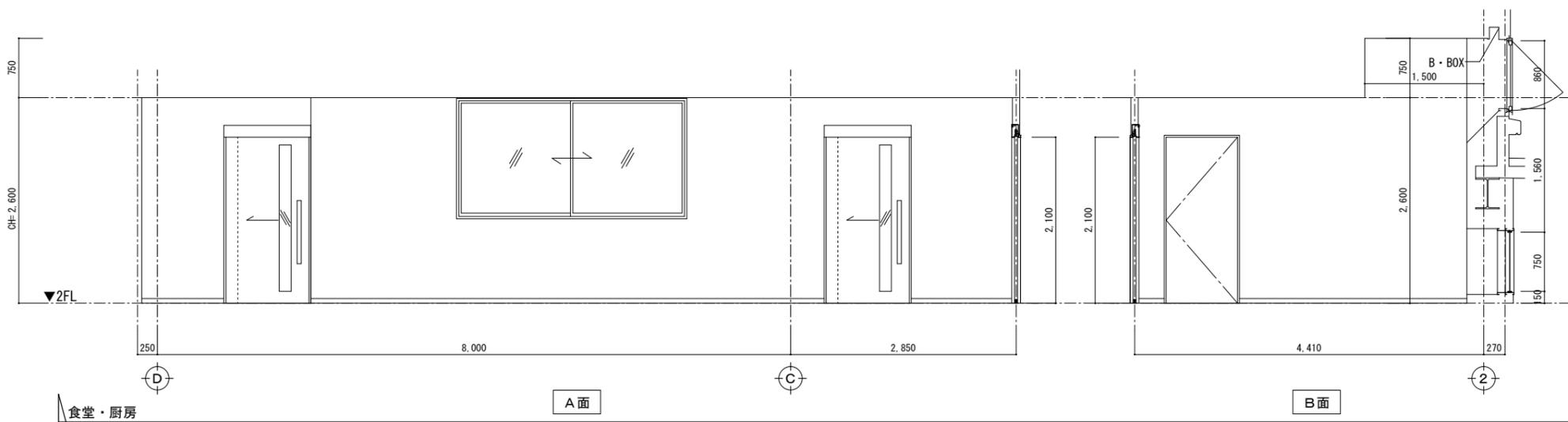
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
				【庁舎棟】1階展開図 (10)	SCALE A2: 1/50 A3: A2の71%



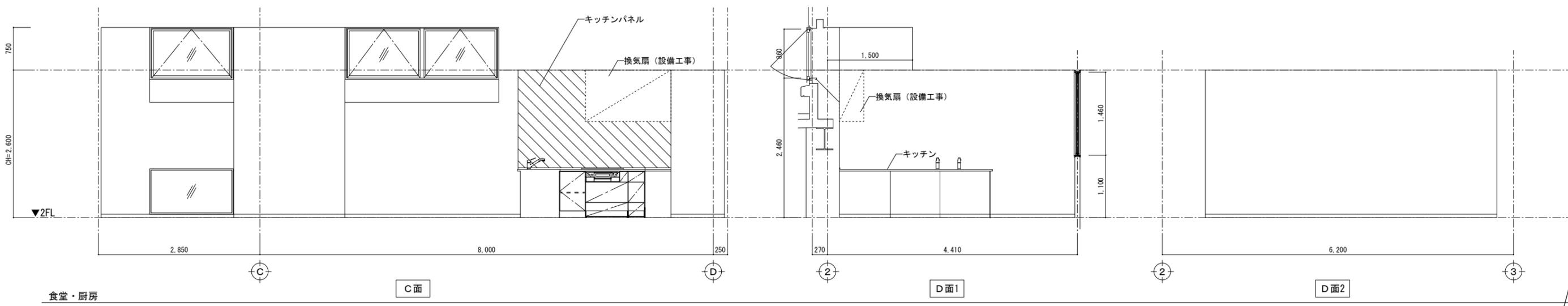
NOTE		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
					三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			【庁舎棟】2階展開図 (1)	SCALE A2 : 1/200 A3 : A2の71%



手洗い A面 B面 C面 D面

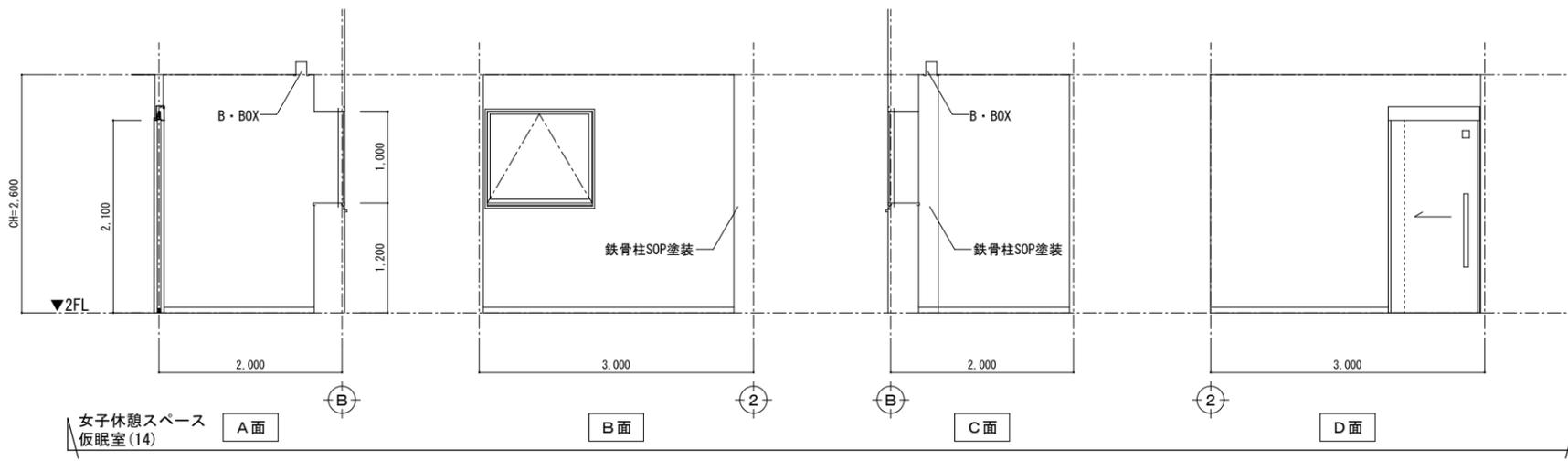
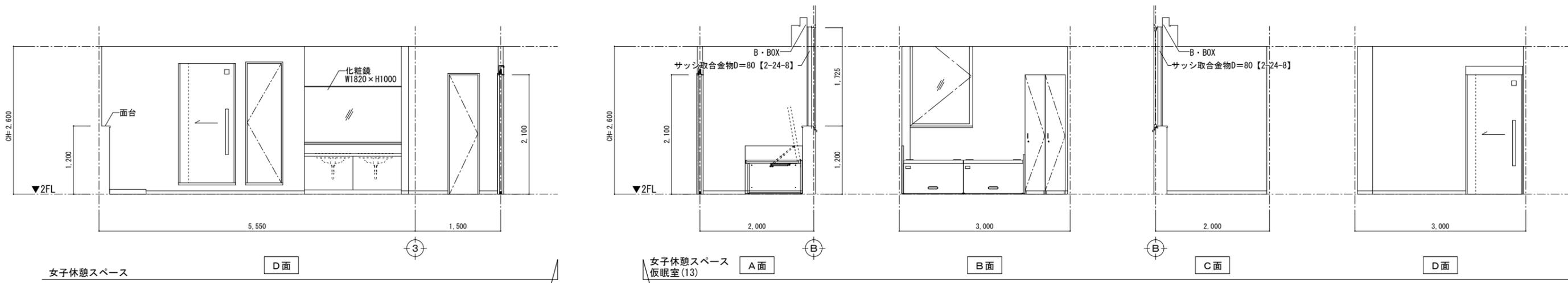
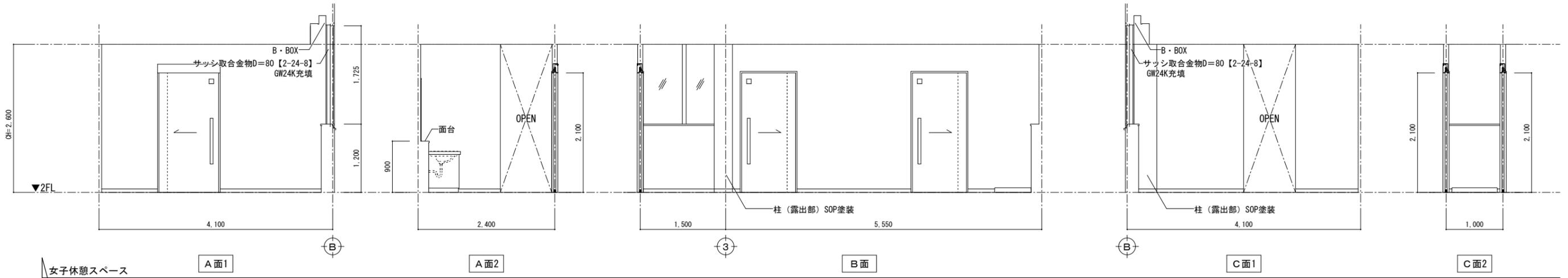


食堂・厨房 A面 B面

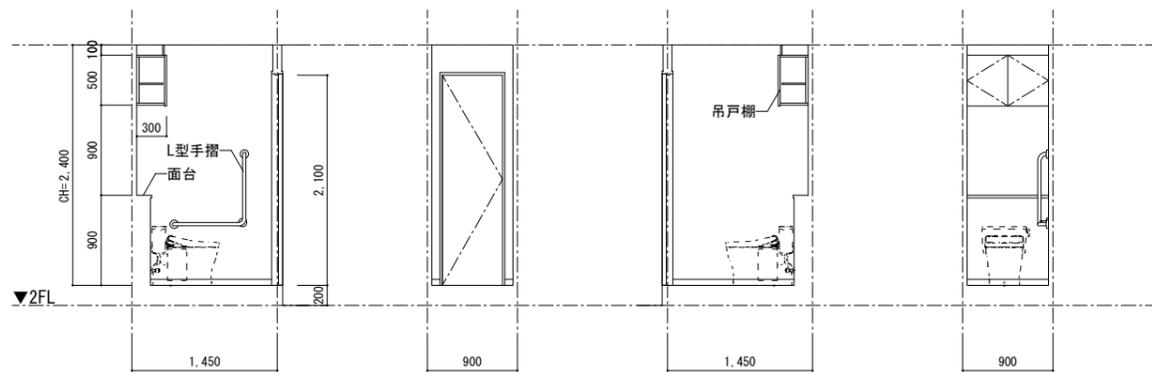


食堂・厨房 C面 D面1 D面2

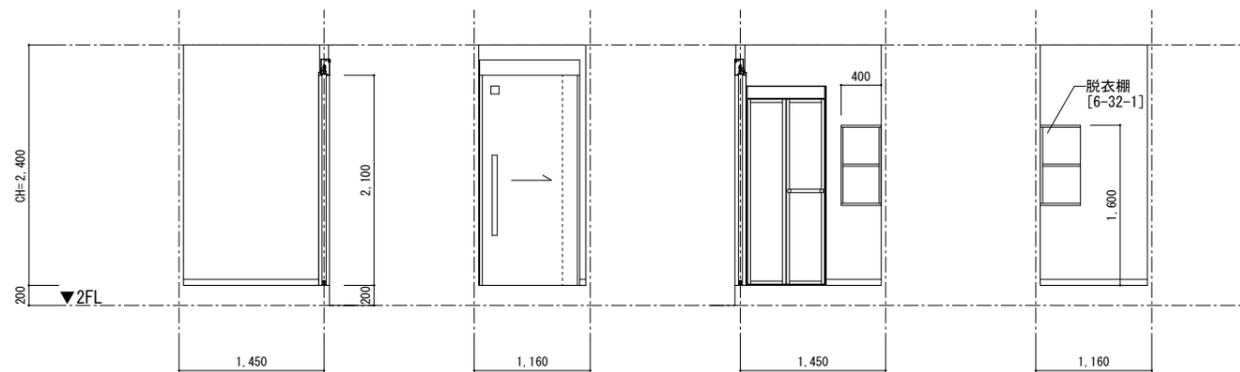
NOTE		株式会社 あい設計 福山支社	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
		一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也		【庁舎棟】2階展開図 (2)	SCALE A2 : 1/200 A3 : A2の71%
						045



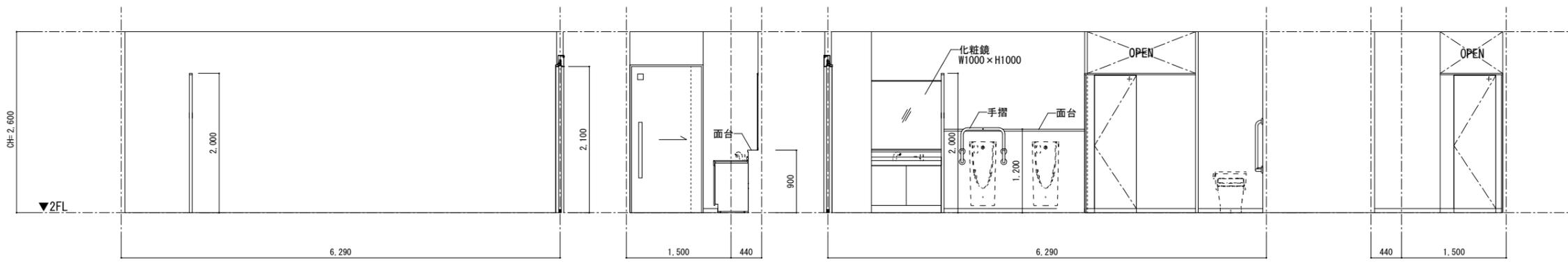
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
				三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
				【庁舎棟】2階展開図 (3)	SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%



女子休憩スペース WC A面 B面 C面 D面

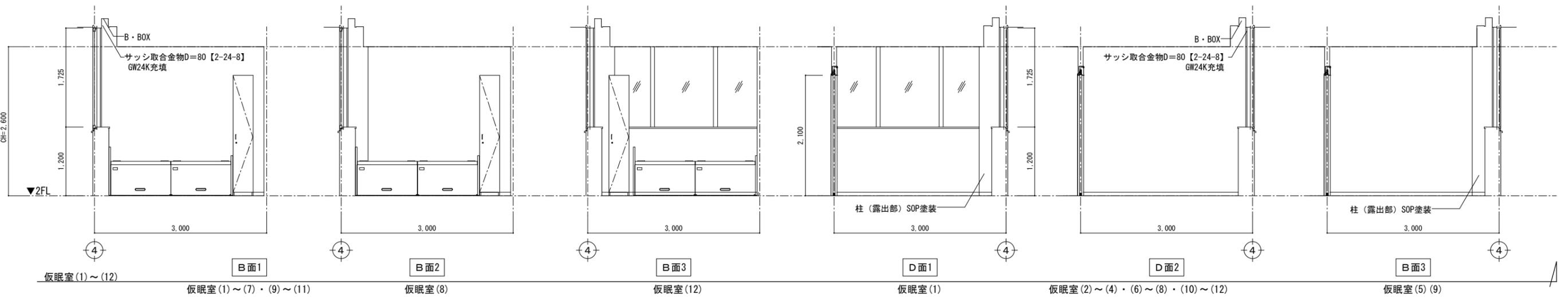
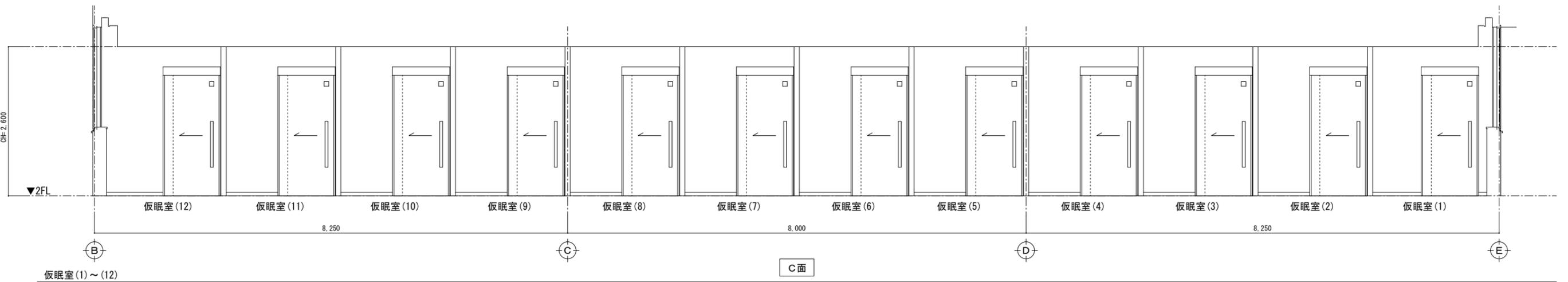
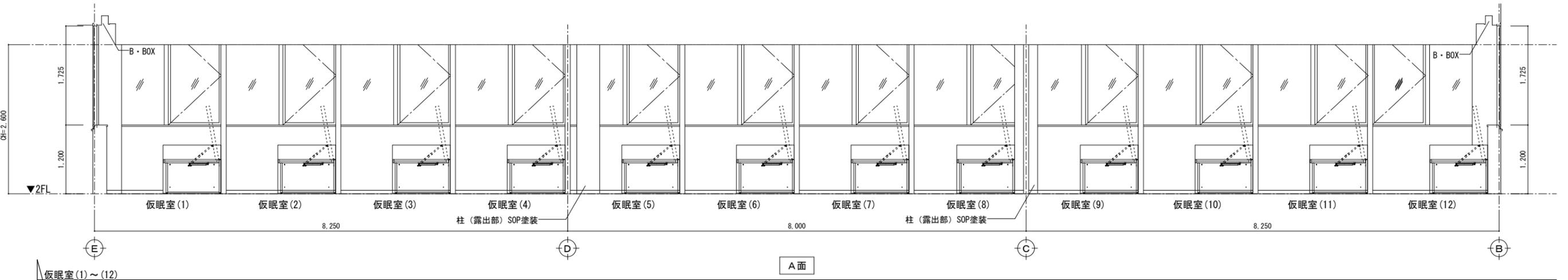


女子休憩スペース 脱衣室 A面 B面 C面 D面

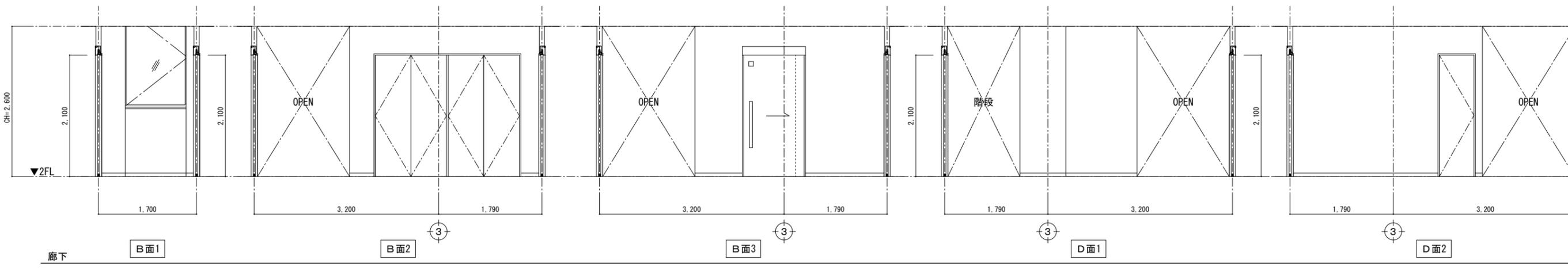
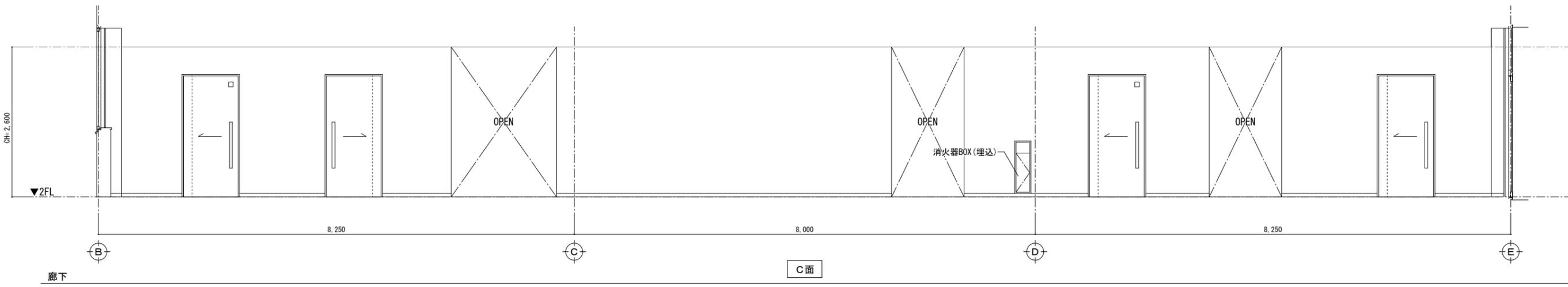
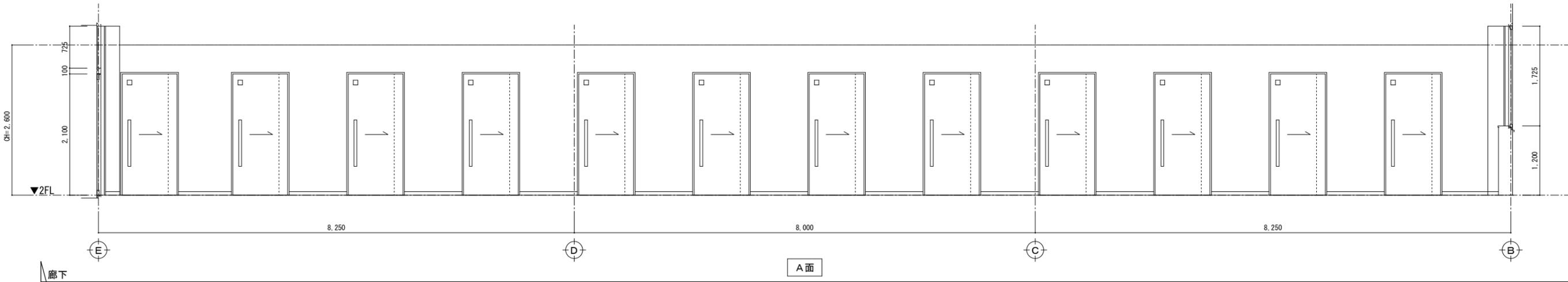


MWC-3 A面 B面 C面 D面

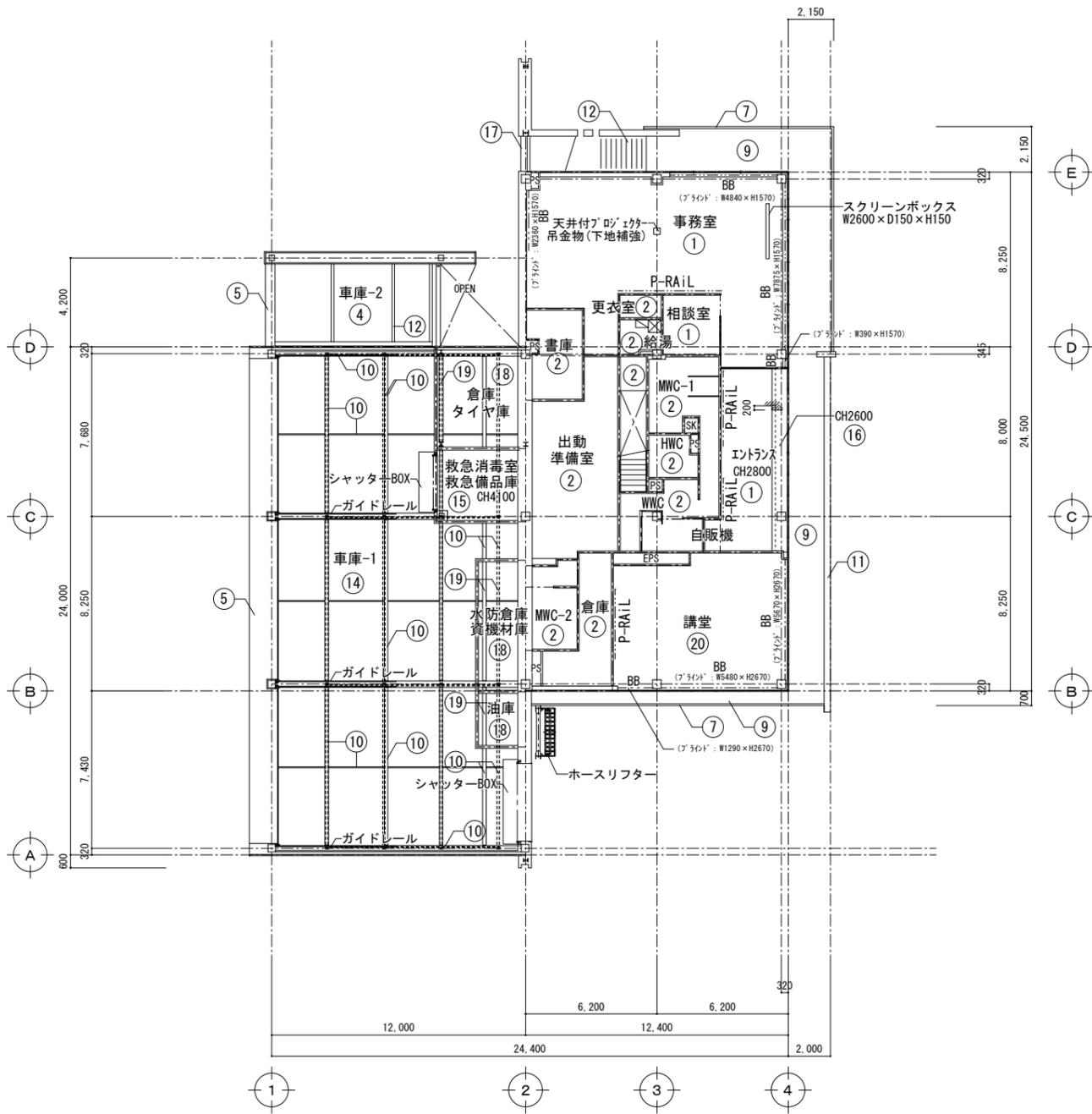
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】2階展開図 (4)



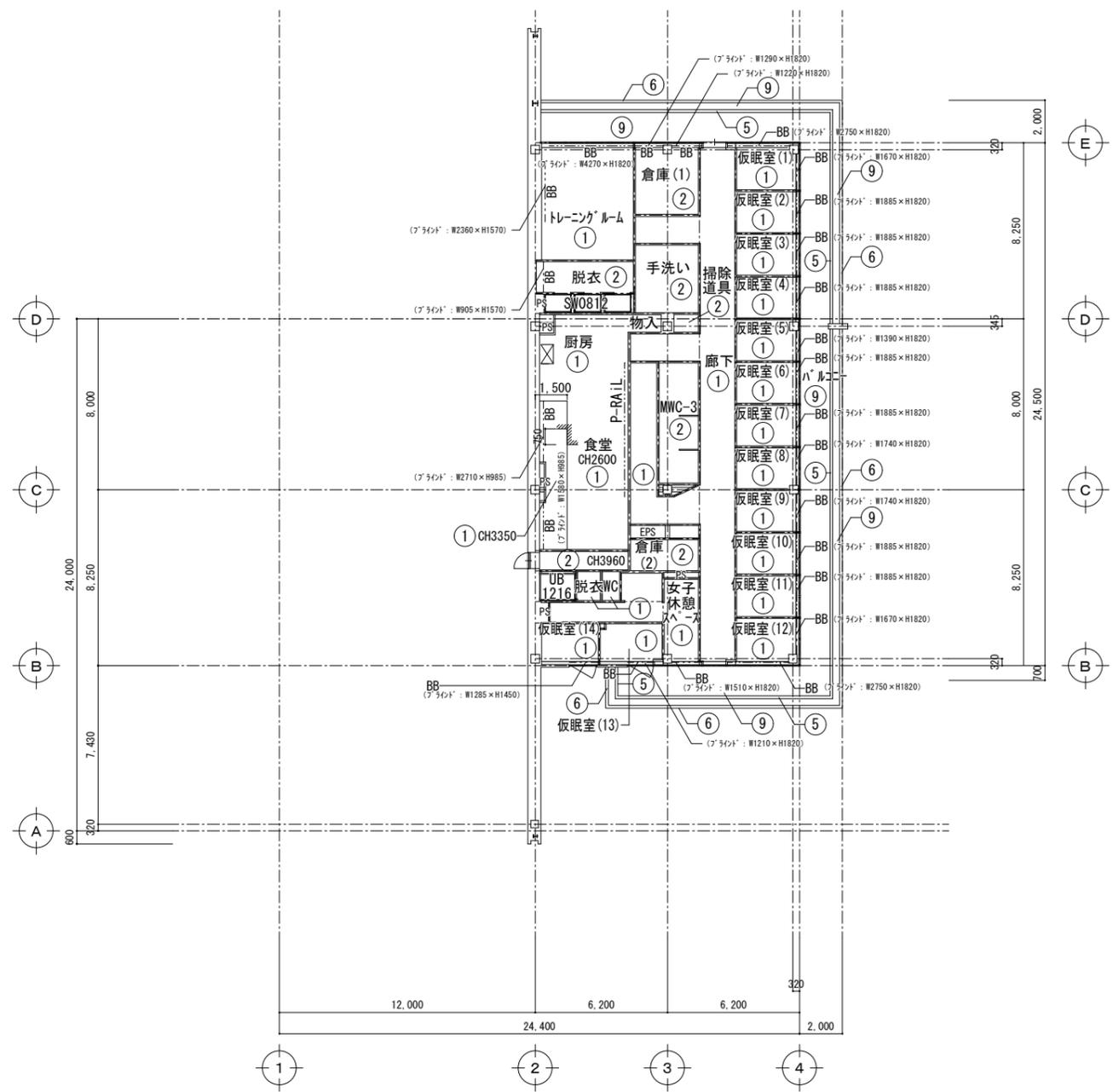
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】2階展開図 (5)



NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】2階展開図 (6)



1階天井伏図

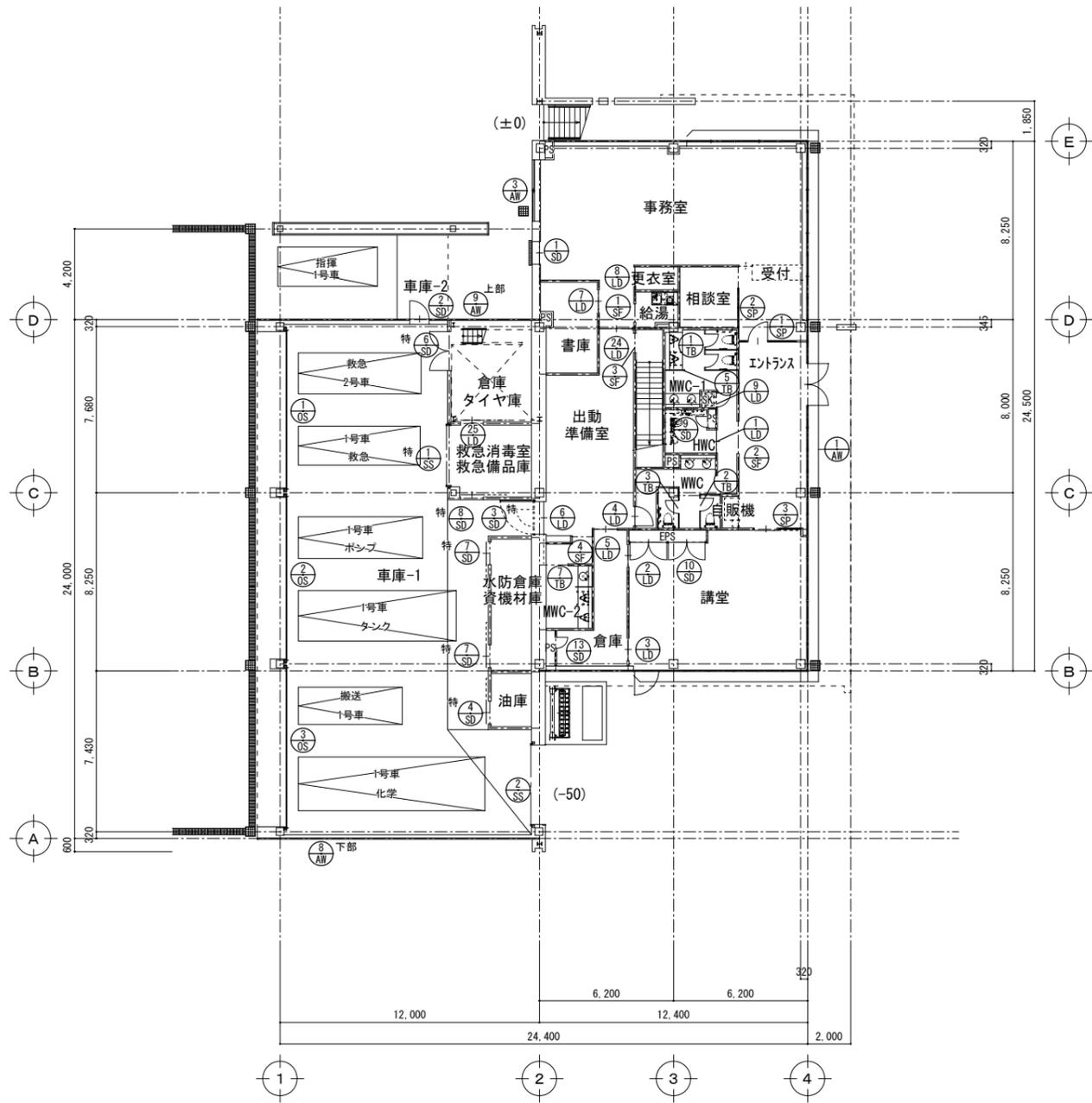


2階天井伏図

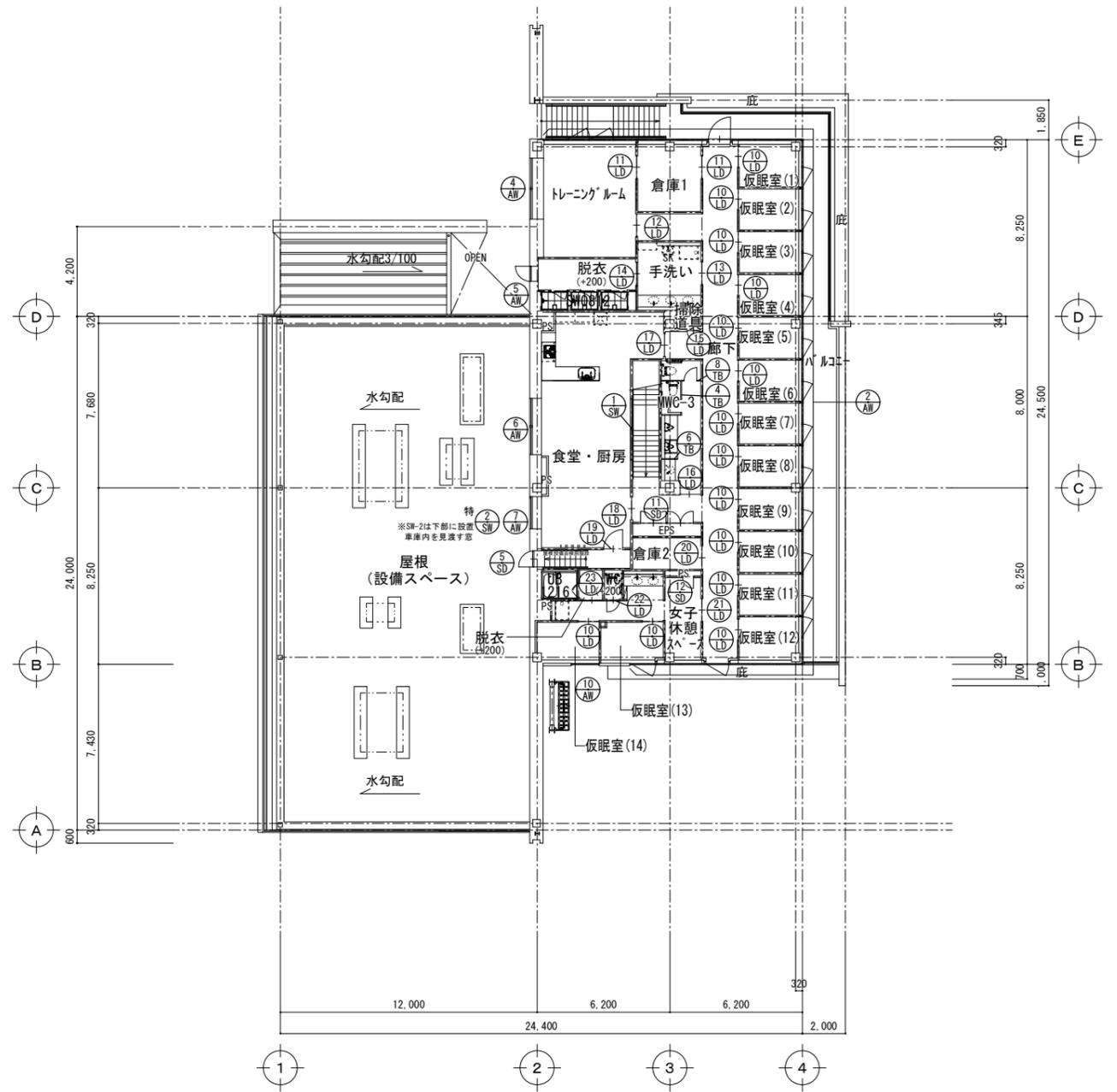
凡例										■天井開口補強、天井点検口リスト						
① GB-R t 9.5+ビニルクロス	⑥ 溶融亜鉛メッキ+DP塗装 (L-130×130×9)	⑪ カラーガルバリウム鋼板	⑬ DP塗装	⑰ EP塗装	BB	ブラインドボックス(アルミ製)+ブラインド	P-RAIL	ピクチャーレール	※特記なき限り 天井高さは2,600とする ④、⑭、PS、EPSは直天とする		天井開口補強 1300×250	72ヶ所	天井開口補強 350×350	15ヶ所	天井点検口 450×450	25ヶ所
② GB-D t 9.5	⑦ 溶融亜鉛メッキ+DP塗装 (L-250×90×9×13)	⑫ 溶融亜鉛メッキ	⑭ スラブ表し+硬質ウレタンフォーム+SOP塗装	⑱ 窯業系サイディング	■	折上げ天井範囲 D350×H325					天井開口補強 650×250	2ヶ所	天井開口補強 400×400	12ヶ所	天井点検口 600×600	1ヶ所
③ GB-R t 9.5+DR t 9.0	⑧ FK t 6.0≠EP塗装(白)	⑬ DP塗装	⑮ スラブ表し+硬質ウレタンフォーム+SOP塗装	⑲ 硬質ウレタンフォーム表し	☒	換気フード					天井開口補強 200×200	2ヶ所	天井開口補強 950×950	7ヶ所		
④ 折版表し	⑨ FK t 6.0+EP塗装	⑭ スラブ表し+硬質ウレタンフォーム+SOP塗装	⑯ CHPL t 4.5 錆止め塗装	⑳ 素地	☑	吊戸棚					天井開口補強 250×250	8ヶ所	天井開口補強 500×500	15ヶ所		
⑤ アルミパネル	⑩ SOP塗装(鉄部)	⑮ CHPL t 4.5 錆止め塗装	⑳ GB-R t 12.5+DR t 9.0								天井開口補強 300×300	9ヶ所	天井開口補強 600×600	2ヶ所		

NOTE

		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No	
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣		寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A	
【庁舎棟】天井伏図						SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%	050



1階建具配置図



2階建具配置図

NOTE	

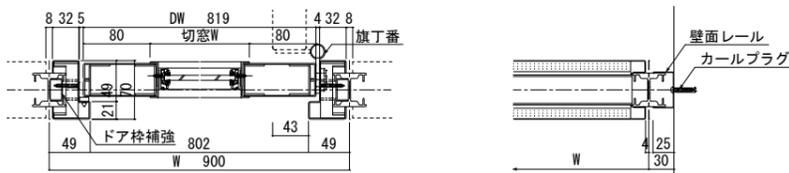
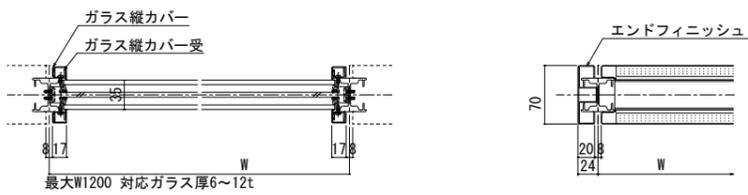
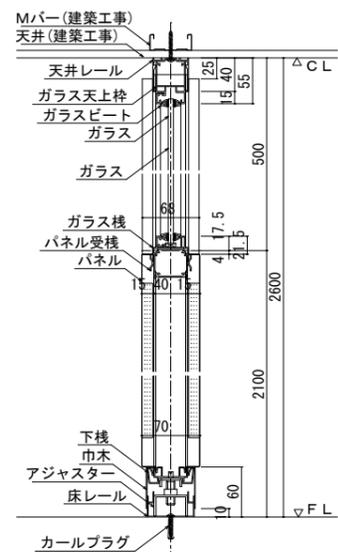
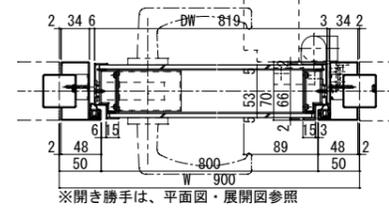
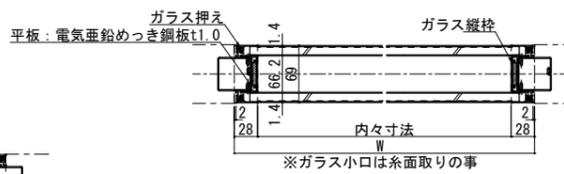
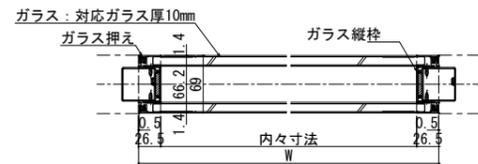
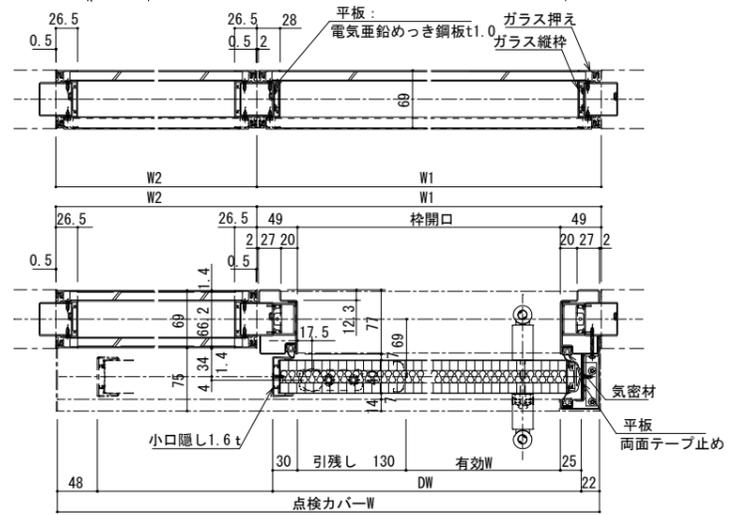
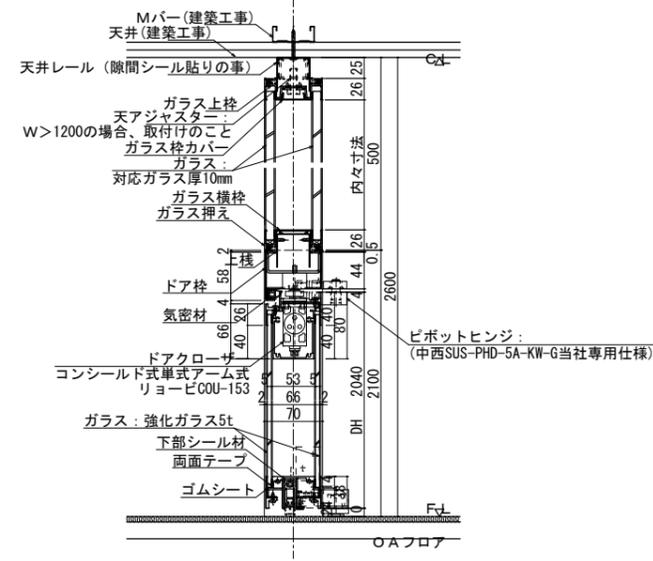
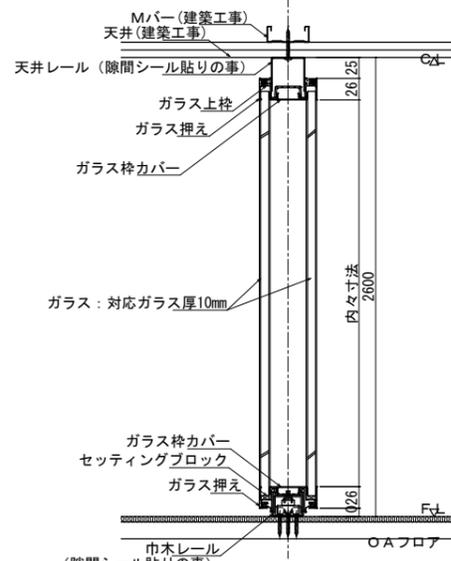
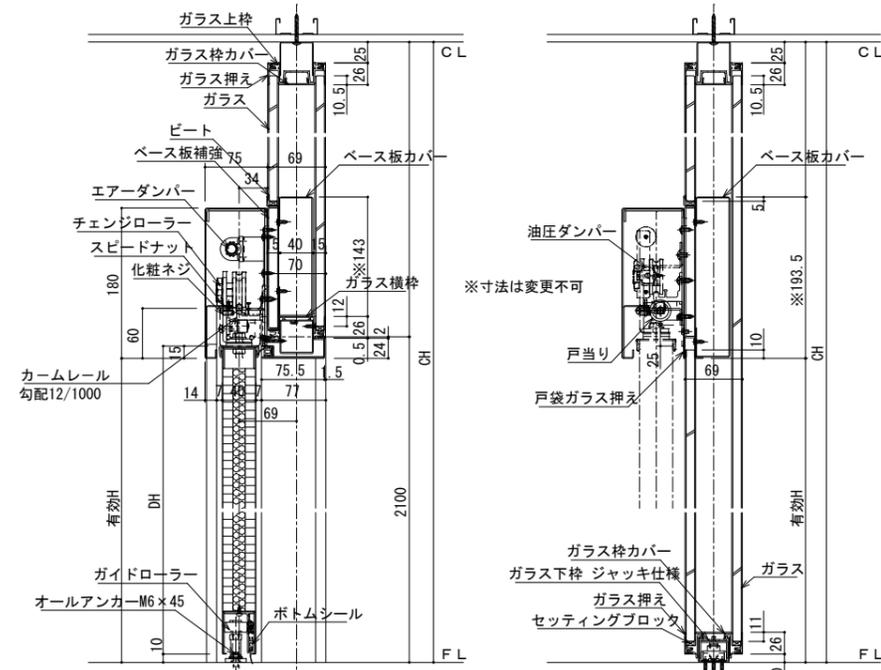
株式会社 あいち設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行保 公嗣
 寺川 智也

JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
		【庁舎棟】建具配置図	051
		SCALE A2 : 1/200 A3 : A2の71%	

凡例、略号	建具の性能	【アルミニウム製建具 扉板、額縁】																																																																								
【図面表示建具符号】 整理番号 ○ 防火設備の種別 建具略号	【アルミニウム製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 T-1 T-2 T-3 T-4 断熱性能 対応値 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 対応値 D-1 D-2 D-3 表面処理 対応値 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	A1 (アルミ製 結露受層板) A2 (木製 結露受層板) A3 (アルミ製) A4 (木製) A5 (モルタル塗り) A6																																																																								
【建具略号】 <table border="1"> <tr><td>種別</td><td>戸</td><td>窓</td><td>コーナール</td><td>がらり</td><td>三方枠</td><td>障子</td><td>ふすま</td><td>シャッター</td></tr> <tr><td>アルミニウム製</td><td>AD</td><td>AW</td><td>ACW</td><td>AG</td><td></td><td></td><td></td><td>AS</td></tr> <tr><td>樹脂製</td><td>PD</td><td>PW</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鋼製</td><td>SD</td><td>SW</td><td></td><td>SG</td><td>SF</td><td></td><td></td><td>SS</td></tr> <tr><td>鋼製軽量</td><td>LD</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>LS</td></tr> <tr><td>ステンレス製</td><td>SSD</td><td>SSW</td><td></td><td>SSG</td><td>SSF</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>木製</td><td>WD</td><td>WW</td><td></td><td>WG</td><td></td><td>S</td><td>F</td><td></td></tr> <tr><td>強化ガラス製</td><td>TD</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種別	戸	窓	コーナール	がらり	三方枠	障子	ふすま	シャッター	アルミニウム製	AD	AW	ACW	AG				AS	樹脂製	PD	PW							鋼製	SD	SW		SG	SF			SS	鋼製軽量	LD							LS	ステンレス製	SSD	SSW		SSG	SSF				木製	WD	WW		WG		S	F		強化ガラス製	TD								【樹脂製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 T-1 T-2 T-3 T-4 断熱性能 対応値 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 対応値 D-1 D-2 D-3 表面処理 対応値 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	【アルミニウム製建具 水切】 水切り共通1 B1 (アルミニウム製) B2 (タイル張り) B3 (防水モルタル塗り)
種別	戸	窓	コーナール	がらり	三方枠	障子	ふすま	シャッター																																																																		
アルミニウム製	AD	AW	ACW	AG				AS																																																																		
樹脂製	PD	PW																																																																								
鋼製	SD	SW		SG	SF			SS																																																																		
鋼製軽量	LD							LS																																																																		
ステンレス製	SSD	SSW		SSG	SSF																																																																					
木製	WD	WW		WG		S	F																																																																			
強化ガラス製	TD																																																																									
【ガラス略号】 <table border="1"> <tr><td>P</td><td>フロート板ガラス</td><td>IG</td><td>複層ガラス</td></tr> <tr><td>F</td><td>型板ガラス</td><td>HG</td><td>高断熱複層ガラス</td></tr> <tr><td>NF</td><td>網入型板ガラス(防火設備)</td><td>HR</td><td>高性能熱線反射ガラス</td></tr> <tr><td>WF</td><td>網入型板ガラス(防火設備)</td><td>HAR</td><td>高性能熱線吸収反射ガラス</td></tr> <tr><td>NP</td><td>網入磨き板ガラス(防火設備)</td><td>DS</td><td>倍強度ガラス</td></tr> <tr><td>WP</td><td>網入磨き板ガラス</td><td>DSHA</td><td>倍強度熱線吸収ガラス</td></tr> <tr><td>HAP</td><td>熱線吸収フロート板ガラス</td><td>HTG</td><td>耐熱強化ガラス(防火設備)</td></tr> <tr><td>HARP</td><td>熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)</td><td>HCG</td><td>耐熱強化ガラス(防火設備)</td></tr> <tr><td>HARP</td><td>熱線吸収網入磨き板ガラス</td><td>Low-E</td><td>低放射ガラス</td></tr> <tr><td>T</td><td>強化ガラス</td><td>A*</td><td>空気層 * mm</td></tr> <tr><td>FT</td><td>高性能型強化ガラス</td><td>GB</td><td>ガラスブロック</td></tr> <tr><td>L</td><td>合わせガラス</td><td></td><td></td></tr> </table>	P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス	F	型板ガラス	HG	高断熱複層ガラス	NF	網入型板ガラス(防火設備)	HR	高性能熱線反射ガラス	WF	網入型板ガラス(防火設備)	HAR	高性能熱線吸収反射ガラス	NP	網入磨き板ガラス(防火設備)	DS	倍強度ガラス	WP	網入磨き板ガラス	DSHA	倍強度熱線吸収ガラス	HAP	熱線吸収フロート板ガラス	HTG	耐熱強化ガラス(防火設備)	HARP	熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)	HCG	耐熱強化ガラス(防火設備)	HARP	熱線吸収網入磨き板ガラス	Low-E	低放射ガラス	T	強化ガラス	A*	空気層 * mm	FT	高性能型強化ガラス	GB	ガラスブロック	L	合わせガラス			【鋼製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 T-1 T-2 T-3 T-4 断熱性能 対応値 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 対応値 D-1 D-2 D-3 表面処理 対応値 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	【鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス製建具 枠、三方枠】 S1 S2 S3 S4 (外部 気密材付き) S5 (外部 気密材付き) S6 (外部 気密材付き) S7 (外部 気密材・水切り付き) S8 (外部 気密材・水切り付き) S9 (外部 気密材・水切り付き) S10 (SAT) S11 (SAT) S12 (SAT)																								
P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス																																																																							
F	型板ガラス	HG	高断熱複層ガラス																																																																							
NF	網入型板ガラス(防火設備)	HR	高性能熱線反射ガラス																																																																							
WF	網入型板ガラス(防火設備)	HAR	高性能熱線吸収反射ガラス																																																																							
NP	網入磨き板ガラス(防火設備)	DS	倍強度ガラス																																																																							
WP	網入磨き板ガラス	DSHA	倍強度熱線吸収ガラス																																																																							
HAP	熱線吸収フロート板ガラス	HTG	耐熱強化ガラス(防火設備)																																																																							
HARP	熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)	HCG	耐熱強化ガラス(防火設備)																																																																							
HARP	熱線吸収網入磨き板ガラス	Low-E	低放射ガラス																																																																							
T	強化ガラス	A*	空気層 * mm																																																																							
FT	高性能型強化ガラス	GB	ガラスブロック																																																																							
L	合わせガラス																																																																									
【建具金物など略号】 <table border="1"> <tr><td>FH</td><td>フロアヒンジ</td><td>BL</td><td>シリンダー箱錠(レバーハンドル)</td></tr> <tr><td>HC</td><td>ヒンジクローザ</td><td>CL</td><td>シリンダー本錠錠</td></tr> <tr><td>PH</td><td>ピボットヒンジ</td><td>LH</td><td>レバーハンドル</td></tr> <tr><td>GH</td><td>グレイティヒンジ</td><td>CH</td><td>ケースハンドル</td></tr> <tr><td>H</td><td>丁香</td><td>EML</td><td>非常錠</td></tr> <tr><td>DC</td><td>ドアクローザ(ストップなし)</td><td>OEL</td><td>カード式電気錠</td></tr> <tr><td>DC(S)</td><td>ドアクローザ(ストップ付)</td><td>EL</td><td>電気錠</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ADB</td><td>オートドアボトム</td></tr> </table>	FH	フロアヒンジ	BL	シリンダー箱錠(レバーハンドル)	HC	ヒンジクローザ	CL	シリンダー本錠錠	PH	ピボットヒンジ	LH	レバーハンドル	GH	グレイティヒンジ	CH	ケースハンドル	H	丁香	EML	非常錠	DC	ドアクローザ(ストップなし)	OEL	カード式電気錠	DC(S)	ドアクローザ(ストップ付)	EL	電気錠			ADB	オートドアボトム	【鋼製軽量建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 T-1 T-2 T-3 T-4 断熱性能 対応値 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 対応値 D-1 D-2 D-3 表面処理 対応値 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	S13 (AT) S14 (AT) S15 (AT) S16 (FB枠) S17 (FB枠) S18 (FB枠) S19 (つぶし枠) S20 (つぶし枠) S21 (つぶし枠) S22 (つぶし枠)(外部 気密材・水切り付き)																																								
FH	フロアヒンジ	BL	シリンダー箱錠(レバーハンドル)																																																																							
HC	ヒンジクローザ	CL	シリンダー本錠錠																																																																							
PH	ピボットヒンジ	LH	レバーハンドル																																																																							
GH	グレイティヒンジ	CH	ケースハンドル																																																																							
H	丁香	EML	非常錠																																																																							
DC	ドアクローザ(ストップなし)	OEL	カード式電気錠																																																																							
DC(S)	ドアクローザ(ストップ付)	EL	電気錠																																																																							
		ADB	オートドアボトム																																																																							
【防音、防火設備の略号】 <table border="1"> <tr><td>SAT</td><td>セミエアタイト</td><td>(特)</td><td>特定防火設備</td></tr> <tr><td>AT</td><td>エアタイト</td><td>(防)</td><td>防火設備</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>(S)</td><td>煙感知器連動閉鎖式</td></tr> </table>	SAT	セミエアタイト	(特)	特定防火設備	AT	エアタイト	(防)	防火設備			(S)	煙感知器連動閉鎖式	【ステンレス製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 T-1 T-2 T-3 T-4 断熱性能 対応値 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 対応値 D-1 D-2 D-3 表面処理 対応値 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	S31 (引戸枠) S32 (引戸枠) S33 (引戸つぶし枠) S51 (三方枠) S52 (三方枠)																																																												
SAT	セミエアタイト	(特)	特定防火設備																																																																							
AT	エアタイト	(防)	防火設備																																																																							
		(S)	煙感知器連動閉鎖式																																																																							
【仕上がり】 (1) 鋼製建具(SD)、鋼製軽量建具(LD)の仕上げは、SOP(F☆☆☆☆)とする。 (2) 鋼製建具(LD)の合わせおよび縦小口包み板は鋼板とする。 (3) 鋼製気密型(SAT)、気密型(AT)の気密材取付部(扉側)はSUS304 t1.5mmとし、形状は建具製作所の仕様による。 (4) 鋼製建具(SD)、鋼製軽量建具(LD)のがらりは、鋼製とする。 (5) アルミニウム製建具の金属製水切りは、端部立上げ(水切り共通1)とする。	【重量シャッター】 耐風圧性能(Pa) 2,400	K1 (くつずりなし) K2 (目地枠) K3 (仕上げ異なる場合) K4 (段差がある場合) K5 (幅木) K6 K7 (SAT) K8 (AT) K9 (外部) K10 (外部 気密材付き) K11 (SAT)																																																																								
【建具金物】 (1) ドアクローザの取付けは室内側を原則とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とする。 なお、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3) フレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の握り玉及びレバーハンドルの取付け位置は床面から1,000mmとし、押板高は1,100mmとする。	【軽量シャッター】 耐風圧性能(Pa) 2,400	D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 (SAT) D8 (SAT) D9 (SAT) D10 (AT) D11 (AT)																																																																								
共通事項 【特記なき限り次のとおりとする。】	【がらり】 G1 G2 G3	G1 G2 G3																																																																								
NOTE																																																																										

符号・名称 ① AW アルミ製 引違窓+FIX窓+両開き戸+縦すべり出し窓+片開き戸+ランマFIX窓 ※令116条の2第1項第2号 開放箇所を示す 	② AW アルミ製 片開き窓+FIX窓+片開き戸 ※特記なき部分のガラスはLow-E t 5.0+A6+F t 4.0とする ※令116条の2第1項第2号 開放箇所を示す 	③ AW アルミ製 引違窓 	④ AW アルミ製 引違窓 	⑤ AW アルミ製 開き窓 	⑥ AW アルミ製 突出し窓 ※令116条の2第1項第2号 開放箇所を示す 	⑦ AW アルミ製 突出し窓 	⑧ AW アルミ製 突出し窓 ※枠、建具、ガラス面取付アルミパネルは外壁と近似色とする。 	⑨ AW アルミ製 突出し窓+ガラリ ※ガラス面取付アルミプレートは外壁と近似色とする。 倉庫←車庫-1 	⑩ AW アルミ製 突き出し窓 ※令116条の2第1項第2号 開放箇所を示す 	取付場所 数量 1階 事務室、エントランス、講堂 1 取付場所 数量 2階 トレーニングルーム、倉庫、廊下、仮眠室、リネン室、女子休憩室、女子控室、女子リネン室 1 ガラス Low-E t 5.0+A6+P t 5.0、Low-E t 5.0+A6+T t 8.0、Low-E t 5.0+A6+P t 5.0(ランマ) 金物など クレセント、内付網戸、飛散防止フィルム(グラデーション、フロスト)、衝突防止フィルム、ドアハンドル(引棒)、DC、アルミカットパネル t 3.0+焼付塗装(赤)、付属金物一式、縦すべり出し窓用ストッパー、フロアヒンジ、押棒、CL(外:シリカゲル、内:樹脂)	取付場所 数量 1階 事務室、エントランス、講堂 1 取付場所 数量 2階 トレーニングルーム、倉庫、廊下、仮眠室、リネン室、女子休憩室、女子控室、女子リネン室 1 ガラス Low-E t 5.0+A6+P t 5.0、Low-E t 5.0+A6+T t 8.0、Low-E t 5.0+A6+P t 5.0(ランマ) 金物など クレセント、内付網戸、飛散防止フィルム(グラデーション、フロスト)、衝突防止フィルム、ドアハンドル(引棒)、DC、アルミカットパネル t 3.0+焼付塗装(赤)、付属金物一式、縦すべり出し窓用ストッパー、フロアヒンジ、押棒、CL(外:シリカゲル、内:樹脂)
										取付場所 数量 1階 事務室 1 取付場所 数量 2階 トレーニングルーム 1 取付場所 数量 2階 脱衣 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 車庫-1、資機材庫 1 取付場所 数量 2階 仮眠室(14) 1	取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 車庫-1、資機材庫 1 取付場所 数量 2階 仮眠室(14) 1
符号・名称 ① SW 鋼製 引違窓 	② SW 鋼製 FIX窓(特定防火設備) 	③ SW 鋼製 引違窓 	④ SW 鋼製 引違窓 	⑤ SW 鋼製 引違窓 	⑥ SW 鋼製 引違窓 	⑦ SW 鋼製 引違窓 	⑧ SW 鋼製 引違窓 	⑨ SW 鋼製 引違窓 	⑩ SW 鋼製 引違窓 	取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 ガラス P t 5.0 金物など クレセント、付属金物一式 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 ガラス HTG t 8.0 金物など 付属金物一式	取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 ガラス P t 5.0 金物など クレセント、付属金物一式 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 取付場所 数量 2階 食堂・厨房 1 ガラス HTG t 8.0 金物など 付属金物一式
符号・名称 ① SD 鋼製 片開き扉 	② SD 鋼製 片開き扉 	③ SD 鋼製 片開き扉(特定防火設備) 常開 煙感知器連動 H12年建設1369号 S48年建設2563号 S48年建設2564号 	④ SD 鋼製 片引き扉(特定防火設備) 常開 	⑤ SD 鋼製 片開き扉 	⑥ SD 鋼製 両開き扉(特定防火設備) 常開 	⑦ SD 鋼製 片引き扉(特定防火設備) 常開 	⑧ SD 鋼製 自動片引き扉(特定防火設備) 常開 	取付場所 数量 1階 事務室 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 油庫 1 取付場所 数量 2階 設備スペース 1 取付場所 数量 1階 倉庫・タイヤ庫 1 取付場所 数量 1階 水防倉庫・資機材庫 2 取付場所 数量 1階 救急消毒室・救急備品庫 1	取付場所 数量 1階 事務室 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 車庫-1 1 取付場所 数量 1階 油庫 1 取付場所 数量 2階 設備スペース 1 取付場所 数量 1階 倉庫・タイヤ庫 1 取付場所 数量 1階 水防倉庫・資機材庫 2 取付場所 数量 1階 救急消毒室・救急備品庫 1		
符号・名称 ⑨ SD 鋼製 片開き扉 	⑩ SD 鋼製 2連両開き扉 	⑪ SD 鋼製 2連両開き扉 	⑫ SD 鋼製 片開き扉 	⑬ SD 鋼製 片開き扉 	取付場所 数量 1階 HWC(PS) 1 取付場所 数量 1階 講堂(EPS) 1 取付場所 数量 2階 廊下(EPS) 1 取付場所 数量 2階 女子休憩スペース(PS) 1 取付場所 数量 1階 倉庫(PS) 1	取付場所 数量 1階 HWC(PS) 1 取付場所 数量 1階 講堂(EPS) 1 取付場所 数量 2階 廊下(EPS) 1 取付場所 数量 2階 女子休憩スペース(PS) 1 取付場所 数量 1階 倉庫(PS) 1					
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No. - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)	DWG No. A 053 SCALE A2: 1/200 A3: A2の71%								

符号・名称	① SP スチール製可動間仕切 (遮音タイプ)	② SP スチール製可動間仕切	③ SP スチール製可動間仕切 (遮音タイプ)															
図																		
取付場所	1階 事務室	1階 相談室	1階 講堂															
数量	1	1	1															
ガラス	Tt 10.0 (飛散防止フィルム貼)	Pt 5.0 (飛散防止フィルム貼)	Tt 10.0 (飛散防止フィルム貼)															
金物など	LH (外: シリコン錠、内: 9M錠) DC、床戸当り、付属金物一式	付属金物一式	引棒 (外: シリコン錠、内: 9M錠)、自動閉鎖装置 ハンガーレール、エンドストッパー、付属金物一式 ボトムシール															
符号・名称	① TB トイレブース	② TB トイレブース	③ TB トイレブース	④ TB トイレブース	⑤ TB トイレブース	⑥ TB トイレブース	⑦ TB トイレブース	⑧ TB トイレブース										
図																		
取付場所	1階 MWC-1	1階 WWC	1階 WWC	2階 MWC-3	1階 MWC-1	2階 MWC-3	1階 MWC-2	2階 MWC-3										
数量	1	1	1	1	1	1	1	1										
ガラス	-	-	-	-	-	-	-	-										
金物など	グレベティヒンジ、表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り、付属金物一式	グレベティヒンジ、表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り、付属金物一式	グレベティヒンジ、表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り、付属金物一式	グレベティヒンジ、表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	グレベティヒンジ、表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り、付属金物一式										

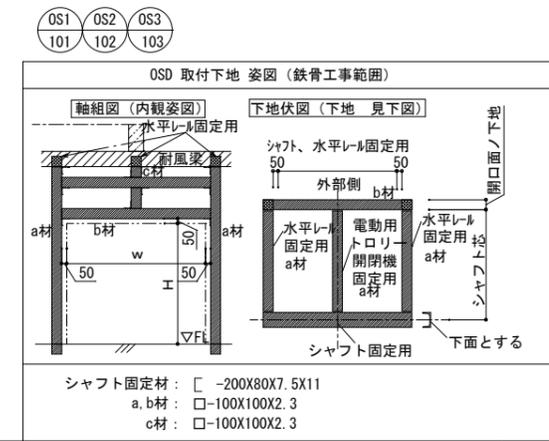
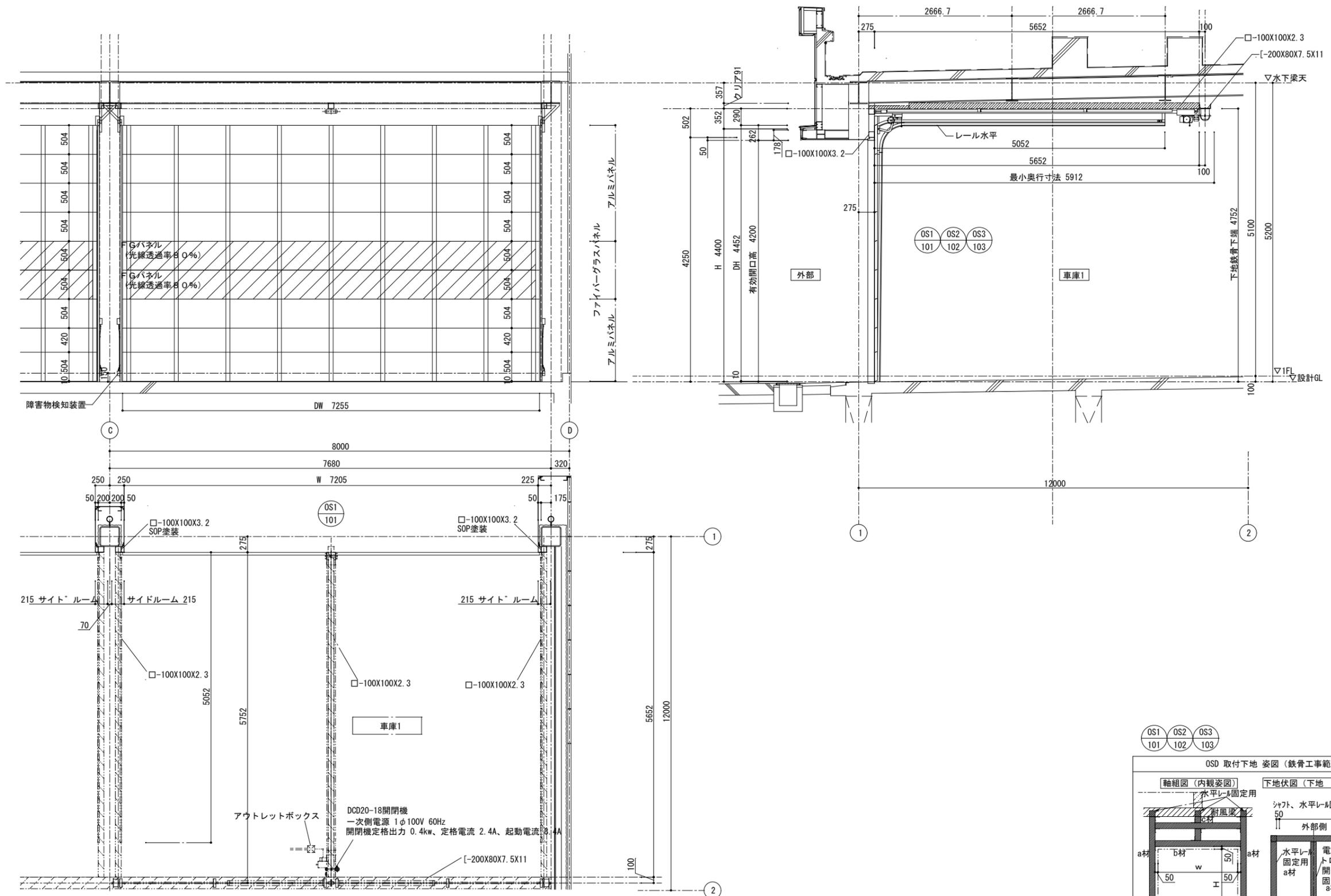


◇仕様表 (小松ウオール マイティースマートレール同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	ポール・横棧	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	上棧・下棧	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面カバー	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール充填材	ウレタンフォーム
ガラス	ガラス(ガラス工事)	強化ガラス10mm
	ガラス上枠・下枠・横枠・縦枠	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス押え/ガラス枠カバー	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	クリアジョイント	ポリカーボネート(PC) 対応ガラス厚10mm
	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	ドア気密材	エチレン・プロピレンゴム <ブラック色>
フレームレスパネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード12.5mm
	充填剤	グラスウール 32kg/m3 厚さ25mm
	爪補強 (パネル内部)	亜鉛めっき鋼板 1.2mm ・ 0.5mm
	特爪補強 (枠 後付け)	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	ドア気密材	エチレン・プロピレンゴム <ブラック色>
Wガラス開き戸	ガラスドア表面材	強化ガラス 5mm(両面)
	ドアフレーム・内部補強	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	目板	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	召し合せ目板	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	下部シール材	ドアボトム(シブタニ DB-400W)
	吊金具	ビレットヒンジ
	フランス落し	ステンレス
	ドアクローザ	リョービ COU-153/DORMA ITS96
	ロック	美和ロック LA錠/ゴール LG錠
	戸当り	床付け戸当り(エイト OW75-301)
自閉式吊戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm
	点検カバー・ランマカバー	冷間圧延鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	カームレール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	自閉装置	小松ウオール標準傾斜部品セット
	ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
	引手	ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450

◇仕様表 (小松ウオール工業 マイティーGWALL同等品)

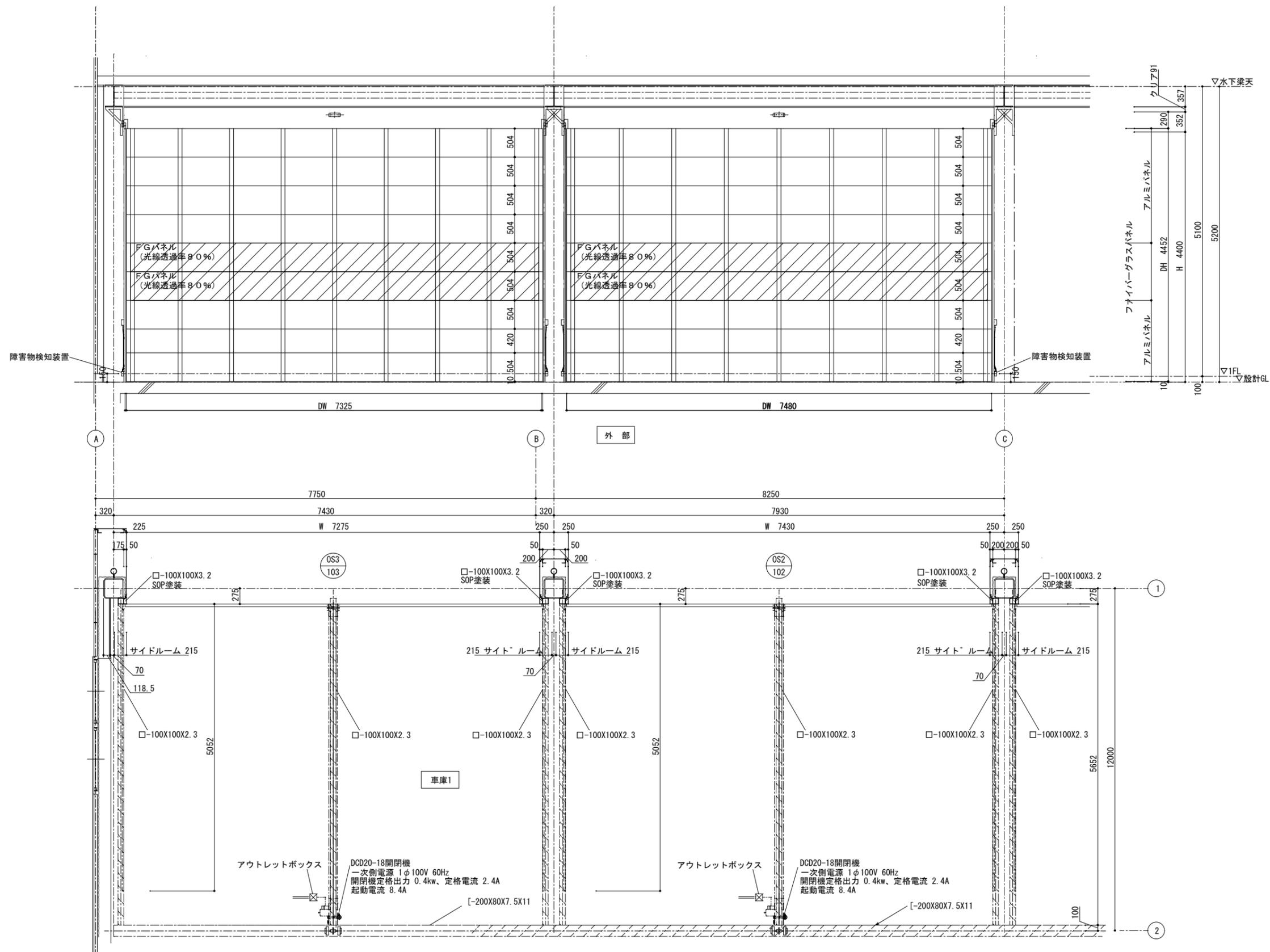
項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	床レール(ガラス用)	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	パネル受棧	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス天上枠・押縁	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス棧・格子棧	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス縦カバー・受	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	巾木(ガラス用)	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼板 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス	ガラス(ガラス工事)
ガラスビート		ポリ塩化ビニル <グレー色>
ジョイント		樹脂 対応ガラス厚10~12mm <半透明色>
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm



NOTE	

	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣
	寺川 智也

JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
		【庁舎棟】建具詳細図 (2)	057
		SCALE A2: 1/6 A3: A2の71%	



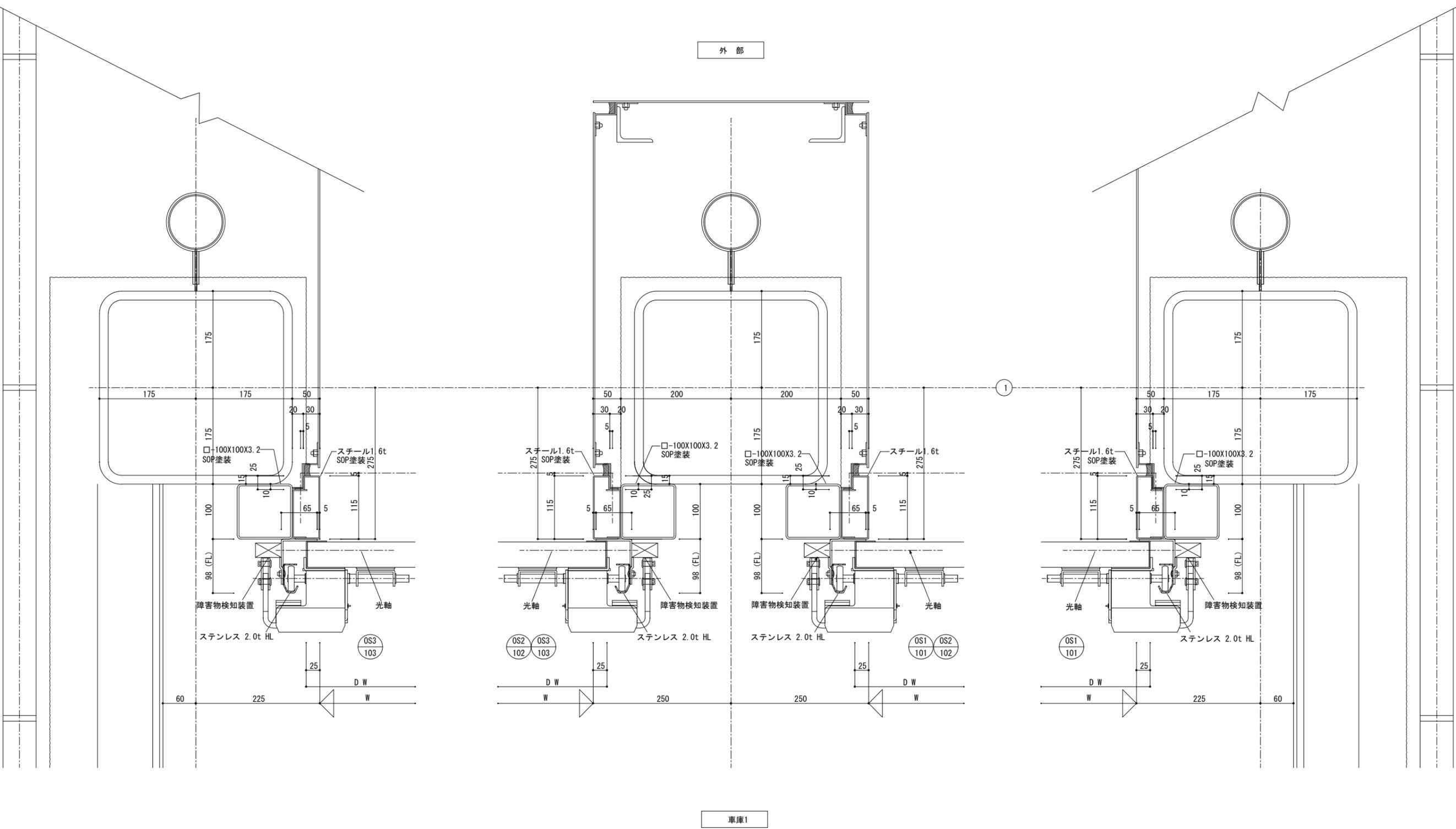
NOTE	

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行徳 公嗣

寺川 智也

JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
		【庁舎棟】 建具詳細図 (3)	058
		SCALE A2: 1/6 A3: A2の71%	



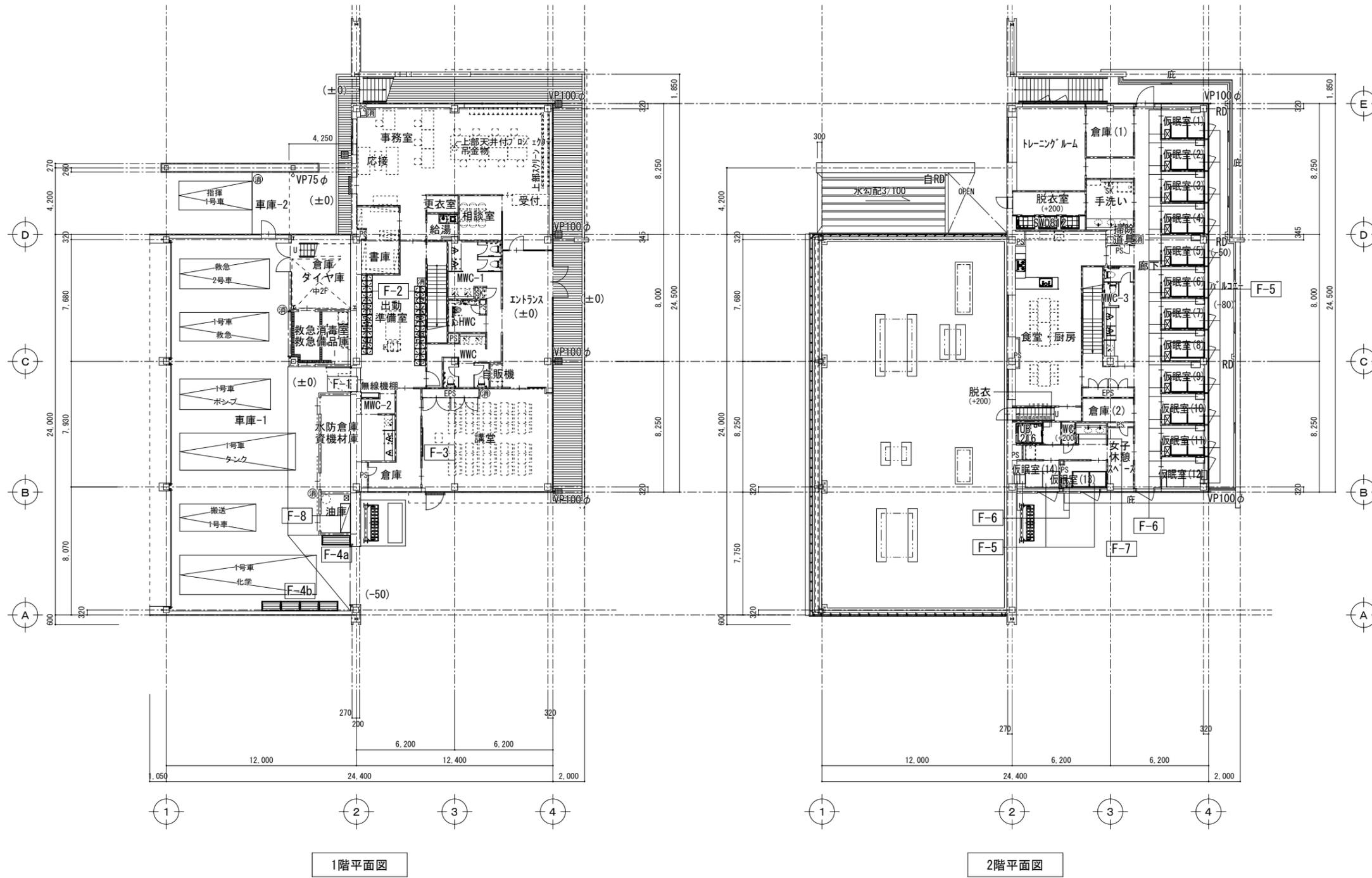
NOTE	

		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【庁舎棟】建具詳細図 (4)	A 059

SCALE	A2 : 1/6 A3 : A2の71%
-------	-------------------------

■採光・換気・排煙計算表 (庁舎棟)																																									
階	室名	床面積 (A)	建具記号	採光 (L)										必要面積 1/20	結果	備考	建具記号	換気 (V)										必要面積 1/20	結果	備考	建具記号	令116条第1項第2号 (排煙無窓) の検討									
				有効面積														有効面積														有効面積									
				W	×	H	×	補正係数	×	ヶ所	=	小計	合計					W	×	H	×	ヶ所	=	小計	合計	W	×					H	×	ヶ所	=	小計	合計				
1	事務室 相談室	91.29 7.93 計:99.22	AW-1	1.930	×	1.460	×	3	×	1	=	8.453	8.45	4.96	OK		AW-1	0.965	×	1.460	×	3	=	4.226	7.22	4.96	OK		AW-1	0.965	×	0.760	×	3	=	2.200	3.76	1.98	OK		
																			1.0274	×	1.460	×	2	=						3.000	1.0274	×	0.760	×	2	=					1.561
	講堂	52.11	AW-1	0.930	×	2.100	×	3	×	1	=	5.859	5.85	2.61	OK		AW-1	0.930	×	1.000	×	2	=	1.860	4.01	2.61	OK		AW-1	0.930	×	0.300	×	1	=	0.279	0.89	1.04	告示 (四)		
																			1.0274	×	2.100	×	1	=						2.157	1.0274	×	0.300	×	2	=					0.616
2	トレーニングルーム	27.21	AW-4	2.280	×	1.460	×	3	×	1	=	9.986	9.98	1.36	OK		AW-4	1.140	×	1.460	×	1	=	1.664	1.66	1.36	OK		AW-2	1.0274	×	0.800	×	2	=	1.643	1.64	0.54	OK		
	食堂・厨房	53.05	AW-6	1.280	×	0.860	×	3	×	2	=	6.604	6.60	2.65	OK		AW-6	1.280	×	0.860	×	2	=	2.201	3.49	2.65	OK		AW-6	1.280	×	0.770	×	2	=	1.970	1.97	1.06	OK		
	仮眠室(1)	6.75	AW-2	0.930	×	1.725	×	3	×	1	=	4.812	4.81	0.33	OK		AW-2	0.930	×	1.725	×	1	=	1.604	1.60	0.33	OK		AW-2	0.930	×	0.800	×	1	=	0.744	0.74	0.14	OK		
	仮眠室(2)~(11)	6.00	AW-2	0.930	×	1.725	×	3	×	1	=	4.812	4.81	0.30	OK		AW-2	0.930	×	1.725	×	1	=	1.604	1.60	0.30	OK		AW-2	0.930	×	0.800	×	1	=	0.744	0.74	0.12	OK		
	仮眠室(13)	5.92	AW-2	1.0274	×	1.725	×	3	×	1	=	5.316	5.31	0.29	OK		AW-2	1.0274	×	1.725	×	1	=	1.772	1.77	0.29	OK		AW-2	0.930	×	0.800	×	1	=	0.744	0.74	0.12	OK		
	仮眠室(12)	6.75	AW-2	0.930	×	1.725	×	3	×	1	=	4.812	4.81	0.33	OK		AW-2	0.930	×	1.725	×	1	=	1.604	1.60	0.33	OK		AW-2	0.930	×	0.800	×	1	=	0.744	0.74	0.14	OK		
	仮眠室(14)	6.54	AW-10	1.200	×	1.000	×	3	×	1	=	3.600	3.60	0.33	OK		AW-10	1.200	×	1.000	×	1	=	1.200	1.20	0.33	OK		AW-10	1.200	×	0.400	×	1	=	0.480	0.48	0.13	OK		

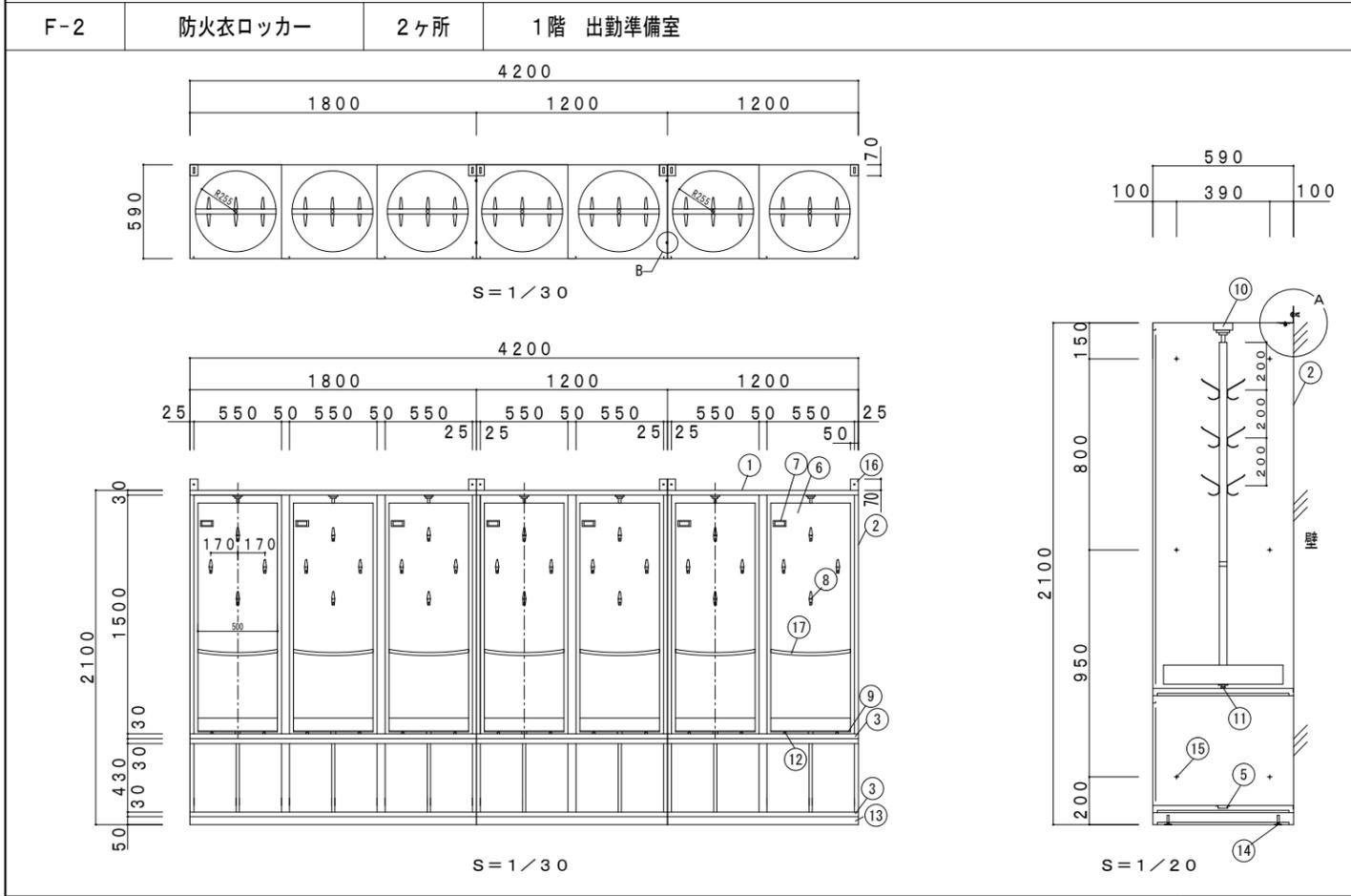
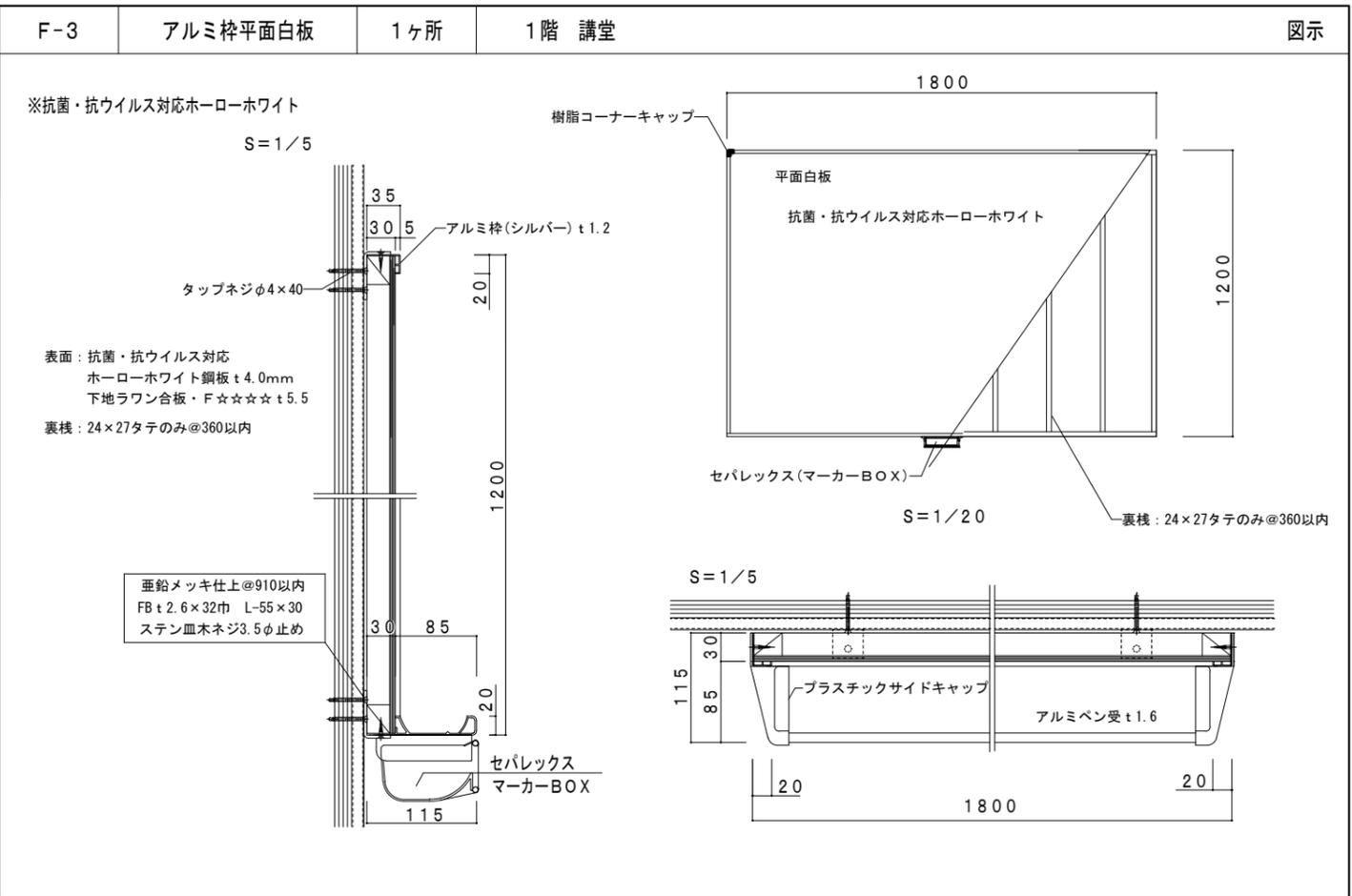
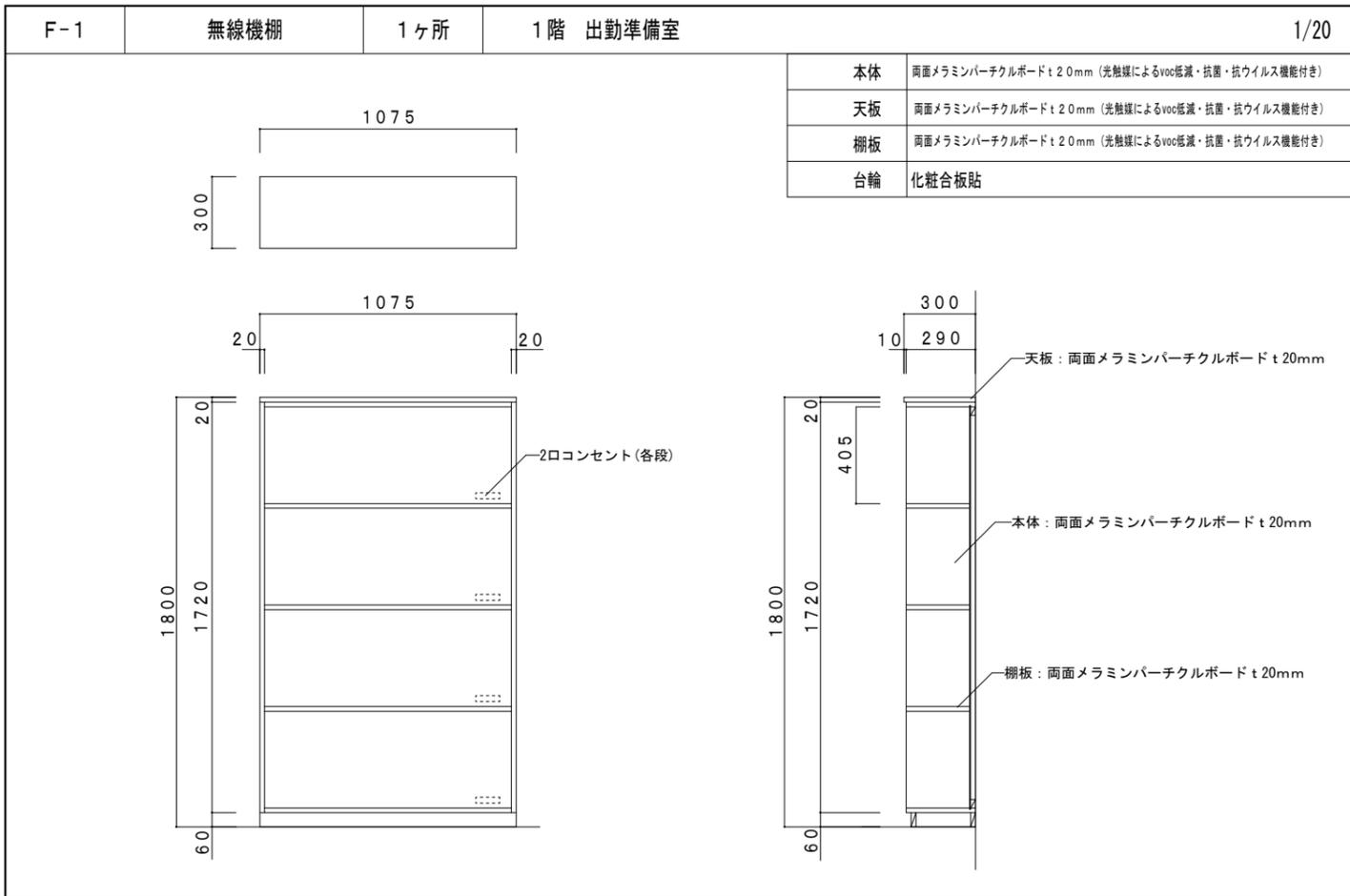
■無窓階判定計算表 (庁舎棟)										■無窓階判定計算表 (訓練塔)										※告示(四): 告示1436号第4号ニ(4)を示す				
階	床面積 (A×1/30)	建具記号	直径50cm以上の円が内接可能な建具 計算式 (W×H×数量×建具数)				判定	階	床面積 (A×1/30)	建具記号	直径50cm以上の円が内接可能な建具 計算式 (W×H×数量×建具数)				判定									
1	644.58	21.49	AW-1	0.930×2.100×13=25.389				25.38	有窓階	1	49.00	1.63	SD-1	0.800×2.100=1.680				1.68	有窓階					
2	328.27	10.94	AW-2	0.930×1.725×12=19.251				19.25	有窓階	2	49.00	1.63	SS-2	2.300×2.100=4.830				4.83	有窓階					



1階平面図

2階平面図

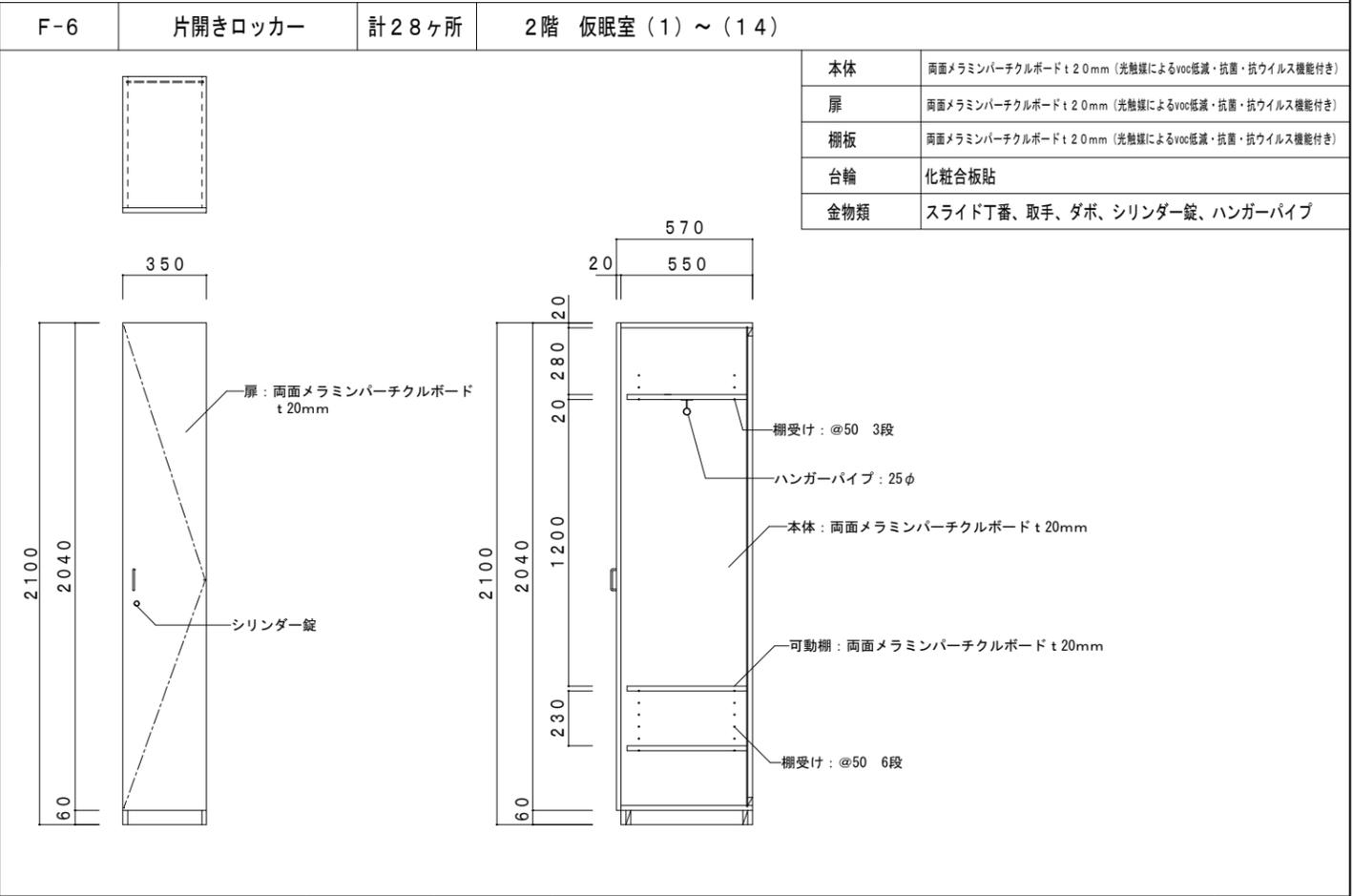
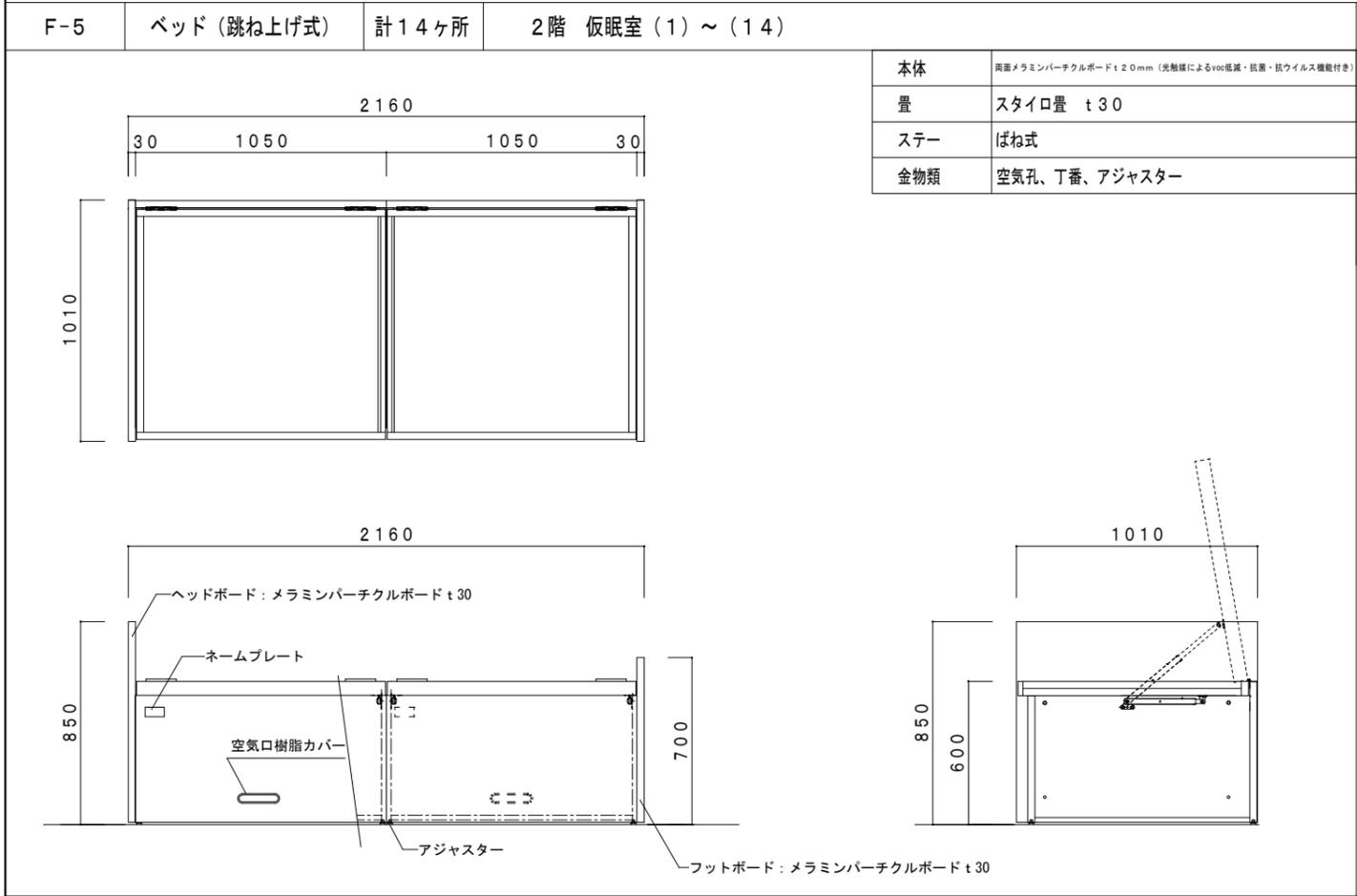
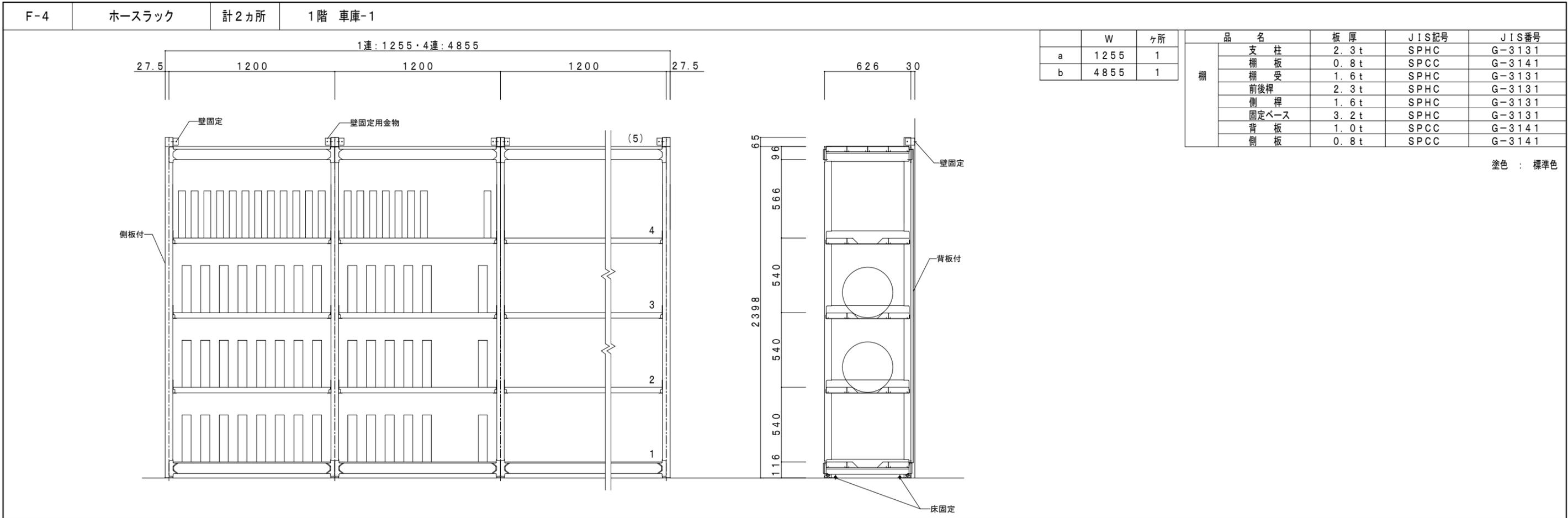
NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也			SCALE A2 : 1/200 A3 : A2の71%	A 061



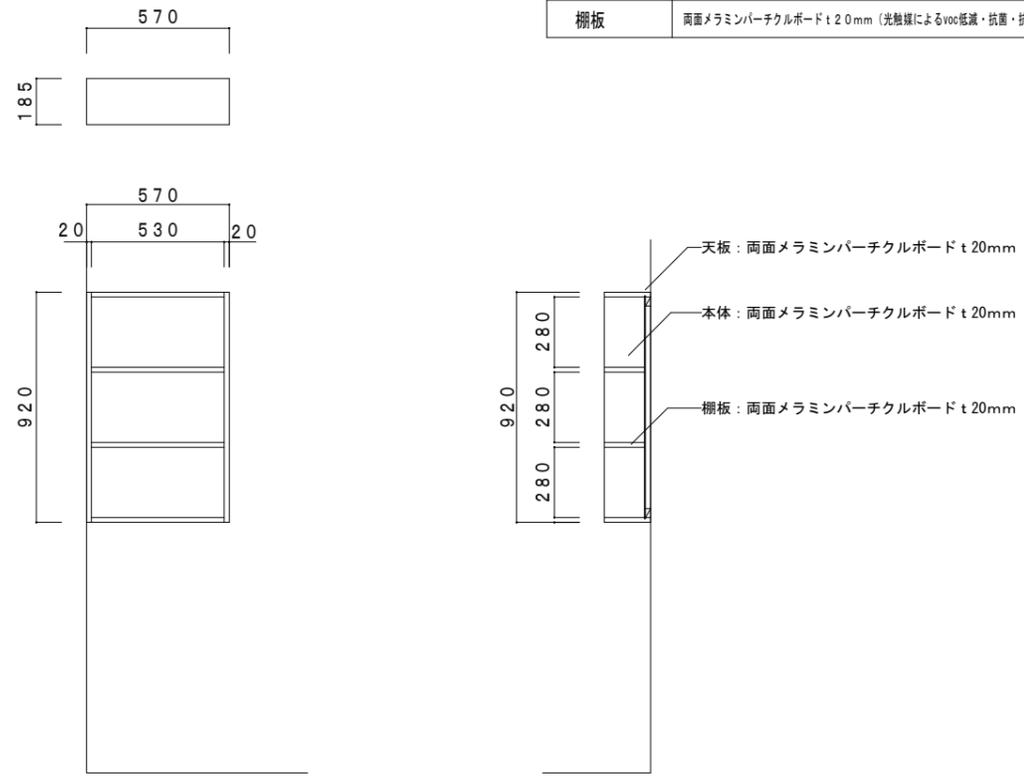
図示

符号	名称	個数	材質	備考
1	天板	3	SPCC1.0t	
2	側板	6	SPCC1.0t	
3	底板	3	SPCC1.6t	
4	裏板	3	SPCC0.8t	
5	補強	3	SPCC0.6t	
6	回転パネル	7	SPCC0.6t	
7	名刺差	14	樹脂	
8	Wフック	56	SUS	
9	FB	7	4.5t	
10	ピロブロック	7		
11	スラストベアリング	7		
12	ストッパー	14		
13	ベース	3	SPCC1.6t	
14	アジャスター	12		
15	ハーフパンチ	36	φ8	横連結用
16	転倒防止金具	6	SPCC2.3t	
17	バックル付ベルト	14		

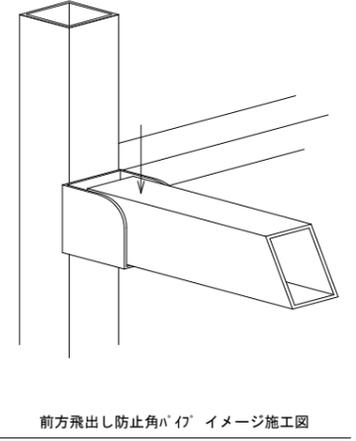
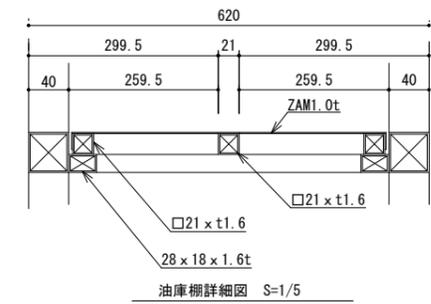
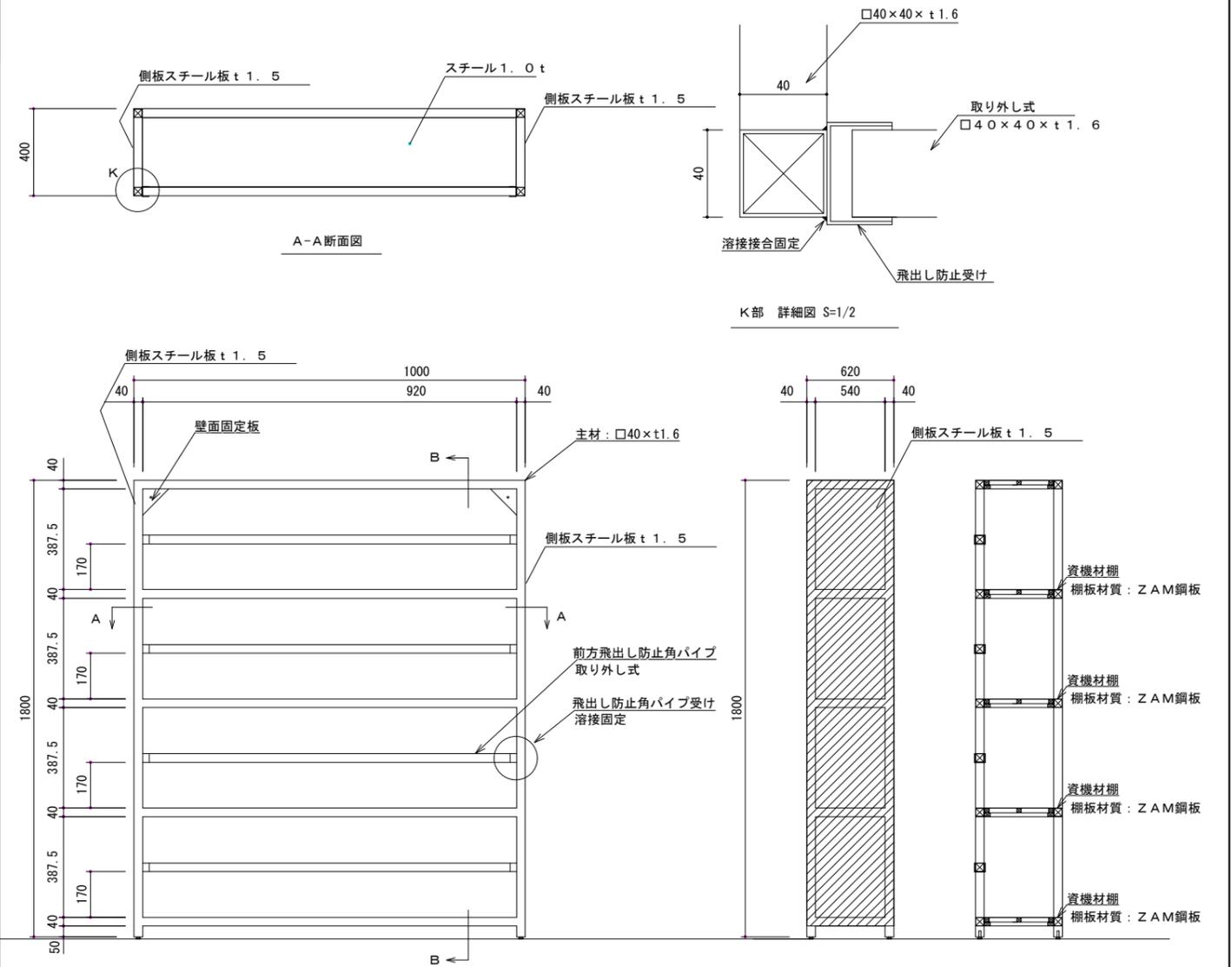
塗色 : オイスターホワイト

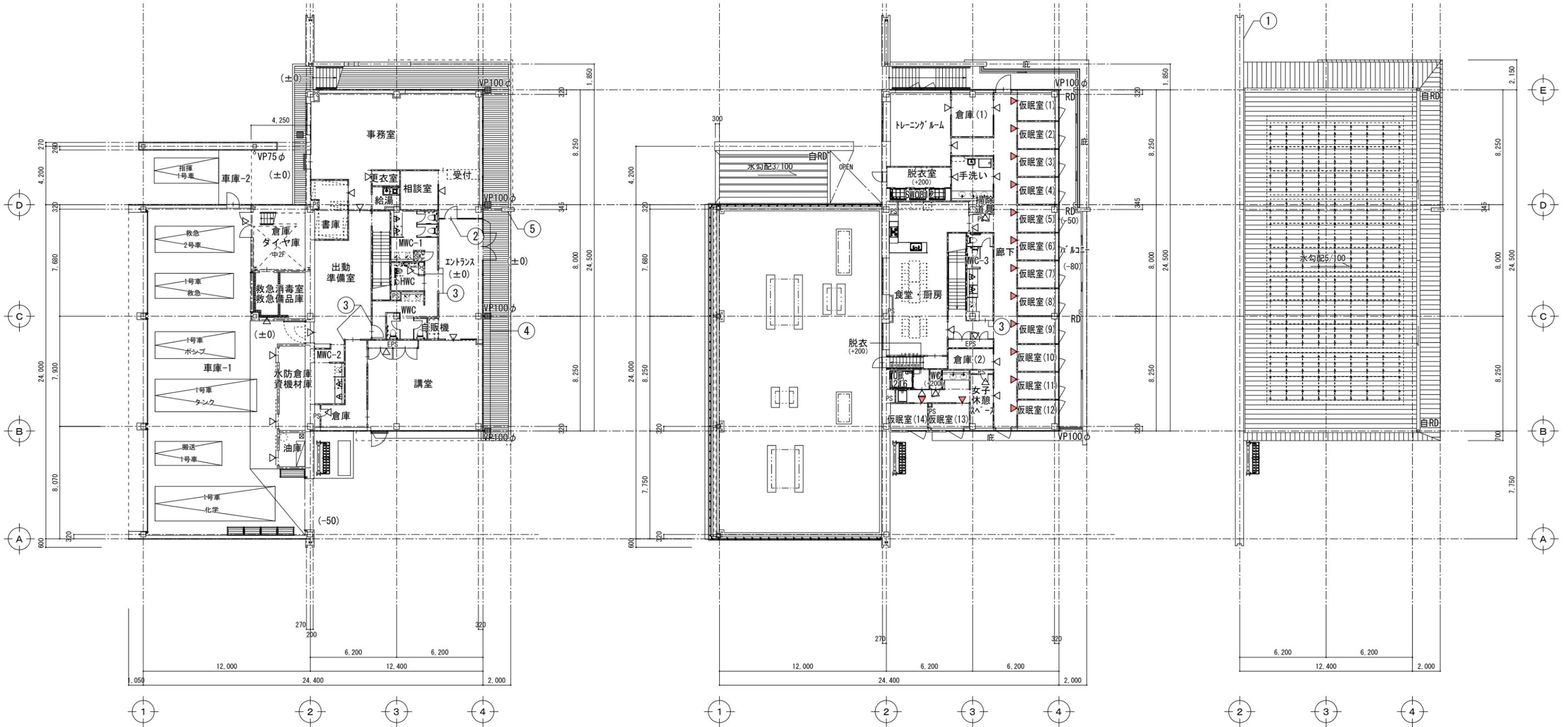


本体	両面メラミンパーティクルボード t20mm (光触媒によるvoc低減・抗菌・抗ウイルス機能付き)
棚板	両面メラミンパーティクルボード t20mm (光触媒によるvoc低減・抗菌・抗ウイルス機能付き)



※本体は壁にボルト固定すること





1階平面図

2階平面図

屋根伏図

NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也		【庁舎棟】サイン配置図	SCALE A2 : 1/200 A3 : A2の71%

① 施設名称 1/30

数量：1ヶ所

消防紋章：アルミ製700φ

本体/ステンレス箱文字 (SUS 304) 合成樹脂焼付塗装仕上
 表面文字：t1.0 ステンレス鋼板
 立上り板：t0.5 ステンレス鋼板
 補強用渡し板：t2.0 ステンレス鋼板
 アンカー/M4 ステンレス スタッドボルト (工業用接着剤併用)
 ※表面文字・立上り板・補強用渡し板の接合は、
 剥離防止の為、硬口ウ付け加工 (融接) を全周施すこと。
 スタッドボルトは補強用渡し板にタップ穴加工の上
 ねじ込み、硬口ウ付け加工 (融接) を施すこと。
 ※書体・W寸法等は打ち合わせによる。
 ※消防紋章、箱文字は下記図の通り、間接照明 (LED照明)
 とすること。

間接照明詳細図 NONSCALE

② 室名 (建具) 1/5

数量：1ヶ所

表示：シート切文字張り
 ※表示内容・W寸法は打ち合わせによる。

Reception Fire Station

③ ピクトサイン 1/2

数量：男 3ヶ所、女 2ヶ所、多目的 1ヶ所

STPL t 5.0 (焼付塗装)

本体：STPL t 5.0レーザー切文字加工 焼付塗装
 ブラケット：STPL t 3.2T字組 焼付塗装
 ※表示内容・W寸法は打ち合わせによる。

STPL t 3.2 T字組 (焼付塗装)

④ 衝突防止 1/10

表示：フロストシート貼り

⑤ 室名 (建具) 1/30

数量：14ヶ所

表示：カットニングシート貼り
 ※表示内容・W寸法は打ち合わせによる。

建具
 室名札：アクリル板 t 5.0
 (取外し可能タイプ2名分)
 ※壁面に取り付け
 カットニングシート

⑥ 室名 (建具) 1/1

数量：29ヶ所

表示：シート切文字張り
 ※表示内容・W寸法は打ち合わせによる。

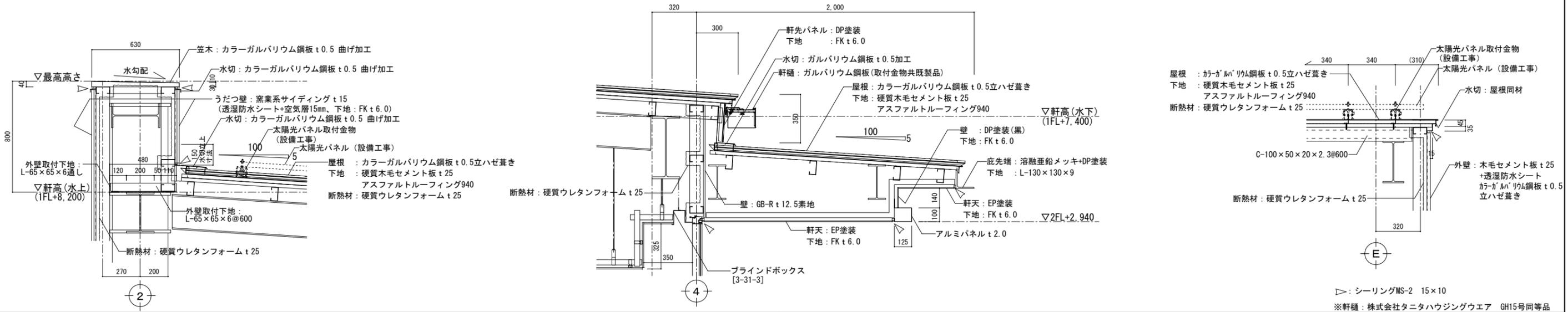
階	室名	数量	階	室名	数量
1	倉庫、タイヤ庫	1	2	倉庫 (1)	2
	救急消毒室、救急備品庫	1		トレーニングルーム	1
	水防倉庫、資機材庫	2		手洗い	1
	油庫	1		脱衣室	1
	相談室	1		食堂・厨房	2
	更衣室	1		倉庫 (2)	1
	書庫	1		女子休憩スペース	1
	出動準備室	2		WC (女子休憩スペース)	1
	講堂	1		脱衣室 (女子休憩スペース)	1
	EPS	1		掃除道具入	1
	PS	2		EPS	1
				PS	1
	合計	28		合計	28

⑦ 玄関サイン 1/30

表示：シート切文字張り
 ※表示内容・W寸法は打ち合わせによる。

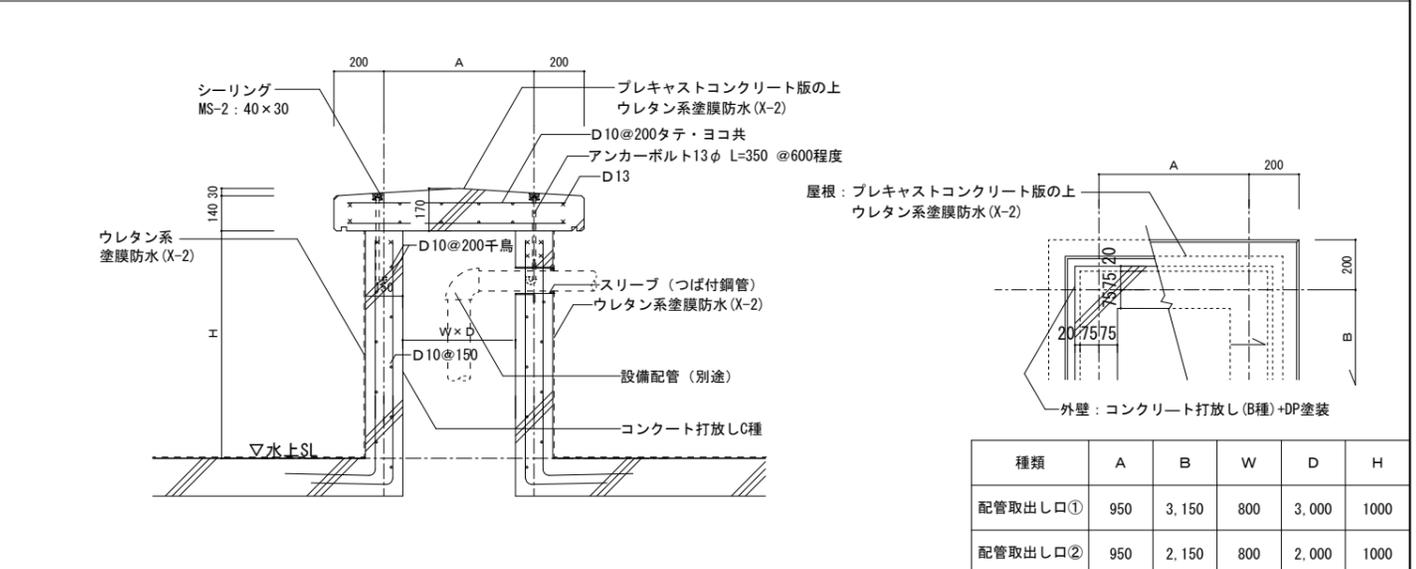
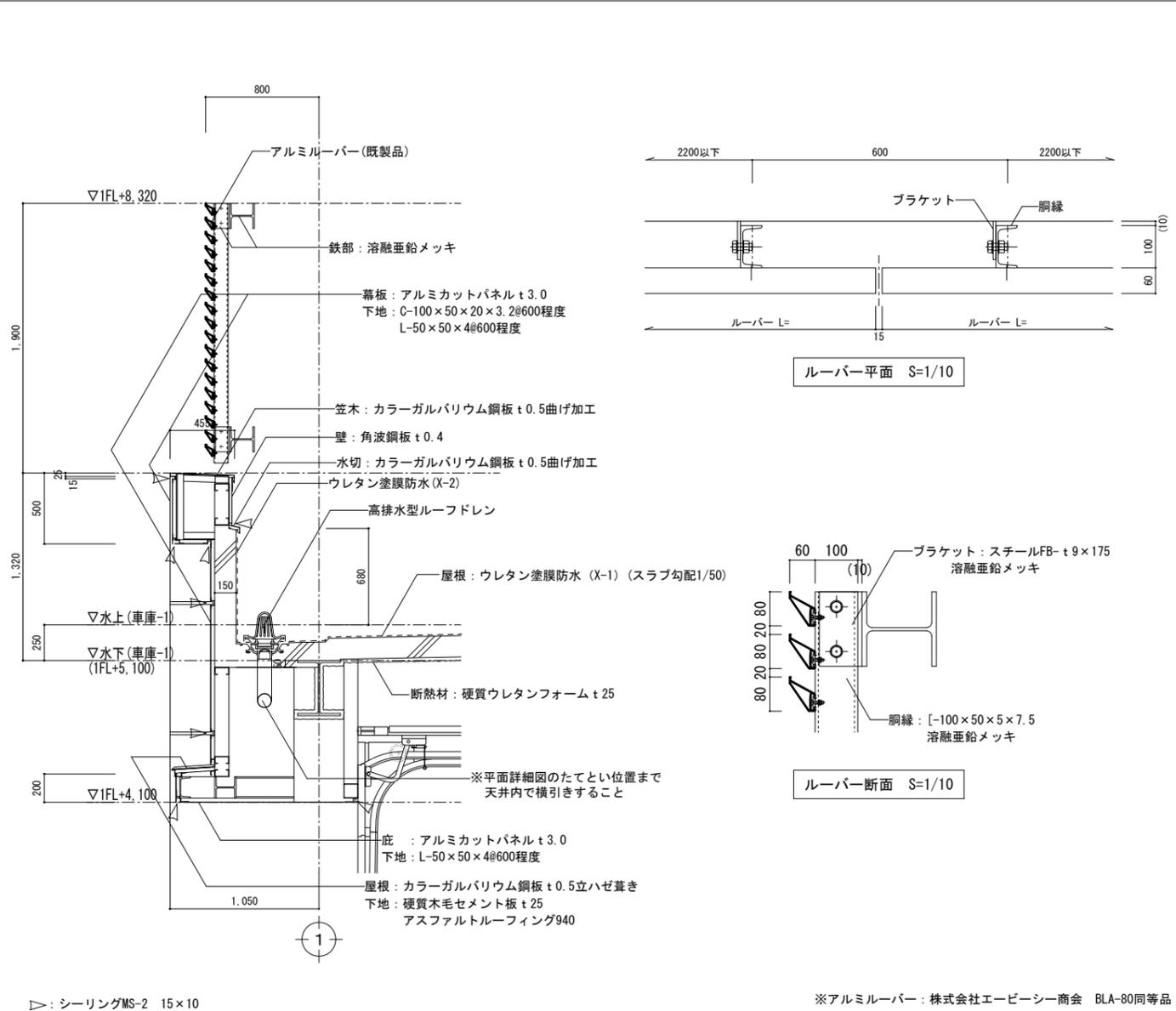
外壁：アルミカットパネル t 3.0
 サイン用照明 (設備工事)
 切文字t=6 80角6文字
 ステンレス製 HL
 三原西消防署
 かけこみ電話BOX埋込 (設備工事)
 正面図

切文字t=6 ステンレス製 HL
 ※角は面取り (R=2) とすること

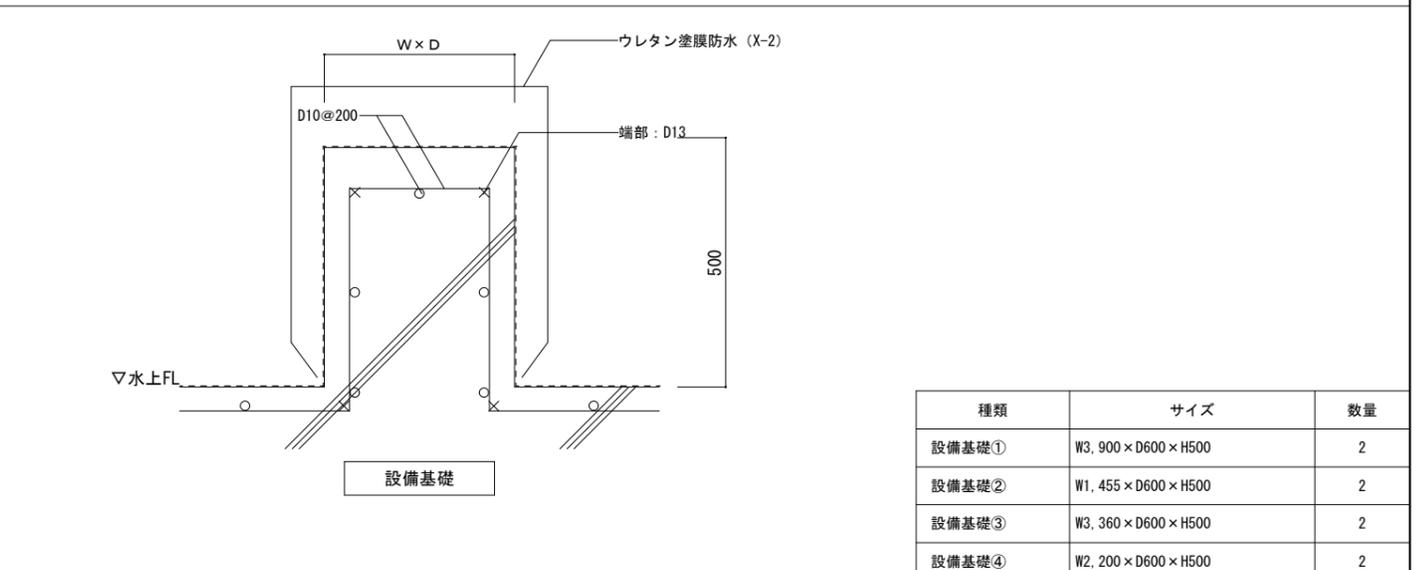


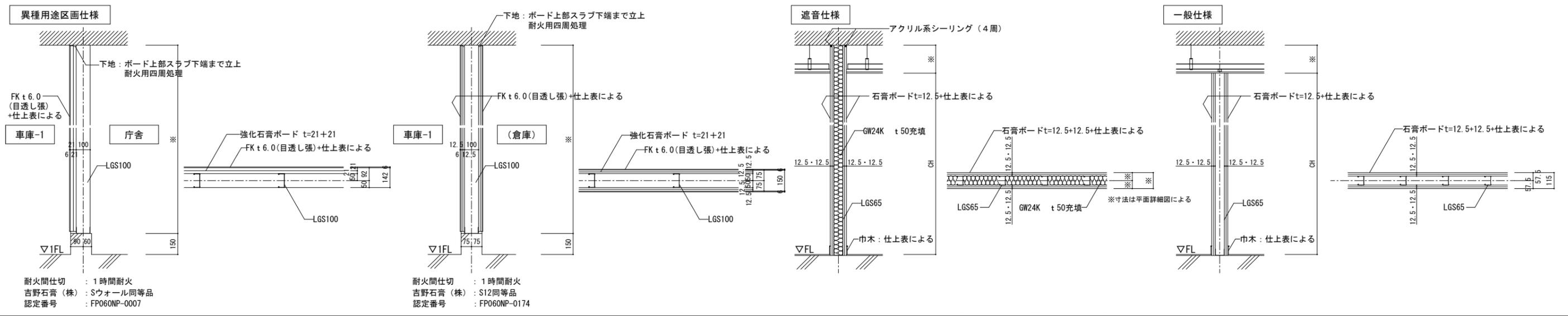
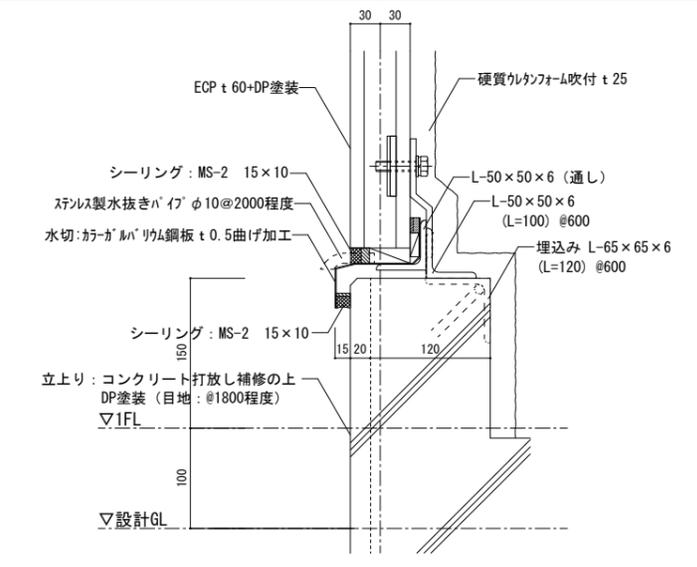
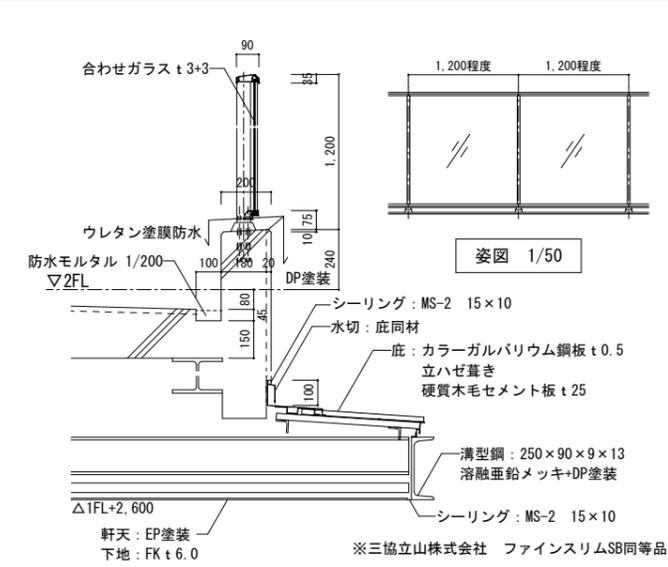
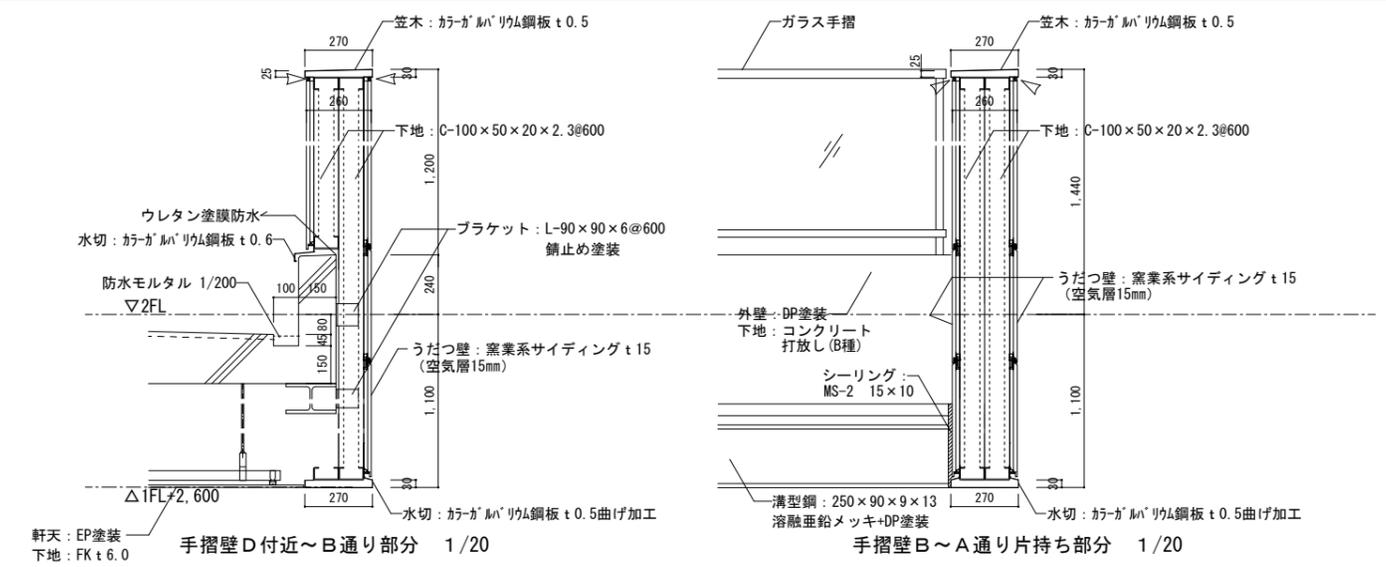
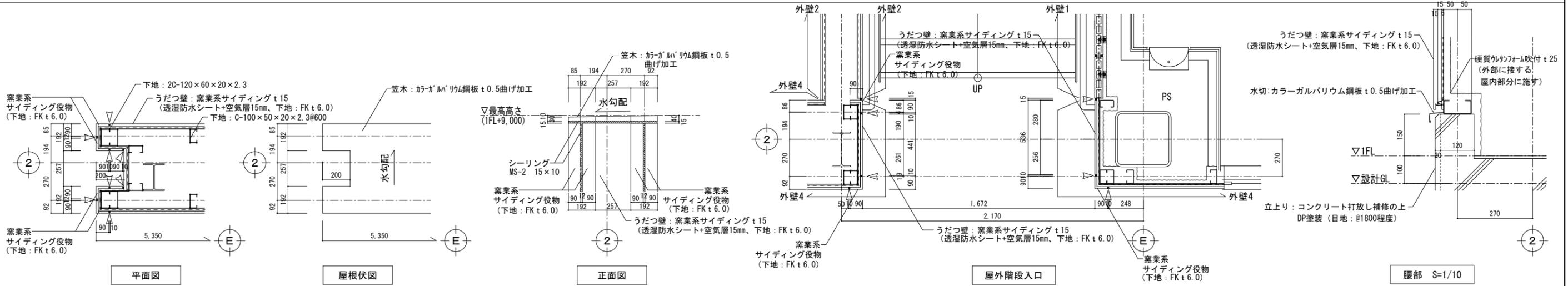
ルーバー廻り詳細図

配管取出口詳細図



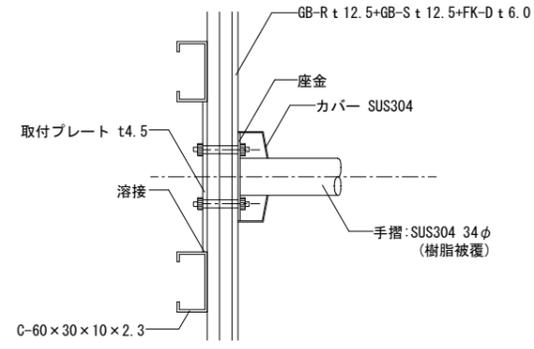
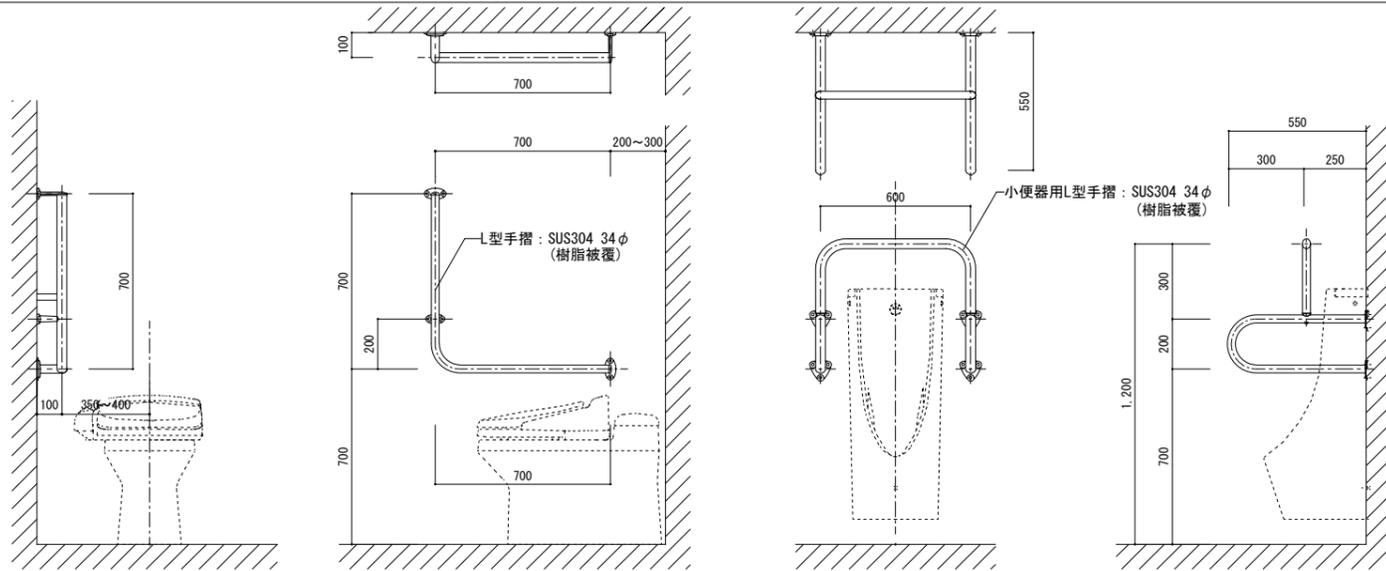
設備基礎詳細図



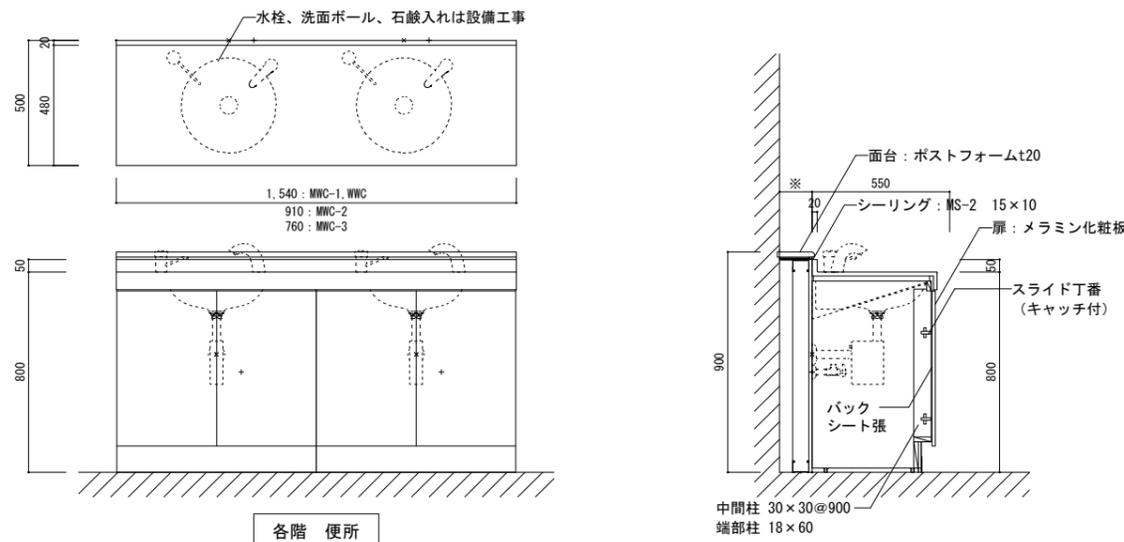
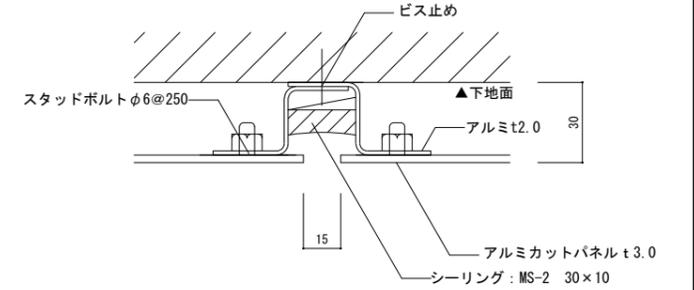


NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)				A
	【庁舎棟】部分詳細図 (2)			SCALE A2: 図示 A3: A2の71%	068

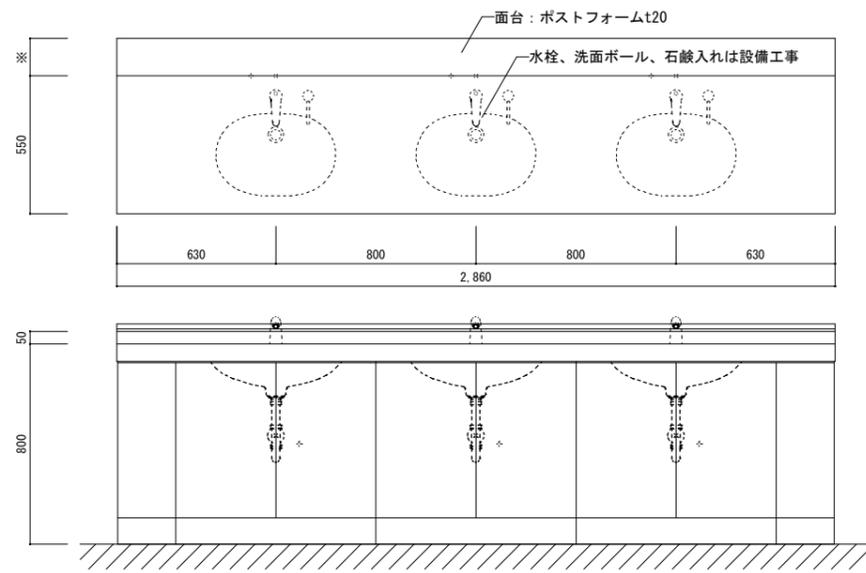
<p>折上げ天井詳細図(エントランス) 1/10</p> <p>△1FL+2,800 STPL t1.6 糸幅300 @300 200 50 150 △1FL+2,600 ビニルクロス巻込み+GB-R t 9.5 ビニルクロス</p>	<p>コーナーガード詳細図 1/5、1/20</p> <p>コーナーガード 90 2,000 200 ▽1FL 平面図 1/5 姿図 1/20 杉田エース CPL9020同等品</p>	<p>消火器BOX(既製品参考図)詳細図 1/10</p> <p>文字: カットインシート張り 引手開口: 40×40 (コーナーR2面取り) 埋込消火器ボックス 197.5 2.3 195.2 758 683 60.5 ▽FL ▽FL ※本体・扉 指定色: 焼付塗装 ※引手内部 指定色: 焼付塗装</p>	<p>消毒室排水詳細図 1/2、1/5</p> <p>塩ピクッション 蓋: ステンレス製 枠: ステンレス製 a部 1/2 側溝蓋: ステンレスHL t 15 ステンレス型鋼蓋フレーム ステンレス受枠 ▽1FL ▽水下 アンカー9φ @500 防水モルタル金コテ仕上 勾配1/200、汚水管へ放流(設備工事) 断面図 1/5</p>	
<p>スクリーンボックス詳細図 1/5</p> <p>吊ボルト@900程度 L-40×40×5 取付用M10スタッドボルト FB-3×40@900曲げ加工 タモ集成材 t 25 UC 廻り縁(塩ビ製) 150 10</p>	<p>OAフロア詳細図 1/5</p> <p>切断寸法70<A≤500 @500 @500 65 85 ▽1FL H=100 ▽SL パネルサイズ: 500×500 耐荷重性能: 3,000N(300kgf) ※ナカ工業 IBフロアAN3000-DP同等品</p>	<p>ピクチャーレール詳細図(既製品) 1/20</p> <p>ピレスアンカー 5φ×30 @300 20 30 75 115 <ピクチャーレール仕様> 後付用、アルミ製 30x20x1.8 荷重: 30kg 移動フック(荷重: 30kg) L=600につき1個取付 ハンガー(ワイヤー1本/2m)</p>	<p>間仕切・サッシ取り合い金物詳細図【2-24-8】 1/5</p> <p>GW24K充填 ※充填箇所は 平面詳細図による 70 80 15 PL-45×30×2.3 アルミニウム板 t=1.5加工 7 7 (115)</p>	
<p>便所面台、汚垂石詳細図 1/20</p> <p>※ ライニング: ポストフォーム t 20 取付補強用LGS(建築工事) ライニング壁: GB-S t 12.5+FK-D t 6.0 汚垂石: ガラス結晶板 t15 面取 シーリングMS-2(10×5) 大便器: 900 小便器、SK: 1,200 ▽FL 600 ※寸法は平面詳細図による</p>	<p>トイレブース詳細図</p> <p>壁面レール(アルミ) 表面材: 高圧メラミン化粧板 芯材: 中質繊維板(MDF) 40 コーナーレール(アルミ) PW 平面図</p>	<p>開口部廻り詳細図</p> <p>戸当り(アルミ) ドアエッジ(アルミ) 表示付ボルト ドア下+900に取付 スライドラッチ ドア下+1540に取付 グレビティヒンジ 3 DW 3 PW 開口</p>	<p>断面図</p> <p>笠木(アルミ) 芯材: 中質繊維板(MDF) スライドラッチ ドア下+1540に取付 表面材: 高圧メラミン化粧板 表示付ボルト ドア下+900に取付 巾木(SUS304) 巾木ジャッキ 笠木(アルミ) ドアエッジ(アルミ) 20 1520 2,000 1,920 1,905 900 1,540 60 60 ▽FL ※高圧メラミン化粧板は t 1.0とする</p>	
<p>NOTE</p>		<p>株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第4571号</p> <p>一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公樹</p> <p>寺川 智也</p>	<p>JOB No. - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)</p> <p>【庁舎棟】部分詳細図(3)</p>	<p>SCALE A2: 図示 A3: A2の71% DWG No. A 069</p>



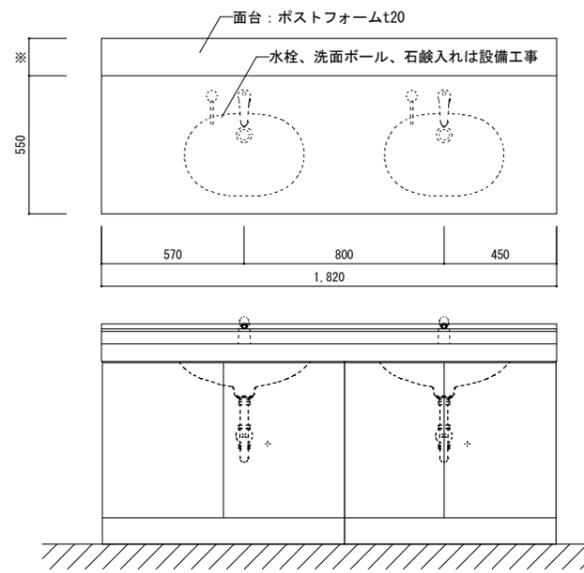
手摺取付詳細図 1/5



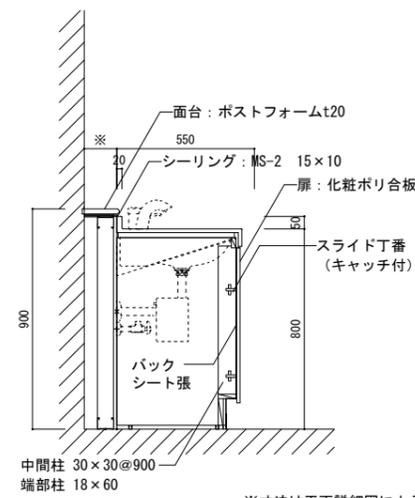
各階 便所



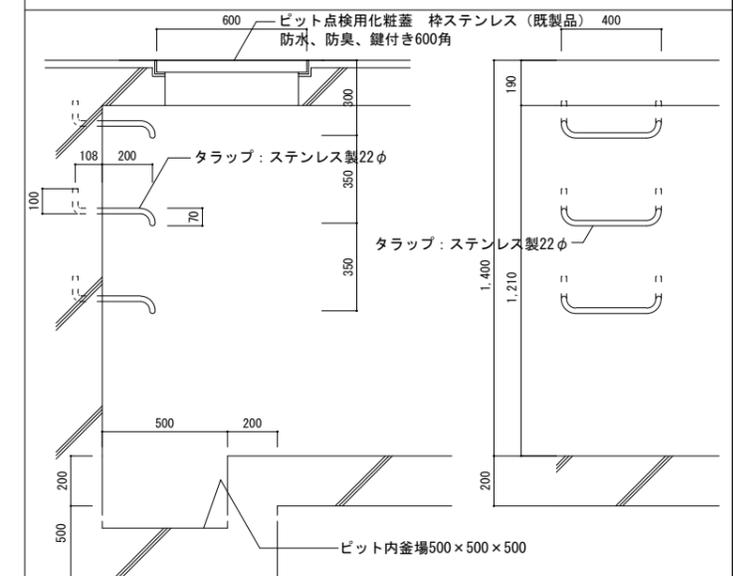
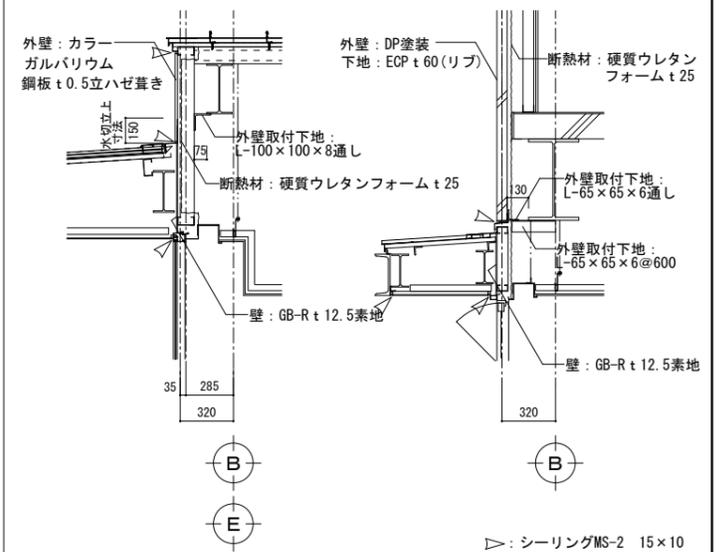
2階 手洗い



2階 女子休憩スペース



※寸法は平面詳細図による



NOTE

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行保 公嗣

寺川 智也

JOB No -
 DATE -
 TITLE

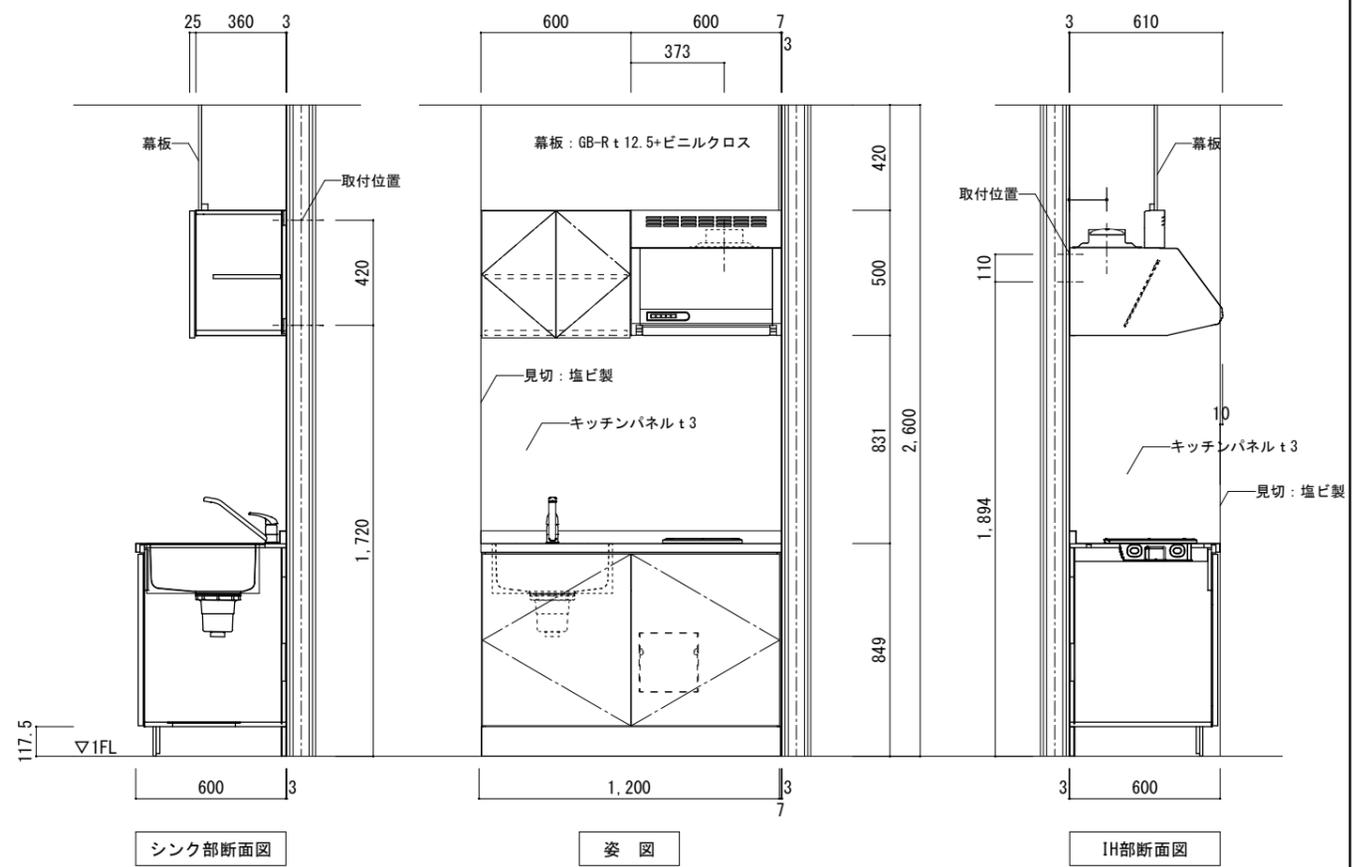
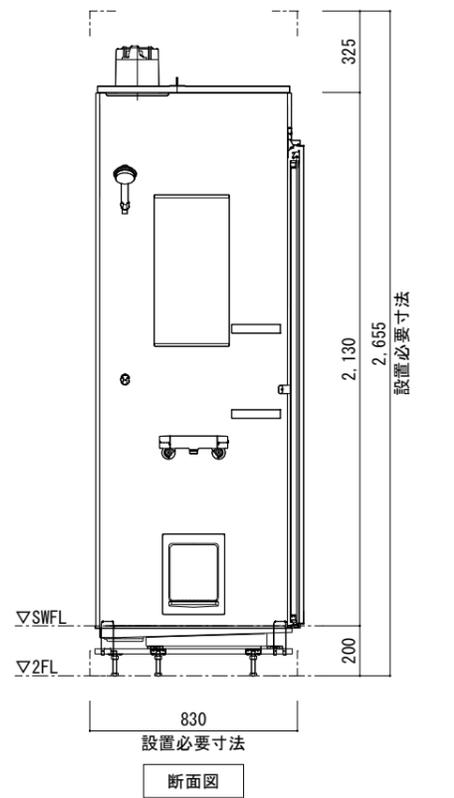
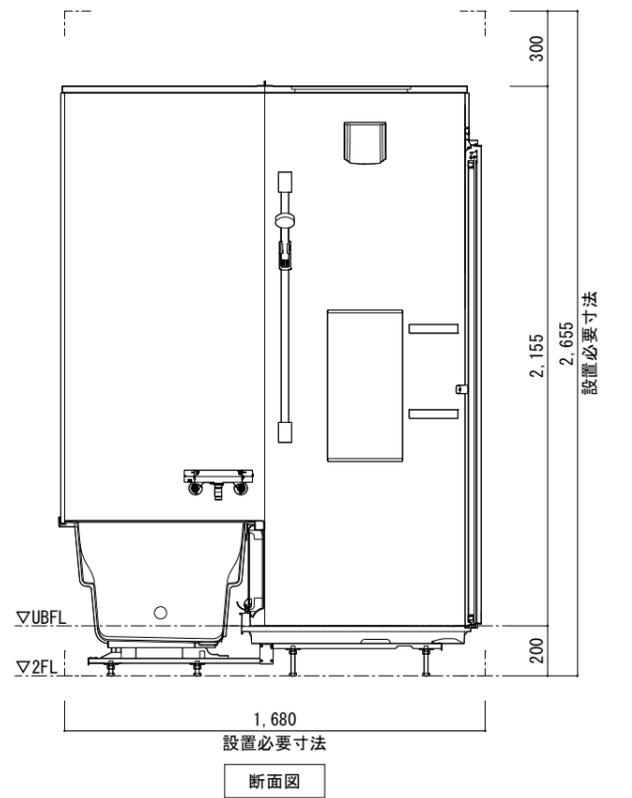
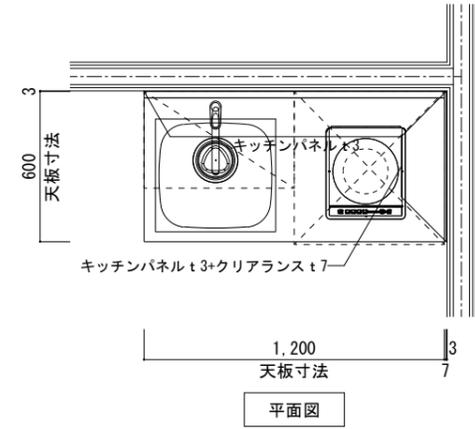
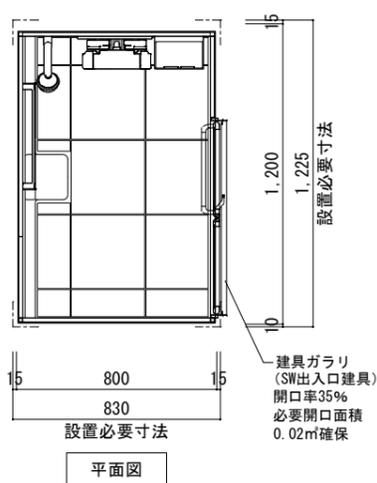
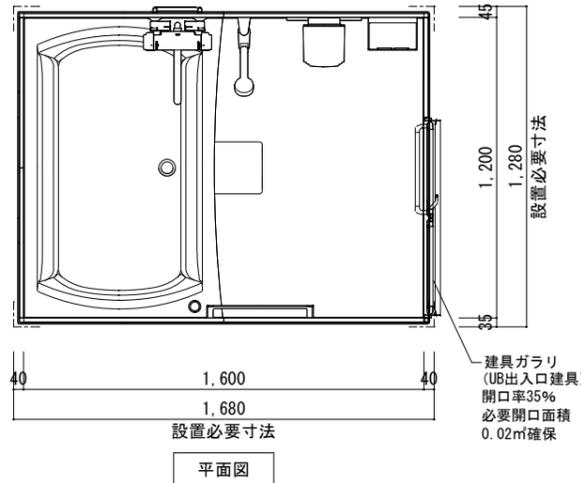
三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

【庁舎棟】部分詳細図 (4)

SCALE A2: 図示
 A3: A2の71%

DWG No
 A
 070

ユニットバス詳細図		シャワーユニット詳細図		ミニキッチン詳細図	
1/20		1/20		1/20	
仕様表		仕様表		仕様表	
浴室サイズ	1216サイズ	浴室サイズ	0812サイズ	天板材質	SUS430 橋円エンボス
浴室パネル	銅板硬質ホーロー(裏面保温材)	浴室パネル	銅板硬質ホーロー(裏面保温材)	下台・吊戸棚	扉: 特殊化粧シート厚左右 3R、本体: 化粧合板、化粧ボード
天井	化粧サンドイッチパネル(内部発泡樹脂)	天井	化粧サンドイッチパネル(内部発泡樹脂)	加熱器具	IH-100V 1口
ドア	折戸(アルミ框/樹脂ガラス/上部換気口)	ドア	折戸(アルミ框/樹脂ガラス/上部換気口)	水栓種類	シングルレバー混合水栓 【配管接続は設備工事】
ミラー	ショートミラー	ミラー	ショートミラー	キッチンパネル	ホーローキッチンパネル H型、レギュラークラス 見切り・エッジ: 樹脂製
収納棚	スクエアタイプ: ABS樹脂製 (2段)	収納棚	スクエアタイプ: ABS樹脂製 (2段)	備考	F☆☆☆☆ 仕様
タオル掛け	スクエアタイプ(ホワイト): ABS樹脂製	タオル掛け	スクエアタイプ(ホワイト): ABS樹脂製	■レンジフード	
兼用水栓	サーモスタット(樹脂ホース: シルバー) 【配管接続は設備工事】	洗場側水栓	サーモスタット(樹脂ホース: シルバー) 【配管接続は設備工事】	風量	標準タイプ
スライドバー	シャワーフックスライドバー(手すりタイプ)	換気機器	天井換気扇(100V・最大消費電力9.3W(ダクト径φ98)) 【配線接続は設備工事】	排気仕様	排気風圧
照明	LED 8W電球色 【配線接続は設備工事】	照明	LED 6.9W昼白色 【配線接続は設備工事】	プラグ形状	2極接地型 【配線接続は設備工事】
雑排水配管	硬質塩ビパイプ VP50 【配管接続は設備工事】	排水トラップ	ABS樹脂・封水50mm 【配管接続は設備工事】		
建具ガラー(UB出入口建具)	開口率35% 必要開口面積0.02㎡確保	建具ガラー(SW出入口建具)	開口率35% 必要開口面積0.02㎡確保		
額縁	樹脂製	額縁	樹脂製		

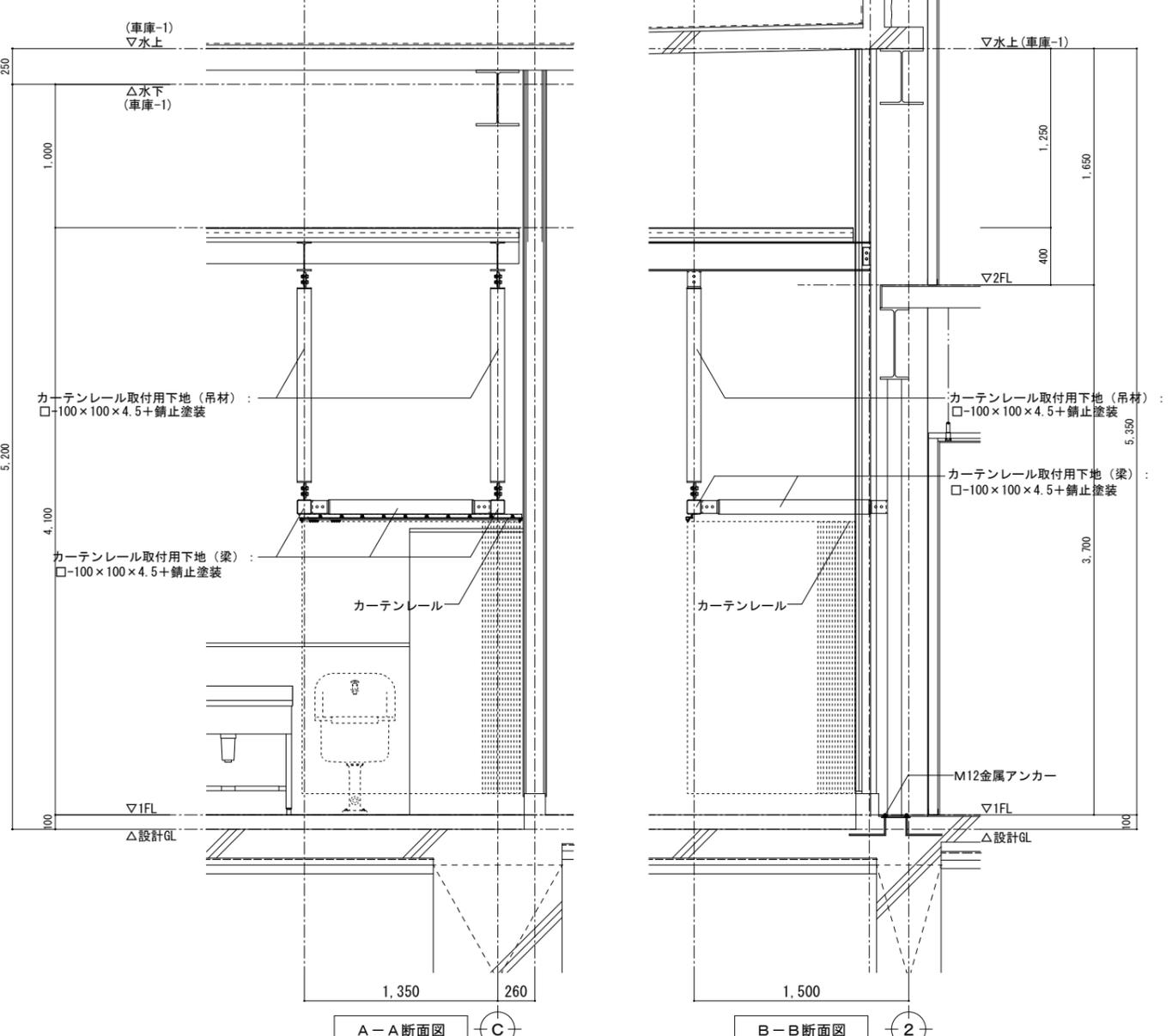
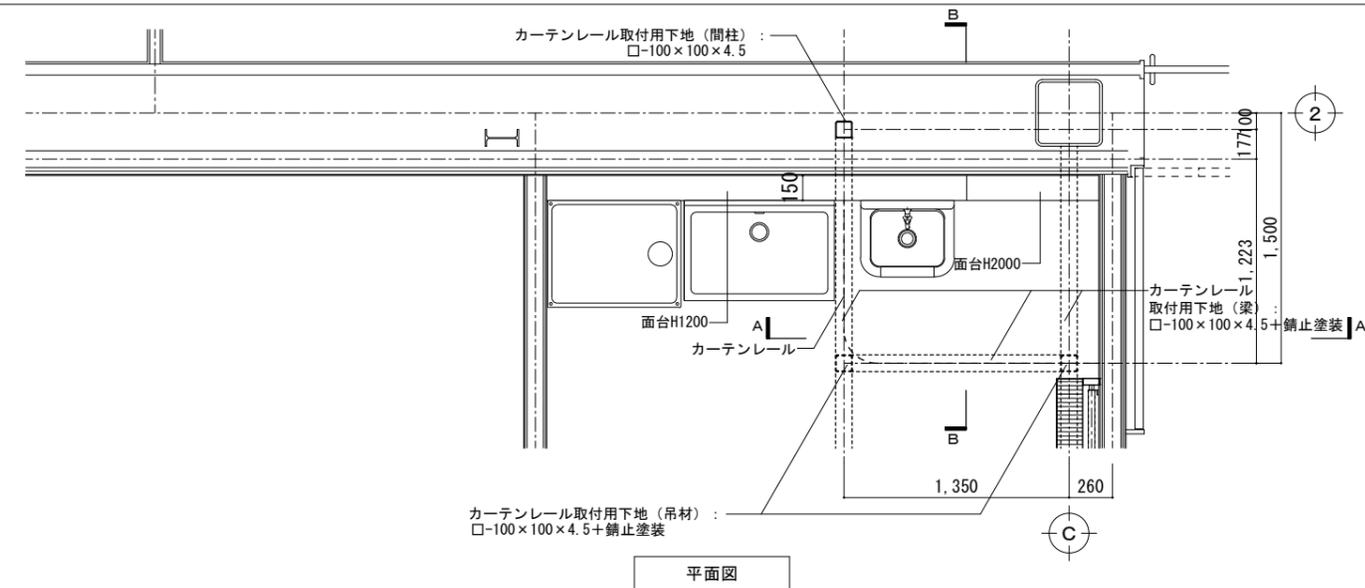
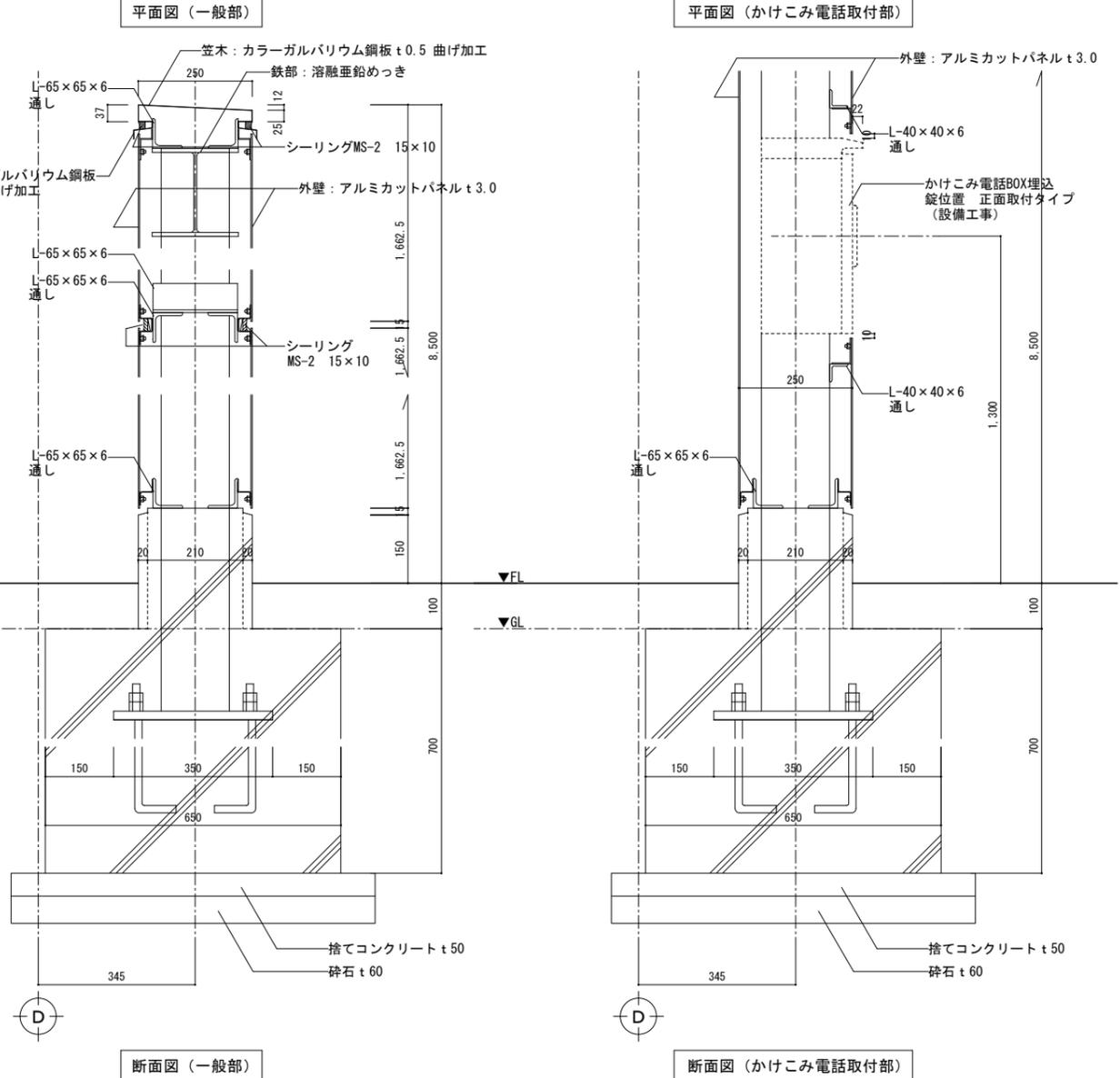
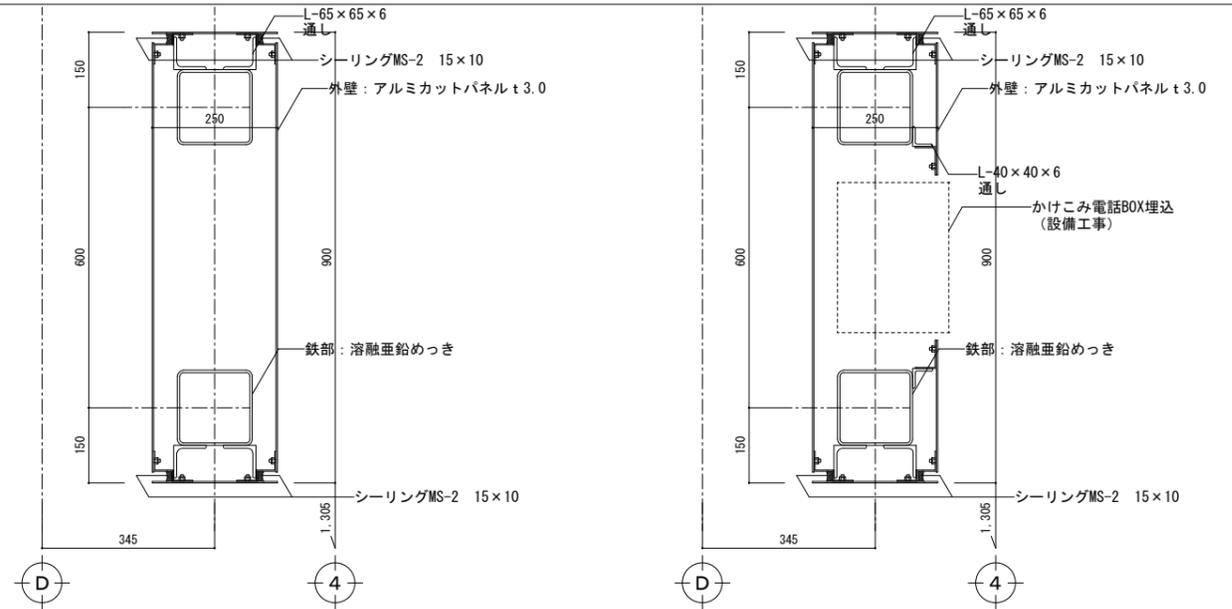


タカラスタンダード株式会社 リクラシアPタイプ1216同等品

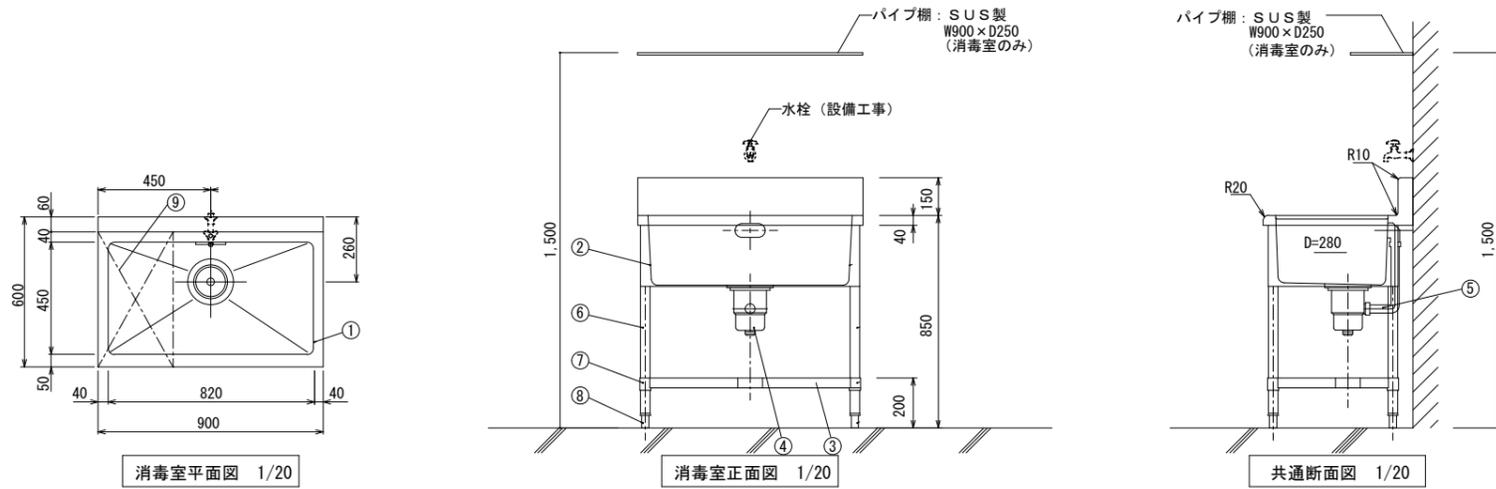
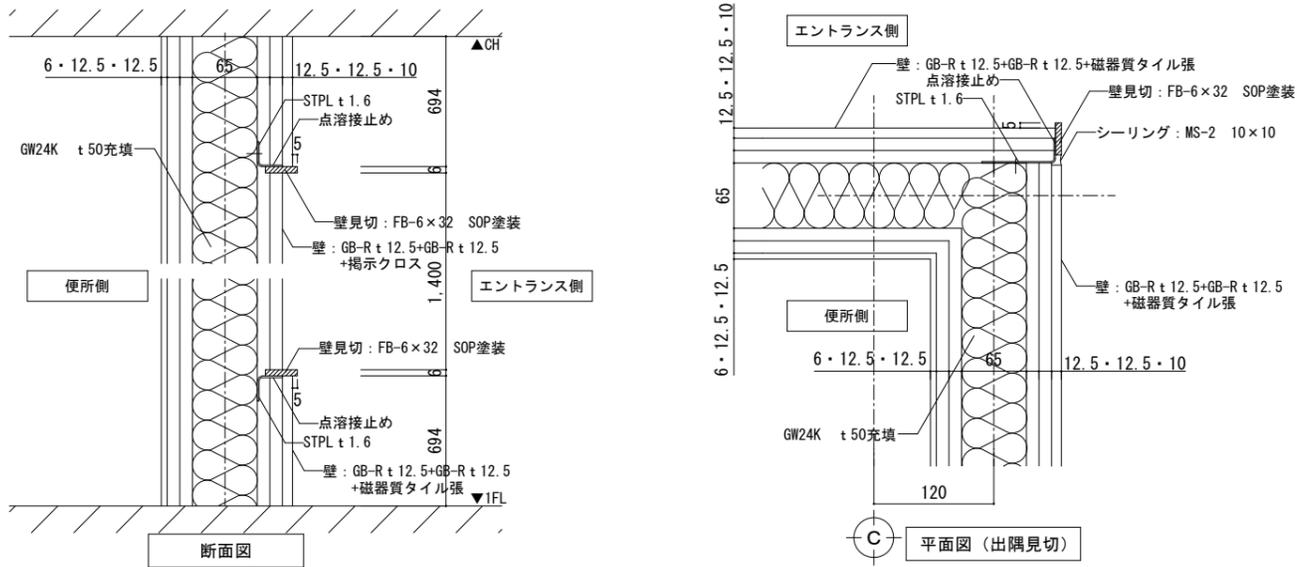
タカラスタンダード株式会社 びったりサイズシャワーユニット0812同等品

タカラスタンダード株式会社 コンパクトキッチン アピスカ同等品

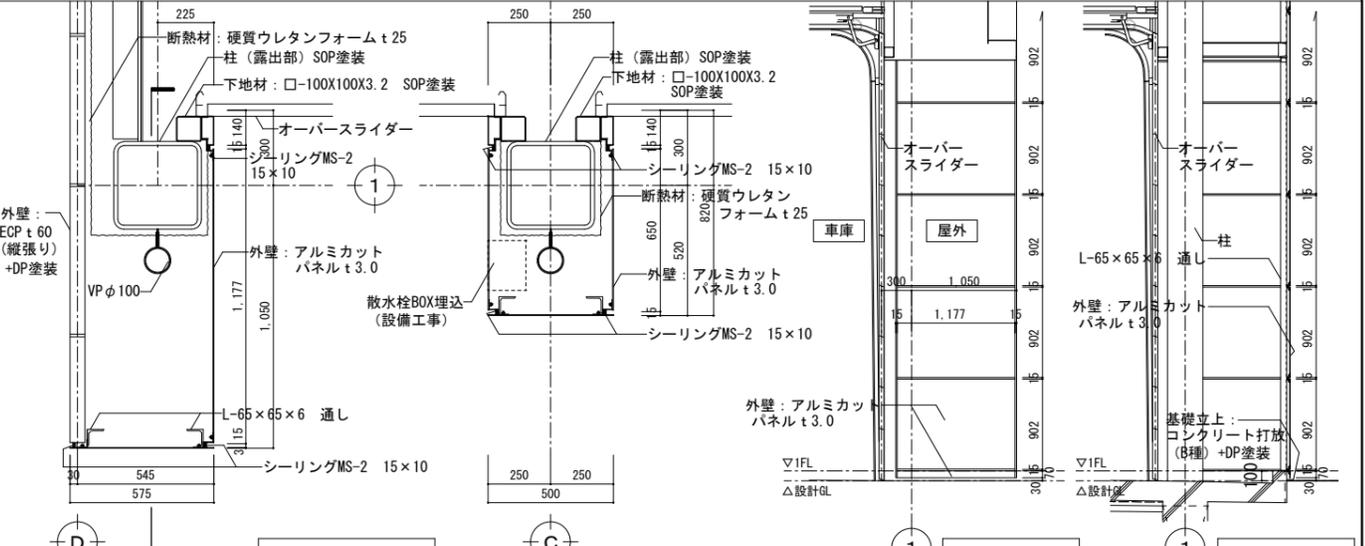
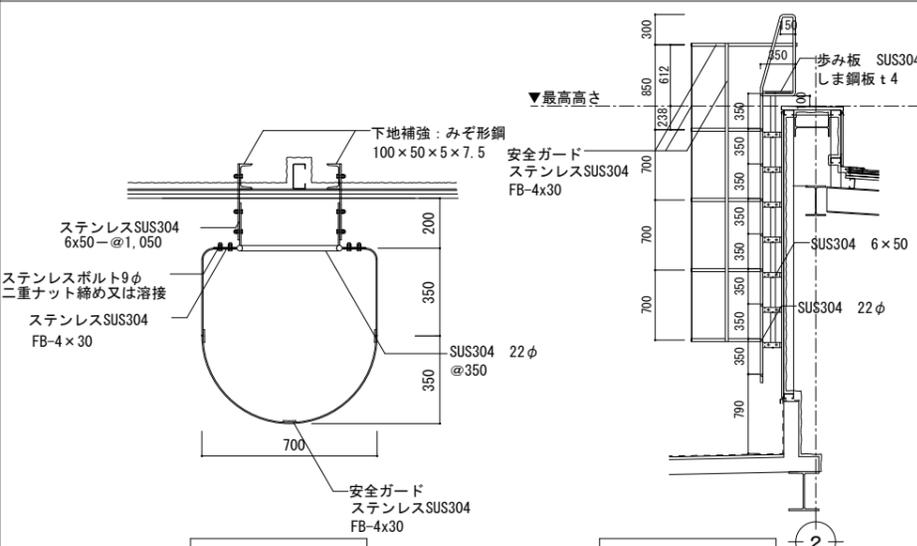
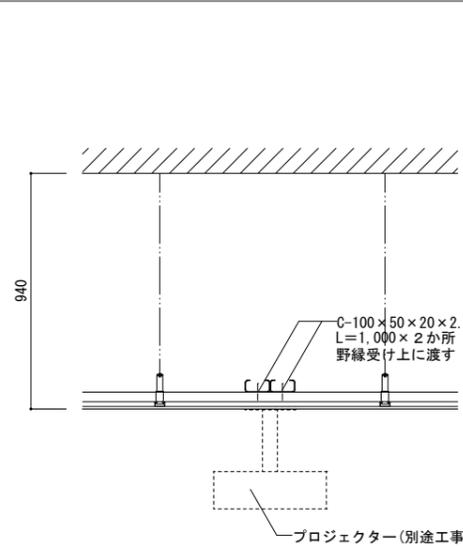
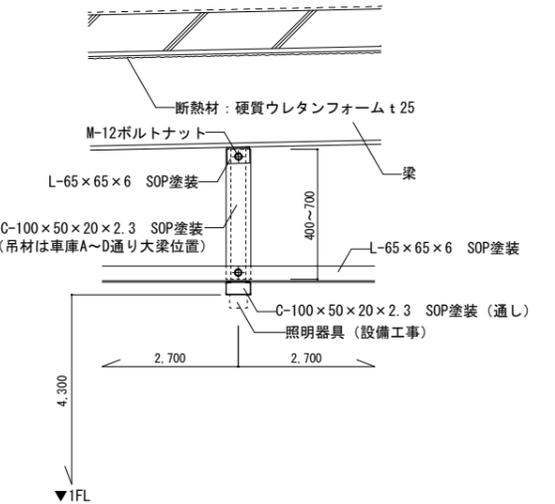
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
	一級建築士 第350767号 行保 公樹	寺川 智也		【庁舎棟】部分詳細図 (5)	071
				SCALE A2: 図示 A3: A2の71%	



NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
					三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
				【庁舎棟】部分詳細図 (6)	SCALE A2: 図示 A3: A2の71%



品名		水切付一槽シンク		
外形寸法		W900×D600×H850 (mm)		
品番	部品名	材	質	個数
1	甲板	SUS-304	No. 4仕上	1.0t
2	外装	SUS-304	No. 4仕上	1.0t
3	スノコ板	SUS-304	No. 4仕上	1.0t
4	排水トラップ	埋込	φ180・接続口径50A	1
5	オーバーフローパイプ	埋込	小判型	1
6	脚部	SUS-304	φ38	4
7	スノココーナー	SUS-304	φ3.0t	4
8	アジャスト	SUS-304		4
9	取り外し水切300	SUS-304		1



NOTE

株式会社 あい設計 福山支社

三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

【庁舎棟】部分詳細図 (7)

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋

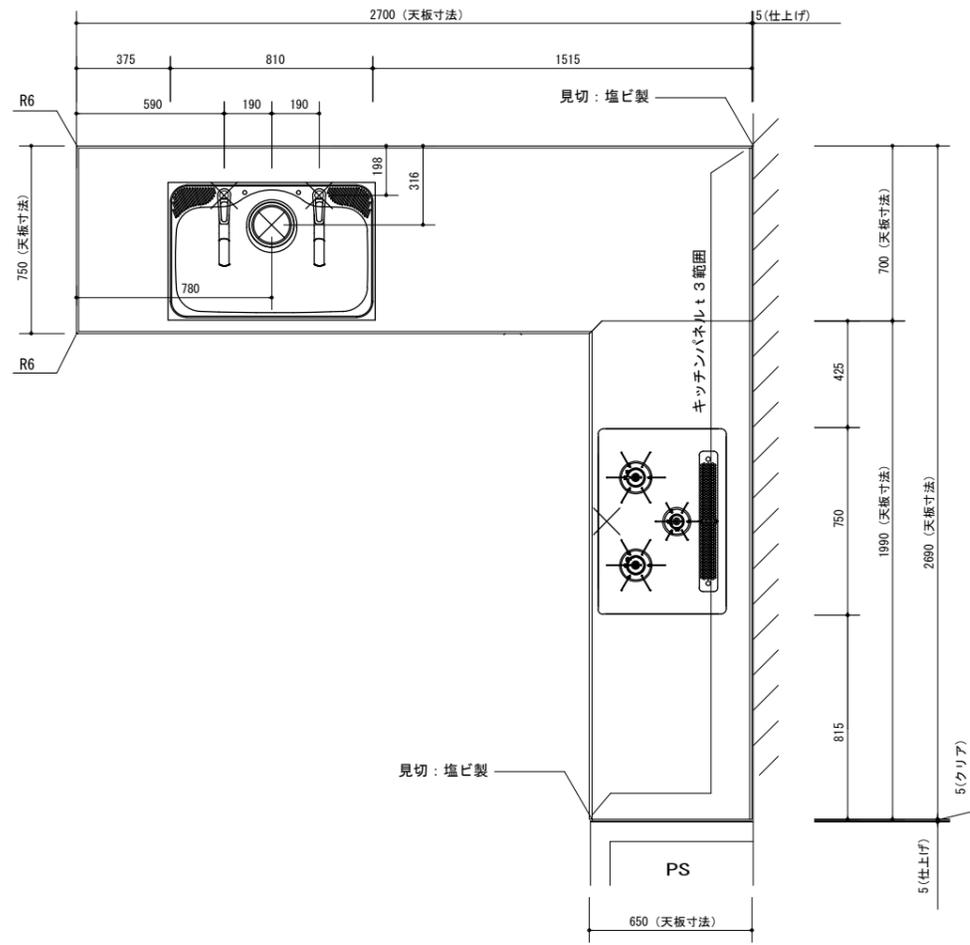
一級建築士 第350767号 行保 公嗣

寺川 智也

SCALE A2: 図示 A3: A2の71%

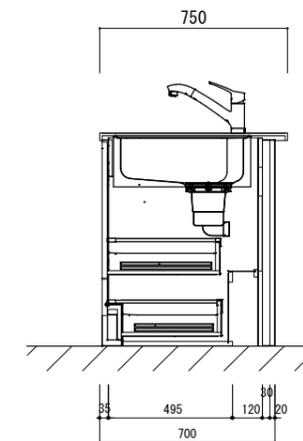
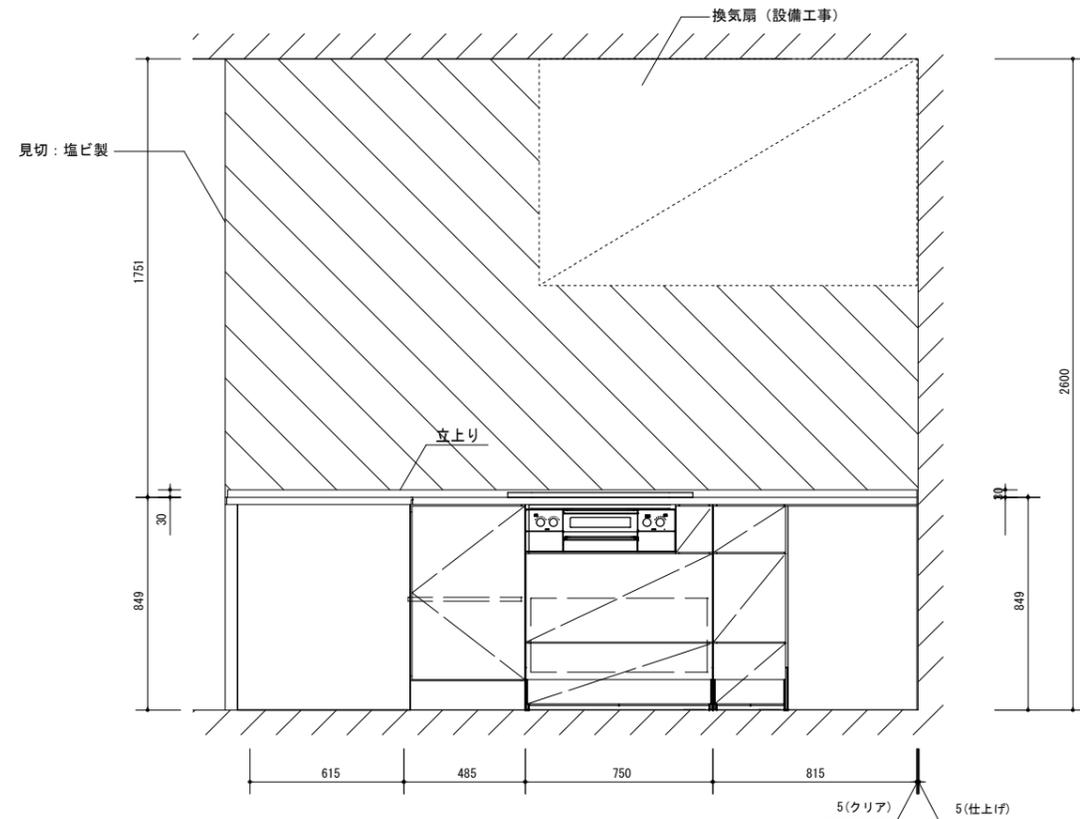
A 073

A12019.11.1



〈システムキッチン〉

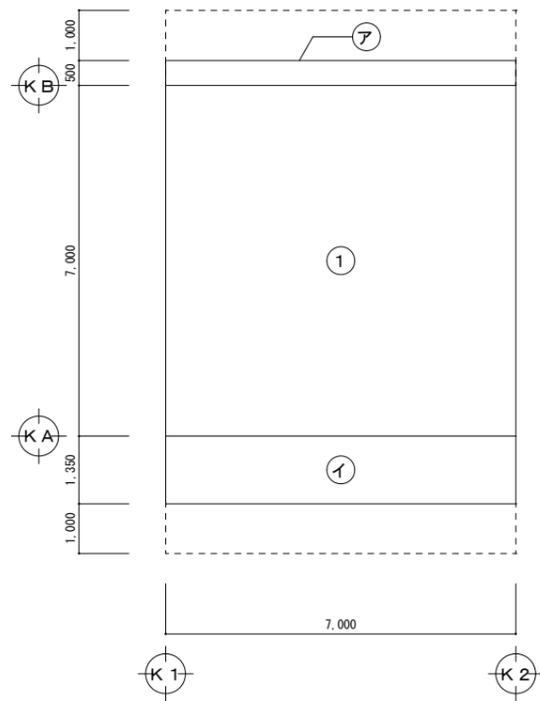
品名	仕様	F☆☆☆☆ 仕様
ワークトップ	天板材質	人造大理石
	前下り形状	標準形状
	シンク種類	排水後方2シンク SUS443J1
	低騒音シンク仕様	あり
下台共通	扉	メラミン左右1.5R
	丁番	スライド丁番 (標準品)
	本体	化粧合板
	巾木	化粧シート巻材
シンクキャビネット	仕様	巾木スライド収納
	本体底板	化粧合板
	スライド収納底板	化粧ボード
	包丁差し	包丁差し
引出キャビネット	仕様	巾木スライド3段引出
	本体底板	化粧合板
	スライド収納底板	化粧ボード
	部品	インナーケース
ガスキャビネット	仕様	巾木スライド収納
	本体底板	化粧合板
	スライド収納底板	化粧ボード
	小引出レール	ベツツレール
	小引出本体底板面材	樹脂
	小引出前板	扉面材
加熱機器	加熱機器	【配線接続は設備工事】
水栓	水栓種類	シングルシャワー付き混合栓 (回転規制110度) 【配管接続は設備工事】



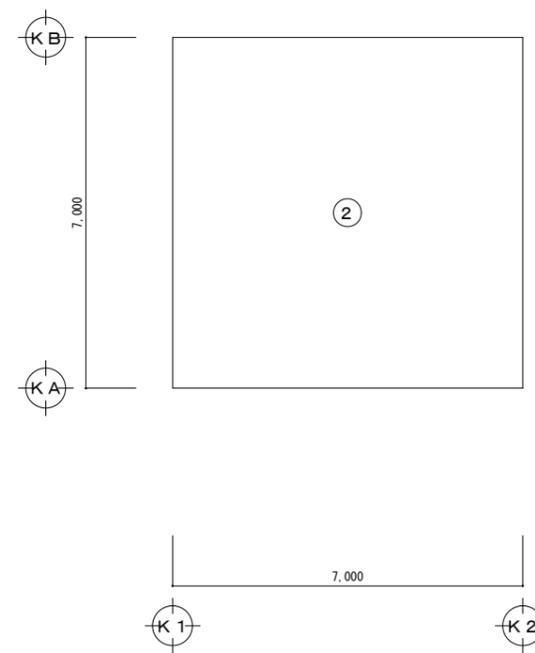
：キッチンパネル t 3 範囲

NOTE	

 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
寺川 智也			【庁舎棟】部分詳細図 (8)	074
			SCALE A2: 図示 A3: A2の71%	



建築面積、1階建物求積図

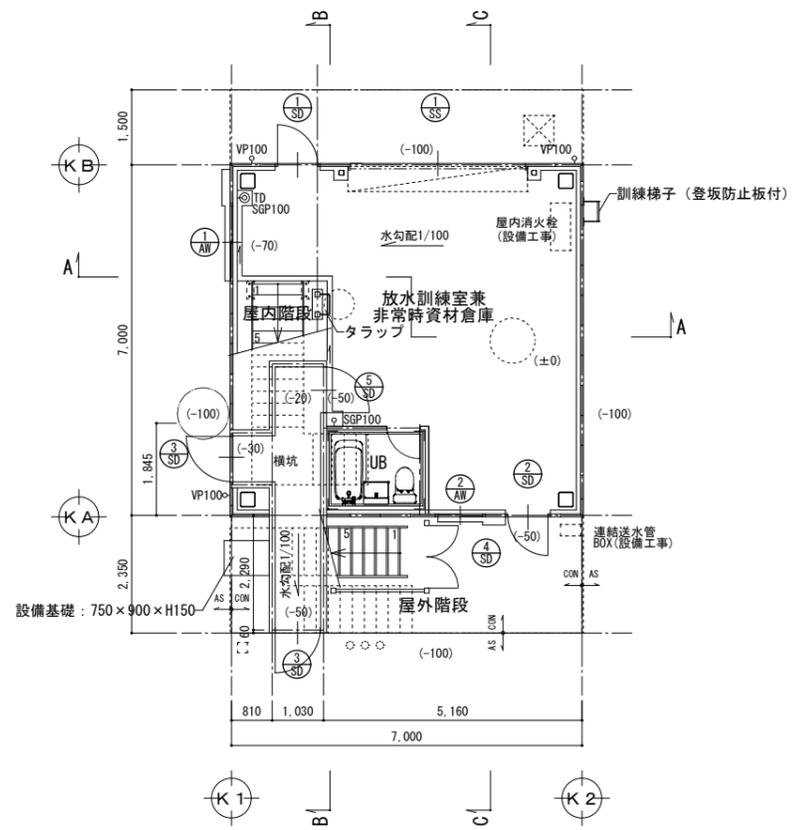


2階建物求積図

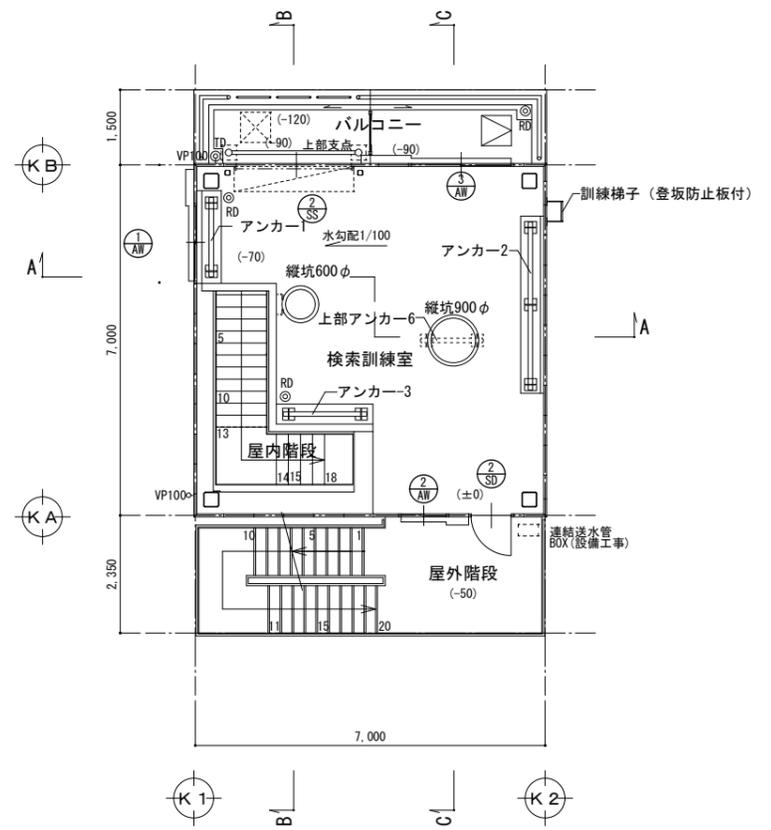
面積表									建築面積	
符号	算定式	小計	符号	算定式	小計	符号	算定式	小計	① + ア + ①	61.95
①	7.000 × 7.000	49.000	ア	7.000 × 0.500	3.500				延床面積	
②	7.000 × 7.000	49.000	①	7.000 × 1.350	9.450				① + ②	98.00
									1階	
									①	49.00
									2階	
									②	49.00

NOTE	

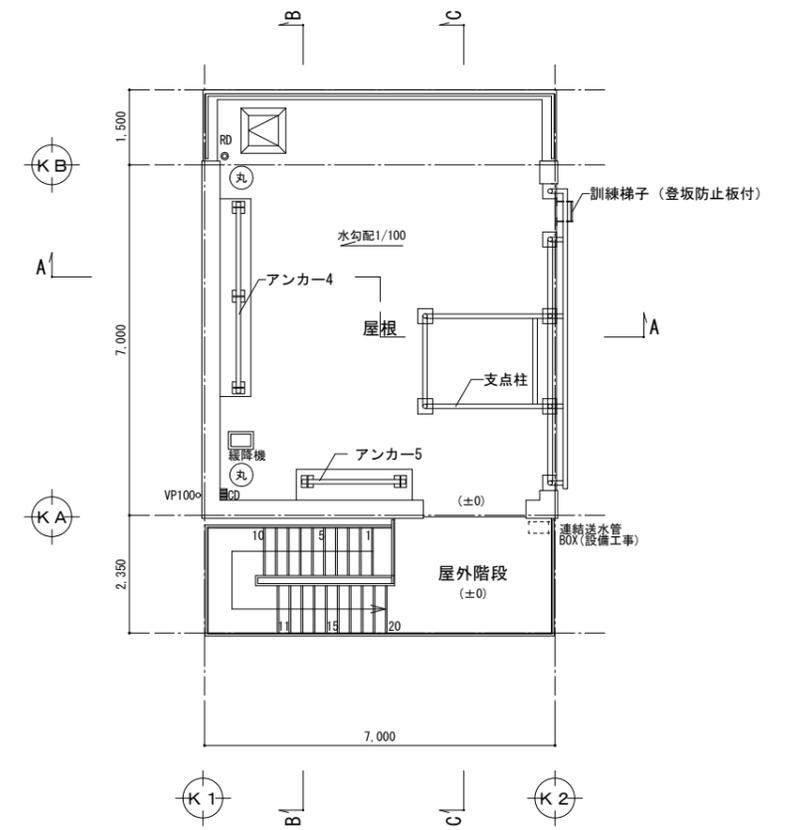
 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【訓練塔】建物求積図	DWG No A 075
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣				



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

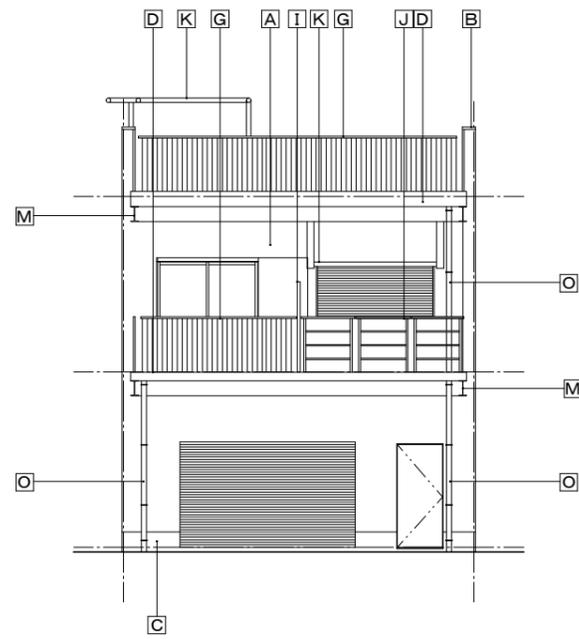
屋外階段	計画	基準法	判定
階段幅	950	≧900	○K
踊場幅	1038	≧900	○K
けあげ	177.5	≦220	○K
踏面	240	≧210	○K
踊場手摺高さ	H=1100		
構造	S造		

屋内階段	計画	基準法	判定
階段幅	900	≧750	○K
踊場幅	900	≧750	○K
けあげ	196.39	≦220	○K
踏面	240	≧210	○K
踊場手摺高さ	H=1100		
構造	S造		

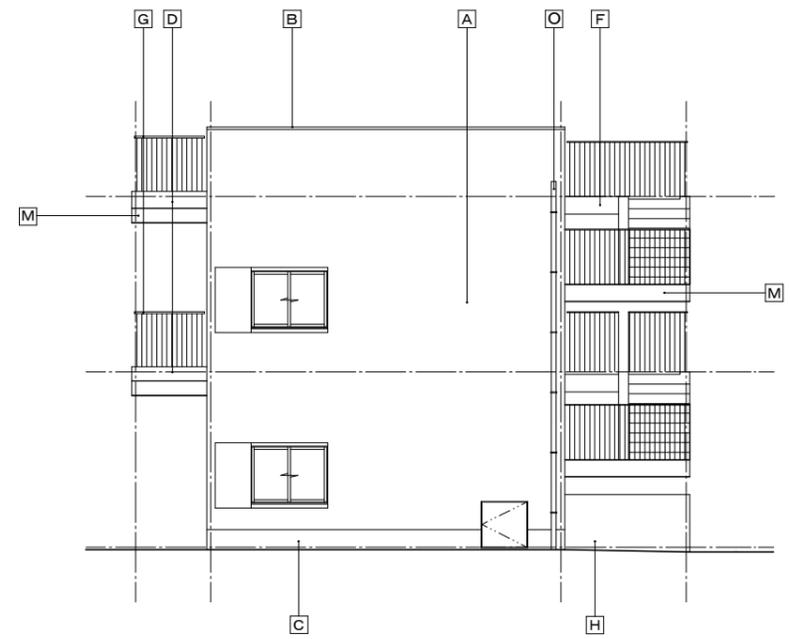
※各訓練用金物の設置位置は監督員と協議の上、決定する事。

■凡例

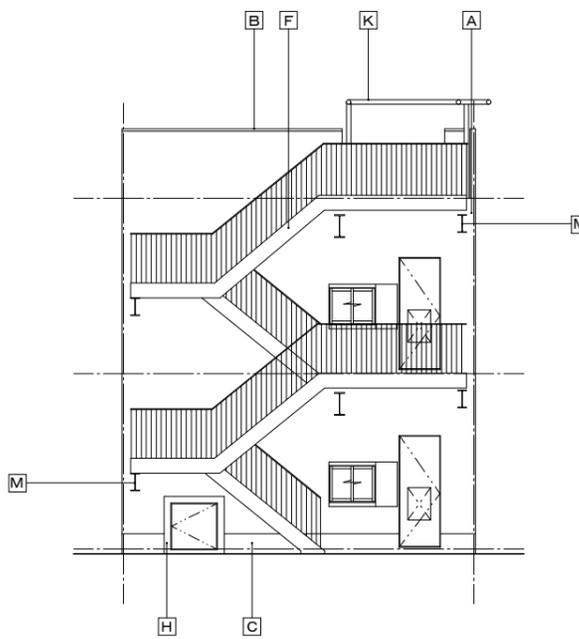
▽ VP	カラーVP管
▽ SGP	SGP管壁とい
(+***)	FLからの高さを示す
■ CD	コーナードレンを示す
◎ RD	ルーフトレンを示す
⊠	避難ハッチ (600角) を示す
TD	中継ドレンを示す
○	SUS製丸環を示す



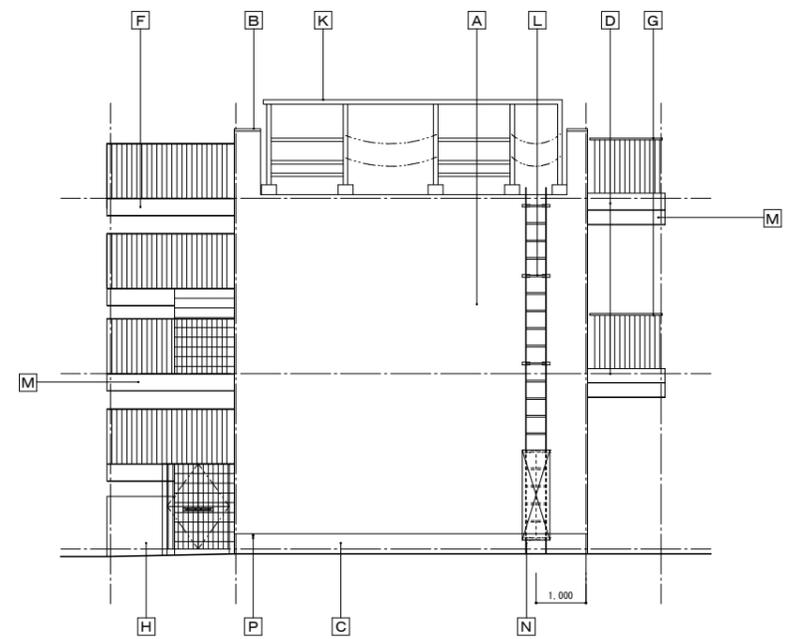
北面立面図



西面立面図



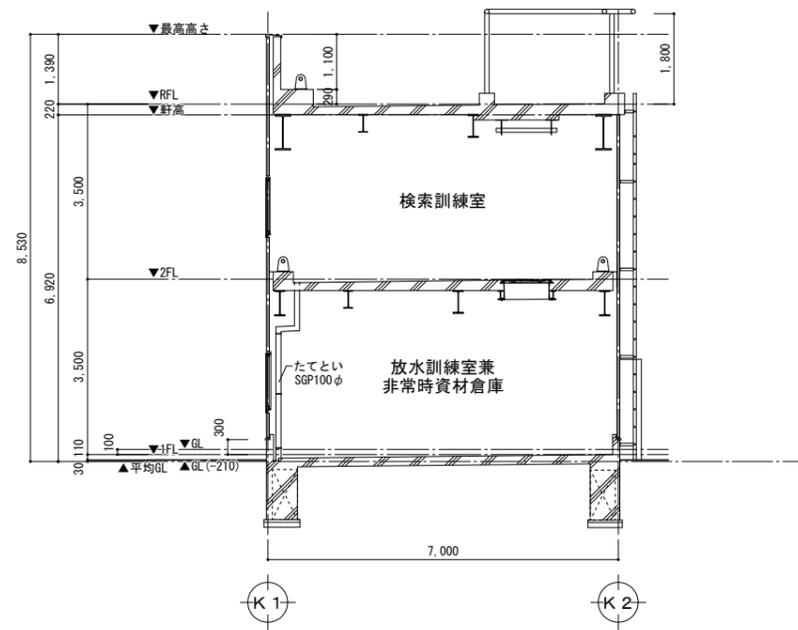
南面立面図



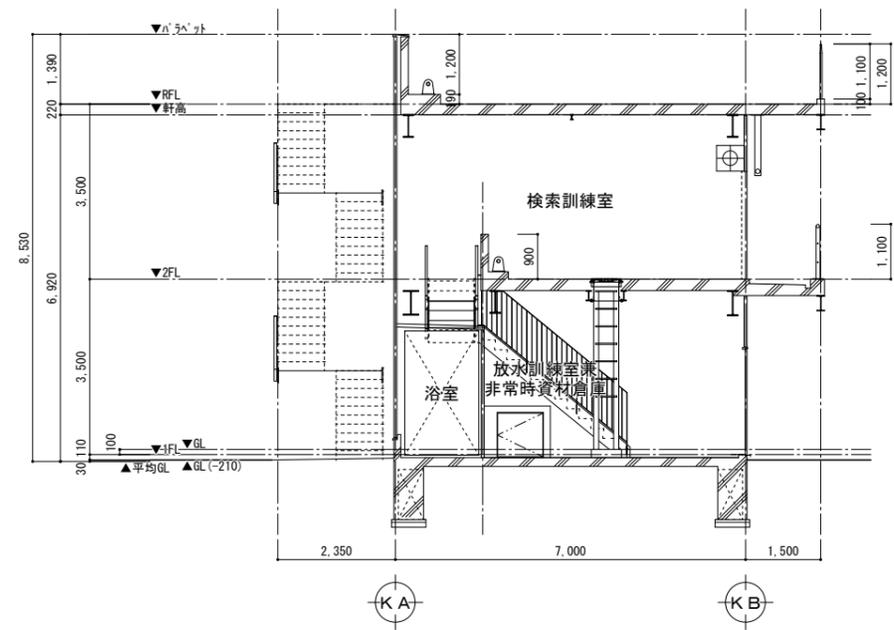
東面立面図

凡例	A 外壁	ECP t60の上複層塗材E	D バルコニー側面	C(B)-bの上複層塗材E	G 手摺	St製溶融垂鉛メッキ	J 着脱式手摺	St製溶融垂鉛メッキ	M 梁	St製 溶融垂鉛メッキ	P 足元支点金物	スチール製19φ
	B 笠木	アルミ既製品W250	E 縦樋2(屋外)	硬質塩ビ製VP(カラー)100φ(ソケット、掃除口) SUS製φ1000 滑り止め1本おき	H 横坑	モルタル金コテ押エ+複層塗材E	K 支点柱	St製溶融垂鉛メッキ	N 訓練梯子	登攀防止板付		
	C 立上り	C(A)-a + 撥水剤塗布	F 屋外階段	St製溶融垂鉛メッキ	I 隔板	アルミ製既製品(開き戸付)H1800	L 登はん梯子	St製溶融垂鉛メッキ	O たてとい	VP100φ		

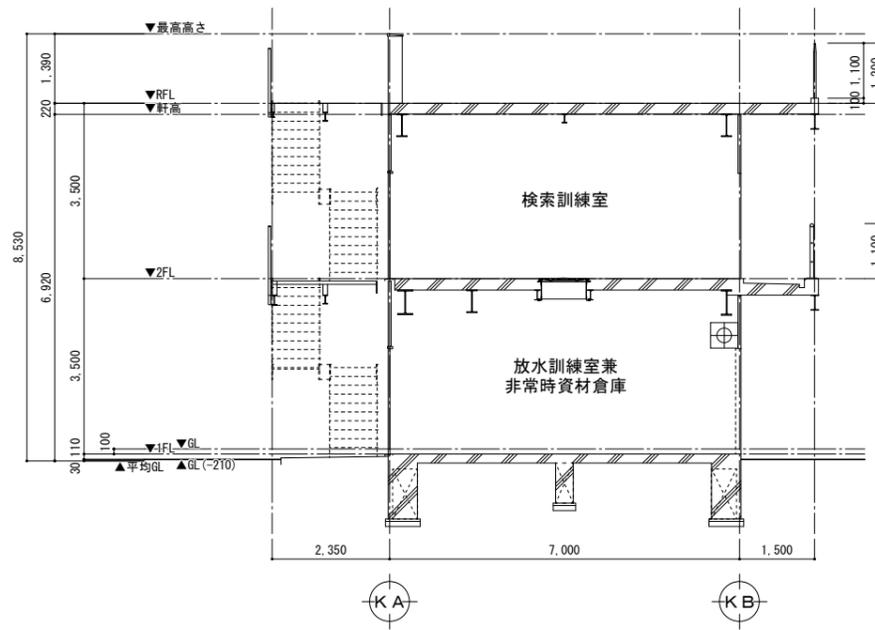
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也										JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)													A
	【訓練塔】立面図										SCALE	A2 : 1/100	078	
											A3 : A2の71%			



A-A断面図

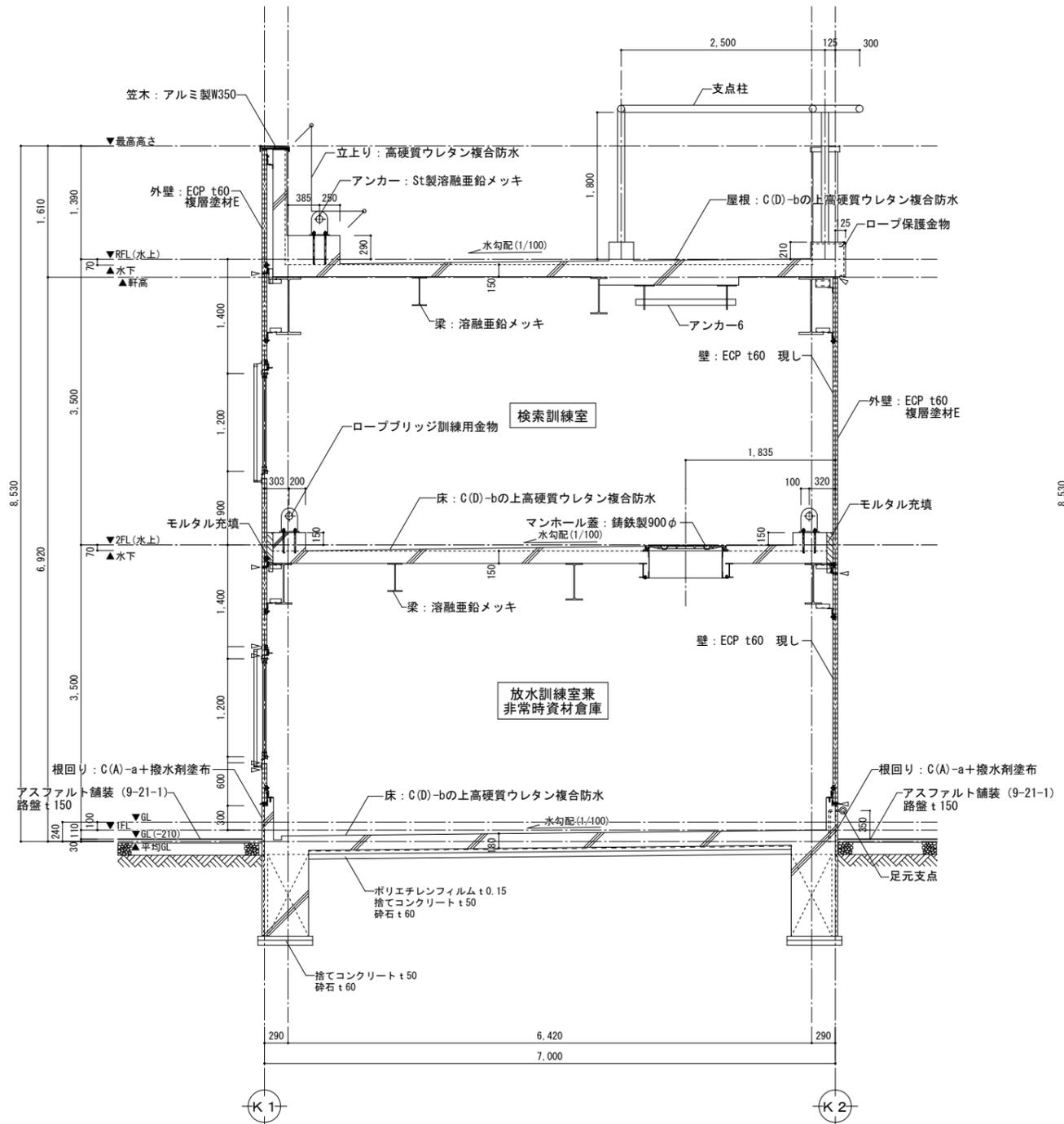


B-B断面図

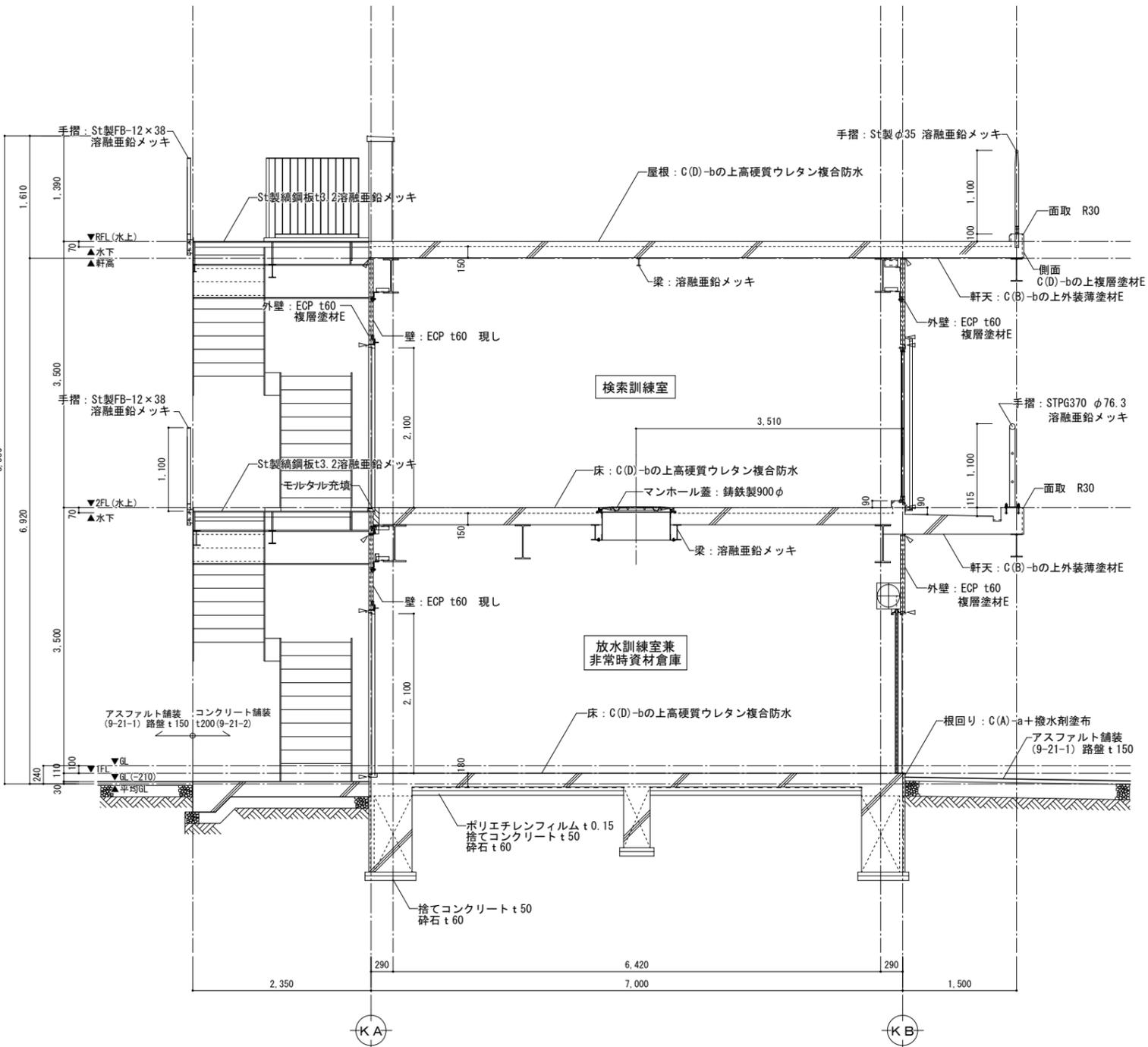


C-C断面図

NOTE	 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【訓練塔】断面図
				SCALE	
				A2 : 1/100	
				A3 : A2の71%	



A-A断面詳細図



C-C断面詳細図

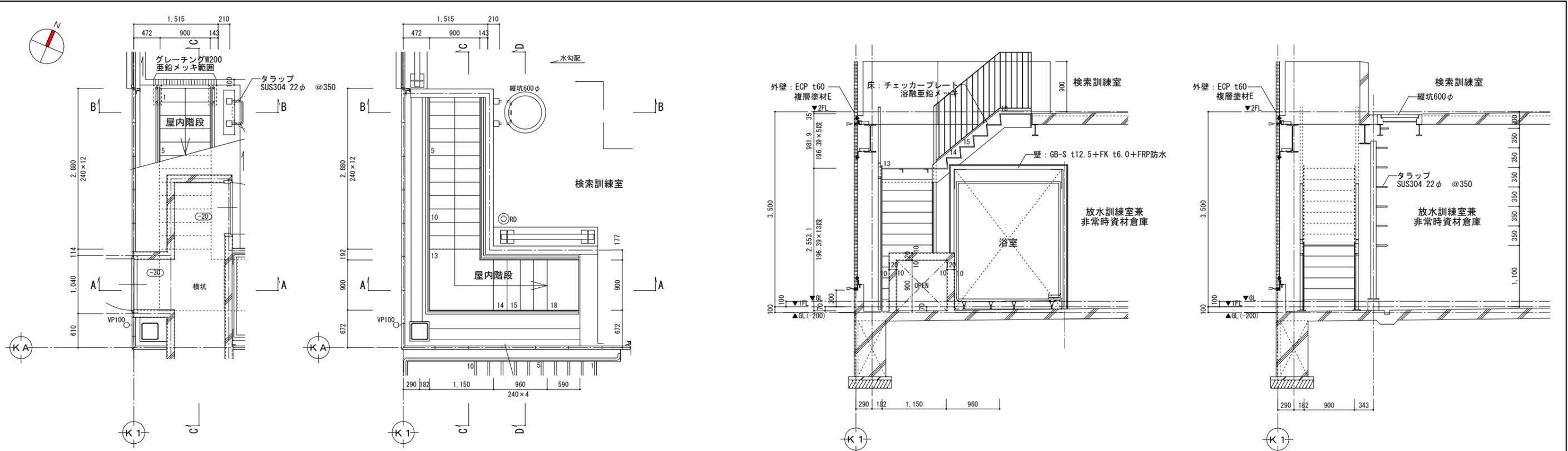
▽	シーリングMS-2 20×15を示す
	鉄部は溶融亜鉛メッキとする

NOTE	
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣

	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣
寺川 智也	

JOB No	DATE	TITLE
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
		【訓練塔】矩計図

SCALE	A2: 1/50	A3: A2の71%
DWG No	A 080	

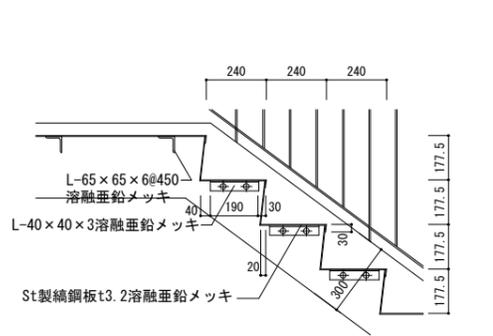


1階平面詳細図 S=1/50

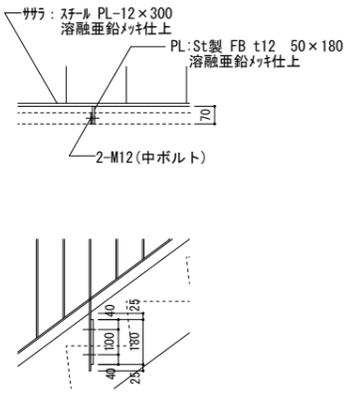
2階平面詳細図 S=1/50

A-A断面詳細図 S=1/50

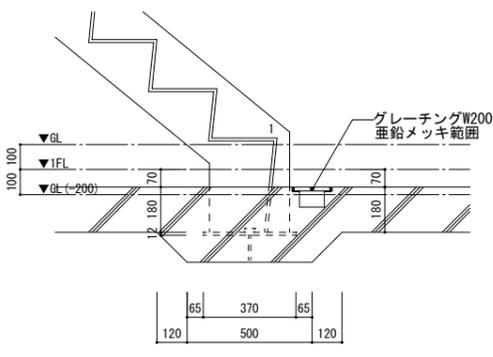
B-B断面詳細図 S=1/50



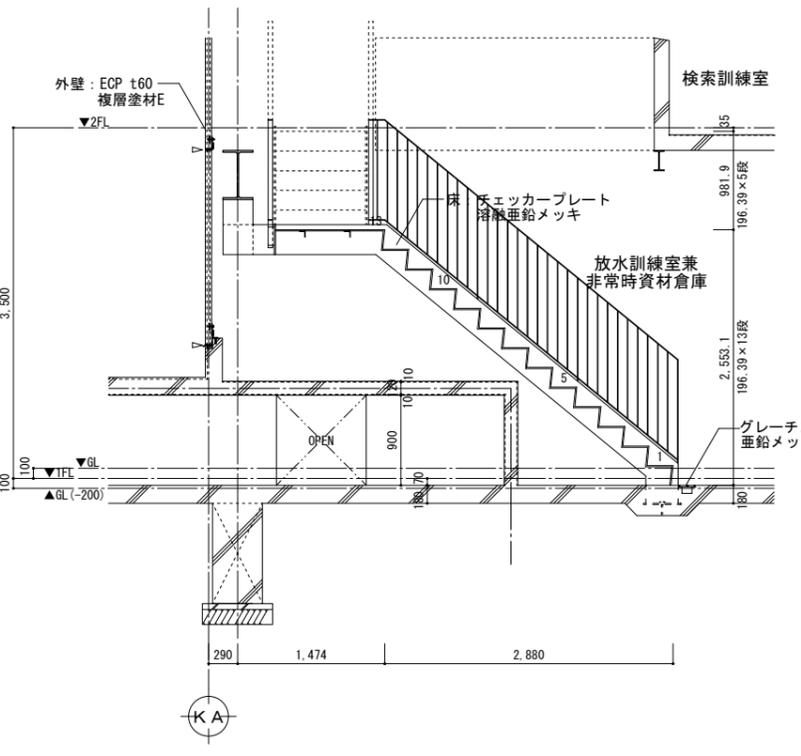
a部詳細図 S=1/20



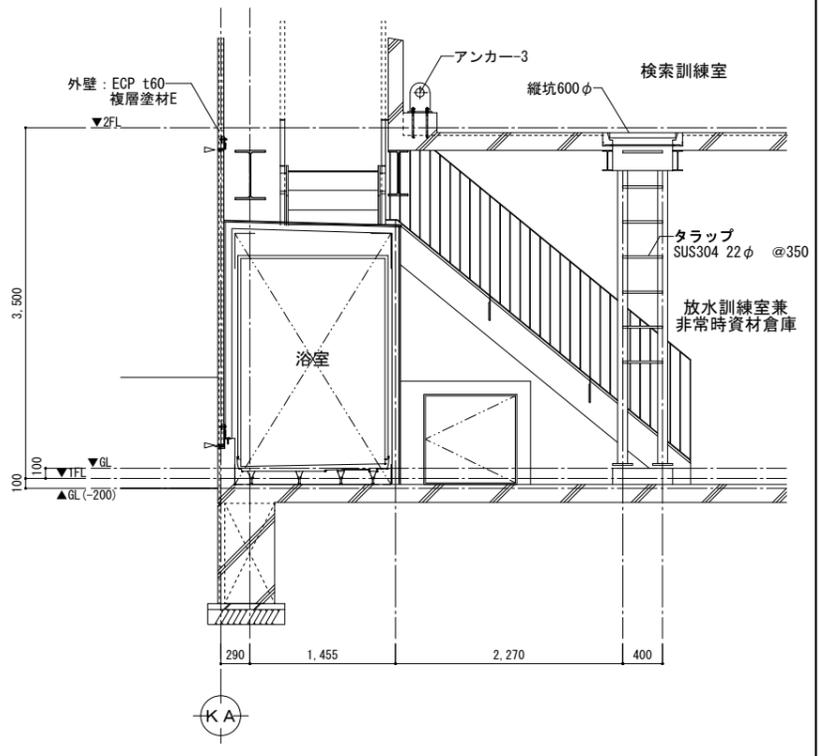
手摺詳細図 S=1/20



b部詳細図 S=1/20

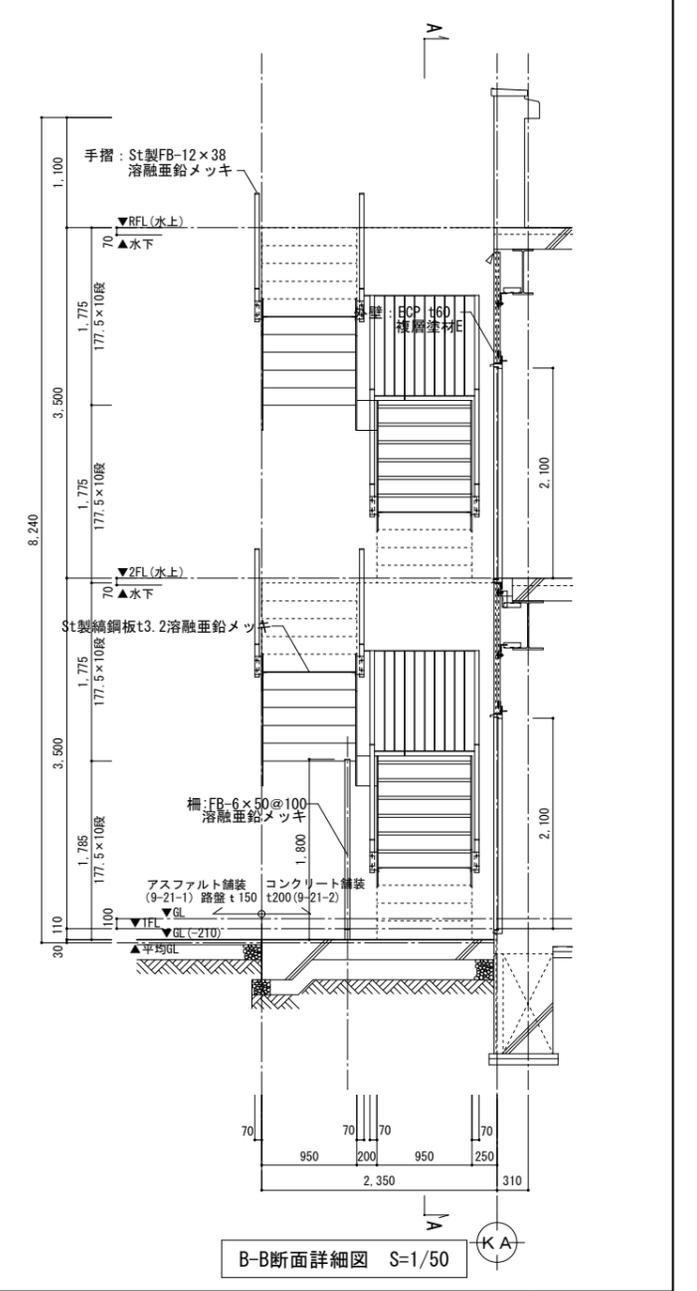
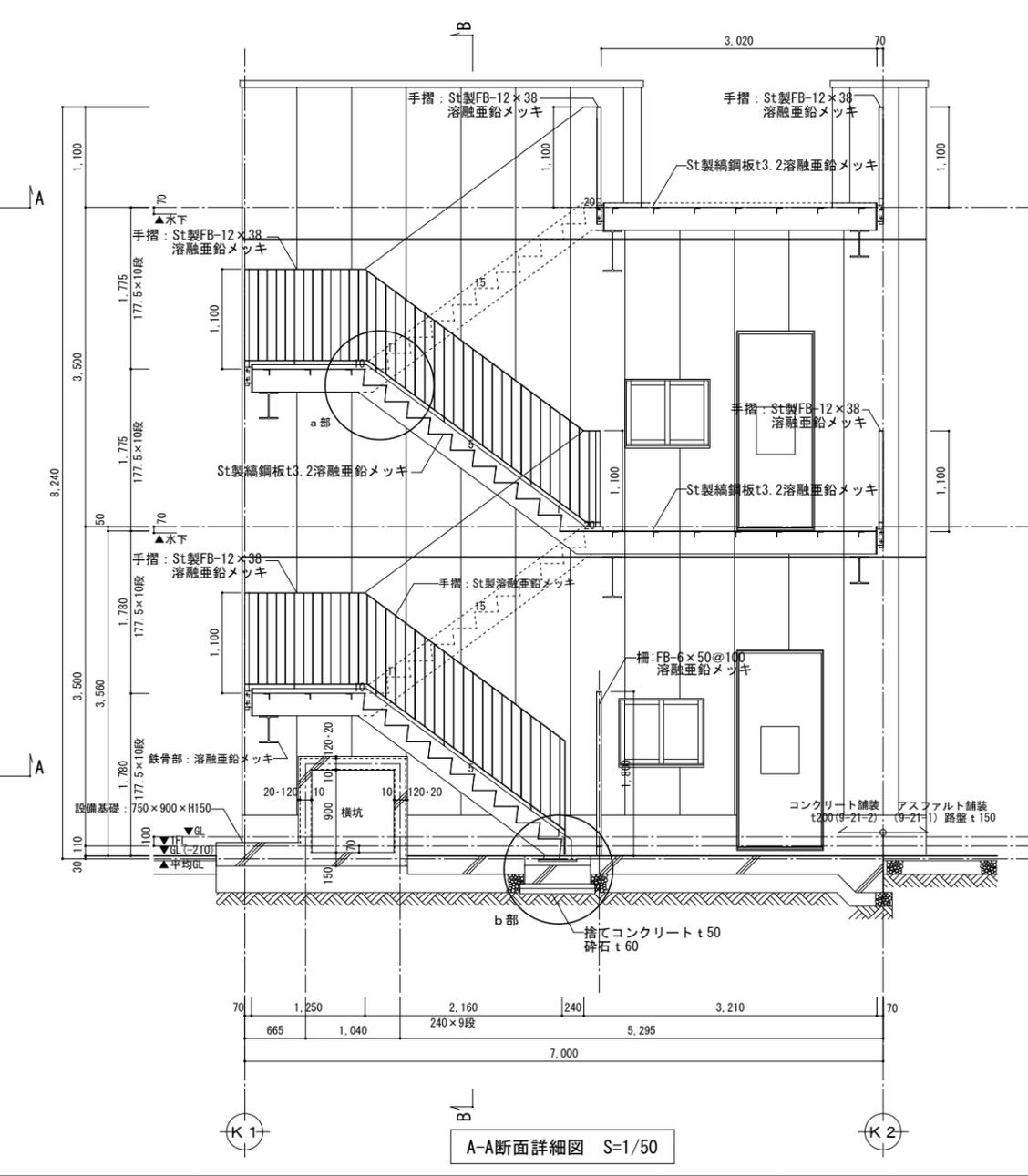
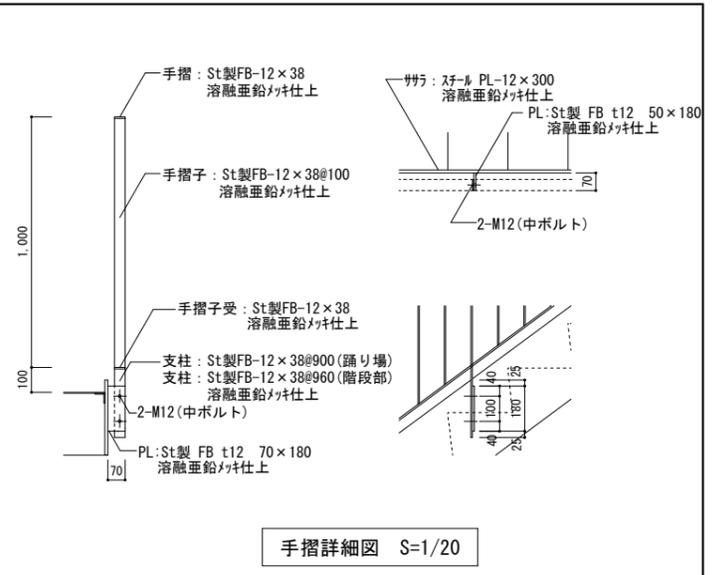
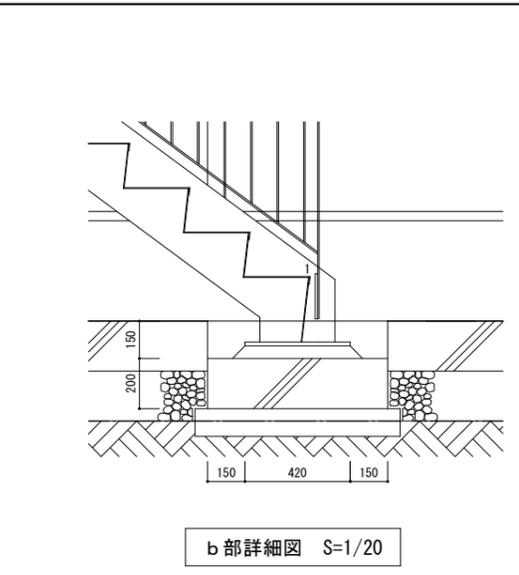
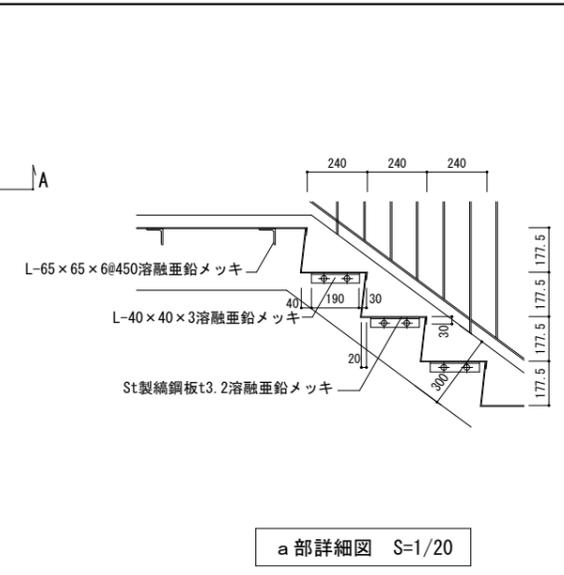
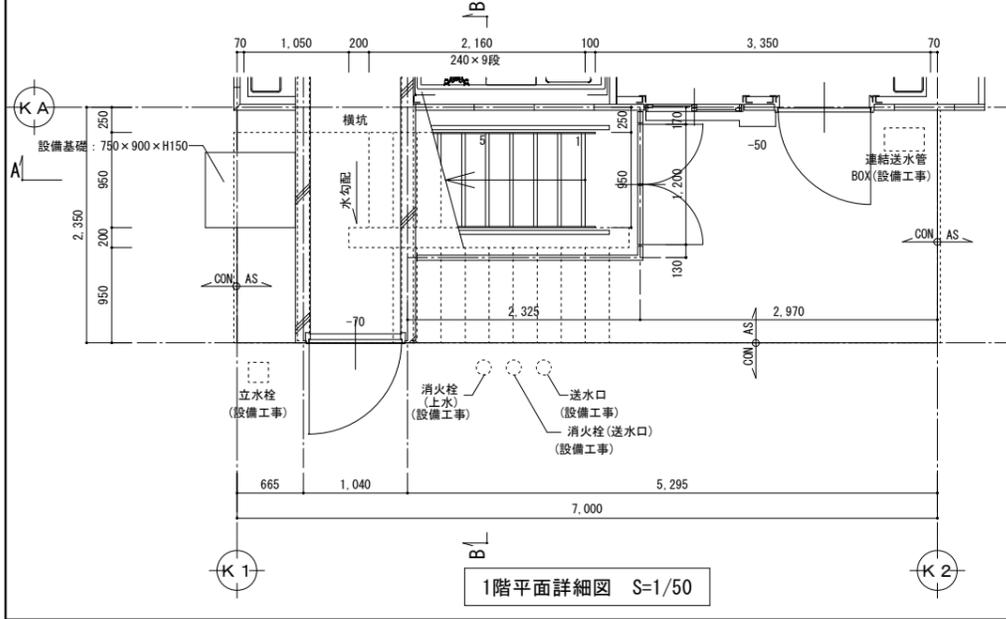
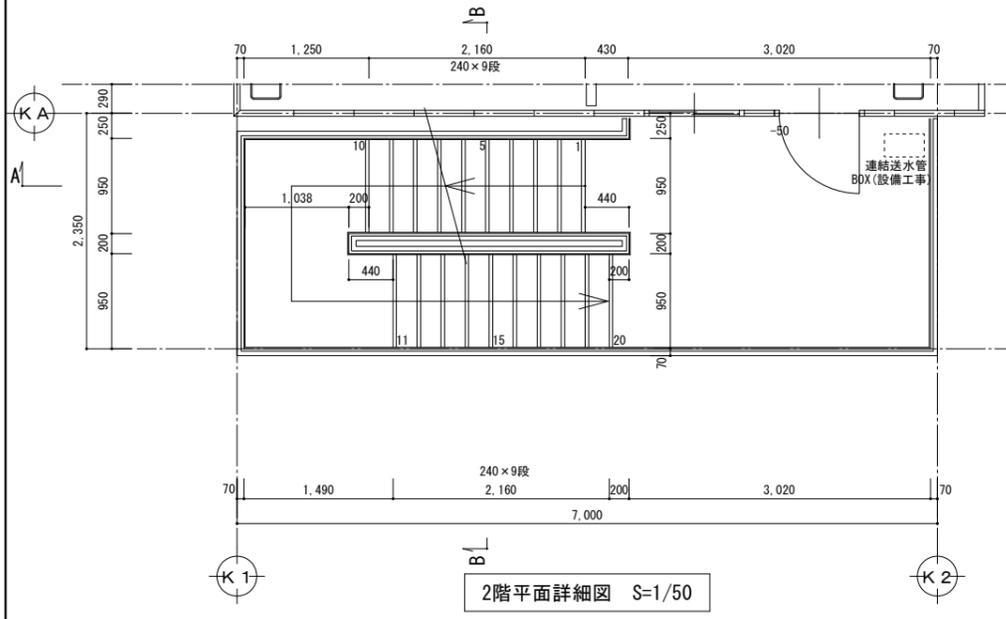
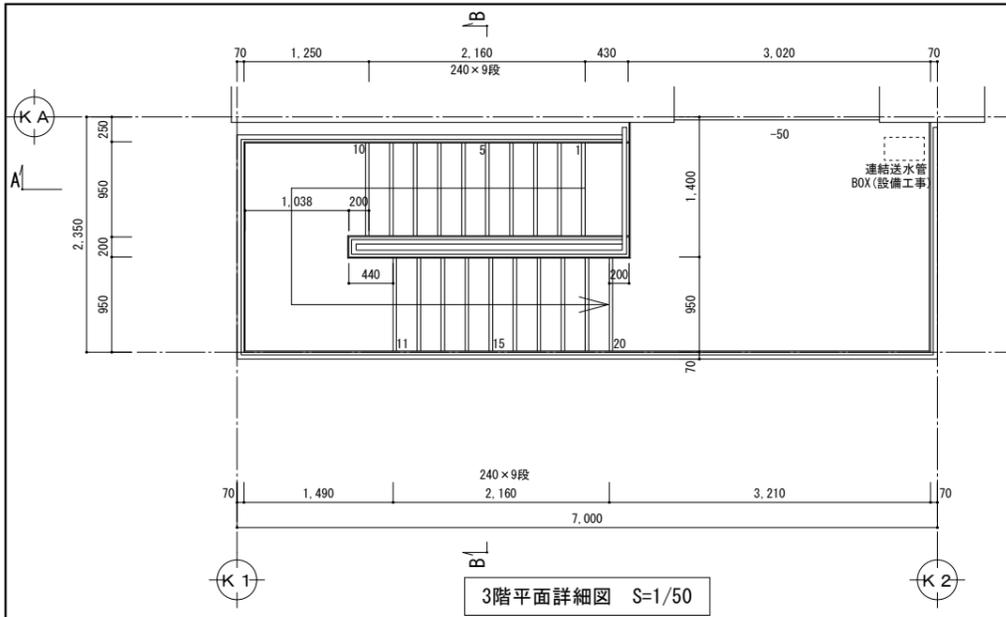


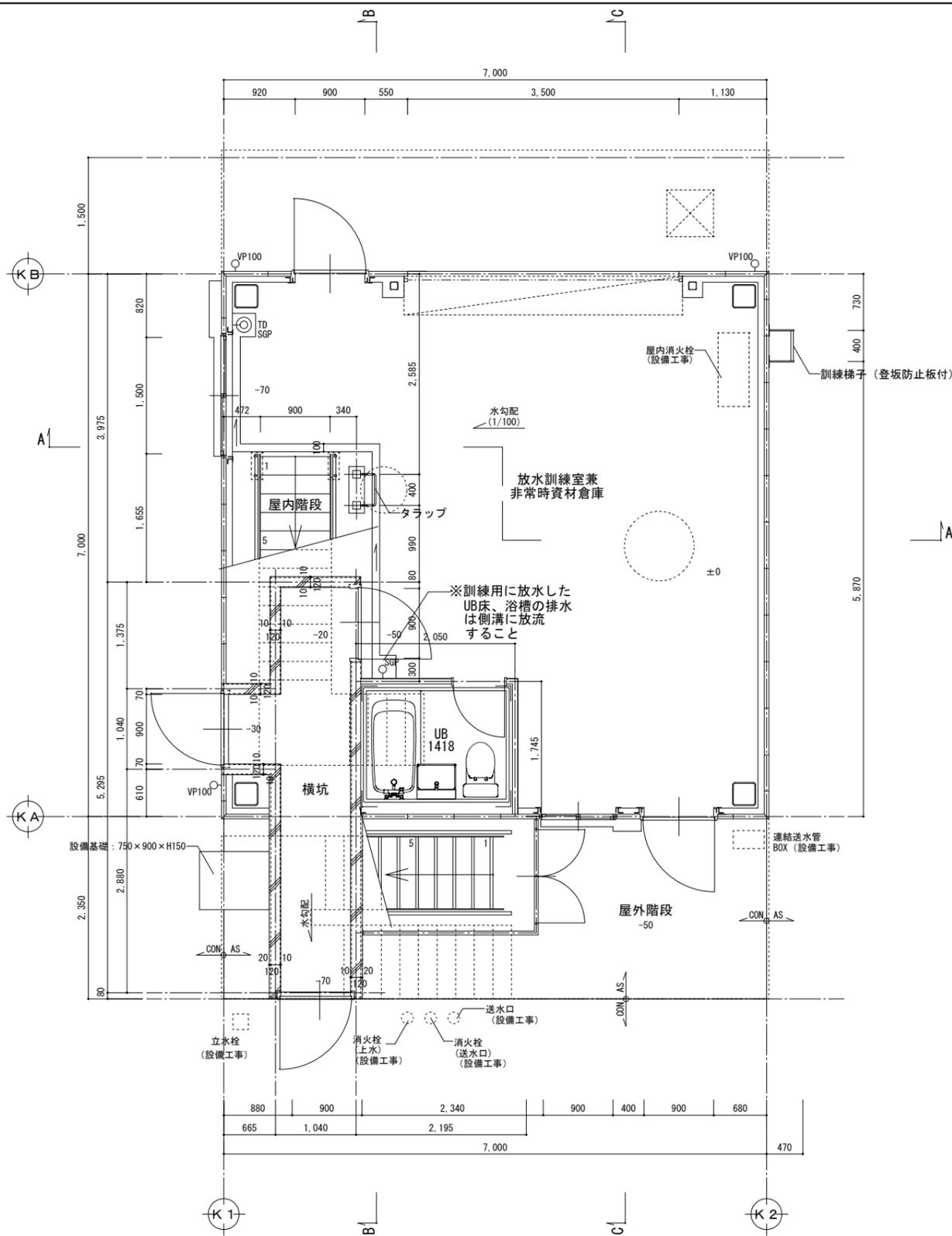
C-C断面詳細図 S=1/50



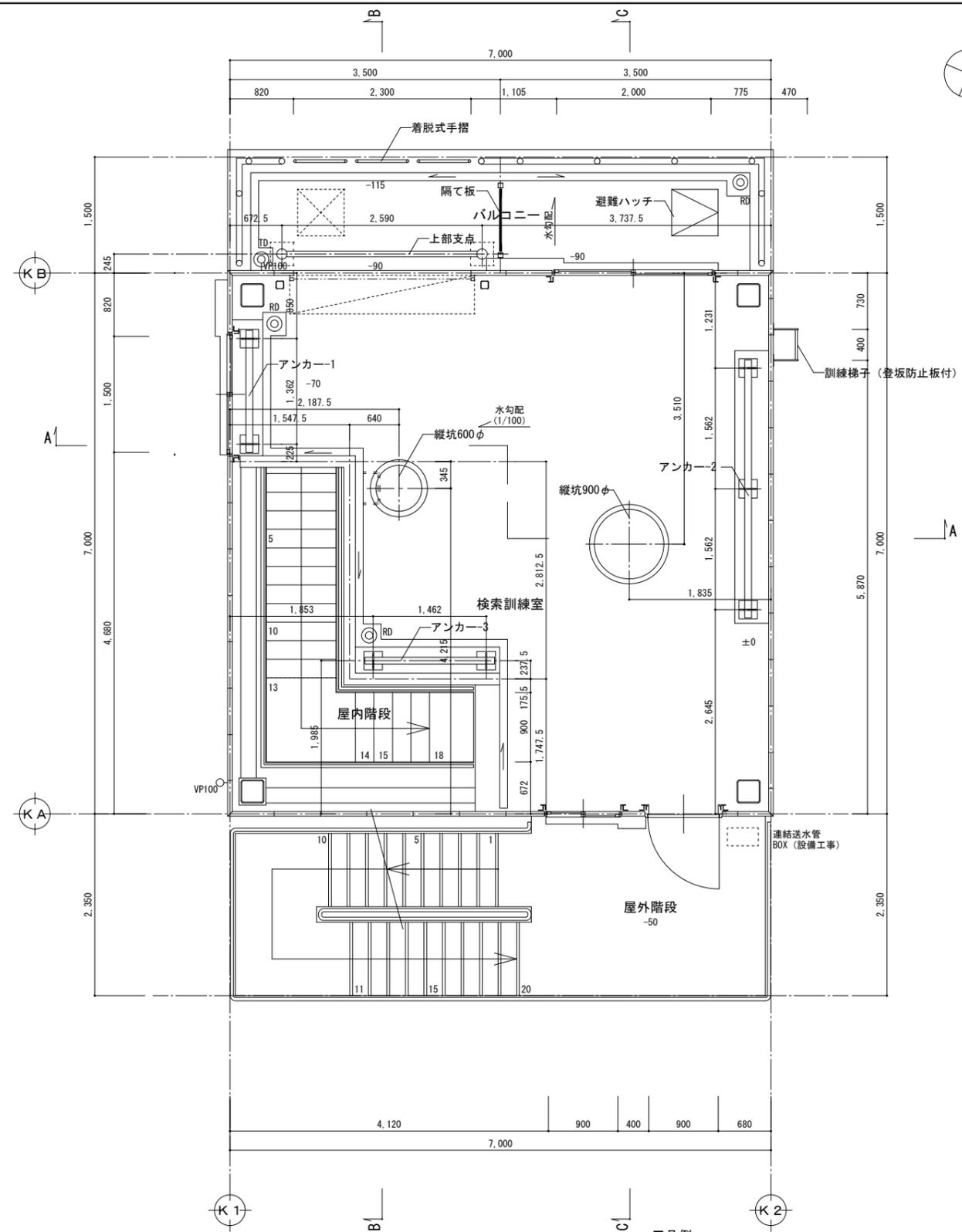
D-D断面詳細図 S=1/50

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【訓練塔】屋内階段詳細図
				SCALE	A2: 1/50 A3: A2の71%





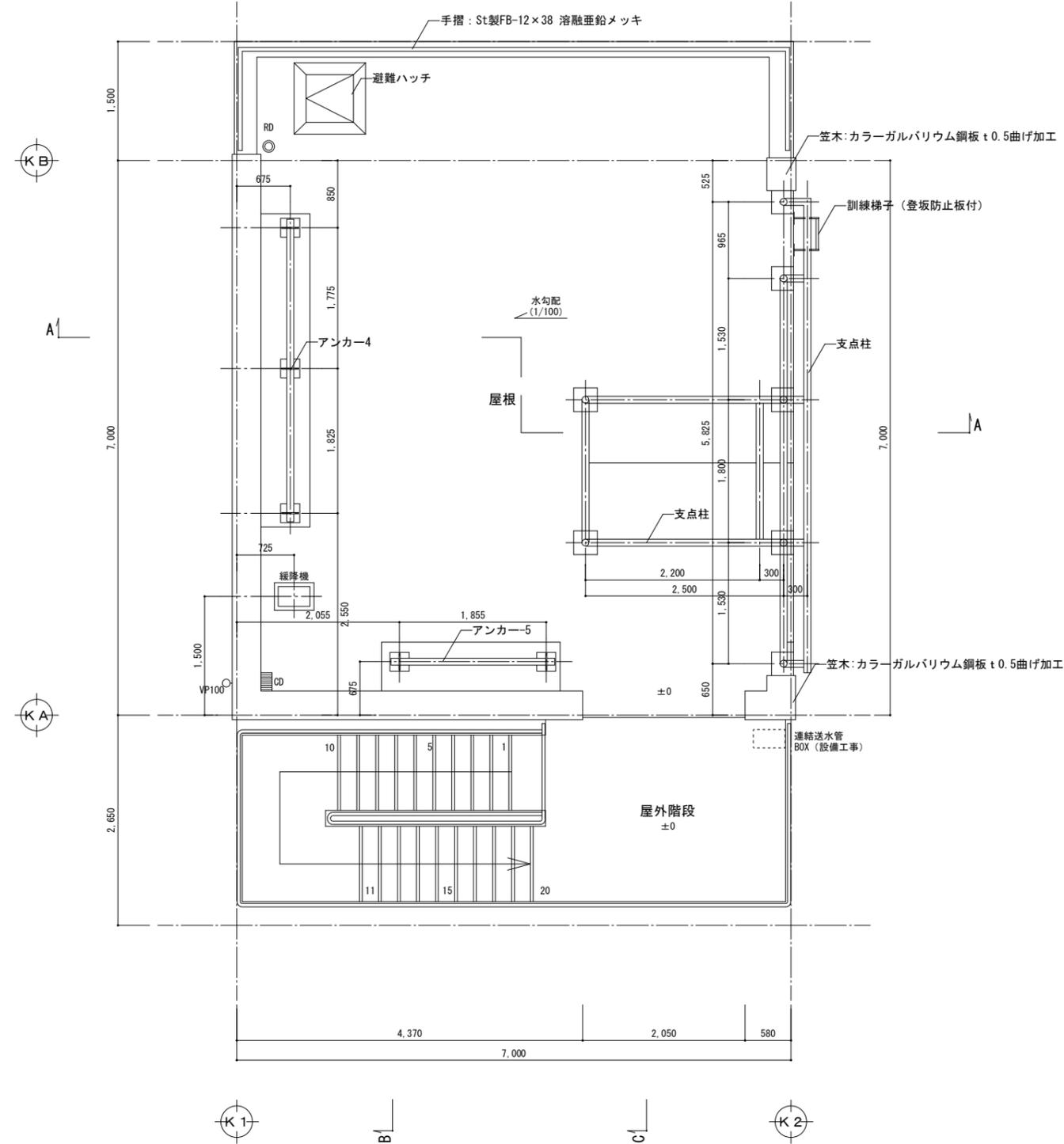
1階平面詳細図 S=1/50



2階平面詳細図 S=1/50

■凡例

φ VP	硬質塩ビ製VP(カラー)100φ
φ SGP	SGP管縦樋100φ
****	FLからの高さを示す
--- CD	コーナードレンを示す
⊙ RD	ルーフトレンを示す
⊙ TD	中継ドレンを示す
⊠	避難ハッチ(600角)を示す
TD	中継ドレンを示す
⊙	SUS製丸環示す



R階平面詳細図 S=1/50

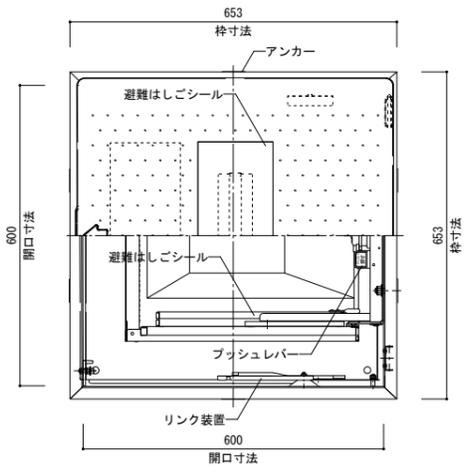
■凡例	
φ VP	カラーVP管
φ SGP	SGP管 等しい
****	FLからの高さを示す
CD	コーナードレンを示す
RD	ルーフトレンを示す
TD	中継ドレンを示す
▽	避難ハッチ (600角) を示す
TD	中継ドレンを示す
丸	SUS製丸環を示す

凡例、略号	建具の性能	【アルミニウム製建具 扉板、額縁】		
【図面表示建具符号】 整理番号 ○ 防火設備の種別 建具略号	【アルミニウム製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 25 30 35 40 断熱性能 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 (rad) 1/300 1/150 1/120 表面処理 BA-1 BA-2 BB-1 BB-2 BC-1 BC-2 表面処理基準 II II III IV	【アルミニウム製建具 水切】 水切り共通1 B1 (アルミニウム製) B2 (タイル張り) B3 (防水モルタル塗り) 壁 建具 金属製水切り 7Aに9A製 9A張り 防水9A張り		
【建具略号】 P フロート板ガラス IG 複層ガラス F 型板ガラス HG 高断熱複層ガラス NF 網入型板ガラス(防火設備) HR 高性能熱線反射ガラス WF 網入型板ガラス(防火設備) HAR 高性能熱線吸収反射ガラス NP 網入磨き板ガラス(防火設備) DS 倍強度ガラス WP 網入磨き板ガラス DSHA 倍強度熱線吸収ガラス HAP 熱線吸収フロート板ガラス HTG 耐熱強化ガラス(防火設備) HARP 熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備) HCG 耐熱結晶化ガラス(防火設備) HARP 熱線吸収網入磨き板ガラス Low-E 低放射ガラス T 強化ガラス A* 空気層 * mm FT 高性能型強化ガラス GB ガラスブロック L 合わせガラス	【樹脂製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 25 30 35 40 断熱性能 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 (rad) 1/300 1/150 1/120	【鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス製建具 枠、三方枠】 S1 S2 S3 S4 (外部 気密材付き) S5 (外部 気密材付き) S6 (外部 気密材付き) S7 (外部 気密材・水切り付き) S8 (外部 気密材・水切り付き) S9 (外部 気密材・水切り付き) S10 (SAT) S11 (SAT) S12 (SAT)		
【建具金物など略号】 FH フロアヒンジ BL シリンダー箱錠(レバーハンドル) HC ヒンジクローザ CL シリンダー本錠錠 PH ピボットヒンジ LH レバーハンドル GH グレベティヒンジ CH ケースハンドル H 丁香 EML 非常錠 DC ドアクローザ(ストップなし) CEL カード式電気錠 DC(S) ドアクローザ(ストップ付) EL 電気錠 ADB オートドアボトム	【鋼製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 25 30 35 40 断熱性能 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 (rad) 1/300 1/150 1/120	【鋼製軽量建具】 気密性能 対応値 120 30 8 2 遮音性能 対応値 25 30 35 40 断熱性能 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 (rad) 1/300 1/150 1/120		
【防音、防火設備の略号】 SAT セミアタイト (特) 特定防火設備 AT エアタイト (防) 防火設備 (S) 煙感知器連動閉鎖式	【ステンレス製建具】 耐風圧性能 最高圧力(Pa) 800 1,200 1,600 2,000 2,400 2,800 3,600 気密性能 対応値 120 30 8 2 水密圧性能 圧力差(Pa) 100 150 250 350 500 遮音性能 対応値 25 30 35 40 断熱性能 H-1 H-2 H-3 H-4 H-5 H-6 熱貫流率W/(m ² ・K) 4.65 4.07 3.49 2.91 2.33 1.90 面内変形追随性 (rad) 1/300 1/150 1/120	【くつずり】 K1 (くつずりなし) K2 (目地枠) K3 (仕上げが異なる場合) K4 (段差がある場合) K5 (幅木) K6 K7 (SAT) K8 (AT) K9 (外部) K10 (外部 気密材付き) K11 (SAT)		
【共通事項】 【特記なき限り次のとおりとする。】 【仕上げ】 (1) 鋼製建具(SD)、鋼製軽量建具(LD)の仕上げは、SOP(F☆☆☆☆)とする。 (2) 鋼製軽量建具(LD)の合わせおよび縦小口包み板は鋼板とする。 (3) 耐火気密型厚(SAT)、気密型厚(AT)の気密材取付部(扉側)はSUS304 t1.5mmとし、形状は建具製作所の仕様による。 (4) 鋼製建具(SD)、鋼製軽量建具(LD)のがらりは、鋼製とする。 (5) アルミニウム製建具の金属製水切りは、端部立上げ(水切り共通1)とする。	【重量シャッター】 耐風圧性能(Pa) 2,400	【扉 召合せ】 D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 (SAT) D8 (SAT) D9 (SAT) D10 (AT) D11 (AT)		
【建具金物】 (1) ドアクローザの取付けは室内側を原則とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とする。 なお、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3) フレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の握り玉及びレバーハンドルの取付け位置は床面から1,000mmとし、押板幅は1,100mmとする。	【軽量シャッター】 耐風圧性能(Pa) 2,400	【がらり】 G1 G2 G3 開口率 扉：約30%、窓：約30% 開口率 扉：約35%、窓：約50% 開口率 扉：約25%、窓：約30%		
NOTE		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事) 【訓練塔】建具表(1)	DWG No A 085 SCALE A2: N.S A3: A2の71%

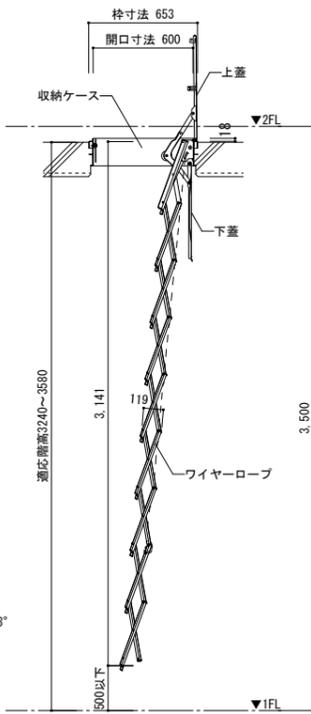
符号・名称	① S9 鋼製 片開き戸	② S9 鋼製 片開き戸	③ S9 鋼製 片開き戸	④ S9 鋼製 両開き格子戸	⑤ S9 鋼製 片開き戸	○	○
図							
取付場所	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫、2階 検査訓練室	1階 機坑	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫	1階 機坑		
数量	1	2	2	1	1		
仕様	S9(気密材なし)-K9	S9(気密材なし)-K9	S9(気密材なし)-K9	S9(気密材なし)-K9	S3-K9		
ガラス	—	—	—	—	—		
金物など	PH、LH、DC、水圧解錠装置 付属金物一式	PH、LH、DC、1階CL(外：シリンダー錠、内：サムターン) 2階水圧解除装置 差込式St製PLt1.6(焼付塗装)南京錠付、付属金物一式 1階内側ドアチェーン、2階内側ドアガード	H、CH、CL(外：シリンダー錠、内：サムターン) 付属金物一式	H、かんぬき、南京錠 付属金物一式	H、CH、CL(外：シリンダー錠、内：サムターン) 付属金物一式		
符号・名称	① AW アルミ製 引違い窓	② AW アルミ製 引違い窓	③ AW アルミ製 引違い窓	④ SS 鋼製シャッター(手動)	⑤ SS 鋼製シャッター(手動)	○	○
図							
取付場所	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫、2階 検査訓練室	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫、2階 検査訓練室	2階 検査訓練室	1階 放水訓練室兼非常時資材倉庫	2階 検査訓練室		
数量	2	2	1	1	1		
仕様	A6 - B1	A6 - B1	A6 - B1	DP	DP		
ガラス	—	—	—	—	—		
金物など	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	SUS製ガイドレール、SUS製座板、シャッターBOX 水圧解錠装置(手動専用)、付属金物一式	SUS製ガイドレール、SUS製座板、シャッターBOX 水圧解錠装置(手動専用)、付属金物一式		
符号・名称	○	○	○	○	○	○	○
図							
取付場所							
数量							
仕様							
ガラス							
金物など							
符号・名称	○	○	○	○	○	○	○
図							
取付場所							
数量							
仕様							
ガラス							
金物など							

避難ハッチ詳細図

1/10・30



平面図 S=1/10

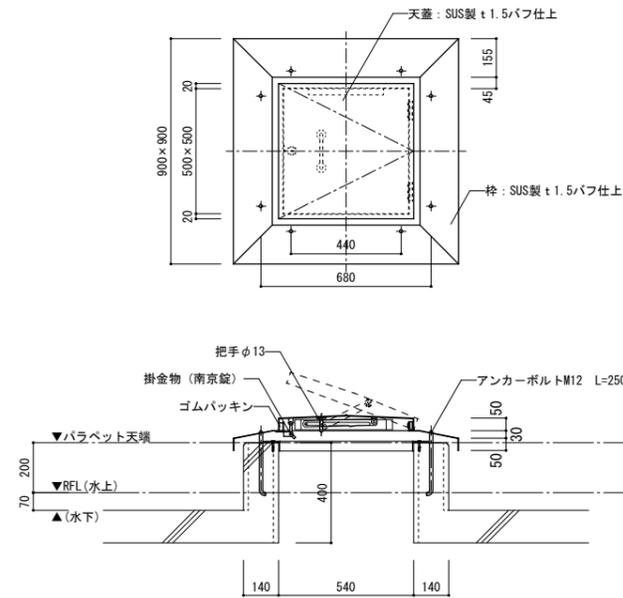


断面図 S=1/30

※ナカ工業 SPCⅢ600-109 同等以上

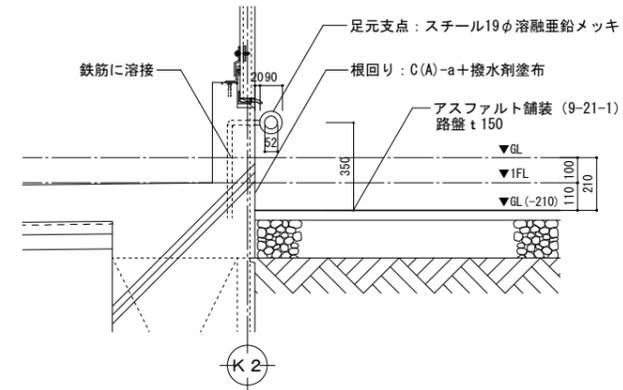
屋上点検口詳細図

1/20



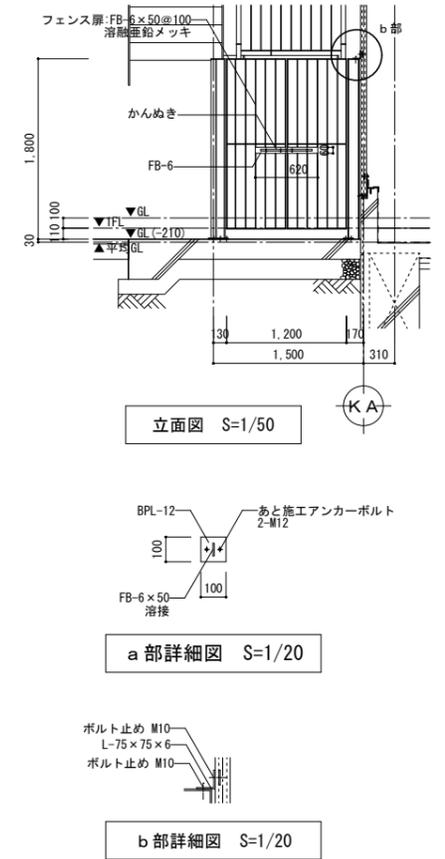
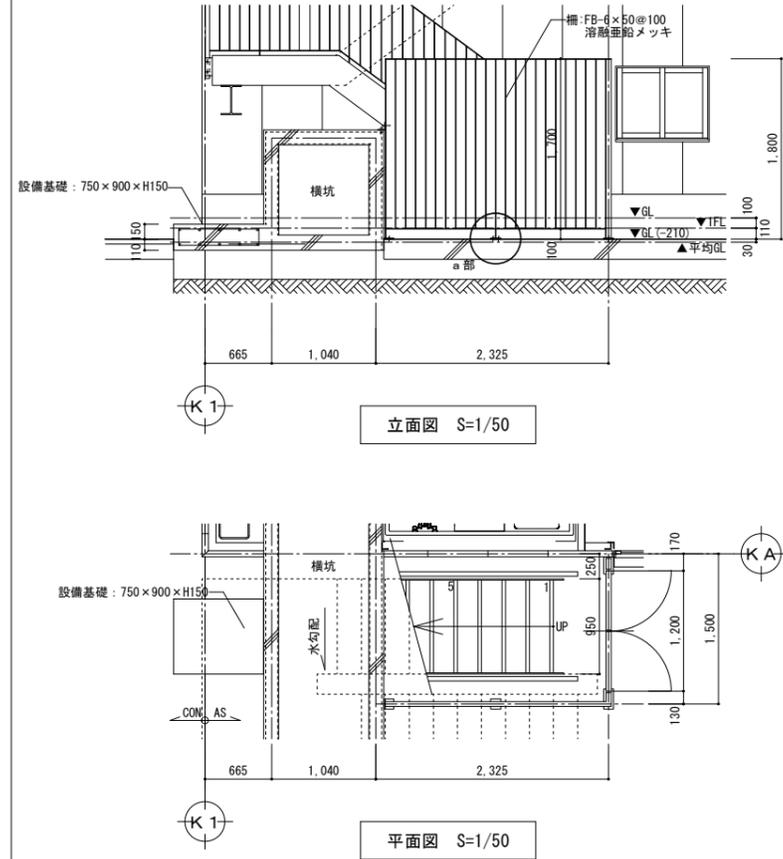
足元支点金物詳細図

1/20



屋外階段侵入防止柵詳細図

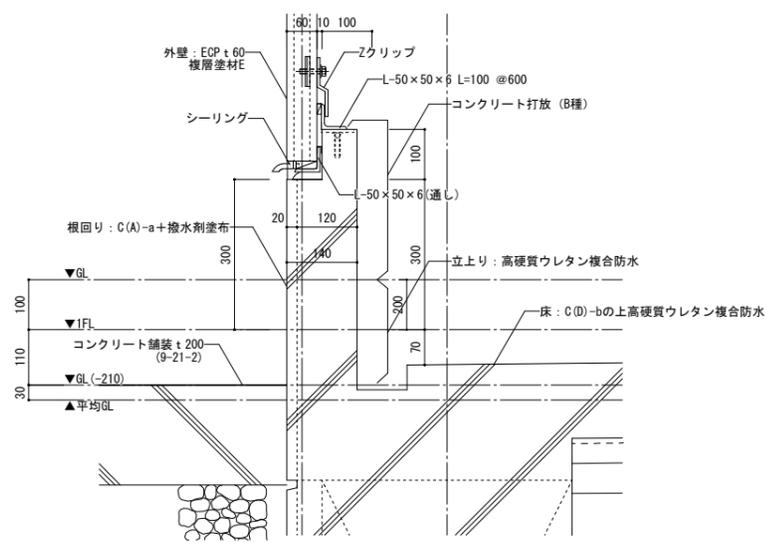
1/50



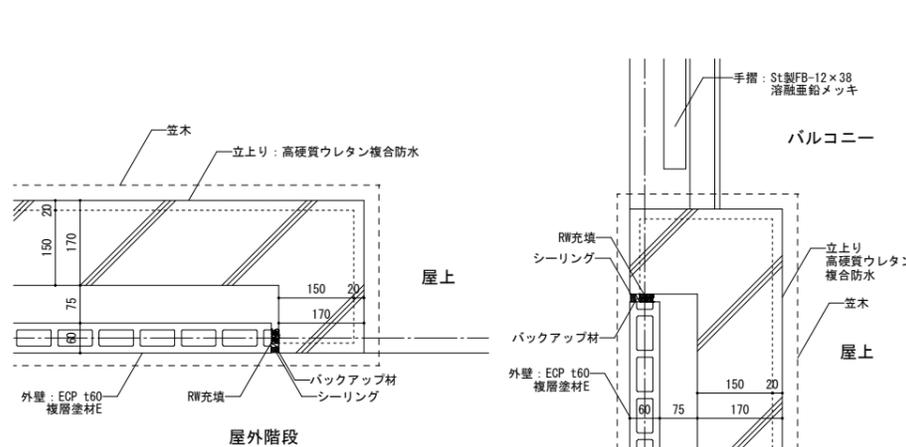
NOTE	

<p>株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号</p>	<p>JOB No. - DATE - TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)</p>	<p>DWG No. A</p>

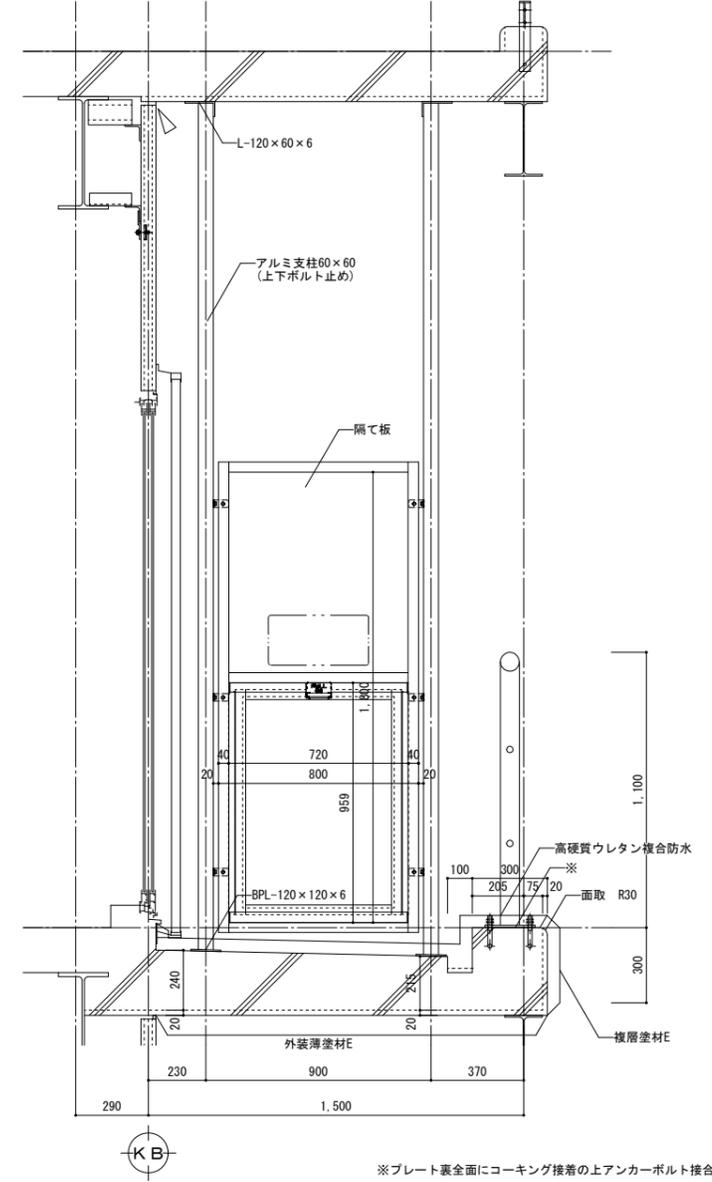
立上り詳細図 1/10



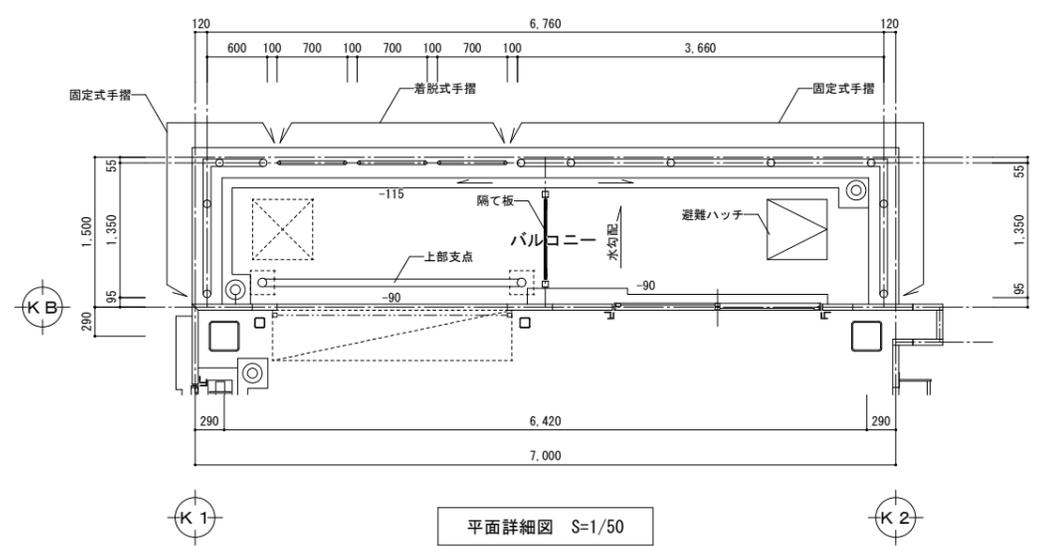
R階腰壁詳細図 1/10



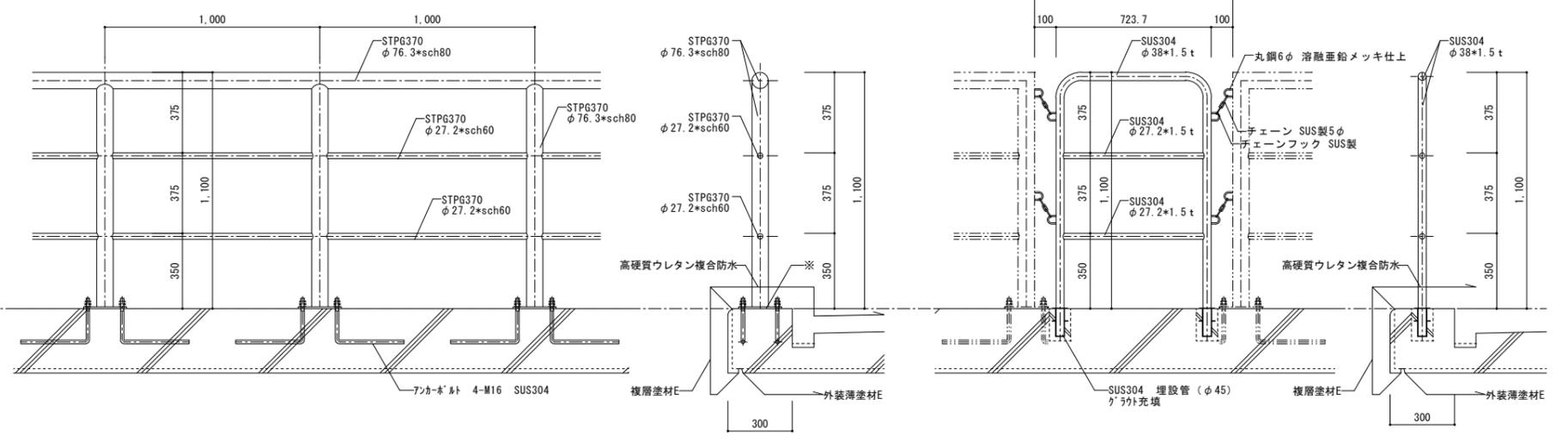
2階バルコニー隔て板詳細図 1/10



着脱式手摺詳細図 1/10

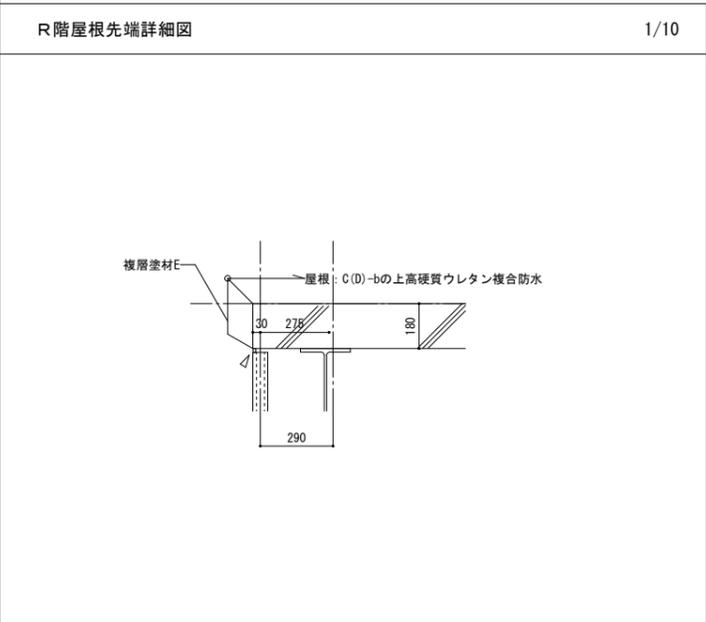
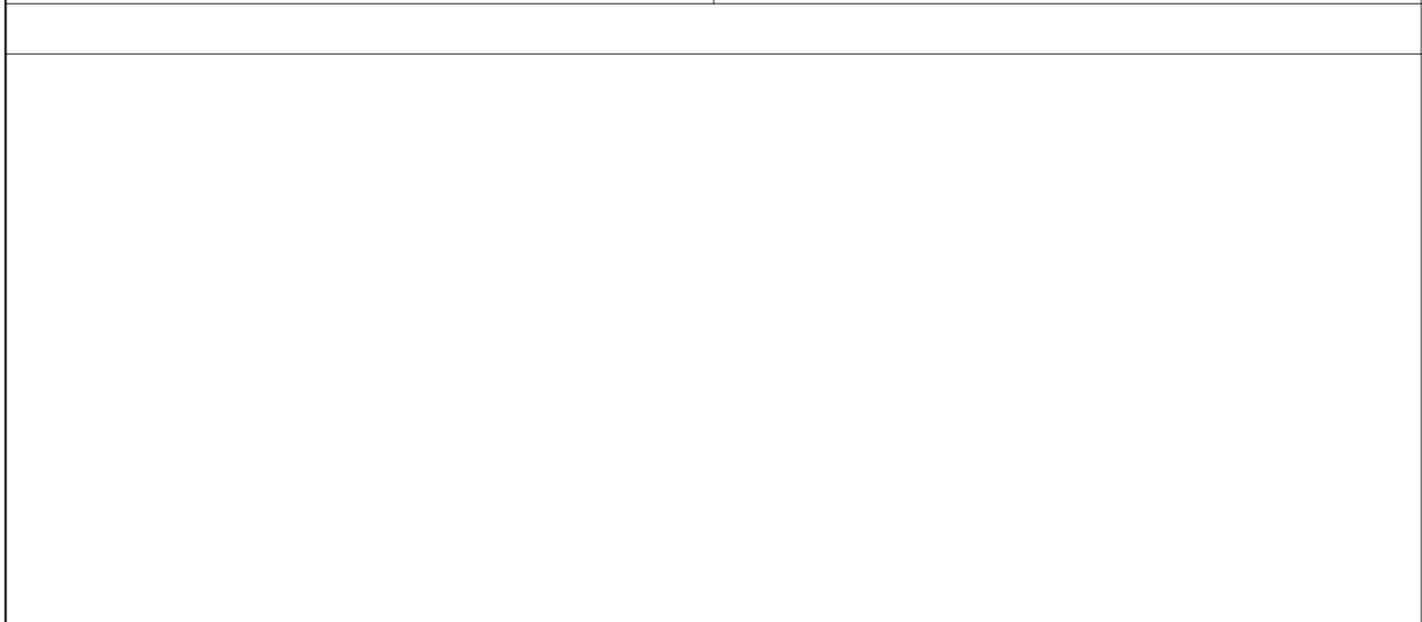
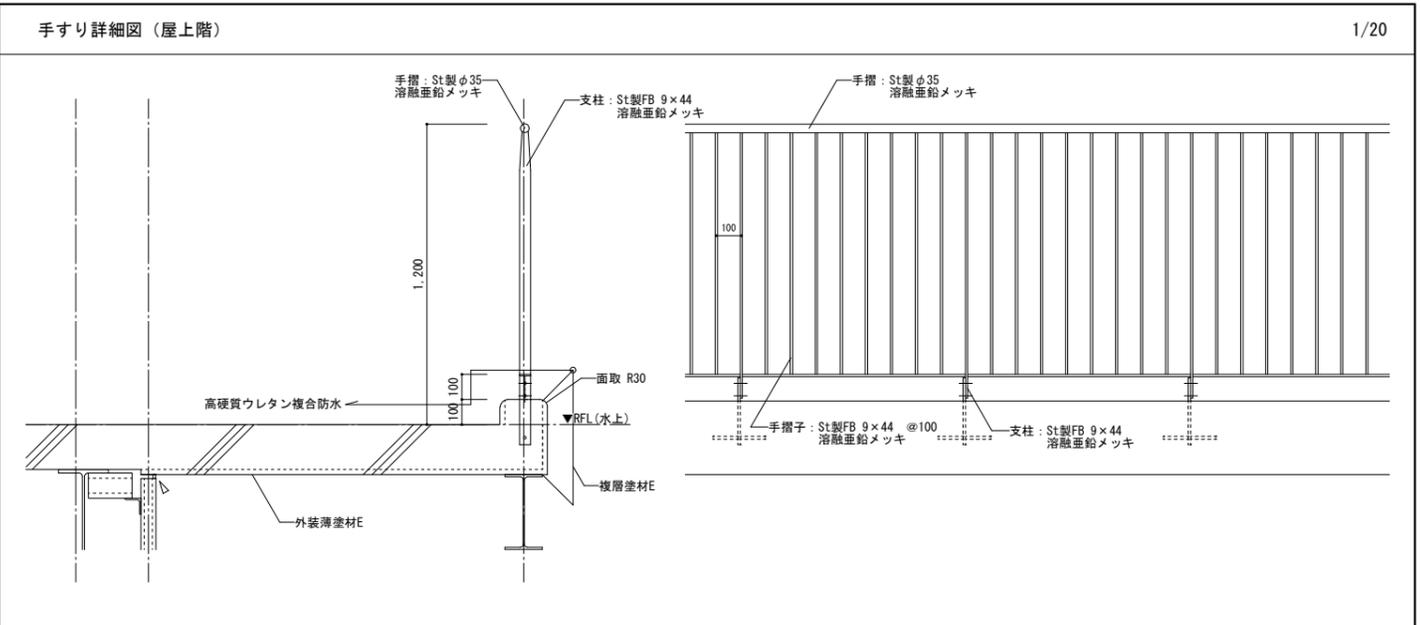
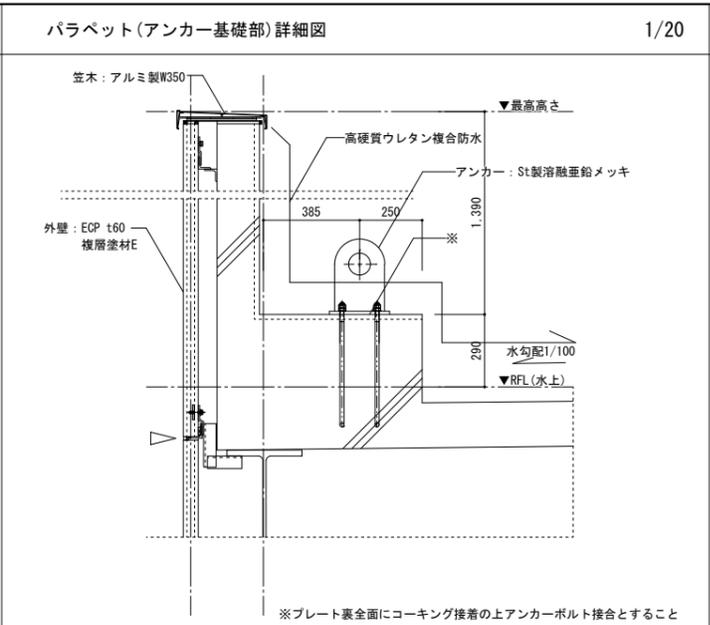
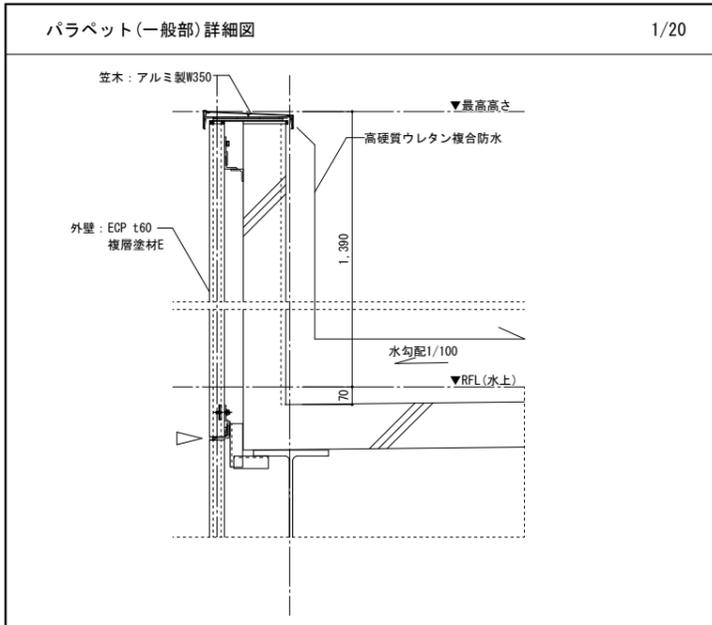


平面詳細図 S=1/50

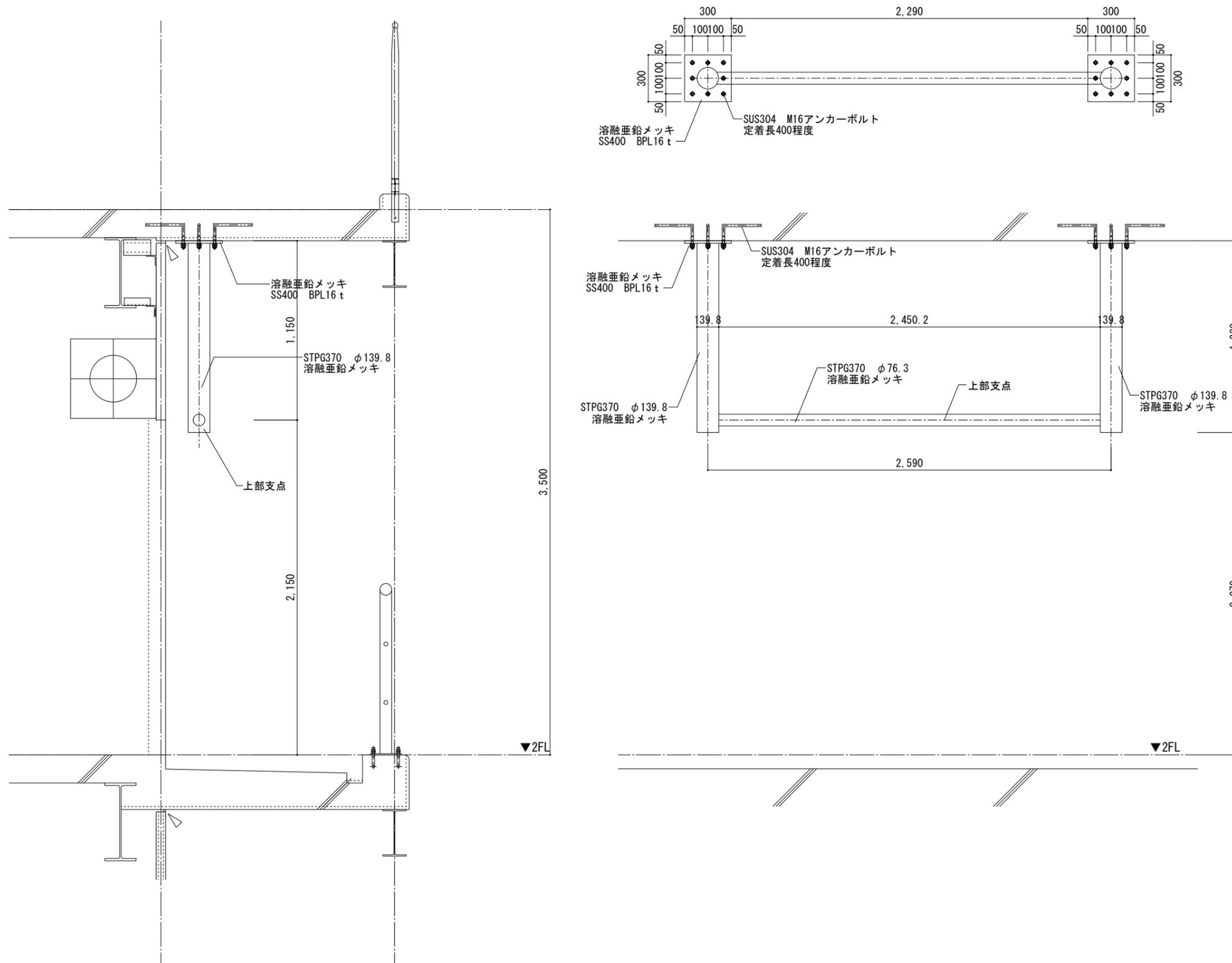


※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

NOTE	<p>株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号</p>	JOB No.	DATE	TITLE	DWG No.
		一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【訓練塔】部分詳細図 (2)



要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする

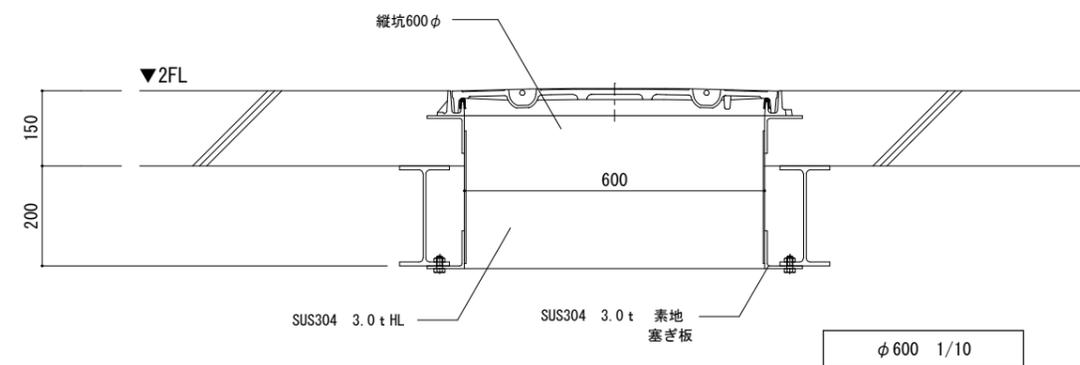
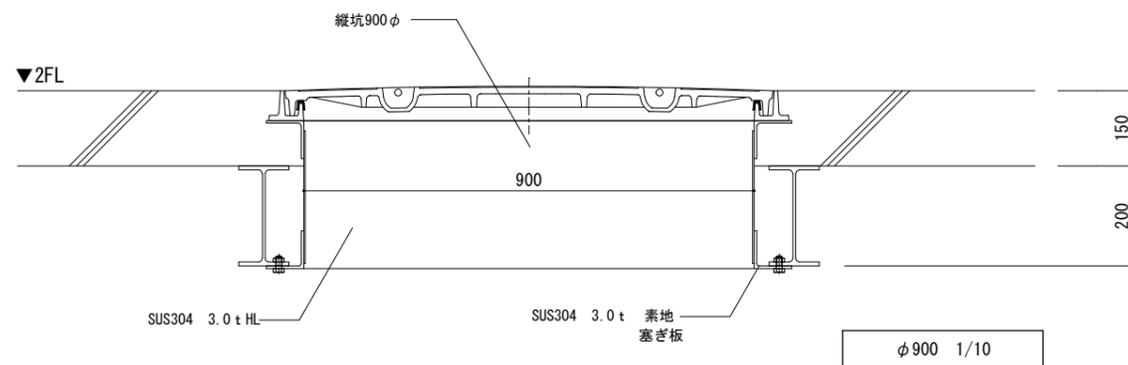
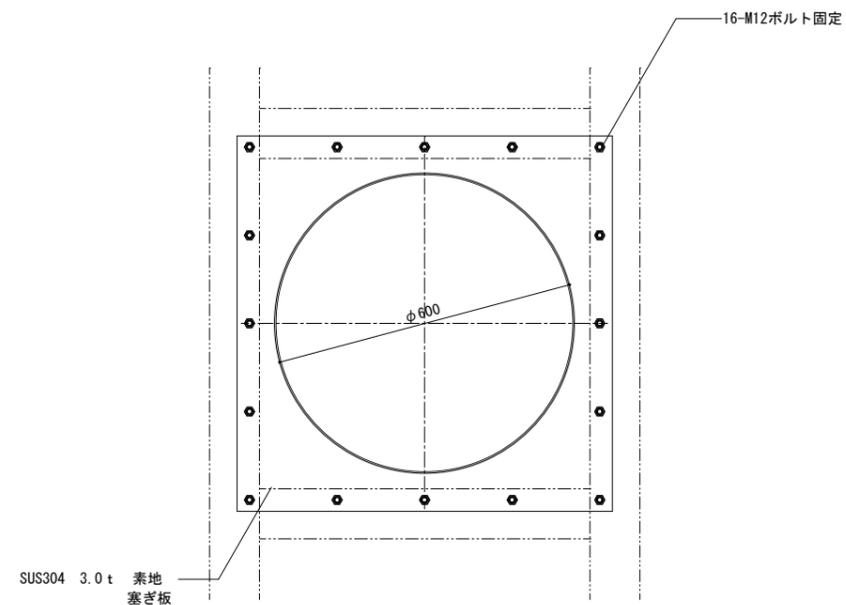
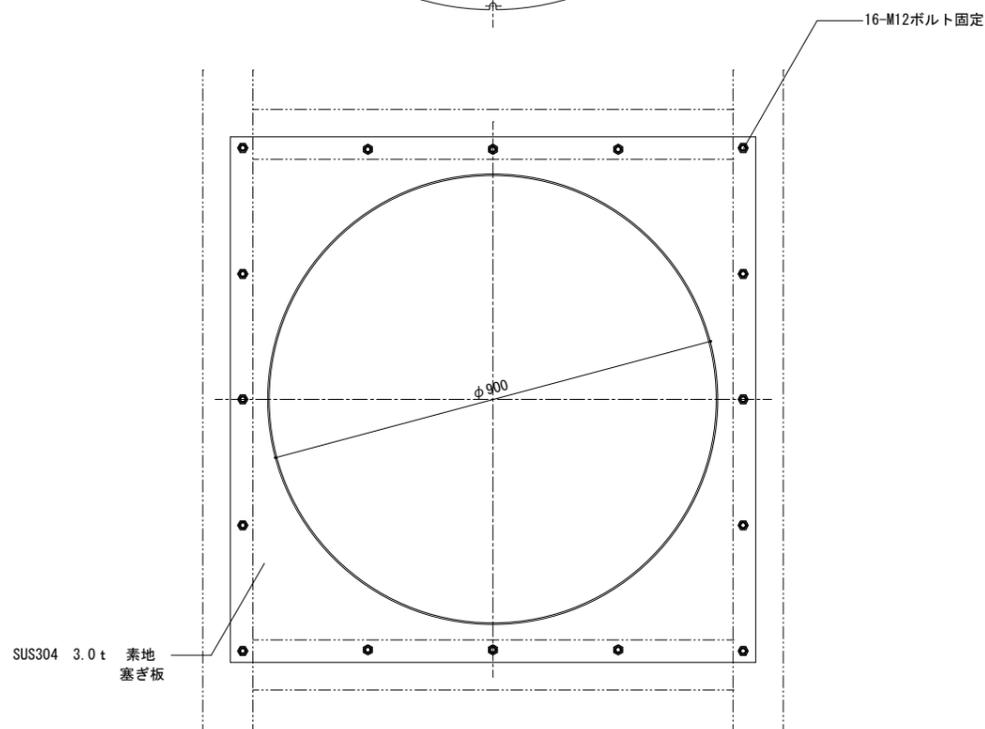
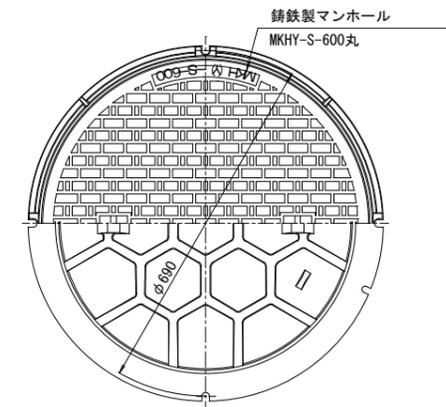
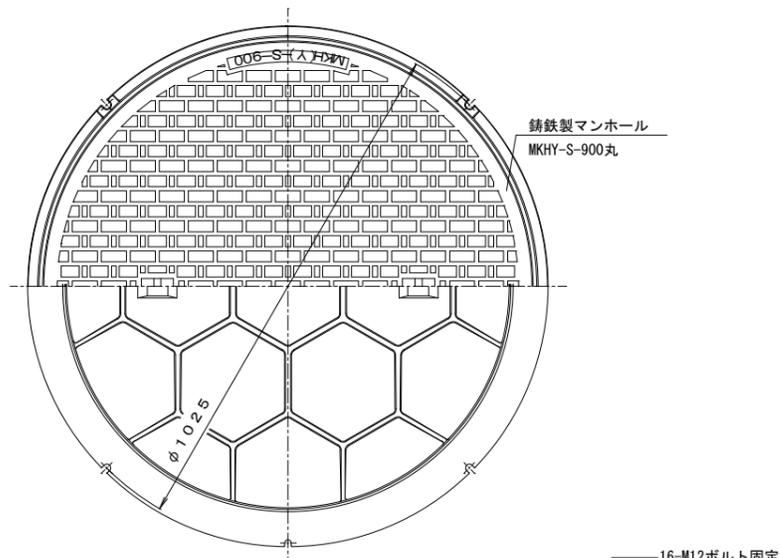


NOTE	

 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	寺川 智也 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 訓練塔 部分詳細図 (4)	DWG No A 090
		SCALE	A2 : 1/20 A3 : A2の71%			

立坑 S=1/10 数量各1

施工は、施工実績のあるメーカーとする

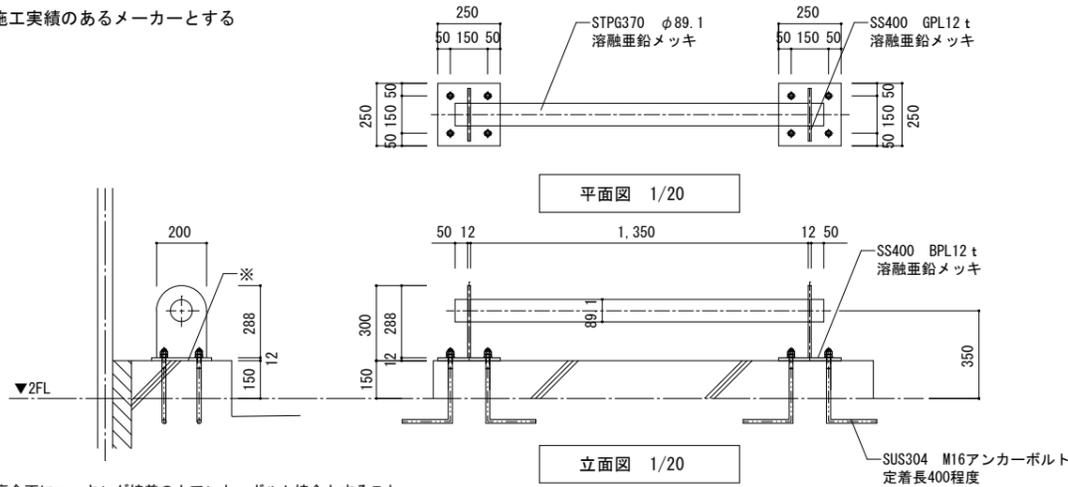


NOTE	

 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	J/R No -	DATE -	TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	DWG No A

アンカー-1 (2階) S=1/20 数量1

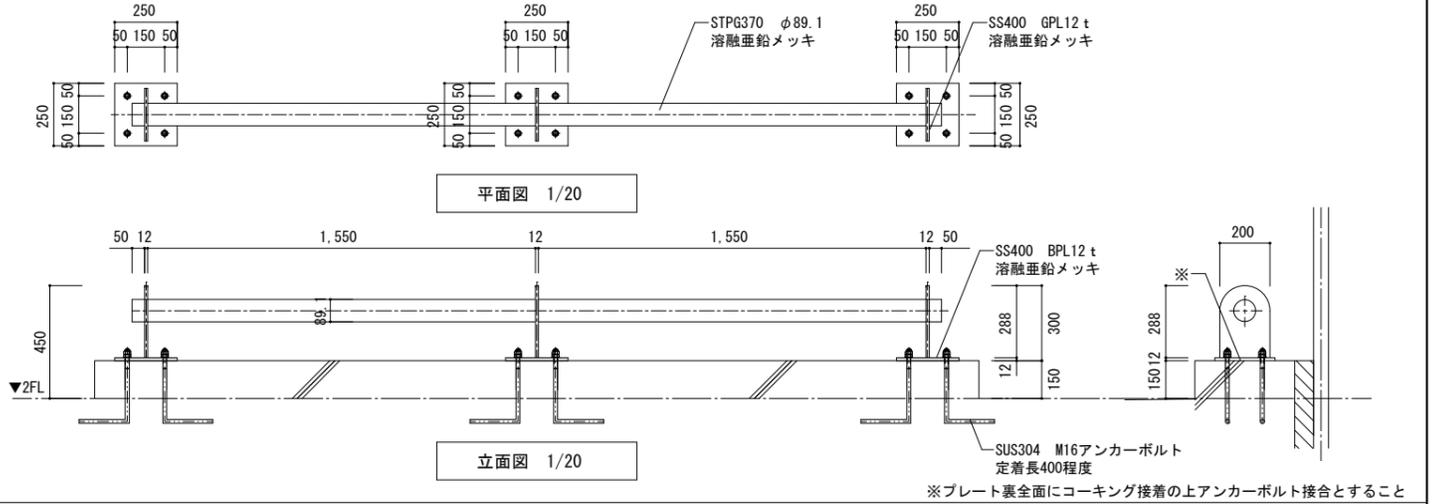
要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

アンカー-2 (2階) S=1/20 数量1

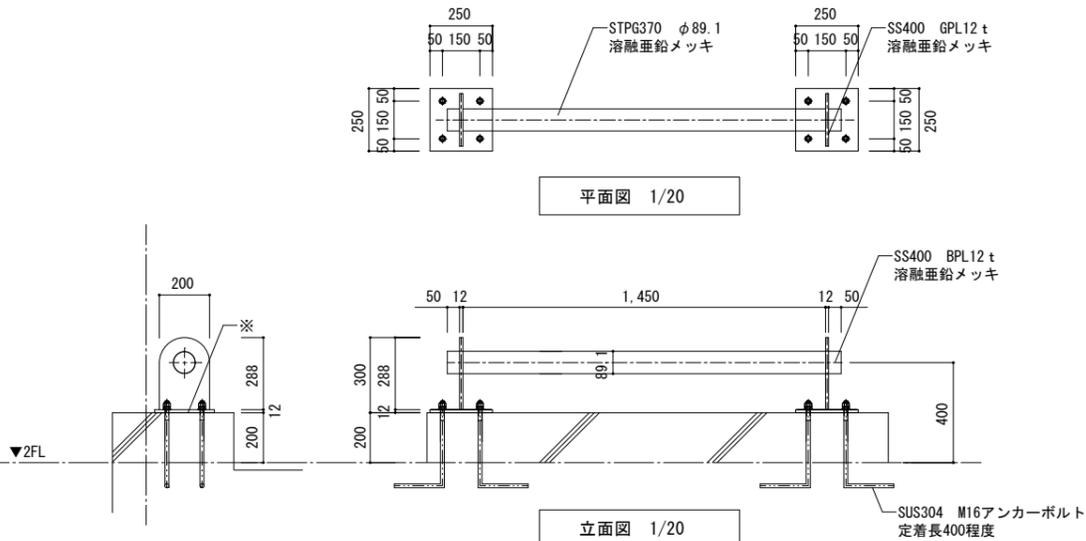
要求荷重10KN. 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

アンカー-3 (2階) S=1/20 数量1

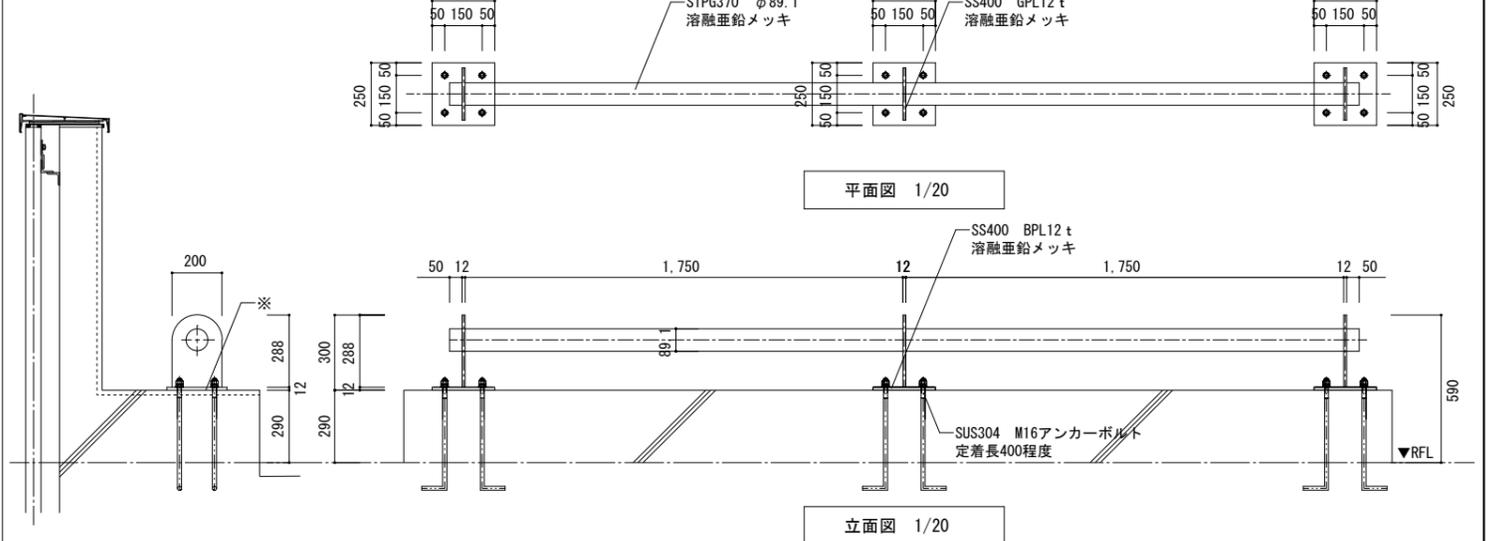
要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

アンカー-4 (R階) S=1/20 数量1

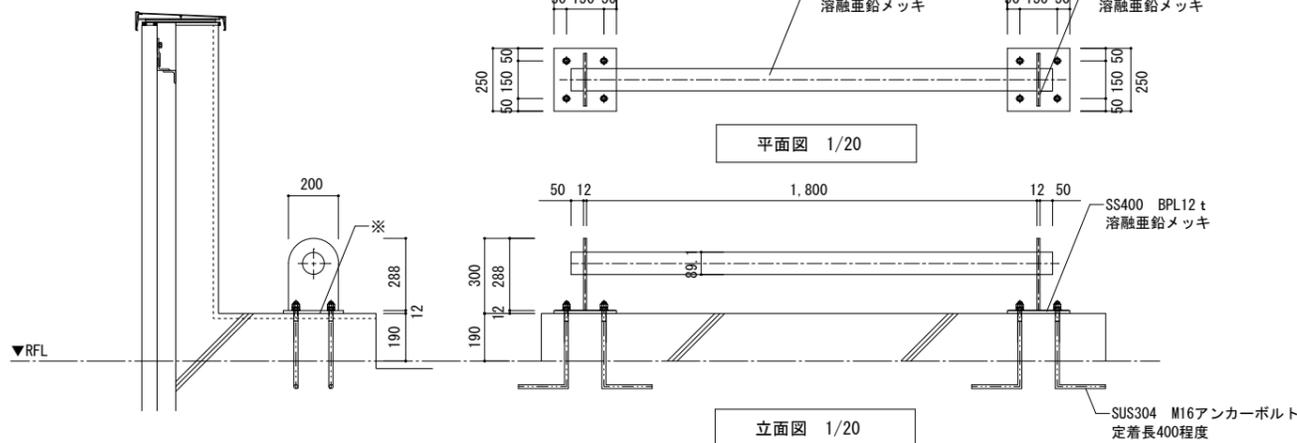
要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

アンカー-5 (R階) S=1/20 数量1

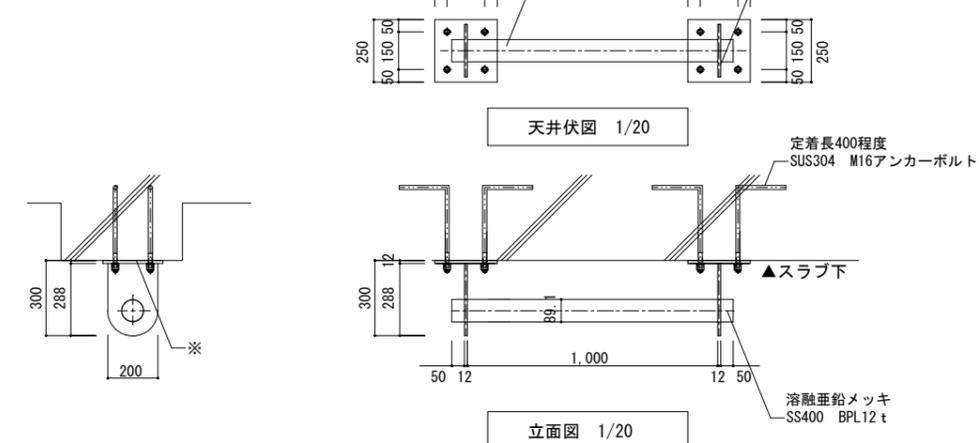
要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

アンカー-6 (2階天井面) S=1/20 数量1

要求荷重10KN
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



※プレート裏全面にコーキング接着の上アンカーボルト接合とすること

NOTE

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行保 公嗣

寺川 智也

JOB No

DATE

TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

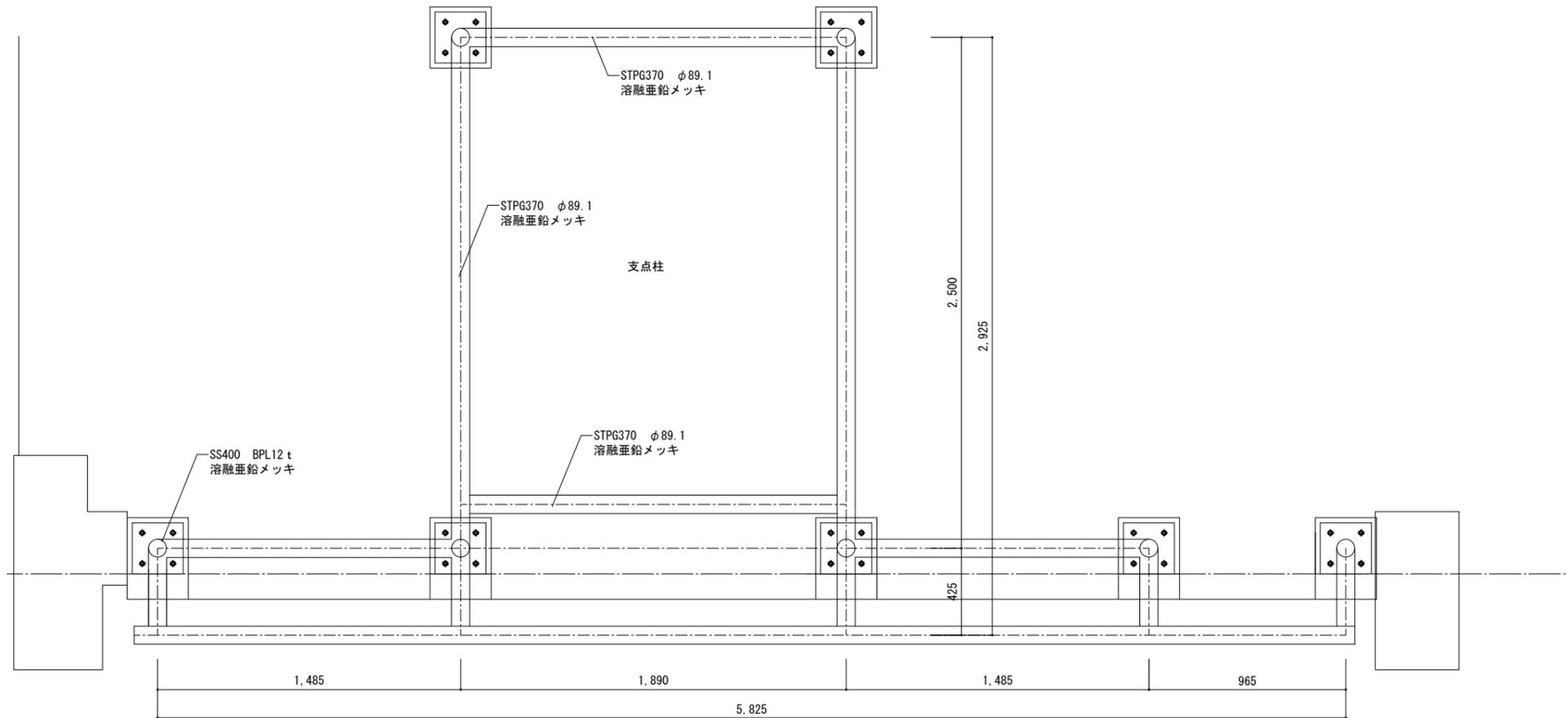
DWG No

訓練塔 部分詳細図 (6)

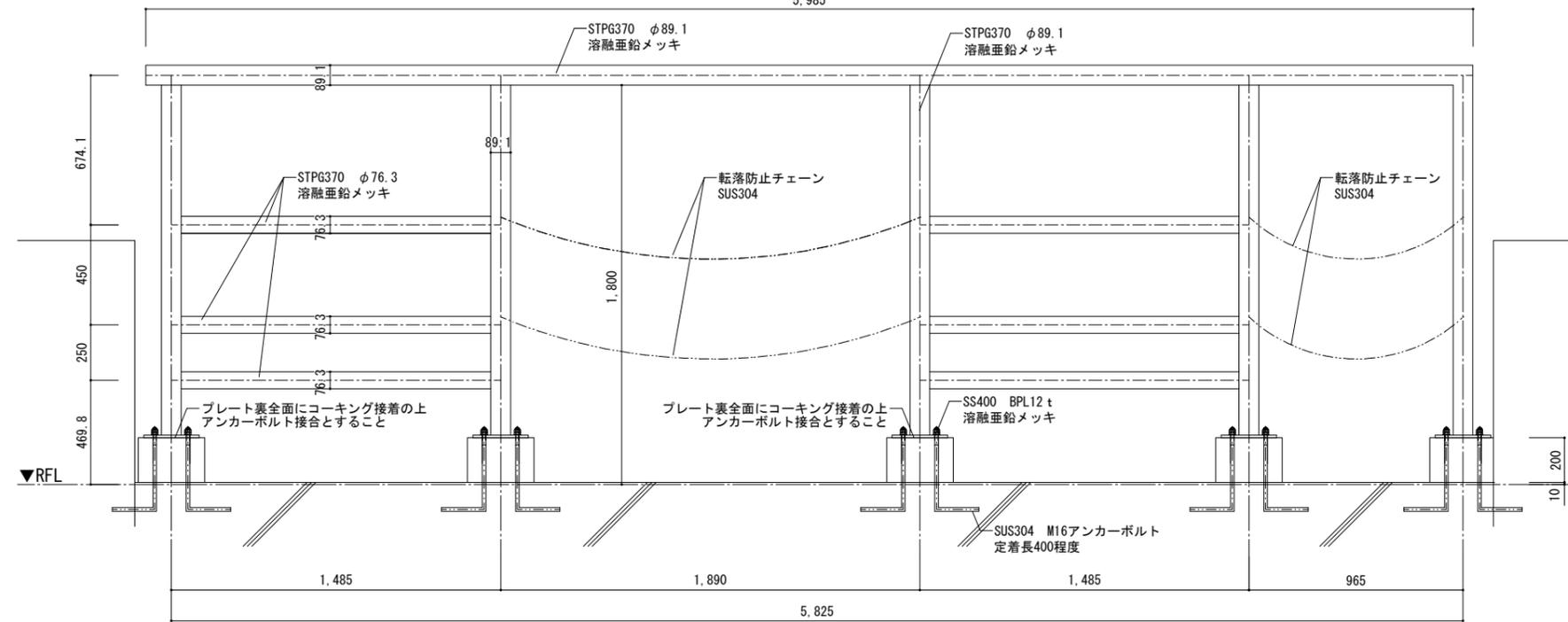
SCALE A2: 1/20
 A3: A2の71%

A
 092

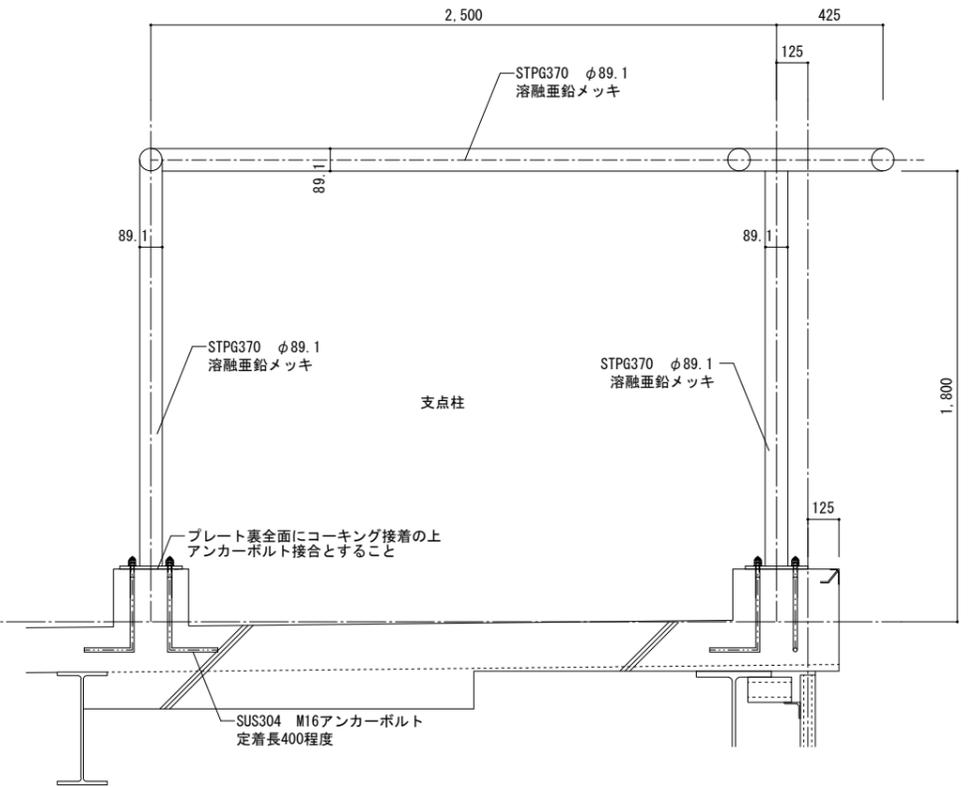
支点柱 (R階) S=1/20 数量1
 施工は、施工実績のあるメーカーとする



平面図 1/20

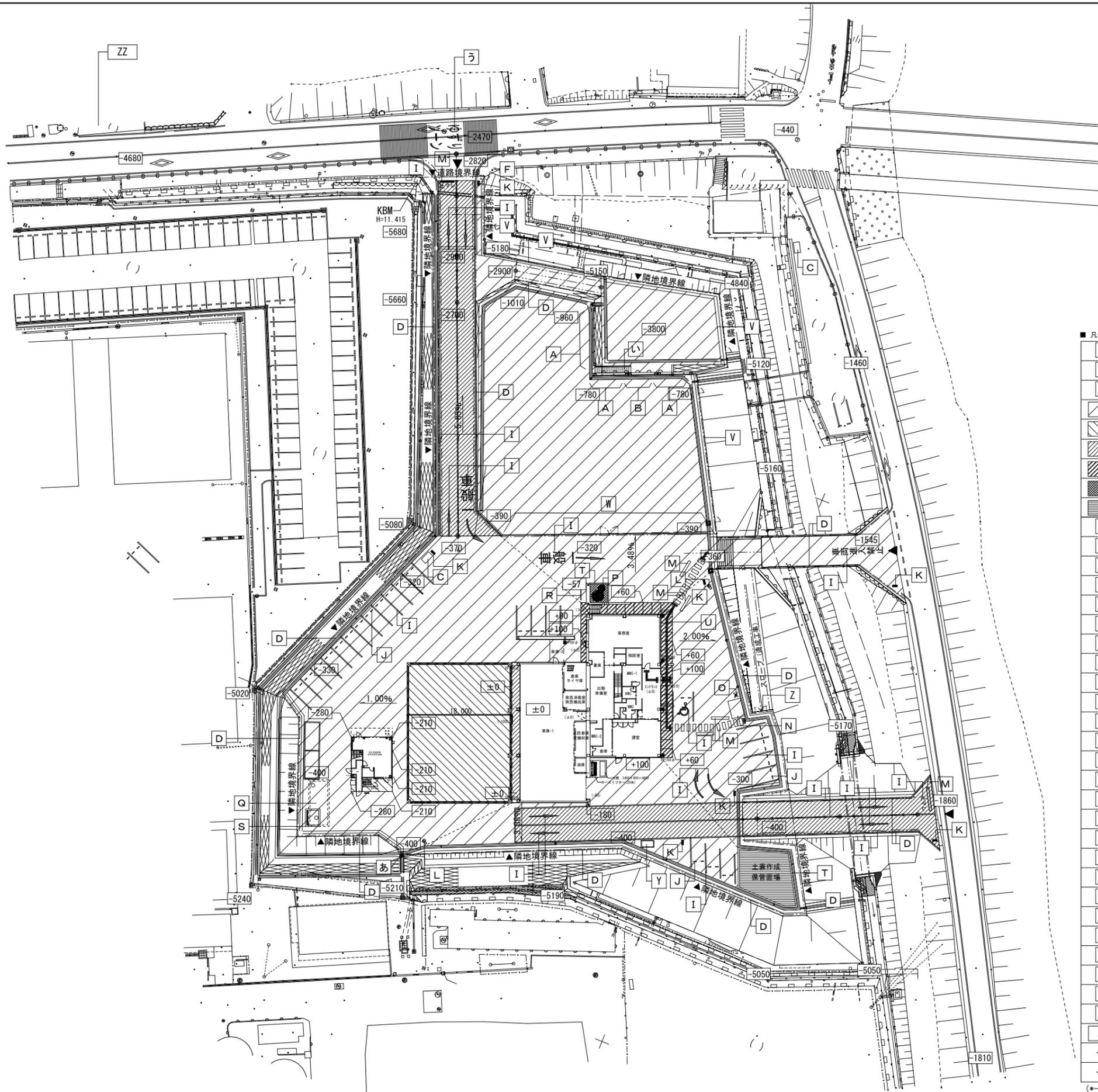


立面図 1/20



断面図 1/20

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
				三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
				訓練塔 部分詳細図 (7)	SCALE A2: 1/20 A3: A2の71%



■ 凡例	
あ	樹 (建築工事と造成工事の工事区分はA-102~104図による)
い	階段 (造成工事)
う	ゆずりゾーン表示 (トラフィックペイント)
	アスファルト舗装 (9-21-1) 路盤 t150
	コンクリート舗装 (9-21-2) t200、路盤 t150 ※コンクリート舗装部セメント系地盤改良 (80kg/m ² 、H1,000) 共
	カラー舗装 (9-21-5) 常温系 路盤 t150
	コンクリート舗装 (9-22-2) t150、路盤 t150
	キャラメル砕石敷 骨材10~20mm程度 H50
	マサ土H150
A	ガードレール (支柱間隔2m)
B	ガードレール (支柱間隔4m)
C	三原市指定ゴミステーション W1810×D1015×H1960
D	メッシュフェンス H1,500 (片開き門扉: W1,000×H2,000 10か所共)
E	側溝 (9-12-2) 300A
F	出勤表示板 (基礎のみ建築工事)
G	集水樹 (9-14-6)
H	側溝 (9-12-3) +細目グレーティング+25枠付き溶融亜鉛メッキ ポルト固定式
I	トラフィックペイントW150 (道路標識、文字含む)
J	車止め (9-25-1)
K	自立サイン
L	カーブミラー (自立ポール共)
M	トラフィックペイントW500
N	駐輪場 参考品番: 四国化成 LNA (A) (U) 2231+LLNA (A) (U) 2230同等品
O	掲揚ポール 参考品番: サンポール ハンドル型テーパーポール埋込式 FHH-8U (同等品)
P	中木: シマトネリコ H=2.5、C=0.15、W=1.0 1カ所 + 中木: シマトネリコ H=2.0、×C=0.1×W=0.8 1カ所
Q	地中埋設防火水槽 (40.5 t)
R	鉄棒
S	放水壁
T	縁石 [9-11-12]
U	視覚障害者誘導ブロック (溶着式)
V	目隠し遮音フェンス H3,000 (目隠し片開き門扉: W1,000×H2,000 5か所共)
W	目隠し遮音フェンス H3,000 (目隠し両開き門扉: W3,000×H2,000 1か所共)
X	視覚障害者誘導ブロック (鉄)
Y	ボンベ庫用基礎+ボンベ収納庫
Z	メッシュフェンス両開き門扉: W2,000×H1,500
ZZ	三原市指定ゴミステーション: 移設 (移設先は敷地から100m以内) W1810×D1015×H1960
	消防用出入口
	来庁者出入口
(***) : 建築工事標準詳細図番号を示す。	

NOTE
 GL=KBM+2.885
 1FL=GL+100

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

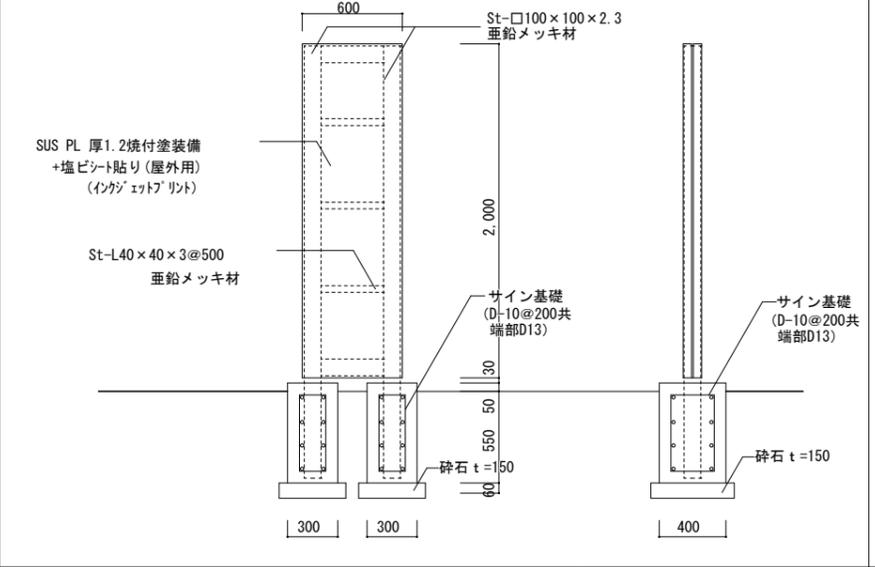
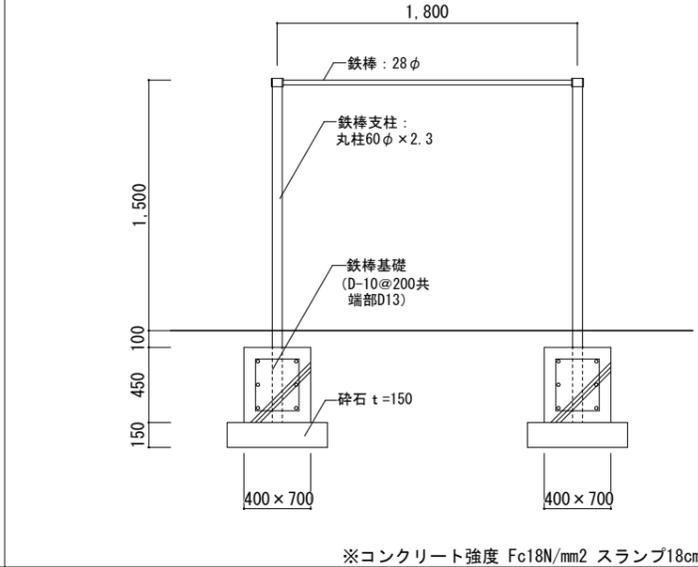
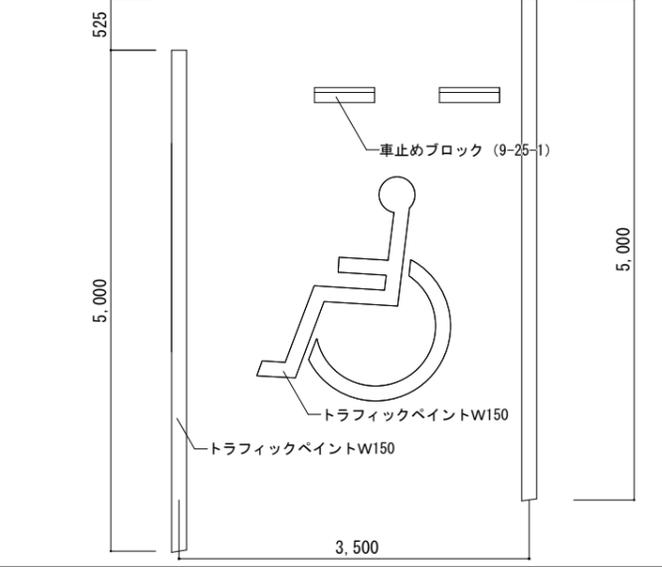
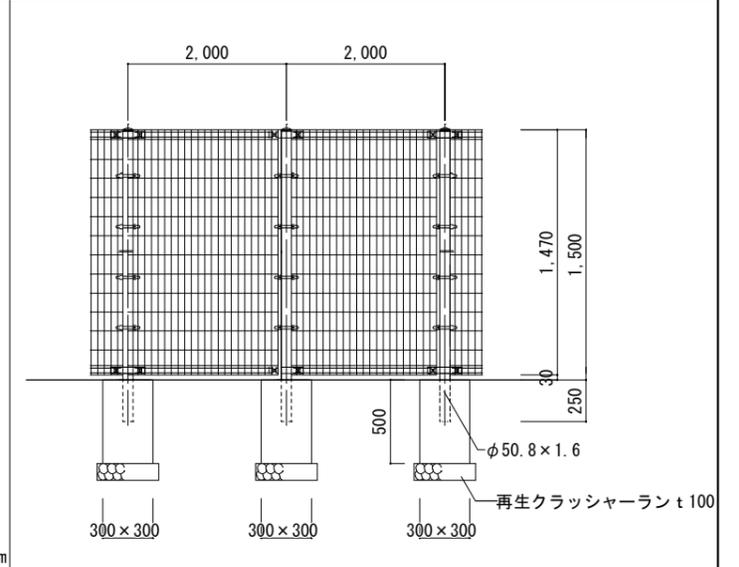
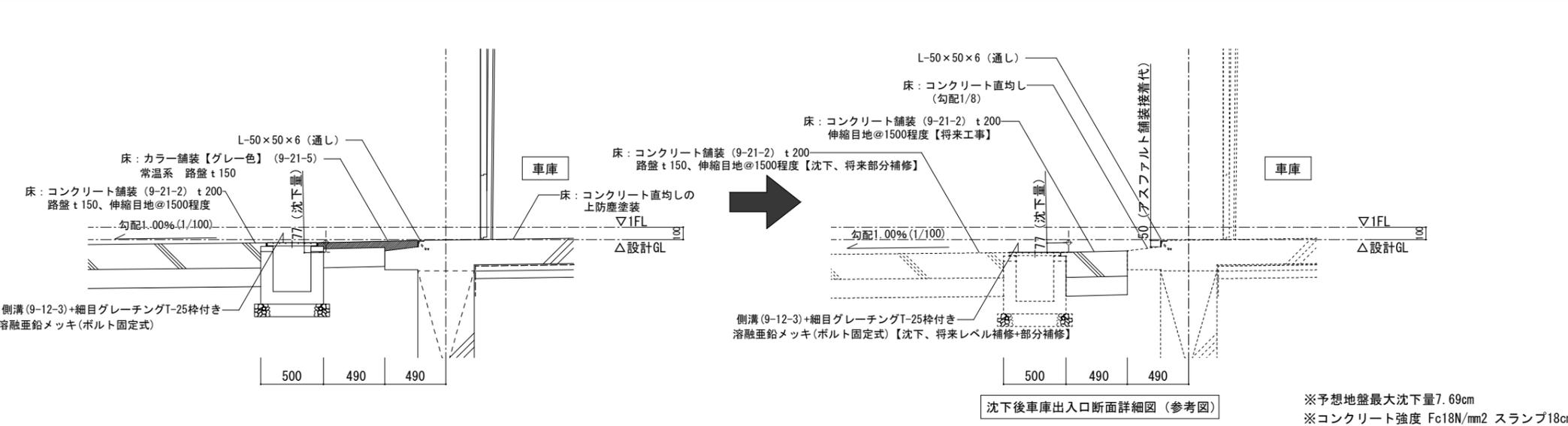
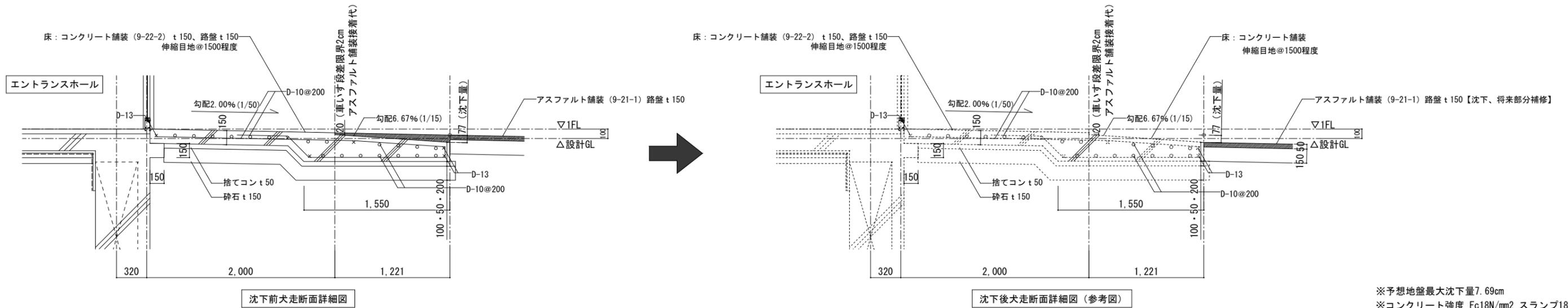
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行徳 公嗣
 寺川 智也

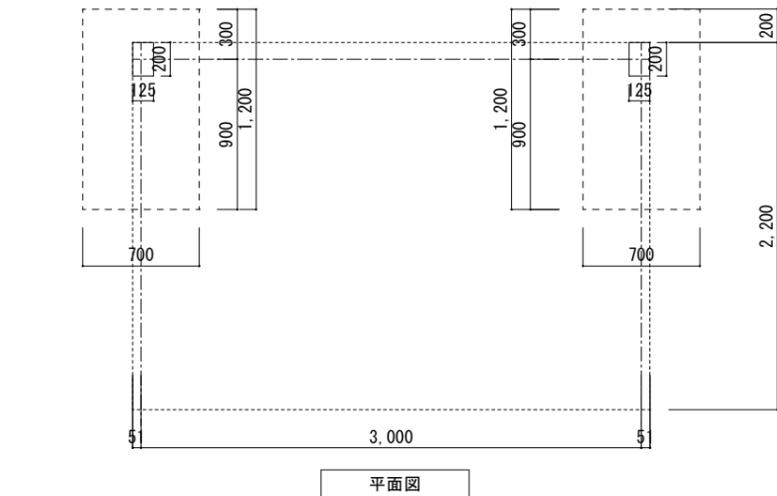
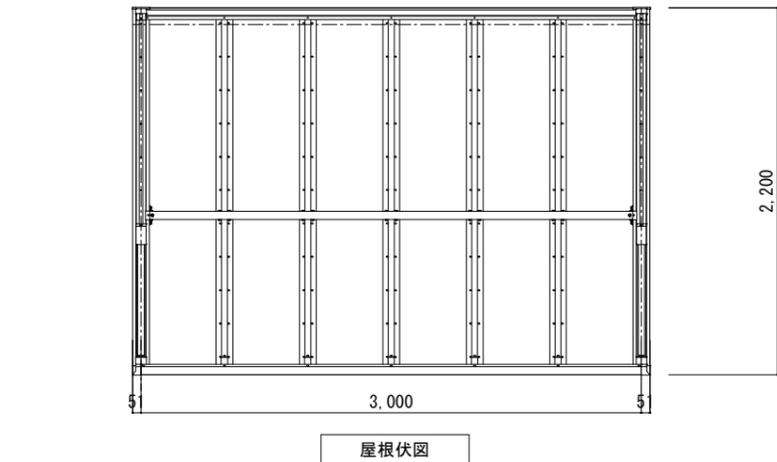
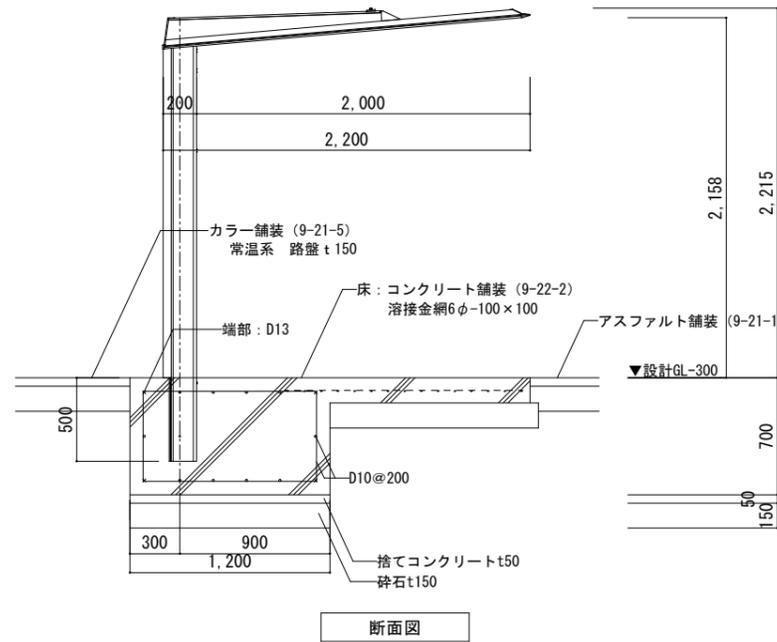
JOB No. DATE TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

外構図 SCALE A2: 1/500 A3: A2の71%

DWG No. A 094

A12019.11.1

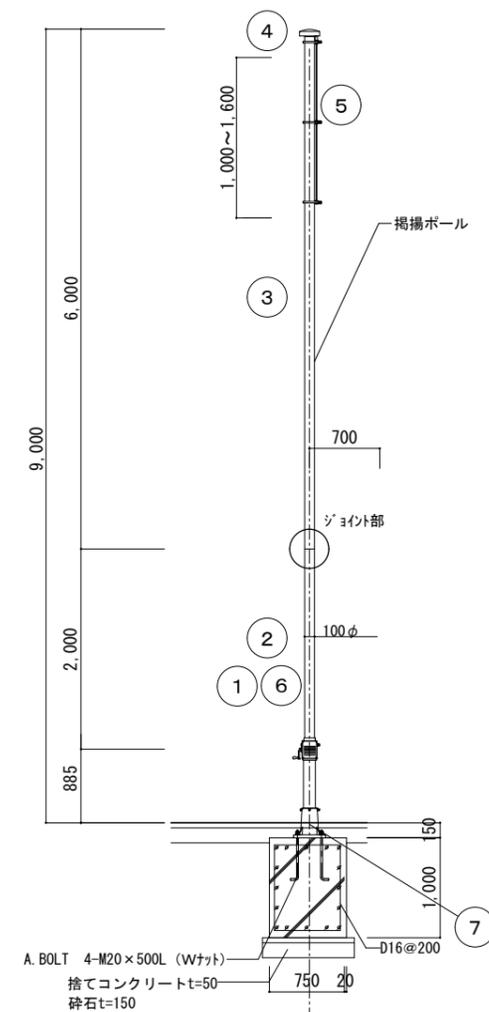
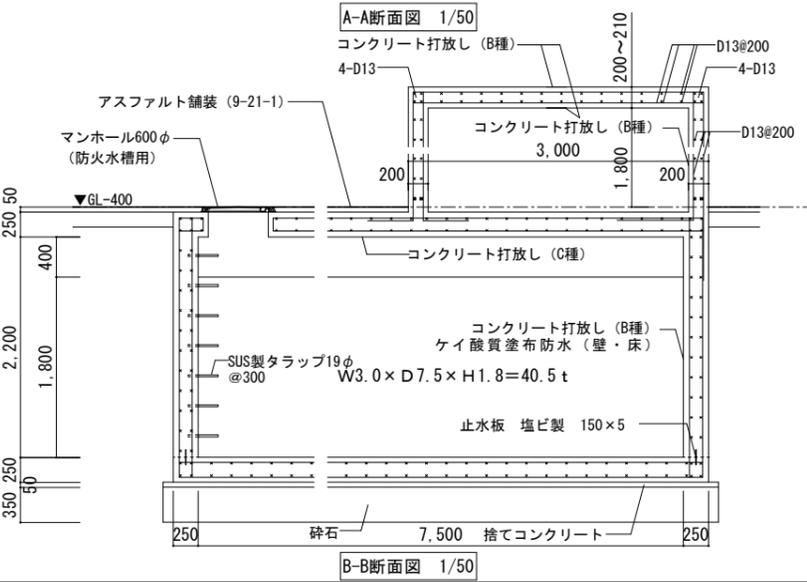
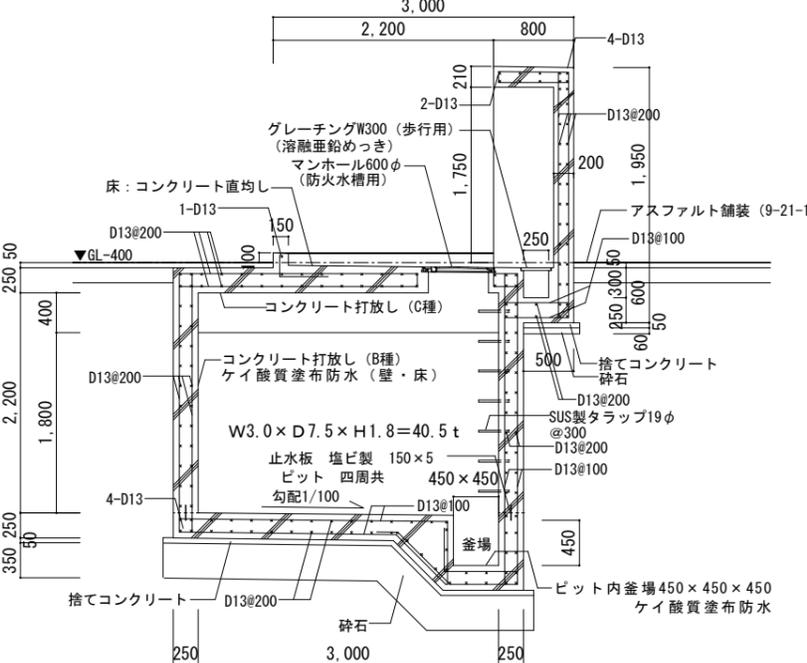
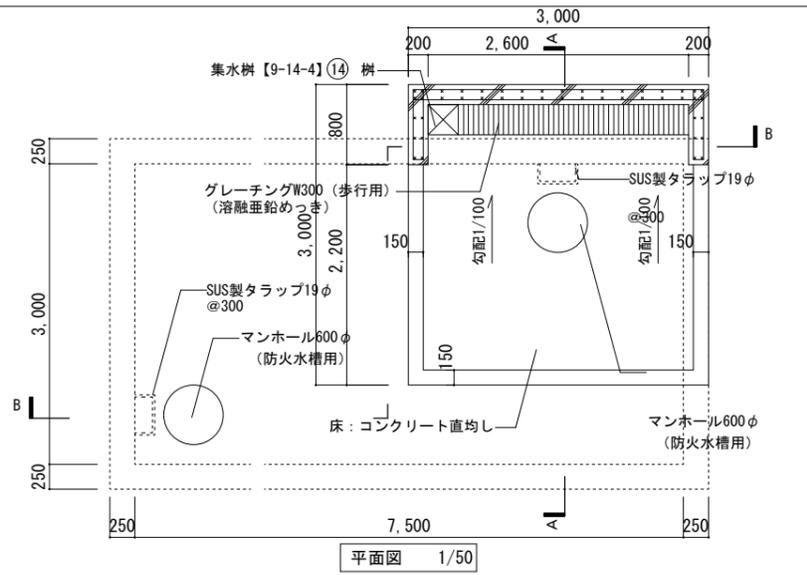




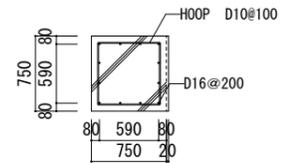
■駐輪場仕上表

屋根	アルミ板
支柱	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
梁	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
母屋	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
正面水切	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
屋根押え	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
樋	アルミ押出形材陽極酸化・塗装複合被膜
縦樋	ASA+ABS樹脂
照明	LED照明付き

※参考品番: 四国化成工業株 LNA (A) (U) 2231 +LLNA (A) (U) 2230程度

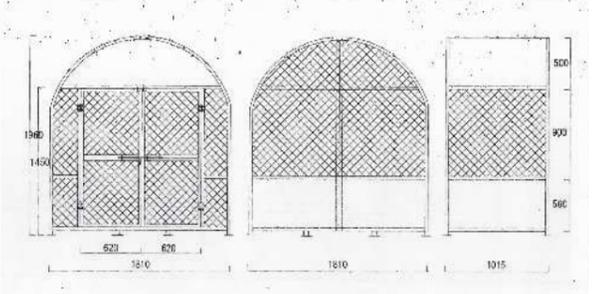


断面詳細図 1/50

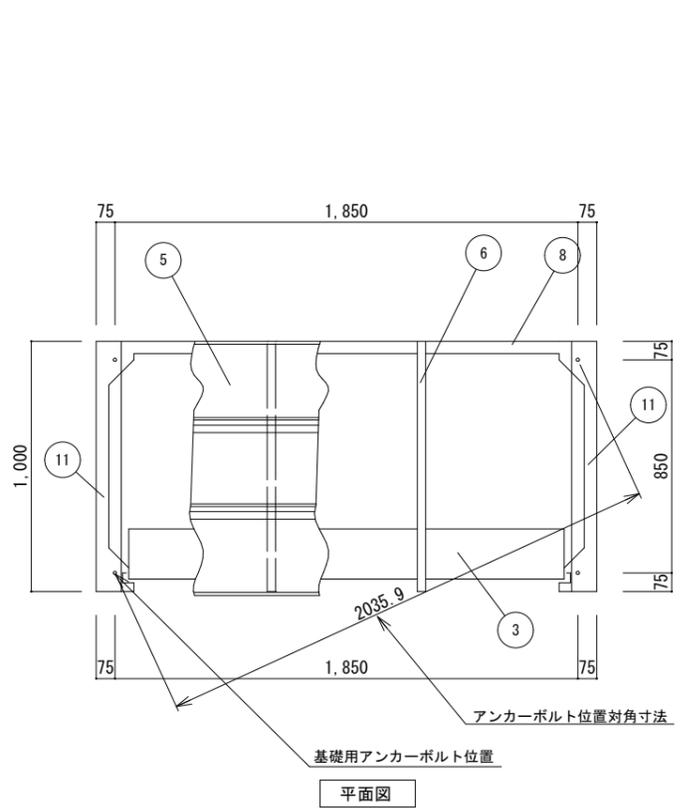
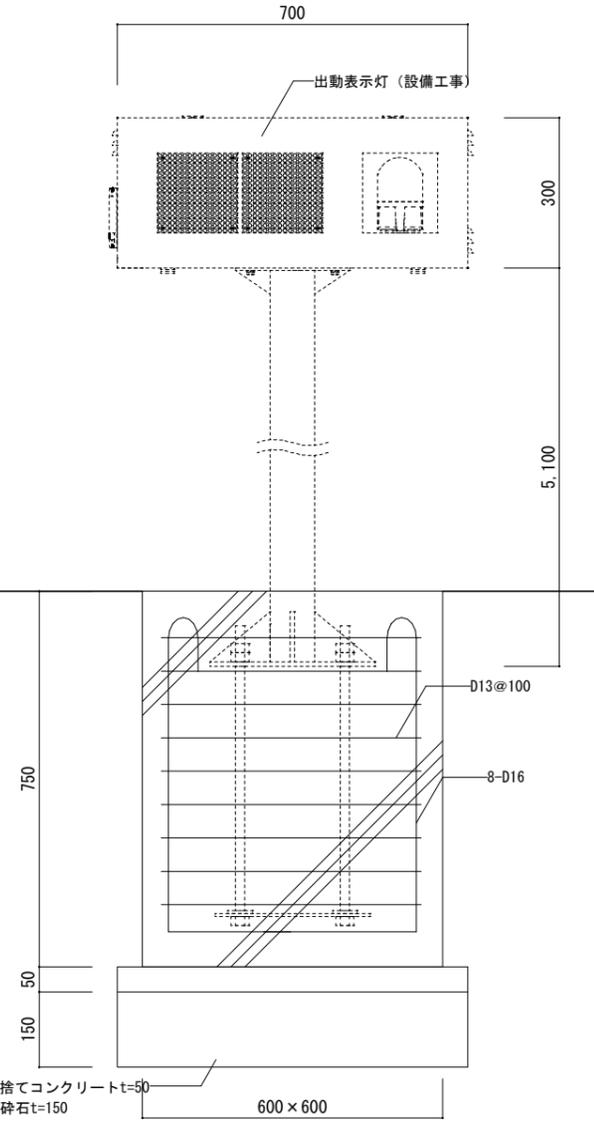
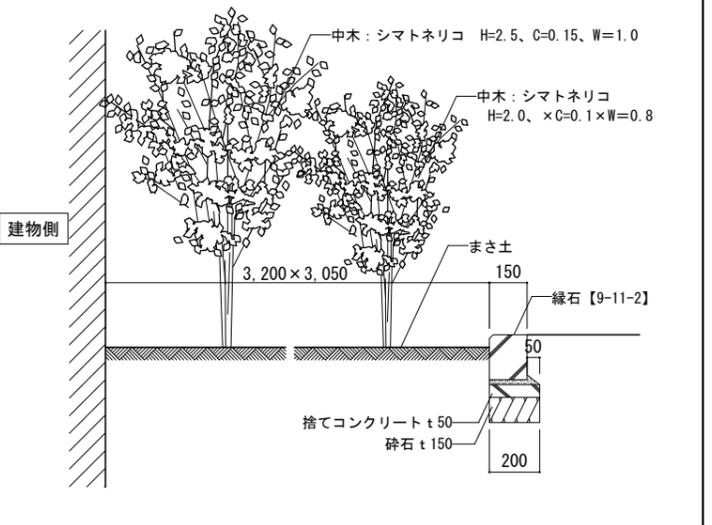
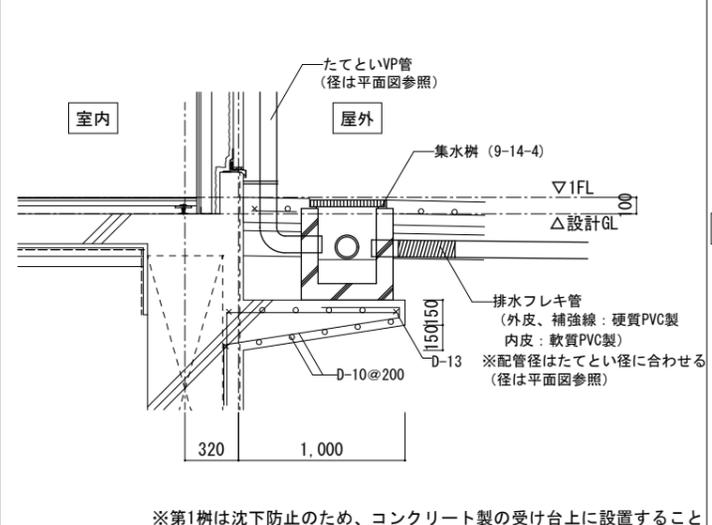
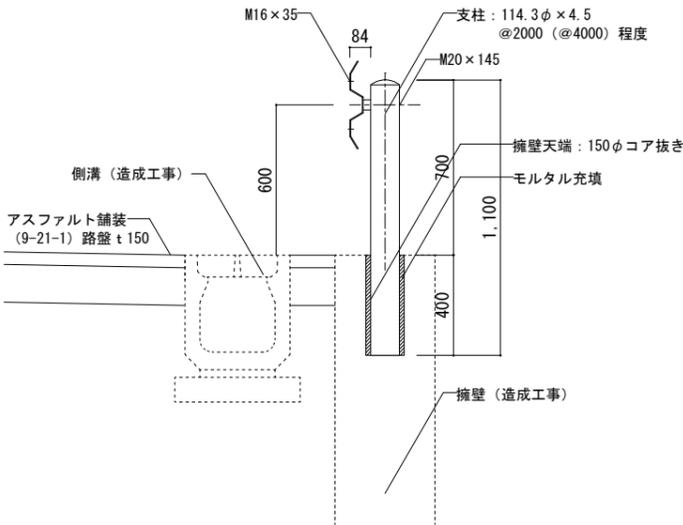


番号	品名	材質	仕様	備考
1	ポール (下段)	アルミ合金継目無管	φ120 t=3.9	HL後アルマイト処理クリアー電着塗装
2	ポール (中段)	アルミ合金継目無管	φ100 t=4.7	HL後アルマイト処理クリアー電着塗装
3	ポール (上段)	アルミ合金継目無管	φ100 t=2.5	HL後アルマイト処理クリアー電着塗装
4	キャップ	アルミ合金	アルマイト処理	
5	回転部	ポリプロピレン樹脂	白色	
6	ハンドルボックス	アルミ合金鋳物	焼付塗装	
7	ベース	アルミ合金鋳物	塗装仕上げ	

※コンクリート強度 $F_c=18N/mm^2$ 、スラブ15cmとする。

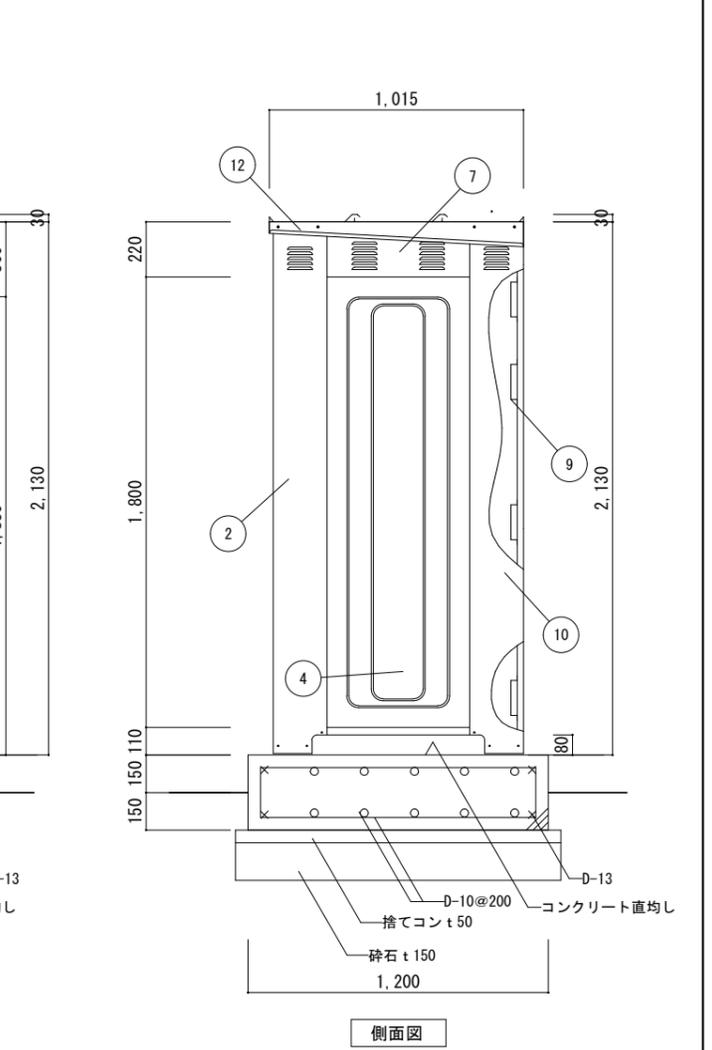
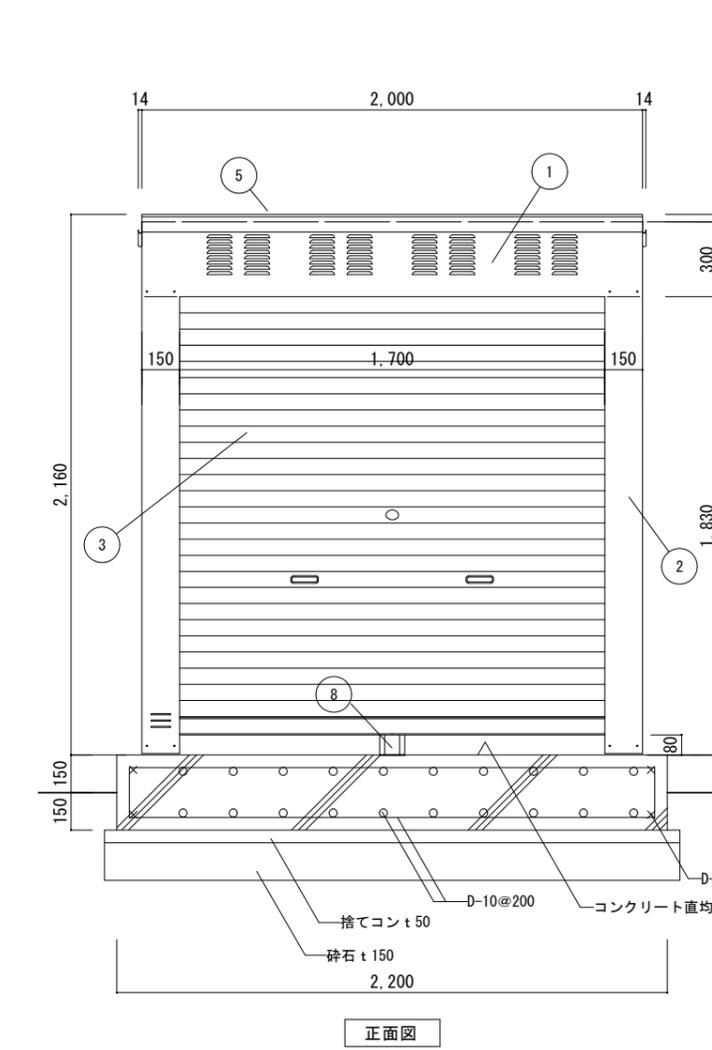


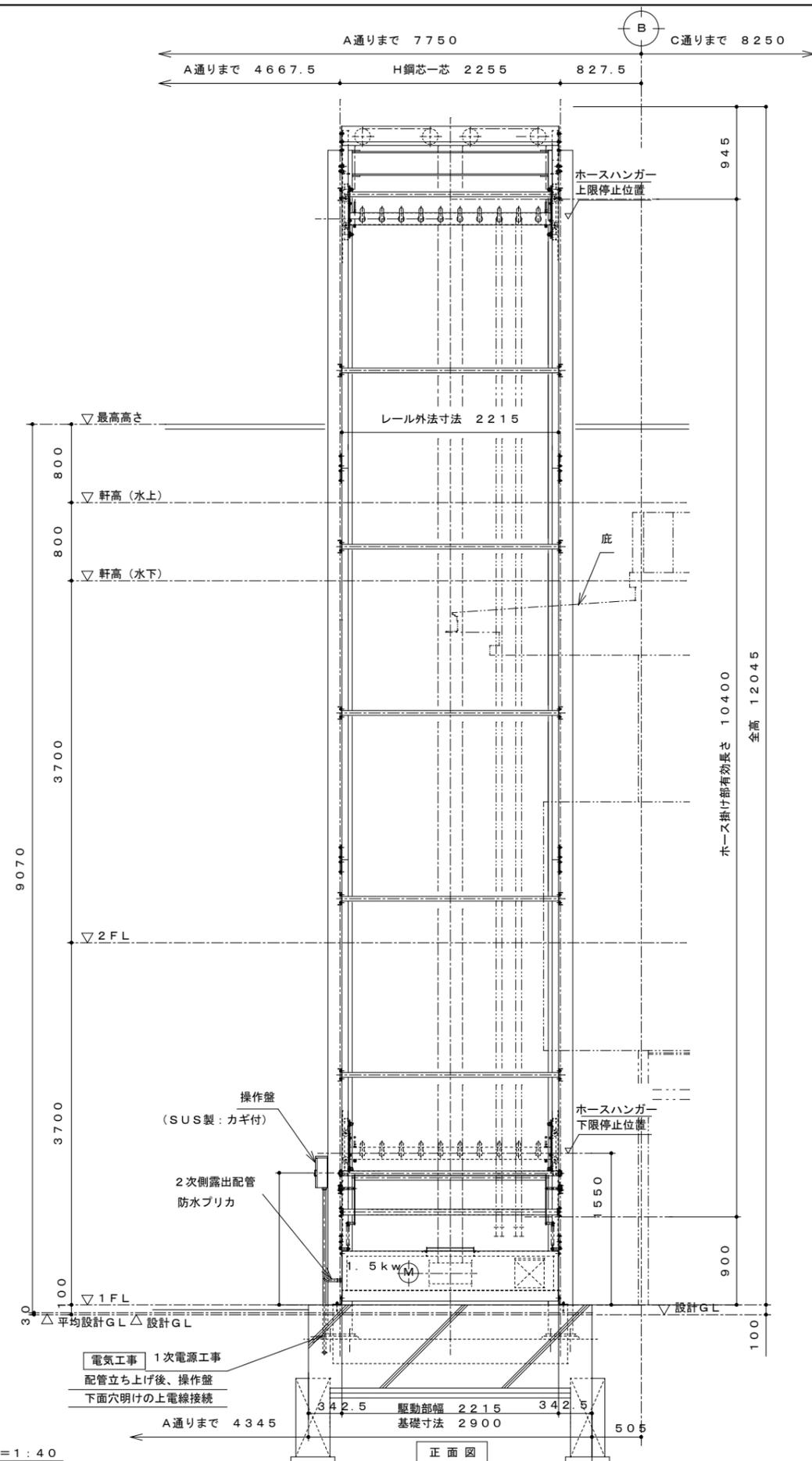
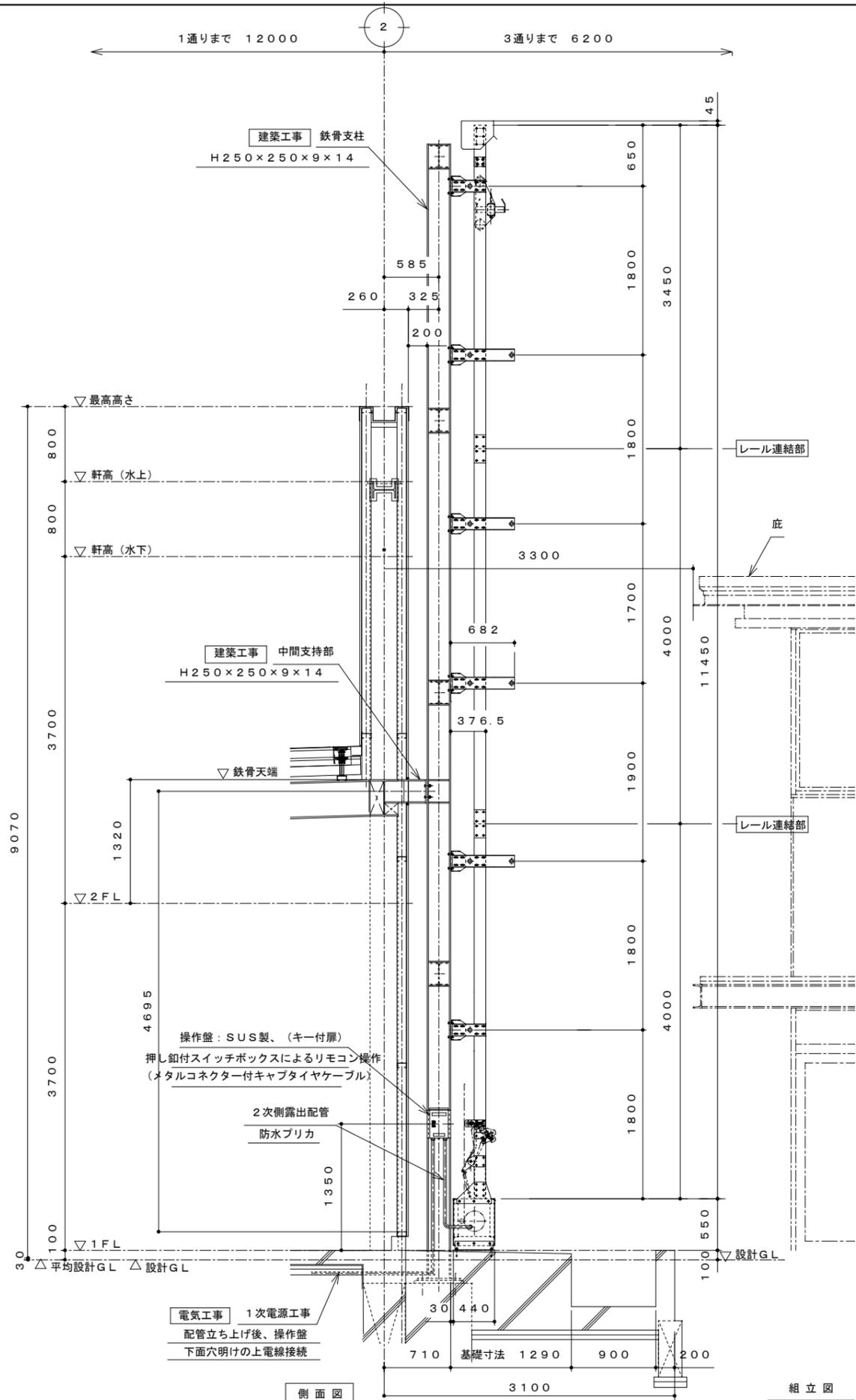
ゴミステーション仕様
 材 SUS板
 骨 SUS工字バンド
 屋根 SUS板
 窓 SUSアンガル
 製作 株式会社 明基製作所



番号	部	材
1	前梁	:めっき鋼板
2	前柱	:めっき鋼板
3	シャッター (防火設備)	:めっき鋼板 t0.8
4	側パネル	:高耐食めっき鋼板
5	屋根	:高耐食めっき鋼板
6	母屋	:めっき鋼板
7	側梁	:めっき鋼板
8	後土台	:高耐食めっき鋼板
9	横棧	:めっき鋼板
10	後柱	:めっき鋼板
11	左右土台	:高耐食めっき鋼板
12	屋根受け雨樋	:高耐食めっき鋼板

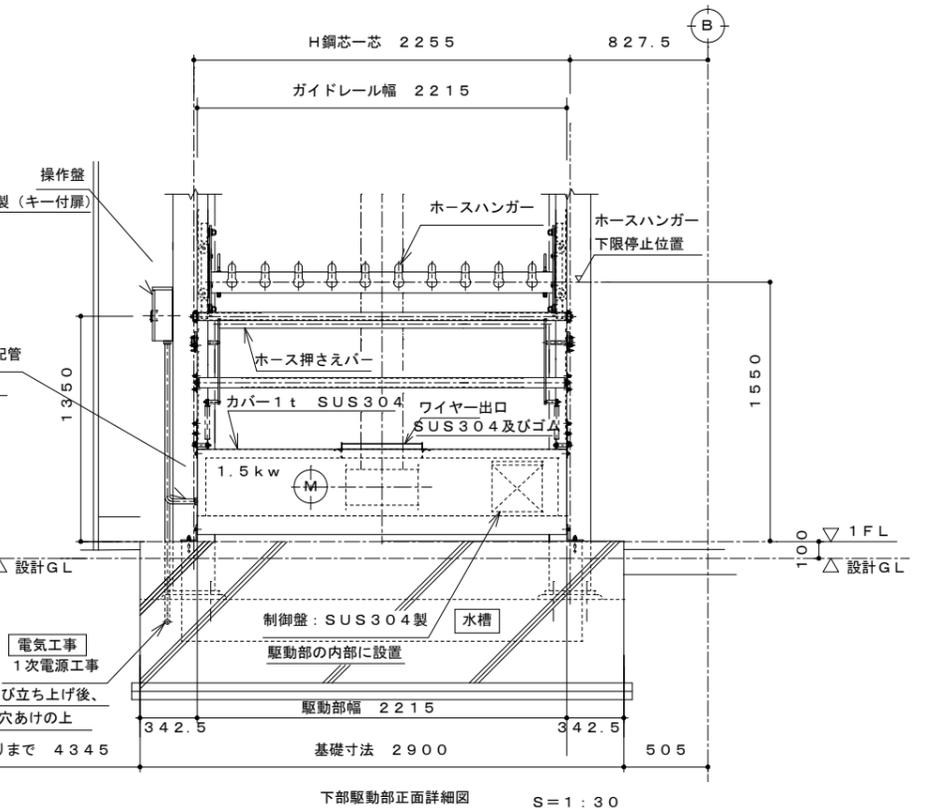
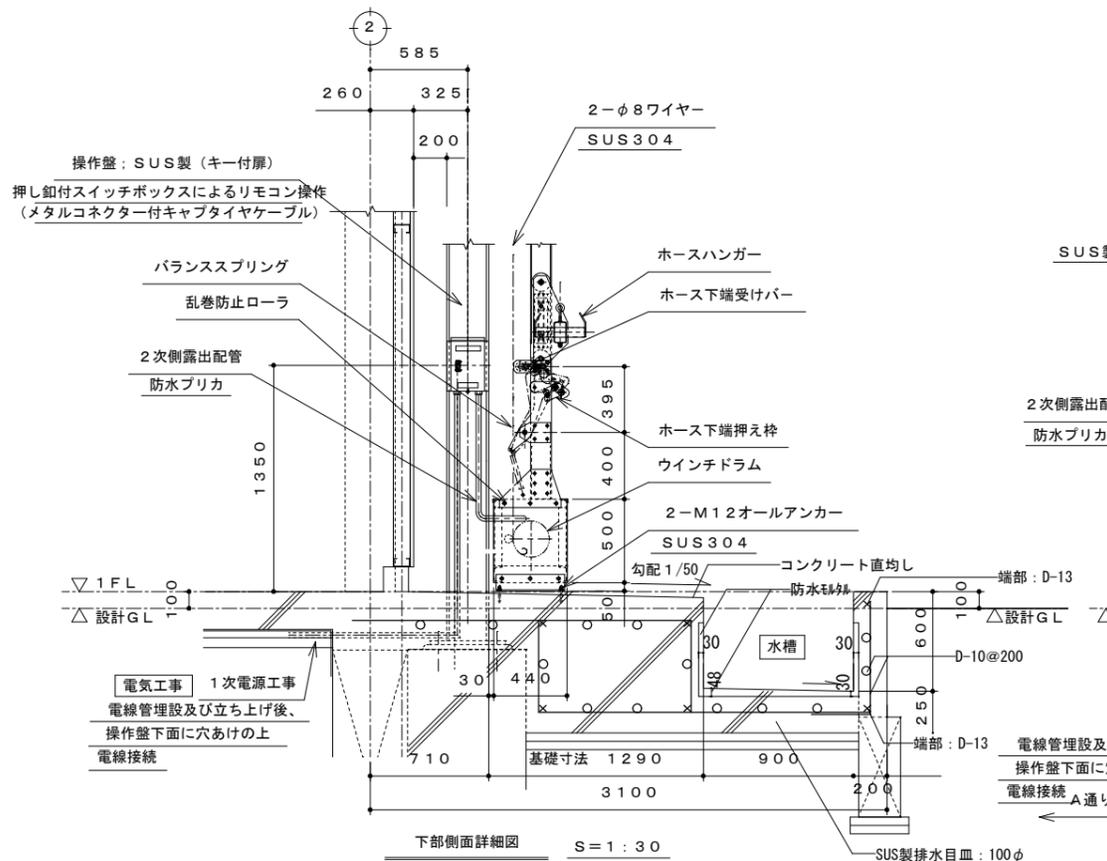
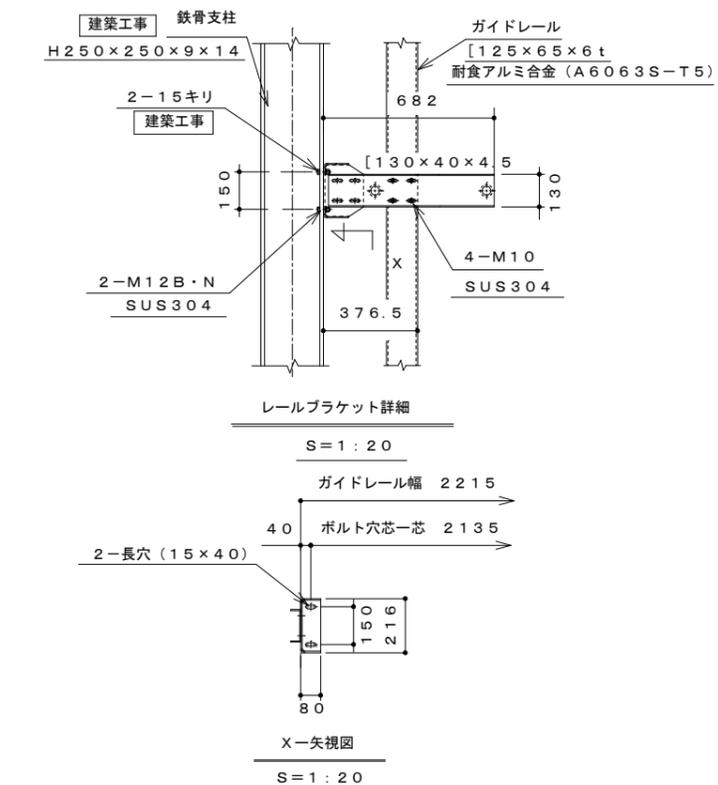
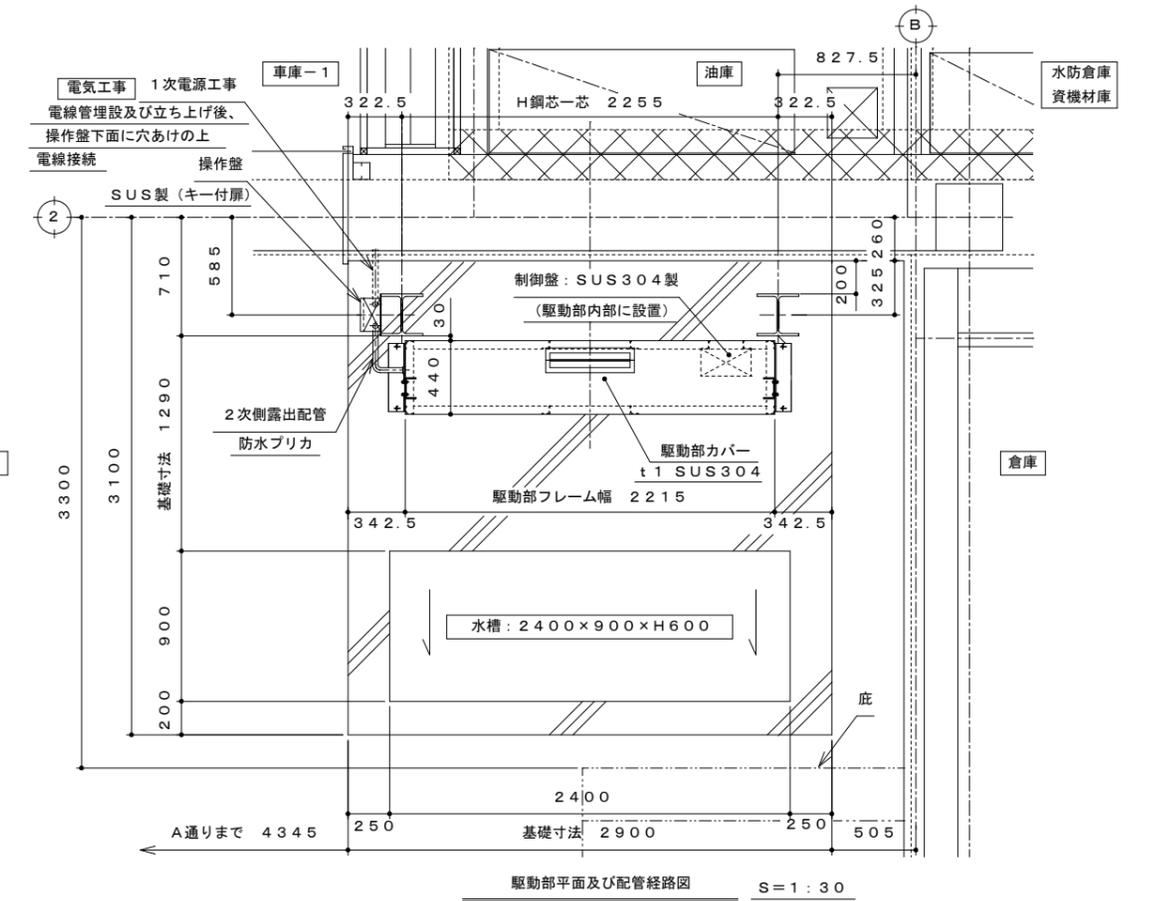
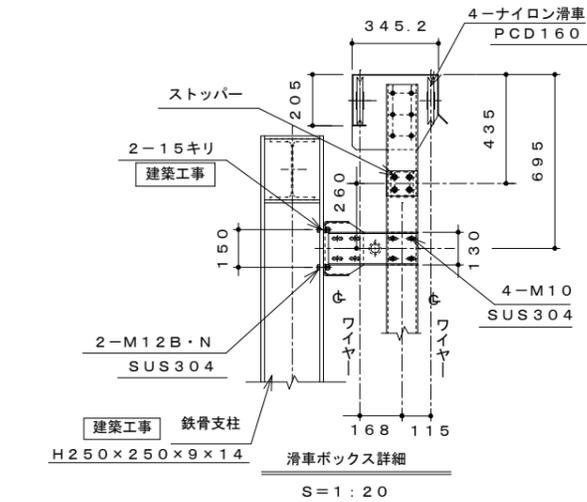
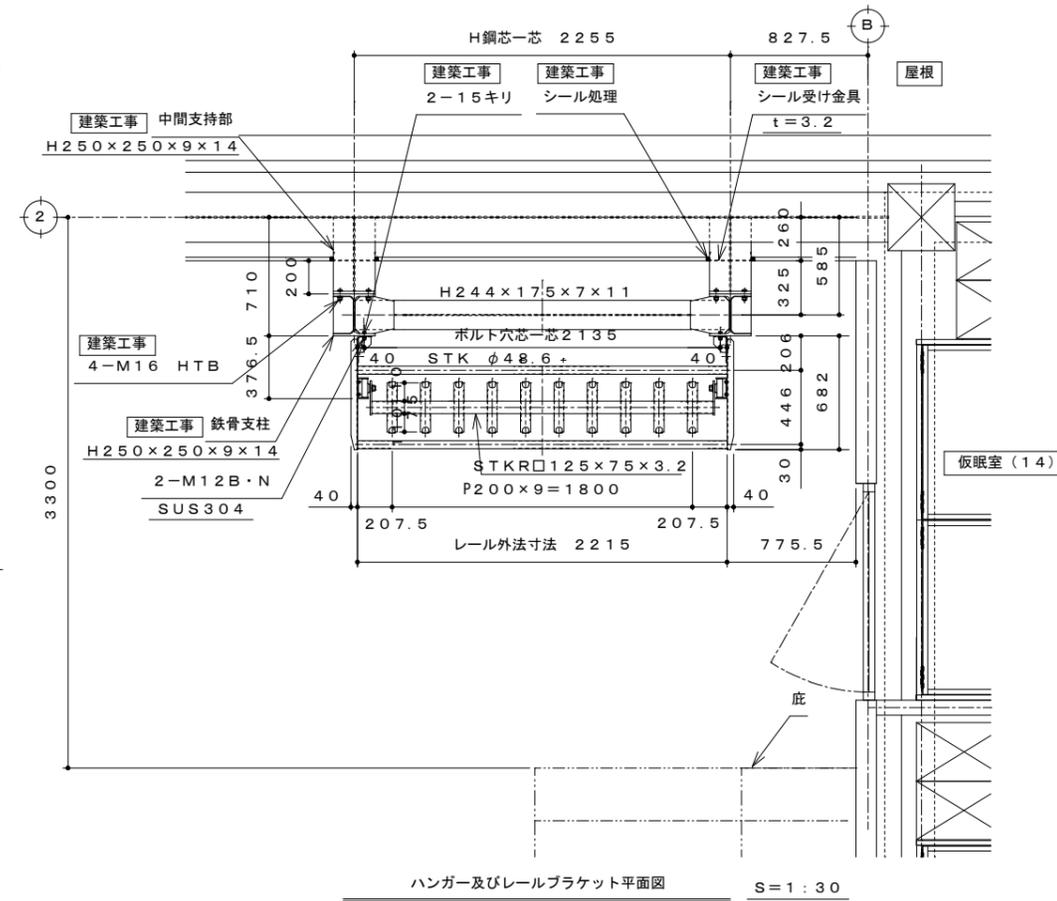
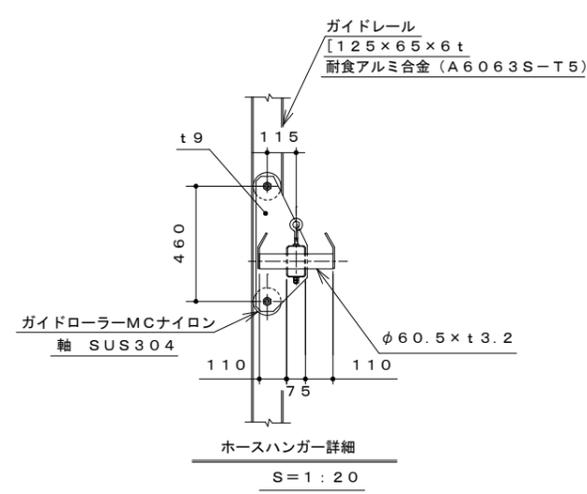
※(株)ホクエイ BN-300_0A程度





仕様概略	
項目	仕様
台数	1基
外法寸法	2215W×12045H
ホース収容本数	前後列各10本 計20本
巻上能力	400kg (20kg×20本)
昇降速度	8.3m/min 60HZ
電動機	1.5KW特約減速機ブレー付
電源	220V 3相 60HZ
操作回路電源	AC24V
各部材質及び防錆処理	
ガイドレール	耐蝕アルミ合金 A6063S-T5
ガイドローラ	MCナイロン 軸SUS304
レールブラケット	SS材 溶融亜鉛メッキ
ホースハンガー	SS材 溶融亜鉛メッキ
ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛メッキ、外板SUS
同上内部機器	生地のまま
吊りワイヤー	φ8 ステンレスワイヤー
ボルト類	オブリク共全てSUS304

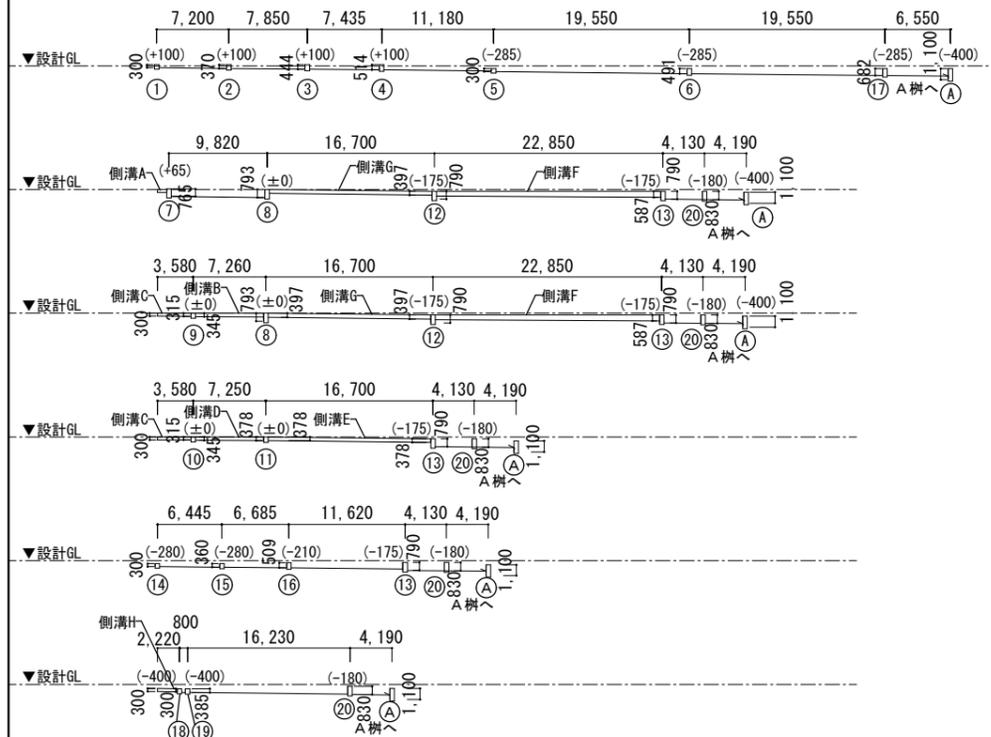
- 建築工事
- 1) 鉄骨工事
 - 2) 基礎工事
 - 3) 中間支持部工事
- 電気工事
- 1) 一次電源工事



NOTE		
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行徳 公嗣	寺川 智也

株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第4571号	JOB No.	DATE	TITLE
			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

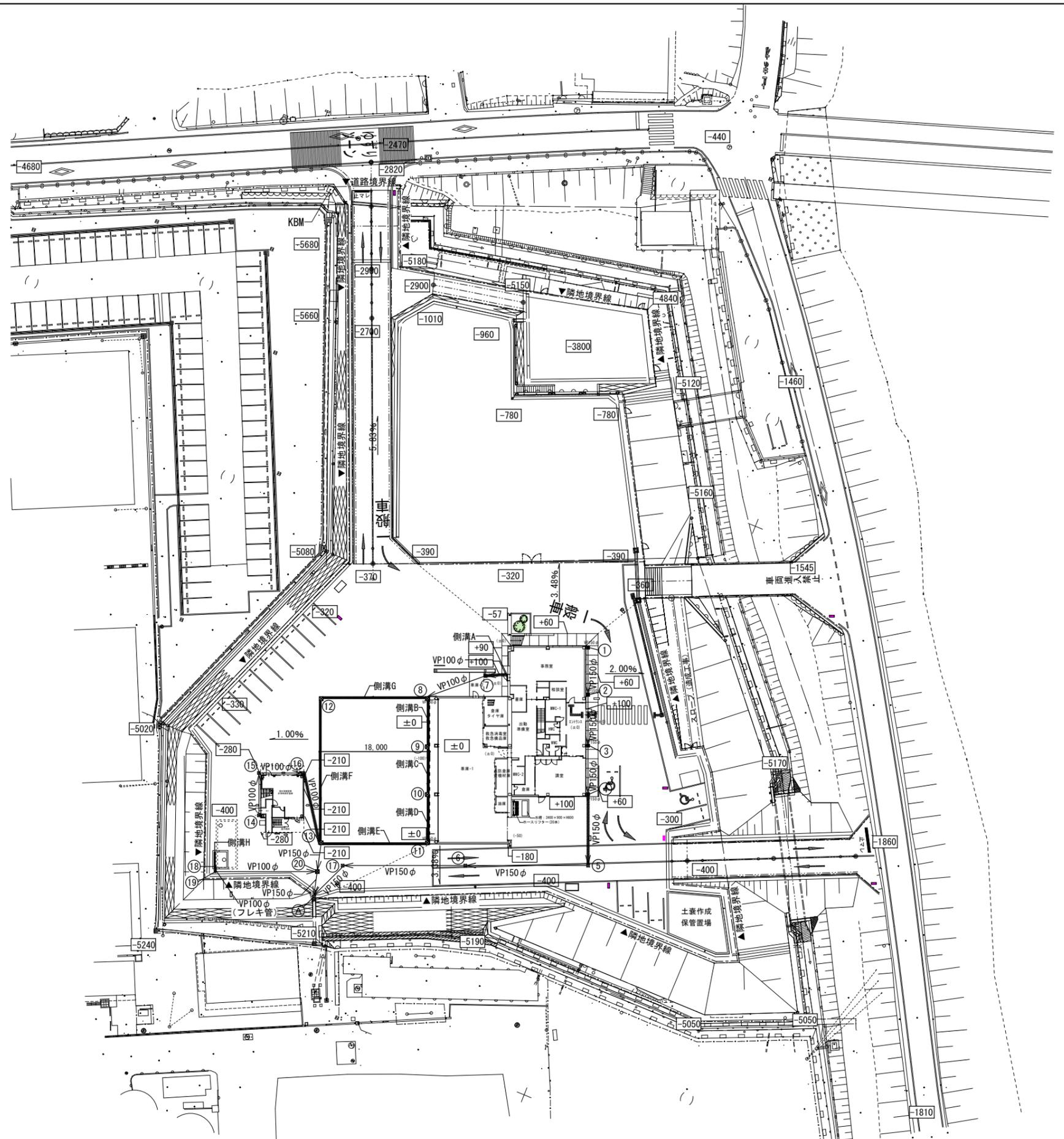
【庁舎棟】ホースリフター詳細図 (2)	SCALE A2 : 1/40 A3 : A2の71%	シート番号 A 099
---------------------	-----------------------------------	-------------------



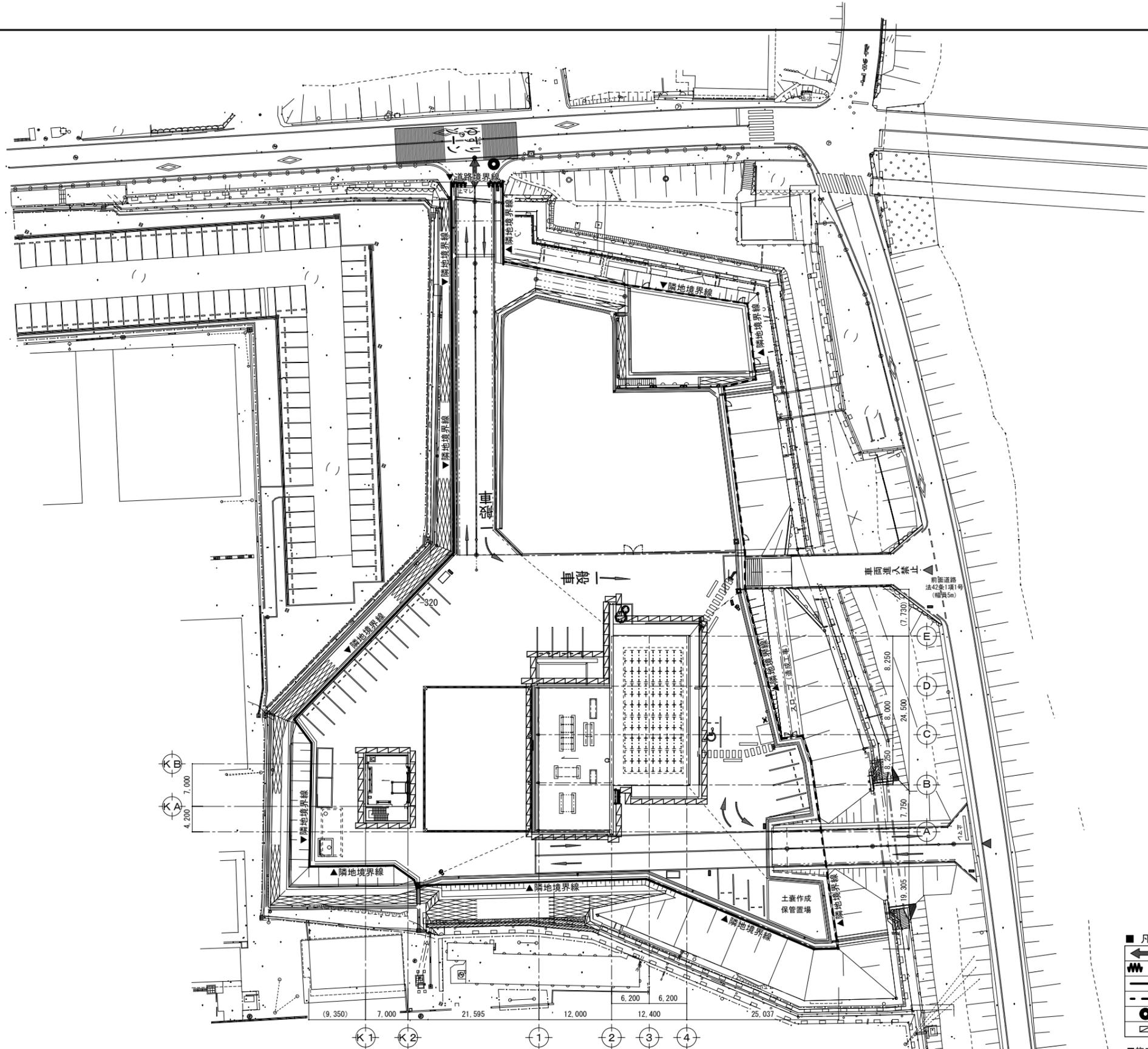
番号	枙名称	枙寸法	管低	GLからの高さ	蓋	備考
①	集水枙 【9-14-4】	350×350	-300	+100	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
②	集水枙 【9-14-4】	350×350	-370	+100	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
③	集水枙 【9-14-4】	350×350	-444	+100	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
④	集水枙 【9-14-5】	450×450	-514	+100	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑤	集水枙 【9-14-4】	300×300	-300	-285	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑥	集水枙 【9-14-5】	450×450	-491	-285	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑦	集水枙 【9-14-6】	600×600	-765	+65	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑧	集水枙 【9-14-6】	600×600	-793	±0	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑨	集水枙 【9-14-4】	350×350	-344	±0	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑩	集水枙 【9-14-4】	350×350	-344	±0	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑪	集水枙 【9-14-4】	350×350	-378	±0	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑫	集水枙 【9-14-6】	600×600	-790	-175	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑬	集水枙 【9-14-6】	600×600	-790	-175	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25 泥溜めH300
⑭	集水枙 【9-14-4】	350×350	-300	-280	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑮	集水枙 【9-14-4】	350×350	-360	-280	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑯	集水枙 【9-14-5】	450×450	-509	-210	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑰	集水枙 【9-14-6】	600×600	-682	-285	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
⑱	集水枙 【9-14-4】	350×350	-300	-400	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑲	集水枙 【9-14-4】	350×350	-385	-400	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	歩行用
⑳	集水枙 【9-14-6】	600×600	-830	-180	グレーチング蓋 亜鉛メッキ	T-25
A	集水枙 (造成工事)	500×500	-1100	-400	コンクリート蓋	既存枙

※側溝A: 【9-12-1 呼名180】+細目グレーチング歩行用(亜鉛メッキ)とする。
 ※側溝H: 【9-12-3】+細目グレーチング歩行用(亜鉛メッキ)とする。
 ※側溝B~G: 【9-12-3】+細目グレーチングT-25ボルト固定式(亜鉛メッキ)とする。
 ※ : フレキ管位置を示す。
 ※【*-*-*】は建築工事標準詳細図番号を示す

NOTE	
GL=KBM+2.885	
1FL=GL+100	



		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第4571号		JOB No	DATE	TITLE	DWG No	
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行徳 公嗣	寺川 智也				三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)		
雨水排水計画図							SCALE A2: 1/500 A3: A2の71%	A 100



- 凡例
- ↔ 工事車両出入口
 - ⌘ 1000mm 仮囲い
 - 仮囲い：形成鋼板 H3,000
 - - - ガードフェンス H1,800
 - 交通誘導員
 - ⊠ 枠組み足場 900×1800
- 施工条件特記事項
1. 記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努めること。
 2. 工事に際して、仮設位置・期間及び作業員駐車スペース等は監督員・施設関係者と協議の上、決定すること。
 3. 大型車両通行時は仮囲いの位置まで交通整理員による安全誘導等を行うこと。
 4. 仮囲い範囲内の舗装面及び工事車両通行部で傷みの激しいところは、オーバーレイを施す等復旧のこと。

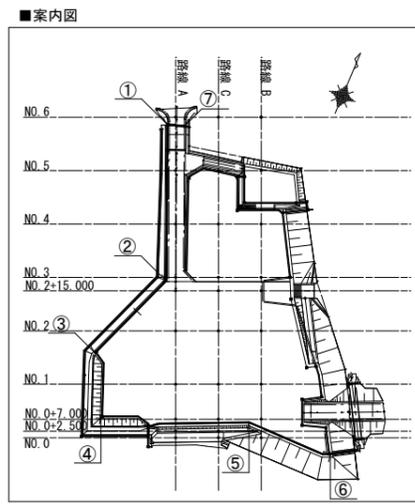
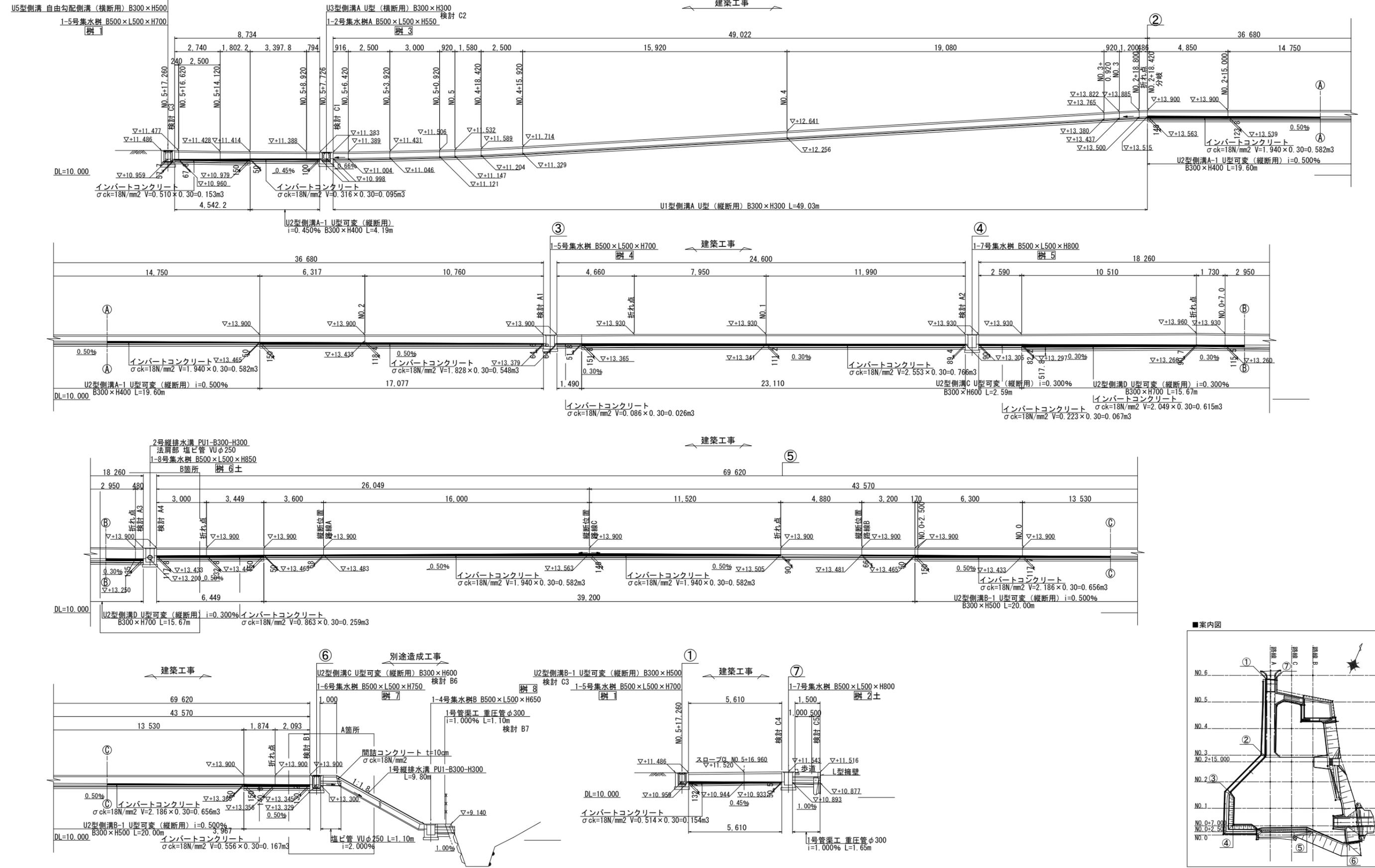
NOTE	

新あい設計		株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也

JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
		仮設計画図	101
		SCALE A2 : 1/500 A3 : A2の71%	

排水工縦断面図 (1) S=1/150

《自由勾配対応製品》
建築物



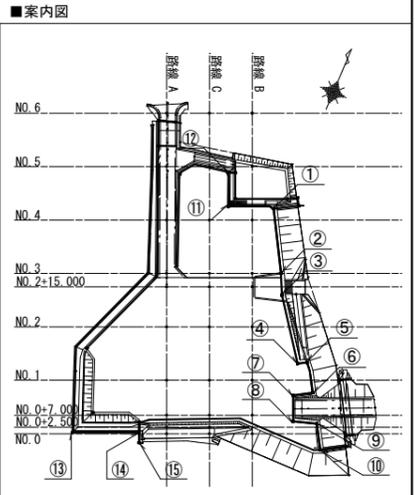
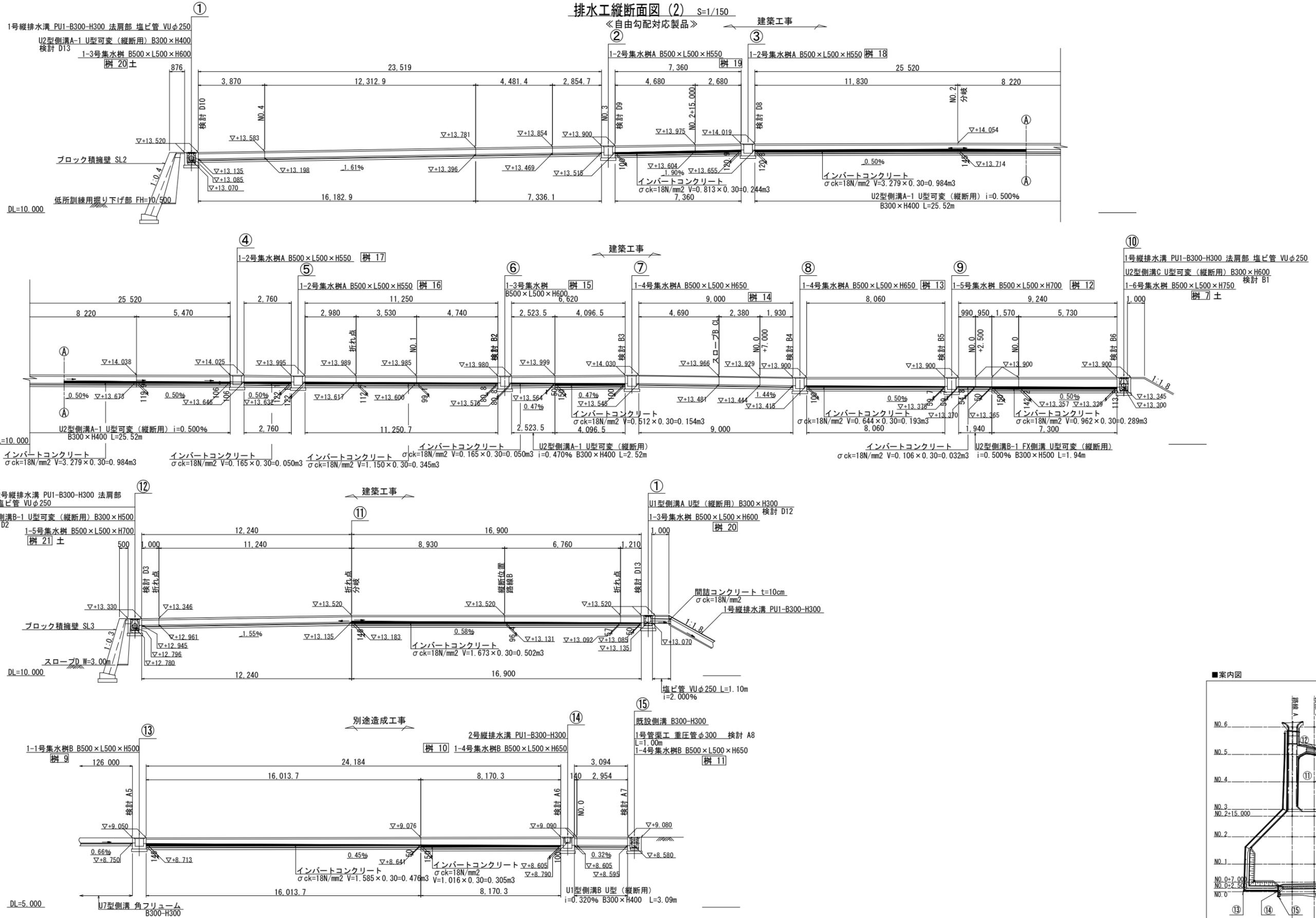
※ 自由勾配対応製品は、FX側溝と同等品とする。

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A		
	雨水排水縦断面図 (1)	SCALE	A2: 1/150	A3: A2の71%	102

排水工縦断面図 (2) S=1/150

《自由勾配対応製品》

建築物

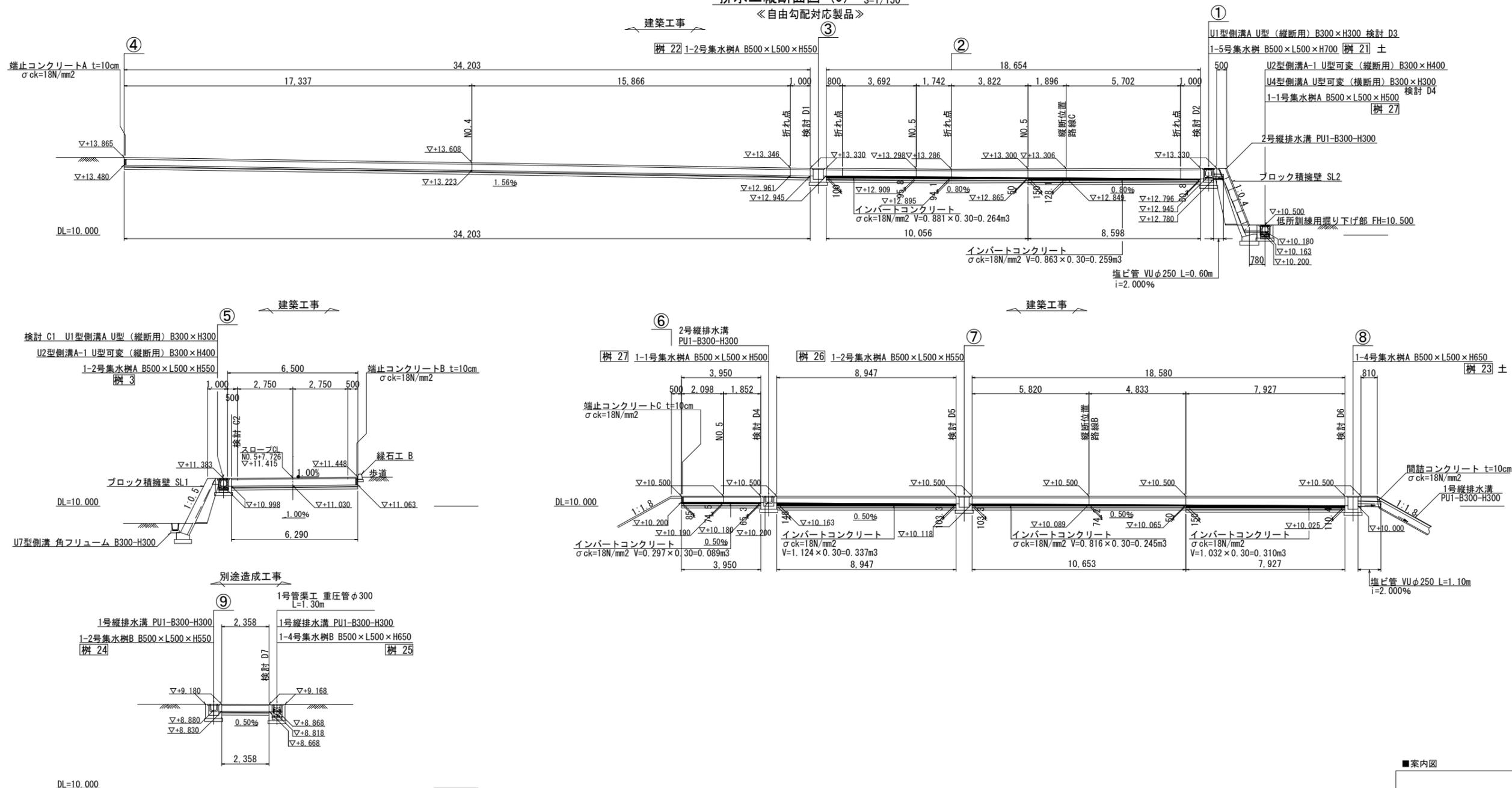


※ 自由勾配対応製品は、FX側溝と同等品とする。

NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 雨水排水縦断面図 (2)	A		
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行保 公嗣 寺川 智也			SCALE A2: 1/150 A3: A2の71%	103

排水工縦断面図 (3) S=1/150

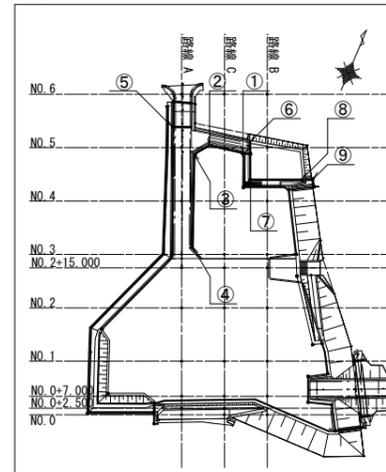
《自由勾配対応製品》



インバートコンクリート 全体数量
 U2型側溝A-1 L=157.2m V=4.760m3
 U2型側溝A-2 L=16.0m V=0.476m3
 U2型側溝B-1 L=101.7m V=3.334m3
 U2型側溝B-2 L=8.2m V=0.305m3
 U2型側溝C L=44.7m V=1.457m3
 U2型側溝D L=9.8m V=0.396m3
 U4型側溝A L=4.0m V=0.089m3
 U4型側溝B L=7.0m V=0.221m3
 U5型側溝 L=5.6m V=0.154m3

種別	L (m)	V (m3)	種別	L (m)	V (m3)	種別	L (m)	V (m3)
U2型側溝A-1	4.19	0.095	U2型側溝B-1	17.08	0.548	U2型側溝C	23.11	0.766
	19.60	0.582		1.49	0.026		2.59	0.067
	39.20	0.582		6.45	0.259		3.97	0.167
	9.34	0.244		20.00	0.656		7.30	0.289
	25.52	0.984		4.10	0.154	合計	36.97	1.289
	2.76	0.050		8.06	0.193			
	11.25	0.345		1.94	0.032	U2型側溝D	15.67	0.615
	2.52	0.050		8.60	0.259	合計	15.67	0.615
	16.90	0.502		7.93	0.310			
	10.05	0.264	合計	75.65	2.437	U4型側溝A	3.95	0.089
	8.95	0.337				合計	3.95	0.089
	10.65	0.245	U2型側溝B-2	8.17	0.305			
合計	160.93	4.280	合計	8.17	0.305	U5型側溝	5.61	0.154
						合計	5.61	0.154
U2型側溝A-2	16.01	0.476						
合計	16.01	0.476						

■案内図

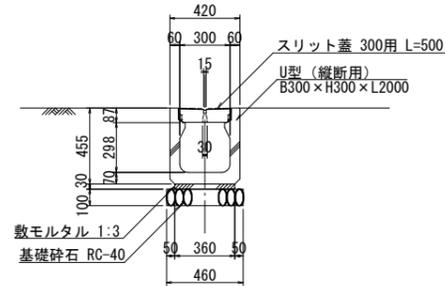


※ 自由勾配対応製品は、FX側溝と同等品とする。

排水工構造図 (1) (参考図)

U1型側溝A S=1/30

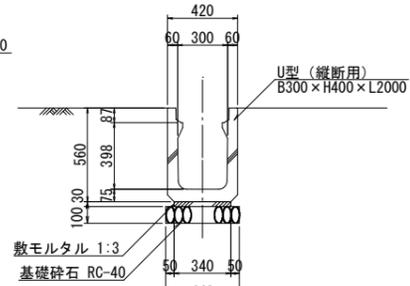
FX側溝 U型 (縦断用)
B300×H300×L2000 同等品



※ 水路蓋はコンクリート蓋を標準とし
10mに1箇所がレチング蓋を設置すること。

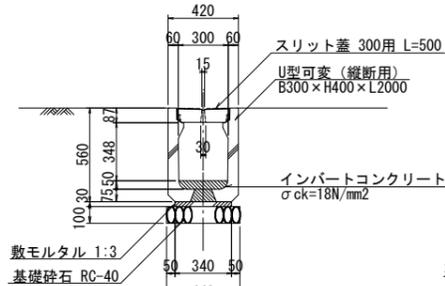
U1型側溝B S=1/30

FX側溝 U型 (縦断用)
B300×H400×L2000 同等品



U2型側溝A S=1/30

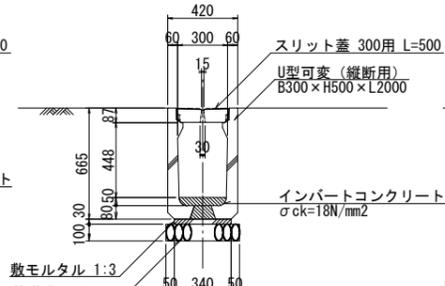
FX側溝 U型可変 (縦断用)
B300×H400×L2000 同等品



※ 水路蓋はコンクリート蓋を標準とし
10mに1箇所がレチング蓋を設置すること。
A-1 水路蓋有り
A-2 水路蓋無し

U2型側溝B S=1/30

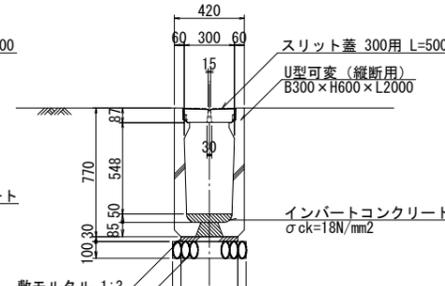
FX側溝 U型可変 (縦断用)
B300×H500×L2000 同等品



※ 水路蓋はコンクリート蓋を標準とし
10mに1箇所がレチング蓋を設置すること。
B-1 水路蓋有り
B-2 水路蓋無し

U2型側溝C S=1/30

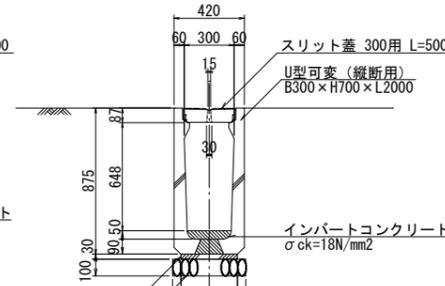
FX側溝 U型可変 (縦断用)
B300×H600×L2000 同等品



※ 水路蓋はコンクリート蓋を標準とし
10mに1箇所がレチング蓋を設置すること。

U2型側溝D S=1/30

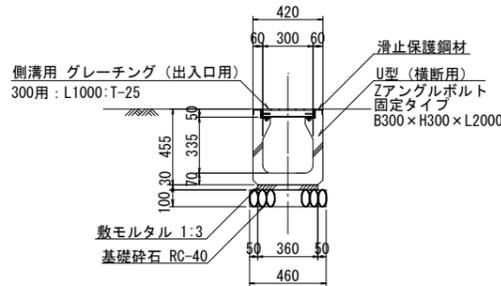
FX側溝 U型可変 (縦断用)
B300×H700×L2000 同等品



※ 水路蓋はコンクリート蓋を標準とし
10mに1箇所がレチング蓋を設置すること。

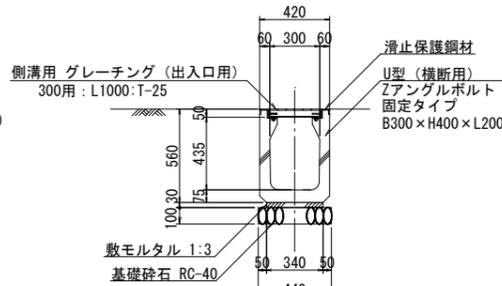
U3型側溝A S=1/30

FX側溝 U型 (横断用)
B300×H300×L2000 同等品



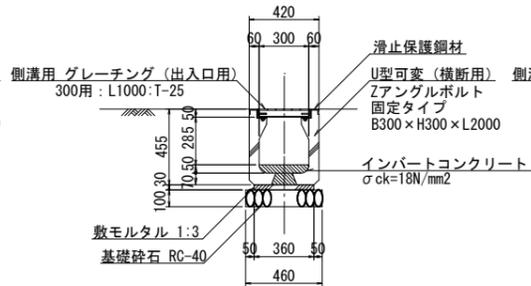
U3型側溝B S=1/30

FX側溝 U型 (横断用)
B300×H400×L2000 同等品



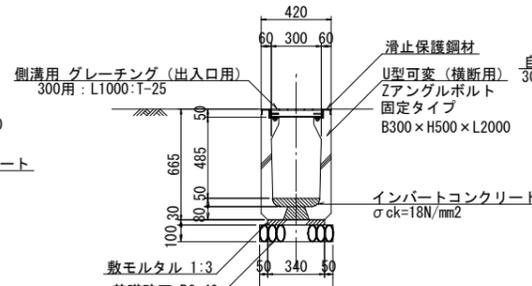
U4型側溝A S=1/30

FX側溝 U型可変 (横断用)
B300×H300×L2000 同等品



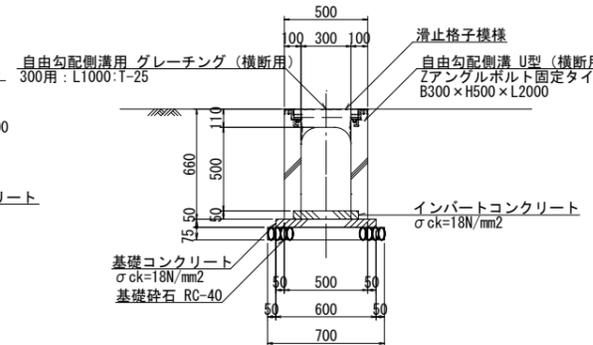
U4型側溝B S=1/30

FX側溝 U型可変 (横断用)
B300×H500×L2000 同等品



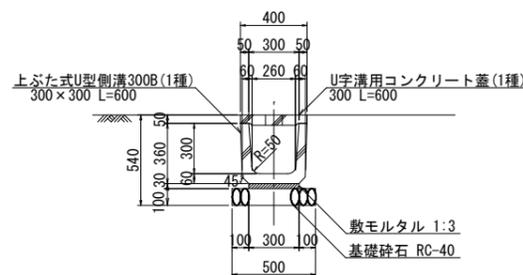
U5型側溝 S=1/30

自由勾配側溝 U型 (横断用)
B300×H500×L2000



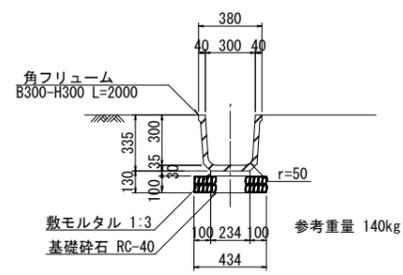
U6型側溝 S=1/30

PU1-B300-H300



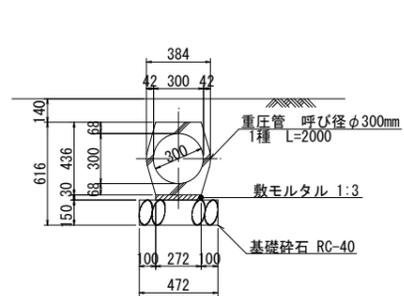
U7型側溝 S=1/30

角フリュウム
B300-H300



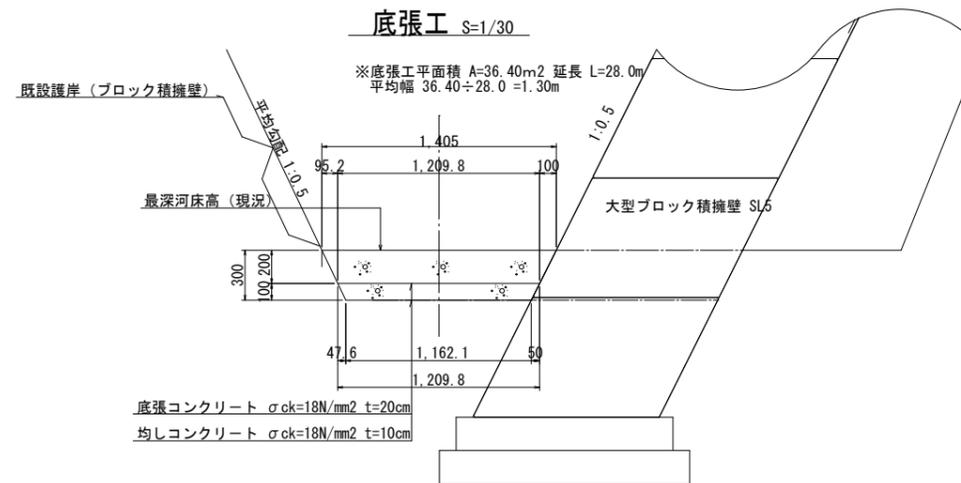
1号管渠工 S=1/30

重圧管 φ300



底張工 S=1/30

※底張工平面積 A=36.40m² 延長 L=28.0m
平均幅 36.40÷28.0 = 1.30m



※ 自由勾配対応製品は、FX側溝と同等品とする。

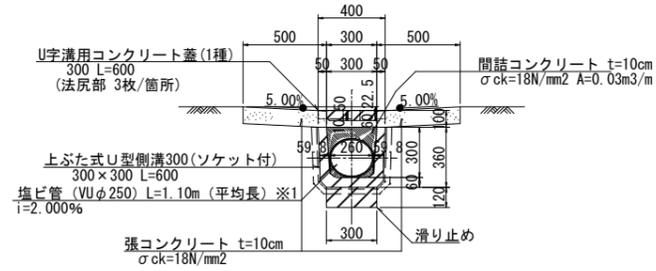
NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	A
	一級建築士 第350767号 行保 公嗣	寺川 智也		雨水排水構造図 (1)	105
				SCALE A2: 1/30 A3: A2の71%	

排水工構造図(2) (参考図)

1号縦排水溝 S=1/30

PU1-B300-H300
排水工縦断面図(1) A箇所参照

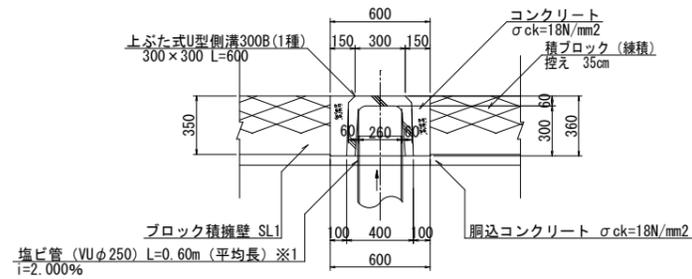
横断面図



2号縦排水溝 S=1/30

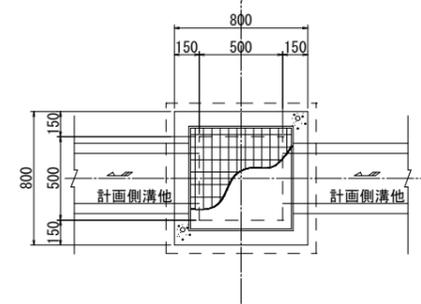
PU1-B300-H300
排水工縦断面図(1) B箇所参照

横断面図

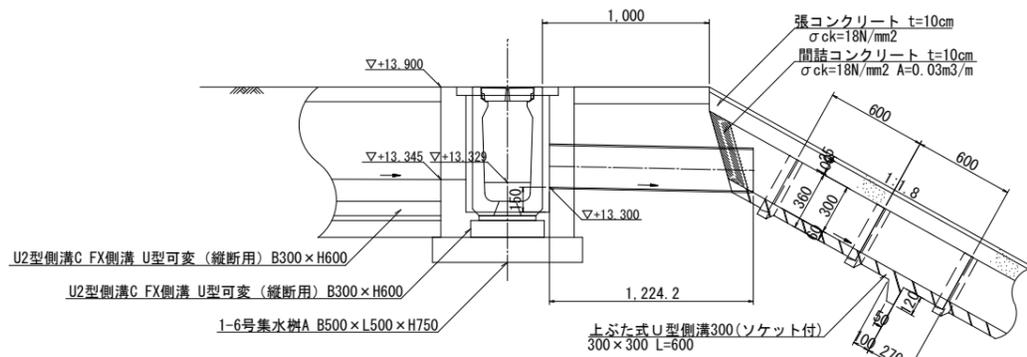


1号集水樹 S=1/30

平面図

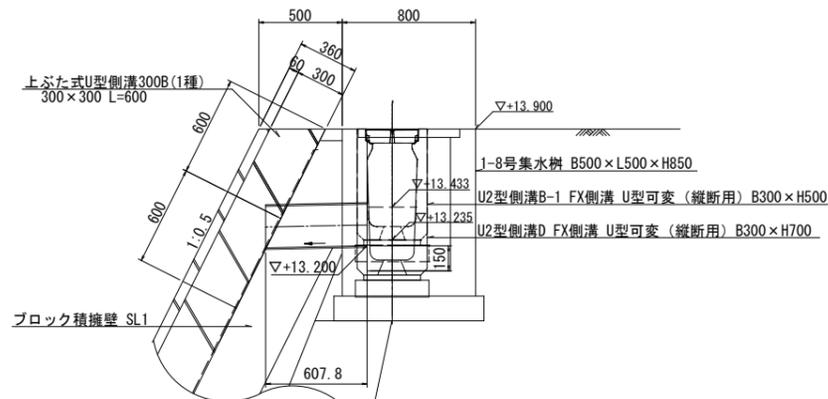


縦断面図



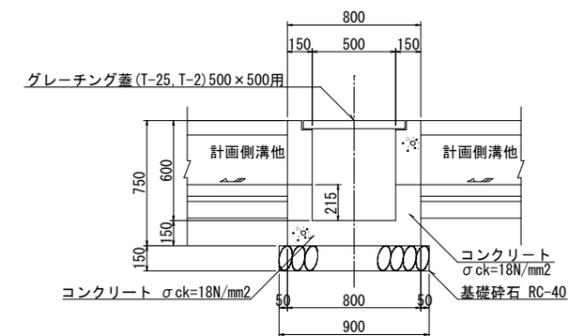
※1 現地にて適切な長さで施工すること。
※2 滑り止め付は、3.0mごとに使用する。(5本に1本を標準)
法尻部にコンクリート蓋を3枚/箇所設置する。

縦断面図



※1 現地にて適切な長さで施工すること。
※2 整清下面にブロック断面厚を確保すること。

正面図

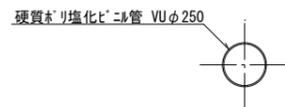


寸法表

名称	H	H1	樹蓋タイプ
1-1号集水樹A	500	650	グレーチング T-25
1-1号集水樹B	500	650	グレーチング T-2
1-2号集水樹A	550	700	グレーチング T-25
1-2号集水樹B	550	700	グレーチング T-2
1-3号集水樹	600	750	グレーチング T-25
1-4号集水樹A	650	800	グレーチング T-25
1-4号集水樹B	650	800	グレーチング T-2
1-5号集水樹	700	850	グレーチング T-25
1-6号集水樹	750	900	グレーチング T-25
1-7号集水樹	800	950	グレーチング T-25
1-8号集水樹	850	1000	グレーチング T-25

塩ビ管 S=1/30

VU φ250



※ 自由勾配対応製品は、FX側溝と同等品とする。

構造概要書																																																													
本構造概要書の表記 (1) 各事項は・に ○ 印の付いたものを適用する。 ・に ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ・に ○ 印及び※に ○ 印の付いた場合は、共に適用する。																																																													
1. 建物構造概要等																																																													
(1) 建物概要 <table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td colspan="3">三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="3">広島県三原市下北方一丁目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要用途</td> <td>庁舎棟</td> <td>事務所</td> <td>延床面積</td> </tr> <tr> <td>訓練棟</td> <td>訓練施設</td> <td>庁舎棟 976.81 m² 訓練棟 98.00 m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">階数</td> <td>庁舎棟</td> <td>地上 2 階 地下 - 階</td> <td>塔屋 - 階</td> </tr> <tr> <td>訓練棟</td> <td>地上 2 階 地下 - 階</td> <td>塔屋 - 階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建物高さ</td> <td>庁舎棟</td> <td>9.07 m</td> <td>軒高</td> </tr> <tr> <td>訓練棟</td> <td>8.53 m</td> <td>庁舎棟 8.270 m 訓練棟 6.895 m</td> </tr> <tr> <td>工事種別</td> <td colspan="3">○ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転</td> </tr> <tr> <td>増築計画</td> <td colspan="3">・ 有り ○ 無し</td> </tr> <tr> <td>構造種別</td> <td>地上</td> <td>鉄骨造</td> <td>地下 RC造</td> </tr> <tr> <td>架構形式</td> <td>X方向</td> <td>純ラーメン</td> <td>構造</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y方向</td> <td>純ラーメン</td> <td>構造</td> </tr> <tr> <td>耐震構造方式</td> <td colspan="3">○ 耐震構造 ・ 免震構造 ・ 制振構造</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐震安全性の分類</td> <td>庁舎棟</td> <td>○ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ・ III 類 (I=1.00)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訓練棟</td> <td>・ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ○ III 類 (I=1.00)</td> <td></td> </tr> </table>		工事名称	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)			工事場所	広島県三原市下北方一丁目			主要用途	庁舎棟	事務所	延床面積	訓練棟	訓練施設	庁舎棟 976.81 m ² 訓練棟 98.00 m ²	階数	庁舎棟	地上 2 階 地下 - 階	塔屋 - 階	訓練棟	地上 2 階 地下 - 階	塔屋 - 階	建物高さ	庁舎棟	9.07 m	軒高	訓練棟	8.53 m	庁舎棟 8.270 m 訓練棟 6.895 m	工事種別	○ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転			増築計画	・ 有り ○ 無し			構造種別	地上	鉄骨造	地下 RC造	架構形式	X方向	純ラーメン	構造		Y方向	純ラーメン	構造	耐震構造方式	○ 耐震構造 ・ 免震構造 ・ 制振構造			耐震安全性の分類	庁舎棟	○ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ・ III 類 (I=1.00)		訓練棟	・ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ○ III 類 (I=1.00)	
工事名称	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)																																																												
工事場所	広島県三原市下北方一丁目																																																												
主要用途	庁舎棟	事務所	延床面積																																																										
	訓練棟	訓練施設	庁舎棟 976.81 m ² 訓練棟 98.00 m ²																																																										
階数	庁舎棟	地上 2 階 地下 - 階	塔屋 - 階																																																										
	訓練棟	地上 2 階 地下 - 階	塔屋 - 階																																																										
建物高さ	庁舎棟	9.07 m	軒高																																																										
	訓練棟	8.53 m	庁舎棟 8.270 m 訓練棟 6.895 m																																																										
工事種別	○ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転																																																												
増築計画	・ 有り ○ 無し																																																												
構造種別	地上	鉄骨造	地下 RC造																																																										
架構形式	X方向	純ラーメン	構造																																																										
	Y方向	純ラーメン	構造																																																										
耐震構造方式	○ 耐震構造 ・ 免震構造 ・ 制振構造																																																												
耐震安全性の分類	庁舎棟	○ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ・ III 類 (I=1.00)																																																											
	訓練棟	・ I 類 (I=1.50) ・ II 類 (I=1.25) ○ III 類 (I=1.00)																																																											
(2) 構造計算条件 <table border="1"> <tr> <td colspan="4">a 耐震設計条件</td> </tr> <tr> <td>棟名称</td> <td></td> <td>庁舎棟</td> <td>訓練棟</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地震荷重</td> <td>建物一次固有周期</td> <td>○ 略算法 ・ 精算法 (0.249) 秒</td> <td>(0.213) 秒 () 秒</td> </tr> <tr> <td>地盤種別</td> <td colspan="2">第 (III) 種地盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計算ルート</td> <td>地域係数</td> <td colspan="2">Z=0.9</td> </tr> <tr> <td>X方向</td> <td>※ 保有耐力計算 (ルート3)</td> <td>(ルート3) (ルート)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計層間変形角 (許容値)</td> <td>X方向</td> <td>一次設計</td> <td>1/200 1/150</td> </tr> <tr> <td>Y方向</td> <td>一次設計</td> <td>1/100 1/100</td> </tr> <tr> <td colspan="4">b 耐風設計条件</td> </tr> <tr> <td>基準風速 (V0)</td> <td colspan="3">(32) m/秒</td> </tr> <tr> <td>地表面粗度区分</td> <td colspan="3">・ I ・ II ○ III ・ IV</td> </tr> <tr> <td colspan="4">c 積雪設計条件</td> </tr> <tr> <td>多雪区域の指定</td> <td colspan="3">・ 有り ○ 無し</td> </tr> <tr> <td>設計積雪積雪量</td> <td colspan="3">(30) cm</td> </tr> </table>		a 耐震設計条件				棟名称		庁舎棟	訓練棟	地震荷重	建物一次固有周期	○ 略算法 ・ 精算法 (0.249) 秒	(0.213) 秒 () 秒	地盤種別	第 (III) 種地盤		計算ルート	地域係数	Z=0.9		X方向	※ 保有耐力計算 (ルート3)	(ルート3) (ルート)	設計層間変形角 (許容値)	X方向	一次設計	1/200 1/150	Y方向	一次設計	1/100 1/100	b 耐風設計条件				基準風速 (V0)	(32) m/秒			地表面粗度区分	・ I ・ II ○ III ・ IV			c 積雪設計条件				多雪区域の指定	・ 有り ○ 無し			設計積雪積雪量	(30) cm									
a 耐震設計条件																																																													
棟名称		庁舎棟	訓練棟																																																										
地震荷重	建物一次固有周期	○ 略算法 ・ 精算法 (0.249) 秒	(0.213) 秒 () 秒																																																										
	地盤種別	第 (III) 種地盤																																																											
計算ルート	地域係数	Z=0.9																																																											
	X方向	※ 保有耐力計算 (ルート3)	(ルート3) (ルート)																																																										
設計層間変形角 (許容値)	X方向	一次設計	1/200 1/150																																																										
	Y方向	一次設計	1/100 1/100																																																										
b 耐風設計条件																																																													
基準風速 (V0)	(32) m/秒																																																												
地表面粗度区分	・ I ・ II ○ III ・ IV																																																												
c 積雪設計条件																																																													
多雪区域の指定	・ 有り ○ 無し																																																												
設計積雪積雪量	(30) cm																																																												
(3) 主な積載荷重 (単位: N/m ²) <table border="1"> <tr> <th>室名</th> <th>床・小梁用</th> <th>架構用</th> <th>地震用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>庁舎屋根、車庫下屋</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td rowspan="2">設備荷重(及び基礎荷重)は別途扱いとする。</td> </tr> <tr> <td>車庫屋根 (A-D間)</td> <td>900</td> <td>600</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>仮設室、リネン室、食堂、厨房、トレーニングルーム、手洗い、事務室、講堂</td> <td>2900</td> <td>1800</td> <td>800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車庫</td> <td>9500</td> <td>7600</td> <td>6200</td> <td></td> </tr> </table>		室名	床・小梁用	架構用	地震用	備考	庁舎屋根、車庫下屋	0	0	0	設備荷重(及び基礎荷重)は別途扱いとする。	車庫屋根 (A-D間)	900	600	400	仮設室、リネン室、食堂、厨房、トレーニングルーム、手洗い、事務室、講堂	2900	1800	800		車庫	9500	7600	6200																																					
室名	床・小梁用	架構用	地震用	備考																																																									
庁舎屋根、車庫下屋	0	0	0	設備荷重(及び基礎荷重)は別途扱いとする。																																																									
車庫屋根 (A-D間)	900	600	400																																																										
仮設室、リネン室、食堂、厨房、トレーニングルーム、手洗い、事務室、講堂	2900	1800	800																																																										
車庫	9500	7600	6200																																																										
(4) その他の荷重 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>荷重</th> <th>機器重量</th> <th>基礎重量</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">屋上付属物</td> <td>・ 高架水槽</td> <td>() kN</td> <td>() kN</td> </tr> <tr> <td>・ キュービクル</td> <td>(40.0) kN</td> <td>(42.2) kN</td> </tr> <tr> <td>・ 太陽光パネル</td> <td>(32.0) kN</td> <td>() kN</td> </tr> <tr> <td>・ その他</td> <td>(51.5) kN</td> <td>(115.0) kN</td> </tr> <tr> <td>・ 広告塔</td> <td>() kN</td> <td>() kN</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊な荷重</td> <td>・ エレベータ () 人乗 (・ マシンルームレス ・ ロープ式 ・ 油圧式)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ホイスト () kN</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">付帯工事</td> <td>・ 受水槽 () kN () kN</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 油庫 (22.55) kN (52.8) kN</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 門扉</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		項目	荷重	機器重量	基礎重量	屋上付属物	・ 高架水槽	() kN	() kN	・ キュービクル	(40.0) kN	(42.2) kN	・ 太陽光パネル	(32.0) kN	() kN	・ その他	(51.5) kN	(115.0) kN	・ 広告塔	() kN	() kN	特殊な荷重	・ エレベータ () 人乗 (・ マシンルームレス ・ ロープ式 ・ 油圧式)			・ ホイスト () kN			付帯工事	・ 受水槽 () kN () kN			・ 油庫 (22.55) kN (52.8) kN			・ 門扉																									
項目	荷重	機器重量	基礎重量																																																										
屋上付属物	・ 高架水槽	() kN	() kN																																																										
	・ キュービクル	(40.0) kN	(42.2) kN																																																										
	・ 太陽光パネル	(32.0) kN	() kN																																																										
	・ その他	(51.5) kN	(115.0) kN																																																										
	・ 広告塔	() kN	() kN																																																										
特殊な荷重	・ エレベータ () 人乗 (・ マシンルームレス ・ ロープ式 ・ 油圧式)																																																												
	・ ホイスト () kN																																																												
付帯工事	・ 受水槽 () kN () kN																																																												
	・ 油庫 (22.55) kN (52.8) kN																																																												
	・ 門扉																																																												
NOTE																																																													

2. 使用材料一覧表																																																																																														
(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308) <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>品質基準強度 Fck (N/mm²)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>2F~RF床</td> <td>※ 普通 ・ 軽量</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>比重 2.3</td> </tr> <tr> <td>1F立上り~1F床</td> <td>※ 普通 ・ 軽量</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>比重 2.3</td> </tr> <tr> <td>基礎梁</td> <td>※ 普通</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>比重 2.3</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>※ 普通</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>比重 2.3</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>※ 普通</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>※ 普通</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押えコンクリート</td> <td>※ 普通 ・ 軽量</td> <td>18</td> <td></td> <td>15</td> <td>比重 2.3</td> </tr> <tr> <td>細骨材の種類</td> <td colspan="5">※ 砂 ・ 山砂 ・ 人工 ・</td> </tr> <tr> <td>粗骨材の種類</td> <td colspan="5">○ 砂利 ※ 砕石 ・ 人工 ・</td> </tr> <tr> <td>水の区分</td> <td colspan="5">○ 水道水 ○ 地下水 ・ 工業用水 ・</td> </tr> <tr> <td>混和材料の種類 ()</td> <td colspan="5">○ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">呼び強度を保證する材齢、養生</td> <td>材齢</td> <td colspan="4">※ 28日 ・ 56日 ・</td> </tr> <tr> <td>養生</td> <td colspan="4">・ 現場封かん ※ 現場水中 ・ 標準</td> </tr> </table> 単位水量は185 kg/m ³ 以下、単位セメント量は270 kg/m ³ 以上とする。		適用箇所	種類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	品質基準強度 Fck (N/mm ²)	スラブ (cm)	備考	2F~RF床	※ 普通 ・ 軽量	30	24	18	比重 2.3	1F立上り~1F床	※ 普通 ・ 軽量	30	24	18	比重 2.3	基礎梁	※ 普通	30	24	15	比重 2.3	基礎	※ 普通	30	24	15	比重 2.3	捨コンクリート	※ 普通	18	18	18		土間コンクリート	※ 普通	18	18	15		押えコンクリート	※ 普通 ・ 軽量	18		15	比重 2.3	細骨材の種類	※ 砂 ・ 山砂 ・ 人工 ・					粗骨材の種類	○ 砂利 ※ 砕石 ・ 人工 ・					水の区分	○ 水道水 ○ 地下水 ・ 工業用水 ・					混和材料の種類 ()	○ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤					呼び強度を保證する材齢、養生	材齢	※ 28日 ・ 56日 ・				養生	・ 現場封かん ※ 現場水中 ・ 標準													
適用箇所	種類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	品質基準強度 Fck (N/mm ²)	スラブ (cm)	備考																																																																																									
2F~RF床	※ 普通 ・ 軽量	30	24	18	比重 2.3																																																																																									
1F立上り~1F床	※ 普通 ・ 軽量	30	24	18	比重 2.3																																																																																									
基礎梁	※ 普通	30	24	15	比重 2.3																																																																																									
基礎	※ 普通	30	24	15	比重 2.3																																																																																									
捨コンクリート	※ 普通	18	18	18																																																																																										
土間コンクリート	※ 普通	18	18	15																																																																																										
押えコンクリート	※ 普通 ・ 軽量	18		15	比重 2.3																																																																																									
細骨材の種類	※ 砂 ・ 山砂 ・ 人工 ・																																																																																													
粗骨材の種類	○ 砂利 ※ 砕石 ・ 人工 ・																																																																																													
水の区分	○ 水道水 ○ 地下水 ・ 工業用水 ・																																																																																													
混和材料の種類 ()	○ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤																																																																																													
呼び強度を保證する材齢、養生	材齢	※ 28日 ・ 56日 ・																																																																																												
	養生	・ 現場封かん ※ 現場水中 ・ 標準																																																																																												
(2) 鉄筋 (異形鉄筋 JIS G 3112, 溶接金網 JIS G 3551) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>径</th> <th>継手</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">異形鉄筋</td> <td>※ SD295A</td> <td>D10~D16</td> <td>※ 重ね継手 ・ スパイラル ・ 工場溶接</td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>D19~D25</td> <td>・ 重ね継手 ※ ガス圧接 ・ 機械式継手</td> </tr> <tr> <td>※ SD390</td> <td>D29以上</td> <td>※ ガス圧接 ・ 機械式継手</td> </tr> <tr> <td>・ SD490</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td>※ 重ね継手</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 高強度せん断補強筋</td> <td>・ 1275級</td> <td>P</td> <td>・ スパイラル ・ 工場溶接</td> </tr> <tr> <td>・ 785級</td> <td>K</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 685級</td> <td>UD UR</td> <td>大臣認定番号</td> </tr> </table> 機械式継手の場合には、級を特記する。		種類	径	継手	異形鉄筋	※ SD295A	D10~D16	※ 重ね継手 ・ スパイラル ・ 工場溶接	※ SD345	D19~D25	・ 重ね継手 ※ ガス圧接 ・ 機械式継手	※ SD390	D29以上	※ ガス圧接 ・ 機械式継手	・ SD490		・	・ 溶接金網		※ 重ね継手	・ 高強度せん断補強筋	・ 1275級	P	・ スパイラル ・ 工場溶接	・ 785級	K		・ 685級	UD UR	大臣認定番号																																																																
種類	径	継手																																																																																												
異形鉄筋	※ SD295A	D10~D16	※ 重ね継手 ・ スパイラル ・ 工場溶接																																																																																											
	※ SD345	D19~D25	・ 重ね継手 ※ ガス圧接 ・ 機械式継手																																																																																											
	※ SD390	D29以上	※ ガス圧接 ・ 機械式継手																																																																																											
	・ SD490		・																																																																																											
・ 溶接金網		※ 重ね継手																																																																																												
・ 高強度せん断補強筋	・ 1275級	P	・ スパイラル ・ 工場溶接																																																																																											
	・ 785級	K																																																																																												
	・ 685級	UD UR	大臣認定番号																																																																																											
(3) 鋼材 (原則として、JIS規格製品とする) <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>通しダイヤ</th> <th>内ダイヤ</th> <th>大梁</th> <th>柱</th> <th>ブレース</th> <th>小梁他</th> </tr> <tr> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td>・ SS400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接構造用圧延鋼材</td> <td>・ SM400A ・ SM490A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建築構造用圧延鋼材</td> <td>○ SM400A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ SM400B ○ SM490B</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般構造用角形鋼管</td> <td>・ SM400C ○ SM490C</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ STKR400 ・ STKR490</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷間成形角形鋼管</td> <td>○ BCR295</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BCP235 ・ BCP325</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般構造用炭素鋼鋼管</td> <td>○ STK400 ・ STK490</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般構造用軽量形鋼</td> <td>○ SSC400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td>・ SNR400A, B ・ SNR490B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		規格名称	種類の記号	通しダイヤ	内ダイヤ	大梁	柱	ブレース	小梁他	一般構造用圧延鋼材	・ SS400							溶接構造用圧延鋼材	・ SM400A ・ SM490A							建築構造用圧延鋼材	○ SM400A						○	○ SM400B ○ SM490B		○	○	○			一般構造用角形鋼管	・ SM400C ○ SM490C	○						・ STKR400 ・ STKR490							冷間成形角形鋼管	○ BCR295					○		・ BCP235 ・ BCP325							一般構造用炭素鋼鋼管	○ STK400 ・ STK490					○		一般構造用軽量形鋼	○ SSC400						○	建築構造用圧延棒鋼	・ SNR400A, B ・ SNR490B						
規格名称	種類の記号	通しダイヤ	内ダイヤ	大梁	柱	ブレース	小梁他																																																																																							
一般構造用圧延鋼材	・ SS400																																																																																													
溶接構造用圧延鋼材	・ SM400A ・ SM490A																																																																																													
建築構造用圧延鋼材	○ SM400A						○																																																																																							
	○ SM400B ○ SM490B		○	○	○																																																																																									
一般構造用角形鋼管	・ SM400C ○ SM490C	○																																																																																												
	・ STKR400 ・ STKR490																																																																																													
冷間成形角形鋼管	○ BCR295					○																																																																																								
	・ BCP235 ・ BCP325																																																																																													
一般構造用炭素鋼鋼管	○ STK400 ・ STK490					○																																																																																								
一般構造用軽量形鋼	○ SSC400						○																																																																																							
建築構造用圧延棒鋼	・ SNR400A, B ・ SNR490B																																																																																													
(4) 高力ボルト <table border="1"> <tr> <th>高力ボルトの種類</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>トルシア形高力ボルト</td> <td>◎ S10T 全般</td> </tr> <tr> <td>JIS 形高力ボルト (JIS B 1186)</td> <td>○ F10T トルシア形が使用できない部分</td> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっきボルト</td> <td>○ F8T 母材が亜鉛めっきされている部分</td> </tr> </table>		高力ボルトの種類	使用箇所	トルシア形高力ボルト	◎ S10T 全般	JIS 形高力ボルト (JIS B 1186)	○ F10T トルシア形が使用できない部分	溶融亜鉛めっきボルト	○ F8T 母材が亜鉛めっきされている部分																																																																																					
高力ボルトの種類	使用箇所																																																																																													
トルシア形高力ボルト	◎ S10T 全般																																																																																													
JIS 形高力ボルト (JIS B 1186)	○ F10T トルシア形が使用できない部分																																																																																													
溶融亜鉛めっきボルト	○ F8T 母材が亜鉛めっきされている部分																																																																																													
(5) 普通ボルト (JIS B 1180)																																																																																														
(6) アンカーボルト <table border="1"> <tr> <td>構造用アンカーボルト (JIS G 3108)</td> <td>○ ABR400 ○ ABR490</td> </tr> <tr> <td>建方用アンカーボルト (JIS G 3101)</td> <td>○ SS400</td> </tr> </table>		構造用アンカーボルト (JIS G 3108)	○ ABR400 ○ ABR490	建方用アンカーボルト (JIS G 3101)	○ SS400																																																																																									
構造用アンカーボルト (JIS G 3108)	○ ABR400 ○ ABR490																																																																																													
建方用アンカーボルト (JIS G 3101)	○ SS400																																																																																													
(7) 頭付きスタッド (JIS B 1198) <table border="1"> <tr> <th>径</th> <th>長さ</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>16φ</td> <td>・ 80 ○ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>スラブの取付小梁、大梁</td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td></td> </tr> </table>		径	長さ	使用箇所	16φ	・ 80 ○ 100 ・ 120 ・ 150	スラブの取付小梁、大梁	19φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150		22φ	・ 100 ・ 120 ・ 150																																																																																		
径	長さ	使用箇所																																																																																												
16φ	・ 80 ○ 100 ・ 120 ・ 150	スラブの取付小梁、大梁																																																																																												
19φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150																																																																																													
22φ	・ 100 ・ 120 ・ 150																																																																																													
(8) デッキプレート (JIS G 3352) <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>型式 厚 その他</th> <th>適用箇所</th> <th>仕様等</th> </tr> <tr> <td>特殊デッキプレート</td> <td>型式 厚</td> <td>・ 床板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>デッキプレート</td> <td>型式 JF75-10 厚 1.0</td> <td>○ 床板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キーストンプレート</td> <td>型式 厚</td> <td>・ 床板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合成デッキプレート</td> <td>型式 QL99-50 厚 1.2</td> <td>○ 床板</td> <td></td> </tr> </table>		材種	型式 厚 その他	適用箇所	仕様等	特殊デッキプレート	型式 厚	・ 床板		デッキプレート	型式 JF75-10 厚 1.0	○ 床板		キーストンプレート	型式 厚	・ 床板		合成デッキプレート	型式 QL99-50 厚 1.2	○ 床板																																																																										
材種	型式 厚 その他	適用箇所	仕様等																																																																																											
特殊デッキプレート	型式 厚	・ 床板																																																																																												
デッキプレート	型式 JF75-10 厚 1.0	○ 床板																																																																																												
キーストンプレート	型式 厚	・ 床板																																																																																												
合成デッキプレート	型式 QL99-50 厚 1.2	○ 床板																																																																																												

設備関係等	
<ul style="list-style-type: none"> 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防錆のための有効な措置を講ずること。 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cmとした鉄筋コンクリート造とすること。 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。 エレベータの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。 給湯設備等は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法とすること。 (注) : 建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの。 	

 株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	-	DATE	-	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	DWG No	S
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行徳 公嗣	一級建築士 第350961号 寺川 智也 構造設計一級建築士 第10464号 津藤 雅之	一級建築士 第350961号 構造設計一級建築士 第10464号	SCALE A2 : _____ A3 : _____	001			

特記仕様書

4 地業工事

① 支持地盤等

支持地盤の確認 (4.2.4)

② 杭地業共通事項

杭地業 (4.2.2, 3) (4.3.4, 5) (4.4.4) (4.5.5)

③ 既製コンクリート杭地業

種類、材料 (4.3.3)

種類 寸法 継手、性能等 杭先端部形状

④ 鋼杭地業

材料 (4.4.3, 5)

⑤ 場所打ちコンクリート杭地業

5 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類等 (5.2.1)

② 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

③ 鉄筋の継手及び定着長さ

継手方法 (5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)

⑤ 各部配筋

各部の配筋 (5.3.7)

⑥ 圧接完了後の圧接部の試験

圧接部の試験 (5.4.10, 11)

7. 機械式継手、溶接継手

6 コンクリート共通

① コンクリート共通

コンクリート共通 (6.2.1~4) (6.3.2) (6.10.1, 2)

⑥ 砂利地業

砂利地業 (4.6.2, 3)

⑦ 捨コンクリート地業

捨コンクリート地業 (4.6.2, 4) (6.14.1)

8. 床下防湿層

床下防湿層 (4.6.2, 5)

9. 地盤改良

種類及び施工方法等

10. 液状化対策

液状化対策 (4.6.2, 5)

① 鉄筋

鉄筋の種類等 (5.2.1)

2. 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

③ 鉄筋の継手及び定着長さ

継手方法 (5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)

⑤ 各部配筋

各部の配筋 (5.3.7)

⑥ 圧接完了後の圧接部の試験

圧接部の試験 (5.4.10, 11)

7. 機械式継手、溶接継手

機械式継手、溶接継手の工法及び試験 (5.3.5) (5.5.3, 5) (5.6.3, 5)

6 コンクリート共通

① コンクリート共通

コンクリート共通 (6.2.1~4) (6.3.2) (6.10.1, 2)

2. 寒中コンクリート

寒中コンクリート (6.11.1)

3. 暑中コンクリート

暑中コンクリート (6.12.2)

4. マスコンクリート

マスコンクリート (6.2.1) (6.13.1, 2)

⑤ 無筋コンクリート

無筋コンクリート (6.14.1)

6. 流動化コンクリート

流動化コンクリート (6.2.1) (6.15.1)

⑦ 打継ぎの位置、打継目地

打継ぎの位置及び目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)

⑧ コンクリートの仕上り

コンクリート表面の仕上り状態 (6.2.5) (6.8.2)

⑨ 打増し厚さ (打直し仕上げ部)

打増し厚さ (6.8.1)

⑩ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場 (7.1.3, 4)

② 鋼材

材質等 (7.2.1)

③ 高力ボルト

ボルトの種類 (7.2.2)

④ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.12.5)

⑤ 普通ボルト

普通ボルト (7.2.3) (7.3.2)

⑥ アンカーボルト

アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)

7 鉄骨工事

⑦ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)

⑧ ターンバックル

ターンバックルの種類 (7.2.6)

⑨ 床構造用のデッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7) (7.7.8)

⑩ スタッド

種類等 (JIS B 1198 (頭付きスタッド)) (7.2.8)

⑪ 柱底均しモルタル

モルタルの種類 (7.2.9)

⑫ 製作精度

鉄骨の製作精度は、JASS 6(2018) 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による (7.3.3)

13. 鉄骨の仮組

仮組を行う範囲 (7.3.10)

14. 溶接作業を行う技術資格者

溶接作業者の技能付加試験 (7.6.3)

⑮ 溶接接合

溶接接合 (7.6.4, 7)

16. 入熱、バス間温度の溶接条件

入熱、バス間温度の溶接条件 (7.6.10)

⑰ 溶接部の試験

溶接部の試験 (7.6.12)

⑱ 錆止め塗装

塗装の範囲 (7.8.2)

20 アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの設置等 (7.10.3)

⑳ 形状量尺構造

ボルト接合方法 (7.11.2)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

共通事項

鉄筋の断面表示は、下記による。

記号	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊙	⊗
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及び寸法は、表1.1を標準とする。

図	折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径(D)
	180°	SD295A	D16以下	3d以上
	135°	SD345	D19~D38	4d以上
	90°	SD390	D38以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	
	90°	SD295A	D29~D38	6d以上
	90°		D16以下	3d以上
	135°	SD305	D19~D25	4d以上

1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
 2. 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2.1 継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
 (2) 鉄筋の重ね継手の長さは、次による。

1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。耐力壁の鉄筋の重ね継手の場合、特記がなければ40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表2.1の重ね継手長さのうち大きい値とする。
 2) 1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表2.1による。

コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線重ね継手の長さ L_{1h}				フック付き重ね継手の長さ L_{1h}			
	SD295A	SD345	SD390	SD490	SD295A	SD345	SD390	SD490
18	45d	50d	—	—	35d	35d	—	—
21	40d	45d	50d	—	30d	30d	35d	—
24~27	35d	40d	45d	55d	25d	30d	35d	40d
30~36	35d	35d	40d	50d	25d	25d	30d	35d
39~45	30d	30d	40d	45d	20d	20d	30d	35d
48~60	30d	30d	35d	40d	20d	20d	25d	30d

(注) 1. L_{1h} : フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
 2. フックありの場合の L_{1h} は、図2.1に示すようにフック部分 l を含まない。
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

図2.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着、定着方法は次による。
 1) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、表2.3により、適用は特記による。
 2) 1)以外の鉄筋の定着の長さは、表2.3による。

コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ L_2				フックあり定着の長さ L_{2h}			
	SD295A	SD345	SD390	SD490	SD295A	SD345	SD390	SD490
18	40d	40d	—	—	30d	30d	—	—
21	35d	35d	40d	—	25d	25d	30d	—
24~27	30d	35d	40d	45d	20d	25d	30d	35d
30~36	30d	30d	35d	40d	20d	20d	25d	30d
39~45	25d	30d	35d	40d	15d	20d	25d	30d
48~60	25d	25d	30d	35d	15d	15d	20d	25d

(注) 1. L_1 、 L_{1h} : 2. 以外のフックなし直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L_2 、 L_{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所へのフックなし直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L_{2h} : 小梁及びスラブの下端筋のフックなし直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
 4. L_{2h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり直線定着の場合は、図2.2に示すようにフック部分 l を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

図2.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(2) 梁主筋の柱内定着の方法又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図2.3に示すように、全長を表2.3に示すフックなし直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表2.4に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上）をのみみさせる。

図2.3 折曲げ定着の方法

NOTE

株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (第4571号)	JOB.No	DATE	TITLE	DWG.No
一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行徳 公嗣	寺川 智也		三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	S
				鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	003

(3) 隣り合う継手の位置は、表2.2による。
 ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

表2.2 隣り合う継手の位置

重ね継手の場合	直線重ね継手の長さ L_{1h}	

図2.4 溶接金網の継手及び定着

図2.5 スパイラル筋の継手及び定着

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着、定着方法は次による。
 1) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、表2.3により、適用は特記による。
 2) 1)以外の鉄筋の定着の長さは、表2.3による。

コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ L_2				フックあり定着の長さ L_{2h}			
	SD295A	SD345	SD390	SD490	SD295A	SD345	SD390	SD490
18	40d	40d	—	—	30d	30d	—	—
21	35d	35d	40d	—	25d	25d	30d	—
24~27	30d	35d	40d	45d	20d	25d	30d	35d
30~36	30d	30d	35d	40d	20d	20d	25d	30d
39~45	25d	30d	35d	40d	15d	20d	25d	30d
48~60	25d	25d	30d	35d	15d	15d	20d	25d

コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ L_3		フックあり定着の長さ L_{3h}	
	SD295A~SD390	SD295A~SD390	SD295A~SD390	SD295A~SD390
18~60	小梁 20d (片持ち小梁の場合は25d)	スラブ 10dかつ150mm以上 (片持ちスラブの場合は25d)	小梁 10d	スラブ —

(注) 1. L_1 、 L_{1h} : 2. 以外のフックなし直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L_2 、 L_{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所へのフックなし直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L_{2h} : 小梁及びスラブの下端筋のフックなし直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
 4. L_{2h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり直線定着の場合は、図2.2に示すようにフック部分 l を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

表2.5 鉄筋の投影定着の長さ

コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線重ね継手の長さ L_1				フック付き重ね継手の長さ L_{1h}			
	SD295A	SD345	SD390	SD490	SD295A	SD345	SD390	SD490
18	20d	20d	—	—	15d	20d	—	—
21	15d	20d	20d	—	15d	20d	20d	—
24~27	15d	20d	20d	25d	15d	15d	20d	—
30~36	15d	15d	20d	25d	15d	15d	15d	—
39~45	15d	15d	15d	20d	15d	15d	15d	—
48~60	15d	15d	15d	20d	15d	15d	15d	—

(注) 1. L_1 : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
 2. L_{1h} : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(3) 溶接金網の継手及び定着は、図2.4による。なお、 L_2 及び L_{2h} は表2.3.4の(注)による。

(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図2.5による

3.1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表3.1による。
 ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	20
	屋内	30
	屋内	30
	屋外	40
土に接する部分	擁壁、耐圧スラブ	40
	柱、梁、スラブ、壁	* 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	* 60
煙突等高温を受ける部分	60	

(注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は表3.1は適用せず特記による。
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗料、塗装等）のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さは、捨コンクリートの厚さを含めない。
 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、表3.1は適用せず特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図3.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手のあきは、特記による。
 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 (2) 25mm
 (3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍

図3.1 鉄筋相互のあき

D は、鉄筋の最大外径

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
 (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

4.1 直接基礎の配筋

(a) 独立基礎

(b) 連続基礎

(c) 基礎梁の配筋

(d) 基礎梁の配筋

0 < $D \leq 200$ 200 < $D \leq 1,000$

※ L_{2h} を確保できない場合は、横仕 (5.3.4 (e) (3)) によることができる。

5.1 基礎梁

(a) 一般事項

(1) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b) (4)による。

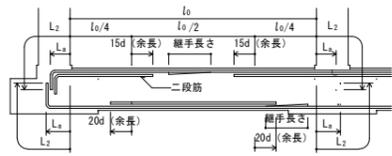
図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

図5.2 主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. ≡印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）
 5. 梁主筋のカットオフ位置は構造図による。構造図に無い場合は上記による。

(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
- 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せい×3/4以上)
- 5. 梁主筋のカットオフ位置は構造図による。構造図に無い場合は上記による。

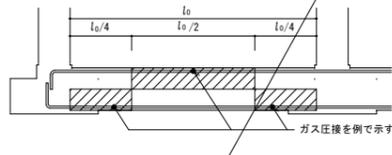
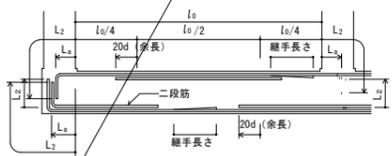


図5.3 主筋の継手、定着及び余長(その2)

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
- 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せい×3/4以上)
- 5. 梁主筋のカットオフ位置は構造図による。構造図に無い場合は上記による。

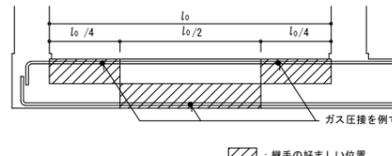


図5.4 主筋の継手、定着及び余長(その3)

5.2 基礎梁のあばら筋等

(a) 一般事項

- (1) あばら筋の径および間隔は、特記による。
- (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

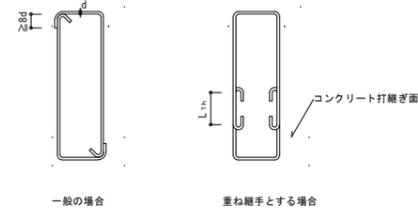


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

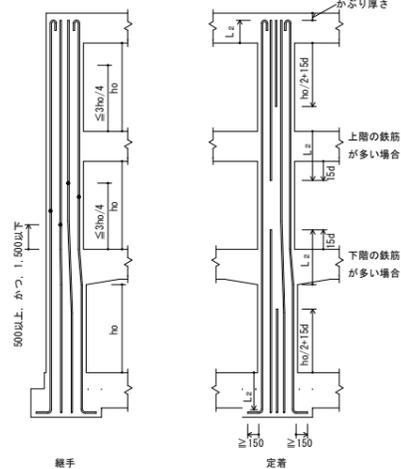
(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は特記による。

(c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

(a) 一般事項

- (1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4 (hoは柱の内法高さ) 以下とする。
- (2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。ただし、柱固定長さL2が確保できない場合は、特記による。



- (注) 1. 柱の隅隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
- 2. 隣り合う継手の位置は、表2.2 [隣り合う継手の位置] による。
- 3. 継手及び定着は、すべての層に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

6.2 帯筋

(a) 帯筋の種類及び間隔は、特記による。

(b) 帯筋組立の形は図6.2により、適用は特記による。

- (1) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- (2) 溶接する場合の有効溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
- (3) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の巻き巻きを行う。

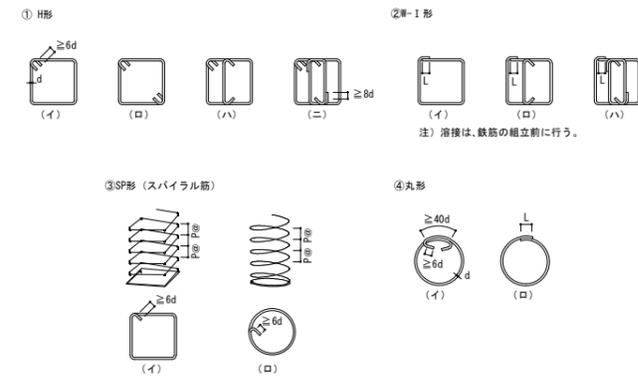
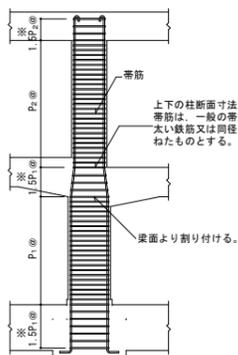


図6.2 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図6.3とし、それ以外の場合は特記による。



- (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
- 2. 柱・梁接合部の帯筋間隔は構造図による。構造図にない場合は、上図※による。
- 3. 柱に取り付け梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.SP1または1.SP2とする範囲は、その柱に取り付けすべての梁を考慮して適用する。
なお、P1、P2は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.3 帯筋の割付け

7.1 大梁

(a) 一般事項

- (1) 梁の上がり下がり又はFL又はSLを基準とした寸法値とする。
- (2) 基礎梁下の砂利地床厚及び捨コンクリート地床厚は特記による。
- (3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 l0/2 以内
下端筋：柱面より梁せい(D) 以上離し、l0/4 を加えた範囲以内
- (2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3による。
- (3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。



図7.1 梁主筋の梁内定着

(4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は2.1(b)(2)による。

- 上端筋：曲げ降ろす
- 下端筋(一般)：原則として、曲げ上げる。
- 下端筋(ハンチ付き)：原則として、曲げ上げる。

(5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は特記による。

(6) 段違い梁は、図7.2による。

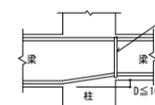
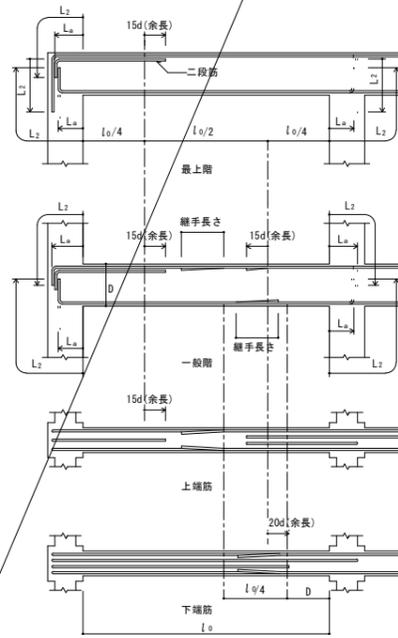


図7.2 段違い梁

(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合には、フックを付ける。
- 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せい×3/4倍以上)
- 5. 梁主筋のカットオフ位置は構造図による。構造図に無い場合は上記による。

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

7.2 あばら筋等

(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

- (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
- (2) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.5による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは特記による。
- (3) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10~1,000程度とする。

(b) あばら筋組立の形及びフックの位置

- (1) 標準形は、図7.4(イ)とする。
ただし、L形梁の場合は、(ロ)または(ハ)、T形梁の場合は(ロ)~(ニ)とすることができる。
- (2) フックの位置

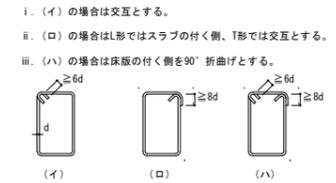
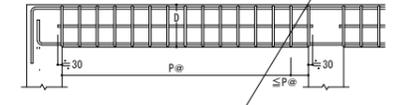


図7.4 あばら筋組立の形

(c) あばら筋の割付け

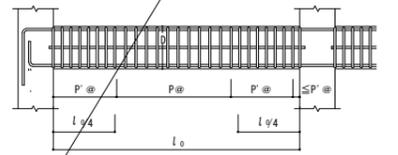
(1) 間隔が一様でハンチのない場合は、図7.5による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
- 2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.5 あばら筋の割付け(その1)

(2) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.6による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
- 2. 図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け(その2)

(d) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁は、図7.7による。

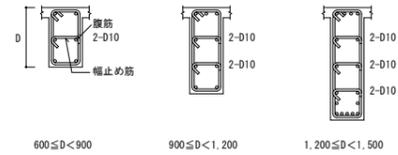
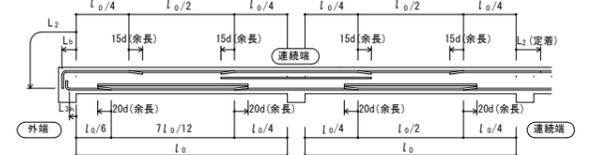


図7.7 腹筋および幅止め筋

7.3 小梁

(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長

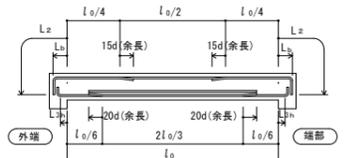
(1) 連続小梁の場合は、図7.8による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
- 2. 印は、余長位置を示す。

図7.8 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(b) 単独小梁の場合は、図7.9による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
- 2. 印は、余長位置を示す。

図7.9 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

(c) あばら筋は、7.2による。

NOTE

株式会社 あい設計 福山支社

株式会社 あい設計 福山支社
一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

JOB No
DATE

TITLE

三原西消防署庁舎建設工事(建築主体工事)

DWG No
S
004

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋

一級建築士 第350767号 行徳 公嗣
寺川 智也

一級建築士 第353061号
構造設計一級建築士 第10464号
津曲 雅之

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

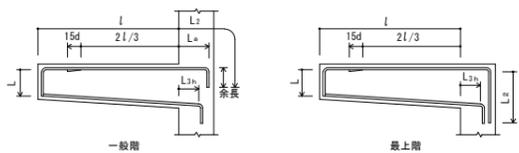
SCALE A2: A3:

AI2019.11.1

7.4 片持梁

(a) 片持梁主筋の定着及び余長

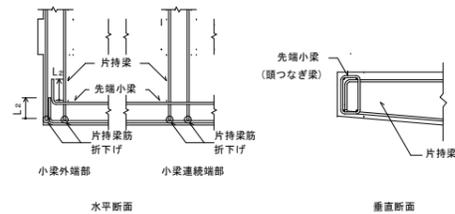
(1) 先端に小梁のない場合は、図7.10による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、余長位置を示す。
 3. 先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.10 片持梁主筋の定着及び余長

(2) 先端に小梁がある場合は、図7.11による。



- (注) 1. 図示のない場合は、(1)による。
 2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.11 片持梁主筋の定着

(b) あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

(a) 一般事項

- (1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さを l_1 、定着長さを l_2 とする。
 (2) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 (3) ER ∞ 、EK ∞ 、ER ∞ の配筋はW ∞ 、K ∞ 、R ∞ に同じで、かぶり厚さ、定着長さ及び継手長さは、2.11による。
 (4) 打増し部分に、壁及びスラブ等が取り付く場合は、壁及びスラブ等の定着長さには打増し部分を含まない。

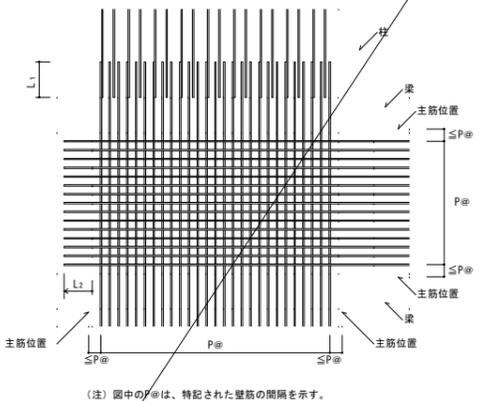
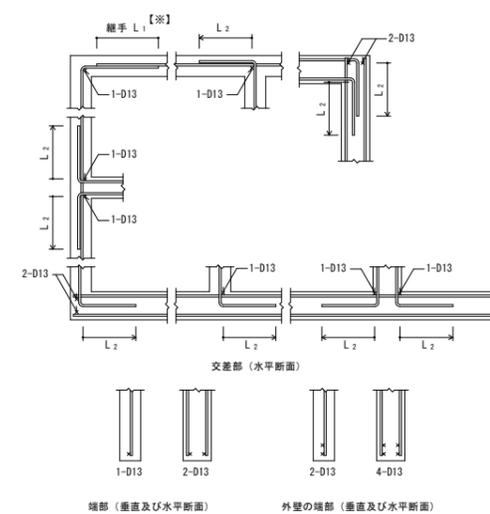


図8.1 壁の配筋

(b) 壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。



※ 耐震壁の場合は、表2.1の直線重ね継手の長さ l_1 と、2.1.(a)(3)に規定する重ね継手長さのうち、大きい値を全長で確保する。

図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

(1) 壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

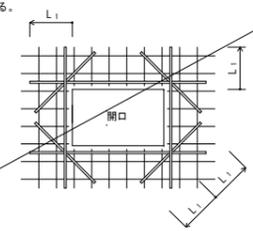


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

9.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上り下りは、FL又はSLを基準とした寸法値とする。
 (2) 土間スラブ下の砕石厚及び捨てコンクリート厚は特記による。
 (3) 土間コンクリート補強筋(DC)の配筋及びコンクリート厚さは特記による。

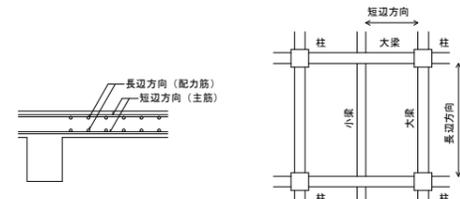


図9.1 スラブの配筋

- (4) 配筋の新付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
 (5) 鉄筋の重ね継手長さは、 l_1 とする。
 (6) 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

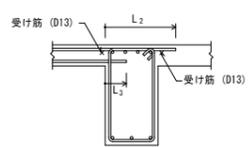


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

9.2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。

(1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、特記による。

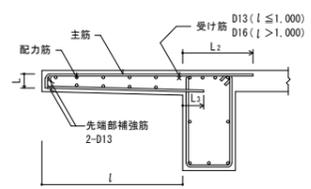


図9.4 片持スラブの配筋

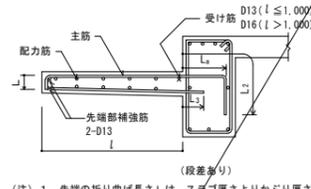


図9.5 片持スラブの配筋

(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

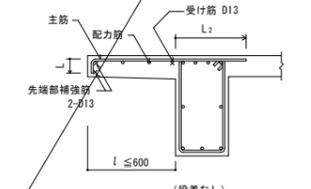


図9.5 片持スラブの配筋

(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

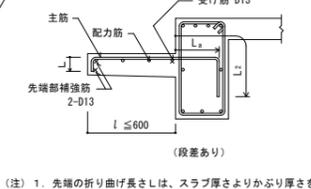


図9.5 片持スラブの配筋

(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

(2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

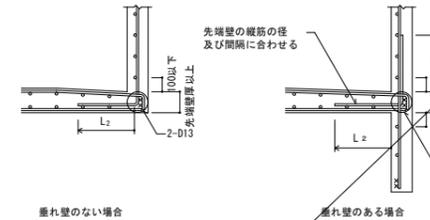
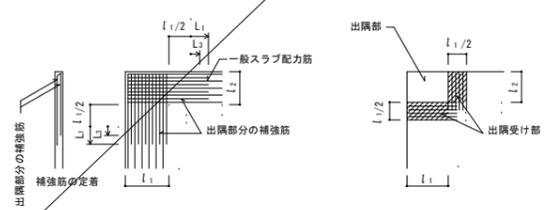


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

(3) 出隅部

(i) 補強の配筋は特記により、配筋方法は、図9.7による。

(ii) 出隅部分及び出隅受け部 (図9.7の斜線部分) の補強筋は特記による。



(注) $l_1 \geq l_2$ とする
 2. 出隅受け部配筋は柱又は梁に l_1 定着する。

図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

(a) スラブ開口部の補強は、以下の (i)、(ii) を除いて特記による。

(i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 ($l = 2l_1$) シングルを上下筋の内側に配筋する。

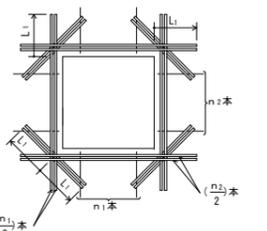


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

(ii) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

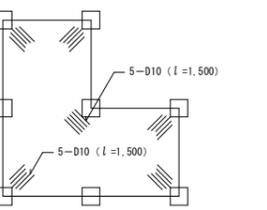


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 土間スラブの打継ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。

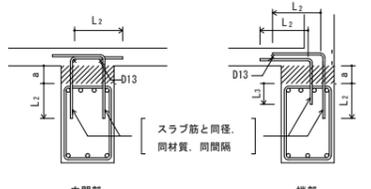


図9.10 打継ぎ補強配筋

NOTE

(d) 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、特記による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。土間コンクリートとは、DC表示された床構造をいう。

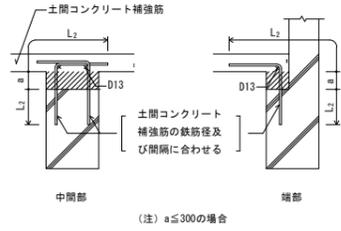


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

(b) 梁貫通孔の補強形式は表10.1～表10.3により、配筋種別は特記による。なお、現場においてH形、MH形、MH形の補強に代わり大臣認定品又は日本建築センターの性能評価を取得した既製梁貫通孔補強等を使用する場合は、監督職員に計算書を提出し承諾を得た場合に限り使用できるものとする。

表10.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) . は、一般部分のあばら筋を示す。

表10.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13		

(注) . は、一般部分のあばら筋を示す。

表10.3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH6	4-2-D16			
MH7	4-2-D19			

(注) . は、一般部分のあばら筋を示す。

10.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図10.1による。
 - 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
 - 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より1/30の範囲には設けてはならない。
 - 孔は、柱面から原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び耐力壁付帯梁は除く。
 - 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図10.2による。
 - 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 - 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 - 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 - 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

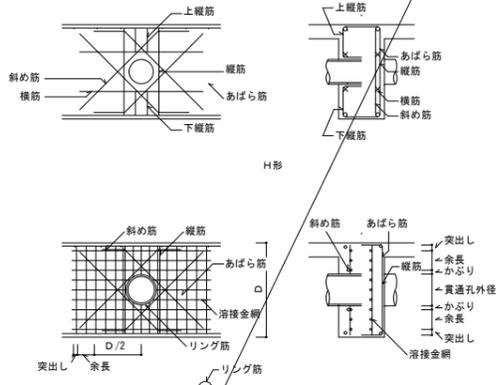


図10.1 梁貫通孔補強筋の名称等

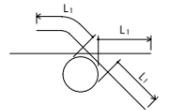


図10.2 補強筋の定着長さ

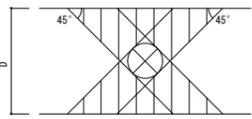


図10.3 他の貫通孔を設けない範囲

10.2 コンクリートブロック縦壁との取合い

- (a) 控壁は、次による。
- 控壁の配置は、特記による。
 - 配筋は、図10.4による。

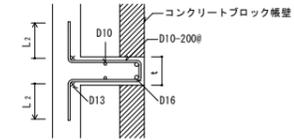


図10.4 控壁の配筋(水平、垂直とも)

- (b) 縦壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図10.5による。

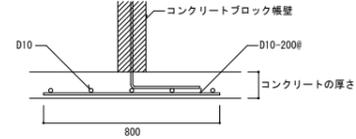


図10.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

NOTE

あい設計
 株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋
 一級建築士 第350767号 行株 公嗣

株式会社 あい設計 福山支社
 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号
 寺川 智也

JOB No -
 DATE -
 一級建築士 第353061号
 構造設計一級建築士 第10464号
 津曲 雅之

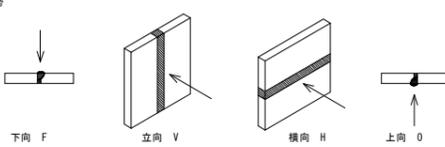
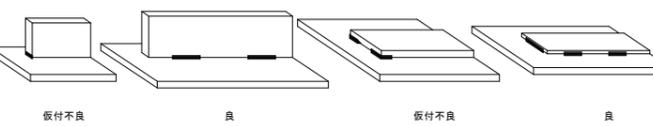
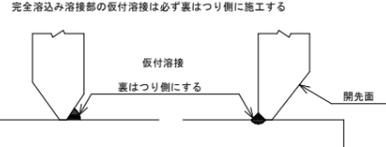
TITLE
 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)
 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (4)

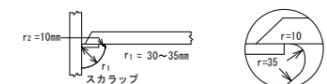
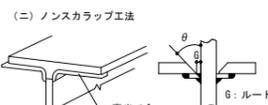
SCALE
 A2 : —
 A3 : —

DWG No
 S
 006

鉄骨標準図

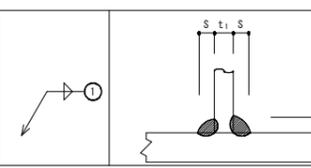
1. 共通事項

- (1) 材料及び検査
 (a) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 (b) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
 (a) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 (b) 高強度鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
 (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外縁2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。
- (4) 溶接接合
 (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること
 (b) 溶接技能者
 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z 3801 (手溶接) 又はJIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 (c) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 (d) 溶接方法
 アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク溶接 (GC)
 セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AG)
 (e) 溶接姿勢

 (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置
 組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

 (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

 (e) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 2) エンドタブの材質は、母材と同質とする
 3) エンドタブの長さ、MC: 35mm以上
 NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

 (ロ) 裏当て金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾25mm以上を原則とする
 但し、溶接性能が確認できれば監督職員の承認を得て変更することができる
 (ハ) スクラップ 半径は30~35mmと10mmのダブルールとする
 但し梁せいが0~150mm未満の場合スクラップはr=20mmとする

 (ニ) ノンスクラップ工法

 (ホ) 裏はつり
 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接管理者の確認を履行し、部材に確認マークを付ける
 (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面を傷めない様に養生を行なう

2. 溶接基準図 (注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長

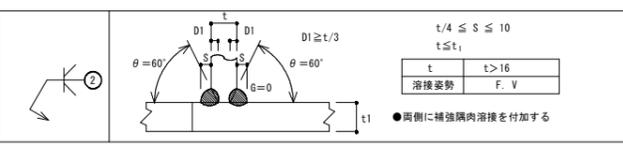
(1) 隅肉溶接



t ≤ 16			
t	7以下	8~10	11~13
S	6	7	10

- 但し片面溶接の場合は S=t とする
- t は t1、t2 の小なる方とする
- 余盛は (1+0.1S) mm 以下とする
- 軸力が加わる場合は S は母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所) に注意

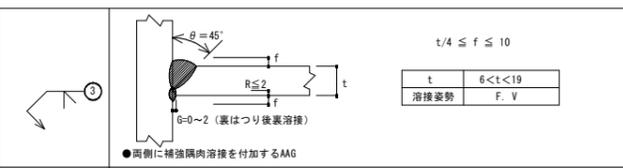


t/4 ≤ S ≤ 10	t ≤ t1
t	t > 16

溶接姿勢 F、V
 ● 両側に補強隅肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

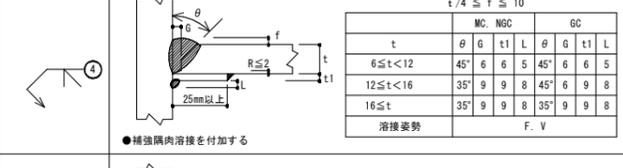
● 隅肉に補強隅肉溶接を付加する AAG



t/4 ≤ f ≤ 10			
t	6 < t < 19		

溶接姿勢 F、V

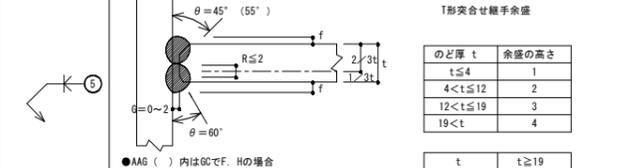
(4) 補強隅肉溶接を付加する



t/4 ≤ f ≤ 10			
t	θ	G	L
6 ≤ t < 12	45°	6	5
12 ≤ t < 16	35°	9	8
16 ≤ t	35°	9	8

溶接姿勢 F、V

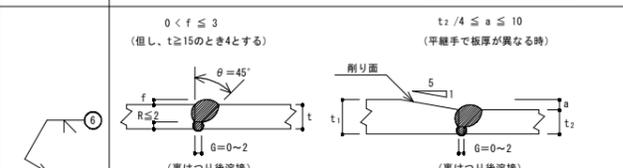
(5) 隅肉に補強隅肉溶接を付加する



t/4 ≤ f ≤ 10			
T形突合せ継手余盛			
のど厚 t	余盛の高さ		
t ≤ 4	1		
4 < t ≤ 12	2		
12 < t ≤ 19	3		
19 < t	4		

溶接姿勢 F、V

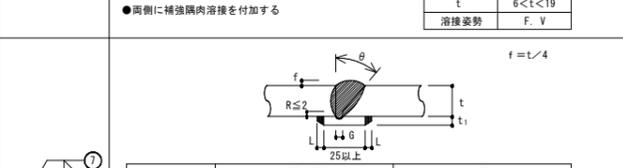
(6) 0 < f ≤ 3 (但し、t ≥ 15 のとき 4 とする) (平継手で板厚が異なる時)



t/4 ≤ a ≤ 10			
t	6 < t < 19		

溶接姿勢 F、V

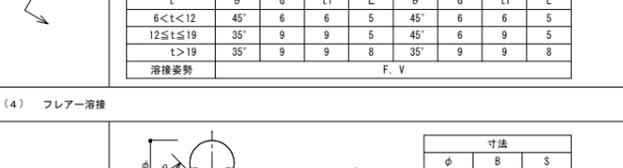
(7) 隅肉に補強隅肉溶接を付加する



f = t/4			
t	θ	G	L
6 < t < 12	45°	6	5
12 ≤ t ≤ 19	35°	9	5
t > 19	35°	9	8

溶接姿勢 F、V

(8) フレア溶接

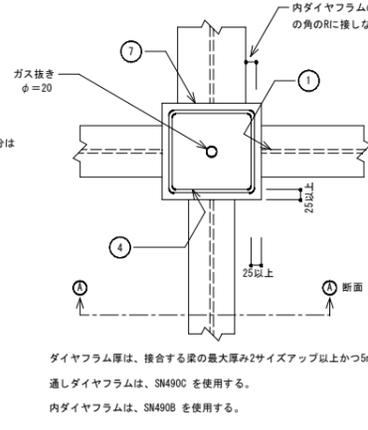
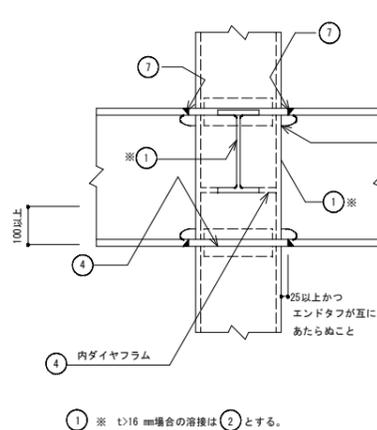
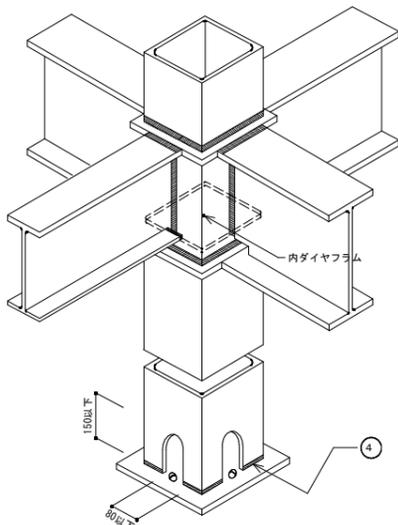


寸法		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

● フレア溶接長は、鋼材に接する全長とする
 ● 9~16は1バス以上、19以上は2バス以上とする
 溶接傾角 θ は 30° ~ 40° とする

※溶接記号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



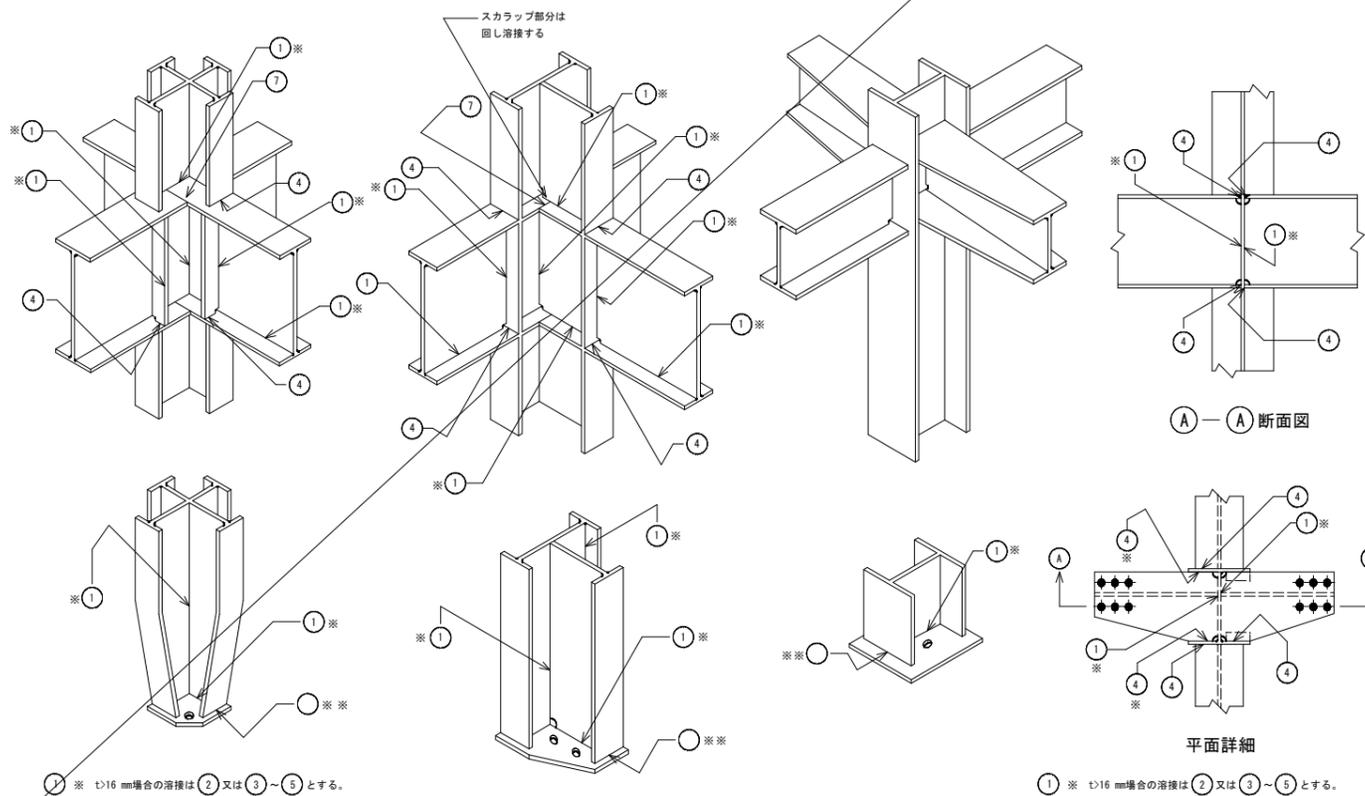
※スクラップを用いる場合は、改良型とすること。

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス開温度 (°C)
40N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	JIS Z 3312 YGW-11, 15 YGW-18, 19		
	JIS Z 3315 YGA-50W, 50P		
49N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	JIS Z 3312 YGW-11, 15 YGW-18, 19		
	JIS Z 3315 YGA-50W, 50P		

注) STKR、BCR、BCP材はJIS Z 3312のみ使用可
 「特記仕様書 (構造関係)」 「鉄骨工事」 「鉄骨製工場」
 定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

●H型



NOTE	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
	一級建築士 第34064号 佐藤 彰洋	一級建築士 第35076号 行徳 公嗣	一級建築士 第353061号 構造設計一級建築士 第10464号 津曲 雅之	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	S 007

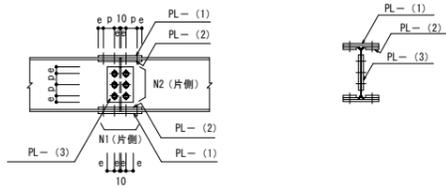
3. 継手標準図, その他

(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)

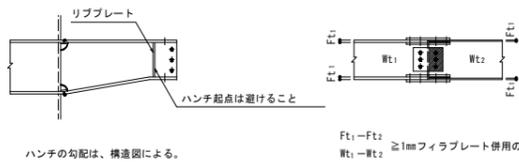
呼び	ボルト径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2) (3) の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) セン断線・手動ガス切断線の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

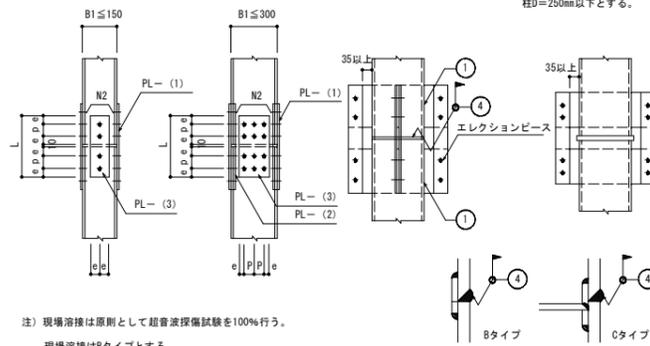
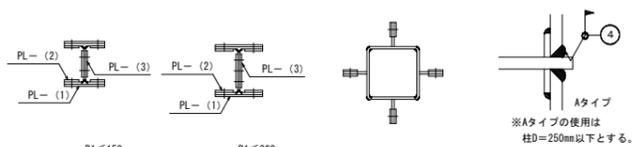
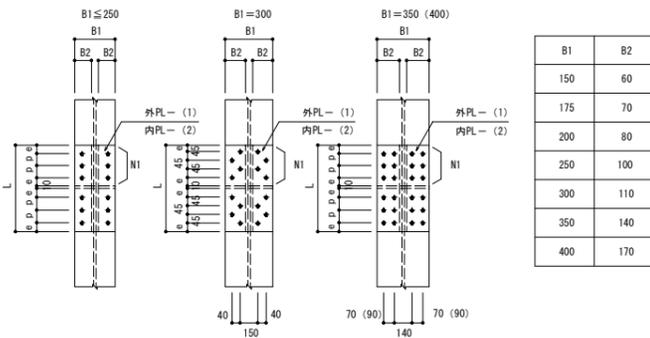
(2) 剛接合継手 (SCSS-H97による)



(3) ハンチ部の継手



(4) 柱継手



[注] 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う。
現場溶接はBタイプとする

(5) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする: JIS A 5540・・・・1982/5541・5542・・・・1993)

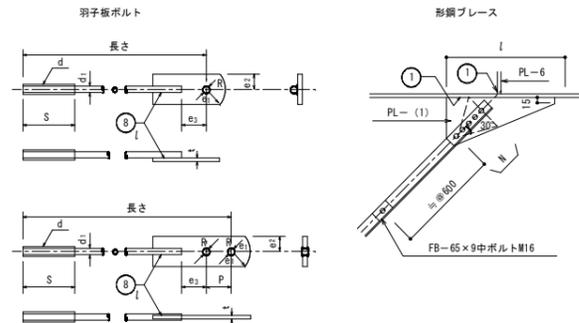
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径許容差 ±0.5mm	R 13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小) (2) e ₁	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (最小) (1) e ₂	22	28	28	34	34	38
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
平鋼製	へりあき (最小) (1) e ₂	19	25	25	32.5	32.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき (最小) e ₃	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小) l	40	50	55	60	75	85	85

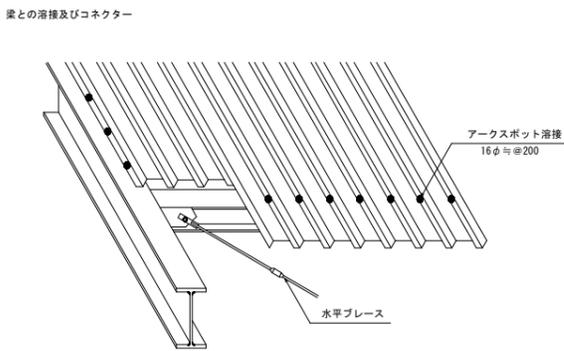
(2) 取付ボルト

種類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g10.9						
ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
本数	1	1	1	1	1	1	2

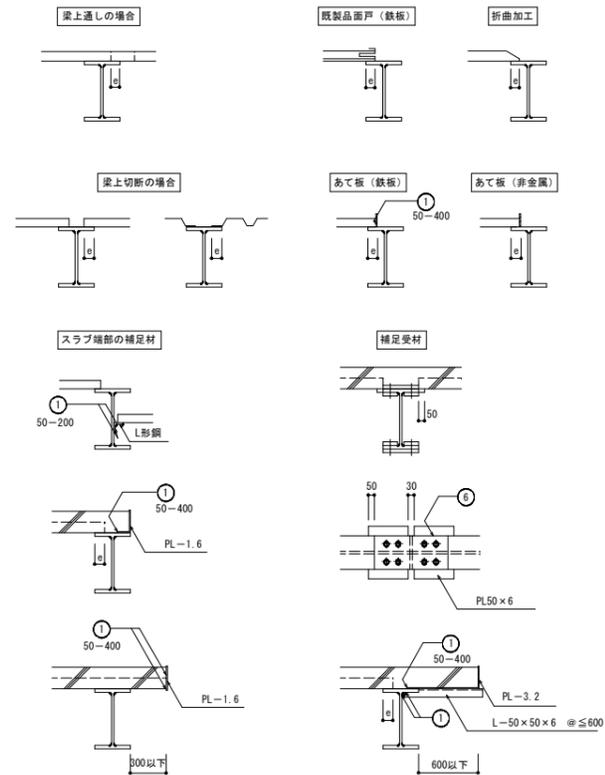
- [注] 1) e₁、e₂ が確保されていれば形状は自由でよい。
2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする。



(6) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

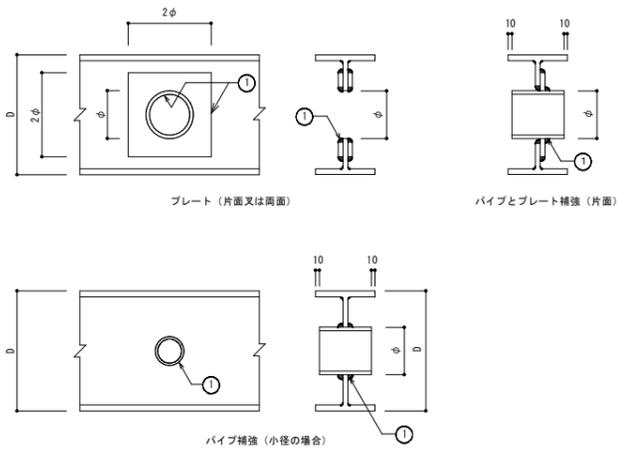


受梁へのかかり寸法及び端部処理 e ≥ 35mm



(7) 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法及び補強方法によらずに良い。
- 梁端部 (スパンの 1/10 以内かつ 20 以内) は避ける。
- φ ≤ 0.4D
- φ は補強板の穴径を示す



QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様① JFE 建材 株式会社

合成スラブ工業会仕様

[耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用]

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(一社)日本鋼構協会の「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■ QL99-50	2.7	表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) [*]
□ QL99-75	3.4	■ 塗鉛めっき [■ Z12 □ Z27]
		□ JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) [□ Y18 □ Y27]
		□ その他 () □ 無し

材質 JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G

材料/コンクリート

種別	種類	設計基準強度	厚さ(QLデッキ山)
普通コンクリート	■ 普通コンクリート	21	60
	□ 軽量コンクリート(□1種 □2種)	24	70
軽量コンクリート	■ 普通コンクリート	27	80
	□ 軽量コンクリート(□1種 □2種)	30	90

材料/溶接金網・異形鉄筋

溶接金網	異形鉄筋
□ 溶接金網 JIS G 3551	□ φ6-75×75 □ φ6-100×100 □ φ6-150×150 □ φ6-200×200
■ 異形鉄筋 JIS G 3112, 3117	■ D10-150×150 □ D10-200×200 □ ()
耐火補強筋 JIS G 3112, 3117	D13-φ300

接合

梁との接合	条件
■ 頭付きスタッド	JIS B 1198 □ φ13 ■ φ16 □ φ19 □ φ22 (各長さ・ピッチは特記による [*])
□ 焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□ 打込み板	接合面は特記による
□ その他	()

耐火

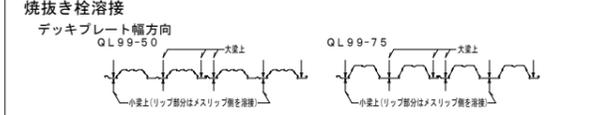
デッキプレート	耐火区分	支持条件	コナリ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純	普通/軽量	要	FP060FL-9101
		連続		不要	FP060FL-9095
QL99-75	床2時間	単純	普通/軽量	要	FP120FL-9113
		連続		不要	FP120FL-9107

特記 支保工有無 □ 有 □ 無

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向 QL99-50

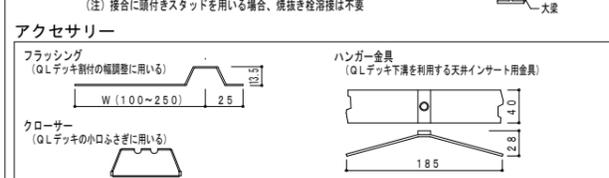
デッキプレートスパン方向



デッキプレートスパン方向

Aw = () mm

ハンガール金具



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)

コンクリート厚(mm)	60	70	80	90	100
単純(内法)	2.52	2.75	3.00	3.25	3.50
2連続	3.38	3.67	3.96	4.25	4.54
3連続	3.12	3.40	3.68	3.96	4.25

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(D10-φ200)	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
		QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照
		軽量コンクリート	3.0m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照

【単純支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(D10-φ200)	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
		QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照
		軽量コンクリート	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照

【RC又はSRC梁】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋(D10-φ200)	許容積荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照
		QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5)B参照
		軽量コンクリート	2.7m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5)A参照



付帯条件

連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小等によって、ほぼ等間隔(スパン比3:2を超えない程度^{*})に支持されるものとする。

施工順序

敷込み

鉄骨梁の場合

1) 敷込み時に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止めの溶接する。

2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。

3) デッキプレート長手方向の大梁のかり代は、50mm以上あることを確認する。

RC梁またはSRC梁の場合

1) デッキプレートは梁型枠に打ち込む。

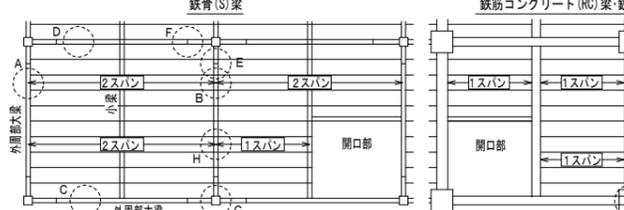
2) デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmあることを確認する。

QL99-75 (単位: m)

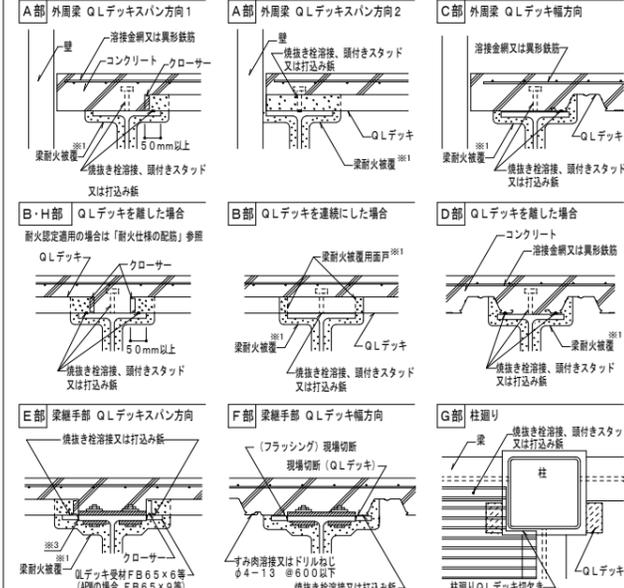
コンクリート厚(mm)	60	70	80	90	100
単純(内法)	3.31	3.61	3.91	4.21	4.51
2連続	4.02	4.30	4.58	4.86	5.14
3連続	3.78	4.05	4.32	4.59	4.86

標準納まり

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQLデッキ耐火認定を適用する場合に必要。 ※3 溶接方法等は別途設計が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

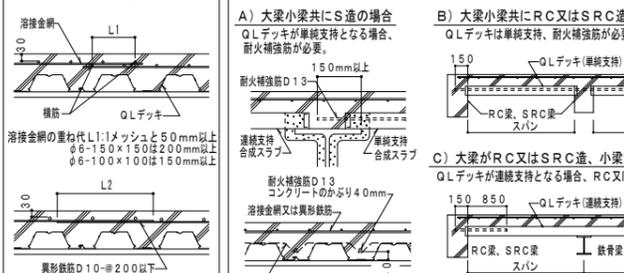


デッキプレートと梁の納まり [S梁]



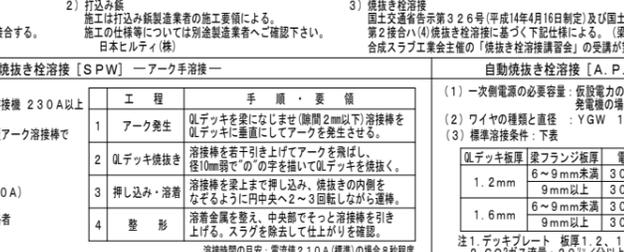
スラブの配筋

コンクリート表面よりかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

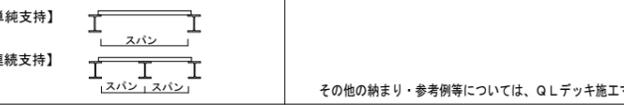


耐火仕様の配筋

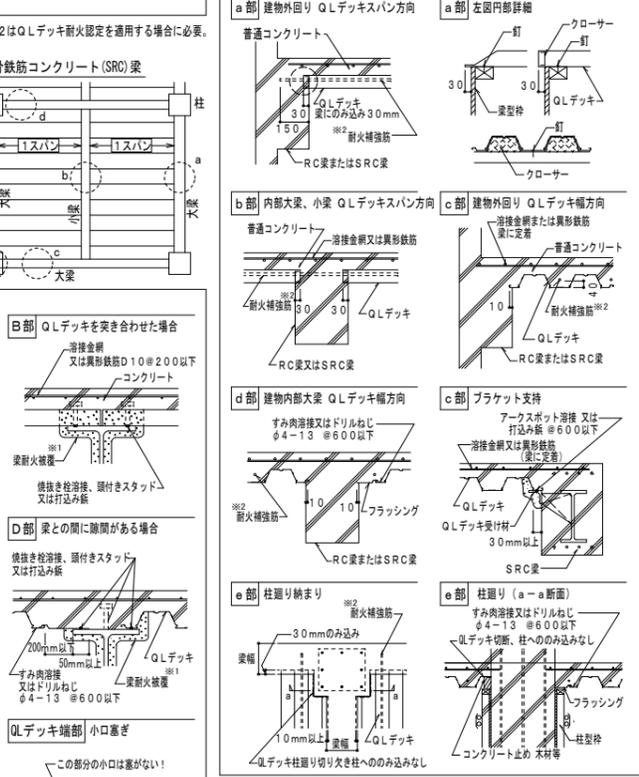
QLデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を各スパンに配筋する。配筋はJASS5鉄筋コンクリート工事による。耐火補強筋・隅部補強筋が必要な場合、QLデッキの各隅部中央にφ4mmの配筋する。



デッキプレートと梁との接合

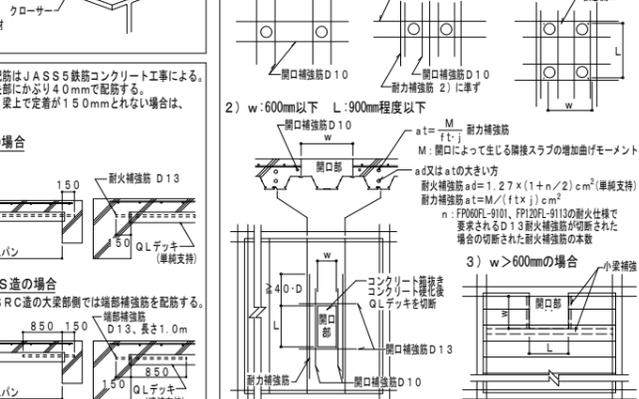


デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



開口部補強案

開口部が連続している場合、連続する開口部の開口部位置と異なるし、その開口部の大きさにより、2又は3に準じて補強を行う。



検査

【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)】

事前検査

SPW: 適正な溶接を行うため(下記)または(2)の方法で電流値をチェックする。

1) 検査計の計測

2) 溶接棒の消費長さによる確認 — 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、10mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであることを、A.P.W. 試し溶接を行った溶接棒を確認する。

溶接棒の外観検査

2) 焼き切れ、余剰り不足の有無

3) 溶接部の確認 SPW: 18mm以上 A.P.W.: 25mm±3

不良部の補修

SPWの場合: スラッグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。不具合箇所は溶接棒を流し込む必要で補修。

A.P.W.の場合: 重ね溶接して補修する。

【その他】

(1) QLデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

梁貫通孔補強材 MAXウェブレン標準仕様書

テイエム技研株式会社

本社 〒893-0032 鹿児島県鹿屋市川西町3949
TEL:0994-43-4341 FAX:0994-43-4471

東京支店 〒157-0065 東京都世田谷区上祖師谷2-32-35 グランツTM 2階
TEL:03-5315-5888 FAX:03-5315-5889
E-mail:tmgkty@tmgiken.com

大阪支店 〒536-0013 大阪府城東区嶋野東3-5-14
TEL:06-6965-1171 FAX:06-6965-1181
E-mail:tmosaka@tmgiken.com

※同等品とする

1. 一般事項

- 本仕様書は、(財)日本建築センターの一般評定「BCJ評定-RC0097-05」に適合するように標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- 本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」及び「建築工事標準仕様書・同解説 (JASS5) 鉄筋コンクリート工事」による。

2. 適用範囲

(1) 使用材料

a) コンクリート設計基準強度

$$21 \leq F_c \leq 80 \text{ N/mm}^2$$

b) 主筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD295B, SD345, SD390, SD490

高強度鉄筋のうち以下の種類

SD590, SD685 ただし、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

c) あばら筋

普通鉄筋のうち以下の種類

SD295A, SD295B, SD345, SD390

高強度鉄筋のうち以下の種類

685 N/mm², 785 N/mm² 級または1275 N/mm² 級高強度鉄筋のうち、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品

d) 開孔補強筋

ストロングフープ用棒鋼 (MSRB-0005) KSS785

(2) 開孔径および位置

a) 開孔径 H

あばら筋に普通強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 750\text{mm}$

あばら筋に高強度鉄筋を用いる梁 $100\text{mm} \leq H \leq 450\text{mm}$

開孔の形状は円形または多角形とし、梁成の1/3以下とする。

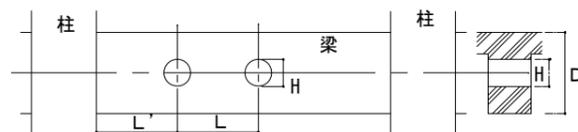
(多角形の場合は外接する円形とみなす。)

b) 開孔中心間距離 L

開孔中心間距離は、開孔径の3倍以上とする。また、隣り合う開孔径が異なる場合には、双方の開孔径の平均値の3倍以上とする。

c) 柱際から開孔中心までの距離 L'

柱面から梁せい以上離すこととする。但し、基礎梁については1.0m以上とする。



d) へりあきの最小寸法

梁せい $450\text{mm} \leq D < 700\text{mm}$ へりあき 175mm

梁せい $700\text{mm} \leq D < 900\text{mm}$ へりあき 200mm

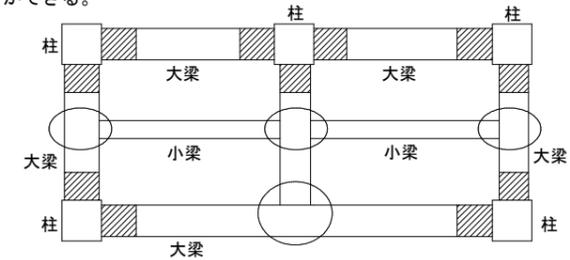
梁せい $900\text{mm} \leq D$ へりあき 250mm

e) 梁が交差する場合の梁面から開孔中心までの距離

開孔補強筋が直交する梁の配筋と干渉しない範囲で開孔を設けることができる。

■ : 柱面から梁せい以上離す。

○ : 大梁、小梁とも開孔補強筋が直交する梁の配筋に干渉しない範囲で開孔可。



3. 標準配筋図

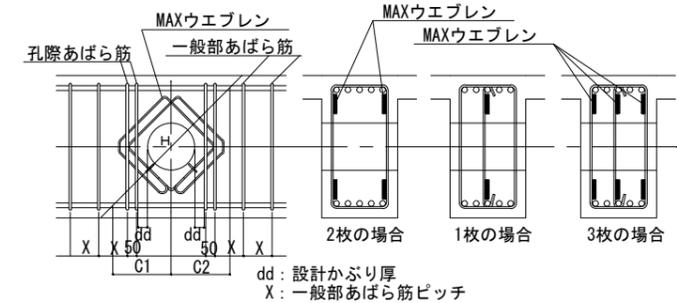
(1) MAXウェブレンの取り付け位置

MAXウェブレンはあばら筋の内側に取り付け。

3枚以上施工する場合は中子筋へ取り付け、開孔補強筋を連続固定できるJ筋 (ジョイント金具) により施工する。

(2) 孔際あばら筋

孔際あばら筋は、原則として一般部あばら筋と同種、同径、同本数とし、開孔部の両側に1組以上配筋する。位置は開孔縁から設計かぶり厚さを確保した位置に1組目を配筋し、複数組配筋する場合は、その間隔を50mmとする。



4. 大開孔時の補強方法

開孔径が400mm以上で主筋とMAXウェブレンの最外位置との間隔が梁せいの1/3以上となる場合は右図に示す補強を行う。なお、この補強が必要となる条件は(財)日本建築センターの評定時に指導された最低基準であるので、開孔位置等の状況によっては図に示す数値以下であっても補強が必要となる場合がある。従って開孔部の上下補強については設計担当者と協議検討のうえ決定する。

5. 施工要領

(1) 標準的な施工順序

- RC造
 - 開孔位置の芯出しを行う。
 - MAXウェブレンをあばら筋内に挿入し、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。

- SRC造
 - あばら筋の配筋前に、鋼管スリーブにMAXウェブレンを掛け、仮置きする。
 - あばら筋を配筋後、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。

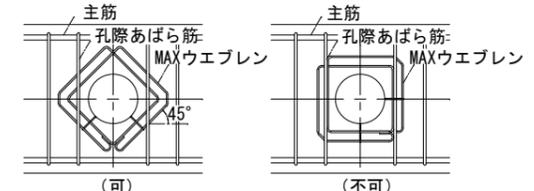
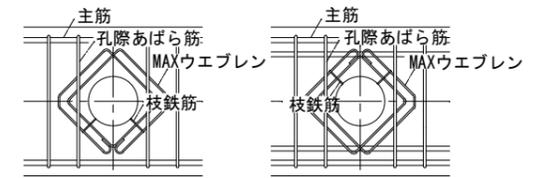
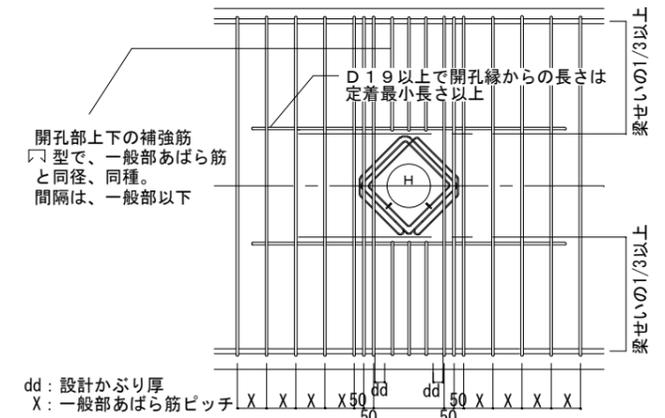
(2) MAXウェブレンの取り付け方向

MAXウェブレンはあばら筋に対して環状鉄筋が45° になるように取り付ける。

6. 設計について

本建物におけるMAXウェブレンの設計は、(財)日本建築センターの一般評定「BCJ評定-RC0097-05」におけるMAXウェブレンの設計指針によるが、以下の大梁の設計においては、せん断余裕度を1.3以上確保するものとする。

2FL~RFL: G13, G14, G13A



NOTE

株式会社 あい設計 福山支社
一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

株式会社 あい設計 福山支社
一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

JOB No. -
DATE -

TITLE

三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

DWG No.

S

一級建築士 第34064号 佐藤 彰洋

一級建築士 第350767号 行徳 公嗣

寺川 智也

一級建築士 第353061号 構造設計一級建築士 第10464号 津曲 雅之

MAXウェブレン標準仕様書

SCALE A2: -
A3: -

011

ボーリング柱状図

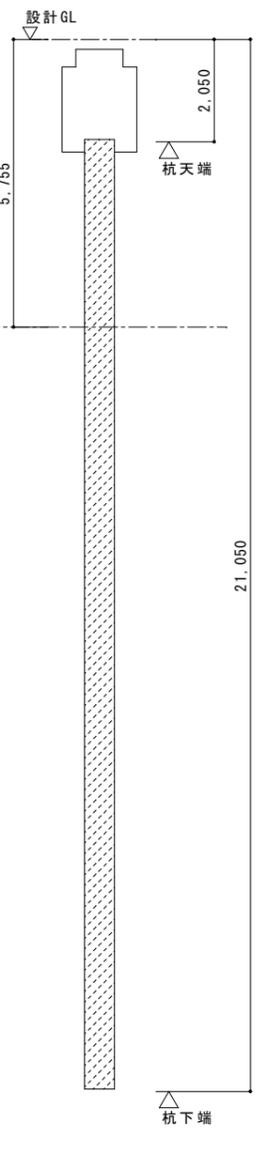
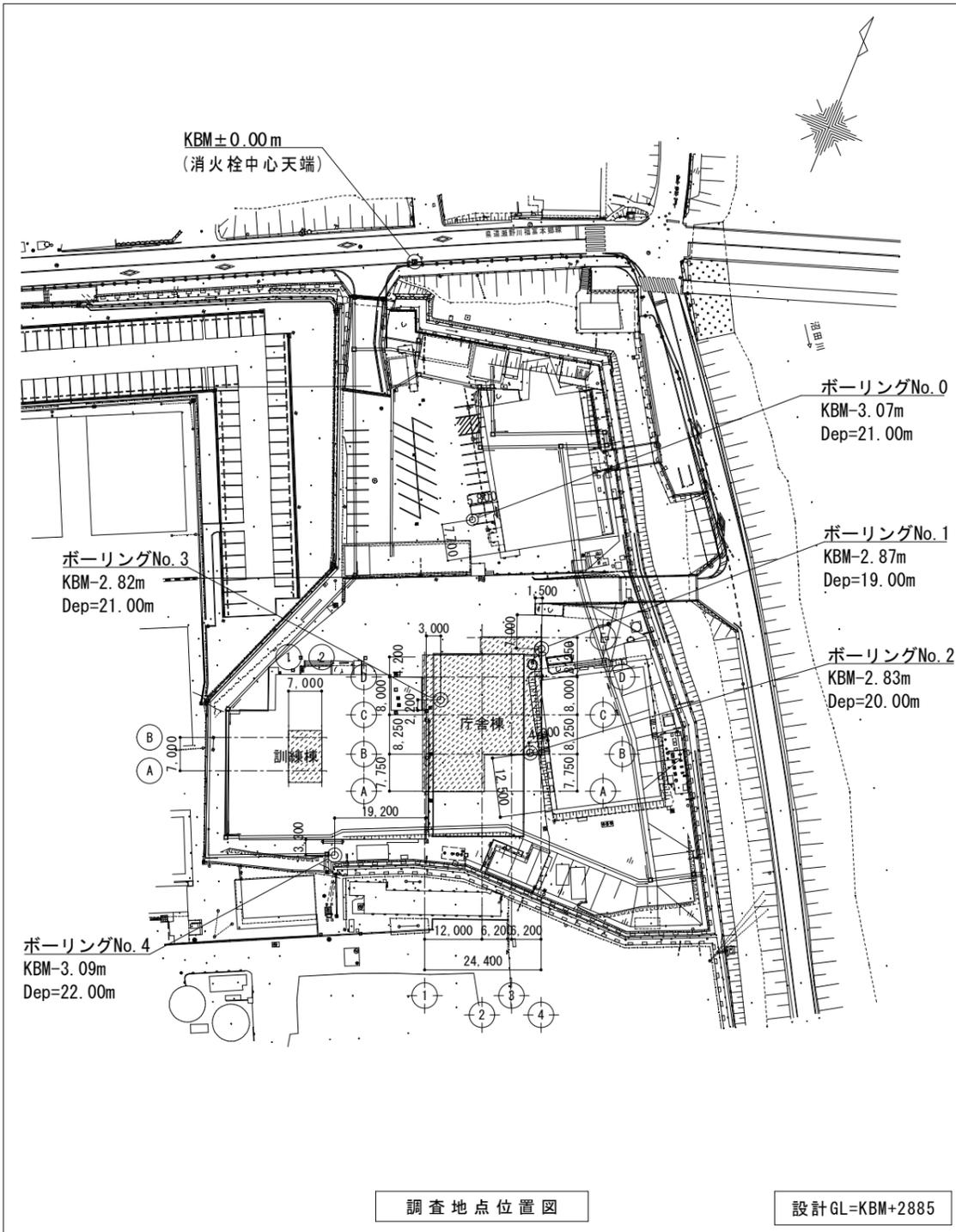
調査名 三原西消防署庁舎整備設計業務委託 地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.
 シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	広島県三原市下北方一丁目	北緯	° ' "
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	2022年2月21日～2022年2月24日	東経	° ' "
調査業者名	株式会社 東建ジオテック 082-299-5661	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	阿部 由佳
コ 監定者	阿部 由佳	ボーリング責任者	佐藤 設生	試験機	東邦D1-B-58
使用機種	エンジン ヤンマーNFD-12	ポンプ	東邦BG-3C	ハンマー落下用具	半自動落下
孔口標高	KBM -2.87m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
地盤勾配	0°	鉛直	0°	水平	0°
総掘進長	19.00m				

標高	層厚	柱状	土質	色相	相対	相対	記	標準貫入試験			原位置試験	試験採取	室内試験
								深	10cm2の	打撃回数			
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	深	度	度	度	度	度
0.15	0.45	6	5	16	30	16							
1.15	2	2	2	6	30	6							
2.15	1	1	1	3	21	3							
3.15	2	3	2	7	30	7							
4.15	1	2	1	4	30	4							
5.15	1	1	1	3	30	3							
6.15	1	2	1	3	30	3							
7.00	0	0	0	0	0	0							
8.15	5	5	6	16	30	16							
9.15	5	6	7	18	30	18							
10.15	5	6	5	16	30	16							
11.15	6	5	8	19	30	19							
12.15	3	3	3	9	30	9							
13.15	3	3	4	10	30	10							
14.15	20	16	19	55	30	55							
15.00	30	30	9	80	19	94.7							
16.00	34	26	7	80	11	105.4							
17.00	20	30	10	60	22	81.8							
18.00	60			60	10	180							
19.00	20	25	15	60	3	78.3							



株式会社 東建ジオテック

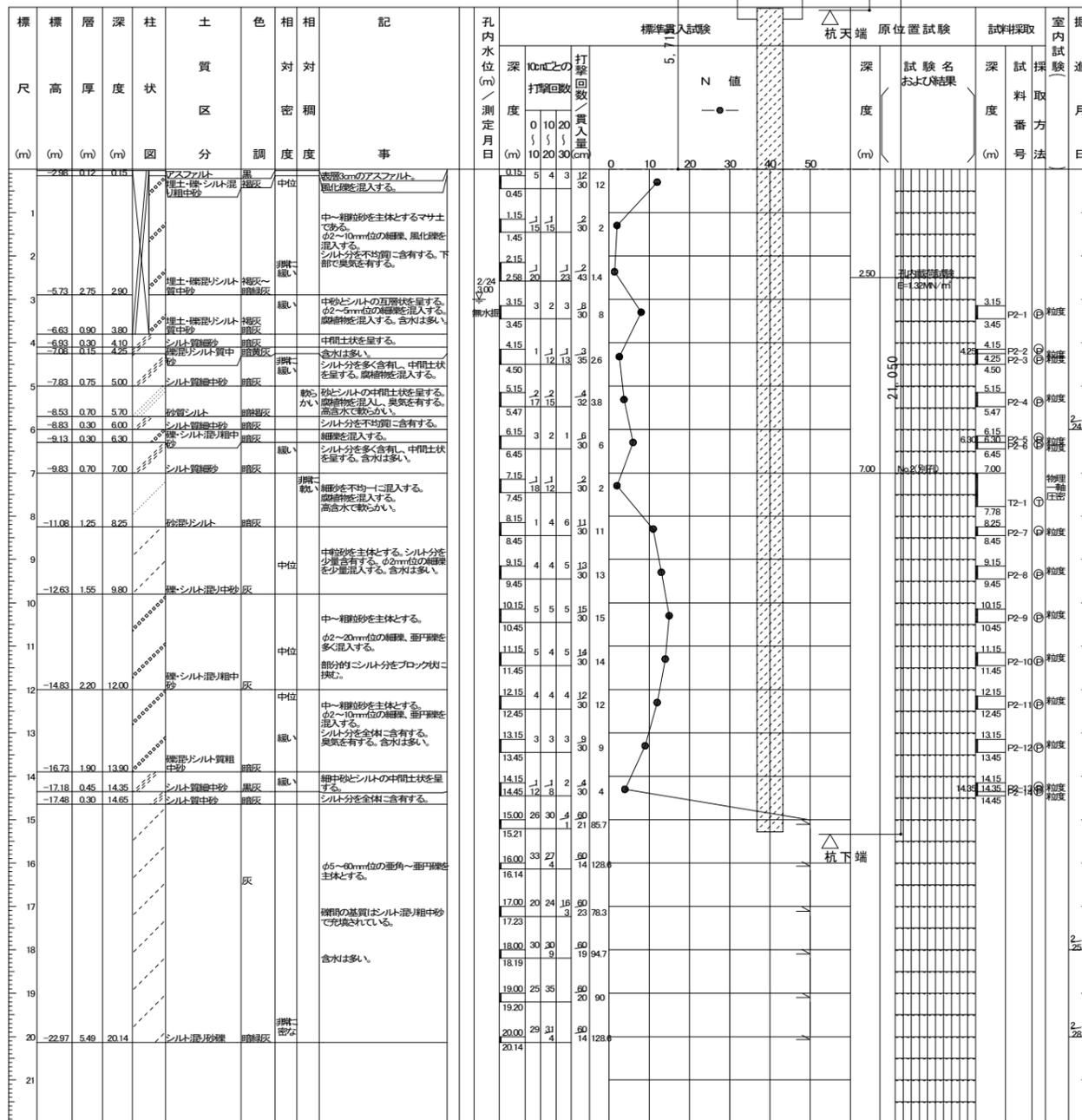
ボーリング柱状図

調査名 三原西消防署庁舎整備設計業務委託 地質調査

事業・工事名

ボーリングNo. シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	広島県三原市下北方一丁目	北緯	° ' "
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	2022年2月24日～2022年2月28日	東経	° ' "
調査業者名	株式会社 東建ジオテック 082-299-5661	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	阿部 由佳
設計者	阿部 由佳	ボーリング責任者	佐藤 設生		
孔口標高	KBM -2.83m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 西 180° 東 90° 南
地盤勾配	0°	鉛直	0°	水平	0°
使用機種	試錐機 東邦D1-B-58	ポンプ	東邦BG-3C		
総掘進長	20.00m				



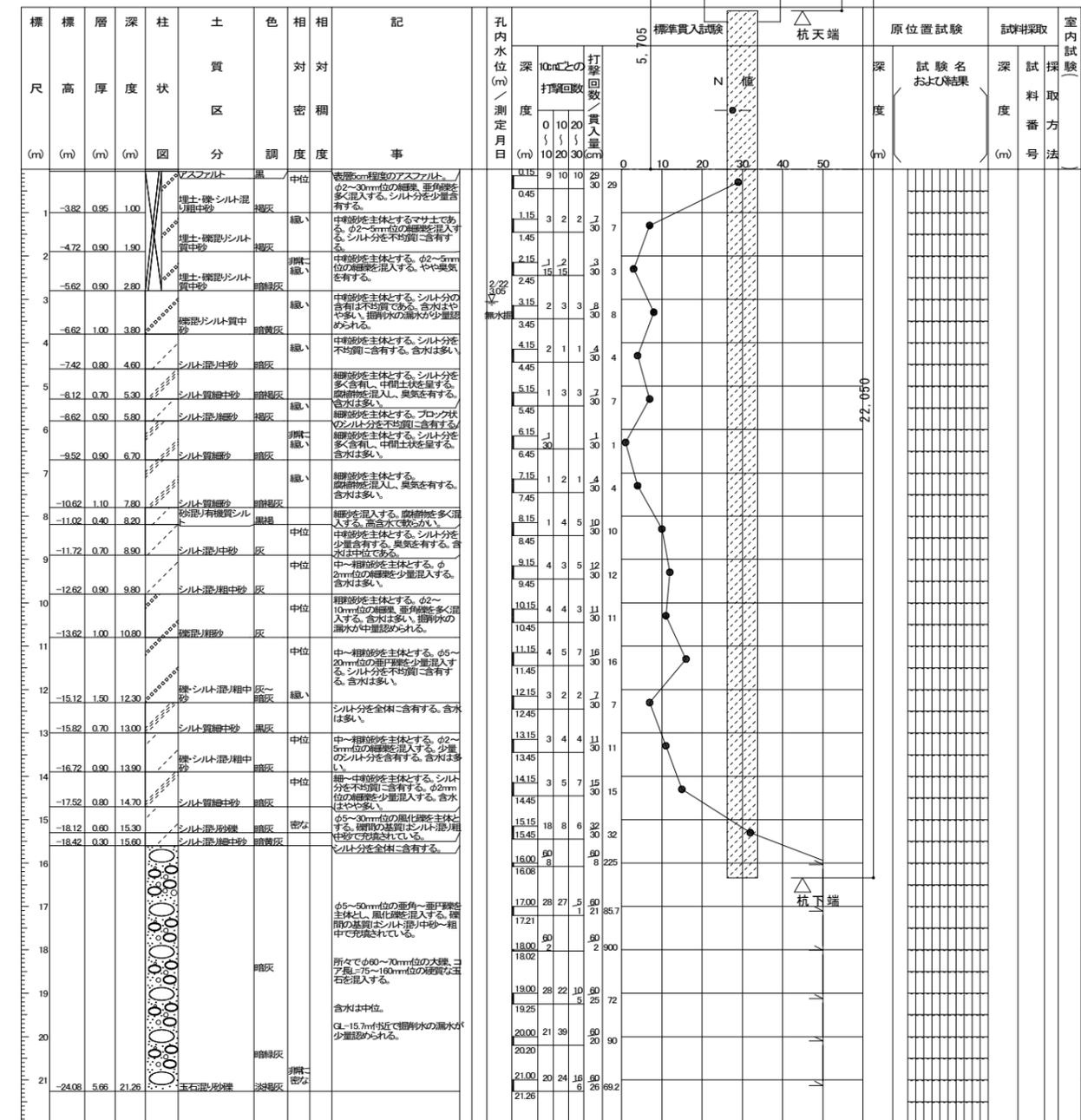
ボーリング柱状図

調査名 三原西消防署庁舎整備設計業務委託 地質調査

事業・工事名

ボーリングNo. シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	広島県三原市下北方一丁目	北緯	° ' "
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	2022年2月22日～2022年2月25日	東経	° ' "
調査業者名	株式会社 東建ジオテック 082-299-5661	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	阿部 由佳
設計者	阿部 由佳	ボーリング責任者	二井 佑希		
孔口標高	KBM -2.82m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 西 180° 東 90° 南
地盤勾配	0°	鉛直	0°	水平	0°
使用機種	試錐機 東邦D-1	ポンプ	東邦BG-3B		
総掘進長	21.00m				



ボーリング柱状図

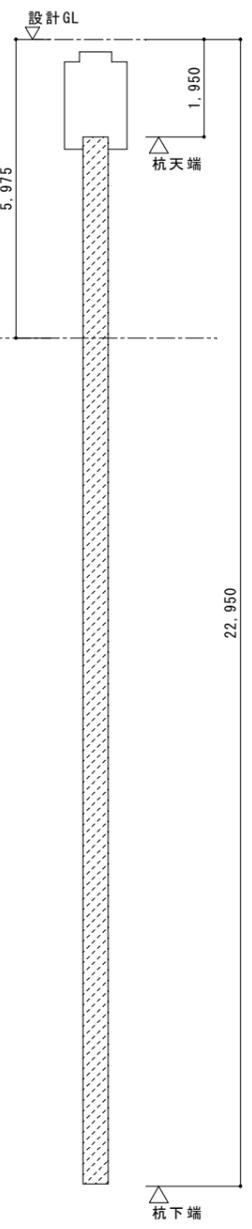
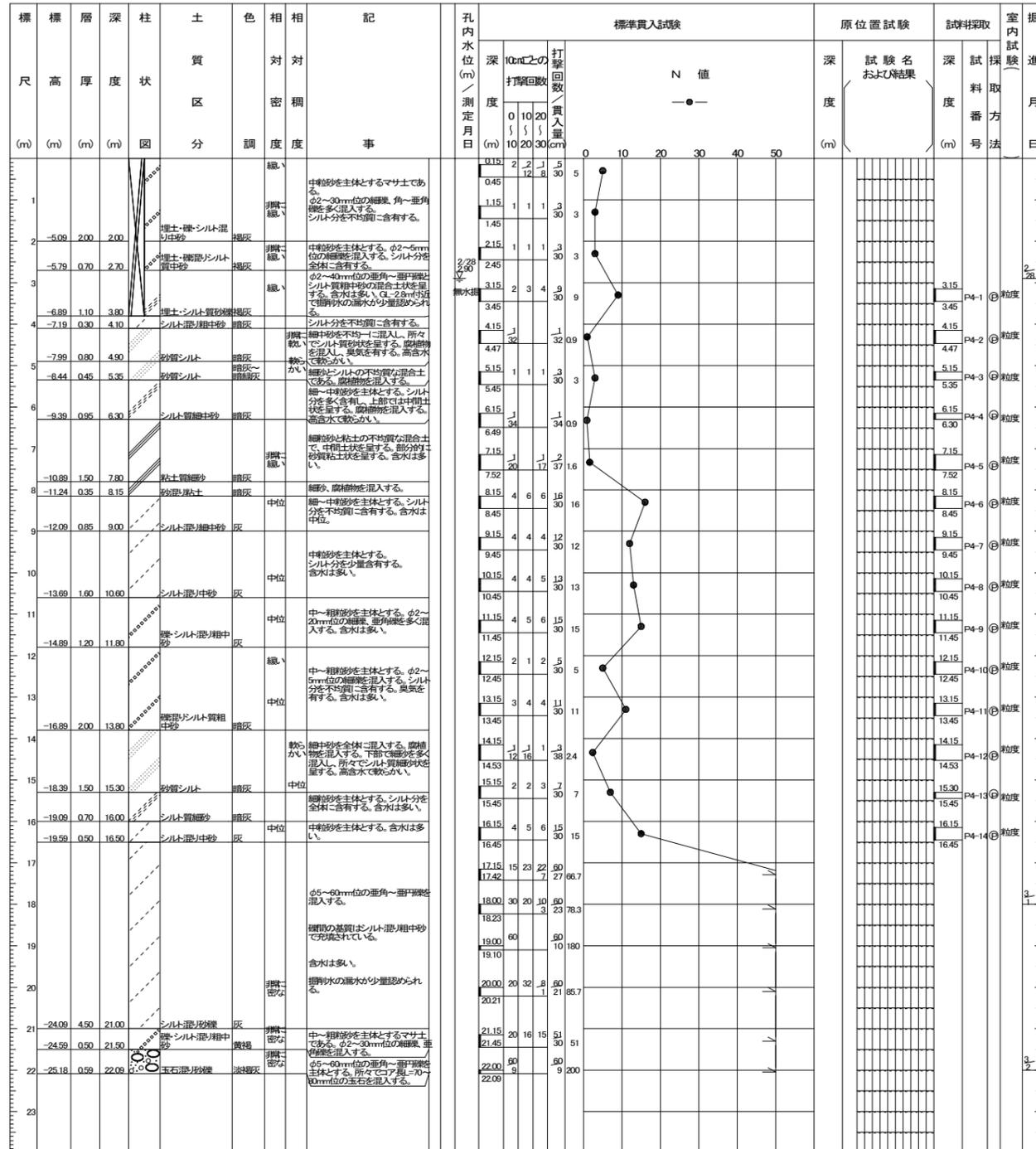
調査名 三原西消防署庁舎整備設計業務委託 地質調査

ボーリングNo.

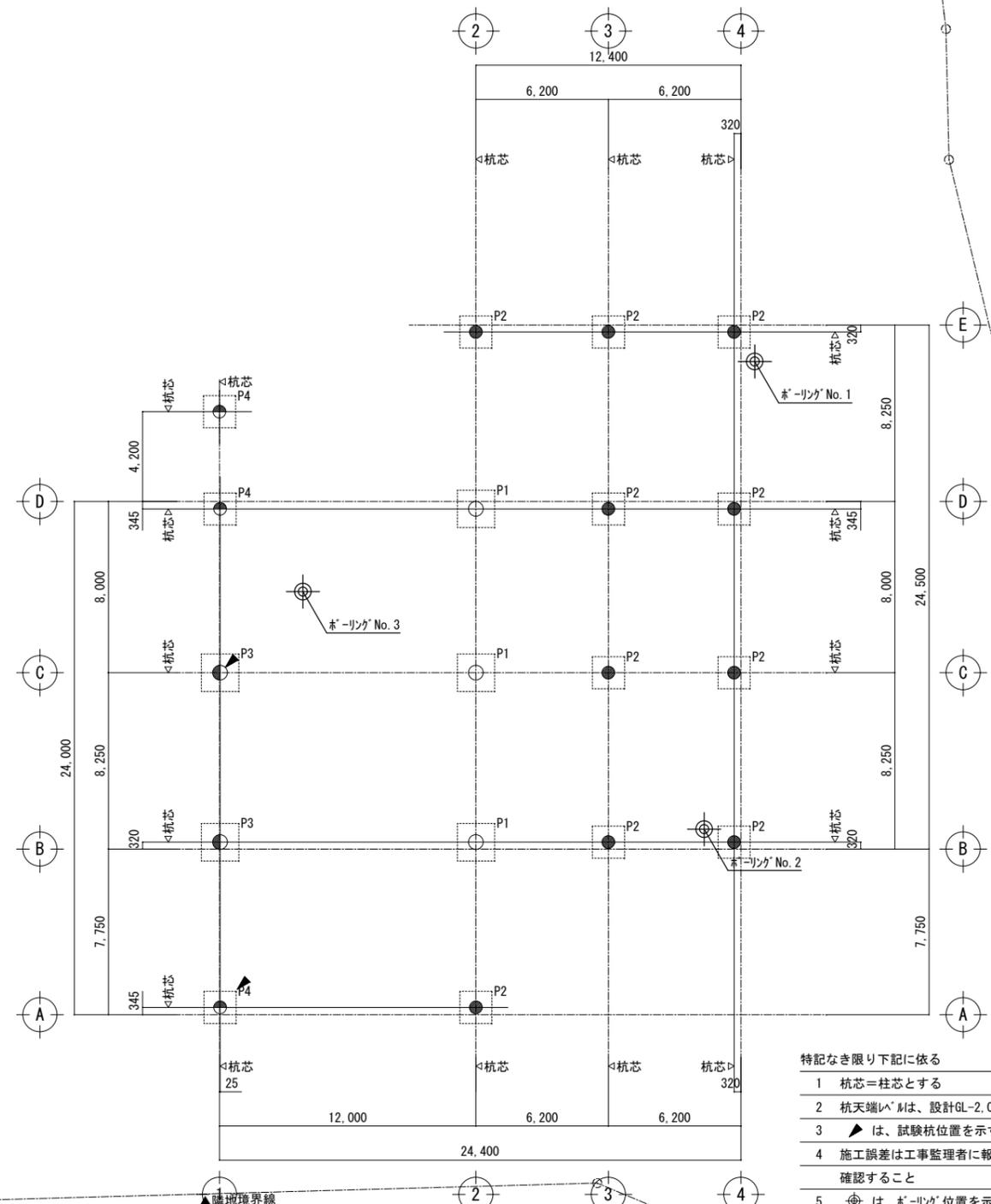
事業・工事名

シートNo.

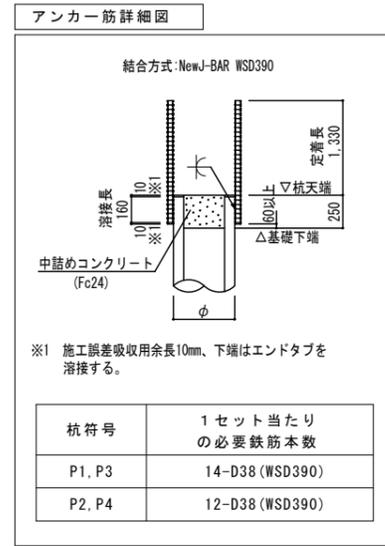
ボーリング名	No. 4	調査位置	広島県三原市下北方一丁目	北緯	° ' "
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	2022年2月28日～2022年3月2日	東経	° ' "
調査業者名	株式会社 東建ジオテック 082-299-5661	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	阿部 由佳
コ 鑑 定 者	阿部 由佳	ボーリング責任者	佐藤 設生		
孔口標高	KBM -3.09m	角	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
地盤勾配	0°	使用機種	ハンマー 落下用具	ポンプ	半自動落下
総掘進長	22.00m	試錐機	東邦D1-B-58	エンジン	ヤンマーNFD-12
					東邦BG-3C



株式会社 東建ジオテック



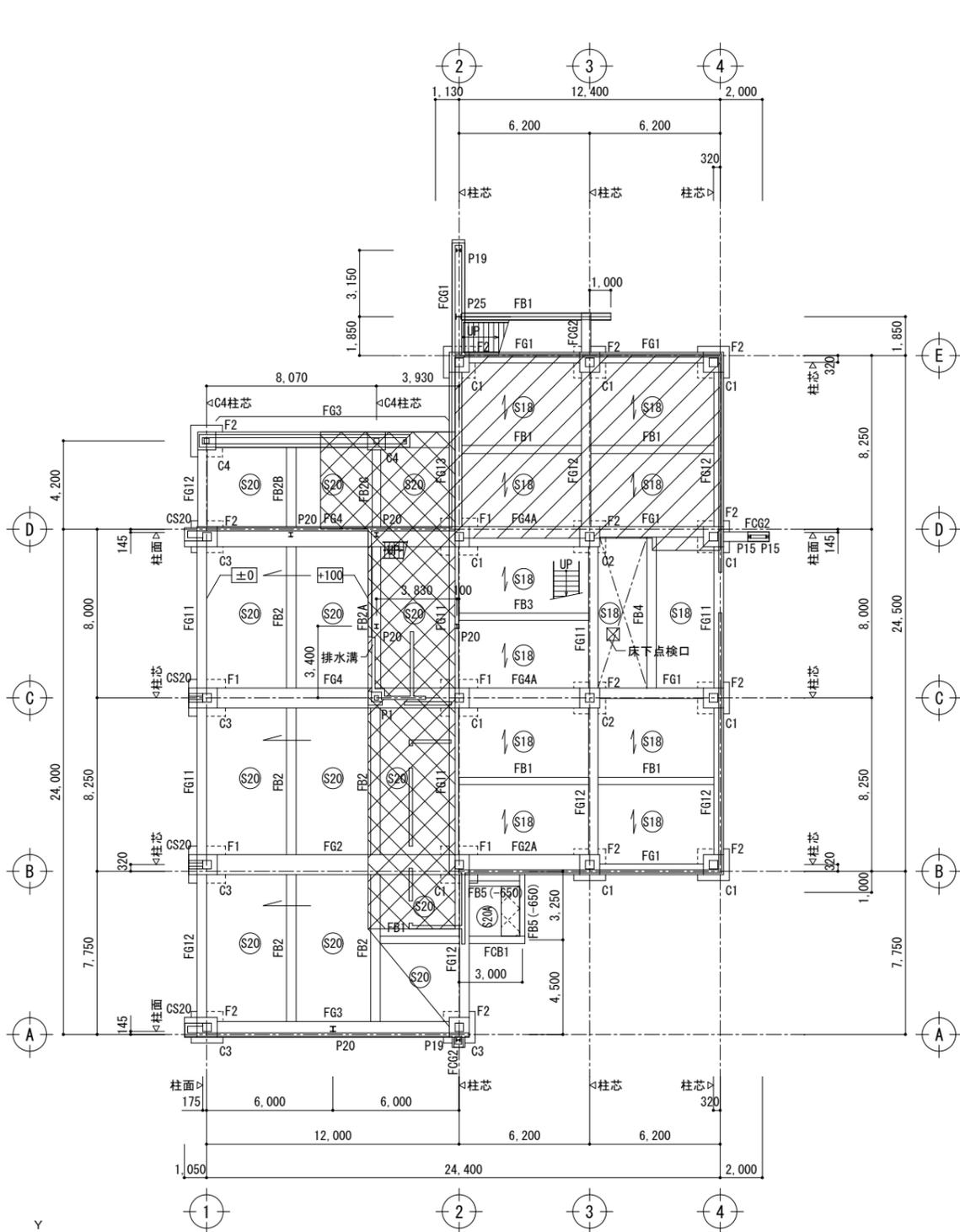
- 特記なき限り下記に依る
- 1 杭芯=柱芯とする
 - 2 杭天端レベルは、設計GL-2.050とする
 - 3 ▲は、試験杭位置を示す
 - 4 施工誤差は工事監督者に報告し、設計者に補強の有無を確認すること
 - 5 ⊕は、ボ-リング位置を示す
 - 6 杭施工に先立ちロックアップ工法(φ1000mm)にて設計GL-5.0mまで先行掘削を行うこと(埋戻し土はA種とする)



杭伏図 1/200

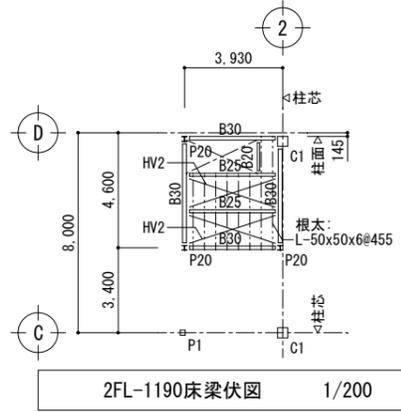
杭リスト Smart-MAGNUM工法(標準型)【国土交通大臣認定 礫質地盤: TACP-0626 砂質地盤: TACP-0625】

符号	記号	杭天端	杭先端	杭全長	上杭		中杭		下杭		拡大掘削部径 Des (mm)	拡大根固め部径 Den (mm)	拡大比	杭下拡大根固め部長さ	長期許容支持力	本数
					杭種	杭長	杭種	杭長	杭種	杭長						
P1	⊕	設計GL-2.050m	設計GL-21.050m	19.0m	JP-HSC φ700 (SKK490 t=12.0 105N)	6.0m	JP-PHC φ700 (A種 105N)	6.0m	JP-NPH φ700-600-700 (A種 105N)	7.0m	900	900	ωp=1.20	LL=0.5	3,200 kN/本	3
P2	●	設計GL-2.050m	設計GL-21.050m	19.0m	JP-HSC φ600 (SKK490 t=12.0 105N)	6.0m	JP-PHC φ600 (B種 105N)	6.0m	JP-NPH φ600-450-600 (B種 105N)	7.0m	700	700	ωp=1.07	LL=0.5	1,900 kN/本	10
P3	⊕	設計GL-2.050m	設計GL-22.050m	20.0m	JP-HSC φ700 (SKK490 t=12.0 105N)	6.0m	JP-PHC φ700 (A種 105N)	7.0m	JP-NPH φ700-600-700 (A種 105N)	7.0m	900	900	ωp=1.20	LL=0.5	3,200 kN/本	2
P4	●	設計GL-2.050m	設計GL-22.050m	20.0m	JP-HSC φ600 (SKK490 t=12.0 105N)	6.0m	JP-PHC φ600 (B種 105N)	7.0m	JP-NPH φ600-450-600 (B種 105N)	7.0m	700	700	ωp=1.07	LL=0.5	1,900 kN/本	3
															合計	18

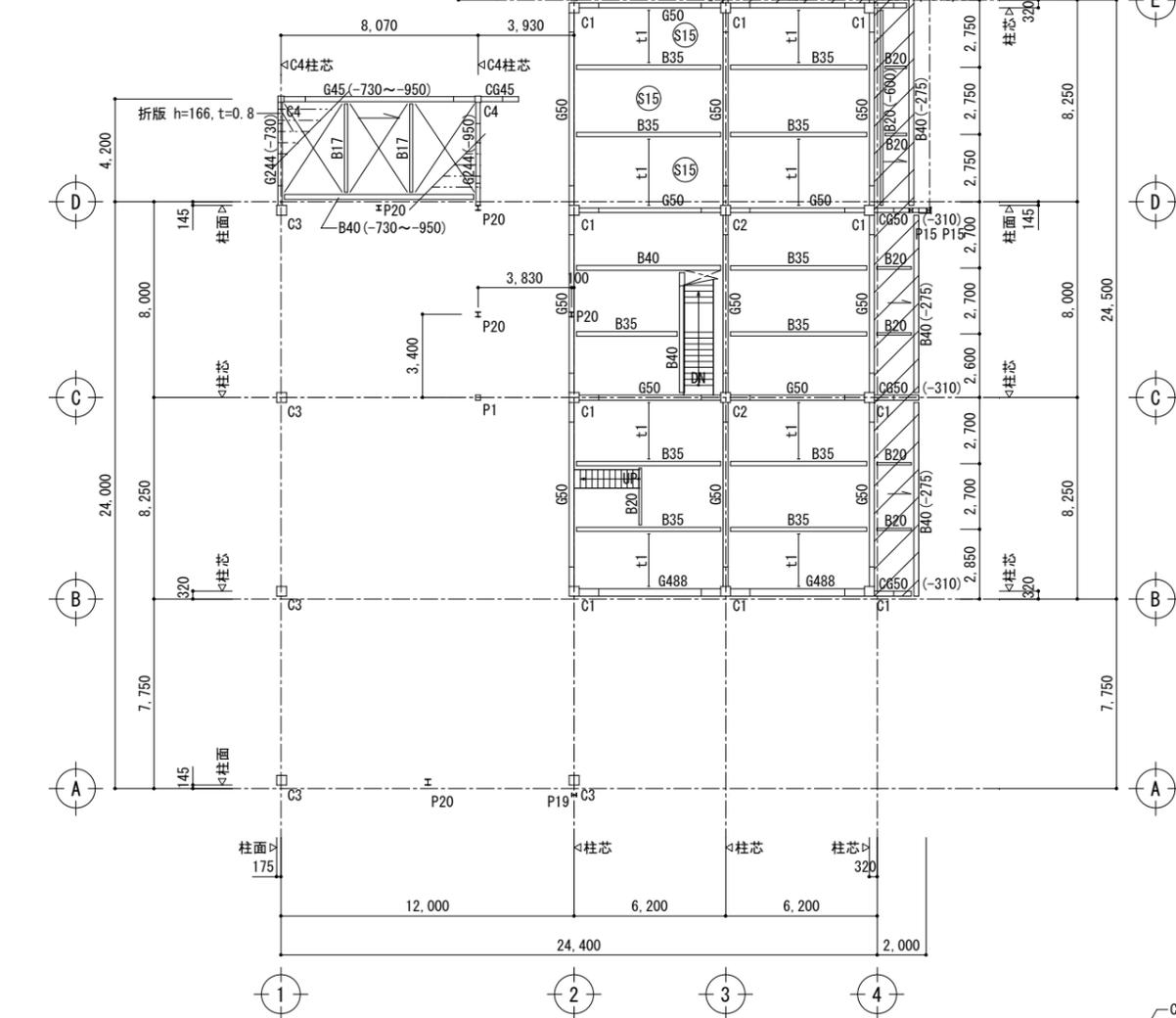


基礎伏図 1/200
(本図は見下げ図とする)

- 特記なき限り下記に依る
- | | |
|------------------------|---|
| 1 1FL=設計GL+100とする | 9 3方向天端は、設計GL-480とする |
| 2 基礎下端は、設計GL-2300とする | 10 は、3方向水勾配を示す |
| 3 基礎梁天端は、設計GL-250とする | 11 は、RC腰壁W12 H=FL+150とする |
| 4 B. PL下端は、設計GL-200とする | 12 は、3方向下は、土間コンクリートとし、天端は設計GL-1300とする。 |
| 5 3方向天端は、設計GL+90とする | 13 は、3方向主筋方向を示す |
| 6 3方向天端は、設計GL±0とする | |
| 7 3方向天端は、設計GL+50とする | |
| 8 3方向天端は、設計GL+100とする | |

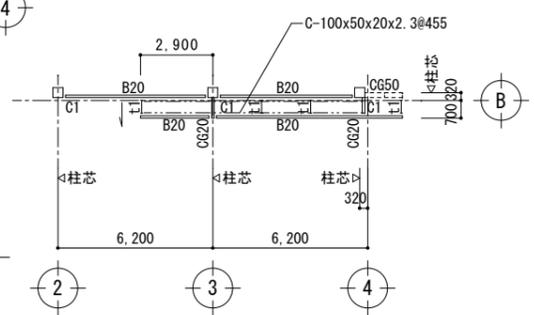


2FL-1190床梁伏図 1/200

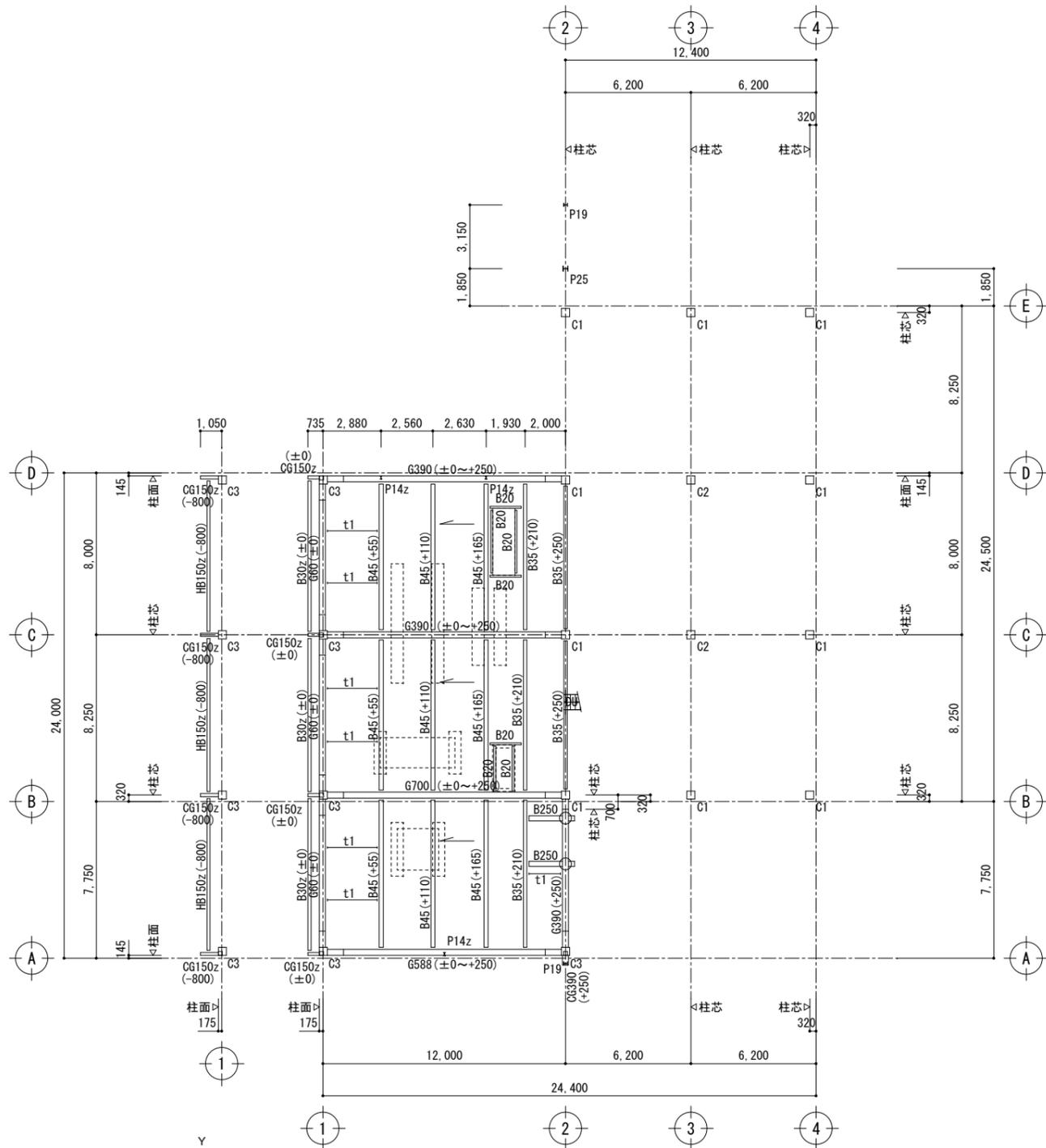


2階床梁伏図 1/200
(1FL+3700) (本図は見下げ図とする)

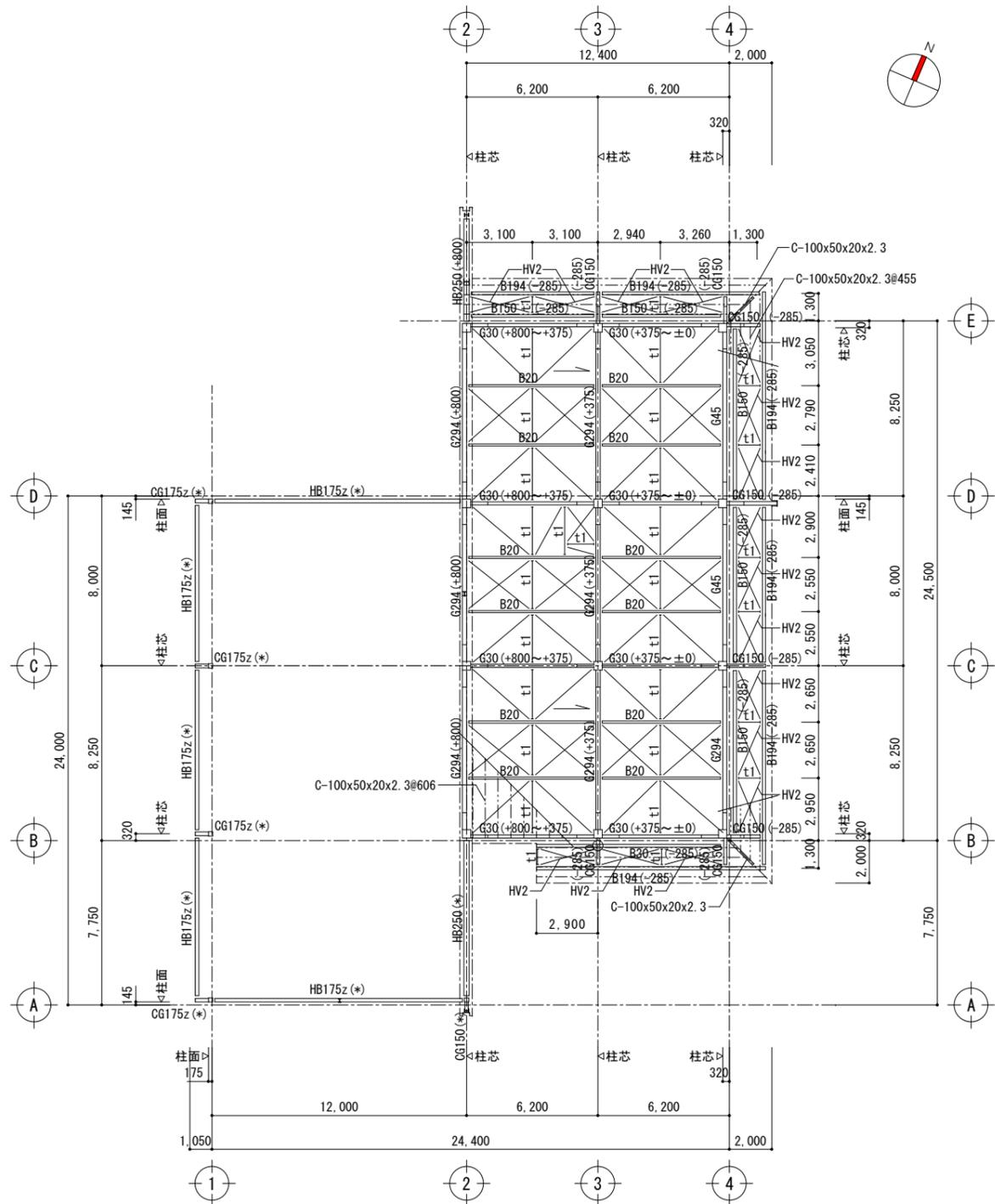
- 特記なき限り下記に依る
- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 JOINT位置は、柱芯より1000mmとする | 8 折版部の小梁天端は、大梁天端+50mmとする |
| 2 梁天端は、FL-160とする | 9 は、剛接合を示す |
| 3 ()内は、FLからの梁天端を示す | 10 は、3方向水勾配を示す |
| 4 3方向符号はDS1とし、天端はFL-10とする | 11 は、3方向主筋方向を示す |
| 5 3方向天端は、FL-125とする | |
| 6 は、3方向を示す | |
| 7 寸法記入がない小梁はスパン均等配置とする | |



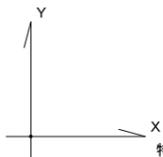
2FL-880床梁伏図 1/200



車庫-1 屋根伏図 1/200
(設計GL+5200) (本図は見下げ図とする)

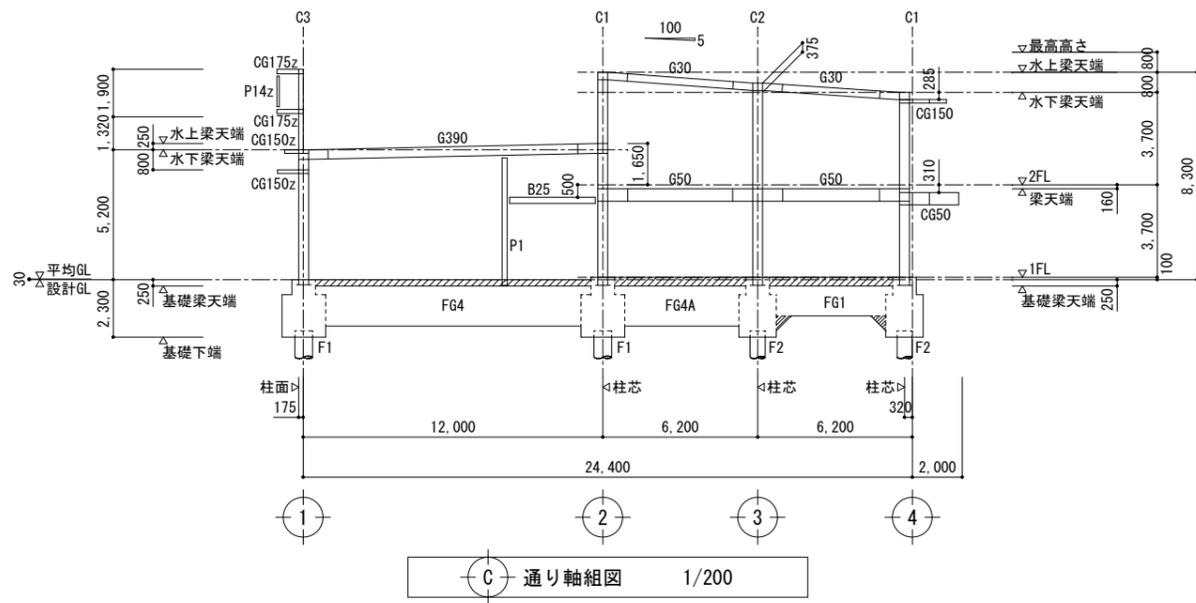


屋根伏図 1/200
(設計GL+7500) (本図は見下げ図とする)

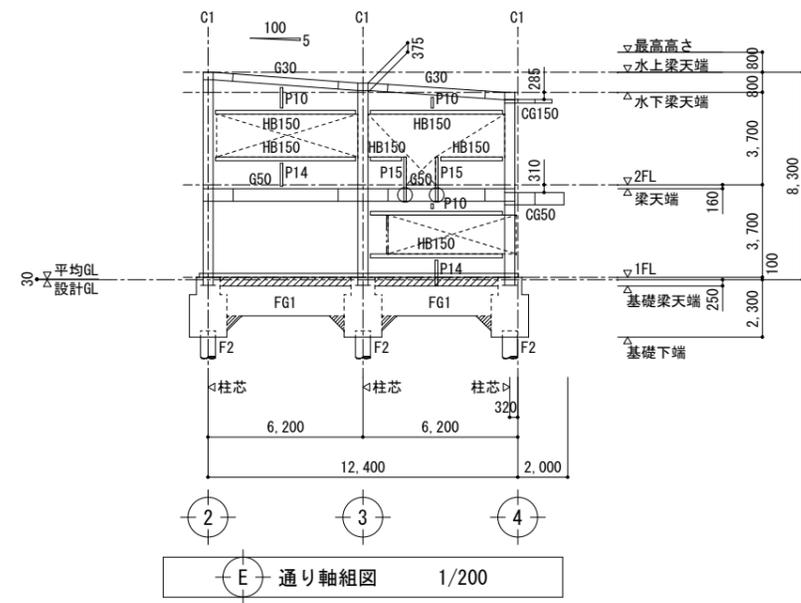


- 特記なき限り下記に依る
- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1 JOINT位置は、柱芯より1000mmとする | 6 寸法記入がない小梁はスパン均等配置とする |
| 2 梁天端へ'は、設計GL+5200とする | 7 〓は、剛接合を示す |
| 3 ()内は、設計GL+5200からの梁天端へ'を示す | 8 〓は、スワ'水勾配を示す |
| 4 スワ'符号は、S15とし天端へ'、水勾配による | |
| 5 〓は、スワ'主筋方向を示す | |

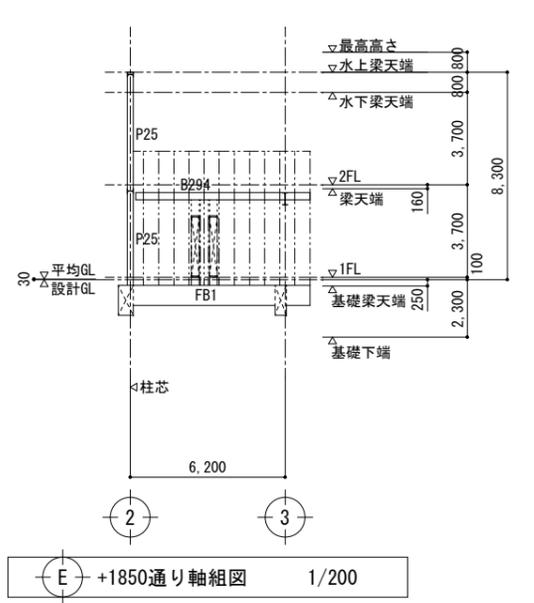
- 特記なき限り下記に依る
- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 JOINT位置は、柱芯より1000mmとする | 6 〓は、剛接合を示す |
| 2 梁天端へ'は、設計GL+7500とする | 7 〓は、水勾配を示す |
| 3 ()内は、設計GL+7500からの梁天端へ'を示す | 8 〓は、水平ブレース HV1 を示す |
| 4 (*)の梁天端へ'は、軸組図による | |
| 5 寸法記入がない小梁はスパン均等配置とする | |



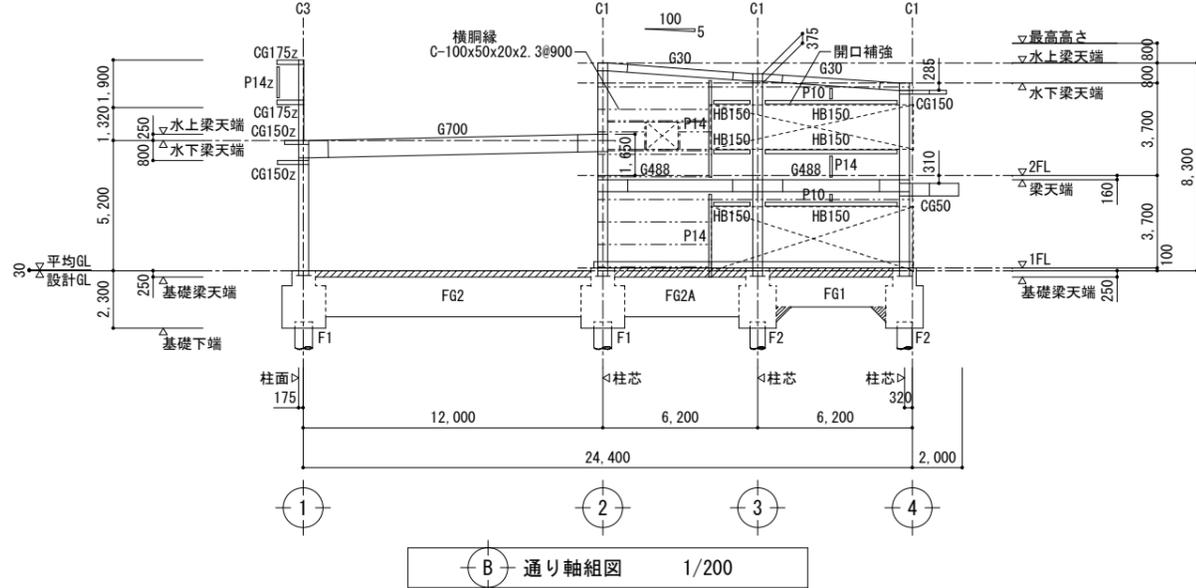
C 通り軸組図 1/200



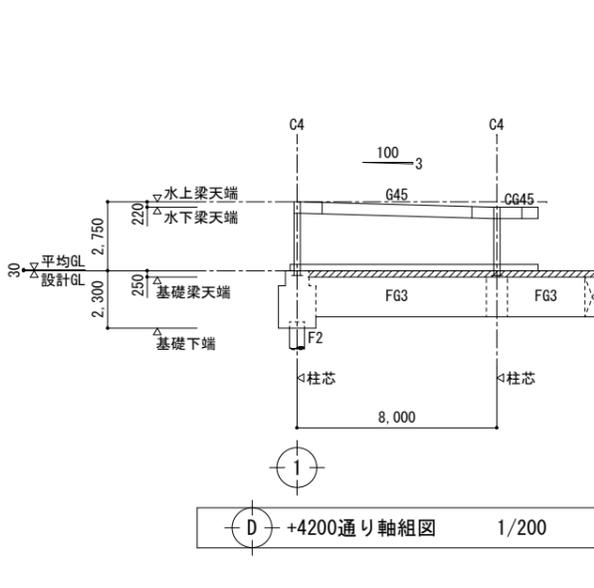
E 通り軸組図 1/200



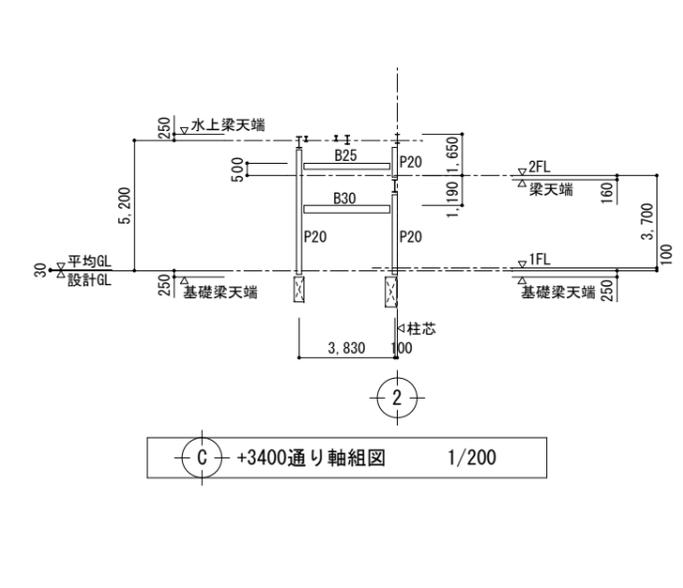
E +1850通り軸組図 1/200



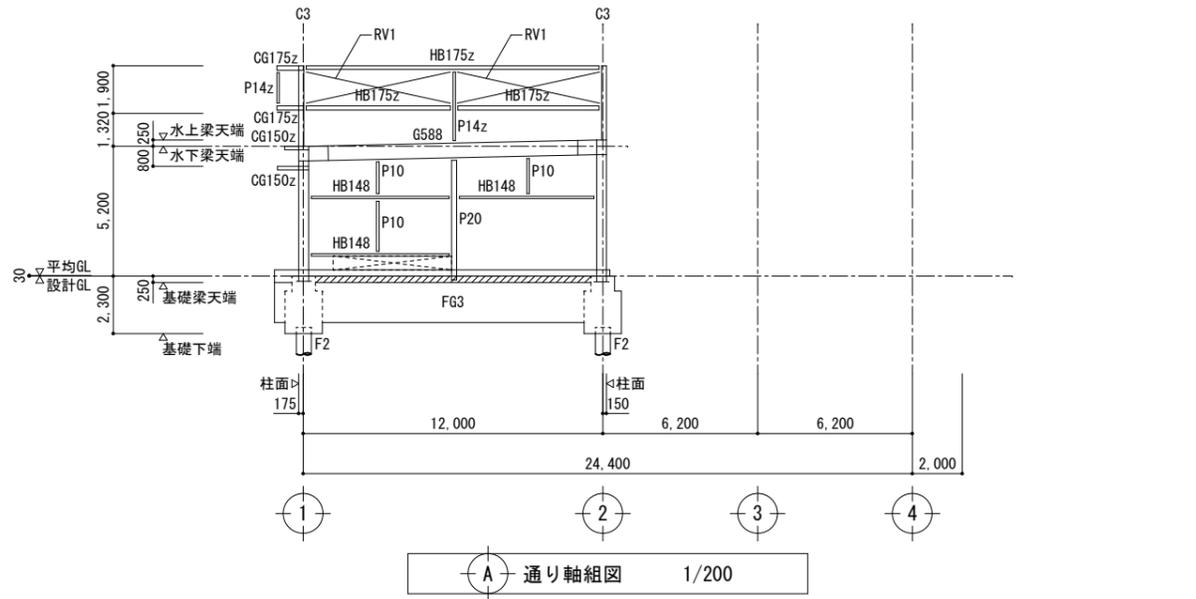
B 通り軸組図 1/200



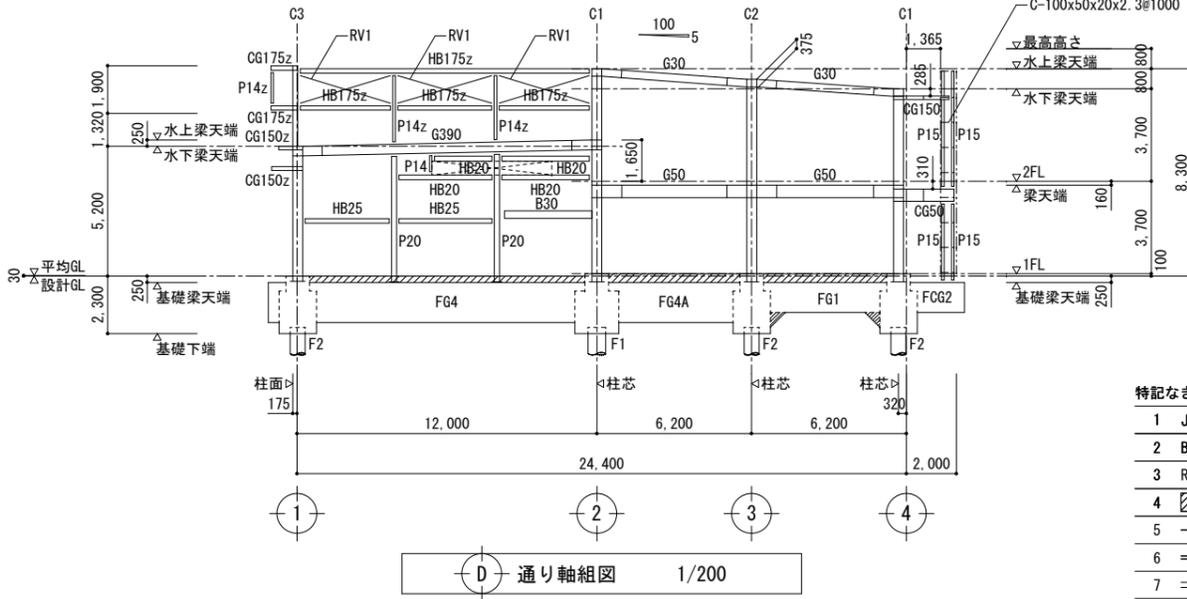
D +4200通り軸組図 1/200



C +3400通り軸組図 1/200

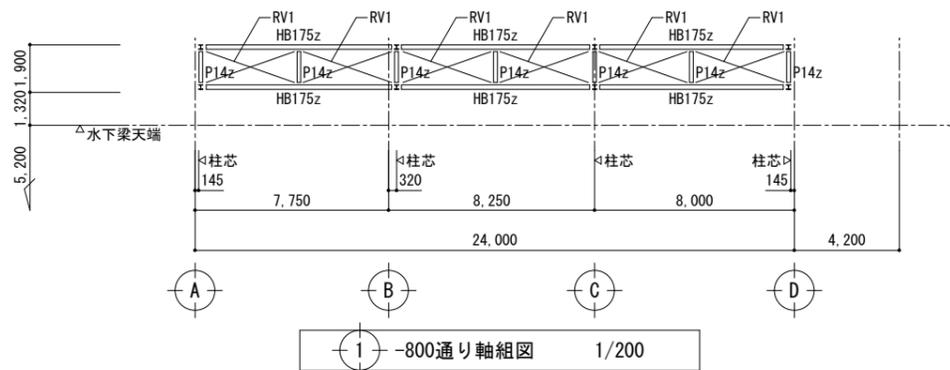
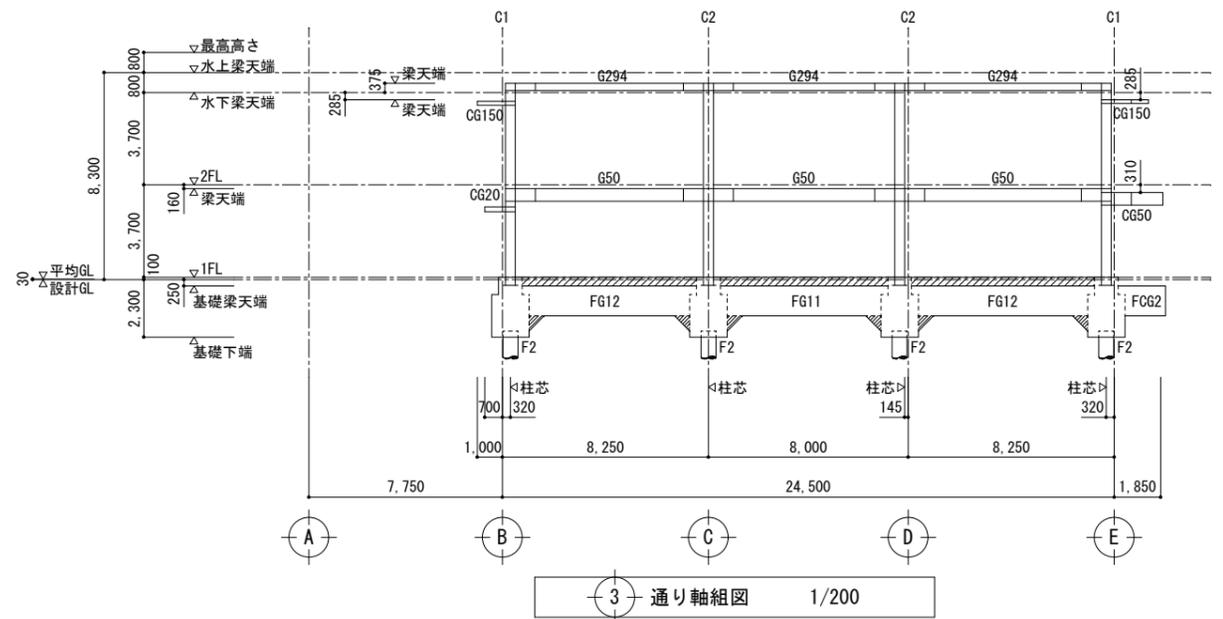
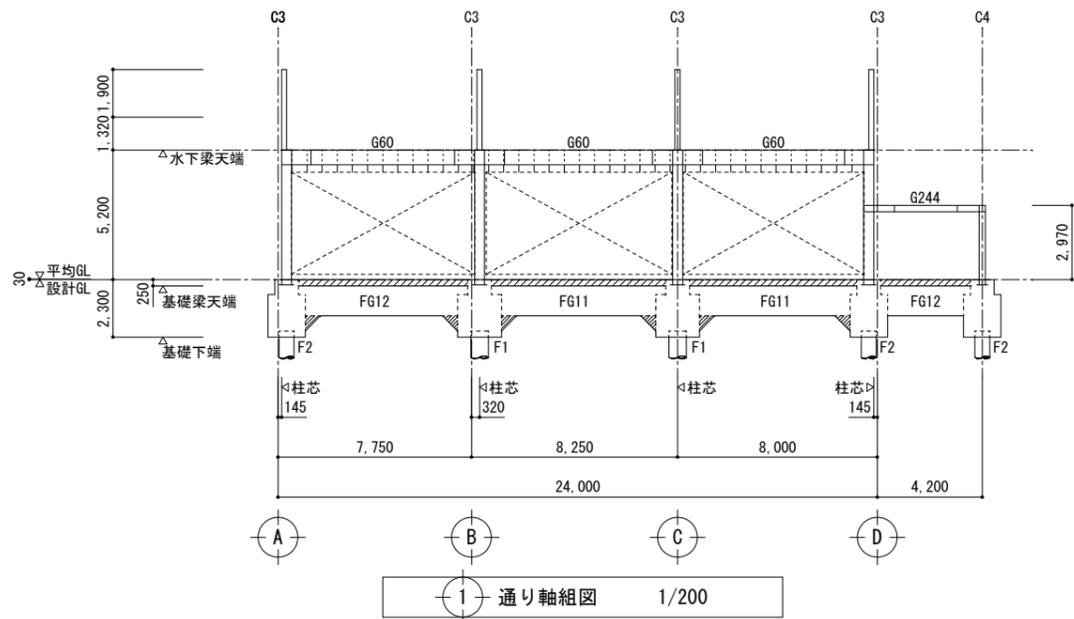
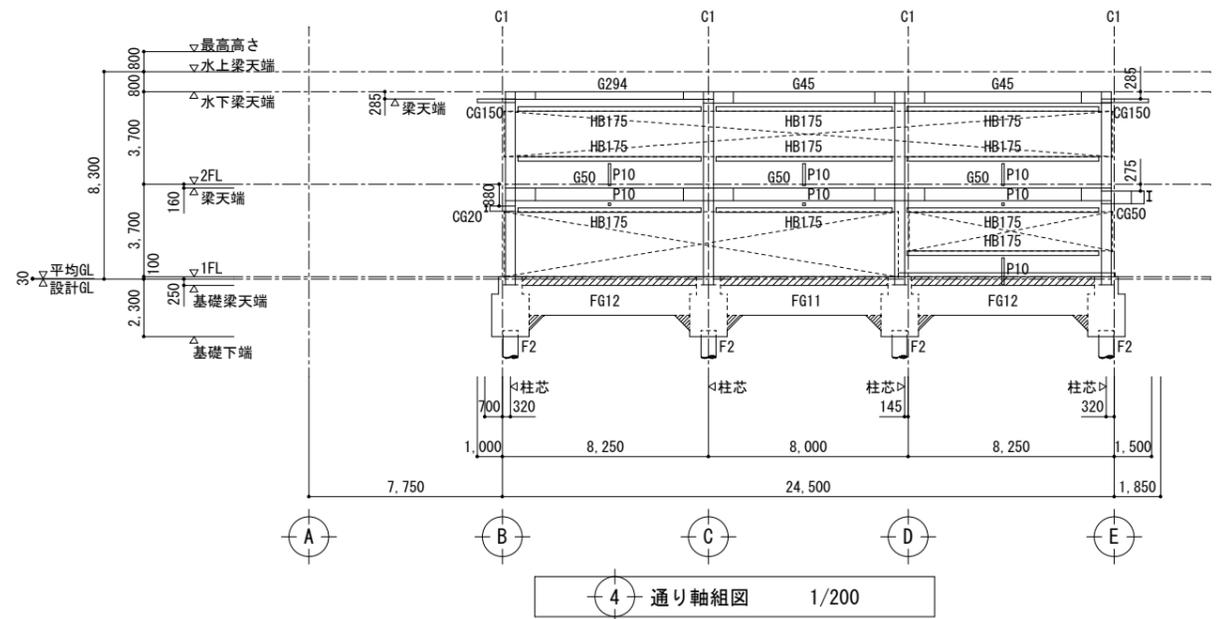
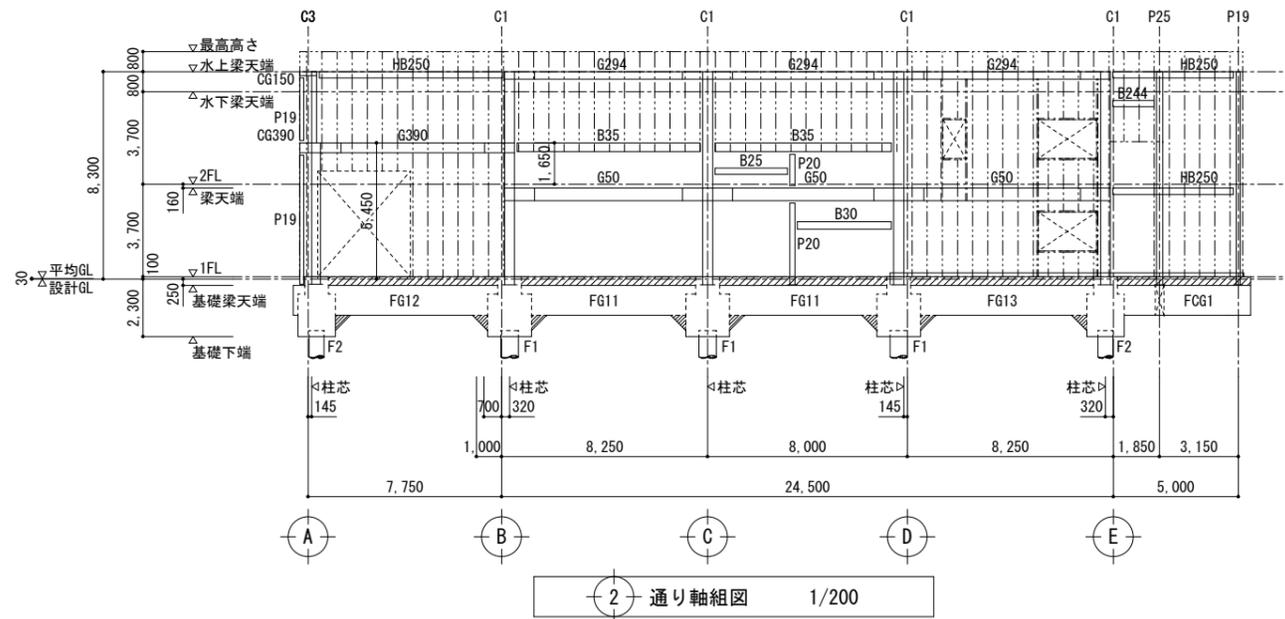


A 通り軸組図 1/200



D 通り軸組図 1/200

- 特記なき限り下記に依る
- JOINT位置は、柱芯より100mmとする
 - B, R下端は、基礎梁天端+50とする(設計GL-200)
 - RC立上り壁は、W12 H-設計GL+250を示す
 - は、増打範囲を示す
 - は、胴縁: C-100x50x20x2.3@606
 - は、開口補強: □-100x100x2.3を示す
 - は、剛接合を示す



- 特記なき限り下記に依る
- 1 JOINT位置は、柱芯より100mmとする
 - 2 B.R下端は、基礎梁天端+50とする(設計GL-200)
 - 3 RC立上り壁は、W12 H=設計GL+250を示す
 - 4 は、増打範囲を示す
 - 5 は、胴縁:C-100x50x20x2.3@606
 - 6 は、開口補強:□-100x100x2.3を示す

NOTE



株式会社 あい設計 福山支社
一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

JOB No

DATE

TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

DWG No

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋

一級建築士 第350767号 行徳 公嗣

寺川 智也

一級建築士 第353961号 構造設計一級建築士 第10464号 津曲 雅之

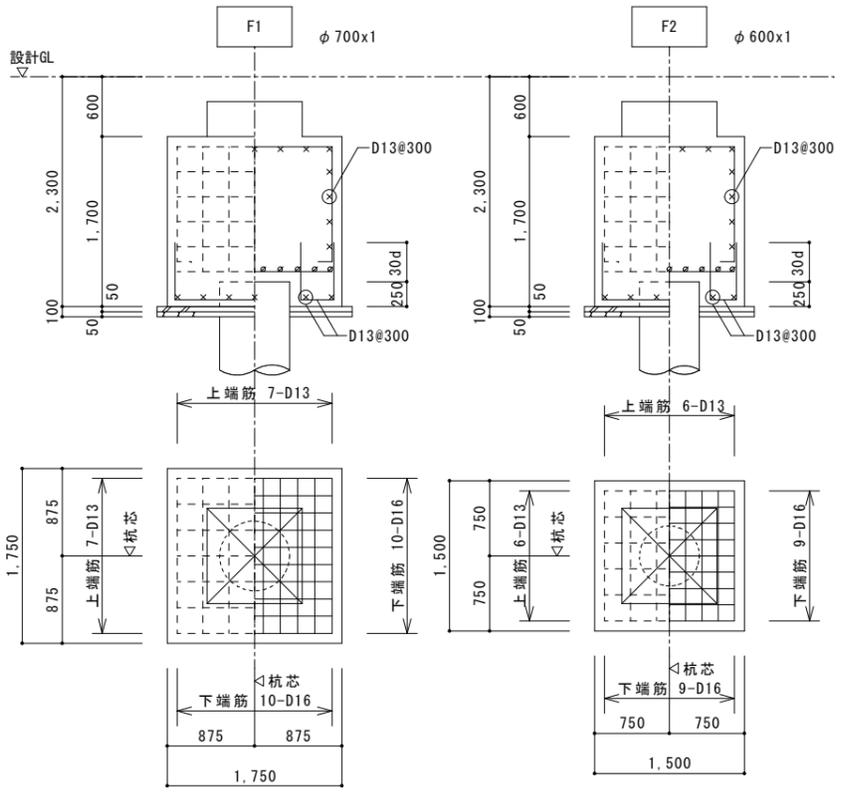
【庁舎棟】軸組図 (2)

SCALE A2 : 1/200
A3 : A2の71%

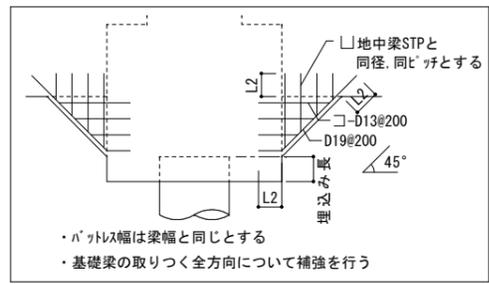
S
019

基礎リスト 1/50

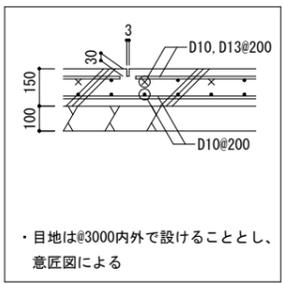
特記なき限り下記による
 ・コンクリート強度 Fc30
 ・鉄筋種別 D10~D16:SD295A



バットレス配筋図



土間コンクリート配筋要領図



スラブリスト

特記なき限り下記による
 ・コンクリート強度 Fc30
 ・鉄筋種別 D10~D13:SD295A

符号	厚さ	位置	短辺方向配筋	長辺方向配筋	備考
S15	150	上	D13@200	D10@200	JFf' ッ捨型枠
		下	D10@200	D10@200	
S18	180	上	D13@200	D10@200	
		下	D10@200	D10@200	
S20	200	上	D13@100	D10, D13@150	
		下	D10@100	D10@150	
S20A	200	上	D10, D13@200	D10@200	
		下	D10@200	D10@200	
CS20	200	上	D10, D13@200	D10@200	
		下	D10@200	D10@200	
DS1			普通コンクリート Fc=30 D10@200 板厚t=1.2		

基礎梁・基礎小梁リスト 1/50

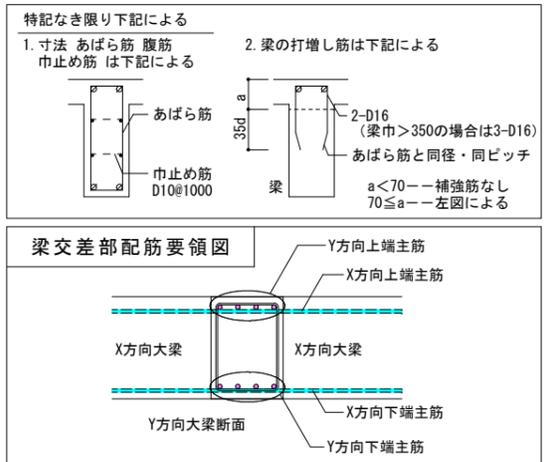
特記なき限り下記による
 ・コンクリート強度 Fc30
 ・幅止め筋 D10@1000以内とする
 ・<>内数値はかつわ長さを示す
 ・鉄筋種別 D10~D13:SD295A
 D19~D25:SD345
 D29 :SD390

符号	FG1		FG2			FG2A			FG3	
	両端	中央	①端	中央	②端	②端	中央	③端	両端	中央
位置	両端		①端	中央	②端	②端	中央	③端	両端	中央
断面										
BxD	500x1200		950x1600			950x1600			750x1600	
上端筋	5-D29		9-D29	9-D29	15-D29	15-D29	9-D29	9-D29	7-D29	7-D29
下端筋	5-D29		14-D29	14-D29	9-D29	7-D29	7-D29	7-D29	10-D29	12-D29
STP	(2) □-D13 @150		(2) □-D13 @100			(2) □-D13 @100			(2) □-D13 @150	
腹筋	4-D10		6-D13			6-D13			6-D13	

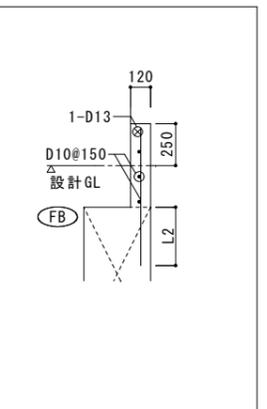
符号	FG4			FG4A			FG11		FG12	FG13		
	①端	中央	②端	②端	中央	③端	両端	中央	全断面	④端	中央	⑤端
位置	①端	中央	②端	②端	中央	③端	両端	中央	全断面	④端	中央	⑤端
断面												
BxD	950x1600			950x1600			450x1200		450x1200	600x1200		
上端筋	11-D29			17-D29			6-D29		6-D29	7-D29		
下端筋	14-D29			14-D29			6-D29		6-D29	4-D29		
STP	(2) □-D13 @100			(2) □-D13 @100			(2) □-D13 @150		(2) □-D13 @150	(2) □-D13 @100		
腹筋	6-D13			6-D13			4-D10		4-D10	4-D10		

符号	FB1		FB2		FB2A		FB2B	FB2C	FB3		FB4	FB5
	③端	中央・その他	両端	中央	両端	中央	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
位置	③端	中央・その他	両端	中央	両端	中央	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
断面												
BxD	350x800		450x1000		450x1000		450x1000	450x1000	350x800		450x1200	250x600
上端筋	5-D22		9-D22	5-D22	7-D22	5-D22	9-D22	7-D22	3-D22	3-D22	5-D22	2-D22
下端筋	3-D22		5-D22	7-D22	7-D22	7-D22	5-D22	7-D22	3-D22	5-D22	5-D22	2-D22
STP	(2) □-D10 @200		(2) □-D10 @150		(2) □-D10 @150		(2) □-D10 @150	(2) □-D10 @150	(2) □-D10 @200		(2) □-D10 @150	(2) □-D10 @200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10		4-D10	2-D10

符号	FCG1		FCG2	FCB1	
	⑤端	中央	先端	先端	基端
位置	⑤端	中央	先端	先端	基端
断面					
BxD	600x1200		450x1200	350x800	
上端筋	9-D29		4-D29	3-D22	
下端筋	4-D29		4-D29	3-D22	
STP	(2) □-D13 @150		(2) □-D13 @150	(2) □-D10 @200	
腹筋	4-D10		4-D10	2-D10	



立上り壁 1/30

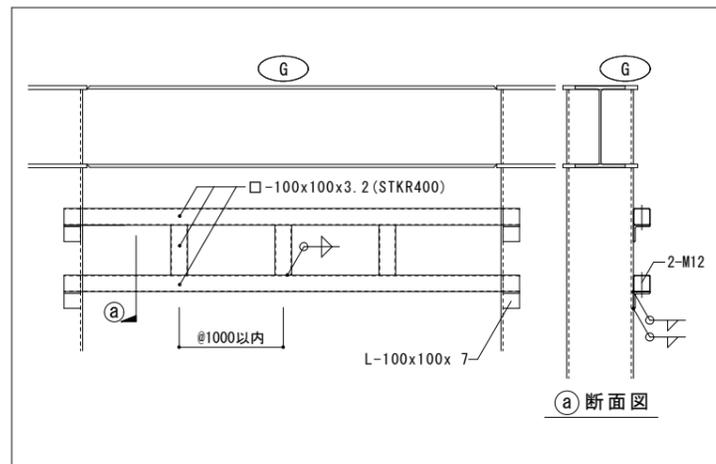


特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種別はBCR295とする
 ・通しサイヤワラスN490C、内サイヤワラスN490Bとする
 ・B. R下部は、無収縮モルタル=50とする
 ・A. BOLTは、ダブルナット締めとする
 ・座金はB. Rに全周溶接すること

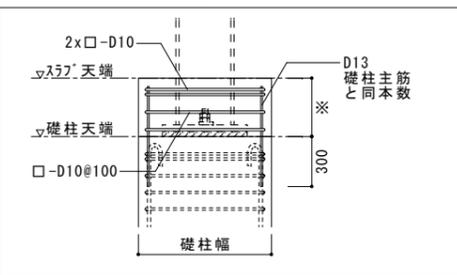
鉄骨柱リスト 1/30

符号	C1	C2	C3	C4
2F	□-400x400x12	□-400x400x12	□-200x200x6	—
1F	□-400x400x16	□-400x400x16	□-400x400x16	□-250x250x16
柱型				
B. R	R-40x600x600 (SN490C)	R-40x600x600 (SN490C)	R-40x600x600 (SN490C)	R-36x450x450 (SN490C)
Rib. R	R-9, h=150 (SN400B)	R-9, h=150 (SN400B)	R-9, h=150 (SN400B)	R-9, h=150 (SN400B)
A. BOLT	12-M33 (ABR490)	12-M33 (ABR490)	12-M33 (ABR490)	8-M30 (ABR490)
定着板	R-12x150x150	R-12x150x150	R-12x150x150	R-12x100x100
柱型				
BxD	950x950	950x950	950x950	850x850
主筋	16-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	12-D25 (SD345)
帯筋	D13@150 (SD295A)	D13@150 (SD295A)	D13@150 (SD295A)	D13@150 (SD295A)
備考				

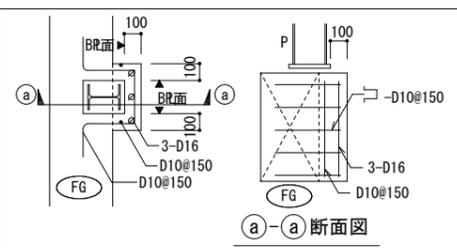
シャッター受け部材要領図



柱脚根巻配筋要領



間柱柱脚部増打要領



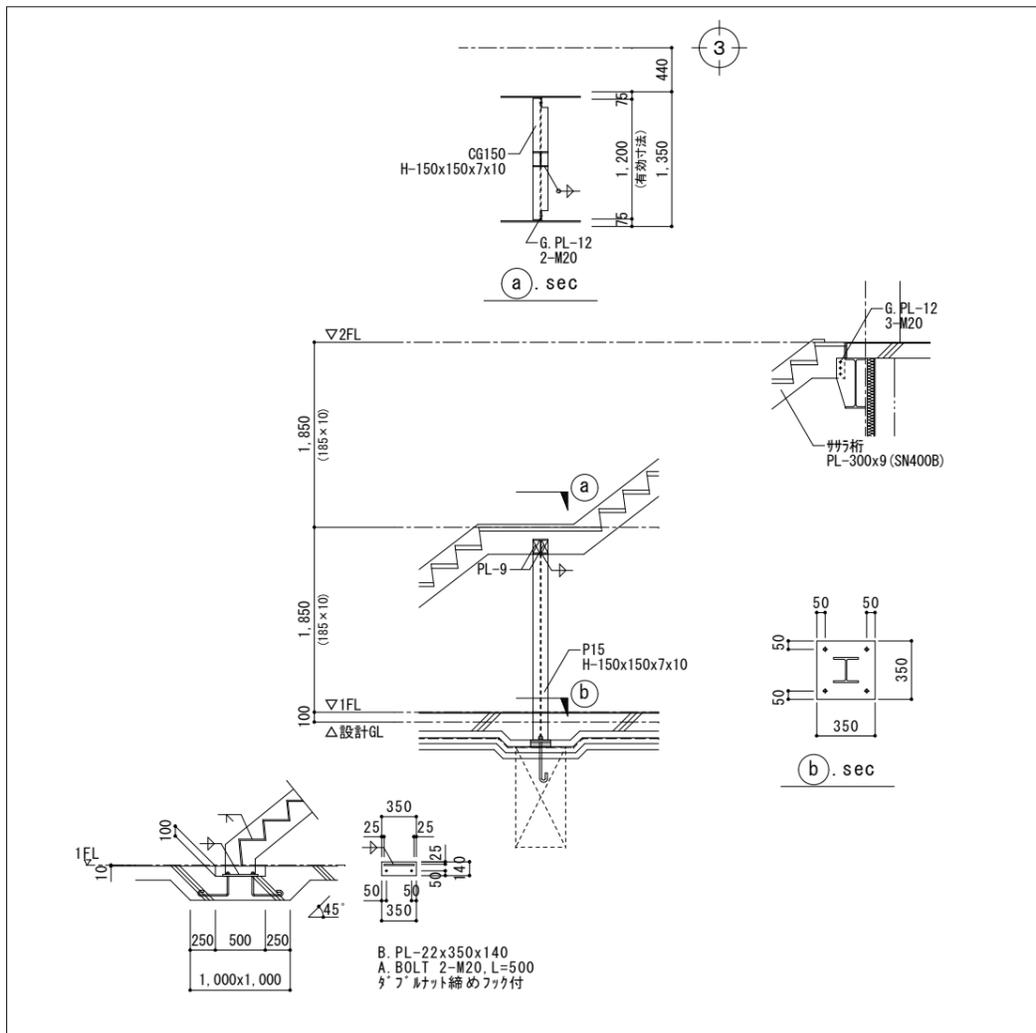
間柱リスト

特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種別はSN400Aとする
 ・A. BOLTは、ダブルナット締めとする

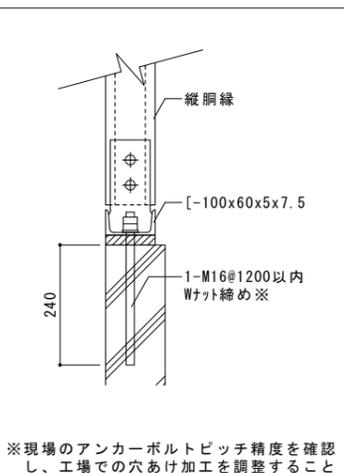
符号	P10	P14, P14z	P15	P19	P20	P25
部材	H-100x100x6x8	H-148x100x6x9	H-150x150x7x10	H-194x150x6x9	H-200x200x8x12	H-250x250x 9x14
接合部	G. R-6, 2-M16	G. R-6, 2-M16	G. R-6, 2-M16	G. R-9, 2-M16	G. R-9, 2-M16	G. R-9, 2-M20
姿図						
B. PL	R-16x150x200	R-16x200x200	R-16x200x200	R-12x250x200	R-19x250x250	R-16x300x300
Rib. R	—	—	—	—	—	—
A. BOLT	2-M16	2-M16	2-M16	2-M20 (L=400) フック付	2-M20 (L=400) フック付	2-M20 (L=400) フック付

符号	P1
部材	□-200x200x9 (BCR295)
接合部	G. R-9, 2-M20
姿図	
B. PL	R-16x400x400
Rib. R	—
A. BOLT	2-M20 (L=400) フック付

鉄骨階段詳細図



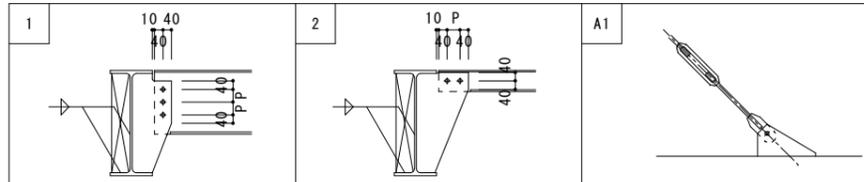
縦胴縁脚部取付要領図 1/10



特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種は、大梁:SN400B,小梁:SN400A とする
 ・HTBはS10T及びF10Tとする

鉄骨部材リスト

符号	部材	ピン接合 継手リスト					備考
		TYPE	HTB	nwxmw	G.PL	P	
G30	H-300x150x6.5x9	—	—	—	—	—	
G45	H-450x200x 9x14	—	—	—	—	—	
G50	H-500x200x10x16	—	—	—	—	—	
G60	H-600x200x11x17	—	—	—	—	—	
G294	H-294x200x 8x12	—	—	—	—	—	
G244	H-244x175x 7x11	—	—	—	—	—	
G390	H-390x300x10x16	—	—	—	—	—	
G488	H-488x300x11x18	—	—	—	—	—	
G588	H-588x300x12x20	—	—	—	—	—	
G700	H-700x300x13x24	—	—	—	—	—	
CG20	H-200x100x5.5x8	—	—	—	—	—	
CG390	H-390x300x10x16	—	—	—	—	—	
CG45	H-450x200x 9x14	—	—	—	—	—	
CG50	H-500x200x10x16	—	—	—	—	—	
CG244	H-244x175x 7x11	—	—	—	—	—	
CG150,CG150z	H-150x150x 7x10	—	—	—	—	—	
CG175,CG175z	H-175x175x7.5x11	—	—	—	—	—	
B17	H-175x 90x 5x8	1	M16	2x1	6	60	
B20	H-200x100x5.5x8	1	M20	2x1	6	60	
B25	H-250x125x 6x 9	1	M20	2x1	6	60	
B30	H-300x150x6.5x9	1	M20	3x1	9	60	
B35	H-350x175x 7x11	1	M20	4x1	9	60	
B40	H-400x200x 8x13	1	M20	5x1	9	60	
B45	H-450x200x 9x14	1	M20	5x1	9	60	
B150	H-150x150x 7x10	2	M16	1x2	9	60	
B194	H-194x150x 6x 9	1	M20	2x1	6	60	
B244	H-244x175x 7x11	1	M20	2x1	9	60	
B250	H-250x250x 9x14	1	M20	2x1	9	60	
B294	H-294x200x 8x12	1	M20	3x1	9	60	
HB20	H-200x100x5.5x8	1	M20	2x1	6	60	横使い
HB25	H-250x125x 6x 9	1	M20	2x1	6	60	横使い
HB148	H-148x100x 6x 9	2	M16	1x2	6	60	横使い
HB150	H-150x150x 7x10	2	M16	1x2	9	60	横使い
HB175	H-175x175x7.5x11	1	M16	1x2	9	60	横使い
HB250	H-250x250x 9x14	1	M20	2x1	9	60	横使い
HB150z	H-150x150x 7x10	2	M16	1x2	9	60	横使い
HB175z	H-175x175x7.5x11	2	M16	1x2	9	60	横使い
t1	[-100x50x5x7.5	2	M16	1x2	6	60	座屈止め、火打ち梁
HV1	1-M20 (TB付)	A1	M20	1x1	9	—	水平ﾌﾞﾚｰｽ
HV2	1-M16 (TB付)	A1	M16	1x1	6	—	水平ﾌﾞﾚｰｽ
RV1	1-M16 (TB付)	A1	M16	1x1	6	—	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ
鋼縁	C-100x50x2.3@606 (@1000)	2	M12	1x2	6	50	SSC400,中本ﾌﾞﾙｯﾄ
開口補強	□-100x100x2.3	2	M12	1x2	6	50	STKR400,通しﾌﾞﾙｯﾄ
母屋	C-100x50x20x2.3@450	2	M12	1x2	6	50	SSC400,中本ﾌﾞﾙｯﾄ
鉄骨階段	サテラ桁: PL-9x300 踏 板: CH-R-4.5 踊り場: CH-R-4.5 根 太: L-65x65x6@450	1	M20	3x1	12	60	B-R-22x350x140 A.BOLT 2-M20 (L=500ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾞﾙｯﾄ締めﾌﾞﾗｯｸ付)



特記なき限り下記に依る
 ・HTBはS10T及びF10Tとする
 ・継手材は、主材と同材質とする

継手リスト

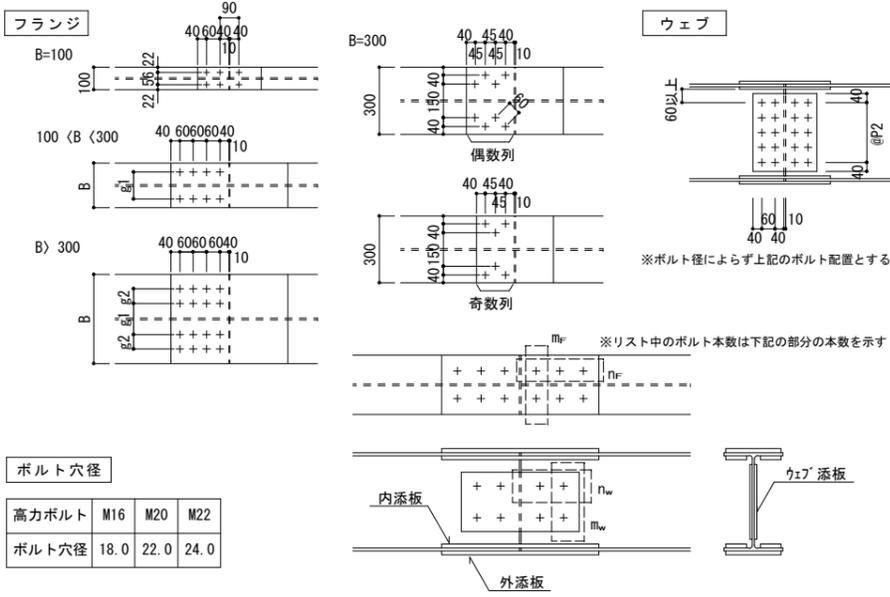
断面	HTB	フランジ				ウェブ			備考	
		ボルト nFxmf	ゲージ		外添板	内添板	ボルト mwxnw	添板寸法		
			g1 mm	g2 mm	厚x長さ mm mm	厚x幅 mm mm		Pc mm		厚x幅x長さ mm mm mm
H-200x100x5.5x8	M20	2x2	56		16x290		2x1	60	6x140x170	
H-300x150x6.5x9	M20	2x2	90		9x290	9x 60	2x1	120	6x200x170	
H-450x200x 9x14	M20	3x2	120		12x410	12x 80	5x1	60	9x320x170	
H-500x200x10x16	M20	3x2	120		12x410	12x 80	5x1	60	9x320x170	
H-600x200x11x17	M20	3x2	120		12x410	12x 80	4x2	120	9x440x290	
H-194x150x 6x 9	M16	2x2	90		9x290	9x 60	2x1	60	6x140x230	
H-244x175x 7x11	M20	2x2	105		9x290	9x 70	2x1	60	9x140x170	
H-294x200x 8x12	M20	3x2	120		9x410	9x 80	3x1	60	9x200x170	
H-390x300x10x16	M20	4x2	150	40	12x440	12x110	4x1	60	9x260x170	
H-488x300x11x18	M20	4x2	150	40	12x440	12x110	4x2	90	12x350x290	
H-588x300x12x20	M20	5x2	150	40	12x530	16x110	4x2	120	9x440x290	
H-700x300x13x24	M20	6x2	150	40	19x620	19x110	9x1	60	9x560x170	
H-150x150x 7x10	M16	2x2	90		9x290	9x 60	1x3	60	9x 80x470	
H-250x250x 9x14	M20	4x2	150		12x530	12x100	2x2	60	9x140x290	F8T
H-150x150x 7x10	M20	2x2	90		9x290	9x 60	1x2	60	9x 80x350	F8T
H-175x175x7.5x11	M20	2x2	105		9x290	9x 70	1x3	60	9x 80x410	F8T

H形鋼梁 標準継手リスト

共通事項
 ・添え板の切断方法は、6mm以下の添え板のみシアカットを認め、それ以外は、のこ引き切断、または、自動ガス切断とする。
 ・接合部の板厚の差が、1mmを超える場合は、フィラープレートを挿入する。
 ・保有耐力接合に関する計算方針は、SSC-S-H97による。

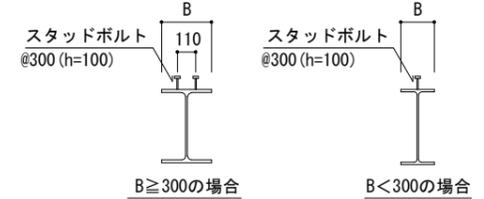
フランジ幅 B	高力ボルト使用区分		
	M16	M20	M22
100	○		
125	○		
150	○	○	
175	○	○	
200~		○	○

ディテールの共通事項



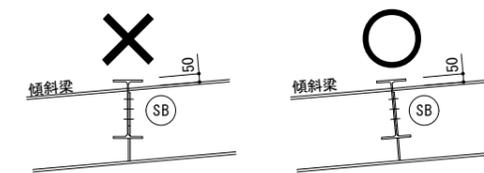
スタッドボルト取付け要領

スラブを支持する梁はスタッドボルト取付
 大梁:φ16, 小梁:φ16

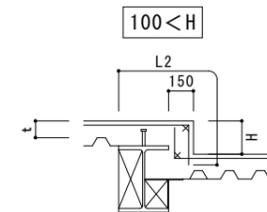


屋根小梁配置要領図

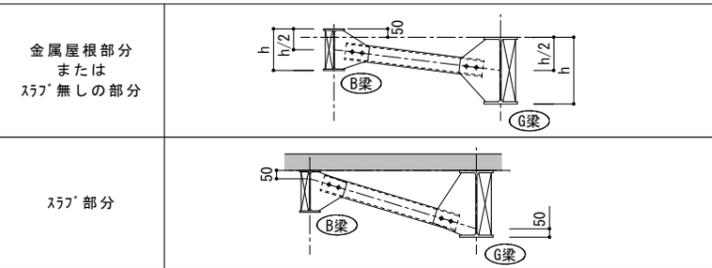
小梁は大梁勾配に合わせて部材傾斜を設ける



スラブ段差部要領図



座屈止め 取付位置



NOTE

JOB No

DATE

TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

DWG No

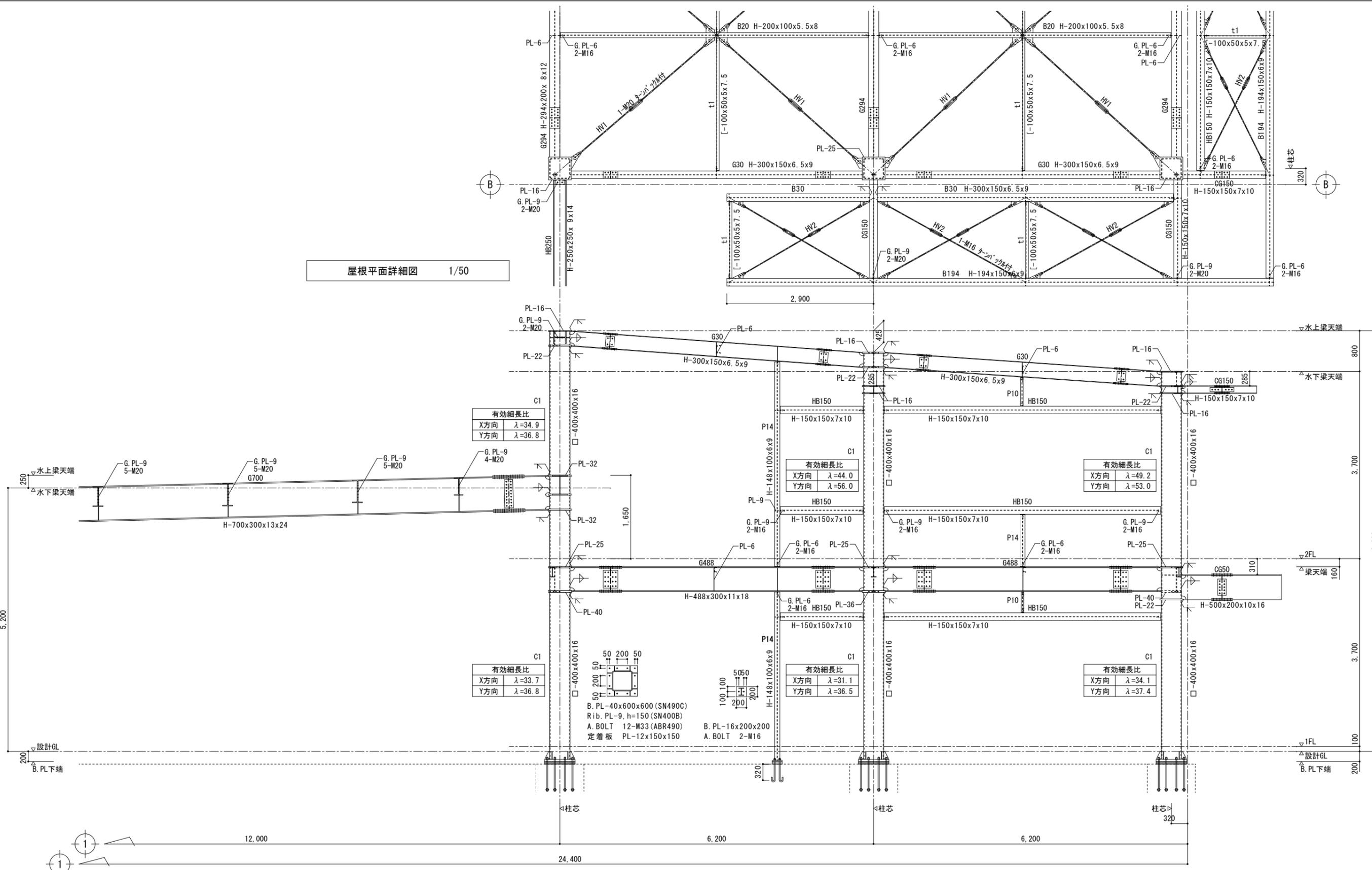
【庁舎棟】鉄骨部材リスト (2)

SCALE A2: 1/30
 A3: A2の71%

S

022

屋根平面詳細図 1/50



通り鉄骨詳細図 1/50

- 特記なき限り下記に依る
- ・鋼材種別は、柱:BCR295, 大梁:SN400B, 小梁:SN400A とする
 - ・通しゲイヤラムSN490C, 内ゲイヤラムSN490Bとする
 - ・B.見下部は、無取縮モルタルt=50とする
 - ・A. BOLTは、ゲヤムナット締めとする

NOTE

株式会社 あい設計 福山支社

株式会社 あい設計 福山支社
一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号

JOB No

DATE

TITLE 三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)

DWG No

一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋

一級建築士 第350767号 行徳 公嗣

寺川 智也

一級建築士 第353061号 構造設計一級建築士 第10464号 津曲 雅之

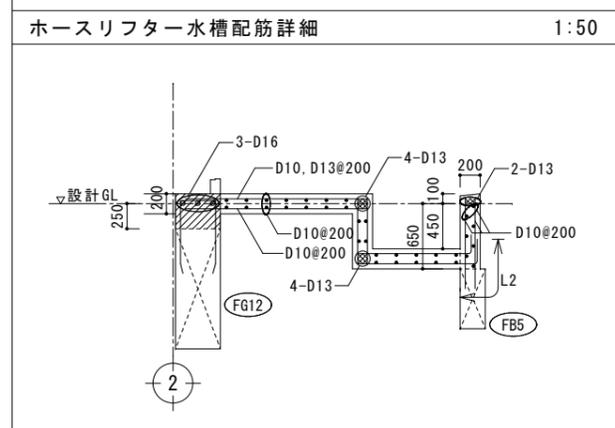
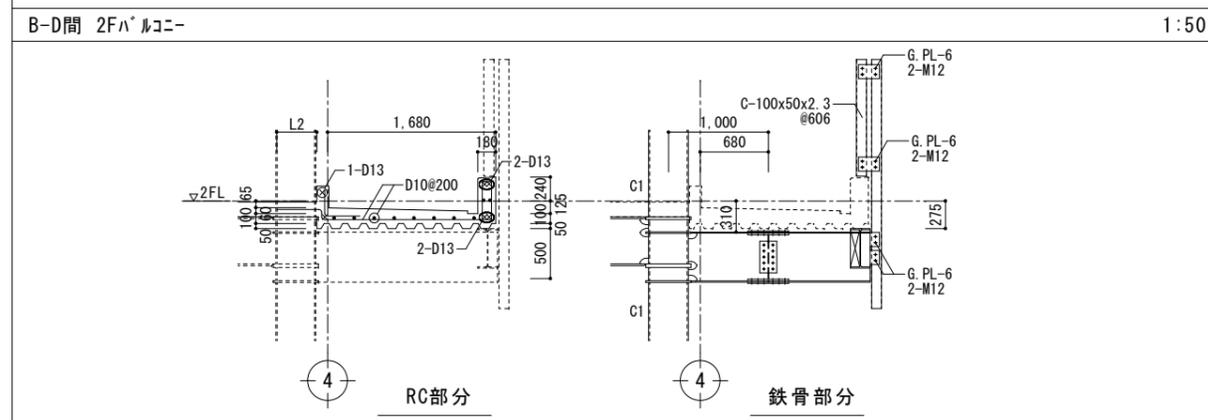
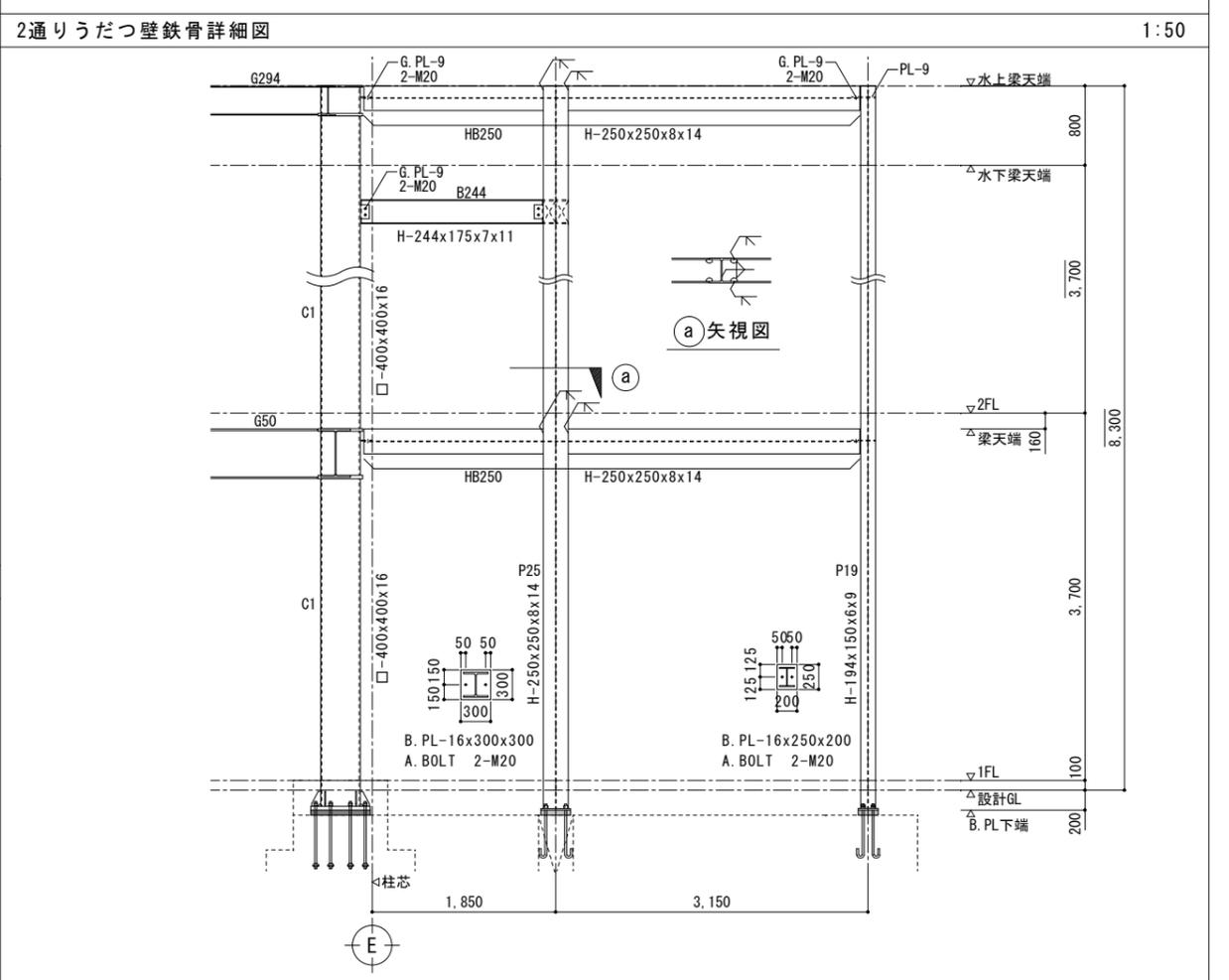
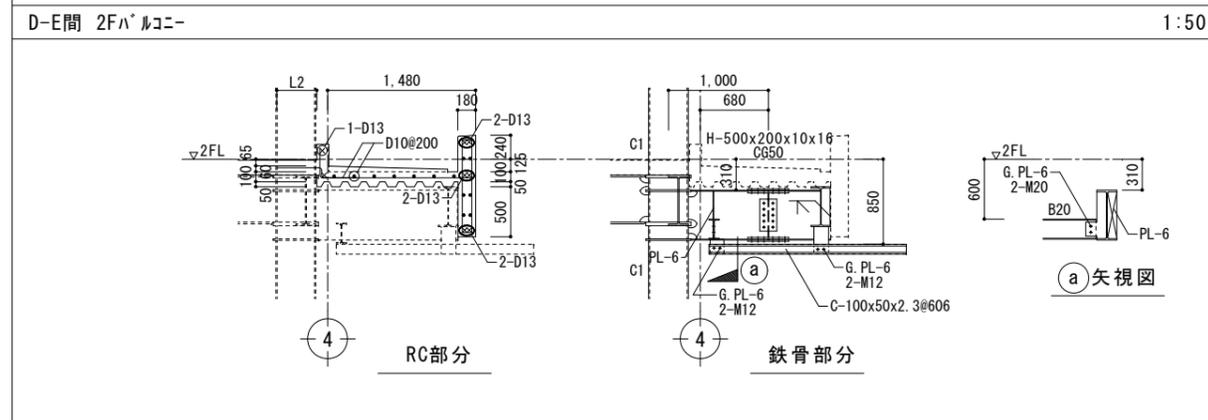
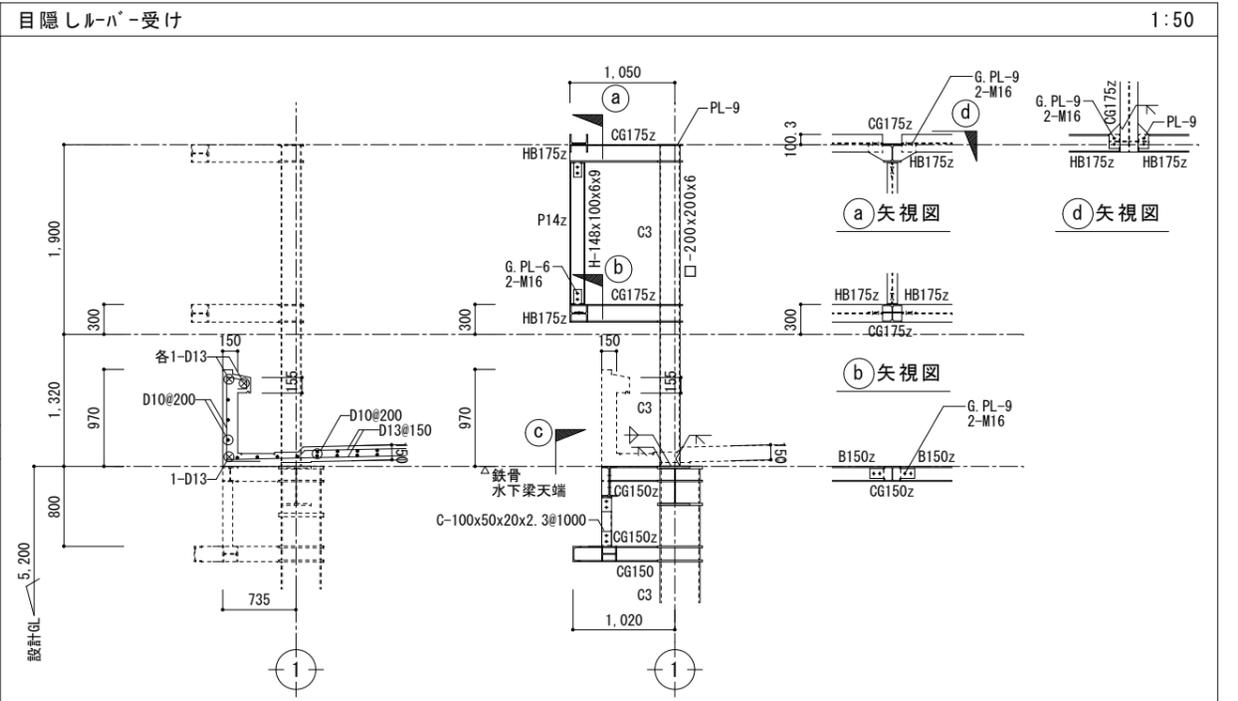
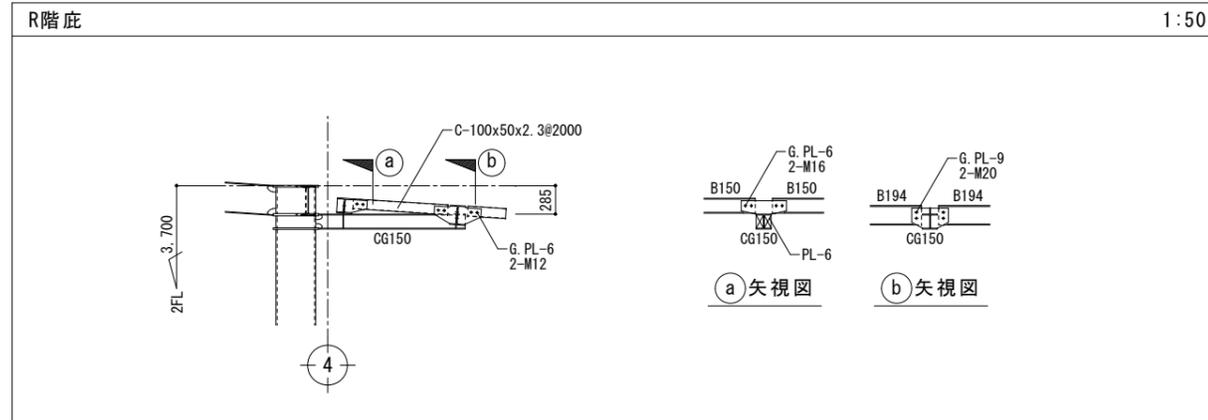
【庁舎棟】鉄骨詳細図

SCALE A2: 1/50
A3: A2の71%

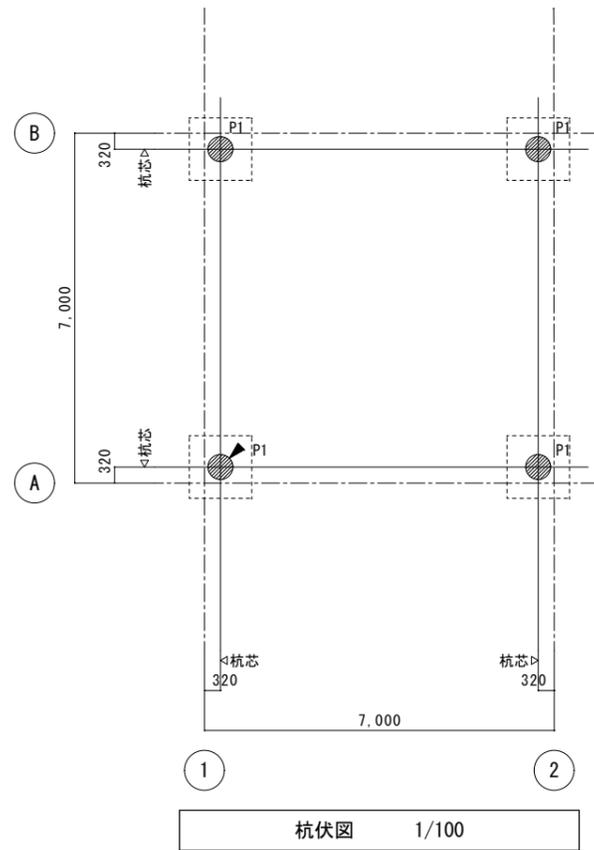
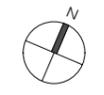
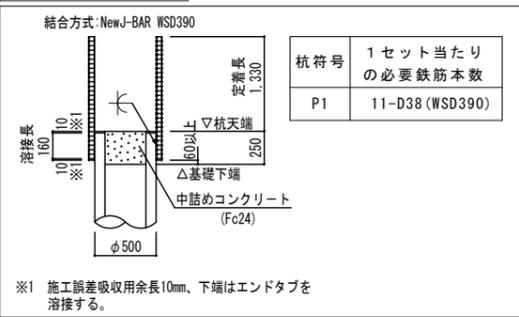
S

023

A12019.11

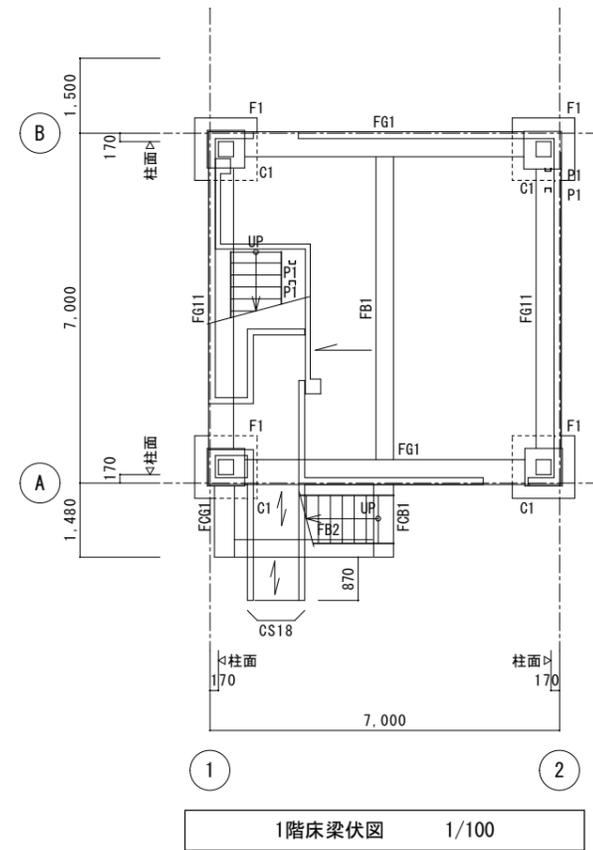


アンカー筋詳細図



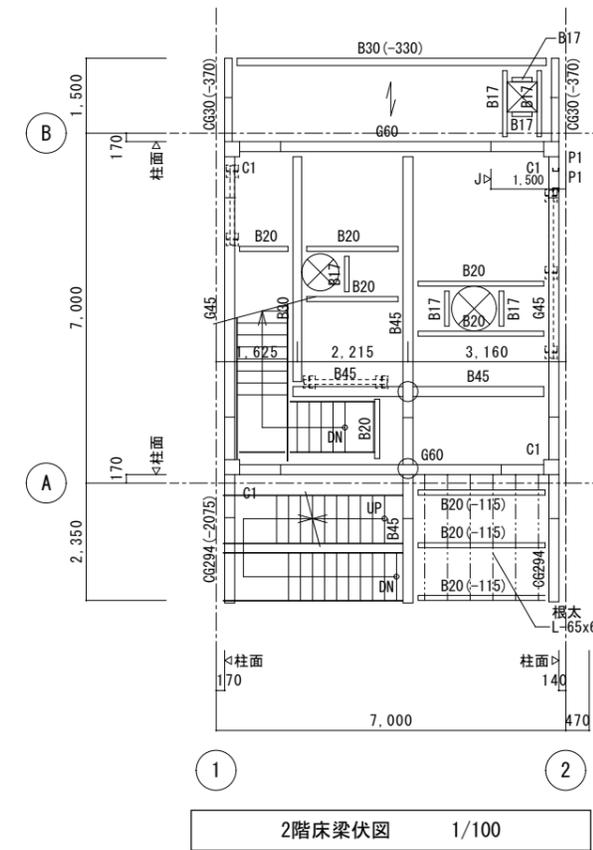
杭伏図 1/100

- 特記なき限り下記に依る
- 1 杭芯=柱芯とする
 - 2 杭天端レ' Mは、設計GL-1,950とする
 - 3 ▲ は、試験杭位置を示す
 - 4 施工誤差は工事監理者に報告し、設計者に補強の有無を確認すること
 - 5 ⊕ は、ボ'リング'位置を示す
 - 6 杭施工に先立ちロ'ック'ガ'工法 (φ1000mm) にて設計GL-5.0mまで先行掘削を行うこと (埋め戻し土はA種とする)



1階床梁伏図 1/100

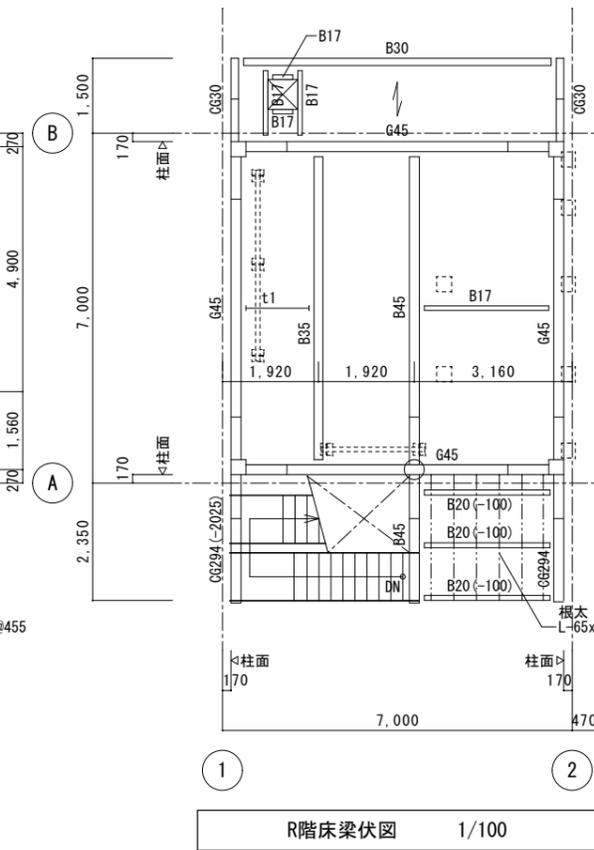
- 特記なき限り下記に依る
- 1 1FL=設計GL-100とする
 - 2 基礎下端レ' Mは、設計GL-2200とする
 - 3 基礎梁天端レ' Mは、設計GL-400とする
 - 4 B. PL下端レ' Mは、設計GL-350とする
 - 5 ス'ラ'符号は、S18 とし、ス'ラ'天端レ' Mは、設計GL-100とする
 - 6 ◯ は、RC腰壁W12 H=FL+270とする
 - 7 特記なき主筋方向は、←→とする



2階床梁伏図 1/100

(本図は見下げ図とする)

- 特記なき限り下記に依る
- 1 JOINT位置は、柱芯より1000mmとする
 - 2 梁天端レ' Mは、FL-220とする
 - 3 ス'ラ'符号は S15 とし、天端レ' MはFL-70とする
 - 4 特記なき主筋方向は、←→とする
 - 5 寸法記入がない小梁はス'ラ'均等配置とする
 - 6 ⊕ は、剛接合を示す



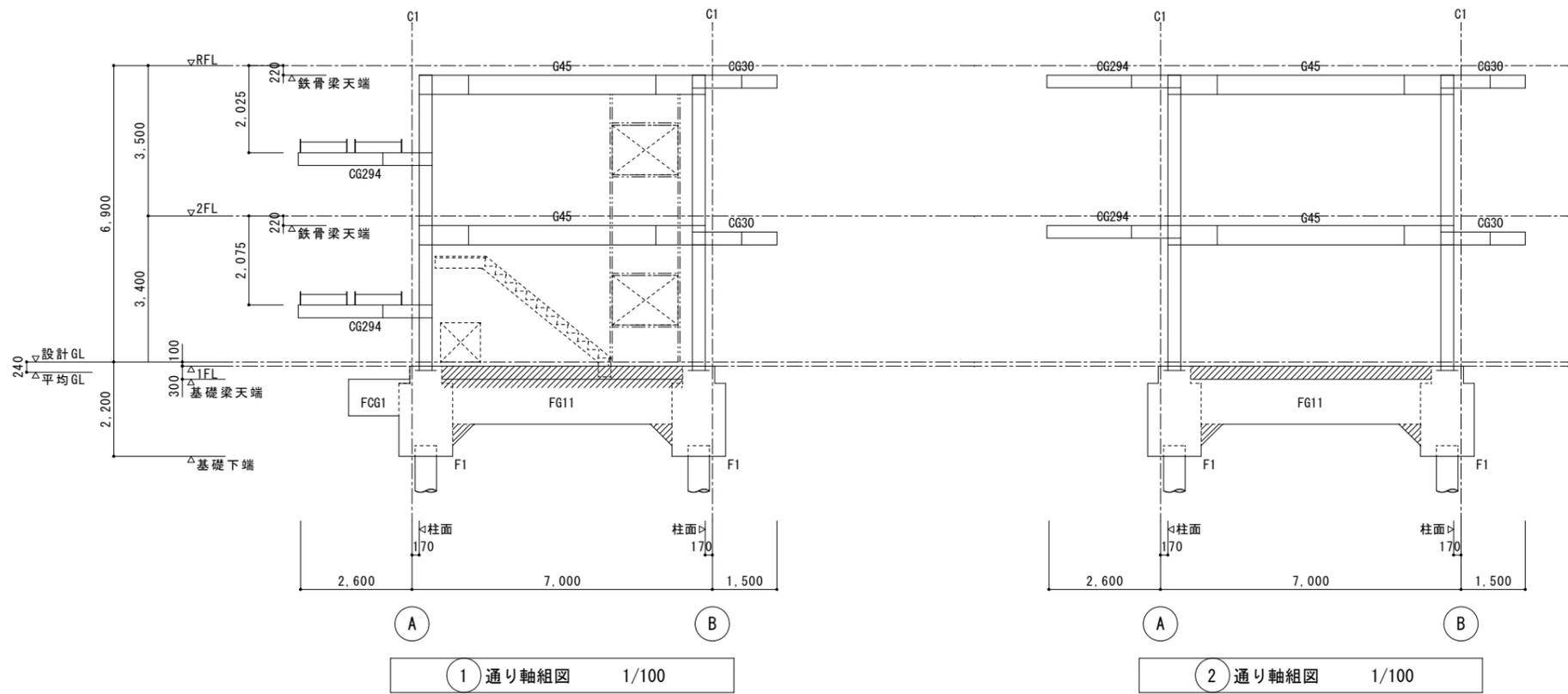
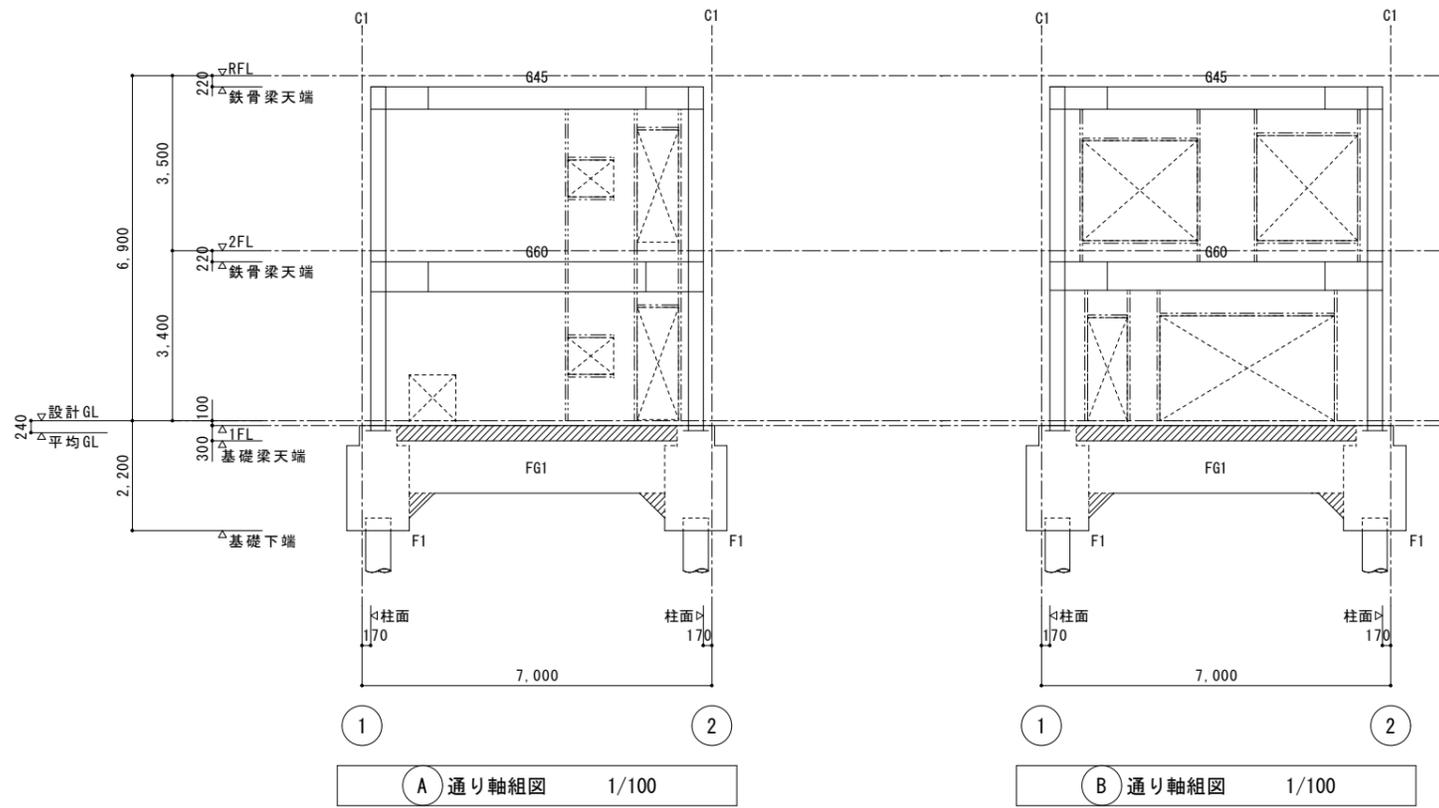
R階床梁伏図 1/100

(本図は見下げ図とする)

- 特記なき限り下記に依る
- 1 JOINT位置は、柱芯より1000mmとする
 - 2 梁天端レ' Mは、FL-220とする
 - 3 ス'ラ'符号は S15 とし、天端レ' MはFL-70とする
 - 4 特記なき主筋方向は、←→とする
 - 5 寸法記入がない小梁はス'ラ'均等配置とする
 - 6 ⊕ は、剛接合を示す

杭リスト Smart-MAGNUM工法(標準型)【国土交通大臣認定 礫質地盤: TACP-0626 砂質地盤: TACP-0625】

符号	記号	杭天端	杭先端	杭全長	上杭		中杭		下杭		拡大掘削部径 Des (mm)	拡大根固め部径 Den (mm)	拡大比	杭下拡大 根固め部長さ	長期許容 支持力	本数
					杭種	杭長	杭種	杭長	杭種	杭長						
P1	⊕	設計GL-1,950m	設計GL-22,950m	21.0m	JP-HSC φ500 (SKK490 t=12.0 105N)	6.0m	JP-PHC φ500 (B種 105N)	7.0m	JP-NPH φ500-400-500 (A種 105N)	8.0m	600	600	ωp=1.09	LL=0.5	1200 kN/本	4
															合計	4

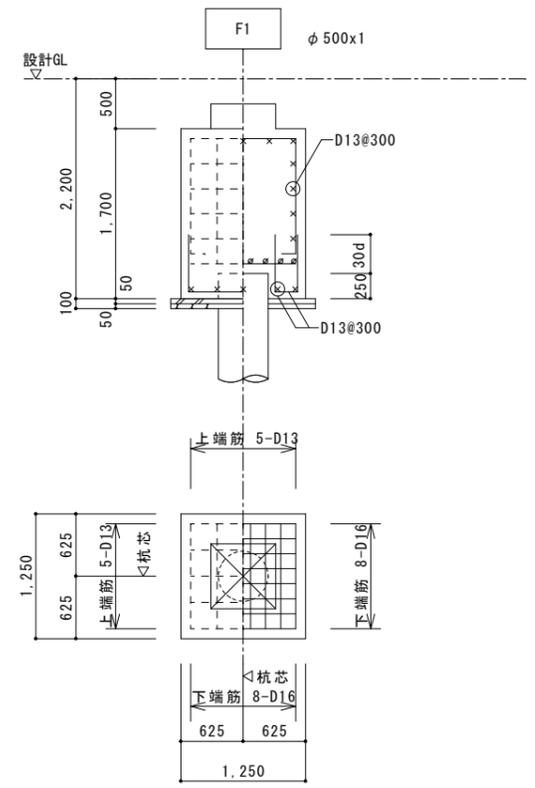


- 特記なき限り下記に依る
- 1 JOINT位置は、柱芯より100mmとする
 - 2 B.R下端は、基礎梁天端+50とする(設計GL-350)
 - 3 RC立上り壁は、W15 H=設計GL+300 を示す
 - 4 は、増打範囲を示す

NOTE		株式会社 あい設計 福山支社	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号			三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事)	
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋	一級建築士 第350767号 行株 公嗣	寺川 智也	一級建築士 第353061号 構造設計一級建築士 第10464号 津曲 雅之	【訓練塔】軸組図	SCALE A2 : 1/100 A3 : A2の71%
						S 026

基礎リスト 1/50

特記なき限り下記に依る
 ・コンクリート強度 Fc24
 ・鉄筋種別 D10~D16:SD295A



基礎梁・基礎小梁リスト 1/50

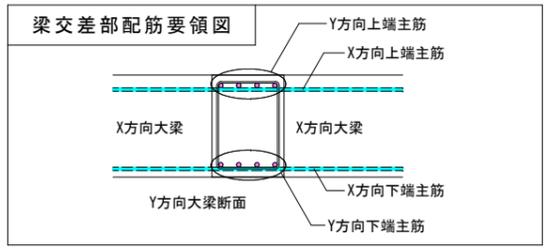
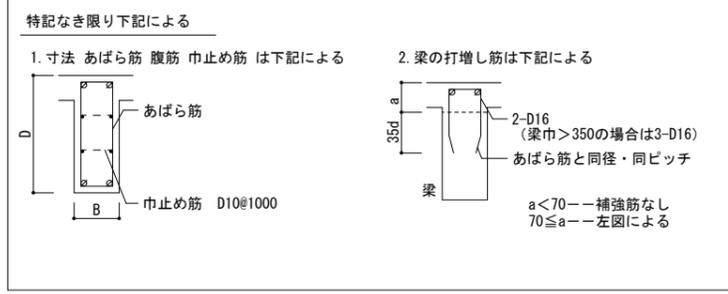
特記なき限り下記による
 ・コンクリート強度 Fc24
 ・鉄筋種別 D10~D13:SD295A
 D19~D25:SD345
 D29 :SD390
 受筋D10@1000以内とする

符号	FG1	FG11	FB1		FB2	FCG1, FCB1
位置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
断面						
BxD	500x1000	500x1000	400x800		350x600	400x800
上端筋	5-D29	5-D29	4-D22	4-D22	3-D22	4-D22
下端筋	6-D29	5-D29	4-D22	7-D22	3-D22	4-D22
STP	(2) □-D13 @100	(2) □-D13 @100	(2) □-D10 @150		(2) □-D10 @200	(2) □-D10 @150
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10

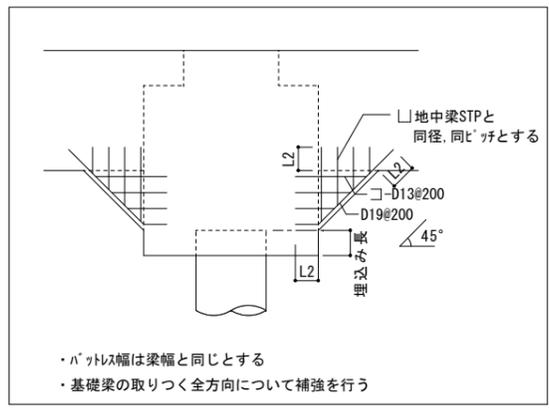
スラブリスト

特記なき限り下記による
 ・コンクリート強度 Fc24
 ・鉄筋種別 D10~D13:SD295A

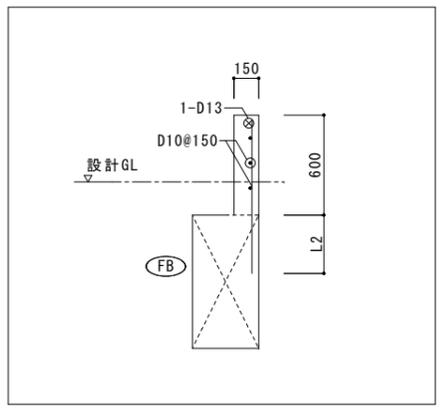
符号	厚さ	位置	短辺方向配筋	長辺方向配筋	備考
S18	180	上	D13@150	D10@150	
		下	D10@150	D10@150	
S15	150	上	D10, D13@200	D10@200	JF7' ッ捨型枠
		下	D10@200	D10@200	
CS18	180	上	D13@150	D10@200	
		下	D10@150	D10@200	



パットレス配筋図



立上り壁 1/30



特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種別はBCR295とする
 ・通しタイヤSN490C、内タイヤSN490Bとする
 ・B. 見下部は、無収縮モルタル=50とする
 ・A. BOLTは、タフナット締めとする

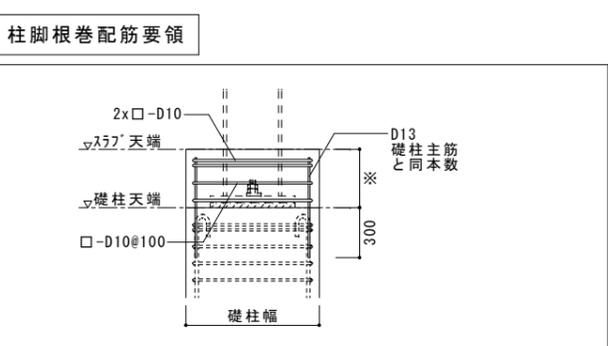
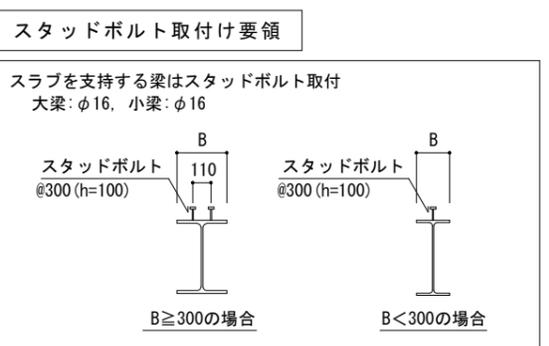
符号	C1	
2F	□-300x300x9	
1F	□-300x300x9	
柱脚		
B. 見	R-36x500x500 (SN490C)	
Rib. 見	R-9, h=150 (SN400B)	
A. BOLT	8-M33 (ABR400)	
定着板	R-12x60x60	
柱型		
BxD	750x750	
主筋	12-D25 (SD345)	
帯筋	D13@150 (SD295A)	
備考		

特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種別はSN400Aとする
 ・A. BOLTは、タフナット締めとする

符号	P1	
部材	[-100x50x5x7.5	
接合部	G. 見-6, 2-M16	
姿図		
B. PL	R-9x150x200	
Rib. 見		
A. BOLT	2-M16	

特記なき限り下記に依る
 ・鋼材種別は、大梁:SN400B, 小梁:SN400Aとする
 ・HTBIはS10T及びF10Tとする
 ・屋外で露出する鉄骨は、溶融亜鉛めっきとし、HTBIはF8Tとする
 ・ブレースが取付く場合の梁のG. 見厚は、ブレースのG. 見厚さ以上とする

符号	部材	ピン接合 継手リスト					備考
		TYPE	HTB	nwxmw	G. PL	P	
G45	H-450x200x 9x14	—	—	—	—	—	
G60	H-600x200x11x17	—	—	—	—	—	
CG294	H-294x200x 8x12	—	—	—	—	—	
CG30	H-300x150x6. 5x9	—	—	—	—	—	
B17	H-175x 90x 5x 8	2	M16	1x2	6	60	
B20	H-200x100x5. 5x8	1	M16	2x1	6	60	
B30	H-300x150x6. 5x9	1	M20	3x1	6	60	
B35	H-350x175x 7x11	1	M20	4x1	9	60	
B45	H-450x200x 9x14	1	M20	5x1	12	60	
t1	[-100x50x5x7. 5	2	M16	1x2	6	60	座屈止め
鉄骨階段	ササ桁: PL-12x250 踏板: CH. R-4. 5 踊り場: CH. R-4. 5 根太: L-65x65x6@450	1	M20	2x1	12	60	B. 見-22x350x140 A. BOLT 2-M20 (L=500 タフナット締めフック付)
1		2		A1			

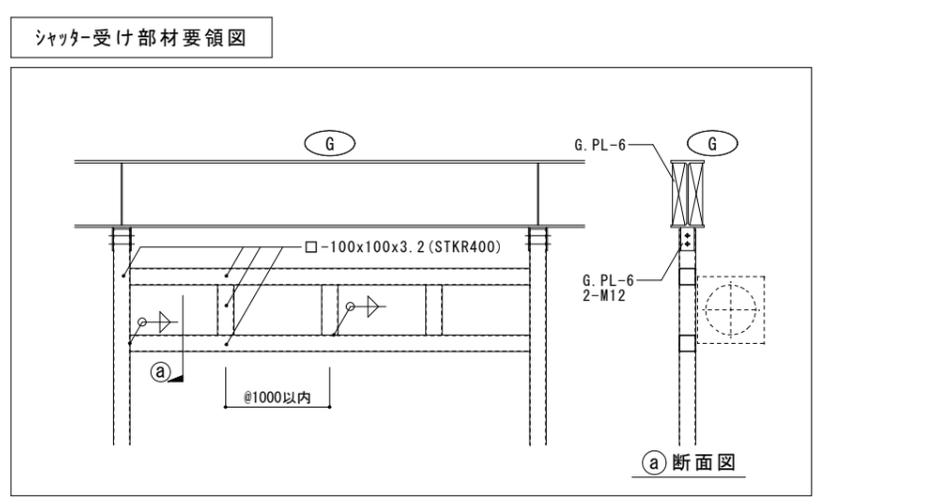
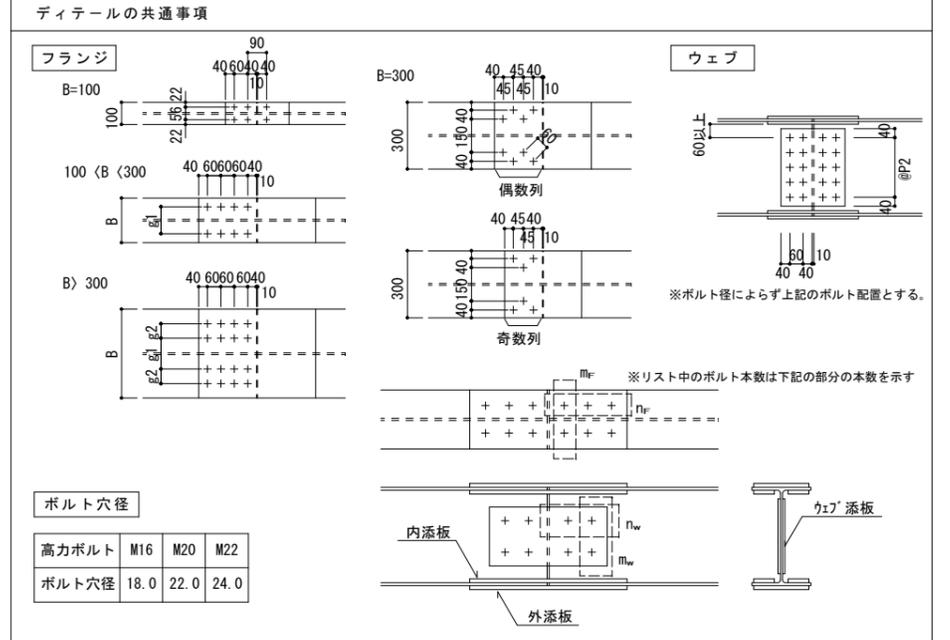


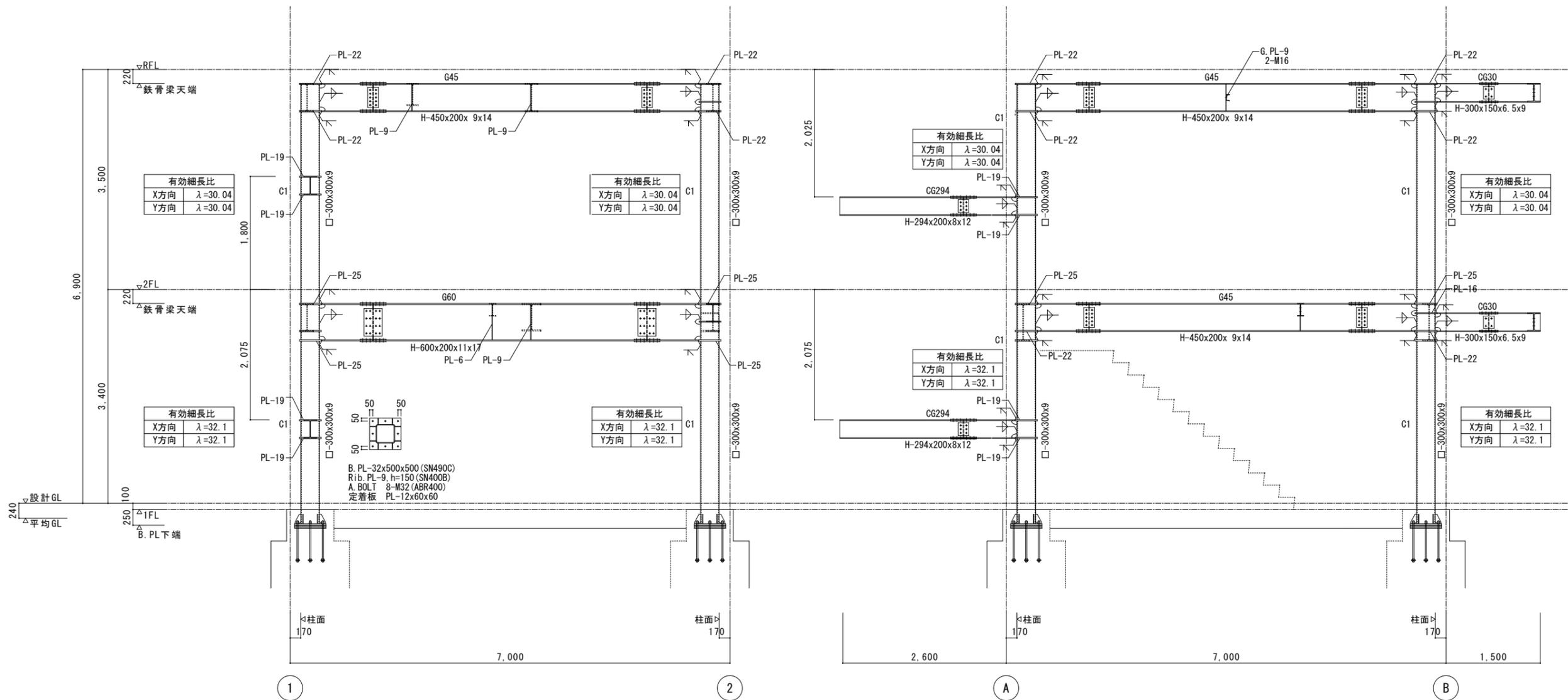
特記なき限り下記に依る
 ・HTBIはS10T及びF10Tとする
 ・継手材は、主材と同材質とする

断面	HTB	フランジ				ウェブ		備考	
		ボルト nFxmF	ゲージ		外添板 厚x長さ mm mm	内添板 厚x幅 mm mm	ボルト mwxnw		添板寸法 Pc 厚x幅x長さ mm mm mm
			g1	g2					
H-450x200x 9x14	M20	3x2	120		12x410	12x 80	5x1 60	9x320x170	
H-600x200x11x17	M20	3x2	120		12x410	12x 80	4x2 120	9x440x290	
H-294x200x 8x12	M20	3x2	120		9x410	9x 80	3x1 60	9x200x170	
H-300x150x6. 5x9	M20	2x2	90		9x290	9x 60	2x1 120	6x200x170	

H形鋼梁 標準継手リスト

共通事項	フランジ幅 B		
	M16	M20	M22
添え板の切断方法は、6mm以下の添え板のみシアカットを認め、それ以外は、のこ引き切断、または、自動ガス切断とする。	○	○	○
接合部の板厚の差が、1mmを超える場合は、フィラープレートを挿入する。	○	○	○
保有力接合に関する計算方針は、SCSS-H97による。	○	○	○





A 通り鉄骨詳細図 1/50

1 通り鉄骨詳細図 1/50

NOTE

	株式会社 あい設計 福山支社 一級建築士事務所 広島県知事登録 19 (1) 第4571号	JOB No	DATE	TITLE	三原西消防署庁舎建設工事 (建築主体工事) 【訓練塔】鉄骨詳細図
	一級建築士 第340646号 佐藤 彰洋 一級建築士 第350767号 行株 公嗣	寺川 智也	一級建築士 第353061号 津曲 雅之 構造設計一級建築士 第10464号	SCALE A2 : 1/50 A3 : A2の71%	

DWG No	S
DWG No	029
DATE	A12019.11.1

参 考 数 量 書

工 事 名 称 三原西消防署庁舎建設工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市下北方一丁目

[工 事 概 要]

用途・構造・面積	庁舎棟：庁舎・鉄骨造2階建て・床面積976.81㎡ 訓練塔：訓練塔・鉄骨造2階建て・床面積98.00㎡	
工 事 範 囲	新築工事	
別 途 工 事	電気設備工事・給排水衛生設備工事・空調換気設備工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和8年1月26日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額	
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 庁舎棟	1	式		
2. 訓練塔	1	式		
3. 駐輪場	1	式		
4. ボンベ庫	1	式		
5. 外構	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

1. 庁舎棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
土工		1		式					
地業		1		式					
鉄筋		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
鉄骨		1		式					
既製コンクリート		1		式					
防水		1		式					
タイル		1		式					
木工		1		式					
屋根及びとい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
建具		1		式					

2. 訓練塔									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
土工		1		式					
地業		1		式					
鉄筋		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
鉄骨		1		式					
既製コンクリート		1		式					
防水		1		式					
屋根及びとい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
建具		1		式					
塗装		1		式					
内外装		1		式					

1. 庁舎棟		地業		既製コンクリート杭地業		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
P1 既製コンクリート杭	杭実長L=19.0m 掘削長L=21.05m 上杭:JP-HSC φ 700 (SKK490 t=12.0 105N) L=6.0m 中杭:JP-PHC φ 700 (A種 105N) L=6.0m 下杭:JP-NPH φ 700-600-700 (A種 105N) L=7.0m	3	本			
P2 既製コンクリート杭	杭実長L=19.0m 掘削長L=21.05m 上杭:JP-HSC φ 600 (SKK490 t=12.0 105N) L=6.0m 中杭:JP-PHC φ 600 (B種 105N) L=6.0m 下杭:JP-NPH φ 600-450-600 (B種 105N) L=7.0m	10	本			
P3 既製コンクリート杭 (試験杭 1本含む)	杭実長L=20.0m 掘削長L=22.05m 上杭:JP-HSC φ 700 (SKK490 t=12.0 105N) L=6.0m 中杭:JP-PHC φ 700 (A種 105N) L=7.0m 下杭:JP-NPH φ 700-600-700 (A種 105N) L=7.0m	2	本			
P4 既製コンクリート杭 (試験杭 1本含む)	杭実長L=20.0m 掘削長L=22.05m 上杭:JP-HSC φ 600 (SKK490 t=12.0 105N) L=6.0m 中杭:JP-PHC φ 600 (B種 105N) L=7.0m 下杭:JP-NPH φ 600-450-600 (B種 105N) L=7.0m	3	本			
施工費	Smart-MAGNUM工法(標準型)同等工法	1	式			別紙 00-0013
杭残土運搬	訓塔塔含む	224	m3			
杭頭補強		1	式			別紙 00-0014

1. 庁舎棟		鉄筋			躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
異形鉄筋	SD295 D10	17	t				
異形鉄筋	SD295 D13	22.2	t				
異形鉄筋	SD295 D16	3	t				
異形鉄筋	SD345 D19	1.1	t				
異形鉄筋	SD345 D22	4	t				
異形鉄筋	SD345 D25	3	t				
異形鉄筋	SD390 D29	19.2	t				
鉄筋スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0015	
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	66.9	t				
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	66.9	t				
鉄筋ガス圧接		1	式			別紙 00-0016	
計							

1. 庁舎棟		型枠		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠 基礎部	1,010	m ²			
型枠	打放合板型枠A種 ラーメン構造 基礎部	17	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 基礎部	0.4	m ²			
型枠	打放合板型枠C種 ラーメン構造 基礎部	40.6	m ²			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	152	m ²			
型枠	打放合板型枠A種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	145	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	8.1	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	1,373	m ²			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	151	m			
型枠目地棒	伸縮目地 幅20 × 深さ20程度	249	m			
型枠目地棒	水切目地 幅15 × 深さ10程度	16.8	m			
計						

1. 庁舎棟		鉄骨			本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(本体)							
鋼板	SN400A PL-6	0.7	t				
鋼板	SN400A PL-9	1	t				
鋼板	SN400A PL-12	0.1	t				
鋼板	SN400A PL-16	0.1	t				
鋼板	SN400A PL-19	0.04	t				
鋼板	SN400B PL-6	0.1	t				
鋼板	SN400B PL-9	1.4	t				
鋼板	SN400B PL-12	2	t				
鋼板	SN400B PL-16	0.1	t				
鋼板	SN400B PL-19	0.2	t				
鋼板	SN490B PL-19	0.2	t				
鋼板	SN490B PL-22	0.03	t				
鋼板	SN490B PL-40	0.05	t				
鋼板	SN490C PL-16	0.1	t				

1. 庁舎棟		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板	SN490C PL-19	0.8	t			
鋼板	SN490C PL-22	1.2	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.6	t			
鋼板	SN490C PL-28	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-32	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-36	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-40	2.2	t			
鋼板	SS400 PL-6	1.8	t			
鋼板	SS400 PL-12	0.02	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-175×90×5×8	0.2	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-200×100×5.5×8	3	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-250×125×6×9	0.8	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-300×150×6.5×9	1.8	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-350×175×7×11	5.3	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-400×200×8×13	3.6	t			

1. 庁舎棟		鉄骨			本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
H形鋼(細幅)	SN400A H-450×200×9×14	5.3	t				
H形鋼(中幅)	SN400A H-148×100×6×9	1	t				
H形鋼(中幅)	SN400A H-194×150×6×9	1.9	t				
H形鋼(中幅)	SN400A H-244×175×7×11	0.1	t				
H形鋼(中幅)	SN400A H-294×200×8×12	0.4	t				
H形鋼(広幅)	SN400A H-100×100×6×8	0.2	t				
H形鋼(広幅)	SN400A H-150×150×7×10	4	t				
H形鋼(広幅)	SN400A H-175×175×7.5×11	7.2	t				
H形鋼(広幅)	SN400A H-200×200×8×12	1	t				
H形鋼(広幅)	SN400A H-250×250×9×14	5.4	t				
H形鋼(細幅)	SN400B H-200×100×5.5×8	0.03	t				
H形鋼(細幅)	SN400B H-300×150×6.5×9	1.8	t				
H形鋼(細幅)	SN400B H-450×200×9×14	1.9	t				
H形鋼(細幅)	SN400B H-500×200×10×16	10.4	t				
H形鋼(細幅)	SN400B H-600×200×11×17	2.4	t				

1. 庁舎棟		鉄骨			本体鉄骨	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼(中幅)	SN400B H-244×175×7×11	0.4	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-294×200×8×12	3.1	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-390×300×10×16	3.4	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-488×300×11×18	1.6	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-588×300×12×20	1.8	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-700×300×13×24	2.2	t			
H形鋼(広幅)	SN400B H-150×150×7×10	0.5	t			
H形鋼(広幅)	SN400B H-175×175×7.5×11	0.2	t			
角形鋼管	BCR295 □-200×200×6	0.6	t			
角形鋼管	BCR295 □-200×200×9	0.3	t			
角形鋼管	BCR295 □-250×250×16	0.6	t			
角形鋼管	BCR295 □-400×400×12	2.4	t			
角形鋼管	BCR295 □-400×400×16	20.8	t			
溝形鋼	SN400A [-100×50×5×7.5	1	t			
溝形鋼	SS400 [-100×50×5×7.5	0.9	t			

1. 庁舎棟		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0021
工場加工組立	溶接共[3,766m]	103	t			
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	1,956	m ²			
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	10.1	t			
鉄骨運搬費		105	t			
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	9.4	t			
現場建て方		105	t			
トルシア型高力ボルト	M16-35 S10T	199	本			
トルシア型高力ボルト	M16-40 S10T	204	本			
トルシア型高力ボルト	M20-40 S10T	207	本			
トルシア型高力ボルト	M20-45 S10T	223	本			
トルシア型高力ボルト	M20-50 S10T	327	本			
トルシア型高力ボルト	M20-55 S10T	468	本			
トルシア型高力ボルト	M20-60 S10T	1,078	本			
トルシア型高力ボルト	M20-65 S10T	67	本			

1. 庁舎棟		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
トルシア型高力ボルト	M20-70 S10T	1,506	本			
トルシア型高力ボルト	M20-80 S10T	84	本			
トルシア型高力ボルト	M20-90 S10T	50	本			
トルシア型高力ボルト 締付費		4,240	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M16-40 F8T	88	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M16-45 F8T	28	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-50 F8T	19	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-55 F8T	5	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-60 F8T	25	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-75 F8T	67	本			
亜鉛メッキ高力ボルト 締付費		220	本			
水平ブレース	M16 L=2.4m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	6	本			
水平ブレース	M16 L=2.6m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	14	本			
水平ブレース	M16 L=2.8m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	12	本			
水平ブレース	M20 L=1.8m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	2	本			

1. 庁舎棟		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水平ブレース	M20 L=2.4m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	1	本			
水平ブレース	M20 L=3.4m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	8	本			
水平ブレース	M20 L=3.6m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	46	本			
水平ブレース	M20 L=4.2m ターンバックル付 JIS規格品 錆止め塗装:B種 材工共	6	本			
鉛直ブレース	M16 L=3.4m ターンバックル付 JIS規格品 溶融亜鉛メッキ(HDZ) 材工共	4	本			
鉛直ブレース	M16 L=3.6m ターンバックル付 JIS規格品 溶融亜鉛メッキ(HDZ) 材工共	10	本			
鉛直ブレース	M16 L=3.8m ターンバックル付 JIS規格品 溶融亜鉛メッキ(HDZ) 材工共	4	本			
鉛直ブレース	M16 L=5.8m ターンバックル付 JIS規格品 溶融亜鉛メッキ(HDZ) 材工共	4	本			
アンカーボルト	ABR490 M30 L=600 ダブルナット締め 定着板:PL-12×150×150	16	本			
アンカーボルト	ABR490 M33 L=660 ダブルナット締め 定着板:PL-12×150×150	204	本			
アンカーボルト	SS400 M16 L=320 ダブルナット フック付	99	本			
アンカーボルト	SS400 M20 L=400 ダブルナット フック付	14	本			
アンカーボルト取付手間	M16 L=320	99	本			
アンカーボルト取付手間	M20 L=400	18	本			
アンカーボルト取付手間	M30 L=600	16	本			

1. 庁舎棟		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アンカーボルト取付手間	M33 L=660	204	本			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 150×200 t=50	1	か所			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 200×200 t=50	5	か所			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 250×250 t=50	6	か所			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 400×400 t=50	1	か所			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 450×450 t=50	2	か所			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 600×600 t=50	17	か所			
胴縁下均しモルタル	無収縮モルタル W100×t20	87.3	m			
超音波探傷試験	第三者試験機関 工場	120	か所			
頭付スタットボルト	16φ H=100 材工共	937	本			
継手摩擦面処理	リン酸塩処理	9.4	m ²			
計						

1. 庁舎棟		鉄骨			付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(階段1)							
鋼板	SN400A PL-9	0.3	t				
鋼板	SN400A PL-12	2	kg				
鋼板	SN400A PL-22	0.02	t				
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	0.5	t				
等辺山形鋼	SN400A L-65×65×6	0.03	t				
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0022	
鉄骨加工・取付	溶接共[83.1m]	0.8	t				
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	35.1	m ²				
鉄骨運搬費		0.8	t				
トルシア型高力ボルト	M20-50 S10T	5	本				
トルシア型高力ボルト締付費		4	本				
アンカーボルト	SS400 M20 L=500 ダブルナット フック付	4	本				
アンカーボルト取付手間	M20 L=500	4	本				
小計							

1. 庁舎棟		鉄骨			付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(階段2)							
鋼板	SN400A PL-9	0.2	t				
鋼板	SN400A PL-22	0.02	t				
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	0.1	t				
等辺山形鋼	SN400A L-65×65×6	0.01	t				
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0023	
鉄骨加工・取付	溶接共[10.9m]	0.3	t				
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	12.6	m ²				
鉄骨運搬費		0.3	t				
トルシア型高力ボルト	M20-50 S10T	5	本				
トルシア型高力ボルト締 付費		4	本				
アンカーボルト	SS400 M20 L=500 ダブルナット フック付	4	本				
アンカーボルト取付手間	M20 L=500	4	本				
小計							
(階段3)							

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
鋼板	SN400A PL-9	0.1	t				
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	0.1	t				
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0024	
鉄骨加工・取付	溶接共	0.2	t				
工場溶接	隅肉溶接 F2 t=5	4	m				
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	6.4	m ²				
鉄骨運搬費		0.2	t				
トルネア型高力ボルト	M20-50 S10T	9	本				
トルネア型高力ボルト 付費		8	本				
小計							
(階段4)							
鋼板	SN400A PL-9	0.3	t				
鋼板	SN400A PL-12	2	kg				
鋼板	SN400A PL-22	0.02	t				
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	0.6	t				

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
等辺山形鋼	SN400A L-65×65×6	0.03	t				
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0025	
鉄骨加工・取付	溶接共[90.7m]	0.9	t				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	0.3	m ²				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキB種	0.5	m ²				
鉄骨運搬費		0.9	t				
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	0.9	t				
トルシア型高力ボルト	M20-50 S10T	5	本				
トルシア型高力ボルト 付費		4	本				
アンカーボルト	SS400 M20 L=500 ダブルナット フック付	4	本				
アンカーボルト取付手間	M20 L=500	4	本				
小計							
(母屋)							
軽量形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	4.4	t				
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0026	

1. 庁舎棟		鉄骨			付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
軽量鉄骨加工・取付		4.2	t				
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	470	m ²				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキC種	0.1	t				
鉄骨運搬費		4.2	t				
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	4.2	t				
中ボルト	M12-35	1,201	本				
小計							
(胴縁)							
軽量形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	5.4	t				
等辺山形鋼	SS400 L-50×50×6	0.2	t				
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0027	
鉄骨加工・取付	溶接共	5.4	t				
工場溶接	隅肉溶接 F2 t=6	17.1	m				
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	521	m ²				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	0.2	t				

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキ種	0.6	t			
鉄骨運搬費		5.4	t			
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	0.8	t			
中ボルト	M12-35	1,775	本			
小計						
(庇下地)						
軽量形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	0.4	t			
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0028
鉄骨加工・取付	溶接共	0.4	t			
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	41.4	m ²			
鉄骨運搬費		0.4	t			
中ボルト	M12-35	233	本			
小計						
(シャッター受け)						
鋼板	SS400 PL-6	0.02	t			

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板	SS400 PL-9	0.01	t			
角形鋼管	STKR400 □-100×100×3.2	0.8	t			
等辺山形鋼	SS400 L-100×100×7	0.01	t			
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0029
鉄骨加工・取付	溶接共[21.4m]	0.8	t			
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	32.8	m ²			
鉄骨運搬費		0.8	t			
中ボルト	M12-130	25	本			
中ボルト	M12-135	9	本			
アンカーボルト	SS400 M16 L=320 ダブルナット フック付	8	本			
アンカーボルト取付手間	M16 L=320	8	本			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 200×200 t=50	4	か所			
小計						
(車庫照明器具取付下地)						
軽量形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	0.5	t			

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
等辺山形鋼	SS400 L-65×65×6	0.4	t			
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0030
鉄骨加工・取付	溶接共	0.8	t			
工場溶接	隅肉溶接 F2 t=6	3.3	m			
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	64.9	m ²			
鉄骨運搬費		0.8	t			
中ボルト	M12-35	50	本			
小計						
(鋼製床)						
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	1.1	t			
等辺山形鋼	SS400 L-50×50×6	0.3	t			
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0031
鉄骨加工・取付	溶接共 [24.8m]	1.4	t			
工場防錆塗装費	鉄鋼面 JISK5674	71.2	m ²			
鉄骨運搬費		1.4	t			

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
QLデッキプレート	QL99-50-12 亜鉛メッキ(Z12)	4.7	t			
デッキプレート敷込		347	m ²			
フラットデッキプレート	t=1.0 亜鉛メッキ(Z12) JFE建材:JF75同等品	314	m ²			
デッキプレート敷込		314	m ²			
デッキプレート受け	柱廻り 材工共	36	か所			
デッキプレート受け	梁継手部 材工共	72	か所			
コンクリート流れ止め	H=150 材工共	173	m			
小計						
(仮設)						
安全ネット張り (水平張り)	防災ポリエステル	1,124	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,124	m ²			
鉄骨足場	単管吊り足場	1,093	m ²			
仮設材運搬 (鉄骨足場)	1節	1,093	m ²			
小計						
計						

1. 庁舎棟		防水		外部			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー	274	m ²				
脱気装置	ステンレス製 塗膜防水(X-1)	6	か所				
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー	64.8	m ²				
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シルバー	116	m ²				
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 40×30	0.8	m				
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 30×10	273	m				
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	852	m				
シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	5.6	m				
シーリング*	一般部 ホリウレタン系 (PU-2) 20×15	399	m				
建具周囲シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	96.5	m				
建具周囲シーリング*	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	210	m				
小計							
計							

1. 庁舎棟		屋根及びとい			外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(庁舎屋根)							
金属屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハセ葺き アスファルトルーフィング 940、硬質ウレタンフォームt25 下地：硬質木毛セメント板t25	308	m ²				
水上水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	24.8	m				
軒先水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	24.8	m				
ケラバ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	24.9	m				
軒樋	ガルバリウム鋼板 取付金物共 既製品	24.8	m				
(車庫2屋根)							
金属屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.8 折板葺き H160	31.3	m ²				
タイトフレーム	折板葺き H160用	15.5	m				
水上棟包み	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	3.9	m				
軒先包み	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	3.9	m				
壁付ケラバ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	16.1	m				
軒樋	塩ビ製 W200 吊金物共 既製品	3.9	m				
(2F庇)							
金属屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハセ葺き アスファルトルーフィング 940 下地：木毛セメント板t25	98.1	m ²				

1. 庁舎棟		屋根及びとい		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
寄棟包み	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 立ハゼ葺き用	5.7	m			
水上水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	45.8	m			
軒先水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	53.7	m			
ケラハ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	2	m			
壁付ケラハ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	2	m			
(1F庇)						
金属屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハゼ葺き アスファルトルーフィング940 下地:木毛セメント板t25	19.6	m ²			
寄棟包み	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 立ハゼ葺き用	0.9	m			
水上水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	29.1	m			
軒先水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	30.4	m			
ケラハ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	1.4	m			
壁付ケラハ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	1.4	m			
(車庫シャッター上部)						
金属屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハゼ葺き アスファルトルーフィング940、 硬質木毛セメント板t25	7.3	m ²			
軒先水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	23.4	m			

1. 庁舎棟		屋根及びとい		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁付ケバ水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	0.6	m			
(とい)						
自在ドレイン	75φ 高排水型	3	か所			
自在ドレイン	50φ	1	か所			
ルーフドレイン	縦型ろく屋根用 塗膜防水用 VP100φ (高排水型)	4	か所			
ルーフドレイン	縦型ろく屋根用 塗膜防水用 VP75φ (高排水型)	3	か所			
硬質ポリ塩化ビニル管とい	径50	2.9	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい	径100	21.3	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい	径75	26.4	m			
硬質ポリ塩化ビニル管よびとい	径75	3	m			
計						

建築工事 細目別内訳

1. 庁舎棟		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋上ルーバー	アルミ製 H1900	48.6	m			
ホースリフター	W2215×H12045 ホース収納本数:前後各列10本(計20本) 取付部材共	1	式			
2通り壁 笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W630	38.2	m			
D+4200通り壁 笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W590	10	m			
屋上ルーバー足元 笠木	カラーガルバリウム鋼板t0.5 曲げ加工 W455 笠木下地共	46.5	m			
屋上ルーバー足元 笠木(コーナー役物)	カラーガルバリウム鋼板t0.5 曲げ加工 W455 笠木下地共	2	か所			
バルコニー手すり 笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W270	23.7	m			
D通り壁 笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W250	0.9	m			
屋外階段入り口 鋼製梁天笠木	スチール製 t1.2 曲げ加工 W244 下地:STPLt1.2(笠木+梁溶接接合) L-50×50×6 ヒース止め	1.4	m			
屋外階段入り口 鋼製梁裏パネル塞ぎ	スチール製 t1.2 曲げ加工 W202 下地:L-50×50×6	1.4	m			
2F庇 庇先端金物	L-130×130×9 溶融亜鉛メッキ	53.7	m			
1F庇 庇先端金物	L-250×90×9 溶融亜鉛メッキ	30.4	m			
車庫1シャッター庇 幕板パネル張り	アルミカットパネル t3.0 H200	23.4	m			
車庫2 幕板パネル張り	アルミカットパネル t3.0 H435	3.9	m			
車庫2 幕板パネル張り 取付下地	H435 L-40×40×3 @500程度	3.9	m			

1. 庁舎棟		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
車庫1 幕板 ^ハ ネ ^ル 張り	アルミカット ^ハ ネ ^ル t3.0 H500	23.4	m			
車庫1 幕板 ^ハ ネ ^ル 張り 取付下地	H500 C-100×50×20×3.2 @600程度 L-50×50×4 @600程度	23.4	m			
車庫1 幕板裏 ^ハ ネ ^ル 張り	アルミカット ^ハ ネ ^ル t3.0 W305	23.4	m			
車庫1 幕板裏 ^ハ ネ ^ル 張り 取付下地	W305 C-100×50×20×3.2 @600程度 L-50×50×4 @600程度	23.4	m			
車庫1庇軒裏 軒裏 ^ハ ネ ^ル 張り	アルミカット ^ハ ネ ^ル t3.0 下地:L-50×50×4 @600	31.6	m ²			
車庫2水上軒裏 軒裏 ^ハ ネ ^ル 張り	アルミカット ^ハ ネ ^ル t3.0 下地:L-40×40×4 @600	1.4	m ²			
外壁5 外壁 ^ハ ネ ^ル 張り	アルミカット ^ハ ネ ^ル t3.0	98.6	m ²			
外壁5 外壁 ^ハ ネ ^ル 取付下地	L-65×65×6	273	m			
外壁5 電話BOX廻り 外壁 ^ハ ネ ^ル 取付下地	L-40×40×6	1.6	m			
ルバー足元 外壁 ^ハ ネ ^ル 張り	角波鋼板 t0.4	16.3	m ²			
ECP足元水抜き パイプ	ステンレス製 φ10 L=50程度	53	か所			
ECP壁 足元水切り金物	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	104	m			
窠業系サイディング壁 足元水切り金物	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	80.9	m			
角波鋼板壁 足元水切り金物	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工	48	m			
2F庇 下り壁下端見切り	アルミ製 t2.0 D125×H100 コの字型	51.6	m			

1. 庁舎棟		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
バルコニー 手摺壁下端水切り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W270	16.8	m			
E+1850通り壁 開口部小口パネル塞ぎ	スチール製 t6.0 W300×H2350×D270	2	か所			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート別途	169	m ²			
天井インサート	デッキ用	76	m ²			
天井インサート	鉄骨用	178	m ²			
軽量鉄骨下がり壁 下地	25形(屋外) H825	1.7	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	25形(屋外) H140	51.6	m			
ガラス手すり	H1200	18.9	m			
階段手すり(斜部)	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 手すり:FB-12×38 支柱:FB-12×38@1000 鉄骨階段取付部:FB-t12 中ボルト(M12)取付	11.6	m			
階段手すり(平部)	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 手すり:FB-12×38 支柱:FB-12×38@1000 鉄骨階段取付部:FB-t12 中ボルト(M12)取付	2.2	m			
タラップ	ステンレス製 安全ガード付き H=3600 8-31-3	1	か所			
タラップ 踏板	しま鋼板t4.0 W400×D350	1	か所			
段鼻ノンスリップ	ステンレス製 コム付き	26.6	m			

1. 庁舎棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床目地棒	SUS304 6×12	3.9	m			
ステンレス製グレーチング溝ふた	ステンレス HL t15 W200 細目 ステンレス受け枠共	8.7	m			
床点検口	既製品 屋内用 化粧蓋 アルミ製 ステンレス枠 鍵有 600角 密閉型 防水 防臭	1	か所			
あと施工アンカー	M10 下向き 床組用	36	本			
クランプ(足掛)	ステンレス製 8-31-1	3	か所			
溶接金網敷	3.2φ 50×50	6.6	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	7.6	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	10.9	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	886	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	205	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	119	m ²			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 450×2100mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 500×2100mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 600×2100mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 800×2100mm程度	1	か所			

1. 庁舎棟		金属			内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 850×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 885×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2100mm程度	2	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1500×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1750×2100mm程度	14	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1950×2100mm程度	10	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 2084×2600mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 2500×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 2660×2600mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 2850×2100mm程度	2	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 3430×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 90× 90mm程度	4	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 90× 290mm程度	6	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 90× 590mm程度	4	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 288× 693mm程度	4	か所				

1. 庁舎棟		金属		内部			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 380×840mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 700×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 782×1910mm程度	4	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 1550×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 1750×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 1950×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞ外等四方補強 2850×1460mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 扉等三方補強 1950×2100mm程度	3	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	90形 ｸﾞ外等四方補強 1950×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 900×2100mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1050×1950mm程度	5	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1550×2050mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 扉等三方補強 1800×1950mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 ｸﾞ外等四方補強 1500×750mm程度	1	か所				
軽量鉄骨壁 開口部補強	100形 ｸﾞ外等四方補強 4700×500mm程度	2	か所				

1. 庁舎棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ジョイナー	アルミ製 (壁-幅木取合い)	72.2	m			
壁ジョイナー	アルミ製 (化粧ケイカル他部材取合い)	84	m			
キッチンパネル見切り	樹脂製 コ型	7.7	m			
タイル マグネットクロス壁見切	FB-6×32 点溶接止め STPL t1.6取付下地共	7.7	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	131	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 インサート別途	21.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート別途	267	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300 インサート別途	91.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート別途	49.6	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 200×200mm程度 ホート等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 200×2650mm程度 ホート等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 250×250mm程度 ホート等切込み共	8	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300×300mm程度 ホート等切込み共	9	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 350×350mm程度 ホート等切込み共	15	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 400×400mm程度 ホート等切込み共	12	か所			

1. 庁舎棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ホート等切込み共	26	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 500×500mm程度 ホート等切込み共	15	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度 ホート等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 650×250mm程度 ホート等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 650×600mm程度 ホート等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 950×950mm程度 ホート等切込み共	7	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1300×250mm程度 ホート等切込み共	72	か所			
跳出し天井 取付下地	STPL t1.6 糸幅300 @300	8.6	m			
天井インサート	デッキ用	370	m ²			
天井インサート	鉄骨用	191	m ²			
天井廻縁(V1)	塩化ビニル製	652	m			
下り壁見切縁	塩化ビニル製	60.1	m			
下り壁見切縁	塩化ビニル製 出隅135°	2.6	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300~500程度	51.7	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H750程度	8.4	m			

建築工事 細目別内訳

1. 庁舎棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H564+540程度 への字型 135°	1.3	m			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=2560 t=1.5加工 D=80 PL-45×30×2.3 (2-24-8)	1	か所			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=2925 t=1.5加工 D=80 PL-45×30×2.3 (2-24-8)	1	か所			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=1725 t=1.5加工 D=80 PL-45×30×2.3 (2-24-8) GW(24K)充填共	13	か所			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=2560 t=1.5加工 D=80 PL-45×30×2.3 (2-24-8) GW(24K)充填共	1	か所			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=2925 t=1.5加工 D=80 PL-45×30×2.3 (2-24-8) GW(24K)充填共	1	か所			
方立取合い金物	アルミニウム製 L=1725 t=1.5加工 D=80 間仕切側 幅260程度 PL-45×30×2.3 (2-24-8) GW(24K)充填共	1	か所			
ビークチャーレール	後付用 アルミ製 30×20×t1.8 荷重:30kg 移動フック(荷重:30kg) 1個/L=600 ハンガー(ワイヤ1本 2m) ビークレスアンカー 5φ×30 @300	20	m			
小便器用L型手摺	SUS304 34φ 樹脂被膜	3	か所			
L型手摺	SUS304 34φ 樹脂被膜	4	か所			
L型手摺(HWC)	SUS304 34φ 樹脂被膜	1	か所			
跳上げ手摺(HWC)		1	か所			
階段手摺	スチール製 H=800 手摺:FB-12×38 手摺支柱:FB-12×38 @900程度 中棧:FB-12×25(H400 1段)					

1. 庁舎棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	下弦材:FB-12×38 ブラケット:FBt12 @900程度 3-M12	17.5	m			
一方枠	FB-6×135 H=2600	1	か所			
一方枠	FB-6×140 H=2600	1	か所			
SS-1 三方枠	W2745×H3000 200×30 DP-1級 下塗りまで	1	か所			
壁付手摺補強下地	PL t2.3 W150	21	m			
手摺取付プレート	t4.5 W150×H150 溶接共	24	か所			
スクリーンボックス 取付下地	M10 スタッドホルト FB-3×40 曲げ加工(コ型) L-40×40×5(L=200) 吊りホルト共	4	か所			
プロジェクター 取付下地	C-100×50×20×2.3 L=1000×2 天井野縁受け面	1	か所			
カーテンレール取付下地 (間柱)	□-100×100×4.5 L=3040 M12金属アンカー共	1	か所			
カーテンレール取付下地 (吊材)	□-100×100×4.5 L=840	1	か所			
カーテンレール取付下地 (吊材)	□-100×100×4.5 L=1600	2	か所			
カーテンレール取付下地 (梁)	□-100×50×4.5	4	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 450角	25	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 600角	1	か所			
計						

1. 庁舎棟		左官		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	22.9	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	298	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて ガラス結晶板接着張り下地	3.4	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 表面強化材下地	28.5	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 塗り床下地	269	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 厚張物下地	90.3	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて OA707(支柱調整式)下地	103	m ²			
階段モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚38	6.6	m ²			
排水溝 防水モルタル(底)	厚さ20	1.3	m ²			
排水溝 防水モルタル(側面)	厚さ25	1.7	m ²			
建具周囲 モルタル充填	内部建具	57.7	m			
床見切周囲 モルタル充填		3	m			
計						

1. 庁舎棟		建具		アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AW-8 突出し窓	W4700×H500 枠見込:70 BB-2 A1-B1 アルミカットハネ t2.0 カムラッチ 付属金物一式	1	か所			
AW-9 突出し窓+ガラリ	W4700×H500 枠見込:70 BB-2 A1-B1 ガラリ:G2 アルミカットハネ t2.0 カムラッチ 雨水受け金物(タテ外接続部) 付属金物一式 オペレーターハンドル	1	か所			
運搬、取付け		1	式			別紙 00-0032
小計						
(補助対象)						
AW-1 引違窓+FIX窓+ 両開き戸+ 縦すべり出し窓+ 片開き戸+ ランマFIX窓	W37449×H2560 枠見込:70 BB-2 A1-B1 クレセント 内付網戸 トアハンドル(引棒) DC アルミカットハネ t3.0+ 焼付塗装(赤) 付属金物一式 縦すべり出し窓用ストップ フロアヒンジ 押棒 CL(外:シリンダー錠 内:サムターン)	1	か所			
AW-2 片開き窓+FIX窓+ 片開き戸	W44173×H2925 枠見込:70 BB-2 A1-B1 BL PH DC 戸当り カムラッチ 内付網戸 付属金物一式 電池式電気錠 (外部:タンキ解除 廊下側:アンチバニック解除)	1	か所			
AW-3 引違窓	W2280×H1460 枠見込:70 BB-2 A1-B1 クレセント 内付網戸 付属金物一式	1	か所			
AW-4 引違窓	W2280×H1460 枠見込:70 BB-2 A1-B1 クレセント 内付網戸 付属金物一式	1	か所			
AW-5 開き窓	W850×H1460 枠見込:70 BB-2 A1-B1 クレセント 内付網戸 付属金物一式	1	か所			
AW-6 突出し窓	W2630×H860 枠見込:70 BB-2 A1-B1 オペレーターハンドル 内付網戸 付属金物一式	1	か所			

1. 庁舎棟		建具		鋼製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SW-1 引違窓	W2850×H1460 枠見込:70 扉・枠:焼付塗装 ルセント 付属金物一式	1	か所			
SW-2 FIX窓	W1500×H750 枠見込:70 特定防火設備 扉・枠:焼付塗装 耐熱強化ガラス 厚8.0共 付属金物一式	1	か所			
SD-1 片開き扉	W900×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S22 焼付塗装 沓摺:K10 PH BL(外:シンダ-錠 内:サムターン) DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			
SD-2 片開き扉	W900×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K9 PH BL(外:シンダ-錠 内:サムターン) DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			
SD-3 片開き扉	W1500×H2200 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 焼付塗装 特定防火設備 常閉 HC CH 付属金物一式	1	か所			
SD-4 片引き扉	W1050×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込265 S31 焼付塗装 沓摺:K1 特定防火設備 常閉 引棒 ハンカ-レベル エント-ストップ- FD 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
SD-5 片開き扉	W750×H1500 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S9 焼付塗装 沓摺:K9 PH BL(外内共:シンダ-錠) DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			
SD-6 両開き扉	W1800×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込265 S1 焼付塗装 沓摺:K1 特定防火設備 常閉 PH FD BL(外:シンダ-錠 内:サムターン) DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			

1. 庁舎棟		建具		鋼製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SD-7 片引き扉	W1050×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込265 S31 焼付塗装 沓摺:K1 特定防火設備 常閉 引棒 ハンガーレール エントストップ - FD BL(外:シンター錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	2	か所			
SD-8 自動片引き扉	W1050×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込265 S31 焼付塗装 沓摺:K1 特定防火設備 常閉 引棒 ハンガーレール エントストップ - FD キックスイッチ(停電時開錠) 補助センサー 両面タッチスイッチ 付属金物一式 耐熱強化ガラス 600×800 厚5.0共 自動ドア開閉装置含む	1	か所			
SD-9 片開き扉	W450×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K3 PH CH 分電盤錠 付属金物一式	1	か所			
SD-10 2連両開き扉	W3430×H2100 扉:見込40 D1 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K3 PH CH 分電盤錠 付属金物一式	1	か所			
SD-11 2連両開き扉	W2500×H2100 扉:見込40 D1 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K3 PH CH 分電盤錠 付属金物一式	1	か所			
SD-12 片開き扉	W500×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K3 PH CH 分電盤錠 付属金物一式	1	か所			
SD-13 片開き扉	W500×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S21 焼付塗装 沓摺:K3					

1. 庁舎棟		建具		鋼製軽量建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
LD-1 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込147 S33 焼付塗装 杓摺:K1 引棒 ハンカールール エンドストップ - 表示錠 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-2 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 杓摺:K1 引棒 ハンカールール エンドストップ - 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-3 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 杓摺:K1 引棒 ハンカールール エンドストップ - 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-4 片開き扉	W850×H2100 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込141 S20 焼付塗装 杓摺:K1 PH LH DC 床戸当り 電池式電気錠 (WWC側:テンキー解除 出動準備室側:アンチハック解除) 付属金物一式	1	か所			
LD-5 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 杓摺:K1 引棒 ハンカールール エンドストップ - 自動閉鎖装置 付属金物一式 電池式電気錠引戸用 (倉庫側:テンキー解除 出動準備室側:アンチハック解除)	1	か所			
LD-6 片引込み扉	W1500×H2100 (有効寸法W1350) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込122 S33 焼付塗装 杓摺:別計上 引棒 ハンカールール エンドストップ - 自動閉鎖装置 付属金物一式 電池式電気錠引戸用 (車庫側:テンキー解除 出動準備室側:アンチハック解除)	1	か所			

1. 庁舎棟		建具		鋼製軽量建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
LD-7 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エント`ストップ` CL(外:シンタ`錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-8 片引込み扉	W850×H2100 (有効寸法W700) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:別計上 引棒 ハンカールール エント`ストップ` CL(外:シンタ`錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-9 片開き扉	W600×H2100 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込116 S20 焼付塗装 沓摺:K1 PH LH 付属金物一式	1	か所			
LD-10 片引込み扉	W950×H2100 (有効寸法W800) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エント`ストップ` CL(外:シンタ`錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	14	か所			
LD-11 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エント`ストップ` CL(外:シンタ`錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	2	か所			
LD-12 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エント`ストップ` CL(外:シンタ`錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-13 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エント`ストップ` 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-14 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込160 S33 焼付塗装 沓摺:K1					

1. 庁舎棟		建具		鋼製軽量建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	引棒 ハンカールール エントストップ 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-15 片開き扉	W600×H2100 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込125 S21 焼付塗装 沓摺:K1 PH LH DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			
LD-16 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込165 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エントストップ 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-17 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エントストップ 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-18 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エントストップ 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-19 片開き扉	W900×H2100 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S20 焼付塗装 沓摺:K1 PH LH DC 床戸当り CL(外:シンタール錠 内:サムターン) 付属金物一式	1	か所			
LD-20 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エントストップ CL(外:シンタール錠 内:サムターン) 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			
LD-21 片引込み扉	W1050×H2100 (有効寸法W900) 扉:見込36 焼付塗装 枠:見込135 S33 焼付塗装 沓摺:K1 引棒 ハンカールール エントストップ 電池式電気錠引戸用 (廊下側:テンキー解除 女子スペース側:アンチハニック解除) 自動閉鎖装置 付属金物一式	1	か所			

1. 庁舎棟		建具		ガラス			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
フロント板ガラス	厚さ5 シーリング 特寸 2.18㎡以下 清掃共	2.6	㎡				
フロント板ガラス	厚さ5 シーリング 特寸 4.45㎡以下 清掃共	4.2	㎡				
型板ガラス	厚さ4 W80×H80 シーリング 清掃共	22	か所				
強化ガラス	厚さ 5mm シーリング 特寸 2.0㎡以下 清掃共	0.8	㎡				
強化ガラス	特 寸 厚さ10 シーリング 2.0㎡以下 清掃共	4.8	㎡				
強化ガラス	厚さ 10mm シーリング 特寸 4.0㎡以下 清掃共	4.8	㎡				
合わせガラス	FL3+FL3 シーリング 特寸 4.0㎡以下 清掃共	22.6	㎡				
ガラス用フィルム	衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GI-1	10.5	㎡				
ガラス清掃	特定防火設備建具ガラス面	1.6	㎡				
小計							
(補助対象)							
Low-E複層ガラス	Low-E5+A6+F4 シーリング 特寸 2.0㎡以下 清掃共	77	㎡				
Low-E複層ガラス	Low-E5+A6+FL5 シーリング 特寸 2.0㎡以下 清掃共	40.7	㎡				
Low-E複層ガラス	Low-E5+A6+T8 シーリング 特寸 2.0㎡以下 清掃共	29.2	㎡				
Low-E複層ガラス	Low-E5+A6+T8 シーリング 特寸 4.0㎡以下 清掃共	20.2	㎡				

1. 庁舎棟		内外装		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
防滑ビニル床シート張り	モルタル面	7.7	m ²			
外壁2 窯業系 サイディング張り	t15 (黒色)	155	m ²			
外壁2 窯業サイディングコーナー 役物	t15(黒色) 出隅 W90+90	15.1	m			
外壁4 窯業系 サイディング張り	t15	356	m ²			
外壁4 窯業サイディングコーナー 役物	t15 出隅 W90+90	119	m			
外壁4 屋外階段入口 窯業系サイディング 下端見切縁		3.3	m			
壁 透湿防水シート張り		536	m ²			
金属系 サイディング張り	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 立ハゼ 葺き 下地:硬質木毛セメント板t25 壁透湿防水シート張り 雨仕舞共	31.5	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	64.4	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	544	m ²			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 突付け	169	m ²			
下がり壁 けい酸 カルシウム板張り	t6 H140 鋼製、木、ボード下地 下地張り	51.6	m			
下がり壁 けい酸 カルシウム板張り	t6 H825 鋼製、木、ボード下地 下地張り	1.7	m			
計						

1. 庁舎棟		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床浸透性コンクリート表面強化材	水性ハイリット®型	28.5	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループパイル 帯電防止及び防汚加工品 市松敷き	192	m ²			
ビニル床シート	木目 上級 厚さ2.0 複層ビニル床シートF S 一般床 熱溶接工法	169	m ²			
ビニル床シート	木目 上級 厚さ2.0 複層ビニル床シートF S 多湿部 熱溶接工法	66.5	m ²			
階段ビニル床シート	木目 上級 厚さ2.0 複層ビニル床シートF S	6.6	m ²			
ビニル床シート	木目 上級 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 耐汚染 多湿部 熱溶接工法	49.6	m ²			
床高弾性衝撃吸収シート	木目 上級 厚さ6.5 発泡複層ビニル床シートHS 一般床 熱溶接工法	22.4	m ²			
床薄膜型塗床材	エポキシ樹脂系 平滑仕上げ 防塵	269	m ²			
立上り薄膜型塗床材	エポキシ樹脂系 平滑仕上げ 防塵	8.4	m ²			
ビニル幅木	高さ60	465	m			
耐火間仕切壁	GB-F t12.5+12.5(両面) LGS100形 認定番号:FP060NP-0174	136	m ²			
耐火シーリング	両面打ち(片面長さ)	56.5	m			
耐火間仕切壁	GB-F t21+21(片面) LGS100形 認定番号:FP060NP-0007	94.2	m ²			
耐火シーリング	片面打ち(片面長さ)	41.5	m			
遮音シーリング	AC-1 10×10 (両面長さ)	709	m			

1. 庁舎棟		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 -	3.5	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	126	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	260	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 下張GB-R 厚12.5共	998	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り 下張GB-R 厚12.5共	38.8	m ²			
壁 シージソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	11.9	m ²			
壁 シージソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	138	m ²			
壁 シージソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 下張GB-R 厚12.5共	137	m ²			
壁 シージソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り 下張GB-R 厚12.5共	192	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	466	m ²			
壁化粧ケイカル板 張り	厚6.0 不燃 アルミ製ジョイナー共	183	m ²			
壁キッチンパネル張り	厚3.0 ホーローキッチンパネル	8.9	m ²			
せっこうボード 継目処理	継目処理工法(ハベールエッジ)	1,115	m ²			
壁紙張り	壁 ビニルクロス 不燃 合板面 素地B種	0.2	m ²			
壁紙張り	壁 ビニルクロス 不燃 ボード面 素地B種	1,048	m ²			

建築工事 細目別内訳

1. 庁舎棟		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁紙張り	壁 マグネチッククロス 不燃 ボード面 素地B種	11.8	m ²			
壁ガラスウール充填	24K 厚さ50	575	m ²			
下り天井側面 せっこうボード 継目処理	継目処理工法(ヘベルエッジ)	23.6	m ²			
下り天井側面 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地	17.3	m ²			
下り天井側面 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地	6.3	m ²			
下り天井側面 壁紙張り	壁 ビニルクロス 不燃 ボード面 素地B種	23.6	m ²			
天井 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 突付けV目地	360	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	153	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚12.5共	49.6	m ²			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	0.7	m ²			
天井 せっこうボード 継目処理	継目処理工法(ヘベルエッジ)	360	m ²			
壁紙張り	天井 ビニルクロス 不燃 ボード面 素地B種	360	m ²			
小計						
(補助対象)						

1. 庁舎棟		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
誘導用床材	点字鋳 SUS製 300×300	5	か所			
注意喚起用床材	点字鋳 SUS製 300×300	11	か所			
誘導用及び注意喚起用床材	点字ブロック ウレタン樹脂タイル 厚2.3 300×300 シール貼付工法	1	m ²			
階段滑り止め	ステンレス製 エント ^ノ 無し 幅35	24	m			
段鼻滑り止めテープ	500×50	11	か所			
段鼻滑り止めテープ	600×50	20	か所			
OAフロア	H=100 500角 支柱調整式 1.0G 3000N	103	m ²			
ライニング天板	W150 厚20 人工大理石	3.4	m			
ライニング天板	W150 厚20 ポ ^ス トフォーム	18.5	m			
ライニング天板	W200 厚20 ポ ^ス トフォーム	1.7	m			
窓台天板	W275 厚20 ポ ^ス トフォーム	18.8	m			
窓台天板	W285 厚20 ポ ^ス トフォーム	5.3	m			
窓台天板	W300 厚20 ポ ^ス トフォーム	32	m			
窓台天板	W335 厚20 ポ ^ス トフォーム	1	m			
窓台天板	W360 厚20 ポ ^ス トフォーム	3.3	m			

1. 庁舎棟		ユニット及びその他			内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
窓台天板	W510 厚20 ポストフォーム	1.6	m				
窓台天板	W600 厚20 ポストフォーム	2.4	m				
床カッター 目地切り仕上げ	コンクリート面	14.9	m				
フライントボックス	120×80 アルミ製 押出し型材 表面処理 AC-1 市販品 (3-31-3) 吊りボルト @900程度共	73.2	m				
壁付手摺	樹脂手摺 38φ 既製品 ブacket @900共	13.9	m				
壁付手摺	抗菌ビニル金属製手摺 38φ ブacket @900共	7.2	m				
コーナーガード	L-90×90 H=2000	3	か所				
消火器ボックス	消火器共 (ABC) W288×D197.5×H693 既製品 埋込み型 本体:焼付塗装(指定色) 文字:カッティングシート張り	4	か所				
消火器ボックス	消火器共 (ABC) 床置き W185×D190 ×H550スチール製	3	か所				
MWC-1 手洗いカウンター	W1540×D500 ホール2孔用 メラン樹脂化粧板張り	1	か所				
MWC-2 手洗いカウンター	W910×D500 ホール1孔用 メラン樹脂化粧板張り	1	か所				
MWC-3 手洗いカウンター	W1000×D500 ホール1孔用 メラン樹脂化粧板張り	1	か所				
WWC 手洗いカウンター	W1540×D500 ホール2孔用 メラン樹脂化粧板張り	1	か所				
2F手洗い 手洗いカウンター	W2860×D550 ホール3孔用 メラン樹脂化粧板張り	1	か所				

1. 庁舎棟		ユニット及びその他			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2F女子休憩スペース 手洗いカウンター	W1820×D550 ボウル2孔用 マリン樹脂化粧板張り	1	か所			
化粧鏡	W910×H1000 厚5	1	か所			
化粧鏡	W1000×H1000 厚5	1	か所			
化粧鏡	W1540×H1000 厚5	2	か所			
化粧鏡	W1820×H1000 厚5	1	か所			
化粧鏡	W2400×H1500 厚5	1	か所			
化粧鏡	W2860×H1000 厚5	1	か所			
ユニットバス	1216サイズ	1	か所			
シャワーユニット	0812サイズ	3	か所			
ユニットバス額縁	樹脂製 W780×H1910 75×25程度	1	か所			
シャワーユニット額縁	樹脂製 W780×H1910 75×25程度	3	か所			
給湯室 ミニキッチン	W1200 (IH)	1	か所			
給湯室 レンジフード	W600	1	か所			
給湯室 吊戸棚	W600	1	か所			
食堂 キッチン	W2250×D650+W2700×D750 (L型) 人造大理石	1	か所			

1. 庁舎棟		ユニット及びその他			内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
食堂 レンジフード		1	か所				
消毒室 1槽シンク	W900×D600×H(850+150) 更板・外装・スノコ板: SUS-304 No.4仕上 1.0t	1	か所				
消毒室 シンク甲板部水切り	幅300×L540 取外し式	1	か所				
消毒室 シンク上部パイプ棚	SUS製 W900×D200	1	か所				
壁付物干しワイヤー	L=3300程度	1	か所				
WC (女子休憩スペース) 吊戸棚	W785×D300×H(500+100) ポリ合板フラッシュ 幕板共	1	か所				
シャワーカーテン	H=1900	2.6	m				
カーテンレール	アルミ製 シングル	2.3	m				
カーテンレール	アルミ製 シングル r=200 1/4円	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W390×H1570	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W905×H1570	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1210×H1820	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1220×H1820	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1285×H1450	1	か所				
ベネシアンプライント	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1290×H1820	1	か所				

1. 庁舎棟		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1290×H2670	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1390×H1820	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1510×H1820	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1740×H1820	2	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1580×H985	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1670×H1820	2	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W1885×H1820	7	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W2360×H1570	2	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W2710×H985	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W2750×H1820	2	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W4270×H1820	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W4840×H1570	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W5480×H2670	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W5670×H2670	1	か所			
ベネシアンプライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製 W7875×H1570	1	か所			

1. 庁舎棟		ユニット及びその他			内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
行事用ホワイトボード	W440×H900	1	か所				
脱衣棚	W400×D400×H800 ポリ合板フラッシュ (6-32-1)	1	か所				
脱衣棚	W1200×D400×H800 ポリ合板フラッシュ (6-32-1)	1	か所				
鍵箱	60個用	1	か所				
F-1 無線機棚	W1075×D300×H1800 本体・天板・棚板: 両面メラミン・チクルボード t20mm (光触媒によるVOC低減・ 抗菌・抗ウイルス機能付き) 台輪:化粧合板貼	1	か所				
F-2 防火衣ロッカー	W4200×D590×H2100 材質:SPCC	2	か所				
F-3 アルミ枠平面白板	W1800×D35(115)×H1200 表面:抗菌・抗ウイルス対応 ホーローホワイト鋼板 t4.0mm 下地 ラワン合板・F☆☆☆☆t5.5	1	か所				
F-4a ホースラック	W1255×D656×H2463 SPHC	1	か所				
F-4b ホースラック	W4855×D656×H2463 SPHC	1	か所				
F-5 ベットの (跳ね上げ式)	W2160×D1010×H850 本体:両面メラミン・チクルボード t20mm (光触媒によるVOC低減・ 抗菌・抗ウイルス機能付き) スライ畳 t30 ステー:ばね式 金物類:空気孔 丁番 アジャスター	14	か所				
F-6 片開きロッカー	W350×D570×H2100 本体・扉・棚板: 両面メラミン・チクルボード t20mm (光触媒によるVOC低減・ 抗菌・抗ウイルス機能付き) 台輪:化粧合板貼						

1. 庁舎棟		ユニット及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	金物類:スライド丁番 取手 タボ シンダー錠 ハンガーパイプ	28	か所			
F-7 洗面用具収納 (吊戸棚)	W570×D185×H920 本体・棚板: 両面メラミン化粧板 t20mm (光触媒によるVOC低減・ 抗菌・抗ウイルス機能付き)	1	か所			
F-8 油庫ラック	W1000×D620×H1800 スチール製	1	か所			
②室名(建具)	表示:シート切文字張り	1	か所			
③ビ°外サイン(男)	本体:STPL t5.0 レーザー切り文字加工 焼付塗装 ブラケット:STPL t3.2 T字組 焼付塗装	3	か所			
③ビ°外サイン(女)	本体:STPL t5.0 レーザー切り文字加工 焼付塗装 ブラケット:STPL t3.2 T字組 焼付塗装	2	か所			
③ビ°外サイン (多目的)	本体:STPL t5.0 レーザー切り文字加工 焼付塗装 ブラケット:STPL t3.2 T字組 焼付塗装	1	か所			
④衝突防止	8×50 表示:フロストシート貼り 片面貼り	200	か所			
▼室名(建具)	表示:カッティングシート貼り 340角 室名札(壁面取付):アクリル板 t5.0 (取外し可能タイプ 2名分)	14	か所			
▽室名(建具)	表示:シート切文字張り	28	か所			
誘導標識	120×120 壁面	3	か所			
SP-1 スチール製可動間仕切 (遮音タイプ)	W2660×H2600 厚70 冷間圧延鋼板t0.5 アクリル焼付塗装 LH(外:シンダー錠 内:サムターン) DC 床戸当り 付属金物一式	1	か所			
SP-2 スチール製可動間仕切	W1800×H2600 厚70 冷間圧延鋼板t0.5 アクリル焼付塗装 付属金物一式	1	か所			

1. 庁舎棟		ユニット及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SP-3 スチール製可動間仕切 (遮音タイプ)	W2084×H2600 厚70 冷間圧延鋼板t0.5 アクリル焼付塗装 引棒(外:シリカ樹脂 内:サトウ) 自動閉鎖装置 ハンカレール エンドストップ付 付属金物一式 ボトムシール	1	か所			
TB-1 トイレブース	W1880×H2000+D1490×H2600×2 厚:40 扉:W60×H1905(2ヶ所) 高圧マシン系化粧板 テレビモニター表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り 付属金物一式	1	か所			
TB-2 トイレブース	W1530×H2000+D940×H2600×1 厚:40 扉:W600×H1905(1ヶ所) 高圧マシン系化粧板 テレビモニター表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り 付属金物一式	1	か所			
TB-3 トイレブース	W1853×H2000+D940×H2600×1 厚:40 扉:W600×H1905(1ヶ所) 高圧マシン系化粧板 テレビモニター表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り 付属金物一式	1	か所			
TB-4 トイレブース	W1550×H2000+D940×H2600×1 厚:40 扉:W600×H1905(1ヶ所) 高圧マシン系化粧板 テレビモニター表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り 付属金物一式	1	か所			
TB-5 トイレブース	W900×H2000 厚40 高圧マシン系化粧板 付属金物一式	1	か所			
TB-6 トイレブース	W750×H2000 厚40 高圧マシン系化粧板 付属金物一式	1	か所			
TB-7 トイレブース	W750×H2000 厚40 高圧マシン系化粧板 付属金物一式	1	か所			
TB-8 トイレブース	W700×H2000+W1048×H2600 厚:40 扉:W600×H1905(1ヶ所) 高圧マシン系化粧板 テレビモニター表示付スライドラッチ 帽子掛付戸当り 付属金物一式	1	か所			

2. 訓練塔		鉄筋			躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
異形鉄筋	SD295 D10	2.6	t				
異形鉄筋	SD295 D13	4.4	t				
異形鉄筋	SD295 D16	0.3	t				
異形鉄筋	SD345 D19	0.2	t				
異形鉄筋	SD345 D22	0.4	t				
異形鉄筋	SD345 D25	0.5	t				
異形鉄筋	SD390 D29	1.8	t				
鉄筋スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0051	
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	9.7	t				
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	9.7	t				
鉄筋ガス圧接		1	式			別紙 00-0052	
計							

2. 訓練塔		コンクリート		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
普通コンクリート	基礎部 Fc=30N/mm ² S=15cm	30.5	m ³			
普通コンクリート	土間スラブ Fc=30N/mm ² S=15cm	7.8	m ³			
普通コンクリート	地上部 Fc=30N/mm ² S=18cm	11.2	m ³			
普通コンクリート	デッキ上 Fc=30N/mm ² S=18cm	15.3	m ³			
普通コンクリート	後打ち Fc=18N/mm ² S=15cm	1.5	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0053
コンクリートポンプ圧送		1	式			別紙 00-0054
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0055
アンカーボルト	φ13 L=350 タップルナット・フック付	28	本			
アンカーボルト埋込み (B種)	径13~16(間柱等) 取付手間	28	本			
計						

2. 訓練塔		型枠		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠 基礎部	80.4	m ²			
型枠	打放合板型枠A種 ラーメン構造 基礎部	2.7	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 基礎部	33.7	m ²			
型枠	打放合板型枠C種 ラーメン構造 基礎部	5.3	m ²			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	73.7	m ²			
型枠	打放合板型枠A種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	5.1	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	25.6	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	227	m ²			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	26.8	m			
型枠目地棒	伸縮目地 幅20 × 深さ20程度	6.8	m			
計						

2. 訓練塔		鉄骨			本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(本体)							
鋼板	SN400A PL-6	0.2	t				
鋼板	SN400A PL-9	0.1	t				
鋼板	SN400A PL-12	0.2	t				
鋼板	SN400B PL-6	0.01	t				
鋼板	SN400B PL-9	0.3	t				
鋼板	SN400B PL-12	0.5	t				
鋼板	SN490B PL-16	0.04	t				
鋼板	SN490B PL-19	0.03	t				
鋼板	SN490B PL-22	0.1	t				
鋼板	SN490C PL-19	0.1	t				
鋼板	SN490C PL-22	0.1	t				
鋼板	SN490C PL-25	0.2	t				
鋼板	SN490C PL-36	0.3	t				
鋼板	SS400 PL-12	0.03	t				

2. 訓練塔		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
H形鋼(細幅)	SN400A H-175×90×5×8	0.3	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-200×100×5.5×8	0.6	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-300×150×6.5×9	0.7	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-350×175×7×11	0.3	t			
H形鋼(細幅)	SN400A H-450×200×9×14	1.8	t			
H形鋼(細幅)	SN400B H-300×150×6.5×9	0.3	t			
H形鋼(細幅)	SN400B H-450×200×9×14	2.9	t			
H形鋼(細幅)	SN400B H-600×200×11×17	1.3	t			
H形鋼(中幅)	SN400B H-294×200×8×12	0.6	t			
角形鋼管	BCR295 □-300×300×9	2.4	t			
溝形鋼	SN400A [-100×50×5×7.5	0.1	t			
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0056
工場加工組立	溶接共[617m]	12.8	t			
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	11.8	t			
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキB種	1	t			

2. 訓練塔		鉄骨		本体鉄骨		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨運搬費		12.8	t			
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	12.8	t			
現場建て方		12.8	t			
亜鉛メッキ高力ボルト	M16-40 F8T	63	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-45 F8T	50	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-50 F8T	28	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-55 F8T	33	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-60 F8T	258	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-65 F8T	167	本			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-75 F8T	500	本			
亜鉛メッキ高力ボルト 締付費		1,053	本			
アンカーボルト	ABR490 M33 L=660 ダブルナット締め 定着板:PL-12×150×150	32	本			
アンカーボルト	SS400 M16 L=320 ダブルナット フック付	8	本			
アンカーボルト取付手間	M16 L=320	8	本			
アンカーボルト取付手間	M33 L=660	32	本			

2. 訓練塔		鉄骨			付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(階段1)							
鋼板	SN400A PL-12	0.3	t				
鋼板	SN400A PL-22	0.02	t				
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	0.3	t				
等辺山形鋼	SN400A L-40×40×3	0.02	t				
等辺山形鋼	SN400A L-65×65×6	0.01	t				
鉄骨スクラップ控除		1	式			別紙 00-0057	
鉄骨加工・取付	溶接共[17.5m]	0.7	t				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	0.4	m ²				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキB種	0.3	m ²				
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキC種	0.02	m ²				
鉄骨運搬費		0.7	t				
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	0.7	t				
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-60 F8T	5	本				
亜鉛メッキ高力ボルト 締付費		4	本				

2. 訓練塔		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アンカーボルト	SS400 M20 L=500 ダブルナット フック付	4	本			
アンカーボルト取付手間	M20 L=500	4	本			
小計						
(階段2)						
鋼板	SN400A PL-12	1.6	t			
鋼板	SN400A PL-22	0.02	t			
縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	1.3	t			
等辺山形鋼	SN400A L-40×40×3	0.01	t			
等辺山形鋼	SN400A L-65×65×6	0.3	t			
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0058
工場加工組立	溶接共[47.7m]	3.1	t			
工場防錆塗装費	熔融亜鉛メッキA種	1.9	m ²			
工場防錆塗装費	熔融亜鉛メッキB種	1.2	m ²			
工場防錆塗装費	熔融亜鉛メッキC種	0.01	m ²			
鉄骨運搬費		3.1	t			

2. 訓練塔		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨運搬費 (亜鉛メッキ)	工場～亜鉛メッキ工場 往復	3.1	t			
亜鉛メッキ高力ボルト	M20-60 F8T	50	本			
亜鉛メッキ高力ボルト 締付費		48	本			
アンカーボルト	SS400 M20 L=500 ダブルナット フック付	4	本			
アンカーボルト取付手間	M20 L=500	4	本			
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 350×140 t=50	2	か所			
小計						
(シャッター受け)						
鋼板	SS400 PL-6	0.03	t			
鋼板	SS400 PL-9	0.01	t			
角形鋼管	STKR400 □-100×100×3.2	0.3	t			
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0059
鉄骨加工・取付	溶接共[13.4m]	0.3	t			
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキA種	0.03	t			
工場防錆塗装費	溶融亜鉛メッキB種	0.2	t			

2. 訓練塔		鉄骨		付帯鉄骨等			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
鉄骨運搬費		0.3	t				
鉄骨運搬費 (垂鉛メッキ)	工場～垂鉛メッキ工場 往復	0.3	t				
中ボルト	M12-135	13	本				
アンカーボルト	SS400 M16 L=320 ダブルナット フック付	4	本				
アンカーボルト取付手間	M16 L=320	4	本				
ベース下均しモルタル	無収縮モルタル 200×200 t=50	2	か所				
継手摩擦面処理	リン酸塩処理	0.3	m ²				
小計							
(鋼製床)							
フラットデッキプレート	t=1.0 垂鉛メッキ(Z12) JFE建材: JF75同等品	102	m ²				
デッキプレート敷込		102	m ²				
デッキプレート受け	柱廻り 材工共	12	か所				
デッキプレート受け	梁継手部 材工共	25	か所				
コンクリート流れ止め	H=150 材工共	64.7	m				
小計							

2. 訓練塔		金属		外部			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
笠木	アルミ製 W350	10.1	m				
笠木(コーナー役物)	アルミ製 W350	1	か所				
笠木	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W350	0.4	m				
笠木(コーナー役物)	カラーガルバリウム鋼板 t0.5 曲げ加工 W350 L=650+550	1	か所				
ECP足元水抜きパイプ	ステンレス製 φ10 L=50程度	16	か所				
屋上点検口	ステンレス製 900×900 ハーフ仕上げ 天蓋・枠:t1.5、把手:φ13 掛金物(南京錠)、ゴムパッキン アンカーボルトM12 L=250(8本)	1	か所				
ロープ保護金物	ステンレス製 t5.0 W35+60	6.1	m				
避難ハッチ	枠寸法653×653	1	か所				
上部支点	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ139.8 L=2460 STPG370 φ76.3 L=2450.2 SS400 BPL16t 300×300(2箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所				
支点柱	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ89.1 L=30990 STPG370 φ76.3 L=8910 SS400 BPL12t 300×300(7箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所				
支点柱 転落防止チェーン	SUS304 L=1890(2本) SUS304 L=965(2本) 取付金物共	1	式				
アンカーボルト (上部支点)	SUS304 M16 定着長400程度 上向き	16	本				

2. 訓練塔		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アンカーボルト(支点柱)	SUS304 M16 定着長400程度 下向き	28	本			
アンカー-4	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ89.1 L=3636 SS400 GPL12t 200×288(3箇所) SS400 BPL12t 250×250(3箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカー-5	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ89.1 L=1924 SS400 GPL12t 200×288(2箇所) SS400 BPL12t 250×250(2箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカーボルト (アンカー-4.5)	SUS304 M16 定着長400程度 下向き	20	本			
屋上手すり	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 手すり:φ35、支柱:FB-9×44 手すり子:FB-9×44@100	9.7	m			
バルコニー手すり	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 固定式 手すり:STPG370 76.3φ 支柱:STPG370 76.3φ @1000 手すり子:STPG370 27.2φ 2段 BPL:200×200 @1000 コーキング 接着共 (アンカー別計上)	7.1	m			
アンカーボルト (バルコニー手すり)	SUS304 M16 定着長400程度 下向き	44	本			
バルコニー手すり	ステンレス製 W723.7×H1100 着脱式 両端部固定用チェーン、フック、丸鋼 手すり・支柱:SUS304φ38 手すり棧:SUS304 φ27.2 足元埋設管:φ45	3	か所			
階段手すり(平部)	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 手すり・手すり子受:FB-12×38 手すり子:FB-12×38@100 支柱:FB-12×38@900 鉄骨階段取付部:PL-t12(70×180) 中ボルト(M12)取付					

2. 訓練塔		金属		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		25.5	m			
階段手すり(斜部)	鋼製 H1100 溶融亜鉛メッキ 手すり・手すり子受:FB-12×38 手すり子:FB-12×38@100 支柱:FB-12×38@960 鉄骨階段取付部:PL-t12(70×180) 中ボルト(M12)取付	23.6	m			
進入防止柵	鋼製 H1700 溶融亜鉛メッキ 柵:FB-6×50@100 足元BPL-t12(100×100) 床コンクリート面アンカーボルト(M12)取付 壁ECP面アングルL-75×75×6 ボルト(M10)取付	2.5	m			
進入防止柵フェンス扉	鋼製 W1200×H1700 溶融亜鉛メッキ 柵:FB-6×50@100	1	か所			
丸環	ステンレス	2	個			
足元支点金物	スチール製 19φ 溶融亜鉛メッキ	1	か所			
SS-1 三方枠	W3500×H2100 スチール t1.6	1	か所			
SS-2 三方枠	W2300×H2100 スチール t1.6	1	か所			
計						

2. 訓練塔		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
クレーニング	W200 亜鉛メッキ 受け枠共	1.1	m			
縦坑マンホール	φ 600 鋳鉄製	1	か所			
縦坑マンホール	φ 900 鋳鉄製	1	か所			
縦坑マンホール枠	φ 600 H300程度 SUS304 3.0t HL 素地塞ぎ板:SUS304 3.0t 16-M12ボルト固定	1	か所			
縦坑マンホール枠	φ 900 H300程度 SUS304 3.0t HL 素地塞ぎ板:SUS304 3.0t 16-M12ボルト固定	1	か所			
アンカー-1	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ 89.1 L=1474 SS400 GPL12t 200×288(2箇所) SS400 BPL12t 250×250(2箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカー-2	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ 89.1 L=3236 SS400 GPL12t 200×288(3箇所) SS400 BPL12t 250×250(3箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカー-3	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ 89.1 L=1574 SS400 GPL12t 200×288(2箇所) SS400 BPL12t 250×250(2箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカーボルト (アンカー1～3)	SUS304 M16 定着長400程度 下向き	28	本			
アンカー-6(天井面)	溶融亜鉛メッキ 要求荷重10KN STPG370 φ 89.1 L=1124 SS400 GPL12t 200×288(2箇所) SS400 BPL12t 250×250(2箇所) コーキング 接着共 (アンカー別計上)	1	か所			
アンカーボルト(アンカー-6)	SUS304 M16 定着長400程度 上向き	8	本			

建築工事 細目別内訳

2. 訓練塔		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
タラップ(足掛)	W400 SUS304 22φ 鉄骨面	1	か所			
タラップ(梯子型)	W400 SUS304 22φ 6段(@350) 支柱:100角 H2870(2本)	1	か所			
階段手摺(踊り場)	スチール製 溶融亜鉛メッキ H=1100 手摺:FB-12×38 手摺子:FB-12×38 @100 手摺子受:FB-12×38 支柱:FB-12×38 @900 PL:St製 FB t12 50×180 溶融亜鉛メッキ仕上 2-M12(中ボルト)	3.8	m			
階段手摺(階段部)	スチール製 溶融亜鉛メッキ H=1100 手摺:FB-12×38 手摺子:FB-12×38 @100 手摺子受:FB-12×38 支柱:FB-12×38 @960 PL:St製 FB t12 50×180 溶融亜鉛メッキ仕上 2-M12(中ボルト)	10	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	15.3	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タクト等四方補強 660×2000mm程度	1	か所			
計						

2. 訓練塔		左官		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	62.6	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 吹付下地	2.8	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.7	m ²			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300	12.2	m			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅210	7.1	m			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 糸幅150	37.9	m			
複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	16.1	m ²			
複層塗材 E	押出成形セメント板面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(E)共	179	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	22.3	m ²			
撥水材塗布	コンクリート面	7.8	m ²			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	14.7	m			
計						

2. 訓練塔		左官		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	4.3	m ²			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.2	m ²			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 糸幅80	17.2	m			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 糸幅150	6.2	m			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 塗り床下地	5.3	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	70.3	m ²			
基礎天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	2.7	m ²			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 糸幅80 防水下地	4.6	m			
排水溝コンクリート直均し仕上げ	金ごて 300×300 防水下地	4	か所			
排水溝コンクリート直均し仕上げ	金ごて 糸幅100 防水下地	14.6	m			
層間塞ぎモルタル詰め	W75×H(150~220) 天端:金ごて 防水下地	7.6	m			
層間塞ぎモルタル詰め	W75×H370 天端:金ごて 防水下地	5.3	m			
建具周囲モルタル充填	内部建具	3.6	m			
計						

2. 訓練塔		建具		鋼製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SD-1 片開き戸	W900×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S9(気密材なし) 焼付塗装 沓摺:K9 PH LH DC 水压解錠装置 付属金物一式	1	か所			
SD-2 片開き戸(1F)	W900×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S9(気密材なし) 焼付塗装 沓摺:K9 PH LH DC CL(外:シンタ-錠 内:サムターン) 差込式St製PLt1.6(焼付塗装) 南京錠付 付属金物一式 内側:トアチェン	1	か所			
SD-2A 片開き戸(2F)	W900×H2100 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S9(気密材なし) 焼付塗装 沓摺:K9 PH LH DC 水压解除装置 差込式St製PLt1.6(焼付塗装) 南京錠付 付属金物一式 内側:トアカート	1	か所			
SD-3 片開き戸	W900×H900 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S9(気密材なし) 焼付塗装 沓摺:K9 H CH CL (外:シンタ-錠 内:サムターン) 付属金物一式	2	か所			
SD-4 両開き格子戸	W1200×H1800 扉:見込40 H1700 溶融亜鉛メッキ 枠:見込100 溶融亜鉛メッキ H かんぬき 南京錠 付属金物一式	1	か所			
SD-5 片開き戸	W900×H900 扉:見込40 焼付塗装 枠:見込100 S3 焼付塗装 沓摺:K9 H CH CL (外:シンタ-錠 内:サムターン) 付属金物一式	1	か所			
運搬、取付け		1	式			別紙 00-0061

5. 外構		構内舗装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン	5,066	m ²			
カーアスファルト舗装	A-5-15 常温系 再生クラッシュラン	126	m ²			
コンクリート舗装	車道C-15-20(溶接金網共) 再生クラッシュラン	430	m ²			
コンクリート舗装	車道C-15-15(溶接金網共) 再生クラッシュラン	83.8	m ²			
キヤラメル砕石敷	骨材10～20mm程度 H50	9.8	m ²			
マサ土	H150	30.9	m ²			
A ガードレール	H=1100 支柱:114.3φ×4.5@2000 コア抜き・モルタル充填共	22	m			
B ガードレール	H=1100 支柱:114.3φ×4.5@4000 コア抜き・モルタル充填共	5	m			
I トラフィックヘント	W150	809	m			
M トラフィックヘント	W500	37	m			
I トラフィックヘント	ゆずりゾーン	1	か所			
J 車止め	9-25-1	46	か所			
T 縁石	9-11-12	6.4	m			
I トラフィックヘント	ゆずりゾーン	1	か所			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	7.9	m ²			

5. 外構		屋外排水				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
集水柵	350角 現場打ち H300～447 グレチング蓋(歩行用) 9-14-4	5	か所			
集水柵	350角 現場打ち H344～378 グレチング蓋(T-25) 9-14-4	3	か所			
集水柵	450角 現場打ち H509～535 グレチング蓋(T-25) 9-14-5	2	か所			
集水柵	600角 現場打ち H765～917 グレチング蓋(歩行用) 9-14-6	2	か所			
集水柵	600角 現場打ち H735～790 グレチング蓋(T-25) 9-14-6	4	か所			
側溝	U形側溝(現場打ち) 溝幅200 グレチング蓋(T-25)	77.9	m			
U形側溝	180 - 再生クラッシュラン グレチング蓋(歩行用)	1.2	m			
排水フレキ管	径100 外皮、補強線:硬質PVC製 内皮:軟質PVC製	22.8	m			
排水フレキ管	径150 外皮、補強線:硬質PVC製 内皮:軟質PVC製	6.1	m			
排水管	VP150	81.8	m			
排水管	VP100	21.8	m			
(敷地内側溝)						
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	240	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	210	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	150	m ³			

5. 外構		屋外排水				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土運搬		90	m ³			
建設発生土処分	建設発生土 処分費	90	m ³			
U1型側溝A	B300-H300 縦断用 水路蓋共	119	m			
U2型側溝A-1	U型 可変 B300-H400 縦断用 水路蓋共	161	m			
U2型側溝B-1	U型 可変 B300-H500 縦断用 水路蓋共	80	m			
U2型側溝C	U型 可変 B300-H600 縦断用 水路蓋共	37	m			
U2型側溝D	U型 可変 B300-H700 縦断用 水路蓋共	16	m			
U3型側溝A	U型 B300-H300 横断用 水路蓋共	6	m			
U3型側溝B	U型 B300-H400 横断用 グレーチング 蓋300 普通目共	9	m			
U4型側溝A	U型 可変 B300-H300 横断用 グ レーチング 蓋300 普通目共	4	m			
U5型側溝	自由勾配側溝 B300-H500 横断用 グレーチング 蓋300 普通目共	6	m			
端止めコンクリートA		1	箇所			
端止めコンクリートB		1	箇所			
端止めコンクリートC		1	箇所			
1-1号集水柵A	B500*L500*H500 グレーチング 蓋T25共	1	箇所			

1. 庁舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一般 S造 地上階	966	m ²			
養生	一般 S造 バルコニー	52.9	m ²			
養生	一般 S造 外部階段	21.2	m ²			
養生	一般 RC・SRC造 ピット	16.6	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃後片付け	一般 S造 地上階	966	m ²			
整理清掃後片付け	一般 S造 バルコニー	52.9	m ²			
整理清掃後片付け	一般 S造 外部階段	21.2	m ²			
整理清掃後片付け	一般 RC・SRC造 ピット	16.6	m ²			
計						

1. 庁舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0007
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 存置期間20日	411	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 存置期間25日	223	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満 存置期間25日	259	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満 存置期間25日	1.6	m ²			
内部階段仕上足場	存置期間30日	20.9	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0008
養生シート張り	防災I類 存置期間 4ヵ月	1,260	m ²			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 存置期間 4ヵ月	114	m			
計						

1. 庁舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,260	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	181	m			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	2階建	200	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,260	m ²			
仮設材運搬 (小幅ネット)		114	m			
仮設材運搬 (地足場)		691	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	411	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	223	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	259	m ²			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.7m以上7.4m未満	1.6	m ²			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		20.9	m ²			
計						

1. 庁舎棟		コンクリート		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートポンプ圧送		1	式			別紙 00-0018
コンクリートポンプ圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	352	m3			
コンクリートポンプ圧送	50m3以上100m3/回未満 基本料金別途加算	77.8	m3			
コンクリートポンプ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	121	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	100m3/回以上	3	回			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m3以上100m3/回未満	2	回			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0019
構造体強度補正	補正值6N/mm2 (36N/mm2-30N/mm2 S15)	430	m3			
構造体強度補正	補正值6N/mm2 (36N/mm2-30N/mm2 S18)	123	m3			
計						

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0022
スクラップ	鉄屑	▲0.02	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0023
スクラップ	鉄屑	▲0.01	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0024
スクラップ	鉄屑	▲4	kg			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0025
スクラップ	鉄屑	▲0.02	t			
計						

1. 庁舎棟		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0026
スクラップ	鉄屑	▲0.1	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0027
スクラップ	鉄屑	▲0.2	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0028
スクラップ	鉄屑	▲0.01	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0029
スクラップ	鉄屑	▲0.03	t			
計						

1. 庁舎棟		建具			アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
運搬、取付け		1	式			別紙 00-0032	
アルミ製建具 取付調整費		1	式				
アルミ製建具 運搬費		1	式				
アルミ製建具 諸経費	法定福利費含む	1	式				
計							
運搬、取付け		1	式			別紙 00-0033	
アルミ製建具 取付調整費		1	式				
アルミ製建具 運搬費		1	式				
アルミ製建具 諸経費	法定福利費含む	1	式				
計							

2. 訓練塔		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方		1	式			別紙 00-0038
遣方	小規模	62	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0039
墨出し	小規模 S造 地上階	98	m ²			
墨出し	小規模 S造 バルコニー	10.5	m ²			
墨出し	小規模 S造 外部階段	32.9	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0040
養生	小規模 S造 地上階	98	m ²			
養生	小規模 S造 バルコニー	10.5	m ²			
養生	小規模 S造 外部階段	32.9	m ²			
計						

2. 訓練塔		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0041
整理清掃後片付け	小規模 S造 地上階	98	m ²			
整理清掃後片付け	小規模 S造 バルコニー	10.5	m ²			
整理清掃後片付け	小規模 S造 外部階段	32.9	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0042
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 - - 存置期間 4ヵ月	375	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間 4ヵ月	43.9	m			
外部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 -	22.3	m ²			
計						
地足場		1	式			別紙 00-0043
地足場	RC造標準日数 修理費含む	62	m ²			
計						

2. 訓練塔		コンクリート		躯体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0053
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	30.5	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	7.8	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	11.2	m3			
コンクリート打設手間	デッキ上 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	15.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	1.5	m3			
計						
コンクリートポンプ圧送		1	式			別紙 00-0054
コンクリートポンプ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	64.8	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	4	回			
計						

2. 訓練塔		鉄骨		付帯鉄骨等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0057
スクラップ	鉄屑	▲0.02	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0058
スクラップ	鉄屑	▲0.1	t			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0059
スクラップ	鉄屑	▲0.01	t			
計						

5. 外構		工作物その他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
F 出勤表示板基礎	600×600×H750	1	式			別紙 00-0063
根切り	小規模土工 -	2.4	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	2.1	m ³			
建設発生土運搬		0.3	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.1	m ³			
捨てコンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm	0.02	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 -	0.02	m ³			
異形鉄筋	SD295 D13	0.03	t			
異形鉄筋	SD295 D16	0.01	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.04	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.04	t			
普通コンクリート	基礎部 Fc=21N/mm ² S=15cm	0.3	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 -	0.3	m ³			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	1.8	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	1.8	m ²			

5. 外構		工作物その他				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
0 掲揚ポール	アルミ製 H9000 ポール・基礎共	1	式			別紙 00-0064
根切り	小規模土工 -	3.8	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	3.1	m ³			
建設発生土運搬		0.7	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.1	m ³			
捨てコンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm	0.04	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 -	0.04	m ³			
異形鉄筋	SD295 D13	0.02	t			
異形鉄筋	SD295 D16	0.02	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.04	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.04	t			
普通コンクリート	基礎部 Fc=21N/mm ² S=15cm	0.6	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 -	0.6	m ³			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	3	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	3	m ²			

5. 外構		工作物その他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
R 鉄棒	W1800×H1500 基礎共	1	式			別紙 00-0065
根切り	小規模土工 -	3.3	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	3	m ³			
建設発生土運搬		0.3	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.1	m ³			
異形鉄筋	SD295 D10	0.01	t			
異形鉄筋	SD295 D13	0.02	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.03	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.03	t			
普通コンクリート	基礎部 Fc=21N/mm ² S=15cm	0.3	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 -	0.3	m ³			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	2	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	2	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.6	m ²			
鉄棒	鉄棒:28φ 鉄棒支柱:60φ×2.3 W1800×H1500	1	か所			

5. 外構		工作物その他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S, Q 放水壁・防火水槽	8000×3500 基礎・上部壁共	1	式			別紙 00-0066
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	171	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	30.7	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	81.1	m ³			
建設発生土運搬		89.9	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	10.8	m ³			
捨てコンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm	1.5	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	1.5	m ³			
異形鉄筋	SD295 D13	2.8	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	2.7	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	2.7	t			
普通コンクリート	基礎部 Fc=24N/mm ² S=15cm	27	m ³			
普通コンクリート	Fc24N/mm ² S=15	2.1	m ³			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m ³ /回未満 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	27	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 擁壁、囲障の基礎等 S15~S18 -	2.1	m ³			

5. 外構		工作物その他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S,Q 放水壁・防火水槽	8000×3500 基礎・上部壁共	1	式			別紙 00-0066
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	27	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
型枠	普通合板型枠 壁式構造 基礎部	66.3	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	47	m ²			
型枠	打放合板型枠C種 壁式構造 基礎部	22.5	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 フーン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	18.8	m ²			
型枠	打放合板型枠C種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	1.6	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	156	m ²			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	63.6	m ²			
打放し面補修	B種 コーン処理無 部分目違いばらい	2.2	m ²			
打放し面補修	C種 コーン処理無 全面目違いばらい	24.1	m ²			
ピット床 ケイ酸質塗布防水		22.5	m ²			
ピット壁 ケイ酸質塗布防水		47	m ²			
クランプ(足掛)	ステンレス製 19φ	14	か所			

共通仮設費(積上) 明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	仮囲鉄板 H=3.0m 存置期間 10ヵ月 運搬費含む	141	m			
キャスターゲート	L6000×H2000 存置期間 10ヵ月 運搬費含む	1	か所			
ガードフェンス	H=1800 存置期間 10ヵ月 運搬費含む	92.4	m			
交通誘導員B		466	人工			
平板載荷試験	50kN 準備費共	5	か所			
振動騒音計	記録装置, 表示盤, 報告書作成共	2	台			
デジタル粉塵計	記録装置, 報告書作成共	2	台			
監視カメラ	記録装置共	2	台			
騒音測定	騒音計・レベルレコーダ・データ整理・報告書作成・敷地境界4ヶ所×3回 9時～18時 専門業者 特定建設作業測定基準	1	式			
【庁舎棟】						
化学物質の濃度測定	ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パップ型採取法 施工完了時	7	か所			
ラフテレーンクレーン運転 (油圧伸縮ジャブ型)	25t吊り ホベータ付き 賃料 標準	10	日			
【訓練塔】						
ラフテレーンクレーン運転 (油圧伸縮ジャブ型)	4.9t吊り ホベータ付き 賃料 標準	3	日			

